

序

東日本大震災から6年が経過した平成29年度は、未だ多くの子どもたちが避難先の学校で学習活動が続けるなど、震災に起因する課題が山積している一方で、着実に復興への歩みを進めた年でもありました。

まず、地域の復興に寄与する人材育成を担う「小高産業技術高等学校」、地域と共に学び共に生きる教育を進める「たむら支援学校」及び「石川支援学校たまかわ校」が、新たな学校として開校しました。

7月には本県、宮城県、山形県において南東北総合体育大会2017（インターハイ）が開催され、多くの高校生が競技や運営において活躍しました。

また、新たに南相馬市小高区と檜葉町において、避難指示の解除等に伴い地元での小中学校再開を果たしたほか、3月には、本県教育復興のシンボルでもある「ふたば未来学園高等学校」が初めての卒業生を送り出しました。

このような中、県教育委員会では、「第6次福島県総合教育計画（改定版）」の後半4年間に当たる平成29～32年度の取組を加速させるため、平成29年3月に策定した「頑張る学校応援プラン」に掲げた5つの主要施策を推進しました。

さて、本教育年報は、平成29年度における教育に関する施策概要や事業実績等を収録しており、本県教育行政を一望できる資料として、また、本県の過去の教育行政を現在まで伝える貴重な資料として、教育関係者のみならず、多方面の方々に広く御利用いただいているところです。

今後も本書が、教育施策を推進する上での参考資料として広く活用され、本県教育振興の一助となりますことを願っています。

平成30年11月

福島県教育委員会

※ 本書は、旧字体等（機種依存文字）が用いられている場合、常用漢字で表記しています。
また、敬称は省略しています。

教育年報目次

第1章 教育行政の概観

1 平成29年度の本県教育の概要	1
2 第6次福島県総合教育計画及び「頑張る学校応援プラン」に関連する主な事業・取組	1

第2章 教育行政

第1節	教育委員会	5
	1 教育委員会	5
	2 審議事項	5
第2節	教育庁組織	7
第3節	企画調整	8
	1 教職員現職教育計画の策定	8
	2 調整事務	9
第4節	広報・広聴	9
	1 教育委員会だより	9
	2 教育年報	9
	3 福島県の教育	9
	4 ふくしま教育ニュース	10
	5 教育庁各課・所・館の広報誌・紙	10
	6 記者発表及び資料提供（投げ込み）件数	12
	7 教育フォーラム	12
	8 平成29年度「ふくしま教育の日」啓発推進事業	13
	9 「県庁に みんなの声を 届けよう！」プロジェクト	13
第5節	調査統計	13
	1 学校統計要覧	13
	2 地方教育費調査（一般統計）	13
	3 進路状況等に関する調査	13
第6節	教職員の給与	13
	1 給料関係	13
	2 諸手当関係	13
第7節	附属機関等	14
	1 福島県学校教育審議会	14
	2 福島県社会教育委員の会議	16
	3 福島県文化財保護審議会	16
第8節	市町村教育委員会	17
	1 概要	17
	2 組織	17
	3 平成29年度市町村教育委員会援助指導の概要	18
第9節	職員団体との話し合い	18
	1 福島県教職員組合	18
	2 福島県高等学校教職員組合	19
	3 福島県立高等学校教職員組合	19
	4 福島県学校事務労働組合	19
第10節	不利益処分審査請求事件及び損害賠償等請求事件	20
	1 不利益処分審査請求事件	20
	2 損害賠償等請求事件	20
第11節	公益法人等の指導等並びに公益信託の状況	20
	1 公益法人等	20
	2 公益信託	21

第12節	表彰及び叙勲	21
	1 教育・文化関係表彰	21
	2 文部科学大臣表彰	22
	3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲	22
第13節	奨学育英	24
	1 福島県奨学資金	24
	2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与制度	24

第3章 教育財政

第1節	平成29年度決算	25
	1 歳入	25
	2 歳出	26
第2節	学校教育施設	28
	1 県立学校	28
	2 幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校(市町村立分)	29
第3節	産業教育設備整備事業	30
	1 産業教育施設・設備の整備	30
第4節	理科教育振興法補助事業	30
	1 理科設備	30
	2 算数・数学特別設備	30
第5節	情報処理設備整備事業	30
	1 県単独事業	30
第6節	体育施設	31
	1 公立学校施設整備費補助(学校体育諸施設補助)	31
	2 社会体育施設整備費補助	31

第4章 教育の情報化

第1節	基盤整備	33
第2節	人材の育成・活用	33

第5章 義務教育

第1節	概要	35
第2節	学校管理	35
	1 児童生徒数・学級数と教職員定数	35
	2 教職員人事・任用	37
	3 教育職員免許状の授与状況	38
	4 学校の設置及び統廃合	38
	5 学校防火	38
	6 へき地対策	39
第3節	学校教育	41
	1 概要	41
	2 現職教育	43
	3 教育課程	45
	4 学力向上等	45
	5 放射線教育(地域と共に創る放射線・防災教育推進事業)	45
	6 防災教育(地域と共に創る放射線・防災教育推進事業)	46
	7 道徳教育	46
	8 特別活動	47

	9 生徒指導・進路指導	47
	10 幼稚園教育	48
	11 へき地教育	49
	12 環境教育	49
	13 教科用図書	49
	14 教育研究団体	51
第4節	国際化・科学技術の進展等への対応	54
	1 中学生・高校生の科学・技術研究論文	54
	2 中学生・高校生の国際理解・国際交流論文	55

第6章 高等学校教育

第1節	概要	57
第2節	学校管理	58
	1 生徒数と教職員数	58
	2 教職員人事・任用	63
	3 学校の設置及び統廃合 - 公立高等学校の設置・廃止等(平成30年度) -	66
第3節	学校教育	67
	1 概要	67
	2 現職教育	73
	3 教育課程	74
	4 学力向上対策等	75
	5 生徒指導・進路指導	76
	6 学校行事	76
	7 産業教育	76
	8 学校訪問	77
	9 県立学校学校教育指導委員	78
	10 教科用図書	78
	11 教育研究団体	78
第4節	文化活動の振興	80
	1 文化活動の振興	80

第7章 特別支援教育

第1節	概要	87
第2節	学校管理	87
	1 児童生徒数と教職員定数	87
	2 特別支援学校及び特別支援学級の実態	90
	3 教職員人事・任用	92
第3節	学校教育	93
	1 概要	93
	2 現職教育	96
	3 教育課程(特別支援学校教育課程運営改善講座)	96
	4 訪問教育	97
	5 生徒指導・進路指導	97
	6 特別活動	98
	7 学校訪問	98
	8 県立学校学校教育指導委員	98
	9 就学指導	98
	10 教科用図書	99
	11 教育研究団体	99

第8章 体育・健康

第1節	概要	101
	1 学校体育の充実	101
	2 学校保健・学校安全の充実	101
	3 食育の推進	102
	4 学校給食の充実	102
	5 全国高等学校総合体育大会	102
第2節	表彰	102
	1 体育関係	102
	2 学校保健・学校安全関係	103
	3 学校給食関係	105
第3節	学校体育	105
	1 学校体育関係各種研修	105
	2 福島県高等学校体育連盟	106
	3 福島県中学校体育連盟	108
第4節	学校保健・学校安全	109
	1 学校保健・学校安全研修会等	109
	2 児童・生徒の健康管理費補助	109
	3 福島県学校保健会	109
	4 独立行政法人日本スポーツ振興センター	109
第5節	学校給食	110
	1 学校給食に関する研修会	110
	2 学校給食用パン品質調査	110
	3 食育等に関する研修会等	111
	4 地場産物活用のための研修会等	111
	5 学校給食関係の国庫助成実績	111
第6節	体育施設	111
	1 公立学校施設整備費補助（学校体育諸施設補助）	111
	2 社会体育施設整備費補助	112
第7節	全国高等学校総合体育大会	112
	1 福島県実行委員会総会	112
	2 専門委員会等	112
	3 高校生活動	112
	4 各種広報活動	113
	5 選手の強化	113
	6 入賞状況	114
	7 経過概要	115

第9章 社会教育

第1節	概要	117
	1 社会教育一般	117
	2 地域コミュニティの再生	117
	3 家庭教育	117
	4 青少年教育	117
	5 成人教育	117
	6 子どもの読書活動推進	117
	7 ユネスコ活動	117
	8 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業	117
	9 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業	117
第2節	社会教育一般	117
	1 社会教育推進体制の充実	117
	2 社会教育施設の整備充実	118

	3 社会教育関係職員の研修	118
	4 社会教育研究集会	118
	5 社会教育指導員の設置	119
	6 社会教育主事の市町村派遣	119
	7 社会教育研修会	119
	8 福島県公民館研究集会	119
	9 社会教育職員研修派遣	119
	10 出版資料	120
第3節	地域コミュニティの再生	120
	1 地域学校協働活動事業	120
	2 放課後子ども教室事業	121
	3 地域学校協働本部事業	121
	4 学校・家庭・地域連携サポート事業	121
	5 東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業	122
第4節	家庭教育	122
	1 地域でつながる家庭教育応援事業	122
第5節	青少年教育	125
	1 体験活動・ボランティア推進センター事業	125
	2 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業	125
第6節	成人教育	125
第7節	子どもの読書活動推進	126
	1 ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト	126
第8節	ユネスコ活動	127
	1 ユネスコ協会事務局一覧	127
	2 福島県ユネスコ活動研修会	127
第9節	ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業	128
	1 内容	128
	2 実績	128
第10節	子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業	128
	1 内容	128
	2 採択状況	128
第11節	公民館等社会教育施設	129
	1 公民館を除く主な社会教育施設	129
	2 文化施設の整備充実	134
第12節	福島県立図書館	135
	1 概要	135
	2 資料の収集・整理	135
	3 館内奉仕	137
	4 館外奉仕	142
	5 図書館協力	142
第13節	福島県立美術館	145
	1 概要	145
	2 美術品の収集・保存	145
	3 展示事業	146
	4 調査研究事業	149
	5 普及事業	149
第14節	福島県立博物館	152
	1 概要	152
	2 資料収集事業	152
	3 保存管理事業	154
	4 展示事業	158
	5 調査研究事業	166
	6 教育普及事業	170
	7 東日本大震災からの復興支援	181

	8 次世代ミュージアム機能	184
第15節	福島県自然の家	187
	1 概要	187
	2 教育目標及び基本的視点	187
第16節	福島県郡山自然の家	188
	1 概要	188
	2 施設・設備の概要	189
	3 企画事業	189
第17節	福島県会津自然の家	193
	1 概要	193
	2 施設・設備の概要	194
	3 利用状況	194
	4 企画事業	194
第18節	福島県いわき海浜自然の家	198
	1 概要	198
	2 施設・設備の概要	199
	3 利用状況	199
	4 企画事業	199

第10章 文化財

第1節	文化財保護体制の充実	203
	1 指定文化財保護体制の充実（文化財パトロール）	203
	2 文化財保護指導者研修会	203
	3 市町村文化財保護担当者会議	203
第2節	埋蔵文化財の保護の充実	203
	1 埋蔵文化財保護体制	203
	2 開発事業地内の保護対策	203
	3 平成29年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況	204
	4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修	204
	5 埋蔵文化財保護普及活動	204
	6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業	204
	7 文化財センター整備事業	205
	8 開発事業に伴う試掘確認・発掘調査件数	205
	9 平成29年度開発事業に伴う試掘調査（周知の埋蔵文化財包蔵地）	206
	10 平成29年度開発事業に伴う試掘調査（未周知の埋蔵文化財包蔵地）	215
	11 平成29年度発掘調査	216
第3節	文化財保存助成の充実	219
	1 文化財保存助成事業	219
	2 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）	219
	3 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）	220
	4 地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業	220
第4節	文化財の保護と公開の推進	221
	1 第59回北海道・東北ブロック民俗芸能大会	221
	2 文化財保護強調週間の実施	221
	3 文化財防火デーの実施	221
第5節	銃砲刀剣類の登録状況	222
	1 登録審査委員	222
	2 登録審査会の実施状況	222
	3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況	222
第6節	文化財センター白河館の運営状況	222
	1 入館者数	222
	2 入館者の内訳と傾向	223

3 団体利用者の内訳と傾向	223
4 情報発信事業の利用者	224
5 資料管理業務	224
6 研修事業の状況	224
7 体験学習事業の状況	224
8 常設展事業	226
9 企画展事業	226
10 ボランティア運営事業	226

第11章 福利厚生

[教職員の健康管理・福利厚生事業]

第1節 概要	227
第2節 事業実績	227
1 教職員の健康管理	227
2 保健事業	228
3 厚生事業	230
第3節 貸付事業	233
1 共済組合	233
第4節 宿泊・保養施設	233
第5節 児童手当（特例給付を含む）	233
第6節 財産形成貯蓄制度	233

[福利給付事業]

第7節 概要	233
第8節 短期給付	234
1 共済組合	234
2 互助会	234
第9節 長期給付	235
1 恩給	235
2 退職手当	235
3 年金	236

第12章 福島県教育センター

第1節 概要	239
1 調査・研究事業	239
2 研修事業	239
3 情報教育事業	239
4 教育相談事業	239
5 教育図書・資料事業	240
第2節 調査・研究事業	240
1 調査・研究	240
2 長期研究員制度による研究	241
第3節 研修事業	241
1 研修講座の概要	241
2 研修講座	243
3 指導主事派遣等	246
第4節 情報教育事業	246
1 研修講座の概要	246
2 施設利用概況	247

第5節	教育相談	247
	1 対象別	247
	2 区分別	247
	3 地区別来所相談件数	247
	4 月別相談件数・回数	247
第6節	教育図書・資料事業	247
	1 教育図書・教育資料の収集	247
	2 教育資料の刊行	247

第13章 福島県特別支援教育センター

第1節	概要	249
	1 教育相談事業	249
	2 教職員研修事業	249
	3 調査研究・教育研究事業	249
	4 教育図書・資料の収集・提供事業	250
	5 広報・啓発事業	250
	6 情報教育事業	250
第2節	教育相談事業	250
	1 相談対象	250
	2 形態	250
	3 現状と課題	250
第3節	教職員研修事業	251
	1 教職員の研修講座	251
第4節	調査研究・教育研究事業	252
	1 調査研究	252
	2 教育研究	253
第5節	教育図書・資料の収集・提供事業	254
	1 教育図書・資料の収集・整理	254
第6節	広報・啓発事業	255
	1 所報「特別支援教育」(70号)	255
	2 研究紀要「第31号」	255
第7節	情報教育事業	255
	1 ICT活用支援	255
	2 情報機器活用	255
	3 情報教育ネットワークとWebサイトの充実	255

第1章 教育行政の概観

1 平成29年度の本県教育の概要

東日本大震災、原子力発電所事故から6年が経過してもなお、多くの子どもたちが県内外への避難生活を続けているなど厳しい状況が続いているが、小高産業技術高等学校が避難指示の解除された地域における高等学校として初めて開校したほか、地域と共に学びあい、支え合いながら生きる社会の実現を目指す、たむら支援学校も開校した。また、避難指示の解除等に伴う小中学校の学校再開の動きが加速化するなど、本県教育の復興がまた一歩前進した。

このような中、県教育委員会においては、平成29年3月に策定した教育政策の骨太の方針「頑張る学校応援プラン」に掲げた主要施策を戦略的に推進し、本県教育の充実を図った。また、年度末には福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成や新学習指導要領に示された小学校英語教育への対応、県立高校改革など、プラン策定後の状況の変化を踏まえてプランの一部を改定した。

本年度は、教員の業務改善に向けた動きが大きな話題となった1年であった。文部科学省から「教員勤務実態調査」の結果が公表され、教員の長時間勤務に注目が集まったほか、スポーツ庁からは生徒の望ましいスポーツ環境の構築などの観点から「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が通知されるなど、具体的な対応策も示されはじめた。本県においても、初めて「教員勤務実態調査」を実施し、全国の状態を上回る看過できない長時間勤務の実態が明らかとなった。これらを踏まえて関係団体と連携しながら「教職員多忙化解消アクションプラン」を策定し、アクションプランの着実な実施により教職員の長時間勤務を改善することにより、学校のチーム力や教員の指導力を最大化し、豊かな教育環境の形成を目指すこととした。

2 第6次福島県総合教育計画及び「頑張る学校応援プラン」に関連する主な事業・取組

(1) 第6次福島県総合教育計画

ア 基本理念

“ふくしまの和”で奏でる、
こころ豊かなたくましい人づくり

イ 基本目標

- 基本目標1 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
- 基本目標2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- 基本目標3 豊かな教育環境の形成

本計画の運用に当たっては、毎年度重視する観点を定め、これに基づく事業を明らかにするとともに、計画の進捗状況を点検・評価することとしている。平成29年度からの4年間の重視する観点を「頑張る学校応援プラン」に掲げた5つの主要施策とし、これらに沿った事業を重点的に推進することにより、本県教育の充実を図った。

(2) 「頑張る学校応援プラン」

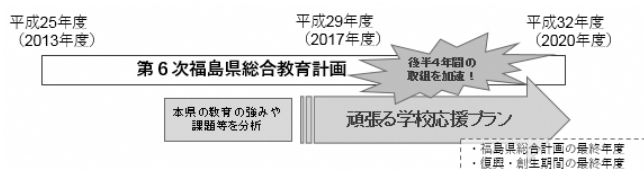
ア 性質

第6次福島県総合教育計画の後半4年間の取組を加速化させるべく、教育政策の骨太の方向性と必要な主要施策を厳選して打ち出したもの。

イ 特徴

本県の教育をめぐる現状について、データによる分析を行い、本県の強みや課題を「見える化」した。

課題等に応じた有効な「手立て」として5つの主要施策を掲げ、戦略的に実行することとした。



ウ 主要施策及び対応する主な取組

主要施策1 学力向上に責任を果たす

- 取組1 学びのスタンダードによる授業力の向上
- 取組2 高校入試の見直し(ふくしまの中高接続改革)
- 取組3 苦手分野に応じた、きめ細かな指導・助言
- 取組4 アクティブ・ラーニングなど本県ならではの教育の強化
- 取組5 PDCAサイクルによる学力の定着

主要施策2 教員の指導力、学校のチーム力の最大化

- 取組1 新たな職(副校長、主幹教諭)の設置
- 取組2 教職員の多忙化への対応
- 取組3 同僚間で学び合うアクティブ・ラーナーとしての教員へ
- 取組4 教員研修の質的充実
- 取組5 学校における達成目標や特色の明確化

主要施策3 地域と共にある学校

- 取組1 地域と学校の協働の促進
- 取組2 コミュニティ・スクールの促進
- 取組3 福島版コラボスクール構想(仮称)の策定

主要施策4 ふくしまの未来に向けた創造的復興教育

- 取組1 「変革者たれ!」ふたば未来学園における教育実践
- 取組2 小高産業技術高校の開校
- 取組3 12市町村の特色ある教育(学校再開支援チーム)
- 取組4 「新」双葉地区教育構想の推進
- 取組5 元気な福島の発信

主要施策5 学びのセーフティネットの構築

- 取組1 子どもたちの心のケアの充実
- 取組2 震災後に落ち込んだ体力・運動習慣を取り戻す
- 取組3 家庭の経済状況等に関わらない学びの環境整備
- 取組4 特別支援教育の環境の充実
- 取組5 スマートフォン・インターネットとのつきあい方

(3) 「頑張る学校応援プラン」に関連する主な事業・取組

主要施策1 学力向上に責任を果たす

一部新 ピューアハートサポートプロジェクト（道徳・人権教育支援事業）

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣や、24時間電話相談体制の整備など、子どもたちの心や生活のケアをきめ細かに実施した。

また、震災の影響で安定した生活環境等を取り戻せていない生徒に対して、心のサポートに資する学習支援を実施した。

新規 「学びのスタンダード」推進事業

「学びのスタンダード」を基に、より質の高い授業の実施、効果的な家庭学習の実践、研修の実質化等を図り、児童生徒の学力向上を通して福島未来を担う子どもたちの育成をした。

継続 少人数教育推進事業

小学校、中学校において30人学級、30人程度学級編制に必要な教員を配置した。

継続 学力向上推進支援事業（小・中学校）

指導改善に資する評価問題の作成や、効果的な指導法の実践研究を行ったほか、学力調査を実施し、把握した実態に応じた授業改善を図った。

継続 グローバル人材を育む小中英語教育推進事業

双葉地区の小中学校を対象に、ライブ授業や外部施設における異文化体験交流活動等を実施した。

新規 地域と共に創る放射線・防災教育推進事業

災害や放射線に関する課題と対応について児童生徒に考えさせ、安全・安心な社会づくりに貢献する態度を育成した。

新規 アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業

アクティブ・ラーニングの手法を授業に取り入れ、新しい時代に求められる学力の向上を図ったほか、各学校のミッションを全面的に支援することにより生徒の進路希望実現を図った。

継続 福島未来を医療で担う夢応援事業

医療に携わることで復興や社会に貢献したいと考える子どもたちの夢を実現させるため、体験学習等を行い、進路実現に向けた学習意欲の醸成を図った。

継続 次世代のふくしまを担う人材育成事業（小・中・高等学校）

職業選択のミスマッチや目的意識喪失による中途退職者の減少を目指すため、学校と企業が連携して生徒の主体的な進路選択能力の育成などを図った。

一部新 ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業

生徒面談や講話などを通して、社会人として自立するためのサポートを行った。また、県外に避難している高卒就職希望者の帰還を支援するため、求人情報等の提供を行った。

継続 福島未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業

国際社会に貢献できる人材を育成するため、ホームステイ研修の旅費の一部を支援したほか、研修で得た経験などを発信するための英語プレゼンテーションコンテストを実施した。

継続 復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業

会津高校の生徒が地域課題等のテーマを設定し、グローバルな視点からの探究活動等を行い、その成果を地域に還元する学習活動を行った。

継続 先駆けの地における再生可能エネルギー教育推進事業

推進校において再生可能エネルギーに関する実用的・専門的な学習を行い、その成果について情報発信し、他校でも活用できる指導プランや学習プログラムを提供した。

継続 ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト（後掲）

主要施策2 教員の指導力、学校のチーム力の最大化

一部新 県立学校IT環境推進事業

学校における情報セキュリティの確保や多忙化解消のため、教職員用パソコンの更新、配備を行った。

継続 教員の多忙化解消のための取組

「学校運営の効率化のための取組事例集」を周知するとともに、教職員多忙化解消プロジェクトチームを立ちあげ、「教職員多忙化解消アクションプラン」を策定した。

継続 優秀教職員表彰制度

教職員の志気を高め、教育活動全体の活性化を図るため、学習指導や生徒指導等において、日常的に努力を積み重ね堅調な成果を挙げている教職員を表彰した。

継続 学校組織運営体制の改善

教員の負担軽減を図るため、校務分掌の見直しや保護者要望対応への支援等について検討・改善に取り組んだ。

新規 復興を担うアクティブ・ラーナー育成事業

地域課題等の解決に取り組む「アクティブ・ラーナー」を育成することにより、地域との共生を図り、本県復興を担うたくましい人材を育成した。

継続 英語指導力向上事業

国際社会に貢献できるグローバル人材の育成を図るため、小・中・高校における英語指導や学習評価についての研究開発等を行い、取組を推進するリーダーを育成した。

継続 教職員の資質向上に向けた研修の充実

今日的な教育課題や教員のライフステージに応じた研修を体系的・計画的に行い、教職員の資質向上を図った。

継続 学校評議員による学校関係者評価の実施

保護者や地域住民等の意向を把握・反映させ、学校運営を改善することにより開かれた学校づくりを進めた。

継続 校長・教頭のためのマネジメント講座

校長及び教頭の管理職としての資質を向上させ、学校経営、運営面での体制を強化した。

新規 「学びのスタンダード」推進事業（再掲）

継続 学力向上推進支援事業（小・中学校）（再掲）

主要施策3 地域と共にある学校

継続 「学校へ行こう週間」の推進

「ふくしま教育週間」を中心に開かれた学校づくりのための各種取組を促進し、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを育てていく契機とした。

新規 地域学校協働本部事業

学校と地域が相互に連携協力を進め、社会総ぐるみでの教育の実現を推進した。

継続 ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト

県内各地域で活躍できる読書活動支援者を育成することにより、より良い読書環境づくりを進めた。

継続 地域でつながる家庭教育応援事業

P T A と連携して親自身が学ぶ機会を充実させたほか、企業と連携して地域の家庭教育推進を働きかけた。

継続 地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業

継承の危機に瀕している民俗芸能の円滑な継承を促進するため、地域のつながりを再構築するための活動に対して補助を行った。

継続 児童生徒の体力向上推進事業

小・中・高等学校の教員に対し、体育授業等における指導力向上のための研修を行ったほか、武道やダンスの指導に地域人材を活用した。

継続 地域と共に創る放射線・防災教育推進事業（再掲）

継続 学校評議員による学校関係者評価の実施（再掲）

一部新 ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト（後掲）

主要施策4 ふくしまの未来に向けた創造的復興教育

継続 双葉地区教育構想緊急対応事業

ふたば未来学園高校において、猪苗代町で緊急的に設置している学生寮や、トレーニング環境等を整備した。

継続 ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業

ふたば未来学園中学校・高等学校の校舎・寄宿舎等の施設を整備し、生徒の学習環境や生活環境の確保をした。

継続 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

子どもたちにふくしまの今を伝える活動などを提供することにより、復興を担うたくましい子どもたちの育成を図った。

継続 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

人と人との関わりの中で感じた思いや願い、震災からのさらなる復興などを綴った十七音の作品を募集し、県内外に広く発信した。

継続 双葉地区教育構想（福祉健康人材育成プラン）

福祉・健康分野で活躍する人づくりを推進するため、専門的な授業を行った。

継続 双葉地区教育構想（国際人育成プラン）

震災からの復興に向けて国際社会に貢献できるグローバル人材の育成等を図るため、スポーツ交流事業や国際理解事業に取り組んだ。

新規 小高スーパープロフェッショナル人材育成事業

小高産業技術高等学校において、幅広い知識と高度な技術を身に付けた産業人材の育成を図るためのカリキュラムを実施した。

継続 スーパーグローバルハイスクール事業

ふたば未来学園高等学校において、企業・大学等と連携を図り、国際的素養の育成をはじめとした質の高いカリキュラムの開発・実践等に取り組んだ。

継続 双葉郡中高一貫校設置事業

ふたば未来学園の備品、教材、教具等の整備や寮、食堂の運営の支援を行ったほか、県立中学校検討協議会を開催し、県立中学校の在り方や教育内容を協議した。

継続 小高統合高等学校設備整備事業

小高産業技術高等学校において、地域の復興を担う人材の育成や、通学における安全、安心を確保するために必要な教育環境を整備した。

一部新 双葉・南相馬教育復興推進事業

双葉郡の小中学校や、ふたば未来学園高校、南相馬地域の高校における教育の魅力化を図るため、外部講師の招へい、交流事業等を行ったほか、避難地域12市町村の学校再開への支援を行った。

継続 学校改革推進事業

高校の統合、募集停止等に係る関係者からの意見を聴く機会とするための懇談会を開催したほか、中高一貫教育を推進するための協議会の開催、交流授業や地域理解教育等を行った。

継続 サテライト校等支援事業

相馬農業高等学校飯館校とふたば未来学園高校の学力向上やキャリア教育に関する取組などを支援したほか、県内各地に避難している中学生がふたば未来学園高校を受験しやすくするための支援などを行った。

継続 グローバル人材を育む小中英語教育推進事業（再掲）

新規 復興を担うアクティブ・ラーナー育成事業（再掲）

継続 ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業（再掲）

継続 復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業（再掲）

継続 ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業（再掲）

主要施策5 学びのセーフティネットの構築

継続 大規模改造事業

老朽化した学校施設を改修し、機能の復元を行うとともに、構造体の劣化状況調査を行った。

継続 県立学校校舎等改築事業

耐震改修工事による耐震化が不可能とされた県立学校施設等の改築を行った。

継続 特別支援学校整備事業

児童生徒の増加や通学地域の広域化に伴う長時間通学等の課題を解消するための適切な環境づくりや、複数の障がい種に対応した専門的な教育を行える学校づくりを推進した。

継続 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業

子どもたちの豊かな人間性と生きる力を育むため、震災の経験を踏まえ、郷土の良さを伝えあい発信していくような交流活動や、充実した自然体験活動等を行う機会を提供した。

継続 ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト

体を動かすことの魅力を伝え、運動不足や体力増進につなげるため、自然の家においてアスレチック等の様々な体験活動を楽しめる事業を開催した。

継 続 復旧・復興の基盤づくりのための教員配置

震災により懸念される児童生徒の学習の遅れを支援するための教員を配置した。

継 続 被災児童生徒等就学支援事業

東日本大震災による被災や、原子力発電所の事故により避難している児童生徒等に就学支援等を行った。

継 続 サポートティーチャー活用事業

児童生徒の心のケアにおけるつまずきの解消のため、サポートティーチャーを学校や教育委員会に派遣し学習を支援した。

新 規 「子どもを守る・子どもが守る」ICT ツール適正使用推進事業

子どもたちがICTツールを安全かつ適切に使用することができるようにするため、ふくしま高校生スマホサミットを開催し、高校生が「ふくしま高校生スマホ宣言。」を発表した。

継 続 高校等奨学資金貸付事業

経済的理由や東日本大震災の被災により就学困難と認められる高校生等に奨学資金の貸与を行った。

継 続 高校等奨学資金給付事業

低所得世帯の高校生等の教育費負担を軽減するため、奨学資金を給付した。

継 続 大学等奨学資金貸付事業

経済的理由や東日本大震災の被災により就学困難と認められる大学生等に奨学資金の貸与を行った。

継 続 インクルーシブ教育システム推進事業

特別支援教育の推進や充実を図るため、特別支援学校のセンター的機能を活用し、関係機関との連携や早期からの一貫した支援体制の整備・充実を図った。

継 続 夢に向かってテクノチャレンジ事業

特別支援学校高等部に在籍する生徒の自立や社会参加を促すため、「特別支援学校作業技能大会」を開催した。

一部新 平成29年度南東北インターハイ開催事業

南東北インターハイを開催し、高校部活動を通して本県の復興を県内外に発信したほか、高校生が主体的に広報活動や来県者へのおもてなしを行った。

一部新 ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト

震災後の子どもたちの体力低下や肥満傾向児出現率の増加などの健康課題を解決するため、自分手帳の活用や地域スポーツ人材の派遣など、運動能力の向上や食育等による健康増進に向けた事業を行った。

一部新 ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業

元気なふくしまっ子を育むため、関係部局等と連携して、学校、家庭、地域が一体となった食育推進体制を整備した。

一部新 学校給食地場産物活用事業

望ましい食習慣の形成や食育の観点から、学校給食に地場産物を活用する市町村の取組を支援した。

新 規 地域学校協働本部事業（再掲）

一部新 ピュアハートサポートプロジェクト（いじめ・教育相談推進事業）（再掲）

第2章 教育行政

第1節 教育委員会

1 教育委員会

平成29年12月24日付けで正木好男氏が、小野栄重委員の後任として教育委員に任命された。

また、同日付けで教育長職務代理者に高橋金一委員が指名された。

職名	氏名	就任年月日	職業	備考
教育長	鈴木 淳一	平成28年 4月1日		福島市
委員	蜂須賀 禮子	平成28年 10月19日 (2期目)	生花 販売	大熊町
委員	岩本 光正	平成28年 10月19日	会社 取締役	会津若松市
委員 教育長職務代理者 (29.12.24～)	高橋 金一	平成27年 12月27日 (2期目)	弁護士	郡山市
委員	正木 好男	平成29年 12月24日	会社 顧問	いわき市
委員	浅川 なおみ	平成27年 4月1日	ピアノ 教室 主宰	白河市
委員 教育長職務代理者 (～29.12.23)	小野 栄重	平成25年 12月24日 ※平成29年 12月23日まで	会社 代表 取締役	いわき市

2 審議事項

4月定例会(29.4.14)

- 審議事項
 - (1) 福島県学校教育審議会委員の任免について
 - (2) 平成30年度福島県公立学校教員採用予定者数について
- 報告事項
 - (1) 平成29年度福島県立高等学校入学者選抜の結果について
 - (2) 平成29年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜の結果について
 - (3) 訓告処分等について

5月定例会(29.5.19)

- 審議事項
 - (1) 教職員の懲戒処分について
- 報告事項
 - (1) 平成30年度使用教科用図書の採択等に関する答申について
 - (2) 訓告処分等について

6月定例会(29.6.9)

- 審議事項
 - (1) 平成30年度使用教科用図書調査研究資料について
 - (2) 教育長臨時代理による処理事項の承認について
 - (3) 平成29年度6月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

7月定例会(29.7.14)

- 審議事項
 - (1) 福島県教育委員会が取り扱う個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則について
 - (2) 教職員の懲戒処分について
- 報告事項
 - (1) 福島県学校教育審議会の答申について
 - (2) いわき海星高等学校実習船福島丸代船建造事業に関する中間報告について
 - (3) ふたば未来学園中高一貫教育に関する中間まとめについて
 - (4) 訓告処分等について

8月定例会(29.8.18)

- 審議事項
 - (1) 平成30年度使用県立特別支援学校小学部・中学部の教科用図書の採択について
 - (2) 福島県立美術館運営協議会委員の任免について
 - (3) 平成29年度福島県指定重要文化財の指定に係る諮問について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

9月定例会(29.9.15)

- 審議事項
 - (1) 平成30年度福島県立中学校入学者選抜について
 - (2) 平成30年度福島県立高等学校入学者選抜について
 - (3) 平成30年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜について
 - (4) 教職員の懲戒処分について
 - (5) 平成29年度教育・文化関係表彰について
 - (6) 平成30年度福島県公立学校実習助手採用予定者数及び平成30年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用予定者数について
 - (7) 福島県立図書館協議会委員の任命について
 - (8) 平成29年度9月補正予算案(教育委員会関係部分)について
 - (9) 工事請負契約案について

- (10) 工事請負契約案について
- (11) 工事請負契約案について
- (12) 退職手当の支給について

○ 報告事項

- (1) 勤務実態調査について
- (2) 訓告処分等について

10 月定例会 (29. 10. 20)

○ 審議事項

- (1) 平成30年度福島県立学校生徒募集定員について
- (2) 教職員の懲戒処分について
- (3) 福島県市町村公立学校教頭の人事について
- (4) 平成30年度人事異動方針及び各人事異動実施要項について
- (5) 平成30年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
- (6) 退職手当の支給制限について
- (7) 平成29年度教育・文化関係表彰について

○ 報告事項

- (1) ふたば未来学園中高一貫教育に関する中間まとめについて
- (2) 訓告処分等について

11 月定例会 (29. 11. 24)

○ 審議事項

- (1) 平成29年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野口英世賞の受賞者について
- (2) 平成29年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文朝河貫一賞の受賞者について
- (3) 教職員の懲戒処分について
- (4) 教職員の懲戒処分について
- (5) 教職員の懲戒処分について
- (6) 平成29年度12月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- (7) 工事請負契約案について
- (8) 福島県市町村立学校職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案について
- (9) 福島県義務教育諸学校等の教育職員の給与等の特別措置に関する条例の一部を改正する条例案について

○ 報告事項

- (1) 相馬支援学校整備事業に関する中間報告について
- (2) 訓告処分等について

○ 協議事項

- (1) 県立高等学校改革基本計画(平成31年度～平成40年度)素案について

12 月定例会 (29. 12. 15)

○ 審議事項

- (1) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について

- (2) 職員の給与等の決定の基準に関する規則の一部を改正する規則について
- (3) 市町村立学校職員の給料等の決定の基準に関する規則の一部を改正する規則について
- (4) 福島県市町村立学校職員の標準的な職及び標準職務遂行能力を定める規則の一部を改正する規則について
- (5) 校長及び教員としての資質に関する指標について
- (6) 第二次福島県県立特別支援学校全体整備計画について
- (7) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

1 月定例会 (30. 1. 19)

○ 審議事項

- (1) 平成28年度福島県教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価結果について
- (2) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について
- (3) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
- (4) 平成29年度教育・文化関係表彰について
- (5) 平成30年度福島県公立学校実習助手採用候補者選考試験の合格者について
- (6) 平成30年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用候補者選考試験の合格者について
- (7) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について
- (2) 平成30年度人事異動(教員系)について

2 月定例会 (30. 2. 9)

○ 審議事項

- (1) 福島県市町村立学校職員の人事評価に関する規則の一部を改正する規則について
- (2) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
- (3) 教職員の懲戒処分について
- (4) 平成30年度当初予算案(教育委員会関係部分)について
- (5) 工事請負契約案について
- (6) 工事請負契約案について
- (7) 福島県教育関係職員定数条例等の一部を改正する条例案について
- (8) 福島県立博物館条例の一部を改正する条例案について

○ 報告事項

- (1) 教職員多忙化解消アクションプランについて
- (2) 訓告処分等について

○ 協議事項

- (1) 平成30年度人事異動(教員系)について

臨時会(30.2.27)

- 審議事項
 - (1) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (2) 平成30年度教育庁及び教育機関の主要職員(教員系)の人事について
 - (3) 平成30年度市町村公立学校校長・副校長の人事について
 - (4) 平成30年度市町村公立学校教頭の人事について
 - (5) 平成30年度県立学校校長・副校長の人事について
 - (6) 平成30年度県立学校教頭の人事について

3月定例会(30.3.22)

- 審議事項
 - (1) 教職員の懲戒処分について
 - (2) 平成30年度教育庁及び教育機関の職員の人事について
 - (3) 平成30年度市町村公立学校教職員の人事について
 - (4) 平成30年度県立学校教職員の人事について
 - (5) 平成29年度教育・文化関係表彰について
 - (6) 頑張る学校応援プランについて
 - (7) 第6次福島県総合教育計画平成30年度アクションプランについて
 - (8) 新たな県立高等学校入学者選抜の基本方針について
 - (9) 福島県指定重要文化財の指定について
 - (10) 福島県教育庁組織規則の一部を改正する規則について
 - (11) 福島県教育委員会に係る福島県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例施行規則の一部を改正する規則について
 - (12) 福島県立博物館条例施行規則の一部を改正する規則について
 - (13) 福島県立美術館長の委嘱について
 - (14) 教科用図書選定審議会委員の任命について
- 報告事項
 - (1) 平成31年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
 - (2) 訓告処分等について
 - (3) 訴訟判決について

第2節 教育庁組織

政策監	熊田	孝
教育次長(業務)	大沼	博文
県立高校改革監	岡崎	拓哉
教育庁参事(人事・企画)	齋藤	圭一

課室名	職名	課長等名
教育総務課	課長	高橋 洋平
	庁主幹兼副課長	奥寺 洋暁
	庁企画主幹兼副課長	郡司 完
財務課	課長	大楯 一夫
	主幹兼副課長	松本 勉
施設財産室	室長	坂内 健二
	副課長兼主任主査	舟山 真吾
職員課	庁参事兼課長	力丸 忠博
	主幹兼副課長	鈴木 芳人
	主幹	角田 禎雄
福利課	課長	長根 由里子
社会教育課	課長	菊池 篤志
	主幹兼副課長	遠藤 仁
	主幹	渋川 卓也
文化財課	課長	千葉 勇二
	主幹兼副課長	鈴木 秀寿
	副課長兼専門文化財主査	木村 裕之
義務教育課	課長	佐藤 秀美
	主幹兼副課長	浅倉 孝
	主幹	佐藤 由弘
	主幹	林 和樹
高校教育課	庁参事兼課長	阿部 武彦
	主幹兼副課長	永澤 英樹
	主幹	平澤 洋介
	主幹	遠藤 利晴
県立高校改革室	室長	柳沼 英樹
特別支援教育課	課長	小檜山 宗浩
	主幹兼副課長	郷家 俊哉
	主幹	酒井 浩樹
健康教育課	課長	佐藤 晃
	主幹兼副課長	國分 亮子
	主幹	佐々木 理夫
全国高校総体推進室	室長	鈴木 義祐

教育事務所

教育事務所	所長・次長名	課長名
県北	所長 渡辺 惣吾 次長(総) 大竹 伸明 次長(業) 渡部 光毅	総務社会教育(兼) 大竹 伸明 学校教育(兼) 渡部 光毅
県中	所長 歌川 哲由 次長(総) 伊藤 利行 次長(業) 近藤 静雄	総務社会教育(兼) 伊藤 利行 学校教育(兼) 近藤 静雄
県南	所長 福地 裕之 次長(総) 馬目 常寿 次長(業) 大竹 宏之	総務社会教育(兼) 馬目 常寿 学校教育(兼) 大竹 宏之
会津	所長 佐藤 浩哉 次長(総) 浦野 昭浩 次長(業) 佐藤 忠一	総務社会教育(兼) 浦野 昭浩 学校教育(兼) 佐藤 忠一
南会津	所長 佐藤 則之 次長(総) 高橋 正敏 次長(業) 藤田 信一	総務社会教育(兼) 高橋 正敏 学校教育(兼) 藤田 信一
相双	所長 午來 勝頭 次長(総) 島 裕之 次長(業) 阿部 央	総務社会教育(兼) 島 裕之 学校教育(兼) 阿部 央
いわき	所長 御代田進一 次長(総) 白井 一章 次長(業) 西内 英理	総務社会教育(兼) 白井 一章 学校教育(兼) 西内 英理

所管教育機関等

教育機関名	所館長名	次長等名
福島県教育センター	竹田 真二	次長(総務) 篤影 政弘 総務管理部長(兼) 篤影 政弘 研究・研修部長 味原 正美
福島県特別支援教育センター	橋本 淳一	主幹兼事務長 鈴木 純 企画事業部長 西牧 辰典
福島県立図書館	佐久間弘元	副館長 三津間和栄
福島県立美術館	早川 博明	副館長 高木 正弘
福島県立博物館	赤坂 憲雄	副館長 山田 英一
福島県郡山自然の家	平久井 淳	次長 森谷 吉博
福島県会津自然の家	唐司 和彦	次長 穴戸 佐壽

第3節 企画調整

1 教職員現職教育計画の策定

(1) 福島県公立学校教職員現職教育計画

教職員現職教育担当者会議を開催し、平成30年度の教職員研修計画及び研究学校(地区)指定計画について、策定に関する協議や関係課・所間の調整を行い、「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定した。

(2) 策定計画

回	開催期日	会議の場所	議事及び協議の概要
第1回	29.6.7	自治会館 大会議室	○平成30年度教職員現職教育計画作成日程について ○平成30年度教職員現職教育計画策定に向けた全体及び各課・所の検討事項について ○平成30年度教職員現職教育計画作成方針を踏まえ、関係課・所において、予算化等を見通した研修の改善及び新設、変更、廃止の案の検討について
第2回	29.9.4	西庁舎9階 教育委員室	○第1回会議の確認事項について ○各課・所における予算化等を見通した具体的計画案について ○平成30年度教職員現職教育計画修正案作成の関係課・所への依頼について

(3) 構成員

教育総務課

企画主幹兼副課長、主任主査

社会教育課

主幹、主任社会教育主事、社会教育主事兼指導主事

義務教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

健康教育課

主幹、主任指導主事、主任栄養技師、指導主事

特別支援教育課

主幹兼副課長、主任指導主事、管理主事、指導主事

高校教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

教育センター

研究・研修部長、主任指導主事、指導主事

特別支援教育センター

企画事業部長、主任指導主事

2 調整事務

(1) 教育庁内企画・調整事務

- ア 総合教育計画に関する連絡調整
- イ 県教委重点施策に関する連絡調整
- ウ 県教委点検・評価に関する連絡調整
- エ 県重点事業に関する連絡調整
- オ 県重点施策評価に関する連絡調整
- カ 政府予算対策に関する連絡調整
- キ 双葉地区教育構想推進事業に関する連絡調整

(2) 知事部局との調整事務

- ア 総務部
行財政改革推進本部、総合教育会議、風評・風化プロジェクトチーム、公立大学法人関係庁内連絡会議
- イ 危機管理部
安全で安心な県づくり推進庁内連絡会議
- ウ 企画調整部
県総合計画・復興計画関係、施策評価関係、県重点事業関係、政府予算対策活動関係、過疎・中山間地域経営戦略本部会議、エネルギー政策検討会、電子社会推進本部会議、政策調整会議、避難地域復興推進会議、新生ふくしま復興推進本部会議、地産地消推進会議、地域創生・人口減少対策本部会議、原子力損害対策協議会、復興対策推進プロジェクトチーム、渇水対策連絡会議、東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部会議
- エ 生活環境部
ユニバーサルデザイン推進本部会議、青少年健全育成推進本部、環境影響評価庁内連絡会議、循環型社会形成庁内推進会議、景観形成推進庁内連絡会議、特定外来生物対応庁内連絡会議、野生鳥獣被害対策庁内連絡会議、男女共同参画推進本部会議、環境・エネルギー施策推進庁内連絡会議、ふくしま地球温暖化対策推進本部会議、除染・廃棄物対策推進会議
- オ 保健福祉部
子育て支援推進本部会議、高齢社会対策推進本部会議、青少年育成推進本部幹事会議
- カ 商工労働部
緊急経済・雇用対策本部会議、企業誘致・立地企業振興対策本部会議、商業まちづくり推進調整会議
- キ 農林水産部
ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動、第69回全国植樹祭庁内連絡会議
- ク 土木部
県内建設業振興に係る庁内連絡会議
- ケ 警察本部
福島県被害者等支援連絡協議会

第4節 広報・広聴

1 教育委員会だより

(1) 編集方針

教育庁の新陣容や教育行政の諸領域の中から広報を要する事項及び教職員に周知させる必要のあるものを掲載し、教育委員会施策の徹底を図る。

(2) 内容

県教育委員会重点施策、県教育委員会所管予算、県教育委員名簿・県教育庁新陣容、県教育庁の組織及び電話番号一覧

(3) 規格・部数

- ア 規格 A4判 4ページ
- イ 部数 4,000部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、県内公立学校、私立団体連合会、各教育関係機関、北海道・東北各県教育委員会等

(5) 発行時期

4月に発行

2 教育年報

(1) 編集方針

平成28年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。

(2) 内容

平成28年度の本県教育行政の実績

(3) 規格・部数

- ア 規格 A4判 226ページ
- イ 部数 150部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、各教育関係機関

3 福島県の教育

(1) 編集方針

本県教育の実績と教育行政の要点を図式化して掲載し、教育庁への来訪者等に配布し、本県教育に対する理解を図る。

(2) 内容

本県教育の実情及び教育行政の要点

(3) 規格・部数

- ア 規格 A4判 8ページ カラー
- イ 部数 950部

(4) 配布対象

教育機関への来訪者、市町村教育委員会、県内公立学校、各教育関係機関、各都道府県教育委員会等

4 ふくしま教育ニュース

(1) 編集方針

県教育委員会の教育行政施策、実績等を県民、特に保護者を対象として伝えることにより、本県教育に対する理解を図る。11月・3月の年2回発行した。

(2) 内容

ア 第48号（11月発行）

福島県立小高産業技術高等学校開校

福島県立たむら支援学校・福島県立石川支援学校たまかわ校開校

南東北総体2017

放射線・防災教育フォーラム

地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業

「県庁にみんなの声を届けよう！」プロジェクト

尾瀬子どもサミット

ふくしまっ子ごはんコンテスト

ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業

教育フォーラム「読書で伝える“生きる”喜び」

平成29年度科学の甲子園福島県大会

ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業

ふくしまの「授業スタンダード」・「家庭学習スタンダード」

相談窓口の案内

イ 第49号（3月発行）

未来のふくしまを担う人づくりを目指して

地域学校協働活動事業推進フォーラム

頑張る学校応援プラン（特集）～ふくしまの挑戦と戦略～

ふくしまの家庭学習スタンダード

教職員多忙化解消アクションプラン

夜間中学

相談窓口の案内

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ カラー

イ 部数 各号 249,000部

(4) 配布対象

県内公立学校の全保護者、県外に避難している児童生徒の保護者、私立幼稚園及び小・中・高等学校、市町村教育委員会、各教育関係機関等

5 教育庁各課・所・館の広報誌・紙

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
教育総務課	福島県の教育	本県教育の実情及び教育行政の要点を図式化して表示	1	A4	8	950	教育機関への来訪者、教育関係機関等
	教育委員会だより	県教育長あいさつ、教育施策及び予算、県教育委員名簿、県教育庁新陣容、組織及び電話番号	1	A4	4	4,000	県内公立学校、私学団体連合会、教育関係機関等
	教育年報	前年度の県教育行政の実績	1	A4	226	150	市町村教委、教育関係機関等
	ふくしま教育ニュース	県教育委員会の教育行政施策、実績、事業のお知らせ等	2	A4	4	各249,000	県内公立学校の全保護者・教職員、教育関係機関等
福利課	ふくしま福利だより	教職員の福利・厚生事業の紹介等	4	A4	20 12	各20,700	全教職員（6月、9月） （12月、3月）
社会教育課	社会教育	社会教育に関する情報、活動状況の取りまとめ	1	A4	12	—	Webサイトに掲載
健康教育課	29南東北インターハイNEWS	インターハイ関連広報	8	A4	3～4	—	Webサイトに掲載

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
教育センター	要 覧	教育センターについての沿革、設置の趣旨、組織、予算、事業内容を掲載	1	A 4	20	160	学校、関係機関
	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や県内教員の教育研究等についての紹介及び教育センターからの案内	2	A 4	8	—	Web サイトに掲載
	研 究 紀 要	研究の成果をとりまとめて刊行し、本県学校教育の向上に資する。	1	A 4	75	1,000	学校、関係機関
	長期研究員個人研究報告書	長期研究員の個人研究の成果をとりまとめた報告書	1	A 4	85	140	関係機関
特別支援教育センター	リーフレット	事業内容・研修講座名等	1	A 5	4	100	来所者 Web サイトに掲載
	所報 特別支援教育	センターの取組や国内外の教育動向等	1	A 4	24	100	関係機関
	要 覧	沿革、事業体系、事業概要、施設・設備	1	A 4	16	50	関係機関
	研 究 紀 要	調査研究・教育研究及び授業研究支援の成果報告	1	A 4	62	100	関係機関 Web サイトに掲載
図書館	館 報 あ づ ま	図書館業務の広報	1	A 4	6	1,000	図書館・関係機関
	福島県立図書館要覧	県立図書館の概況	1	A 4	22	—	Web サイトに掲載
美術館	美術館ニュース ART INFORMATION	企画展・普及事業等の案内	6	A 4 三折		各 11,000	関係機関、来館者等
	ミュージアム カレンダー	年間事業紹介	1	B 5	35,000		関係機関、来館者等
博物館	県立博物館年報	前年度の事業実績	1	A 4	85	400	関係機関
	月行事予定表	月行事予定	1 2	A 4	1	各 1,400	関係機関
	博物館だより	行事予定、企画展案内、講演要旨等	4	A 4	8	各 3,500	学校、関係機関
	はくぶつかん ニュース	月毎の博物館行事予定及び博物館にかかわるニュース	1 2	A 4	2	各 12,600	学校、関係機関
	企画展ポスター・ リーフレット	企画展 2 回分・特別展 1 回分紹介	3	ポスター-B 2 リーフレットA4		8,500 120,000	学校、関係機関 関係機関、来館者等
	年間催し物案内	主催行事などの紹介	1	200×394 四折		45,000	関係機関、来館者等

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
自然の家	企画事業案内(郡山)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Webサイトに掲載
	会津自然の家だより(会津)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	2	—	Webサイトに掲載
	利用案内(いわき)	施設概要、利用方法等	1	A 4	32	500	関係機関
	しおね(いわき)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	8	2,000	関係機関
	リーフレット(いわき)	施設概要、全体図等	1	A 3	1	1,000	関係機関
文化財センター館	年 報	沿革、事業の概要、入館者統計、予算等	1	A 4	34	500	関係機関
	まほろん通信	イベントの内容、体験学習	4	A 4	4	各 4,000	関係機関、利用者等
	研究紀要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	A 4	91	500	関係機関

6 記者発表及び資料提供(投げ込み)件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	-	-	-	1	1	2	1	-	-	-	-	-	5
資料提供	25	13	17	24	33	18	31	36	27	27	40	27	318

7 教育フォーラム

(1) 目的

県民各層との対話を通して、多様化している県民の意向を積極的かつ多角的に把握し、県民と一体となった開かれた教育を推進するために実施した。

今年度は、情報化社会における表現・発信・構成を見据えながら、「読書活動と発信」をテーマとし、福島県内で活躍する中学生、高校生の読書活動への取組を広く紹介することで、本県における教育施策の推進の一助とする。

(2) テーマ

「読書で伝える“生きる”喜び —中学生・高校生によるビブリオバトル 2017 福島県大会—」(共同開催)

(3) 内容

ア 開催形態

オープニング及びクロージングセレモニー、
ビブリオバトル(予選・本選)、
講演会・対談、表彰式

イ 会場

福島県郡山市中央公民館、郡山市公会堂

ウ 開催日時

平成 29 年 11 月 11 日(土) 10:00~16:00

「ふくしま教育週間」関連事業

エ 出席者

(ア) オープニング及びクロージングセレモニー

特定非営利活動法人ふくしま国際音楽祭
M J C アンサンブル

(イ) 講演会・対談

講師 丹治 匠

対談者 郡山市立郡山第二中学校 3年 伊藤 花純
福島県立安積高等学校 3年 遠藤 多恵
福島県立福島西高等学校 2年 安齋くるみ

(ウ) ビブリオバトル

発表者 高校生 21 名、中学生 5 名

(エ) 福島県教育委員会

高橋 金一(県教育委員会委員)
岩本 光正(県教育委員会委員)
鈴木 淳一(県教育委員会教育長)
熊田 孝(政策監)
大沼 博文(教育次長)
岡崎 拓哉(県立高校改革監)
齋藤 圭一(教育庁参事)
高橋 洋平(教育総務課長)
力丸 忠博(職員課 庁参事兼課長)
菊池 篤志(社会教育課長)
佐藤 秀美(義務教育課長)
柳沼 英樹(県立高校改革室長)
佐藤 晃(健康教育課長)
宇田川 哲由(県中教育事務所長)

(オ) 参加者 約 200 名

8 平成 29 年度「ふくしま教育の日」啓発推進事業

県民の教育に対する理解、関心を高め、学校教育、社会教育及び文化の充実、発展を期するため、平成 15 年 3 月にふくしま教育の日条例を制定し、ふくしま教育の日(11 月 1 日)及びふくしま教育週間(11 月 1 日～ 7 日)を設けている。当該期間を含むその前後の期間において「教育の日」の趣旨にふさわしい取組が実施されるよう、市町村や関係機関に働きかけた。さらに、今年度は「ふくしま教育週間」と同月に教育フォーラムを実施し、普及啓発を図った。

9 「県庁に みんなの声を 届けよう！」プロジェクト

子どもたちに県庁を見学する機会を提供することにより、県政に対する理解と関心を深めるとともに、将来の復興の主体としての意識を喚起することを目的として実施した。子どもたちが「ふくしまのよりよい未来をつくるために～子どもたちの提言～」をまとめ、知事や教育長等の前で発表する機会を設定することにより、県政に子どもが参画する機会とした。テーマは、『お仕事』で実施した。

(1) 日時 平成 29 年 8 月 4 日(金) 9:00～15:00

(2) 参観者 小学生 38 名、保護者 34 名

(3) 内容

ア 県庁内見学

イ グループワーク

ウ 発表・意見交換(知事及び教育委員へ)

第 5 節 調査統計

平成 29 年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。

1 学校統計要覧

平成 29 年 5 月 1 日現在で調査した「学校基本調査」(指定統計 13 号)の調査結果及び県独自に実施している進路状況等に関する調査結果に基づき、学校数、児童生徒数、教職員等の基本的事項や県内の中学生・高校生の進路状況等を収録した「学校統計要覧」を作成し、県教委ホームページで公開した。

2 地方教育費調査(一般統計)

この調査は、平成 28 会計年度において、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における県及び市町村(教育事務組合を含む。)から支出された経費並びに授業料等の収入の実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、教育諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的として文部科学省が実施したものである。

3 進路状況等に関する調査

この調査は、中学校・高等学校生徒の進路希望及び卒業後の状況を調査し、進路指導及び高等学校の適正配置計画並びに課程・学科等の整備計画の基礎資料を得ることを目的とした県単独調査である。

第 6 節 教職員の給与

平成 29 年度の教職員の給与改定については、平成 29 年 10 月 3 日の県人事委員会給与勧告に基づき、給料月額及び諸手当について、平成 29 年 12 月県議会及び平成 30 年 2 月県議会において、給与条例等の一部改正が提案され、議決・公布された。その概要は、次のとおりである。

1 給料関係

(1) 給料月額

ア 公民較差に基づく給与改定(平成 29 年 4 月 1 日適用)

全ての給料表において、若年層に重点を置いて給料月額が引き上げられた。

イ 新たな職の設置に係る給与改定

(平成 30 年 4 月 1 日適用)

新たな職の設置に伴い、主幹教諭の職に係る給料月額について新たな級として特 2 級が定められた。

(2) 給料の調整額

(平成 29 年 4 月 1 日・平成 30 年 4 月 1 日適用)

給料月額の改定に伴い、一部の調整基本額が改められた。

(3) 昇格時号給対応表

(平成 29 年 4 月 1 日・平成 30 年 4 月 1 日適用)

給料表の改定に伴い、昇格時号給対応表の一部が改められた。

(4) 降格時号給対応表

(平成 29 年 4 月 1 日・平成 30 年 4 月 1 日適用)

給料表の改定に伴い、降格時号給対応表の一部が改められた。

(5) 級別資格基準表(平成 30 年 4 月 1 日適用)

新たな職の設置等に伴い、副校長及び主幹教諭に係る基準が定められた。

(6) 給料の決定基準(平成 30 年 4 月 1 日適用)

義務教育学校の設置に伴い、給料決定のための経験年数加算基準及び市町村教育委員会の昇給の内申範囲が改められた。

2 諸手当関係

(1) 給料の特別調整額(管理職手当)

(平成 30 年 4 月 1 日適用)

新たな職及び義務教育学校の設置に伴い、支給対象となる職が改められた。

(2) 扶養手当(平成 30 年 4 月 1 日適用)

配偶者がいない場合の区分について廃止され、配偶者及び子の手当額が次のとおり改められた。

区 分	手当額
配偶者	6,500 円
子	各 10,000 円
特定期間にある子の加算額	各 5,000 円
父母等	各 6,500 円

(3) 通勤手当（平成 30 年 4 月 1 日適用）

自動車等交通用具使用者の手当額が次のとおり改められた。

片道の 自動車等の 使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動 機付きの交通用具
2km 以上 4km 未満	2,400 円	2,000 円
4km 以上 6km 未満	3,600 円	2,000 円
6km 以上 8km 未満	4,800 円	2,400 円
8km 以上 10km 未満	6,000 円	3,000 円
10km 以上 12km 未満	7,200 円	3,600 円
12km 以上 14km 未満	8,400 円	4,200 円
14km 以上 16km 未満	9,600 円	4,800 円
16km 以上 18km 未満	10,800 円	5,400 円
18km 以上 20km 未満	12,000 円	6,000 円
20km 以上 22km 未満	13,200 円	6,600 円
22km 以上 24km 未満	14,400 円	7,200 円
24km 以上 26km 未満	15,600 円	7,800 円
26km 以上 28km 未満	16,800 円	8,400 円
28km 以上 30km 未満	18,000 円	9,000 円
30km 以上 32km 未満	19,200 円	9,600 円
32km 以上 34km 未満	20,400 円	10,200 円
34km 以上 36km 未満	21,600 円	10,800 円
36km 以上 38km 未満	22,800 円	11,400 円
38km 以上 40km 未満	24,000 円	12,000 円
40km 以上 45km 未満	26,600 円	13,300 円
45km 以上 50km 未満	29,000 円	14,500 円
50km 以上 55km 未満	31,500 円	15,800 円
55km 以上 60km 未満	33,700 円	16,900 円
60km 以上 65km 未満	35,400 円	17,700 円
65km 以上 70km 未満	38,100 円	19,100 円
70km 以上 75km 未満	40,900 円	20,500 円
75km 以上 80km 未満	43,600 円	21,800 円
80km 以上	46,300 円	23,200 円

(4) 期末・勤勉手当（平成 29 年 12 月 1 日適用）

支給割合が次のとおり改められた。

◎一般職員

	区分	6 月期	12 月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.225 ヶ月	1.325 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.85 ヶ月	0.85 ヶ月	1.70 ヶ月	4.25 ヶ月
改正後 (29 年度)	期末手当	1.225 ヶ月	1.325 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.85 ヶ月	0.95 ヶ月	1.80 ヶ月	4.35 ヶ月
(30 年度)	期末手当	1.225 ヶ月	1.325 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.90 ヶ月	0.90 ヶ月	1.80 ヶ月	4.35 ヶ月

◎特定幹部職員

	区分	6 月期	12 月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.025 ヶ月	1.125 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.05 ヶ月	1.05 ヶ月	2.10 ヶ月	4.25 ヶ月
改正後 (29 年度)	期末手当	1.025 ヶ月	1.125 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.05 ヶ月	1.15 ヶ月	2.20 ヶ月	4.35 ヶ月
(30 年度)	期末手当	1.025 ヶ月	1.125 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.10 ヶ月	1.10 ヶ月	2.20 ヶ月	4.35 ヶ月

(5) へき地手当等（平成 30 年 4 月 1 日適用）

市町村立学校の統廃合等に伴い、へき地学校等の級別区分が改められた。

(6) 特勤勤務手当に準ずる手当（平成 30 年 3 月 26 日適用）

湖南高等学校の準特勤勤務区分が改められた。

(7) 特殊勤務手当

ア 教員特殊業務手当

教員特殊業務手当について、平成 30 年 1 月から土日の部活動指導業務、修学旅行等引率指導業務及び対外運動競技等引率業務に係る手当を引き上げるとして、義務教育費国庫負担金の算定基準が平成 29 年 4 月に変更されたこと及び他の都道府県の状況を考慮し改められた。

（平成 30 年 1 月 1 日適用）

イ 災害応急作業等手当（特例）

災害応急作業等手当の特例について、これまでの東日本大震災に係る作業の他に、東日本大震災以外の特定大規模災害又は原子力緊急事態宣言があったものに対処するための作業が支給対象に加えられた。

（平成 29 年 12 月 26 日適用）

ウ 新たな職の設置に伴い、支給対象となる職が定められたこと。（平成 30 年 4 月 1 日適用）

第 7 節 附属機関等

1 福島県学校教育審議会

根拠法令

福島県学校教育審議会条例(昭和 41 年福島県条例第 42 号)

目的

- ・教育委員会の諮問に応じ、学校教育の振興についての総合計画に関する事項及び学校教育についての基本的な重要施策に関する事項について調査審議する。
- ・学校教育に関する事項について、必要があると認めるときは、教育委員会に対し、意見を申し出る。

(1) 審議状況

震災から 5 年が経過し、復興を担う人材の育成や中山間地域の「核」としての役割など、社会が高等学校に求めるものが変化しつつあることを踏まえ、県立高等学校の在り方を検討するため、平成 28 年 5 月 26 日に「社会の変化に対応した県立高等学校の在り方について」諮問をした。

(2) 諮問の主な内容

- ア 本県高等学校教育の在り方
- イ 適切な学校の規模、学校・学科の配置
- ウ 過疎・中山間地域の教育環境の在り方
- エ 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

(3) 審議の経緯

- 第1回審議会（H28.5/26） ●諮問
 - ・アンケート調査実施
 - ・学校訪問〈3地方7校〉
 - 7/6 中通り（長沼、郡山商、橘）
 - 7/8 浜通り（四倉、ふたば未来）
 - 7/12 会津地方（田島、会津学鳳）
 - ・第1回部会（7/21）
- 第2回審議会（8/24）
 - ・第2回部会（9/23）
 - ・第3回部会（10/28）
- 第3回審議会（12/1）

- 中間まとめ公表（12/16） 教育委員会定例会に報告
 - ・教育公聴会〈県内7地区〉
 - （H29.1/11 県中、1/19 相双、1/21 県南、1/25 いわき、1/28 南会津、2/1 県北、2/3 会津）
 - ・総合教育会議で報告（2/10）
 - ・第4回部会（2/16）
 - ・第5回部会（4/12）
- 第4回審議会（5/10）
- 第5回審議会（6/14）
- 答申（6/16）

(4) 委員

下記のとおり。任期は平成28年5月20日～平成30年5月19日。

なお、議論をより深めるため、上記のうち会長が指名した9名の委員で構成する「部会」を設けた。

(5) 福島県学校教育審議会委員

平成29年6月16日〈答申時〉現在

	氏名	役職名	備考
学識経験を有する者	伊藤 信弘	福島商工会議所常議員、株式会社いちい代表取締役社長	部会員
	小沢 喜仁	福島大学理事・副学長 統括学系長、地域創造支援センター長	会長、部会長
	川上 雅則	福島県農業協同組合中央会常務理事	
	菅野 誠	福島県高等学校長協会会長、福島高等学校長	部会員
	菊池 克彦	福島民友新聞社編集局長	H28.7.16～
	菊池 真弓	いわき明星大学教養学部教授	
	鞍田 炎	福島民報社編集局長	H29.4.15～
	佐治 和則	会津美里町教育委員会教育長	部会員
	佐藤 浩子	福島市西学習センター生涯学習指導員	部会員
	杉内 亜希	前一般社団法人原町青年会議所直前理事長	部会員
	鈴木 茂	日本労働組合総連合会福島県連合会副事務局長	H28.11.26～
	錫谷 和子	元福島市学校給食センター運営委員	*公募委員
	橘 文紀	福島県PTA連合会副会長、郡山市PTA連合会会長	副会長、部会員
	中山 美華	南会津町教育委員会委員、 放課後こども教室げんき山クラブコーディネーター	
	森 涼	福島県私立中学高等学校協会会長、 学校法人石川義塾理事長、石川義塾中学校・学校法人石川高等学校校長	部会員
吉田 尚	いわき市教育委員会教育長	部会員	
和合アヤ子	福島商工会議所副会頭、福島県住宅生活協同組合代表理事		
市町村長	立谷 秀清	福島県市長会会長、相馬市長	
	加藤 憲郎	前福島県町村会会長、新地町長	

〈任期途中で異動のあった委員〉

氏名	役職名（委員在職中当時）	委嘱期間
菅野 篤	福島民友新聞社編集局長	H28.5.20～H28.7.15
澤田 精一	日本労働組合総連合会福島県連合会副事務局長	H28.5.20～H28.11.25
早川 正也	福島民報社編集局長	H28.5.20～H29.4.14

2 福島県社会教育委員の会議

根拠法令

社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 15 条並びに福島県社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例（昭和 24 年福島県条例第 56 条）

目的

社会教育に関する諸計画を立案するとともに教育委員会の諮問に応じ、意見を述べたり必要な研究調査を行ったりし、社会教育に関して教育長を経て教育委員会に助言する。

(1) 福島県社会教育委員

任期 平成 28 年 6 月 20 日～平成 30 年 6 月 19 日

区 分	氏 名	役 職 名	備 考
学校教育関係者	高橋 澄子	小学校長会（新地町立駒ヶ嶺小学校長）	
	香内 一宏	中学校長会（福島市立福島第三中学校長）	
	吉田 豊彦	高等学校長会（福島県立福島東高等学校長）	
社会教育関係団体の関係者	堀金 靖	福島県公民館連絡協議会会長	副議長
	阿部 君江	福島県市町村社会教育委員連絡協議会理事	
	菊地 真弓	福島県 P T A 連合会母親代表理事	
社会教育関係団体の関係者	石川 美知	福島県婦人団体連合会評議員	
	山本 フミ子	前ガールスカウト福島県連盟長	
	齋藤 雄一郎	福島県商工会連合会	
	清水 国明	N P O 法人明日飛子ども自立の里理事長	
家庭教育関係者	星 尚子	福島県家庭教育インストラクター連絡協議会理事	
学識関係者	木暮 照正	福島大学地域創造支援センター副センター長・准教授	議長
	前川 直哉	元桜の聖母短期大学兼任講師	
	本多 環	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授	
公 募	佐藤 房枝	農業	
	大友 靖子	主婦	

(2) 定例会の開催

ア 第 1 回定例会

- (ア) 日時 平成 29 年 7 月 31 日（月）
 (イ) 場所 県庁西庁舎 9 階 教育委員室
 (ウ) 内容

- a 報告事項
 平成 29 年度社会教育に関する主要施策・事業の概要について
 b 審議事項
 福島県社会教育委員の会議「提言」について

イ 第 2 回定例会

- (ア) 日時 平成 30 年 2 月 15 日（木）
 (イ) 場所 ふくしま中町会館 6 階南会議室
 (ウ) 内容
 a 報告事項
 平成 29 年度社会教育関係事業報告について
 平成 30 年度社会教育関係主要施策・事業（案）について
 b 審議事項
 福島県社会教育委員の会議「提言」について

3 福島県文化財保護審議会

(1) 福島県文化財保護審議会委員

任期 平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

氏 名	所 属 等	担 当 分 野	備 考
阿部 俊夫	元郡山女子大学短期大学部准教授・地方史研究協議会	古文書、歴史資料	
荒木 志伸	山形大学基盤教育院准教授・東北史学会・日本考古学協会	考古資料、史跡、埋蔵文化財	
伊藤 喜良	福島大学名誉教授・日本経済大学非常勤講師・歴史学研究会・東北史学会・日本史研究会	古文書(中世)・書跡・典籍	会長

懸田 弘訓	会津大学非常勤講師・民俗芸能学会・福島県民俗学会・日本民俗音楽学会	有・無形民俗文化財	
狩野 勝重	元日本大学教授・工学博士・日本建築学会・伝統建築文化推進協議会	建造物・伝統的建造物群	
佐藤 琴	山形大学基盤教育院准教授・美術史学会・国際浮世絵学会	絵画	
永広 昌之	東北大学総合博物館・東北大学名誉教授・日本地質学会・日本古生物学会	天然記念物（地質鉱物、古生物）	
鈴木 俊行	（公財）福島県都市公園・緑化協会・樹木医学会・日本造園学会・日本桜学会	天然記念物（植物）	
高橋 あけみ	仙台市博物館主幹・美術史学会・漆工史学会・茶の湯文化学会	工芸品・染織	
竹原 明秀	岩手大学教授・日本生態学会・植生学会・日本植物学会	天然記念物（植生）	
辻 秀人	東北学院大学教授・日本考古学協会・福島県考古学会・全日本博物館協会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	
塘 忠顕	福島大学教授・日本動物学会・日本昆虫学会・日本発生生物学会	天然記念物（動物）	
藤井 英二郎	千葉大学名誉教授・日本庭園学会・日本造園学会	史跡・名勝（庭園）	
守谷 早苗	福島市史編纂室（嘱託員）・東北史学会・国史談話会	歴史資料	
若林 繁	元東京家政大学教授・美術史学会	彫刻	

(2) 会議

ア 第1回審議会

- (ア) 期日 平成29年9月14日(木)
- (イ) 場所 福島県西庁舎9階 教育委員室
- (ウ) 内容
 - a 福島県指定文化財候補等の審議

イ 第2回審議会

- (ア) 期日 平成30年1月31日(水)
- (イ) 場所 福島県庁本庁舎3階 総務委員会室
- (ウ) 内容
 - a 福島県指定文化財候補等の審議
 - b 新たな県指定文化財の候補について

第8節 市町村教育委員会

1 概要

本県の市町村教育委員会数は、平成29年5月1日現在、13市46町村1組合の計60である。

県教育委員会は、市町村教育委員会連絡協議会、都市教育長協議会、町村教育長協議会等との密接な連絡、連携のもとに、教育行政の適正な事務の執行と管理に努めている。

2 組織

平成29年5月1日現在、県内各市町村教育委員会の委員長及び教育長は次のとおりである。

教育委員会名	委員長・職務代理者	教育長
県北(8)		
福島市	中村 恵子	本間 稔
伊達郡川俣町	佐藤 捷善	佐久間裕晴
伊達市	高野 保夫	湯田 健一
伊達郡桑折町	柴田 宣広	会田 智康
伊達郡国見町	高橋 幸子	岡崎 忠昭
二本松市	宮前 貢	小泉 裕明
安達郡大玉村	伊藤 忠和	佐藤 吉郎
本宮市	谷 明子	原瀬久美子

県中(12)

郡山市	阿部 亜巳	小野 義明
須賀川市	深谷 敬一	柳沼 直三
岩瀬郡鏡石町	角田 信洋	高原孝一郎
岩瀬郡天栄村	小針 克彦	増子 清一
石川郡石川町	藤島 廣輝	田口 和憲
石川郡玉川村	大木 孝行	鈴木 文雄
石川郡平田村	遠藤 嘉行	吾妻 幹廣
石川郡浅川町	緑川又次郎	内田 賢壽
石川郡古殿町	鈴木 茂	矢吹 伸一
田村市	吉田 忠晴	(欠員)
田村郡三春町	武地 優子	高橋 正美
田村郡小野町	大千里義市	西牧 裕司

県南(9)

白河市	金子 英昭	星 浩次
西白河郡西郷村	小菅 秀雄	鈴木 且雪
西白河郡中島村	水野谷剛夫	佐藤 正敏
西白河郡矢吹町	水戸 勘十	栗林 正樹
西白河郡泉崎村	山田 睦子	杉田久美子
東白川郡棚倉町	八槻 浩子	松本 市郎

東白川郡埜町	金澤 誠治	秦 公男
東白川郡矢祭町	益子 敬	古張 金一
東白川郡鮫川村	青戸 義之	奥貫 洋
会津(13)		
会津若松市	松本 健男	本田 樹
耶麻郡磐梯町	鈴木 定憲	田中 靖則
耶麻郡猪苗代町	二瓶 和夫	宇南山忠明
喜多方市	関口 高志	芳賀 忠夫
耶麻郡北塩原村	斎藤 弘幸	鈴木 力雄
耶麻郡西会津町	五十嵐長孝	新井田 大
河沼郡会津坂下町	高久栄一郎	佐藤 玄
河沼郡湯川村	伊藤 幸喜	星 三千男
河沼郡柳津町	鈴木 昭一	目黒健一郎
大沼郡会津美里町	鶴賀 イチ	佐治 和則
大沼郡三島町	阿部 和彦	坂内 洋二
大沼郡金山町	山口 京子	滝沢 敬樹
大沼郡昭和村	五十嵐喜久男	本名 幸平
南会津(5)		
南会津郡南会津町	渡部 謙一	星 英雄
南会津郡下郷町	白石 光史	渡部 岩男
南会津郡檜枝岐村	星 賢二	平野 信之
南会津郡只見町	角田 行雄	齋藤 修一
南会津郡地方広域市町村圏組合	渡部 岩男	星 英雄
相双(12)		
相馬郡新地町	加藤 潤一	佐々木孝司
相馬市	宗形 明子	堀川 利夫
南相馬市	大石 力彌	阿部 貞康
相馬郡飯館村	佐藤 眞弘	中井田 榮
双葉郡浪江町	今野 秀則	畠山熙一郎
双葉郡葛尾村	松本 敬一	小野田敏之
双葉郡双葉町	大久保敏己	館下 明夫
双葉郡大熊町	嶋貫 光喜	武内 敏英
双葉郡富岡町	関本 征司	石井 賢一
双葉郡川内村	遠藤 眞一	秋元 正
双葉郡檜葉町	渡邊 司	矢内賢太郎
双葉郡広野町	根本 修行	浅野 一
いわき(1)		
いわき市	馬目 順一	吉田 尚

3 平成29年度市町村教育委員会援助指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会教育長会議、新任教育委員研修会を開催して助言指導を行うとともに、教育行政関係の諸資料等を配布して県内市町村教育委員会への援助に努めた。

(1) 平成29年度福島県市町村教育委員会教育長会議

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日 平成29年4月11日(火)
- ウ 会場 本庁舎5階 正庁
- エ 出席者 市町村教育委員会教育長 59名
- オ 内容 平成29年度教育庁各課(室)・所の重点施策の説明

(2) 平成29年度福島県市町村教育委員会新任教育委員研修会

- ア 主催 福島県市町村教育委員会連絡協議会
福島県教育委員会
- イ 期日 平成29年11月22日(水)
- ウ 会場 本庁舎5階 正庁
- エ 参加者 平成28年11月16日から平成29年9月30日の間に任命された委員及び、それ以前に就任し未参加の委員 34名
- オ 内容
 - 講話
 - ・演題 「教育委員に期待するもの」
 - ・講師 福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一
 - 講話
 - ・演題 「教育委員に求められる構えと職責」
 - ・講師 前福島県市町村教育委員会連絡協議会副会長 藤田 克彦
 - 講義
 - ・演題 「教育委員会の組織と運営について」
 - ・講師 福島県教育庁職員課管理主事 遠藤 裕一

第9節 職員団体との話し合い

平成29年度における「福島県教職員組合」「福島県高等学校教職員組合」「福島県立高等学校教職員組合」「福島県学校事務労働組合」との話し合いのうち、主なものは次のとおりである。

1 福島県教職員組合

(1) 平成29年4月27日

- ア 賃金について
- イ 臨時的任用教職員の処遇改善について
- ウ 新しい職について
- エ 休暇制度について
- オ 教職員の多忙化解消について
- カ 旧避難地域への学校の帰還について
- キ 特別支援教育について
- ク 雇用と年金の接続について
- ケ 学校での集団フッ素洗口について
- コ 不適切な行為に関する調査について

(2) 平成 29 年 11 月 9 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 学校事務職員等の処遇改善について
- ウ 学校事務の共同連携実施について
- エ 再任用について
- オ 人事評価制度について
- カ 臨時的任用職員の処遇改善について
- キ 休暇制度について
- ク 人事異動関係について
- ケ 新たな職について
- コ 長時間労働の解消について

(3) 平成 29 年 11 月 20 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 主任主査の拡大と学校事務の共同連携実施について
- ウ 事務職員の 5 5 歳昇給停止について
- エ 医療職給料表の改善について
- オ 再任用関係について
- カ 時間講師の年休について
- キ 臨時的任用職員の処遇改善について
- ク 休暇制度について
- ケ 被災地域の人事について
- コ 教職員の多忙化解消について

2 福島県高等学校教職員組合

(1) 平成 29 年 4 月 28 日

- ア 県立高等学校改革計画について
- イ 小高産業技術高校やサテライト校等について
- ウ 教職員定数の特別措置について
- エ 養護教諭と学校司書の配置について
- オ 外部人材の配置について
- カ 特別支援の教室不足等について
- キ 老朽化した施設・設備等について
- ク 旅費需用費等について
- ケ ICT機器の充実について
- コ 給与等について
- サ 人事評価制度について
- シ 諸手当について
- ス 実習教員の単独引率について
- セ 教員採用について
- ソ 多忙化解消について

(2) 平成 29 年 11 月 13 日

- ア 人事委員会勧告について
- イ 特別支援学校の給料について
- ウ 諸手当について
- エ 人事評価制度について
- オ 再任用について
- カ 実習教員の単独引率について
- キ 教員採用について
- コ 特別支援教育について
- カ 多忙化解消について

(3) 平成 29 年 11 月 21 日

- ア 県立高等学校改革計画について
- イ 小高産業技術高校やサテライト校等について
- ウ 養護教諭と学校司書の配置について
- エ 老朽化した施設・設備等について

- オ 需用費の増額について
- カ ICT機器の充実について
- キ 校務支援システムについて
- ク 多忙化解消について
- コ 教員免許更新について
- サ 子育て休暇について

3 福島県立高等学校教職員組合

(1) 平成 29 年 4 月 28 日

- ア 人事評価制度について
- イ 汚染土の搬出について
- ウ 新聞購入費について
- エ 高速道路の利用について
- オ 長時間労働解消について

(2) 平成 29 年 11 月 13 日

- ア 人事委員会勧告関係について
- イ 長時間労働解消について
- ウ 病気休暇等の代替者について
- エ 再任用について
- オ 特別支援教育について

(3) 平成 29 年 11 月 21 日

- ア 冒頭回答について
- イ 人事評価について
- ウ 病気休暇について
- エ 新聞購入費について
- オ 高速道路の利用について
- カ 特別支援教育について
- キ 県立高等学校改革計画について
- ク 長時間労働解消について

4 福島県学校事務労働組合

(1) 平成 29 年 4 月 27 日

- ア 主任主査の拡大について
- イ 学校事務の共同連携について
- ウ 在職者調整の救済措置について
- エ 公務貢献について
- オ 再任用について
- カ 土曜授業について
- キ 勤務時間の割振り変更について
- ク 臨時的任用職員の年休繰越しについて
- ケ 離任式の実施日について
- コ 人事評価について

(2) 平成 29 年 11 月 9 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 主任主査の拡大について
- ウ 学校事務の共同連携について
- エ 公務貢献について
- オ 職員の採用について
- カ 臨時的任用職員の年休繰越しについて
- キ 職員の配置について

(3) 平成 29 年 11 月 20 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 臨時的任用職員の年休繰越しについて
- ウ 退職手当について
- エ 主任主査の拡大について

オ 在職者調整の救済措置について
 カ 公務貢献について
 キ 人事評価の勤勉手当への反映について
 ク 事務職員の加配について

ケ 学校事務の共同連携について
 コ ハラスメントについて
 サ 職員の採用について

第 10 節 不利益処分審査請求事件及び損害賠償等請求事件

1 不利益処分審査請求事件

平成 30 年 3 月 31 日現在、不利益処分審査請求事件として係属中のものは 4 件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
公文書開示一部開示決定取消請求事件	平 29. 10. 31	平 29. 8. 27 付で請求のあった公文書の一部開示決定処分についてその取消及び変更を請求	当該公文書開示請求人	書面審理中
懲戒処分取消請求事件	平 30. 2. 1	平 29. 12. 15 付懲戒処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	書面審理中
懲戒処分取消請求事件	平 29. 12. 19	平 29. 10. 20 付懲戒処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	書面審理中
退職手当支給制限処分取消請求事件	平 29. 12. 19	平 29. 10. 20 付退職手当支給制限処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	書面審理中

2 損害賠償等請求事件

平成 30 年 3 月 31 日現在、損害賠償等請求等事件として係属中のものは 2 件、平成 29 年度中に終結したものは 3 件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
懲戒処分取消等請求事件	平 26. 4. 4	平 24. 6. 15 付懲戒処分等についてその取消を請求	元県立高等学校 教員	終結 平 29. 8. 25 棄却
安全な場所で教育を受ける権利の確認等請求事件	平 26. 8. 29 平 27. 1. 14 平 28. 5. 10	安全な場所で教育を受けることができる権利の確認等	県内住民 多数	係属中
損害賠償請求事件	平 27. 9. 28	退学処分とされた事等に対する慰謝料等の請求	元県立高等学校 生徒	終結 平 30. 3. 13 棄却
停職処分取消請求事件	平 28. 7. 20	平 26. 10. 17 付停職処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	終結 平 30. 3. 27 棄却
損害賠償請求事件	平 29. 6. 6	義務教育無償とする施策を策定・実施していないという不作為を違法事由として損害賠償を請求	県内住民	係属中

第 11 節 公益法人等の指導等並びに公益信託の状況

1 公益法人等

平成 30 年 3 月 31 日現在、県教育委員会の所管に属する公益法人等は 50 法人である。

各法人から事業報告書・収支決算書、事業計画書、収支予算書等の提出を求めた。

法人ごとの内訳は下表のとおり。

法人種別	所管する法人数	平成 29 年度に公益法人又は一般法人に移行した法人数
公益財団法人	25	0
公益社団法人	2	0
一般財団法人	18	0
一般社団法人	4	0
特例民法法人	1	-
計	50	0

2 公益信託

平成 30 年 3 月 31 日現在、県教育委員会の所管に属する公益信託は 3 件である。

なお、平成 29 年度新たに引き受けを許可した公益信託はない。

第 12 節 表彰及び叙勲

平成 29 年度教育・文化関係表彰式は、11 月 1 日(水)とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）、平成 30 年 2 月 7 日(水)杉妻会館において、それぞれ厳粛のうちにも盛大に行われた。

また、文部科学大臣による地方教育行政功労者表彰式は 10 月 13 日(金)に文部科学省講堂において、また、教育者表彰式は 12 月 5 日(火)、文部科学省講堂において、それぞれ行われた。

1 教育・文化関係表彰

(1) 地方教育行政功労者(5名)

(前)福島市教育委員会委員	芳賀 裕
古殿町教育委員会委員	鈴木 茂
中島村教育委員会教育長	佐藤 正敏
矢祭町教育委員会委員	片野 宗和
飯館村教育委員会委員	佐藤 眞弘

(2) 学校教育功労者(15名)

福島市立福島第一小学校校長	齋藤 吉成
福島市立福島第四中学校校長	福地 憲司
郡山市立郡山第二中学校校長	飯村 新市
白河市立白河第二小学校校長	芳賀 祐司
会津若松市立行仁小学校校長	神田 順一
会津若松市立第四中学校校長	寺木 誠伸
南会津郡南会津町立田島小学校校長	川島 敬章
相馬市立中村第一中学校校長	山野辺藤夫
双葉郡浪江町立浪江中学校校長	笠井 淳一
いわき市立平第一中学校校長	折笠 文昭
福島県立福島高等学校校長	菅野 誠
福島県立橋高等学校校長	青山 修身
福島県立福島明成高等学校校長	佐久間秀夫
福島県立白河高等学校校長	太田 孝
福島県立磐城高等学校校長	阿部 正春

(3) 社会教育関係

ア 社会教育功労者(3名)

(前)国見町社会教育委員	佐藤 富子
(前)会津坂下町八幡コミュニティセンター事務局長	佐藤 房枝
ボーイスカウト福島連盟副連盟長	増子 恵二

イ 功績顕著な団体・施設(3団体・3施設)

〈社会教育団体〉

三春町立沢石小学校父母と教師の会
只見町立朝日小学校父母と教師の会
新地町立駒ヶ嶺小学校父母と教師の会

〈社会教育施設〉

福島市渡利学習センター
下郷町公民館
広野町公民館

(4) 文化財保護関係

ア 文化財保護功労者(2名)

(元)矢祭町文化財保護審議会議長	佐藤 庄平
(前)昭和村文化財保護審議会委員長	羽染 兵吉

(5) 学校体育・学校保健関係

ア 学校保健功労者(2名)

二本松市立杉田小学校学校歯科医	安齋 勲
(前)福島県立若松商業高等学校学校医	吉田 眞理

(6) へき地教育関係

ア へき地教育功労者(1名)

南会津郡南会津町立桧沢小学校校長	星 俊夫
------------------	------

イ 功績顕著な団体(2団体)

喜多方市立山都中学校
河沼郡柳津町立西山小学校

(7) 特別支援教育関係

ア 特別支援教育功労者(2名)

福島県立須賀川支援学校校長	鹿目 敦子
福島県立あぶくま支援学校校長	古河志津子

(8) 永年勤続関係

	小学校	中学校	県立学校	教育庁	計
校長	30	18	8		56
教頭	32	15	19		66
教員	228	147	181		556
計	290	180	208	17	695

(9) 特別功績者

ア 児童・生徒(団体)の部(6団体)

- 福島市立野田小学校マーチングバンドクラブ
- 猪苗代町立猪苗代中学校男子バドミントン部
(富岡町立富岡第一中学校男子バドミントン部)
- 猪苗代町立猪苗代中学校女子バドミントン部
(富岡町立富岡第一中学校女子バドミントン部)
- 安積黎明高等学校かるた部
- ふたば未来学園高等学校バドミントン部
- 磐城高等学校放送委員会

イ 優秀教職員の部(24名)

本宮市立五百川小学校	教 諭	小林 真一
郡山市立芳賀小学校	教 諭	小松 健二
郡山市立行徳小学校	教 諭	遊佐 和江
平田村立蓬田小学校	教 諭	田中 知
中島村立滑津小学校	教 諭	前林 伸也
棚倉町立社川小学校	教 諭	齋藤美佳子
塙町立塙小学校	教 諭	近藤 靖子
塙町立笹原小学校	教 諭	戸井田 修
会津若松市立一箕小学校	教 諭	菅野 総一

磐梯町立磐梯第二小学校	養護教諭	佐藤 明美
猪苗代町立吾妻小学校	教 諭	小椋千恵子
南会津町立南郷小学校	教 諭	三瓶 克
国見町立県北中学校	教 諭	根本 晃宏
郡山市立郡山第五中学校	教 諭	柳沼 利尚
白河市立表郷中学校	教 諭	加藤真理子
中島村立中島中学校	教 諭	安齋 宏子
新地町立尚英中学校	養護教諭	渡邊 順子
福島県立福島工業高等学校	教 諭	桑折 博明
福島県立安達東高等学校	教 諭	遠藤 智子
福島県立安達東高等学校	実習教諭	菱沼 義和
福島県立安積黎明高等学校	教 諭	祓川 晃
福島県立清陵情報高等学校	教 諭	鈴木 仁
福島県立田島高等学校	教 諭	春日 智志
福島県立平工業高等学校	教 諭	齋藤 裕文

清野 要(教育功勞 元福島市立清明小学校長)
 星 憲隆(教育功勞 元会津若松市立謹教小学校長)

(3) 高齢者叙勲(平成29年4月1日～平成30年3月1日発令)

ア 瑞宝小綬章(教育功勞)
 峯川 光生(元福島県立小名浜水産高等学校長)
 佐藤 禎助(元福島県立白河高等学校長)
 遠藤 孝(元福島県立若松女子高等学校長)
 渡邊 貞綱(元福島県立双葉高等学校長)
 永山 理吉(元福島県立磐城農業高等学校長)

イ 瑞宝双光章(教育功勞)
 西関 良光(元郡山市立三町目小学校長)
 蛭田 早苗(元いわき市立菊田小学校長)
 山野辺 久(元浪江町立東中学校長)
 吉川 浩先(元相馬市立養護中学校長)
 渡邊 一夫(元郡山市立小山田小学校長)
 佐藤 常春(元舘岩村立舘岩小学校長)
 伊藤 二郎(元飯野町立飯野小学校長)
 野中 儀一(元田島町立田島小学校長)

目黒 寅一(元熱塩加納村立加納小学校長)
 五十嵐 實(元河東町立河東第三小学校長)
 菊池 理夫(元矢祭町立関岡小学校長)
 芳賀伊南雄(元南郷村立南郷第一小学校長)
 吉川 貞司(元郡山市立小原田中学校長)
 吉田 泉洲(元いわき市立植田中学校長)
 折笠 仙衛(元郡山市立安積第一小学校長)
 菅野 次男(元二本松市立岳下小学校長)
 工藤 忠(元福島市立信夫中学校長)
 志賀 孝一(元いわき市立内町小学校長)
 宗像 金三(元郡山市立朝日が丘小学校長)
 井戸沼哲夫(元中島村立滑津小学校長)

佐久間末雄(元大越町立上大越小学校長)
 新保 光昭(元会津坂下町立金上小学校長)
 仁科 武芳(元棚倉町立棚倉中学校長)
 橋本 壽己(元郡山市立上伊豆島小学校長)
 米畑 勇(元福島市立福島第一小学校長)
 渡部 幸久(元猪苗代町立猪苗代小学校長)
 松坂 昭造(元大玉村立大山小学校長)
 室井 和秀(元田島町立田島第二小学校長)
 渡邊 友綱(元いわき市立永戸小学校長)
 金子 忠雄(元福島市立蓬萊中学校長)
 木實谷俊彦(元福島市立岡山小学校長)
 小泉 勾一(元郡山市立多田野小学校長)
 井関 鉄雄(元会津若松市立城北小学校長)
 宇田 俊雄(元猪苗代町立千里小学校長)
 大塚 克正(元中島村立吉子川小学校長)
 草野 美憲(元檜葉町立檜葉北小学校長)
 佐藤 宗意(元田島町立田島中学校長)
 白岩 勇(元磐梯町立磐梯第一小学校長)

2 文部科学大臣表彰

(1) 地方教育行政功勞者表彰(6名)

福島県教育委員会委員	小野 榮重
(前)川俣町教育委員会教育長	神田 紀
富岡町教育委員会委員	関本 征司
(前)玉川村教育委員会委員長	富岡ケイ子
磐梯町教育委員会委員	物江 秀典
三春町教育委員会委員	武地 優子

(2) 教育者表彰(3名)

福島県立福島高等学校長	菅野 誠
福島県郡山市立郡山第二中学校長	飯村 新市
福島県双葉郡浪江町立浪江中学校長	笠井 淳一

3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲

(1) 平成29年春の叙勲

ア 瑞宝小綬章

柴崎 茂(教育功勞 元福島県立原町高等学校長)
三好 祥夫(教育功勞 元福島県立福島商業高等学校長)

イ 瑞宝双光章

安藤 重男(教育功勞 元伊達市立伊達中学校長)
大橋 勝彌(教育功勞 元福島市立福島第四中学校長)
國分 幸男(教育功勞 元二本松市立二本松南小学校長)
齋藤 就治(教育功勞 元会津若松市立鶴城小学校長)
佐藤 正(教育功勞 元いわき市立小名浜第一中学校長)
鈴木 充正(教育功勞 元喜多方市立第一小学校長)

(2) 平成29年秋の叙勲

ア 瑞宝小綬章

荒 正文(教育功勞 元福島県立郡山養護学校長)
郡司 正孝(教育功勞 元福島県立会津工業高等学校長)

イ 瑞宝双光章

芦沢 健(教育功勞 元会津坂下町立第一中学校長)
岩橋 紀男(教育功勞 元猪苗代町立猪苗代中学校長)
遠藤 久夫(教育功勞 元郡山市立宮城小学校長)
齋藤 齊(教育功勞 元郡山市立郡山第一中学校長)

(4) 死亡叙位・叙勲

《平成 29 年度》

ア 正五位

峯川 光生 (元福島県立小名浜水産高等学校校長)

イ 従五位・瑞宝小綬章

佐藤 雄吉 (元福島県立郡山商業高等学校校長)

若林 吉男 (元福島県立福島北高等学校校長)

渡邊 良二 (元福島県立東白川農商高等学校校長)

ウ 従五位・瑞宝双光章

横山 恒廣 (元田島町立田島小学校校長)

鈴木 幸男 (元二本松市立杉田小学校校長)

眞部 修一 (元山都町立山都第一小学校校長)

エ 従五位

三田 和夫 (元岩代町立小浜小学校校長)

河原田 勉 (元会津若松市立一箕小学校校長)

二瓶 政郎 (元河東町立第一小学校校長)

矢橋 俊夫 (元二本松市立二本松南小学校校長)

星 輝雄 (元会津若松市立一箕中学校校長)

佐久間文二 (元岩代町立小浜中学校校長)

影山 熊男 (元郡山市立柴宮小学校校長)

円谷 恒衛 (元郡山市立芳賀小学校校長)

菊池 力衛 (元福島県立喜多方高等学校校長)

飯野 信一 (元いわき市立小名浜第二中学校校長)

村岡房之助 (元福島市立福島第二小学校校長)

加藤 茂雄 (元福島市立岳陽中学校校長)

オ 正六位・瑞宝小綬章

尾形 秀重 (元福島県立耶麻農業高等学校校長)

吉田 宏 (元福島県立安達高等学校校長)

カ 正六位・瑞宝双光章

三瓶 博章 (元郡山市立郡山五中学校校長)

根本 敏雄 (元郡山市立芳山小学校校長)

角田七兵衛 (元喜多方市立第二小学校校長)

佐竹 幸一 (元喜多方市立関柴小学校校長)

大平 洋 (元いわき市立宮小学校校長)

高橋 重義 (元福島市立福島第一小学校校長)

齋藤 實 (元霊山町立石田小学校校長)

安田 清吾 (元本宮町立第一中学校校長)

塩田 重男 (元鏡石町立鏡石中学校校長)

桑名 昌徳 (元いわき市立勿来第一小学校校長)

渡部 迪弘 (元いわき市立小名浜第一小学校校長)

田中 薫 (元伊達町立伊達中学校校長)

鈴木 明男 (元小野町立小野中学校校長)

菅野 好男 (元福島市立福島第二中学校校長)

佐藤 雄一 (元船引町立船引小学校校長)

須田伊勢夫 (元白河市立白河第四小学校校長)

伊藤 幹男 (元安達町立油井小学校校長)

三次 信行 (元会津若松市立大戸小学校校長)

松田 守弘 (元白河市立五箇中学校校長)

佐藤 好文 (元喜多方市立第二中学校校長)

キ 正六位

只野 安福 (元鹿島町立上真野小学校校長)

小林 隆夫 (元古殿町立本宮小学校校長)

渡部 多吉 (元会津若松市第二中学校校長)

芳賀伊南雄 (元南郷村立南郷第一小学校校長)

今井 安富 (元福島市立大波小学校校長)

齋藤 啓次 (元いわき市立汐見が丘小学校校長)

大澤堂勝栄 (元東和町立太田小学校校長)

米川 清 (元いわき市立小名浜第三小学校校長)

河越 良平 (元泉崎村立泉崎第一小学校校長)

木村 昭雄 (元いわき市立高坂小学校校長)

横田子之二 (元須賀川市立阿武隈小学校校長)

圓谷甲子藏 (元郡山市立喜久田小学校校長)

沼田 潔 (元いわき市立錦小学校校長)

佐藤 喜義 (元保原町立富成小学校校長)

二瓶 榮志 (元会津若松市立謹教小学校校長)

ク 従六位・瑞宝双光章

力丸 丈夫 (元須賀川市立第一小学校校長)

栗城 好次 (元湯川村立勝常小学校校長)

西間木嘉瑞 (元郡山市立富田東小学校校長)

星 門 (元鏡石町立第二小学校校長)

馬目 正 (元いわき市立高久小学校校長)

矢葺 光政 (元桑折町立醸芳小学校校長)

近藤 義光 (元石川町立野木沢小学校校長)

沼田 良 (元福島市立土湯小学校校長)

渡部喜久男 (元田島町立田島第二小学校校長)

木村富之助 (元会津高田町立第二中学校校長)

佐藤 琢三 (元いわき市立高坂小学校校長)

ケ 従六位

鈴木 啓 (元福島県立二本松工業高等学校校長)

關 ウタ (元福島市立中野小学校校長)

雪下 文衛 (元郡山市立郡山第五中学校校長)

大塚 稔 (元郡山市立橋小学校校長)

園木登美子 (元会津若松市立原小学校校長)

コ 正七位

佐藤 常春 (元飯舘村立舘岩小学校校長)

第13節 奨学育英

1 福島県奨学資金

(1) 貸与金額

区 分	貸 与 月 額	
高等学校	国公立	自宅 18,000 円
		自宅外 23,000 円
	私 立	自宅 30,000 円
		自宅外 35,000 円
高等専門学校	18,000 円	
大 学	国公立	35,000 円
	私 立	40,000 円
入学一時金 (H25～)	(一括貸与) 500,000 円	

(2) 平成 29 年度の貸与状況

ア 募集期間

(7) 在学採用

平成 29 年 4 月入学以降～6 月 30 日

(イ) 震災特例採用

平成 29 年 5 月 1 日～7 月 31 日

イ 奨学生決定

(7) 在学採用

平成 29 年 8 月 3 日

(イ) 震災特例採用

平成 29 年 9 月 15 日

ウ 貸与状況

区 分	継続貸与	新規貸与		計
		応募者	貸与者	
高等学校 (うち震災特例)	474 人 (255 人)	201 人 (101 人)	192 人 (100 人)	666 人 (355 人)
大 学 高等専門学校	306 人	129 人	110 人	416 人
大学等 入学一時金	—	71 人	60 人	60 人
計	780 人	401 人	362 人	1,142 人

2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程 修学資金貸与制度

(1) 貸与月額

定時制課程

1～4 学年 14,000 円

通信制課程

1～4 学年 14,000 円

(2) 平成 29 年度の貸与状況

学 年 別	定時制	通信制	計
1 年 生	0 人	0 人	0 人
2 年 生	0 人	0 人	0 人
3 年 生	0 人	0 人	0 人
4 年 生	0 人	0 人	0 人
計	0 人	0 人	0 人

第3章 教育財政

第1節 平成29年度決算

1 歳入

(1) 一般会計

(単位：千円)

款	項	決算額	%
分 担 金 及 び 負 担 金		0	0.0
	負 担 金	0	0.0
使 用 料 及 び 手 数 料		5,015,169	9.6
	使 用 料	4,885,866	9.4
	手 数 料	129,303	0.2
国 庫 支 出 金		40,498,617	78.3
	国 庫 負 担 金	28,717,230	55.5
	国 庫 補 助 金	11,693,106	22.6
	委 託 料	88,281	0.2
財 産 収 入		378,348	0.7
	財 産 運 用 収 入	39,918	0.1
	財 産 売 払 収 入	338,430	0.6
寄 付 金		26,962	0.1
	寄 付 金	26,962	0.1
繰 入 金		1,408,645	2.8
	特 別 会 計 繰 入 金	12,050	0.1
	基 金 繰 入 金	1,396,595	2.7
諸 収 入		715,201	1.3
	預 金 利 子	0	0.0
	貸 付 金 元 利 収 入	28,790	0.1
	受 託 事 業 収 入	396,176	0.7
	収 益 事 業 収 入	66,198	0.1
	雑 入	224,037	0.4
県 債		3,708,800	7.2
	県 債	3,708,800	7.2
計		51,751,742	100.0

(2) 福島県奨学資金貸付金特別会計

(単位：千円)

款	項	決算額	%
国庫支出金		0	0.0
	国庫補助金	0	0.0
繰入金		282,752	47.2
	一般会計繰入金	282,752	47.2
繰越金		19,020	3.2
	繰越金	19,020	3.2
諸収入		297,284	49.6
	預金利子	9	0.0
	貸付金元利収入	295,701	49.3
	雑収入	1,574	0.3
財産収入		199	0.0
	財産運用収入	199	0.0
計		599,255	100.0

2 歳出

(1) 県予算に占める教育費

(単位：千円)

区分	当初予算額	%	最終予算額	%	決算額	%
県予算	1,718,373,245	100.0	1,752,060,740	100.0	1,556,882,880	100.0
教育費	228,128,899	13.3	233,358,987	13.3	227,717,914	14.7
教育委員会所管分	199,202,812	11.6	203,918,019	11.6	198,628,138	12.8
知事部局所管分	28,926,087	1.7	29,440,968	1.7	29,089,776	1.9
教育委員会所管分総務費	0	0.0	473	0.0	473	0.0
教育委員会所管分災害復旧費	461,279	0.0	723,709	0.0	575,655	0.0

(最終予算額及び決算額には繰越分を含む)

(2) 教育委員会所管目的別予算及び決算状況

(単位：千円)

区分 (款・項・目)	当初予算額	%	最終予算額	%	決算額	%
総務費	0	0.0	473	0.0	473	0.0
総務管理費	0	0.0	473	0.0	473	0.0
諸費	0	0.0	473	0.0	473	0.0
教育費	199,202,812	99.8	203,918,019	99.6	198,628,138	99.7
教育総務費	27,051,940	13.7	25,727,910	12.6	25,583,544	12.9
教育委員会費	10,018	0.0	9,970	0.0	9,398	0.0
事務局費	4,530,598	2.3	4,525,620	2.2	4,502,439	2.3
財務管理費	1,521,424	0.8	1,344,874	0.7	1,306,332	0.7
義務教育指導費	746,829	0.4	658,733	0.3	635,519	0.3
教職員福利厚生費	18,073,956	9.1	17,442,385	8.5	17,435,280	8.8
育英費	1,596,966	0.8	1,196,248	0.6	1,148,644	0.6
恩給及び退職年金費	101,002	0.1	90,482	0.1	89,328	0.0

区分 (款・項・目)	当初予算額	%	最終予算額	%	決算額	%
教育センター費	460,928	0.2	449,379	0.2	446,727	0.2
特別支援教育センター費	10,219	0.0	10,219	0.0	9,877	0.0
小学校費	61,553,308	30.8	61,564,920	30.1	61,551,246	30.9
教職員費	61,553,308	30.8	61,564,920	30.1	61,551,246	30.9
中学校費	40,214,485	20.1	39,801,910	19.5	39,787,063	20.0
教職員費	40,214,485	20.1	39,801,910	19.5	39,787,063	20.0
高等学校費	50,561,395	25.3	55,099,630	26.9	52,539,928	26.4
教職員費	36,191,504	18.1	36,364,106	17.8	36,254,044	18.2
高等学校指導費	620,530	0.3	616,863	0.3	589,760	0.3
高等学校管理費	8,278,603	4.1	8,548,956	4.2	8,353,211	4.2
施設等整備費	1,508,037	0.8	1,523,584	0.6	1,467,096	0.7
農業高等学校実習費	149,827	0.1	154,913	0.1	153,483	0.1
水産高等学校実習費	111,800	0.1	111,800	0.1	105,526	0.1
28～31ふたば未来学園中学・高校整備費	3,691,094	1.8	6,770,178	3.3	4,646,909	2.3
27～29実習船福島丸代船建造費	10,000	0.0	1,009,230	0.5	969,899	0.5
特別支援学校費	14,770,801	7.4	17,987,698	8.8	15,524,131	7.8
特別支援学校費	1,352,718	0.7	1,772,818	0.9	1,521,904	0.8
教職員費	13,319,459	6.7	13,387,648	6.5	13,373,816	6.7
28～32聴覚支援学校福島校整備費	5,000	0.0	668,736	0.3	628,411	0.3
29～32相馬支援学校整備費	93,624	0.0	1,982,486	1.0	0	0.0
29～32聴覚支援学校寄宿舎整備費	0	0.0	176,010	0.1	0	0.0
社会教育費	3,596,628	1.8	2,871,182	1.3	2,788,055	1.3
社会教育総務費	1,169,365	0.6	690,540	0.3	643,549	0.3
図書館費	143,237	0.1	140,510	0.1	134,828	0.1
自然の家費	275,757	0.1	288,283	0.1	284,655	0.1
文化振興費	58,612	0.0	1,000	0.0	1,000	0.0
文化財保護費	713,239	0.4	608,129	0.3	605,145	0.3
美術館費	260,742	0.1	251,279	0.1	246,279	0.1
博物館費	724,688	0.4	641,661	0.3	622,852	0.3
文化財センター費	250,988	0.1	249,780	0.1	249,747	0.1
保健体育費	1,454,255	0.7	864,769	0.4	854,171	0.4
保健体育総務費	250,248	0.1	234,383	0.1	232,750	0.1
学校保健費	239,662	0.1	233,310	0.1	230,929	0.1
体育振興費	964,345	0.5	397,076	0.2	390,492	0.2
災害復旧費	461,279	0.2	723,709	0.4	575,655	0.3
文教施設災害復旧費	461,279	0.2	723,709	0.4	575,655	0.3
公立文教施設災害復旧費	461,279	0.2	723,709	0.4	575,655	0.3
計	199,664,091	100.0	204,642,201	100.0	199,204,266	100.0

(3) 福島県奨学資金貸付金特別会計

(単位：千円)

区分 (款・項・目)	当初予算額	%	最終予算額	%	決算額	%
奨学資金貸付事業費	623,097	100.0	554,491	100.0	538,429	100.0
奨学資金貸付事業費	623,097	100.0	554,491	100.0	538,429	100.0
貸付金	609,859	97.9	529,632	95.5	513,828	95.4
償還金	200	0.0	0	0.0	0	0.0
事務費	13,037	2.1	12,809	2.3	12,551	2.3
一般会計繰出金	1	0.0	12,050	2.2	12,050	2.3
計	623,097	100.0	554,491	100.0	538,429	100.0

第2節 学校教育施設

1 県立学校

(1) 学校建設の概要

平成29年5月1日現在の県立学校の現況は、別表のとおりである。全体を構造的に見ると、鉄筋コンクリート造が73.8%、鉄骨その他造が24.5%と非木造建物が98.3%を占めており、木造建物が1.7%となった。

別表 県立学校建物の現況 (H29.5.1) [確定値]

区分		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
校舎	R	5,583	100.0	639,596	85.3	82,493	92.3	727,672	86.1
	S	0	0.0	95,547	12.7	4,393	4.9	99,940	11.8
	W	0	0.0	15,054	2.0	2,460	2.8	17,514	2.1
	計	5,583	100.0	750,197	100.0	89,346	100.0	845,126	100.0
体育館	R	1,297	100.0	24,122	13.7	4,919	47.4	30,338	16.1
	S	0	0.0	151,131	85.8	5,462	52.6	156,593	83.4
	W	0	0.0	937	0.5	0	0.0	937	0.5
	計	1,297	100.0	176,190	100.0	10,381	100.0	187,868	100.0
寄宿舍	R	0	0.0	11,304	98.6	4,664	96.7	15,968	98.0
	S	0	0.0	164	1.4	101	2.1	265	1.6
	W	0	0.0	0	0.0	57	1.2	57	0.4
	計	0	0.0	11,468	100.0	4,822	100.0	16,290	100.0
計	R	6,880	100.0	675,022	72.0	92,076	88.1	773,978	73.8
	S	0	0.0	246,842	26.3	9,956	9.5	256,798	24.5
	W	0	0.0	15,991	1.7	2,517	2.4	18,508	1.7
	計	6,880	100.0	937,855	100.0	104,549	100.0	1,049,284	100.0

R 鉄筋コンクリート造、S 鉄骨その他造、W 木造

※一部仮設校舎を使用している学校及び別敷地に仮設建物等を用いて学校を開設しているものについては除外している。

磐城農業、双葉、浪江、浪江津島校、富岡、双葉翔陽、ふたば未来学園、相馬農業飯舘校、旧小高商業、富岡養護

※構成比率は小数点第2位以下四捨五入

※特別支援学校には視覚・聴覚支援学校面積を含む

(2) 平成 29 年度事業実績

ア 高等学校一般施設整備事業

事 項	校数	学 校 名	事 業 費 (決算額)	財 源 内 訳		
				国 庫	その他	県 費
大規模改造事業	15	福島東、二本松工業、安積、郡山商業、郡山 北工業、清陵情報、白河、白河実業、修明、 磐城、平商業、湯本、遠野、相馬農業、原町	千円 283,490	千円 22,108	千円 34,681	千円 226,701
合 計	15		283,490	22,108	34,681	226,701

イ 特別支援学校施設整備事業(一般施設)

事 項	校数	学 校 名	事 業 費 (決算額)	財 源 内 訳		
				国 庫	その他	県 費
大規模改造事業	6	視覚支援、大笹生支援、須賀川支援、 猪苗代支援、西郷支援、いわき支援	千円 43,392	千円 4,152	千円	千円 39,240
合 計	6		43,392	4,152	0	39,240

2 幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校(市町村立分)

(1) 構造物保有面積

平成 29 年 5 月 1 日現在 [確定値]

区 分	小学校		中学校		小・中学校計		特別支援学校		幼稚園		
	面 積	構成比	面 積	構成比	面 積	構成比	面 積	構成比	面 積	構成比	
	m ²	%	m ²	%	m ²	%	m ²	%	m ²	%	
校 舎	R	1,423,940	97	863,983	96	2,287,923	96	2,461	66	30,775	29
	S	30,585	2	20,661	2	51,246	2	1,290	34	46,239	44
	W	20,973	1	15,473	2	36,446	2	0	0	28,275	27
	計	1,475,498	100	900,117	100	2,375,615	100	3,751	100	105,289	100
屋 内 運 動 場	R	154,953	43	132,638	52	287,591	47	391	94	0	0
	S	203,738	56	118,634	47	322,372	52	26	6	0	0
	W	3,318	1	1,762	1	5,080	1	0	0	0	0
	計	362,009	100	253,034	100	615,043	100	417	100	0	0
寄 宿 舎	R	65	100	2,427	83	2,492	84	0	0	0	0
	S	0	0	312	11	312	10	0	0	0	0
	W	0	0	172	6	172	6	0	0	0	0
	計	65	100	2,911	100	2,976	100	0	0	0	0
計	R	1,578,958	86	999,048	86	2,578,006	86	2,852	68	30,775	29
	S	234,323	13	139,607	12	373,930	13	1,316	32	46,239	44
	W	24,291	1	17,407	2	41,698	1	0	0	28,275	27
	計	1,837,572	100	1,156,062	100	2,993,634	100	4,168	100	105,289	100

R 鉄筋コンクリート造、 S 鉄骨その他造、 W 木造

※楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全学校及び従来の施設の全てが被災等により
使用できず、仮設建物等を用いて学校を開設しているものについては除外している。

※構成比率は小数点以下四捨五入

※各町村立学校の面積等においては、施設台帳管理システムにて入力された内容を参照した。

(2) 公立学校施設整備事業（市町村分実績額）

平成 29 年度

区分	単年度		国庫債務負担行為	
	学校数	負担金及び交付金(千円)	学校数	負担金及び交付金(千円)
公立小学校校舎の 新增築	0	0	1	65,190
公立中学校校舎の 新增築	1	51,137	—	—
公立小学校 屋内運動場の 新增築	1	54,107	0	0
公立中学校 屋内運動場の 新增築	0	0	—	—
公立小・中 学校の統合	3	565,311	1	434,753
公立小・中 学校危険 建物の改築	3	172,481	—	—
公立小・中 学校不適格 建物の改築	3	159,462	—	—
屋外環境整 備	3	52,393	—	—
大規模改造	16	247,986	—	—
地震補強	15	278,724	—	—
地震改築	0	0	—	—
公立幼稚園 の新增築	1	5,596	—	—
太陽光発電	4	37,857	—	—
防災機能強 化	5	29,460	—	—
地域連携	1	10,178	—	—
計	(延べ校 数) 56	1,664,692	(延べ校 数) 2	499,943

第 3 節 産業教育設備整備事業

1 産業教育施設・設備の整備

高等学校産業教育施設・設備等整備

県立高等学校における産業教育のための設備促進を図った。
平成 29 年度における実施状況は次のとおりである。

設備

(1) 県単独事業

老朽設備の整備 233,747 千円

第 4 節 理科教育振興法補助事業

平成 29 年度の設備現有状況は次のとおりである。

1 理科設備

学校規模別設備現有状況

平成 30 年 3 月 31 日現在

区分 規模別	学校 数	基準金額	現有金額	現有 率
高校 I	88	9,187,632,000	1,106,142,935	12.0
高校 II	0	0	0	—
小計	88	9,187,632,000	1,106,142,935	12.0
盲学校	1	170,615,000	5,389,060	3.2
聾学校	4	149,698,000	10,716,975	7.2
特別支援学校	18	1,093,972,000	36,660,401	3.4
小 計	23	1,414,285,000	52,766,436	3.7

2 算数・数学特別設備

学校規模別設備現有状況

平成 30 年 3 月 31 日現在

区分 規模別	学校 数	基準金額	現有金額	現有 率
高校 I	88	187,252,000	71,584,023	38.2
高校 II	0	0	0	—
小計	88	187,252,000	71,584,023	38.2
盲学校	1	3,180,000	42,400	1.3
聾学校	4	5,951,000	616,443	10.4
特別支援学校	18	40,480,000	4,575,459	11.3
小 計	23	49,611,000	5,234,302	10.6

※規模別の高校 I は学級数合計が 27 学級以下、

高校 II は学級数合計が 28 学級以上の学校が対象となり、
現在は 28 学級以上の学校は無い。

第 5 節 情報処理設備整備事業

平成 29 年度における事業実施状況は次のとおりである。

1 県単独事業

(1) 教育用コンピュータの整備

83 校（リース・保守） 346,143 千円

(2) 校内 LAN 保守

108 校（特別支援・分校含む） 13,641 千円

第6節 体育施設

1 公立学校施設整備費補助（学校体育諸施設補助）

平成29年度における補助事業実施状況は次のとおりである。

(1) 水泳プール（屋外）

設置者名	施設名	水面積(m ²)	上屋面積(m ²)	交付金額(千円)
郡山市	西田学園(義務教育学校)	325	600	32,102
須賀川市	第二小学校	395	—	21,609

(2) 中学校武道場

設置者名	施設名	面積(m ²)	交付金額(千円)
平田村	ひらた清風中学校(Ⅱ期)	270	10,789

2 社会体育施設整備費補助

(1) 地域スポーツセンター

設置者名	施設名	面積(m ²)	交付金額(千円)
福島市	福島体育館(Ⅰ期)	1,200	64,769

(2) 地域武道センター

設置者名	施設名	面積(m ²)	交付金額(千円)
福島市	福島市武道館(Ⅰ期)	879	61,382

(3) 社会体育施設耐震化

設置者名	施設名	面積(m ²)	交付金額(千円)
郡山市	逢瀬体育館	1,050	11,665

第4章 教育の情報化

第1節 基盤整備

県立学校、図書館、美術館及び博物館等の教育関係機関が専用イントラネット及び電子メール等のインターネットサービスを利用できるよう、平成11年度から県教育センターを拠点として運用している「うつくしま教育ネットワーク」の利便性の維持を図っている。

特に、メールシステムについては、教員の多忙化解消等の視点を踏まえ、グループウェア機能を持つ Google 社の運営する G Suite for Education を活用した「ふくしま教育クラウドサービス (FCS)」の本格運用を開始した。

また、県立学校の教職員が校務に使用するパソコンについては、平成21年度までに、県立学校に教員1人1台に相当するパソコンの配備を行ったが、平成29年度はWindows 7のサポート期限到来に備え、2,517台の更新・配備を行った。

さらに、Webシステムについては、情報発信の強化と作業の効率化を図るため、福島県のWebシステム及びNetCommons3を活用したCMS (コンテンツ・マネジメント・システム) の県立学校を含む教育庁機関への導入を開始した。

うつくしま教育ネットワークのサービス

・ホームページの利用環境

学校や教育関係機関等がウェブサイトを設置できるスペースを提供し、取組や研究成果などを広く共有する場を提供する。

・電子メールサービス

電子メールアカウントを、教職員、学校、教育関係機関等に発行する。

・不適切情報のフィルタリング

児童・生徒に触れさせたくない情報をネットワーク拠点で一元的に管理し、教育にふさわしい情報の提供を行う。

・セキュリティやウィルス等への対策

・コミュニケーション環境 (メーリングリスト、メールマガジン等)

過去10年間の県立学校基盤整備状況

年度	教職員PC配備実績	校内LAN整備
H20	735台	
H21	2,049台	7校
H22	0台	
H23	316台 ※1	
H24	1,395台 ※2	1校
H25	814台 ※2	
H26	0台	
H27	0台	
H28	228台 ※3	
H29	2,517台 ※4	

※1 東日本大震災に伴うサテライト拠点校等への緊急配備

※2 WindowsXPのサポート終了に伴う更新等

※3 Windows Vistaサポート終了に伴う更新等

※4 Windows 7サポート終了に伴う更新

学校の基盤整備状況 (小・中・高・特別支援学校)

項目	福島県	全国平均
コンピュータ1台当たりの児童生徒数	5.0人	5.6人
校務用PCの整備率	118.4%	120.0%
普通教室のLAN整備率	81.5%	90.2%
普通教室の電子黒板整備率	20.2%	26.7%
超高速インターネット接続率	81.5%	91.5%
統合型校務支援システムの整備率	8.9%	52.7%

文部科学省調べ(平成29年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(H30.3現在)(速報値))

第2節 人材の育成・活用

すべての教員がコンピュータを操作でき、コンピュータを用いて指導できることを目指して、研修の充実を図っている。

人材の育成状況

項目	福島県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	81.1%	84.8%
授業中にICTを活用して指導する能力	68.0%	76.5%
児童・生徒のICT活用を指導する能力	64.5%	67.1%
情報モラルなどを指導する能力	78.7%	80.6%
校務にICTを活用する能力	75.7%	80.2%

文部科学省調べ(平成29年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(H30.3現在)(速報値))

第5章 義務教育

第1節 概要

今年度は、県内の小・中学校児童生徒の学力の向上を図るため、「授業改善のための定着確認シート活用実践事業」、「ふくしまからはじめよう。学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」、「学力調査研究事業」及び「理数教育優秀教員活用事業」を実施した。また、県内の児童生徒の数学的な考え方や科学的な思考力を高めるため、福島県算数・数学ジュニアオリンピック事業、「科学の甲子園」福島県大会事業を実施した。さらに、少人数教育充実のために、30人程度学級又は少人数指導の教員を配置するなど、各市町村教育委員会への支援を通して、各小・中学校における日々の授業の工夫改善を図り、学力向上に努めた。

生徒指導関係では、「ピュアハートサポートプロジェクト」の一環として、教育センターに学校教育相談員を配置し、電話相談等を実施した。また、小学校24校、中学校133校に文部科学省事業によるスクールカウンセラーを配置し、いじめ問題や不登校等の学校不適応問題への指導援助の強化を図った。また、大震災後、児童生徒がPTSD等にならないように文部科学省事業による緊急スクールカウンセラーを小学校112校、中学校83校に派遣し、心のケアに当たった。

さらに、教育相談研修会や各種絡協議会を開催し、教職員の資質の向上を図った。

第2節 学校管理

1 児童生徒数・学級数と教職員定数

(1) 小学校

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
本校	530	525	512	511	497	489	479	472	468	458	452	444
分室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分校	10	10	9	8	8	6	5	5	5	5	5	5
計	540	535	521	519	505	495	484	477	473	463	457	449
前差	△3	△5	△14	△2	△14	△10	△11	△7	△4	△10	△6	△8

(2) 平成29年度の学級数別学校数(小学校) ※休校が4校、臨時休業が4校(5/1時点)あり、0学級になります。

学級数別	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19～24学級	25学級以上	合計
本校	92	182	102	46	16	438
分室	—	—	—	—	—	—
分校	3	—	—	—	—	3
計	95	182	102	46	16	441
構成比	22	41	23	10	4	100

(3) 中学校

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
本校	240	239	239	237	237	237	236	232	229	224	223	221
分室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	240	239	239	237	237	237	236	232	229	224	223	221
前差	0	△1	0	△2	0	0	△1	△4	△3	△5	△1	△2

※平成19年度から県立中学校を含む。

(4) 平成29年度の学級数別学校数(中学校) ※臨時休業が2校(5/1時点)あり、0学級になります。

学級数別	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19～24学級	25学級以上	合 計
本 校	72	71	56	15	4	218
分 室	—	—	—	—	—	—
分 校	—	—	—	—	—	—
計	72	71	56	15	4	218
構成比	33	33	26	7	2	100

(5) 公立幼稚園の設置状況

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
園 数	218	216	210	209	206	204	201	193	191	184	166	154
園児数	11,742	11,541	11,162	11,083	10,749	9,136	8,646	8,320	8,005	7,590	6,603	6,205

(6) 小学校児童数・学級数の推移

小学校の児童数は昭和34年度が最高で、その後は減少を続けてきた。昭和52年度を境に児童数、学級数とも増加傾向にあったが、昭和60年度を境に児童数が再び減少傾向にあり、学級数も学級編制基準の改善にもかかわらず少しずつ減少している。

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
単 式	5,042	4,950	4,948	4,849	4,795	4,465	4,301	4,197	4,103	4,019	3,883	3,814
複 式	211	218	202	219	197	180	204	203	215	209	225	201
特別支援	326	328	329	333	336	332	350	377	403	440	492	537

年 度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
児 童	121,591	120,270	118,036	116,177	107,043	102,095	99,339	96,776	94,686	92,449	90,657
学 級	5,496	5,479	5,401	5,328	4,977	4,855	4,777	4,721	4,668	4,600	4,552

(7) 中学校生徒数・学級数の推移

中学校の生徒数は昭和37年度が最高となり、その後は減少を続けてきた。昭和56年度を境に生徒数、学級数とも増加傾向にあったが、昭和63年度より再び減少傾向にある。

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
単 式	2,396	2,350	2,311	2,251	2,180	2,089	2,079	2,050	1,997	1,953	1,861	1,792
複 式	5	6	6	7	10	8	8	8	8	8	12	11
特別支援	142	153	162	177	191	187	203	218	233	248	254	267

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
生 徒	66,447	65,234	63,696	62,642	60,746	58,212	56,922	56,262	54,929	53,608	52,194	50,306
学 級	2,543	2,509	2,479	2,435	2,381	2,284	2,290	2,276	2,238	2,209	2,127	2,070

(8) 小・中・特別支援学校条例定数の推移

年度		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
小学校	教員	7,490	7,402	7,293	7,235	7,131	7,028	6,979	6,944	6,850	6,812	6,752
	事務職員	509	505	495	487	474	466	468	467	458	455	443
	充指導主事	26	19	15	22	23	23	25	26	27	29	29
	補充教職員	365	360	353	329	312	293	332	321	309	257	260
	県単独負担教員	305	272	246	211	182	171	170	141	155	153	162
	学校栄養職員	144	145	141	138	128	124	125	123	121	121	122
中学校	教員	4,508	4,450	4,401	4,326	4,361	4,399	4,324	4,337	4,241	4,240	4127
	事務職員	230	231	225	229	228	227	228	229	244	241	230
	充指導主事	58	53	46	42	40	40	38	35	40	40	39
	補充教職員	182	159	178	169	160	150	143	167	167	163	132
	県単独負担教員	219	209	183	166	188	161	160	151	143	144	134
	学校栄養職員	65	64	61	66	67	65	67	69	70	74	72
市立特別支援学校	教員	106	65	64	36	40	46	41	39	32	30	30
	事務職員	6	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2
	補充教職員	8	10	10	12	13	13	13	7	6	6	7
	県単独負担教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学校栄養職員	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1

2 教職員人事・任用

平成29年度人事異動方針

教育に対する県民の期待と要望に応え、第6次福島県総合教育計画に沿った教育施策を推進するとともに、東日本大震災及び東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故からの復興に向けた取組を進め、本県教育の一層の充実と向上発展を目指すためには、適正な人事配置により各学校の教職員組織及び教育庁職員組織を活性化し、教職員の志気の高揚を図らなければならない。

本委員会は、この実現のため、下記の方針に基づき人事異動を行うものである。

I 基本方針

- 1 全県的視野に立ち、適材を適所に配置し、教育効果及び行政効果の向上を図る。
- 2 教育の機会均等の理念に立脚し、各学校の教職員組織の充実と均衡に努めるとともに、第6次福島県総合教育計画に沿った教育施策を推進するため、教育庁職員組織の充実を図る。
- 3 厳正かつ適正な人事を行い、各学校の教職員及び教育庁職員の志気の高揚を図る。
- 4 教育に対する県民の信頼と期待に応えるため、人事の公平性・公正性・透明性の確保に一層努める。
- 5 東日本大震災及び東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う様々な課題に適切に対応するための教員配置等を継続し、復興に向けた取組を進める。

II 重点

1 市町村立学校関係

- (1) 教育の充実を図るため、有能適格な教職員の採用に努めるとともに有為な人材を登用する。
- (2) 教職員組織の充実と均衡を図るため、計画的な異動を推進する。
- (3) 特別支援教育及びへき地教育の充実を図るため、適任者を配置するとともに適正な異動を行う。
- (4) 管理監督の立場となる職への登用に当たっては、その職責の重要性に鑑み、適任者を厳選し、適所に配置する。

2 平成29年度公立小・中学校人事(平成29年3月末公表)

(1) 異動件数

異動件数 2,817 件(前年度 2,980 件) 163 件の減少となった。

(2) 採用について

本年度は 214 名(小学校教諭 130 名、中学校教諭 46 名、養護教諭 19 名、事務職員 13 名、栄養職員 6 名)を新規に採用した。

(3) 異動について

各学校の均衡を図るため、免許状、年齢構成、性別等に考慮して、努めて広域にわたるとともに、各地域の実態に応じ、都市、へき地等相互間の計画的な異動を積極的に行うようにした。

また、東日本大震災後の児童・生徒の学力向上や心のケアに配慮するとともに、警戒区域等にあつて臨時休業中の学校の再開を視野に入れた教職員配置に努め、相双

地区で臨時休業中の学校の教職員については、被災した児童生徒を受け入れている学校に兼務加配として配置した。

(4) 昇任について

ア 管理職への昇任は校長 111 名（小学校 76 名、中学校 35 名、前年度比 6 名増）、教頭 137 名（小学校 90 名、中学校 47 名、特別支援学校 0 名、前年度比 1 名減）、計 248 名で、前年度より 5 名増加した。

イ 女性教員の管理職登用に意を用いた。小学校長 8 名、中学校長 0 名、小学校教頭 9 名、中学校教頭 0 名を登用した。

ウ 教頭の昇任は受考者 493 名に対し、137 名で昇任率は 27.8%となっている。

(5) 退職について

ア 平成 29 年度末の退職者数は 572 名で前年度に比べ 125 名の増である。

イ 退職者の内訳は定年退職者 428 名、勸奨による退職者 105 名、普通退職者 34 名となっている。

ウ 退職者中、校長は 108 名（小学校 74 名、中学校 33 名、市立特別支援学校 1 名）、教頭は 27 名となっている。

3 教育職員免許状の授与状況

平成 29 年度中に本県で授与した教育職員免許状は、総数で 1,576 件あり前年度より 27 件増となっている。

普通免許状は、前年度より 26 件増で 1,486 件、臨時免許状は 2 件減で 87 件、特別免許状は昨年度より 3 件増で 3 件となっている。

普通免許状のうち平成29年度大学卒業者の占める割合は、約80%で、1,189件となっている。

免許状の種類別授与件数は、次のとおりである。

小学校教諭専修免許状	……………	15件
同 一種免許状	……………	142件
同 二種免許状	……………	35件
中学校教諭専修免許状	……………	19件
同 一種免許状	……………	273件
同 二種免許状	……………	14件
同 特別免許状	……………	2件
高等学校教諭専修免許状	……………	26件
同 一種免許状	……………	354件
同 特別免許状	……………	1件
幼稚園教諭専修免許状	……………	0件
同 一種免許状	……………	39件
同 二種免許状	……………	452件
特別支援学校教諭専修免許状	……………	1件
同 一種免許状	……………	28件
同 二種免許状	……………	59件
養護教諭専修免許状	……………	1件
同 一種免許状	……………	0件
同 二種免許状	……………	5件

栄養教諭専修免許状	……………	2件
同 一種免許状	……………	15件
同 二種免許状	……………	6件
特別支援学校自立活動教諭一種免許状	………	0件
小学校助教諭免許状	……………	59件
中学校助教諭免許状	……………	11件
高等学校助教諭免許状	……………	14件
幼稚園助教諭免許状	……………	0件
特別支援学校助教諭免許	……………	3件
特別支援学校自立教科助教諭免許状	………	0件
養護助教諭免許状	……………	0件

4 学校の設置及び統廃合

地域社会における過疎・過密化の進行に伴い地域の事情に応じた教育諸条件の整備充実が図られてきた。学校規模の適正化もその一つであり、地域にあった設置、廃止が計画的に進められている。

公立小・中学校の設置・廃止

	廃止(平成30. 3. 31)	設置(平成30. 4. 1)
小 学 校	福島市立茂庭小学校 郡山市立高野小学校 郡山市立鬼生田小学校 郡山市立三丁目小学校 郡山市立大田小学校 郡山市立根木屋小学校 塙町立常豊小学校 鮫川村立青生野小学校 いわき市立好間第三小学校	浪江町立なみえ創成小学校
中 学 校	郡山市立西田中学校 田村市立移中学校 柳津町立柳津中学校 柳津町立西山中学校	柳津町立会津柳津学園中学校 浪江町立なみえ創成中学校
義 務 教 育 学 校		郡山市立西田学園義務教育学校

5 学校防火

学校火災は、公有財産を消失し、児童生徒に精神的な打撃を与え学校教育の質の低下を招くとともに、教育行政を停滞させるなど、社会に及ぼす物心両面の影響はきわめて大きい。

県教育委員会は、市町村教育委員会の協力のもと、次の観点から、各学校における防火体制を再点検し、その強化を図っているところである。

- ・ 学校防火計画及び防火診断の内容と方法の改善
- ・ 木造校舎を中心とする防火上の施設設備の充実と整備方法の改善
- ・ 児童生徒及び教育関係者の防火意識の高揚と防火訓練の強化

平成 29 年度の学校火災は、市町村立小・中・特別支援学校において発生しておらず、前年度より 1 件減少した。今後とも学校火災の絶無を期するよう努める。

また、昭和 50 年度以降の県内の学校火災は原因別にみると、放火又は放火の疑い、火遊び、たばこの不始末など生徒指導上の問題と関連の深い火災が多く、防火の面からも生徒指導の一層の充実と強化を図る必要がある。なお、原因不明による火災が突出している。

次に、学校の警備状況を見ると、その多くが機械警備となっており、機械が探知した火災情報の確認から消火活動に至るまで、関係者の連携が一層迅速になるよう検討し、改善を図っていくことが重要である。

さらに、灯油、アルコール、シンナー等の燃えやすい物質や混合爆発、発火等の可能性の高い毒劇物・危険物等薬品の保管については、防火上のみならず、防犯上からも厳重な管理を徹底していくことが必要である。

平成 29 年度の学校防火診断の概要及び学校管理の状況は次のとおりである。

(1) 平成 29 年度公立小・中・特別支援学校防火診断項目

- ア 防火体制について
- イ 警備員、代行員の勤務状況について
- ウ 火気関係設備及び取り扱い状況について
- エ 電気設備について
- オ 消防用設備及びその管理について
- カ その他
 - ・ 諸表簿の管理状況
 - ・ 毒劇物・危険物等薬品の保管状況

(2) 学校防火診断の実施と活用

- ア 各学校における防火診断に係る報告を集約し、実施状況や課題を確認した。
- イ 学校事故防止対策研究協議会において、防火診断の結果や実際の学校火災事例等をもとに、防火対策上必要な措置を市町村教育委員会及び各小・中・特別支援学校に指導した。
 - ※ 平成 21 年度より県教育委員会による研修を目的とした学校防火診断は実施しないこととしたが、市町村教育委員会と連携を図りながら、各学校における防火診断の適正な実施を行っていく。

6 へき地対策

(1) へき地学校の状況

ア へき地学校

教育事務所	級地	4 級		3 級		2 級		1 級		準 1 級		特 地		教育事務所指定		計	
		本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校
小 学 校	県 北							2						15		17	0
	県 中					2		3	1	1	1	1	1	28	1	35	4
	県 南			1				1						9		11	0
	会 津					3		4		1				6		14	0
	南会津					7		1						6		14	0
	相 双					2		2		2				4		10	0
	いわき					2		2		1				9	1	14	1
	計	0	0	1	0	16	0	15	1	5	1	1	1	77	2	115	5
中 学 校	県 北							1						8		9	0
	県 中					2		2		1		1		10		16	0
	県 南							1						4		5	0
	会 津					2		4		1				6		13	0
	南会津					4								3		7	0
	相 双					2		2						1		5	0
	いわき					2		2		1				4		9	0
	計	0	0	0	0	12	0	12	0	3	0	1	0	36	0	64	0
総計		0	0	1	0	28	0	27	1	8	1	2	1	113	2	179	5
		0		1		28		28		9		3		115		184	

イ 特別へき地学校数、学級数、児童生徒数、教員数(休校中も含む)

級地	小学校												中学校												合計											
	学校数			児童数			学級数			教職員数			学校数			生徒数			学級数			教職員数			学校数			児童生徒数			学級数			教職員数		
	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計
4級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3級	1	0	1	8	0	8	2	0	2	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	8	0	8	2	0	2	6	0	6			
2級	16	0	16	575	0	575	66	0	66	191	0	191	12	0	12	334	0	334	27	0	27	177	0	177	28	0	28	909	0	909	93	0	93	368	0	368
1級	15	1	16	1050	15	1065	71	2	73	215	4	219	12	0	12	463	0	463	34	0	34	182	0	182	27	1	28	1513	15	1528	105	2	107	397	4	401
準1	5	1	6	186	0	186	17	0	17	56	0	56	3	0	3	88	0	88	7	0	7	42	0	42	8	1	9	274	0	274	24	0	24	98	0	98
特地	1	1	2	53	12	65	6	2	8	13	4	17	1	0	1	30	0	30	3	0	3	18	0	18	2	1	3	83	12	95	9	2	11	31	4	35
教育事務所指定	77	2	79	5260	15	5275	392	2	394	1051	3	1054	36	0	36	3868	0	3868	177	0	177	694	0	694	113	2	115	9128	15	9143	569	2	571	1745	3	1748
合計	115	5	120	7132	42	7174	554	6	560	1532	11	1543	64	0	64	4783	0	4783	248	0	248	1113	0	1113	179	5	184	11915	42	11957	802	6	808	2645	11	2656

(2) へき地教育の振興策

へき地の学校は、概して小規模であり、また、複式学級も多い。したがって、教育条件の改善充実を図るとともに、へき地学校に優秀な教員を確保することが緊要である。

ア へき地教育の人事行政

「平成29年度人事異動方針」第1の2において、「教育の機会均等の理念に立脚し、各学校の教職員組織の充実と均衡に努めるとともに、第6次福島県総合教育計画に沿った教育施策を推進するため、教育庁職員組織の充実を図る」ことを基本として掲げ、これを受けて平成29年度小・中・特別支援学校教職員人事異動実施要項第2の2の(1)において「異動のための区分を設定し、すべての教職員を在職期間中に都市、平地、へき地の勤務を公平に経験させる」こととし、へき地と各地域との計画的な異動の推進を図った。

(ア) へき地異動の地域区分

県内の地域区分を次のとおりとする。

- A地域 市の中心部で比較的交通の便のよい地区及び桑折町、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、三春町、小野町、棚倉町、塙町、会津坂下町、会津美里町、浪江町、富岡町の中心部の学校
- B地域 A及びC地域以外の学校
- C地域 へき地の学校(人事委員会・教育事務所指定の学校)

(イ) 異動基準

a へき地学校勤務については次の基準による。

- へき地学校勤務未了者については、へき地学校へ計画的に転出させる。へき地学校勤務満了者であっても、へき地学校に勤務すべき該当者が少ない場合においては、へき地学校へ計画的に転出させる。
- へき地学校勤務については、別表1による期間勤務した場合は満了とする。ただし、会津ブロック外出身者の会津ブロックへき地学校勤務については、別表2による。
- すでに、へき地学校勤務満了者が、再び相当期間へき地学校に勤務し、都市又は平地の学校に転

出を希望する者については考慮する。相当期間とは、2年以上とする。

別表1 (教員のへき地校勤務年数)

級別	教育事務所指定のへき地	人事委員会指定へき地				
		特地・準1級地	1級地	2級地	3級地	4級地以上
勤続年数	4年以上	3年以上		2年以上		

別表2 (教員のへき地校勤務年数)

会津ブロック外出身者の会津ブロックへき地勤務年数(新採は含まない)	へき地級地別	
	教育事務所指定	特地、準1級地、1級地以上
	3年以上	2年以上

b 他管内へき地等への計画的異動

小学校・中学校等に勤務する教員のうち、学習指導等に実績のある優秀な教員を選考して、他管内へき地等の学校に計画的に異動させ、その教育実践を通して、県内全域の教育の振興・充実を図ることとした。異動先での勤務期間は3年以上である。また、異動先での勤務期間を良好な成績で勤務した者については、教頭昇任選考筆頭試験の一部(指導関係)を免除する施策もあわせて実施した。

イ へき地学校教職員の経済的優遇策

人事委員会指定のへき地学校等に勤務する教職員に対し、次の手当が支給される。

- へき地手当等の支給

勤務するへき地学校等の級別区分に応じて、次のとおり支給される。

級地	手当額	支給割合
4級地	(給料の月額+教職調整額+扶養手当)×支給割合	20/100
3級地		16/100
2級地		12/100
1級地		8/100
準1級地		4/100

(注) 給料の月額=給料月額+給料の調整額

○ へき地手当に準ずる手当

へき地学校等又は特別の地域に所在する学校等（人事委員会指定）へ、異動に伴い住居を移転した場合に支給される。

- ・異動日から5年間

(異動等の日における給料の月額+教職調整額+扶養手当)×4%

- ・5年を経過した後の1年間

(異動等の日における給料の月額+教職調整額+扶養手当)×2%

ウ へき地学校教職員の配置に対する特別措置

へき地教育振興法第4条の2項に「都道府県は、へき地学校に勤務する教員及び職員の決定について特別の考慮を払わなければならない。」とあり、本県としてもへき地学校教職員及び養護教員、事務職員等の配置について特別措置を講じている。

(3) 今後の課題点

ア へき地学校の教職員配置の改善を図ること。

へき地学校の教職員の年齢構成からみて、中堅教員が少ない傾向にある。今後中堅教員を計画的にへき地に配置していく必要がある。

また、へき地に勤務する教職員の優遇策や地元の受け入れ態勢の整備充実にいっそう努力する必要がある。

イ 都市・平地とへき地との人事異動を推進すること。

へき地学校勤務未了者を解消するため、これまでも計画的に平地、へき地の異動を推進してきた。今後一層計画的、広域的な異動を推進する必要がある。

第3節 学校教育

1 概要

(1) 指導行政の基本方針

平成22年3月に策定した本県の教育施策を総合的・計画的に推進するための指針である「第6次福島県総合教育計画」(平成25年3月改定)では、「“ふくしまの和”を奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」を基本理念に、

- ① 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
- ② 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- ③ 豊かな教育環境の形成

の3つの基本目標のもと、平成27年度の成果を踏まえるとともに、引き続き、震災後の本県学校教育分野の復興に適切に対応するため、事業を展開してきた。

特に、「夢や希望の実現に向けた、たくましく生き抜く力を育む教育の推進」「学校、家庭、地域の連携・協力による、総合的な教育力の向上」「安全・安心で魅力ある教育環境の充実」を、重視する3つの観点として、学校教育の推進を図ってきた。

(2) 指導組織

各課長を中心に、主幹、主任指導主事、指導主事及び各教育事務所学校教育課長、指導主事、各市町村教育委員会指導主事等(下表)によって、幼稚園、小学校、中学校の指導に当たった。

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
指導主事数 (学校教育課長を含む)	11	13	9	13	7	12	9	74
市町村教育委員会 指導主事等数	27	44	12	15	1	15	19	133

(3) 学校教育指導の重点

学習指導要領の趣旨を踏まえ、「確かな学力」「豊かな人間性・社会性」の育成を図るため、教育課程の改善・充実、学習指導と生徒指導の充実に努めた。

ア 教育内容・方法の改善充実に努めた。

(7) 「学校教育指導の重点」などにより、具体的な実践例を紹介したり指導の重点を示したりし、授業の改善が図られるようにした。

(イ) 本県教育行政の推進を図るため、指導担当者の資質向上のための研修に努めた。

- 指導担当者研究協議会
- 主任指導主事等会議
- 学力向上担当指導主事会議
- 生徒指導担当指導主事会議

(ウ) 小・中学校教育課程研究協議会を開催し、学習指導要領の趣旨の徹底と教員の指導力向上を図った。

○ 対象者 各校長・教頭及び教務主任等のうちから各校1名参加

(エ) 福島県小・中学校教育研究会を共催し、教育課程実施上の諸問題を研究し、その改善・充実に努めた。

(オ) 各種研究学校(地区)を指定し、指導内容や指導方法の改善・充実に努めた。

- 文部科学省及び国立教育政策研究所の研究委託による研究指定校等
 - ・ 道德教育総合支援事業 ほか
- 県教育委員会による研究指定校
 - ・ 「学びのスタンダード」推進事業 ほか

イ 教職員の資質と指導力の向上に努めた。

- (7) 小学校、中学校初任者研修の実施
- (イ) 事務職員、教職経験者、校長研修会、新任校長、新任教頭、新任教務主任等の研修会の実施
- (ウ) 中央研修講座への派遣
- (エ) 長期研修生(内地留学)の派遣
- (オ) 教育研究団体に対する援助と指導
- (カ) 教職員研究論文の募集

ウ 免許外教科担当教員の研修の充実と指導力の向上に努めた。

(ア) 中学校免許外教科担任教員研修会

エ 幼稚園教育担当教員の研修の充実と指導力の向上に努めた。

(ア) 幼稚園等新規採用教員研修

(イ) 幼稚園経験者研修Ⅱ

(ウ) 幼稚園教育理解推進事業中央協議会

(エ) 幼稚園教育課程研究協議会

(オ) 幼児教育実技研修会

オ 生徒指導の充実に努めた。

(ア) 運営協議会を開催し、生徒指導の充実に努めた。

○ 不登校・いじめ等対策推進運営協議会(2回)

(イ) 各種研修会を実施し、生徒指導の充実・改善に努めた。

○ 不登校・いじめ等対策域別研修会

(県内7地区開催)

(ウ) ピュアハートサポートプロジェクトを実施した。

いじめの問題の解消とその未然防止に努めるとともに、不登校等の学校不適応問題の解決に努めた。

○ 教育相談体制の充実

- ・ スクールカウンセラー等活用事業
- ・ 緊急時カウンセラー派遣事業
- ・ 学校教育相談員(教育センターに配置)
- ・ スクールカウンセラー緊急派遣事業(震災対応)
- ・ スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業
- ・ 子ども24時間いじめ電話相談
- ・ サポートティーチャー派遣事業

○ 道徳教育の充実

- ・ 道徳教育総合支援事業
- ・ 道徳教育推進校による実践研究(7地区)

○ 教育相談専門研修及び関係機関との連携強化

カ 社会の変化に対応した教育の充実に努めた。

(ア) 情報化社会への対応

○ 学校におけるコンピュータ等の整備(市町村教委)

(イ) 国際化への対応

○ 語学指導等を行う外国青年招致事業の実施

○ 140名の外国JET青年の受入れ(101名を市町村教育委員会が配置)

(4) 県立中学校入学者選抜

ア 基本方針

「平成30年度福島県立中学校入学者選抜における基本方針」

県立中学校入学者選抜に当たっては、適性検査及び作文の成績、面接の結果、並びに小学校の校長から提出される調査書を資料として、志願者の意欲・能力・適性等を総合的に判定し、入学予定者を決定するものとする。

(ア) 選抜の資料は次のとおりとする。

a 適性検査

問題発見・解決能力、思考力、判断力、表現力等、小学校における教育において身に付けた総合的な力をみる。

b 作文

与えられた課題について、考えたことや感じたことなどをまとめ表現する力をみる。

c 面接

志願者の目的意識、意欲や長所等をみる。

d 調査書

小学校での学習や生活の状況をみるために、各教科の学習の記録、外国語活動の記録、総合的な学習の時間の記録、特別活動の記録、行動の記録などが記載された調査書を選抜資料に用いる。

なお、調査書は福島県教育委員会教育長が定める様式及び調査書作成要領に基づき、志願者の在学している小学校の校長が作成する。

(イ) 入学予定者の決定に当たっては、次の手順で行う。

まず、適性検査及び作文の成績の合計並びに調査書の成績のいずれもが定員内にある者で、かつ、調査書の記載事項及び面接の結果に特に問題のない者を入学予定者とする。

次に、その他の者については、適性検査及び作文の成績、調査書の記載事項並びに面接の結果を十分に精査して、総合的に判定し、入学予定者を決定する。

(ウ) 選抜結果については、志願者及び志願者の在学している小学校の校長に通知するものとする。

(エ) 入学辞退その他の理由により入学予定者の定員に欠員が生じた場合は、入学予定者とならなかった者の中から速やかに新たな入学予定者を決定し、入学の意思を確認の上、補充するものとする。

イ 入学者選抜関係日程

6月8日 第1回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

7月18日 第2回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

8月22日 県立中学校・高等学校入学者選抜方法の改善等に関する調査研究報告書提出

10月3日、10月6日 県中及び会津地区で入学者選抜実施要綱説明会実施

10月20日 平成30年度入学者募集定員決定

12月4日～12月8日 出願書類受付

1月6日 適性検査、作文及び面接

1月12日 選抜結果通知書の発送

1月15日～1月19日 入学確約書提出

1月22日～1月26日 欠員補充

2 現職教育

(1) 教職員等中央研修

ア 趣旨

校長、教頭、中堅教員に対し、学校の管理運営、学習指導などの諸問題について、それぞれの職務に必要な研修を行い、その識見を高め、指導力の向上を図る。

イ 主催 独立行政法人教職員支援機構

ウ 共催 文部科学省

エ 会場 独立行政法人教職員支援機構

オ 期間及び参加者

◇校長研修

6月13日(火)～6月16日(金)

二本松市立岳下小学校	大内 剛
鮫川村立鮫川中学校	小林 敏史
郡山市立行健小学校	土屋 光啓
郡山市立喜久田中学校	柳沼 久裕

◇副校長・教頭研修

7月24日(月)～8月4日(金)

伊達市立栗野小学校	教頭	佐々木誠一郎
天栄村立天栄中学校	教頭	本田 一意

2月5日(月)～2月16日(金)

福島県教育センター	指導主事	松浦 秀行
-----------	------	-------

◇中堅教員研修

7月18日(火)～8月4日(金)

田村市立船引小学校	小林 勇二
福島市立平野小学校	廣井 亮
下郷町立檜原小学校	星 徹
郡山市立橋小学校	吉田 明史

8月7日(月)～8月25日(金)

会津若松市立北会津中学校	荒川 真彦
富岡町立富岡第一中学校	志賀 仁
郡山市立郡山第一中学校	穴戸 直樹

1月9日(月)～1月26日(金)

磐梯町立磐梯第二小学校	江川 洋介
-------------	-------

(2) 各種研修会

ア 福島県公立学校長研修会地区別研修会(公立小・中・特別支援学校長、県立学校長)

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 管内・期日・会場・参加人数【参加740名】

- 県北 6月23日(金)
【伊達市ふるさと会館】 159名
- 県中 8月9日(水)
【郡山市中央公民館】 176名
- 県南 6月26日(月)
【白河合同庁舎】 69名
- 会津 6月28日(水)
【湯川村公民館・ユースピアゆがわ】 116名
- 南会津 6月22日(木)
【御蔵入交流館】 25名

○ 相双 6月21日(水)
【万葉ふれあいセンター】 73名

○ いわき 6月19日(月)
【いわき合同庁舎】 122名

イ 公立小・中・特別支援学校新任校長研修会

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 会場 福島県教育センター

(ウ) 期間・参加人数

4月27日(木)～4月28日(金) 小学校 72名

5月11日(木)～5月12日(金) 中学校 32名

(エ) 講師 義務教育課長 佐藤 秀美 他

ウ 公立小・中・特別支援学校新任教頭研修会

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 会場 福島県教育センター

(ウ) 期間・参加人数

5月9日(火)～5月10日(水) 小学校 83名

5月18日(木)～5月19日(金) 中学校 39名

(エ) 講師 義務教育課主幹 佐藤 由弘 他

エ 公立小・中・特別支援学校新任教務主任研修会

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 管内・期日・会場・参加人数

○ 県北 5月25日(水)【二本松文化センター】
小学校16名 中学校8名 特別支援学校1名

○ 県中 5月12日(木)【郡山合同庁舎】
小学校11名 中学校5名 特別支援学校0名

○ 県南 5月11日(水)【白河合同庁舎】
小学校10名 中学校5名 特別支援学校0名

○ 会津 5月11日(水)【湯川村公民館】
小学校10名 中学校4名 特別支援学校0名

○ 南会津 5月11日(水)【湯川村公民館】
小学校1名 中学校1名 特別支援学校0名

○ 相双 5月17日(火)【南相馬合同庁舎】
小学校7名 中学校3名 特別支援学校0名

オ 公立小・中学校経験者研修(I、II)

(ア) 経験者研修 I

※ 平成29年度は、実施しない。(平成23年度に、教員採用候補者選考試験を行わなかったため)

(イ) 経験者研修 II

○ 主催 福島県教育委員会

○ 期間・会場

a 4月～11月 教育事務所

b 5月～1月 勤務校

c 9月～11月 教育センター

(小) 9月27日(水)～9月29日(金)

(中) 9月12日(火)～9月14日(木)

○ 参加人数(小学校45名、中学校34名)

○ 講師 教育センター依頼の外部講師・大学教授、教育センター指導主事等

カ 公立小・中学校初任者研修

(ア) 校内における研修 150 時間以上

各学校で年間を通じて計画し、実施する。

(イ) 校外における研修 22 日間

a 地区別研修A

(7 日間、各教育事務所の計画による)

- ・ 一般研修 1 日間
- ・ 授業研修 2 日間
- ・ へき地校研修 1 日間
- ・ カウンセリング研修 2 日間
- ・ 特別支援学校研修 1 日間

b 地区別研修B

(9 日間、各市町村教育委員会の計画による)

- ・ 一般研修 1 日間
- ・ 研究発表集会等研修 5 日間
- ・ 社会奉仕体験活動研修 2 日間
- ・ 他校種園参観研修 1 日間

c 宿泊研修

- ・ 磐梯青少年交流の家 3 日間
- ・ 教育センター 3 日間

(ウ) 参加者数

- a 小学校 95 名
- b 中学校 35 名

キ 公立小・中・特別支援学校事務職員研修

(ア) 新規採用職員研修

- ・ 対象 平成 29 年度新規採用者
- ・ 日数 前期 5 日間、後期 5 日間
- ・ 参加人数 13 名 (小学校 10 名、中学校 3 名)
- ・ 会場 ふくしま自治研修センター

(イ) 基礎力アップ研修

- ・ 対象 採用後 5 年目
- ・ 日数 3 日間
- ・ 参加人数 8 名

(ウ) 応用力アップ研修

- ・ 対象 採用後 9 年目
- ・ 日数 3 日間
- ・ 参加人数 4 名

(エ) 実行力アップ研修

- ・ 対象 採用後 13 年目
- ・ 日数 3 日間
- ・ 参加人数 7 名

(オ) 新任係長研修会

- ・ 対象 新任の主任主査
- ・ 日数 3 日間
- ・ 参加人数 14 名

ク 事務職員研修(小・中学校)

- 主催 独立行政法人教職員支援機構
- 期間 6 月 12 日(月)～6 月 16 日(金)
- 参加人数 2 名(中学校 2 名)
- 会場 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

(3) 教員長期研修

(研修機関、研修期間、研修生)

ア 上越教育大学

(ア) 平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

伊達市立伊達小学校教諭 久能 潤一
会津若松市立小金井小学校教諭 鈴木 崇之

(イ) 平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

喜多方市立塩川小学校教諭 山内 清央
いわき市立川前小学校教諭 遠藤 浩美

イ 福島大学

(ア) 平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

福島市立水原小学校教諭 菅野 卓郎

いわき市立三和小学校教諭 守山 直樹

矢祭町立東館小学校教諭 久野 雄平

矢祭町立石井小学校教諭 村松 弘基

北塩原村立裏磐梯小学校教諭 神尾 洋

いわき市立汐見が丘小学校教諭 星野 尊乗

(イ) 平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

本宮市立本宮第一中学校教諭 吉田 圭祐

郡山市立橋小学校教諭 芳賀 裕

棚倉町立社川小学校教諭 影山 望

鮫川村立鮫川小学校教諭 武田 妙子

いわき市立平第四小学校教諭 大杉 悠人

いわき市立白水小学校教諭 高萩志津子

いわき市立勿来第一中学校 渡邊 康尊

(4) 平成 28 年度産業・情報技術等指導者養成研修(中学校)

教 科	技術・家庭
氏 名	星 由起子
職 名	教諭
学 校 名	南会津町立館岩中学校
研 修 先	国立大学法人横浜国立大学
研修期間	8月1日～8月4日

(5) 教育研究奨励

ア 名称 福島県教職員研究論文

イ 主催 福島県教育委員会

ウ 応募資格 福島県公立幼稚園・小・中・高・特別支援学校の教職員

エ 審査委員

福島大学総合教育研究センター准教授 宗形 潤子

こむこむ館 学習指導員 長尾順一郎

福島市教育実践センター指導員 小山 金也

オ 応募数 35 点

カ 入賞者

(ア) 特選

氏 名・学校名	所 属
教諭 菊地 里紗	福島県立西郷支援学校
(代表) 教頭 高野伸一郎	平成25年度埼玉県併任教員 (騎西小派遣)

(イ) 入選

氏名・学校名	所属
養護教諭 鈴木登志枝	福島市立鳥川小学校
伊達市立保原小学校	団体
栄養教諭 大関三千子	郡山市立朝日が丘小学校
教諭 永戸 千賀	福島県立須賀川支援学校郡山校
塙町立塙小学校	団体
只見町立只見小学校	団体
只見町立朝日小学校	団体
教諭 高野 朋恵	いわき市立大浦小学校

(ウ) 奨励賞

氏名・学校名	所属
田村市立船引小学校	団体
教諭 大竹 葵美	小野町立浮金小学校
磐梯町立磐梯第一小学校	団体
教諭 水野 佳乃	いわき市立好間第一小学校

3 教育課程

(1) 平成29年度福島県小・中学校教育課程研究協議会

〈平成29年度福島県小学校教育課程研究協議会〉

ア 主催 福島県教育委員会

イ 実施期間

県北域内 9月6日(水)

県中域内 9月7日(木)

県南域内 9月12日(火)

会津域内 9月7日(木)

南会津域内 9月14日(木) 小中合同

相双域内 9月15日(金)

いわき域内 9月6日(水)

ウ 実施教科等

総則、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

エ 参加者数 411名

〈平成29年度福島県中学校教育課程研究協議会〉

ア 主催 福島県教育委員会

イ 実施期間

県北域内 9月13日(水)

県中域内 9月12日(火)

県南域内 9月20日(水)

会津域内 9月14日(木)

南会津域内 9月14日(木) 小中合同

相双域内 9月7日(木)

いわき域内 9月12日(火)

ウ 実施教科等

総則、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

エ 参加者数 202名

4 学力向上等

(1) 学力向上推進支援事業

ア 授業改善のための定着確認シート活用実践事業

イ 学力調査研究事業

ウ 学校図書館の活性化実践事業

(2) 「学びのスタンダード」推進事業

(3) 理数教育優秀教員活用事業

(4) 未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業

ア 未来を担うトップリーダー！先端技術体験事業

イ 理数コンテスト事業

(5) 少人数教育推進事業

学力向上や人間性・社会性の育成を総合的・効果的に推進するための「個に応じた指導」の徹底を図るため、チーム・ティーチングや習熟度別等指導、及び30人学級編制等の少人数教育を進め、教員等の目が子ども一人一人に行き届き、きめ細かな指導や評価ができる体制を作る。

○ 30人程度学級

○ 30人学級編制(小1、小2、中1)

5 放射線教育

(地域と共に創る放射線・防災教育推進事業)

身の回りで起こる災害や放射線等に関する問題、取組等に目を向けながら、未来を拓く地域社会の一員として、安全・安心な社会づくりに貢献しようとする態度を身に付けるための支援として、下記の事業等を実施した。

(1) 実践協力校

ア 小学校

会津若松市立行仁小学校

イ 中学校

三春町立三春中学校

西郷村立西郷第一中学校

富岡町立富岡第一・第二中学校

(2) 放射線教育・防災教育フォーラム

ア 主催 福島県教育委員会

イ 期日 平成29年11月15日(水)

ウ 会場 環境創造センター

エ 参加者 約300名

(3) 地区別研究協議会

ア 主催 福島県教育委員会

イ 期日

県北域内 8月23日(水)

県中域内 9月6日(水)

県南域内 11月28日(火)

会津域内 9月21日(金)

南会津域内 9月8日(金)

相双域内 10月24日(火)

いわき域内 8月22日(火)

ウ 参加者数 720名

(4) 運営協議会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期間 4月～2月（5回）
- ウ 参加対象者 本庁関係課、教育事務所、教育センターの担当指導主事等及び実践協力校担当者、放射線・防災教育推進委員
- エ 内容 各種放射線教育研究協議会の企画・立案、実践事例パンフレットの作成及び事業の総括

(5) 「放射線・防災教育実践事例パンフレットvol2」の作成と配布

- ア 発行者 福島県教育委員会
- イ 発行 平成30年3月
- ウ 部数 32,000部

6 防災教育

（地域と共に創る放射線・防災教育推進事業）

地域の自然環境、災害や防災について正しい知識を身に付け、災害発生時における危険を理解し、状況に応じて的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができたり、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができたりする態度及び能力を児童生徒に育成するため、下記の事業等を実施した。

(1) 実践協力校

- 福島市立佐倉小学校
- 只見町立明和小学校
- いわき市立江名中学校

(2) 地区別研究協議会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日
 - 県北域内 8月23日（水）
 - 県中域内 9月6日（水）
 - 県南域内 11月28日（火）
 - 会津域内 10月5日（木）
 - 南会津域内 11月21日（火）
 - 相双域内 10月24日（火）
 - いわき域内 10月3日（火）
- ウ 参加者 688人

(3) 放射線教育・防災教育フォーラム

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日 平成29年11月15日（水）
- ウ 会場 環境創造センター
- エ 参加者 約300名

(4) 運営協議会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期間 4月～1月（5回）
- ウ 参加対象者 本庁関係課、教育事務所、教育センターの担当指導主事等及び実践協力校担当者、放射線・防災教育推進委員
- エ 内容 防災教育地区別研究協議会の企画・立案、指導資料の作成及び事業の総括

(5) 「防災個人カード」の作成と配付

- ア 発行者 福島県教育委員会
- イ 発行 平成29年10月
- ウ 部数 150,000部

(6) 「放射線・防災教育実践事例パンフレットvol2」の作成と配付

- ア 発行者 福島県教育委員会
- イ 発行 平成30年3月
- ウ 部数 32,000部

7 道徳教育

(1) 道徳教育

ア 道徳教育を推進するための中核となる指導者の養成を目的とした研修

(ア) 主催 中央指導者研修

独立行政法人教職員支援機構
ブロック別指導者研修

独立行政法人教職員支援機構、
岩手県教育委員会

(イ) 会場 中央：独立行政法人教職員支援機構

ブロック：ホテルメトロポリタン盛岡
（盛岡市）

(ロ) 期日

中央指導者研修 平成29年5月15日～19日

ブロック別指導者研修 平成29年8月28日～8月30日

〈中央指導者研修〉

氏名	勤務先	職名
村越 洋平	県中教育事務所	指導主事
鈴木 基之	喜多方市立駒形小学校	校長
渡邊 定之	伊達市立松陽中学校	教頭
宍戸みゆき	郡山市立御館小学校	教諭
酒井 静香	郡山市立熱海中学校	教諭
林 裕一	いわき市教育委員会総合教育センター	指導主事

〈ブロック別指導者研修〉

氏名	勤務先	職名
熊澤 正人	南相馬市立原町第三中学校	校長
清野 孝	白河市立白河第三小学校	教頭
坂本 圭介	福島県立小野高等学校	教諭
阿部 美紀	いわき市教育委員会総合教育センター	指導主事

イ 小学校教育研究会道徳部会

(ア) 研究主題

「道徳的価値の自覚と自己の生き方についての考え方を深める指導の充実」

(イ) 主催

福島県小学校教育研究会

(ロ) 会場・期日

各地区ごとに設定

ウ 中学校教育研究会道德部会

(ア) 研究主題

「ふるさとを愛し、ふくしまの未来を拓く、たくましい心を育てるためにはどうすればよいか」
～生徒のよさを引き出し、実践意欲を高める評価の工夫～

(イ) 主催

福島県中学校教育研究会

(ウ) 会場・期日

各地区ごとに設定

(2) 道德教育総合支援事業

ア 趣旨

学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道德教育を推進するための実践研究を行い、その成果を普及することにより道德教育の充実を図る。

イ 福島県道德教育推進協議会

年2回開催（5月31日、2月14日）

ウ 福島県道德教育地区別推進協議会

各事務所ごとに設定、1回開催

エ 道德教育推進校

小学校3校、中学校3校、高等学校1校

オ 「特別の教科道德」の実施に向けた地区別研修会

各事務所ごとに設定、1回開催

カ 道德教育リーフレットの作成

「道德のとびら」（保護者、地域住民及び教職員向け）、
「道德のかけ橋」（教職員向け）

(3) 人権教育

ア 人権教育研究開発事業

○ 趣旨

人権意識を培うための学校教育の在り方について幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を図る。

○ 推進地域

田村市常葉中学校区（田村市教育委員会）幼・小・中学校（1園4校）

○ 研究テーマ

自分を大切にし、他の人も大切に作るやさしい人づくりをめざして

○ 研究期間

平成28・29年度

イ 人権教育指導者養成研修

○ 主催 独立行政法人教職員支援機構

○ 期日 平成29年7月11日～14日

○ 会場 独立行政法人教職員支援機構

○ 参加者 田村市立関本小学校 教頭 吉田 相康
田村市立西向小学校 教諭 中山垂矢子

(4) 「モラル・エッセイ」コンテスト

ア 趣旨

モラルやマナー、いのち、家族、人との絆など、心温まるちょっといいお話、今伝えたいメッセージ等を募集し、

学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちの道徳的実践力を養うとともに、県民一丸となって「生きる力」を身に付ける機会とする。

イ 応募期間

平成29年7月2日～8月31日

ウ 応募数

中学校 1, 408点

高等学校 81点

一般 1点

エ 受賞者

【中学校】

最優秀賞 白河市立表郷中学校 2年 鈴木 渚

優秀賞 会津若松市立河東中学校 2年 巻 那穂

会津若松市立第二中学校 3年 伊藤 要

【高等学校】

最優秀賞 県立視覚支援学校高等部 2年 常松 桜

優秀賞 県立猪苗代高等学校 2年 増子廉大良

県立視覚支援学校高等部 2年 遠藤 未来

【一般】

最優秀賞 いわき市在住 石井 直人

8 特別活動

(1) 県小学校教育研究会特別活動部会

ア 主催 県小学校教育研究会

イ 研究主題

望ましい集団活動を通して、個性の伸長を図るとともに、よりよい生活や人間関係を築き、自主的、実践的な態度を育てる特別活動の指導の充実

ウ 県研究協議会

○ 期日 平成28年10月14日(金)

○ 会場 じょーもびあ宮畑（宮畑遺跡史跡公園）

(2) 県中学校教育研究会特別活動部会

ア 主催 県中学校教育研究会

イ 研究主題

学校の創意工夫を生かし、よりよい集団や社会を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるための特別活動の指導はどうすればよいか。

ウ 県研究協議会

○ 期日 平成28年10月12日(水)

○ 会場 川俣町立川俣中学校

9 生徒指導・進路指導

(1) 生徒指導

ア 生徒指導研究連絡会議

国立教育政策研究所主催

○ 期日 平成29年6月8日

○ 会場 文部科学省講堂

○ 参加者 県教育庁義務教育課

主任指導主事 板橋 竜男

いわき市教育委員会
指導主事 鯨岡 寛泰
田村市教育委員会
指導主事 伊藤 恒明
矢吹町教育委員会
指導主事 川上 一美

相双域内 10月12日(木)
いわき域内 9月15日(金)

ウ 内容
○ 幼稚園教育要領の理解
○ 幼稚園の教育活動及び運営に係る課題と対応策
○ 幼児期における運動遊びに関する講義
エ 参加者数 303名(6地区合計)

イ 生徒指導指導者養成研修

○ 期日 平成29年6月26日～7月7日
○ 会場 独立行政法人教職員支援機構
○ 参加者 南相馬市立原町第二小学校
教諭 荒木 拓志
郡山市立行健小学校
教諭 穴澤 利典

(2) 幼児教育実技研修会

ア 主催 福島県教育委員会
イ 期日 平成29年8月1日(火)～8月3日(木)
ウ 会場 福島大学附属小学校
エ 受講者 のべ457名(3日間合計)

ウ 教育相談指導者養成研修

○ 期日 平成29年8月22日～8月25日
○ 会場 独立行政法人教員研修センター
○ 参加者 郡山市立郡山第六中学校
教諭 佐久間 志保
南会津郡南会津町立田島小学校
教諭 渡部 百枝
いわき市総合教育センター
指導主事 岩崎 美和

(3) 福島県幼稚園等新規採用教員研修

ア 主催 文部科学省、福島県教育委員会
イ 会場 教育センターが定めた場所、勤務園、参観を希望する幼稚園、保育所、小学校
ウ 日数 園外研修(教育センター) 2泊3日
" (各教育事務所) 3日間
" (幼稚園、保育園、小学校参観) 3日間
園内研修(勤務園) 10日間
エ 参加者 研修対象者 公立38名 私立70名 計108名
オ 内容 講義……教師の役割、幼稚園教育の現状
演習……遊びに必要な材料の工夫
協議……諸問題、教師のかかわり
実技……絵本のイメージと遊び、みんなで楽しむ歌やゲーム
参観……先進的研究実践園、小学校、保育所
実習……保育実習

(2) 進路指導・キャリア教育

ア キャリア教育指導者養成研修(第2回)
(ア) 主催 独立行政法人教職員支援機構、富山県教育委員会
(イ) 会場 パレブラン高志会館
(ウ) 期間 平成29年10月23日(月)～10月27日(金)
(エ) 参加者
福島県教育庁県中教育事務所指導主事 小林 雅
南会津町立南会津中学校教頭 室井 正之
郡山市立富田東小学校教諭 渡邊 卓也
福島県立岩瀬農業高等学校教諭 菅野 宏恵

(4) 幼稚園経験者研修Ⅱ

ア 主催 文部科学省、福島県教育委員会
イ 期日 年間
ウ 日数・内容・会場
○ 園外研修…5日以上
・ 共通研修………1日(各教育事務所)
・ 保育専門研修…1泊2日(教育センター)
・ 社会体験研修…1日(社会体験を行う各施設等)
・ 選択研修 ……1日以上(幼児教育実技研修会等)
○ 園内研修…7日以上
・ 保育力の向上に関する研修
・ 教育課題の解決に向けた実践に関する研修
・ パイオニア研修
エ 参加者 研修対象者 公立13名 私立0名 計13名

10 幼稚園教育

平成29年度公立幼稚園数は、154園(休園を含む)であった。学級数は410学級であったが、東日本大震災及びその後の原子力発電所事故の影響による幼児数の減少も影響し、少人数保育になっているところが多い。県全体の公立幼稚園平均学級園児数は、15.1人である。

幼稚園教育の一層の充実を図るため、市町村教育委員会、福島県国公立幼稚園・こども園教育研究会及び公益社団法人福島県私立幼稚園連合会協会等の協力を得て、次の事業を実施した。

(1) 幼稚園教育課程研究協議会

ア 主催 福島県教育委員会
イ 期日
県北域内 10月4日(水)
県中域内 9月8日(金)
県南域内 9月26日(火)
会津・南会津域内 10月5日(木)

(5) 幼児教育指導者養成研修

ア 期日 平成29年10月31日(火)～11月2日(木)
イ 会場 独立行政法人教員研修センター
ウ 参加者 子育て支援課 指導主事 米屋真由美

11 へき地教育

本県におけるへき地学校は、県全体の小・中学校別の総数に対して、小学校120校で、26.3%、中学校63校で28.3%を占め、小・中学校総数に対して26.9%の割合となっている。

このへき地、山村、過疎地域の教育の振興を図るため、下記の事業を実施した。

(1) 複式学級担当教員研修会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日 平成29年5月22日（月）～5月23日（火）
- ウ 会場 福島県教育センター
- エ 講師 小学校教諭他
- オ 参加者数 45名

(2) 中学校免許外教科担当教員研修会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日 平成29年5月15日（月）～5月17日（水）
平成29年5月24日（水）～5月26日（金）
- ウ 会場 福島県教育センター
- エ 講師 中学校教諭他
- オ 参加者数 88名

(3) 全国へき地教育研究大会

第66回全国へき地教育研究大会高知大会

- ア 主催 文部科学省、全国へき地教育研究連盟
高知県教育委員会 他
- イ 期日 平成29年11月1日（水）～11月2日（木）
- ウ 会場 全体会 高知県立県民文化ホール
分散会 県内5会場
分科会 県内8会場
- エ 研究主題
 - 大会主題
「ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成」
- オ 派遣者氏名

氏名	職	勤務先
安斎 知明	教諭	郡山市立湖南小学校
高橋 到	教諭	川俣町立山木屋中学校

(4) 福島県へき地・小規模学校教育研究会

平成22年度末に福島県へき地・小規模学校教育研究会が解散している。

12 環境教育

学校における環境教育は、学校教育全体を通して行う必要があり、自然とふれあいを深め自然を愛護することの大切さを理解させるように努めている。

(1) 「尾瀬サミット」小・中学生3県交流事業「尾瀬子どもサミット」

- ア 主催 福島県教育委員会
群馬県・群馬県教育委員会
新潟県教育委員会
- イ 期日 平成29年8月1日（火）～8月4日（金）
- ウ 会場 福島県南会津郡檜枝岐村「尾瀬沼ヒュッテ」
- エ 参加者数 福島県 県内小・中学生20名
群馬県 県内小・中学生20名
新潟県 県内小・中学生20名
- オ 活動内容 尾瀬レクチャー・フィールド活動・意見交換会
- カ 知事報告会 平成29年8月4日（金） 県庁

13 教科用図書

(1) 平成30年度使用教科用図書の採択

公立小・中学校教科用図書の採択は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、小学校道徳教科用図書、学校教育法附則第9条図書を採択した。小学校道徳科以外の小・中学校用教科書は継続採択であった。

- ア 教科用図書選定審議会
 - (ア) 委員 16名
 - (イ) 任期 平成29年4月1日～平成29年8月31日
 - (ウ) 開催期日 第1回 平成29年4月17日
第2回 平成29年5月30日
 - (エ) 会場 第1回 杉妻会館
第2回 中町ビル
- イ 教科書展示会

平成29年6月16日から14日間、県内20の会場で開催した。会場及び来会者は下の表のとおりである。

教科書センター (展示会場)	採択地区名	展示教科書 (該当に○印)			展示会場設置場所 (該当に○印)			来会者 総数
		小・中・高	小・中	高	教科書センター	分館	その他	
福島教科書センター(福島市立図書館)	福島・伊達・安達地区	○			○			140
伊達教科書センター(保原小学校)	〃		○		○			94
二本松教科書センター(二本松市文化センター)	〃		○		○			63
郡山教科書センター(郡山市民プラザビッグアイ)	郡山地区	○			○			26
須賀川教科書センター(文化の森てんえい)	岩瀬地区		○			○		51
〃 (須賀川市教育研修センター)	〃		○		○			140
石川教科書センター(石川中学校)	石川地区		○		○			47

教科書センター (展示会場)	採択地区名	展示教科書 (該当に○印)			展示会場設置場所 (該当に○印)			来会者 総数
		小・中・高	小・中	高	教科書センター	分館	その他	
三春教科書センター(田村市図書館)	田村地区		○		○			53
〃 (三春小学校)	〃		○				○	21
〃 (小野町 文化の館)	〃		○				○	49
西白河教科書センター(白河市立図書館)	西白河・東白川地区	○			○			161
東白川教科書センター(棚倉町立図書館)	〃	○			○			79
会津若松教科書センター(会津若松市歴史資料センター)	会津地区	○			○			2
喜多方教科書センター(喜多方第一小学校)	〃	○			○			18
会津坂下教科書センター(坂下南小学校)	〃	○			○			22
南会津教科書センター(御蔵入交流館)	〃		○		○			13
南会津教科書センター(南会津中学校)	〃		○			○		40
相馬教科書センター(南相馬市立中央図書館)	相馬地区	○			○			151
双葉教科書センター(富岡町文化交流センター)	双葉地区		○		○			32
いわき教科書センター(いわき市総合教育センター)	いわき地区	○			○			194
合 計 (展示会場20箇所) (採択地区10地区)		9	11		16	2	2	1,396

ウ 平成30年度使用小学校教科書採択一覧(採択4年目)

採択地区	種目	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	保健
福島・伊達・安達	東書	東書	東書	帝国	東書	東書	東書	東書	教芸	日文	開隆堂	東書
郡山	光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	東書	教芸	開隆堂	東書	学研
田村	光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	東書	教芸	日文	東書	東書
岩瀬	光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	東書	教出	日文	東書	東書
石川	光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	東書	教出	開隆堂	開隆堂	東書
西白河・東白川	光村	光村	東書	東書	教出	東書	東書	東書	教出	開隆堂	開隆堂	東書
会津	東書	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	東書	教出	日文	東書	東書
相馬	光村	光村	東書	東書	東書	東書	東書	東書	教芸	日文	東書	東書
双葉	光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	東書	教芸	日文	東書	東書
いわき	光村	東書	東書	帝国	東書	東書	東書	東書	教出	日文	開隆堂	東書

エ 平成30年度使用中学校教科書採択一覧(採択3年目)

採択地区	種目	国語	書写	社会 (地理的 分野)	社会 (歴史的 分野)	社会 (公民的 分野)	地図	数学	理科	音楽 (一般)	音楽 (器楽 合奏)	美術	保健 体育	技術 ・家庭 (技術)	技術 ・家庭 (家庭)	英語
福島・伊達・安達	光村	東書	帝国	東書	東書	帝国	東書	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書
郡山	光村	光村	帝国	帝国	東書	帝国	東書	東書	教芸	教芸	日文	学研	東書	東書	東書	
田村	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	東書	東書	教出	教芸	日文	東書	東書	開隆堂	東書	
岩瀬	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書	
石川	光村	光村	東書	帝国	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	開隆堂	開隆堂	東書	
西白河・東白川	光村	光村	東書	東書	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	開隆堂	東書	
会津	光村	光村	東書	東書	帝国	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書	
相馬	光村	光村	帝国	東書	帝国	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書	
双葉	光村	光村	東書	東書	東書	帝国	東書	東書	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	東書	
いわき	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書	

オ 平成30年度使用小学校道徳科教科書採択一覧（採択1年目）

採択地区	福島・伊達・安達	郡山	田村	岩瀬	石川	西白河・東白川	会津	相馬	双葉	いわき
発行者	光文	学研	光文	東書	光文	学研	学研	東書	光文	東書

(2) 教科用図書無償給与

平成29年度も義務教育諸学校の全児童生徒に教科書の無償給与が行われた。また、平成30年度使用教科用図書無償給与事務説明会を市町村教育委員会及び県立特別支援学校・私立学校等の教科書事務担当者を対象に下表のとおり開催し、適正かつ円滑な事務処理が図られるようにした。

期 日	会 場	参集範囲
平成30年2月7日	福島県教育センター	県 北
平成30年2月5日	郡山合同庁舎	県 中
平成30年2月2日	白河合同庁舎	県 南
平成30年2月8日	ユースピアゆがわ	会 津
平成30年2月9日	南会津合同庁舎	南会津
平成30年2月1日	南相馬合同庁舎	相 双
平成30年2月13日	いわき合同庁舎	いわき

14 教育研究団体

(1) 福島県国公立幼稚園・こども園教育研究会

ア 研究主題（平成29年度）

協議 主題1	幼稚園教育要領の理念を実現するための、各幼稚園における教育課程の編成、実施、評価、改善の一連のカリキュラム・マネジメントの適切な実施について
協議 主題2	特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的、組織的な指導の在り方について

イ 組織及び財政の状況

- 会 長 茂木 巧
- 会員数 740名
- 平成29年度予算額 1,397,204円
上記のうち補助金 なし

ウ 主な事業

- 福島県国公立幼稚園・こども園長会、福島県国公立幼稚園・こども園教育研究会合同委員会
- (ア) 期日・会場
平成29年4月27日(水) 福島市吾妻学習センター
- 研究主題研修会
- (ア) 期日・会場
平成29年6月7日(水) 福島市吾妻学習センター
- (イ) 講師 福島県教育庁義務教育課指導主事

- 第64回国立国公立幼稚園・こども園教育研究協議会
山形・福島合同大会

(ア) 期日・会場

- 平成29年7月27日(木) 福島市音楽堂、福島市働く婦人の家、福島市勤労青少年ホーム
- 平成29年7月28日(金) 福島市こむこむ館、ザ・セレクトン福島、コラッセふくしま

(イ) 講師 文部科学省初等中等教育局幼児教育課
幼児教育調査官 河合 優子

(2) 福島県小学校教育研究会

ア 基本主題（平成28年度～平成30年度）

- (ア) 「豊かにかかわり確かな学びを通して生きる力をはぐくむ授業の充実」

イ 各研究部研究主題

研究部	研究主題
国 語	児童一人一人の表現力や理解力を育成し、伝え合う力を高める指導はどうあればよいか。
社 会	子ども一人一人に、我が国の国土、産業、歴史、社会生活などに対する理解と愛情を深め、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を養う社会科の授業はどうあればよいか。
算 数	算数的活動を通して、算数を学ぶ楽しさやよさを実感し、新たな課題解決に向けて主体的に学ぶ子どもの育成
理 科	自ら自然にはたらきかけ、感じ、考え、実感できる理科学習の充実
生活・総合	人々・社会・自然に進んでかかわり、自らの考えを生かして学び合い、確かな学びを実感できる子どもの育成
音 楽	多様な音楽活動を通して、音楽のよさや美しさを、自ら感じ、考え、音楽の喜びを分かち合う子どもの育成
図画工作	つくり出す喜びを味わう造形活動を通して、感性を働かせながら、自分の思いを豊かに表現することができる図画工作科の指導
家 庭	家族とのきずなを深め、生き抜く力をはぐくむ家庭科の学習はどうあればよいか

研究部	研究主題
体 育	運動の楽しさや喜びに触れる学びを通して、進んで運動に取り組み、体力の向上を図るたくましい子どもをはぐくむ体育指導の充実
道 徳	道徳的価値の自覚と自己の生き方についての考えを深める指導の充実
特別活動	望ましい集団活動を通して、個性の伸長を図るとともに、よりよい生活や人間関係を築き、自主的、実践的な態度を育てる特別活動の指導の充実

ウ 組織及び財政の状況

(ア) 会長 矢澤 武志 (郡山市立桃見台小学校)

(イ) 会員数 5,755名

(ウ) 平成29年度決算額 4,685,659円

エ 主な事業

○ 研究協議会

(ア) 主催 福島県小学校教育研究会

(イ) 共催 福島県教育委員会・開催地区関係市町村教育委員会

(ウ) 期日・会場

a 地区研究協議会 各地区

各地区の計画による

b 県研究協議会 10月6日(金)～10月26日(木)

県内11会場

(エ) 指導助言者 指導主事等

(3) 福島県中学校教育研究会

ア 研究主題

(ア) 基本主題

「確かな学力を身につけ、ふくしまの未来を創造する心豊かでたくましい生徒の育成」

イ 各部研究主題

研究部	平成29年度の研究主題・研究副主題
国 語	言語感覚を豊かにし、社会生活に生きて働くことばの力を身につけさせるための指導はどうあればよいか。 H29 「読むこと」の領域における指導の工夫
社 会	社会の変化に主体的に立ち向かう力を育成する社会科の指導はどうすればよいか。 H29 表現する力を高める指導の工夫
数 学	数学的活動の充実を図り、確かな学力を身につけさせるためにはどうすればよいか。 H29 数や図形の性質などを見いだす活動の工夫

研究部	平成29年度の研究主題・研究副主題
理 科	科学的な体験や自然体験を通して、日常生活や社会で活用できる力を育む指導はどうすればよいか。 H29 知識・技能を活用し、科学的な思考力・表現力を高める学習活動の工夫
音 楽	幅広い音楽活動を通して、生徒一人一人の感性を磨き、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う指導はどうすればよいか。 H29 創造的な音楽活動の指導と評価の工夫
美 術	生徒一人一人に自己実現の喜びを味わわせ、心豊かな生活を創造していこうとする態度を育てる美術教育をどうすればよいか。 H29 これからの社会に向き合う美術教育
保 健 体 育	生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、積極的に体力の向上と健康の保持増進に取り組みさせる指導はどうあればよいか。 H29 健康の基礎的な知識を身につけさせ、自らの健康を適切に管理改善していく思考力や判断力を育成する指導の工夫 ～保健分野～
技術・家庭	社会の変化に主体的に対応し、生活に生かせる力をはぐくむためにはどう指導すればよいか。 H29 生活に生かせる実践的な態度を育てる評価の工夫
英 語	自らの体験や考えなどを互いに発信できるコミュニケーション能力をはぐくむためには、どう指導すればよいか。 H29 自らの体験や考えなどを互いに発信できるコミュニケーション能力の高まりを共有できる授業と評価の工夫
道 徳	ふるさとを愛し、ふくしまの未来を拓く、たくましい心を育てるためにはどうすればよいか。 H29 生徒のよさを引き出し、実践意欲を高める評価の工夫
特別活動	学校の創意工夫を生かし、よりよい集団や社会を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるための特別活動の指導はどうすればよいか。 H29 連帯感を深め、集団や社会に貢献できる態度を育てる学校行事及び生徒会活動の指導

ウ 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 高橋 賢司 (福島市立渡利中学校)
- (イ) 会員数 3,199 名
- (ウ) 平成 29 年度の決算額 7,655,156 円

エ 主な事業

○ 研究協議会

- (ア) 主催 福島県中学校教育研究会
- (イ) 共催 福島県教育委員会
- (ウ) 期日・会場
 - a 支部研究協議会 各支部
 - b 県研究協議会 10月11日(水)
県内11会場
- (エ) 指導助言者 指導主事等

(4) 福島県小学校長会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 齋藤 吉成 (福島市立福島第一小学校)
- (イ) 会員数 434 名
- (ウ) 平成 29 年度の決算額 14,999,172 円

イ 主な事業

- (ア) 第 46 回福島県小学校長会研究協議会郡山大会
- (イ) 開催期日 9月26日(火)
- (ウ) 会場 郡山市立中央公民館・郡山市労働福祉会館
- (エ) 参加者 434 名

(5) 福島県中学校長会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 福地 憲司 (福島市立福島第四中学校)
- (イ) 会員数 222 名
- (ウ) 平成 29 年度の決算額 8,578,585 円

イ 主な事業

- (ア) 平成 29 年度小・中合同開会式、第 1 回理事会
- (イ) 開催期日 4月19日(水)
- (ウ) 会場 福島県教育会館

(6) 福島県公立小・中学校教頭会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 佐藤 健 (福島市立福島第四小学校)
- (イ) 会員数 671 名
- (ウ) 平成 29 年度の決算額 11,573,813 円

イ 主な事業

- 平成 29 年度福島県小・中学教頭会総会及び研修会
- (ア) 開催期日 5月8日(月)
- (イ) 会場 福島県教育会館

(7) 福島県学校図書館協議会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 渡部 栄城 (郡山市立柴宮小学校)
- (イ) 加盟校 674校
- 平成29年度の決算額 845,801円

イ 主な事業

- (ア) 第66回福島県学校図書館研究大会会津若松大会
- (イ) 研究主題 「未来を拓き、豊かな学びの中核となる学校図書館」
- (ウ) 開催期日 平成29年11月9日(木)
- (エ) 会場 会津稽古堂 他
- (オ) 参加人数 245 人

(8) 福島県公立小中学校事務研究会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 野邊 久美子
- (イ) 会員数 583 名
- (ウ) 平成 29 年度の前算額 4,436,200 円

イ 主な事業

学校事務研修会

研修Ⅰ(講話)

福島県教育庁義務教育課 管理主事 長谷川浩文
「福島県の教育施策と学校事務職員の役割」
全体研修

情報委員会 手引グループ

「ガジナビの便利な使い方と普及」について
研修Ⅱ(講演)

国立教育政策研究所初等中等教育部

総括研究官 藤原 文雄

「チームとしての学校とは 中教審答申より」

開催期日 平成 29 年 5 月 25 日(木)

・会場 ユラックス熱海

・参加人数 役員・代議員 155 名、一般会員 99 名

第4節 国際化・科学技術の進展等への対応

1 中学生・高校生の科学・技術研究論文

野口英世賞募集

(1) 募集の趣旨

郷土が生んだ世界的な医学者、「医聖 野口」とうたわれた野口英世博士の名を冠した賞を制定し、県内の中学校・高等学校生徒を対象に論文の募集、表彰を行い、科学及び技術の発展に対応した人材の育成に努める。

(2) 応募期間

平成29年9月1日(金)～9月11日(月)

(3) 応募数

中学校 11点(5校)

高等学校 13点(5校)

(4) 審査会

平成29年10月19日(木) 自治会館 301会議室
(審査員長)

福島大学副学長 小沢 喜仁

(審査員)

いわき明星大学教授 岩田 恵理

福島大学教授 大山 大

福島大学准教授 兼子 伸吾

県中学校長会幹事 工藤 裕也

県私立中学高等学校協会監事 山崎 尚宏

県高等学校教育研究会理科部会長 高城 友治

(5) 受賞者

【中学校】

・個人研究の部

賞	氏名	学校名	論文の題名
最優秀賞	錫谷 智	福島大学附属中学校	食品の醗酵にかかわる菌の研究
優秀賞	加藤 実咲	福島大学附属中学校	只見のブナ林の実生調査および土壌研究 ～葉っぱの贈り物 part3～
入選	矢澤 宗一郎	福島県立会津学鳳中学校	宮川の浄化力に関する研究2 ～地元の河川生態系からみる浄化作用～

・共同研究の部

賞	団体名	論文の題名
入選	福島成蹊中学校 総合探究部	アルギン酸ナトリウムとアルカリ土類金属の結びつき ～除染につながる第一歩～

【高等学校】

・個人研究の部

賞	氏名	学校名	論文の題名
入選	佐藤 理子	福島県立磐城高等学校	酸化チタンによる水の浄化とその応用について

・共同研究の部

賞	団体名	論文の題名
優秀賞	福島県立福島高等学校 スーパーサイエンス部アホロートル班	アホロートルの変態に関する研究
	福島県立福島高等学校 SSHモモ班	古代モモ核の分類から福島への古代人の流入を探る
入選	福島県立会津学鳳高等学校 SSH探究部生物班	白色腐朽菌による木材からの糖の生成
	福島県立磐城高等学校 天文地質部	鳴き砂の起源

2 中学生・高校生の国際理解・国際交流論文

朝河貫一賞募集

(1) 募集の趣旨

国際化の進展に対応し、世界のさまざまな文化や価値観を尊重するとともに、国際社会の平和と発展を担っていくことのできる青少年の育成を図る観点から、郷土が生んだ国際的な歴史学者「朝河貫一博士」の名を冠した賞を制定し、県内の中学校（義務教育学校後期課程を含む。）・高等学校の生徒を対象に論文の募集、表彰を行い、国際化に対応した人材の育成に努める。

(2) 応募期間

平成29年9月1日（金）～9月11日（月）

(3) 応募数

中学校 32点（18校）

高等学校 32点（5校）

(4) 審査会

平成29年10月12日（木） 自治会館特別会議室

（審査員長）

郡山女子大学非常勤講師 ジョン・ティルマン
ト

（審査員）

福島学院大学客員講師 玄 永 牧 子
福島大学行政政策学類准教授 真歩仁 しょうん
福島民報社論説委員長 佐久間 順
福島民友新聞社編集局報道部長 佐 藤 掌
福島県中学校長会幹事 古 川 豊
福島県高等学校長協会普通部会長 青 山 修身

(5) 受賞者

【中学校の部】

賞	氏 名	学 校 名	学年	論文の題名
最優秀賞	ファン・ヒュン・ナム	福島県立会津学鳳中学校	3	異文化体験をする
優秀賞	鈴木 心渚	会津若松市立第三中学校	1	しのばせた思いやりの文化
	物江こころ	北塩原村立裏磐梯中学校	3	未来へ繋ぐ交流
	吉川 怜寧	福島県立会津学鳳中学校	1	地球人として生きる
	上野 雅治	福島県立会津学鳳中学校	1	貧困や格差を考える
	橋本みゆき	郡山市立郡山第四中学校	2	偏見は社会に必要なか
入選	金子 正斗	福島県立会津学鳳中学校	2	未来ある世界にするために
	押山 奈央	大玉村立大玉中学校	3	私たちがすべきこと

【高等学校の部】

賞	氏 名	学 校 名	学年	論文の題名
最優秀賞	中川 夏帆	福島県立会津農林高等学校	3	平和への祈り—禎子さんの折り鶴—
優秀賞	和田 奈那	福島県立安積高等学校	2	「変わる」そして「変える」
	滝田 一成	福島県立あさか開成高等学校	3	平和の文化とは
	渡邊 拓真	福島県立あさか開成高等学校	1	大切なこと
	瀬谷 百加	福島県立あさか開成高等学校	1	「日本人として」
	牧野 智史	福島県立原町高等学校	2	開発途上国支援におけるコミュニケーション上の課題—東日本大震災被災地におけるコミュニティ再生支援と比較して—
入選	今泉 芽生	福島県立あさか開成高等学校	1	この6年間を通して
	佐藤 凜	福島県立あさか開成高等学校	1	心を開いて

第6章 高等学校教育

第1節 概要

今年度は、高等学校において、アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて生徒の学力向上を図り、将来への展望を抱かせるとともに、地域に貢献できる人材や社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成し、教員研修及び生徒指導等に取り組んだ。

(1) 「アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業」

ア スペシャリスト育成ミッション支援事業

- 対象校 23校
- 各校の取組内容
 - ・ 生徒の基礎学力を高める取組
 - (ア) 学ぶ意欲を向上させ主体的に学習に取り組む態度を育む講演会やガイダンス
 - (イ) 指導力向上のための校内研修の活性化
 - ・ 3年間の計画的な進学指導体制の充実を図る取組
学力向上連絡協議会の開催
 - ・ 生徒・保護者・教員・地域をつなぐ取組
 - (ア) 地域人材を活用した職業研究講話
 - (イ) 地域貢献活動
 - (ウ) 進路便りや年間指導計画表の作成・配布
 - ・ 社会人としての在り方についての理解を深める取組
 - (ア) 社会人としての在り方についての講演会
 - (イ) 職場見学会（選択）
 - (ウ) デュアルシステム等の実施（選択）

イ 大学進学ミッション支援事業

- 対象校 16校
- 各校の取組内容
 - ・ 思考力・判断力・表現力等の養成講座
 - ・ 教員による、難関大学等の入学試験問題の研究と発展的内容に係る指導
 - ・ 生徒の実態に応じた各校独自作成による校内模擬試験等の実施
 - ・ 社会人としての在り方についての理解を深める講話
 - ・ 大学教授等による最先端研究や理論に関する講義や演習
 - ・ 大学等と連携した最先端研究実習体験や課題研究指導（選択）
 - ・ 卒業生（大学生等）による講話
 - ・ 保護者を交えた進学勉強会
 - ・ 進路便りや年間進路指導計画表の作成・配布
- 研究会等の開催
 - ・ 学力向上のための教科指導力向上研究会
アクティブ・ラーニングの視点から生徒の主体性を生かす授業改善を進めるための研究
 - ・ 学力向上連絡協議会
アクティブ・ラーニングの視点から生徒の主体性を生かす授業改善を進めるための協議

ウ オールふくしまリーダー育成プロジェクト

- 対象 県立高等学校1・2年生
- 実施内容
 - (ア) 1年生対象 3泊4日の学習合宿
 - ・ 教員による入試問題研究講座（国語・数学・英語）
 - ・ 予備校講師等による難関大合格に向けたハイレベル講座（国語・数学・英語）
 - ・ 生徒によるグループ協議とプレゼンテーション等
 - ・ 社会人等による講演会等
 - ・ 大学生との交流会、パネルディスカッション等

(イ) 2年生対象：2日間の地区別学習セミナー

- ・ 教員による入試問題研究講座（国語・数学・英語）
- ・ 大学教授・予備校講師等による講座
- ・ 生徒によるグループ協議等

(2) 教職員現職教育計画に基づいて、各種研修会や講習会を開催し、教職員の職責にふさわしい資質・能力の向上に努めるとともに、社会の変化や時代の進展に対応した実践的指導力を習得させるため、各種の研修等を実施した。

(3) 多様化した生徒の心の問題の解決のために、ピュアハートサポートプロジェクトとしてカウンセリング等の各種研修会を開催し、教員の資質向上に努めた。さらに、教育相談専門研修及び関係機関との連携強化のために各種連絡協議会を開催し、教員の実践的指導力の向上を図った。

第2節 学校管理

1 生徒数と教職員数

(1) 県立高等学校の推移

区分		年度									
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
全日制	本校	85	84	83	83	83	83	83	84	84	79
	分校	6	5	5	5	5	5	5	5	5	3
定時制	独立	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	併置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	分校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 募集基準として学校数を算定(課程の変更、募集停止を実施した場合、2年以上の生徒が在籍しても学校数に含めない)。

(2) 中学校卒業者の進学状況

区分	年度											
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
卒業生(A)	22,851	23,127	22,333	21,807	21,930	20,887	20,220	19,427	19,782	18,929	18,824	18,482
進学希望者数(B)	22,231	22,471	21,704	21,176	21,305	20,219	19,659	18,873	19,150	18,215	18,232	17,817
進学者数(C)	22,337	22,593	21,873	21,371	21,529	20,467	19,835	19,072	19,388	18,548	18,487	18,130
進学志願率(B/A)	97.3%	97.2%	97.2%	97.1%	97.2%	96.8%	97.2%	97.1%	96.8%	96.2%	96.9%	96.4%
進学率(C/A)	97.8%	97.7%	97.9%	98.0%	98.2%	98.0%	98.1%	98.2%	98.0%	98.0%	98.2%	98.1%
入学率(C/B)	100.5%	100.5%	100.8%	100.9%	101.1%	101.2%	100.9%	101.1%	101.2%	101.8%	101.4%	101.8%

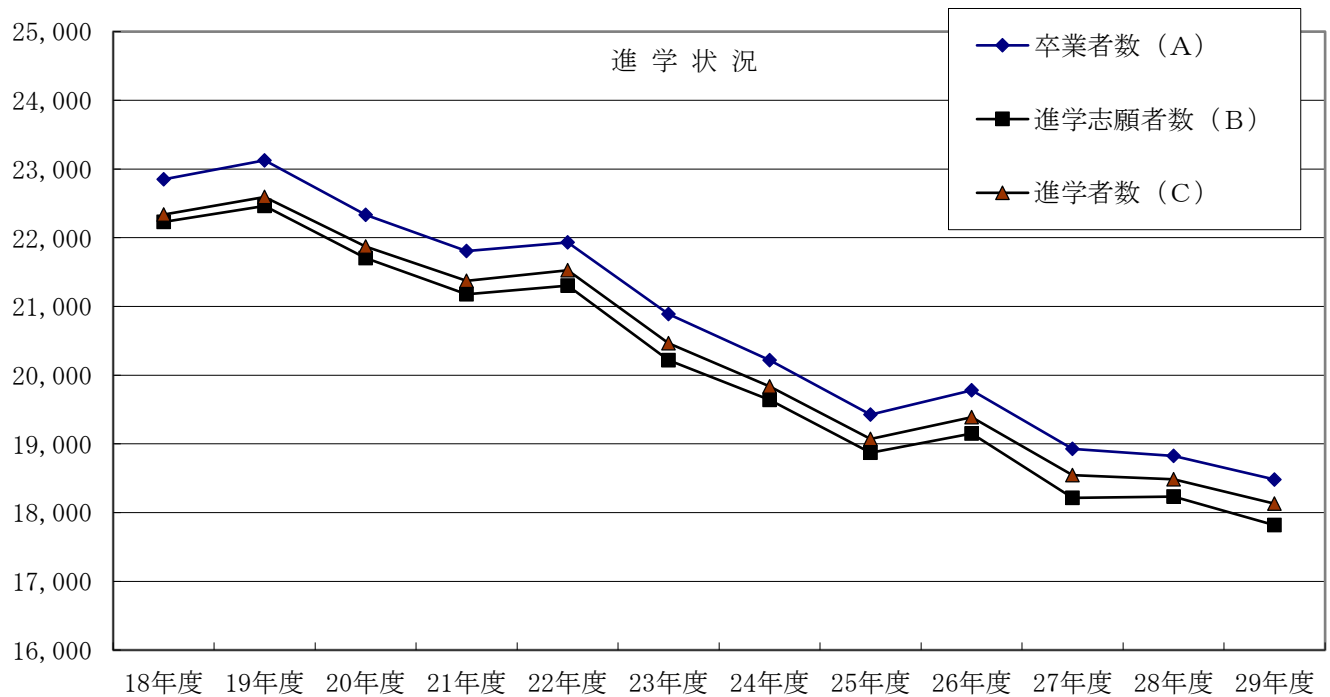
(注) 進学とは中学校卒業者のうち県内外を問わず、高校の全日制、定時制、通信制、別科、高専及び特別支援学校高等部へ進学したことをいう(就職者を含む)。進学志願者数には高校の通信制課程志願者は含まれない。

中学校卒業者数は前年度より342名減少し、進学率は前年度より0.1ポイント低下、入学率は0.4ポイント上昇した。

平成29年度の進学者の内訳は次のとおりである。

高等学校全日制	17,022名 (93.9%)
高等学校定時制	291名 (1.6%)
高等学校通信制	429名 (2.4%)
高等専門学校	224名 (1.2%)
特別支援学校高等部	164名 (0.9%)

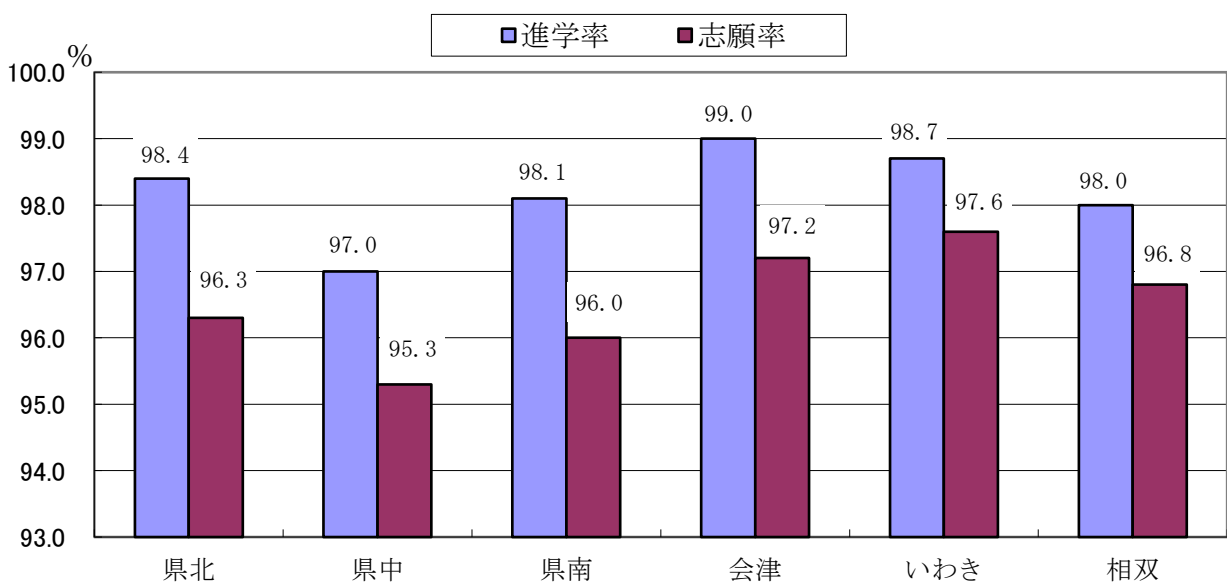
ア 中学校卒業者の進学状況の推移、進学率の推移



○高校進学率 (%)

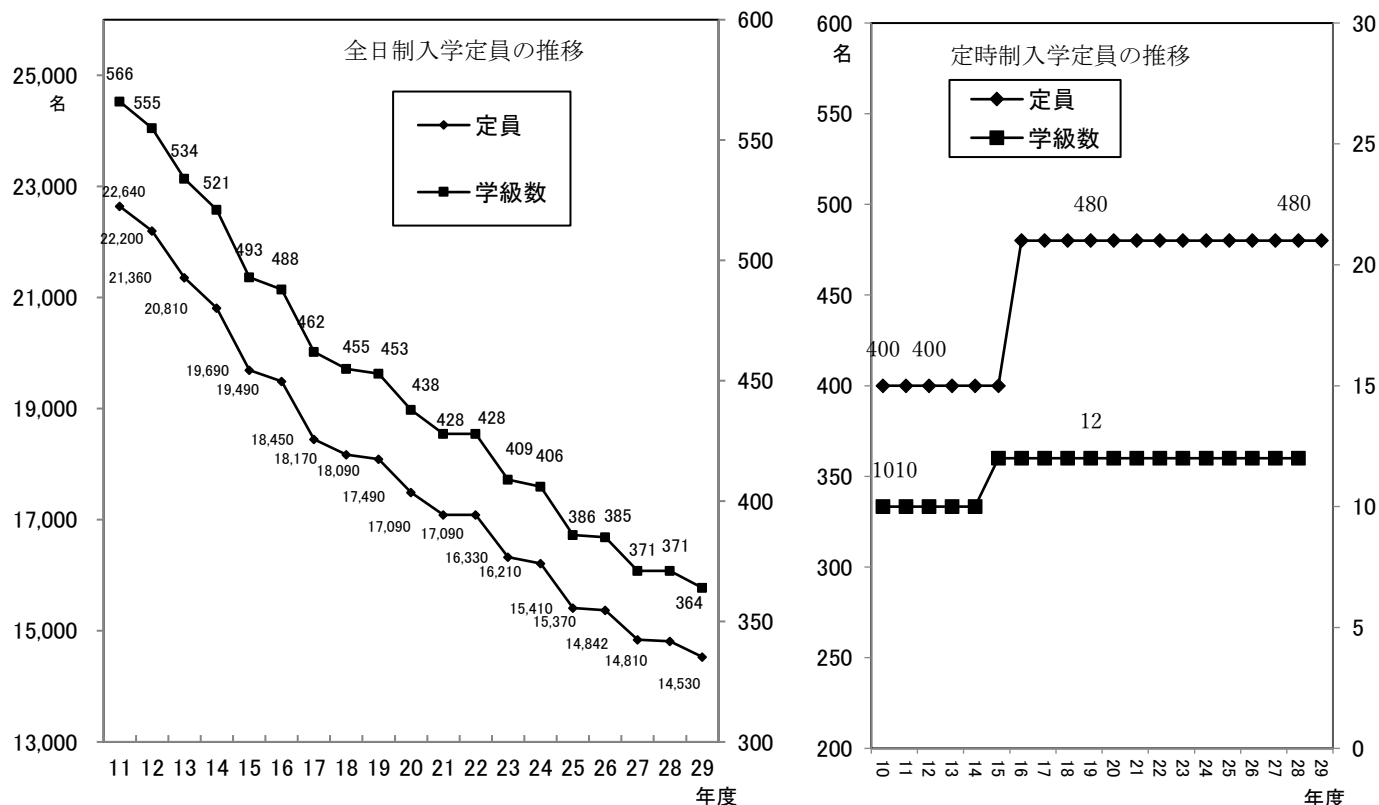
年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
全国	96.8	96.9	97.0	96.9	97.0	97.3	97.5	97.6	97.7	97.7	97.8	97.9	98.0	98.2	98.3	98.4	98.4	98.5	98.7	98.8
本県	95.2	95.6	96.3	96.0	96.6	96.9	97.5	97.4	97.8	97.7	97.9	98.0	98.2	98.0	98.1	98.2	98.0	98.0	98.2	98.1

イ 地域別高校志願率・進学率



(3) 県立高等学校入学定員の推移

ア 全日制入学定員並びに定時制入学定員の推移



イ 学級編成基準

学科の区分	全日制	定時制	学科の区分	全日制	定時制
普通科	35, 40	40	国際文化に関する学科	40	-
農業に関する学科	40	-	英語に関する学科	40	-
工業に関する学科	40	40	体育に関する学科	40	-
商業に関する学科	40	-	美術に関する学科	40	-
家庭に関する学科	40	-	国際科学に関する学科	40	-
水産に関する学科	40	-	総合学科	40	-
理数に関する学科	40	-	国際・スポーツに関する学科	40	-
文理に関する学科	40	-			

(4) 県立高等学校全日制課程入学状況の推移

年度	中学校卒業業者数	入学定員		志願者数		志願倍率	入学者数	
	A	B 定員	B/A (%)	C 志願者数	C/A (%)	C/B (%)	D 入学者数	D/C (%)
20	22,333	17,490	78.3	19,368	86.7	111	16,934	87.4
21	21,807	17,090	78.4	18,975	87.0	111	16,666	87.8
22	21,930	17,090	77.9	18,996	86.6	111	16,599	87.4
23	20,887	16,330	78.2	17,725	84.9	109	15,460	87.2
24	20,220	16,210	80.2	16,961	83.9	105	15,090	89.0
25	19,427	15,410	79.3	16,231	83.5	105	14,307	88.1
26	19,782	15,370	77.7	16,589	83.9	108	14,421	86.9
27	18,929	14,842	78.4	15,716	83.0	106	13,961	88.8
28	18,824	14,810	78.7	15,598	82.9	105	13,945	89.4
29	18,482	14,530	78.6	15,213	82.3	105	13,478	88.6

(5) 県立高等学校生徒数 (29.5.1 現在)

学科の区分		課程	全日制	定時制			専攻科	合計	通信制
				学年制	単位制	計			
普通科	男		9,570	119	308	427		9,997	799
	女		10,796	100	300	400		11,196	766
	計		20,366	219	608	827		21,193	1,565
農業に関する学科	男		1,394					1,394	
	女		1,419					1,419	
	計		2,813					2,813	
工業に関する学科	男		5,509	50		50		5,559	
	女		562	9		9		571	
	計		6,071	59		59		6,130	
商業に関する学科	男		1,647					1,647	
	女		2,908					2,908	
	計		4,555					4,555	
家庭に関する学科	男		14					14	
	女		43					43	
	計		57					57	
水産に関する学科	男		335				36	371	
	女		67				2	69	
	計		402				38	440	
理数に関する学科	男		259					259	
	女		198					198	
	計		457					457	
文理に関する学科	男		353					353	
	女		561					561	
	計		914					914	
国際文化に関する学科	男		22					22	
	女		101					101	
	計		123					123	
国際・スポーツに関する学科	男		0					0	
	女		0					0	
	計		0					0	
国際科学に関する学科	男		112					112	
	女		489					489	
	計		601					601	
英語に関する学科	男		41					41	
	女		157					157	
	計		198					198	
体育に関する学科	男		87					87	
	女		27					27	
	計		114					114	
美術に関する学科	男		16					16	
	女		102					102	
	計		118					118	
総合学科	男		1,625					1,625	
	女		2,340					2,340	
	計		3,965					3,965	
合計	男		20,984	169	308	477	36	21,497	799
	女		19,770	109	300	409	2	20,181	766
	計		40,754	278	608	886	38	41,678	1,565

(6) 県立高等学校通信制課程入学者、卒業者の推移

区分	年度 学校	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
		入学者	安積第二高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
あさか開成高校	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
郡山萌世高校	253		239	262	278	290	216	197	152	133	124	99	87
計	253		239	262	278	290	216	197	152	133	124	99	87

区分	年度 学校	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
		卒業者	安積第二高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
あさか開成高校	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
郡山萌世高校	207		204	200	218	228	260	223	231	192	155	158	122
計	207		204	200	218	228	260	223	231	192	155	158	122

(7) 県立高等学校教職員数の推移

区分	種別 課程	高 等 学 校																					
		全 日 制 ・ 定 時 制										通 信 制											
	職種	年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
教 員	校長		87	86	85	85	85	85	85	86	86	81											
	教諭等		3730	3674	3617	3523	3446	3351	3312	3223	3218	3167	37	37	37	37	37	36	36	36	36	34	
	養護教員		116	114	113	110	110	109	106	106	105	102											
	補充教員		167	155	148	148	144	157	153	153	145	137											
	講師																						
	寄宿舎指導員		5	5	5	5	5	3	3	5	6	7											
	実習助手		346	334	330	330	329	326	326	323	322	320											
	計		4451	4368	4298	4201	4119	4031	3985	3896	3882	3814	37	37	37	37	37	36	36	36	36	34	
	事務職員		266	263	262	257	256	251	249	245	247	240	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
そ の 他 の 職 員	技能員																						
	学校司書		64	61	62	58	57	55	53	53	53	53											
	用務員		56	56	54	53	52	49	48	45	41	40											
	ボイラー技師		16	16	14	11	10	11	10	7	6	6											
	栄養士		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4											
	調理給食員		4	4	4	5	4	4	3	3	3	3											
	計		144	141	138	131	127	123	118	112	107	106											
練 習 船	技能職員		9	9	9	9	9	9	9	9	9												
	その他の職員		13	13	13	13	13	13	13	13	13												
	計		22	22	22	22	22	22	22	22	22												
	合 計		4883	4794	4720	4611	4524	4427	4374	4275	4258	4182	43	43	43	43	43	42	42	42	42	40	

2 教職員人事・任用

(1) 人事異動の概要

平成 29 年度の高等学校教職員定数は、前年度比 70 人減の 4,108 人となった。このうち、教諭等は、前年度比 53 人減の 3,201 人である。

また、特別支援学校については、前年度比 51 人増の 1,623 人となった。このうち教諭等は前年度比 40 人増の 1,382 人となった。

ア 新採用(教諭)について

平成 29 年度は 41 名(国語 4 名・地理歴史公民 5 名・数学 2 名・理科 2 名・保健体育 5 名・音楽 1 名・美術 1 名・書道 1 名・英語 4 名・家庭 1 名・情報 1 名・農業 5 名・工業 5 名・商業 3 名・水産 1 名)の新採用教員を県立高等学校に配置した。

平成 29 年度に実施した平成 30 年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験は、採用予定者数 40 名程度に対して、高等学校志願者は前年度比 47 名減の 663 名であった。

一次及び二次選考試験の結果、名簿登載者数は 41 名(前年度比増減なし)となり、辞退者 1 名及び大学院猶予者 2 名を除く 38 名(前年度比 3 名減)が新採用教員として配置されることになる。

イ 校長への昇任

県立学校の校長への昇任は、その職責の重要性にかんがみ、資格・人物・指導力等を十分考慮のうえ、教頭から 4 名、教育庁関係から現場復帰による 4 名の登用をみた。これらの管理職は、できる限り自分の専門性をいかせるよう適材を適所に配置し、適正な学校管理運営をするよう努めた。

ウ 異動について

本年度も昨年度同様の方針にのっとり、同一校永年勤務者、採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務する者等を含めて 470 名の教諭等の異動が実現した。

経験豊かな教員の転出が促進されたこととともに、定時制・通信制・及び特別支援学校と全日制高校との交流が進んだことは、教育組織の強化充実に資するところであり、全県的に教育水準及び教育効果の向上に役立つものと期待される。

(2) 平成 29 年度県立学校教員異動基準

I 一般基準

- (ア) 過員解消のための異動は、全県的視野から優先的に取り扱う。
- (イ) 教育課程の適正な運営を期するため、教員組織の均衡化を図り主免許教科を担当させるように努める。
- (ウ) 優秀な人材の定時制(夜間)・通信制・分校及びへき地校への転入を図るとともに、その者が相当年数(3 年以上)勤務した場合の転出については、特に考慮する。
- (エ) 同一校には、原則として、最低 3 年は勤務するものとする。

(オ) 2 親等以内の者(姻族を含む。)は、原則として、同一校勤務を避ける。

(カ) 教員人事公募選考制度については、別に定める。

II 異動基準

ア 勤続年数による基準

次に該当する者は、異動の対象とする。

(ア) 採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務した者(以下「初任者」という。)

(イ) 異動 2 校目において 3 年以上勤務した者(以下「若年者」という。)

ただし、(ア)、(イ)いずれの場合も、原則として 3 年以上 5 年以内で異動させるものとする。

(「若年者」については平成 21 年度以降の採用者から適用する。)

(ウ) 同一校に 8 年以上勤務した者

(以下「永年者」という。)

ただし、若年者が中通り地域の 4 校(湖南・塙工業・修明・修明鮫川)、会津地域の 4 校(川口・田島・南会津・只見)及び浜通り地域の 2 校(浪江津島・相馬農業飯館)に勤務した場合は、原則として 3 年以上勤務した場合は、永年とみなすことができる。

イ 地域、地区及び学校群による基準

教員の適材適所への配置及び教員組織の均衡化を図るため、県内を中通り、会津、浜通りの 3 地域に分け、各地域に所在する学校を学校規模及び交通の利便性等を考慮して、別表①に定める I・II 群に分類し、以下により異動を促進する。

(ア) 原則として、採用後 20 年以内に 3 地域の学校に勤務するものとする。

(イ) 農業、工業、商業、看護、福祉等を除く教科の教員については、II 群の学校に勤務している者が同一地区内で異動するときは、原則として I 群の学校に勤務するものとする。

ただし、II 群普通系から II 群専門系への異動、II 群専門系勤務者のうち直近の勤務が I 群校の者の II 群普通系への異動は可とする。

なお、相双地区においては II 群普通系内の異動も可とする。

(ウ) 農業、工業、商業、看護、福祉等の教科の教員については、全県的視野から地域間で相互に異動させるものとする。

ウ 平成 20 年度以前の採用者について

平成 30 年度までは次の基準(以下「旧基準」という。)を準用し、下記の(イ) a を満たす者は、上記イ(ア)の規定を満たすものとする。

(ア) 勤続年数による基準

次に該当する者は、異動の対象とする。

a 初任者

b 永年者

(イ) 地区及び学校群による基準

教員組織の均衡化を図るため、県内を県北・県南・会津・いわき・相双の5地区に分け、地区ごとに所在する学校の地理的特殊性等を考慮して、別表②に定めるA・B・C3群に分類し、以下により異動を促進する。

a 原則として次の条件を満たすよう勤務するものとする。

(a) 採用後15年以内に2地区以上の学校に勤務する。

(b) A・B2群の学校に勤務する。ただし、A群については、採用後15年以内とする。

b 県南地区の4校(湖南・塙工業・修明・修明(鮫川))、会津地区の4校(川口・田島・南会津・只見)及び相双地区の3校(浪江津島・富岡川内・相馬農業飯館)は、それぞれ1地区とみなす。

c 本宮は平成16年度より県北地区とし、平成16年度以降の転入・在籍者から適用する。

d 群の取扱いの変更は、別表③の適用年度以降に当該校へ転入・在籍した者について適用する。

e 同一学校群内の異動については、次の諸点に留意する。

(a) A群については、原則として、へき地校間、分校間の異動は行わない。

(b) B群については、原則として、同一市内間の異動は行わない。ただし、いわき市及び南相馬市は除く。

(c) C群については同一市内間の異動は行わない。

f 職業に関する学科の教員で、永年者については、全県の視野から地区間で相互に異動することができるものとする。

また、異動後同一校に3年以上勤務した場合は、直近の勤務地区内へ異動することができる。

エ 寄宿舎指導員

原則として2に準ずるが、採用後20年以内に2地域の学校に勤務するものとする。

オ 交流

(ア) 学校種別間の交流

高等学校、特別支援学校及び中学校における教育を充実させるため、県立特別支援学校、市町村公立中学校との交流を促進する。

a 県立特別支援学校との交流は教諭、養護教諭、実習助手、寄宿舎指導員を対象とする。

その期間は、教諭及び実習助手については原則として3年とし、養護教諭及び寄宿舎指導員については原則として3年から8年とする。

b 市町村公立中学校との交流は教諭を対象とし、その期間は原則として2年とする。

(イ) 他県との交流

他県との交流については、別に定める。

別表① 地域・地区・群学校分類表

群		地域・地区	
		I	II
中通り	県北	福島工業(定) 福島北 川俣 梁川 保原 保原(定) 安達 二本松工業 安達東 本宮 福島中央	普通系 福島 橘 福島西 福島東 福島南
			専門系 福島商業 福島明成 福島工業
	県中	安積(御館) 湖南 須賀川 須賀川桐陽 清陵情報 長沼 岩瀬農業 石川 田村 船引 小野 小野(平田) 郡山萌世	普通系 安積 安積黎明 郡山東 郡山 あさか開成
県南	光南 塙工業 修明 修明(鮫川) 白河二	普通系 白河 白河旭	
		専門系 白河実業	
会津	喜多方 喜多方東 喜多方桐桜 猪苗代 耶麻農業 西会津 大沼 川口 坂下 会津農林 田島 南会津 只見 会津二	普通系 会津 葵 会津学鳳	
		専門系 若松商業 会津工業	
浜通り	いわき	湯本 小名浜 いわき海星 磐城農業 勿来 勿来工業 好間 遠野 四倉 いわき翠の杜	普通系 磐城 磐城桜が丘 いわき光洋
			専門系 平工業 平商業 いわき総合
相双	浪江 浪江(津島) 富岡 双葉翔陽 ふたば未来学園 相馬農業 相馬農業(飯館) 小高産業技術 新地	普通系 双葉 相馬 原町	
		専門系 相馬東	

~~~~~は、平成29年4月1日から休校になった学校。

別表② 地区・群別学校分類表

| 地区        | 群                                  | A                                            | B                                       | C                                                           | 特別支援学校<br>(A群校扱い)                                                                    |
|-----------|------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 県北        |                                    | 福島工業(定) 川俣<br>梁川 保原(定)<br>安達東 福島中央           | 福島商業 福島明成<br>福島北 保原 安達<br>二本松工業 本宮      | 福島 橘 福島工業<br>福島西 福島東<br>福島南                                 | 視覚支援(盲)<br>聴覚支援福島(聾福島)<br>大笹生支援(大笹生養護)<br>須賀川支援医大(須賀川養護医大)                           |
|           | 県南                                 | 安積(御館) 長沼<br>石川 船引<br>小野 小野(平田)<br>郡山萌世 白河第二 | 須賀川 須賀川桐陽<br>清陵情報 岩瀬農業<br>光南 白河実業<br>田村 | 安積 安積黎明<br>郡山東 郡山商業<br>郡山北工業 郡山<br>あさか開成<br>白河 白河旭          | 聴覚支援(聾)<br>郡山支援(郡山養護)<br>あぶくま支援(あぶくま養護)<br>須賀川支援(須賀川養護)<br>須賀川支援郡山(須賀川養護郡山)<br>たむら支援 |
| 湖南 塙工業 修明 |                                    | 西郷支援(西郷養護)<br>石川支援(石川養護)<br>石川支援たまかわ(石川養護分校) |                                         |                                                             |                                                                                      |
| 会津        | 猪苗代 耶麻農業<br>西会津 会津第二               | 喜多方 喜多方東<br>喜多方桐桜<br>大沼 坂下<br>会津農林           | 会津 葵<br>会津学鳳<br>若松商業<br>会津工業            | 聴覚支援会津(聾会津)<br>会津支援(会津養護)<br>会津支援竹田(会津養護竹田)<br>猪苗代支援(猪苗代養護) |                                                                                      |
|           | 川口 田島<br>南会津 只見                    |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |
|           | 会津学鳳中学校                            |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |
| いわき       | いわき海星 磐城農業<br>勿来 勿来工業 遠野<br>いわき翠の杜 | いわき総合<br>いわき光洋 湯本<br>小名浜 好間 四倉               | 磐城 磐城桜が丘<br>平工業 平商業                     | 聴覚支援平(聾平)<br>平支援(平養護)<br>いわき支援(いわき養護)<br>いわき支援くぼた(いわき養護くぼた) |                                                                                      |
| 相双        | 双葉翔陽 新地                            | 双葉 浪江 富岡<br>相馬農業<br>小高産業技術                   | 相馬 相馬東<br>原町                            | 富岡支援(富岡養護)<br>相馬支援(相馬養護)                                    |                                                                                      |
|           | 浪江(津島)<br>相馬農業(飯館)                 |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |

.....は、平成29年4月1日から休校になった学校。

別表③

| 高校名   | 群 | 適用年度 | 高校名   | 群 | 適用年度 | 高校名   | 群 | 適用年度 |
|-------|---|------|-------|---|------|-------|---|------|
| 小野    | A | 昭和52 | 白河実業  | B | 昭和61 | 棚倉    | A | 平成10 |
| 福島明成  | B | 昭和56 | 川俣    | A | 平成2  | 東白川農商 | A | 〃    |
| 福島北   | B | 〃    | 福島商業  | B | 〃    | あさか開成 | C | 平成11 |
| いわき海星 | A | 〃    | 梁川    | A | 平成8  | 光南    | B | 〃    |
| 磐城農業  | A | 〃    | 船引    | A | 〃    | 石川    | A | 〃    |
| 勿来工業  | A | 〃    | いわき光洋 | C | 〃    | いわき光洋 | B | 平成16 |
| 双葉翔陽  | A | 〃    | 勿来    | A | 〃    |       |   |      |
| 猪苗代   | A | 昭和58 | 相馬農業  | B | 〃    |       |   |      |

(3) 教頭複数制実施校(平成 29 年度実績)

|        |       |         |       |
|--------|-------|---------|-------|
| 福島     | 橘     | 福島工業    | 福島西   |
| 福島北    | 保原    | 安積      | 安積黎明  |
| 郡山東    | 郡山北工  | 郡山      | 須賀川   |
| 清陵情報   | 岩瀬農業  | 光南      | 白河    |
| 白河実業   | 修明    | 田村      | 会津    |
| 葵      | 会津学鳳  | 会津工業    | 喜多方桐桜 |
| 磐城     | 磐城桜が丘 | 平工業     | いわき総合 |
| 湯本     | 勿来工業  | ふたば未来学園 |       |
| 小高産業技術 | 郡山萌世  | いわき翠の杜  |       |
| 視覚支援   | 聴覚支援  | 大笹生支援   | 郡山支援  |
| あぶくま支援 | 須賀川支援 | 西郷支援    | 会津支援  |
| 平支援    | いわき支援 |         |       |

3 学校の設置及び統廃合

- 公立高等学校の設置・廃止等(平成 30 年度) -

(1) 学校の新設・廃止等

- ア 統合に伴う学校廃止  
なし
- イ 統合に伴う学校新設  
なし
- ウ ふたば未来学園高等学校開校に伴い、避難区域にある  
高等学校の生徒募集休止による休校 全日制 5 校  
双葉高等学校、浪江高等学校、浪江高等学校津島校、  
富岡高等学校、双葉翔陽高等学校

(2) 学級増

なし

(3) 学級減

全日制 1 2 校 1 2 学級

| 課程  | 学校名  | 内 容          |
|-----|------|--------------|
| 全日制 | 橘    | 普通科 1 学級     |
|     | 保原   | 普通科 1 学級     |
|     | 安積黎明 | 普通科 1 学級     |
|     | 湖南   | 普通科 1 学級     |
|     | 須賀川  | 普通科 1 学級     |
|     | 会津   | 普通科 1 学級     |
|     | 若松商業 | 会計ビジネス科 1 学級 |
|     | 西会津  | 普通科 1 学級     |
|     | 川口   | 普通科 1 学級     |
|     | 磐城   | 普通科 1 学級     |
|     | 勿来工業 | 機械科 1 学級     |
|     | 相馬   | 普通科 1 学級     |

(4) 募集停止

全日制 3 校 4 学級

| 課程  | 学校名    | 内 容            |
|-----|--------|----------------|
| 全日制 | 福島西    | 数理科学科 1 学級     |
|     | 修明     | 経営ビジネス科 1 学級   |
|     | 修明     | 情報マネジメント科 1 学級 |
|     | 相農・飯館校 | 普通科 1 学級       |

(5) 35 人学級編制

全日制 2 校 4 学級

| 課程  | 学校名 | 内 容      |
|-----|-----|----------|
| 全日制 | 南会津 | 普通科 2 学級 |
|     | 只見  | 普通科 2 学級 |

(6) 課程廃止

なし

(7) 学科転換・学科改編・学科新設

全日制 1 校 1 学級

学科新設

| 課程  | 学校名 | 内 容          |
|-----|-----|--------------|
| 全日制 | 修明  | 情報ビジネス科 1 学級 |

(8) 学科名変更

| 課程  | 学校名 | 内 容                   |
|-----|-----|-----------------------|
| 全日制 | 平工業 | 機械科 2 学級→機械工学科 2 学級   |
|     |     | 電気科 2 学級→電気工学科 2 学級   |
|     |     | 電子科 1 学級→制御工学科 1 学級   |
|     |     | 土木科 1 学級→土木環境工学科 1 学級 |
|     |     | 情報技術科 1 学級→情報工学科 1 学級 |

(9) 校名変更

なし

(10) 連携型中高一貫教育校

| 課程  | 学校名     | 連携中学校                                                   |
|-----|---------|---------------------------------------------------------|
| 全日制 | 埴工業     | 埴                                                       |
|     | 田島      | 田島、荒海                                                   |
|     | ふたば未来学園 | 浪江、浪江東、津島、<br>なみえ創成、葛尾、双葉、<br>大熊、富岡第一、富岡第二、<br>川内、檜葉、広野 |
|     | 相馬東     | 中村第一、中村第二、<br>向陽、磯部                                     |

(11) 併設型中高一貫教育校

会津学鳳高等学校(会津学鳳中学校)

(12) 定時制・通信制

変更なし

(13) 専攻科

変更なし



## 第3節 学校教育

### 1 概要

#### (1) 指導行政の基本方針

生徒の能力・適性、進路・関心等を十分考慮し、地域や学校の実態に応じた教育指導の充実を図りながら、人間性豊かな生徒の育成を目指して、学校教育活動が活発に展開されるよう次の重点目標を設定し、その達成に努めた。

ア 生徒の実態等を踏まえ、各学校が主体性をもって、多様な教育課程を編成し、特色ある学校づくりができるよう指導・援助する。

イ 指導内容の精選と構造化に努め、言語活動の充実と生徒のよい点を積極的に評価するなどの評価の改善を進めることにより、生徒一人一人の個性を生かす指導方法の工夫・改善が図られるよう指導・援助する。

ウ 生徒指導の組織・体制を点検するとともに、教職員の共通理解を基盤として、中学校や家庭との連携を深めながら、生徒理解に基づいた指導が展開されるよう、指導・援助する。

エ 生徒の学校生活への適応を促し、中途退学者の減少及び問題行動・生徒事故の未然防止が図られるよう指導・援助する。

オ 教職員の資質と指導力の向上に努める。

カ 勤労観・職業観の育成にかかわる体験的な学習及び産業教育、情報教育の推進を図る。

#### (2) 指導組織

高校教育課長を中心に、主幹、主任指導主事及び指導主事が一体となって、それぞれの分掌に従い、企画・運営・指導助言に当たった。

また、学校教育指導委員の指名については、県立高校教諭及び養護教諭40名を指名し、各教科等の指導活動の充実・強化を図った。

#### (3) 学校教育指導の重点

前記の基本方針に基づき、指導の重点を次のように設定し、指導の充実を図った。

ア 教育課程の適切な運営と指導法の改善を図る。

(ア) 教育課程の適正な実施について、校長会、教頭会において周知徹底を図った。

(イ) 福島県高等学校教育課程講習会において、高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図るとともに、教育課程実施に伴う諸問題について研究協議を行った。

イ 学力向上を図る。

「アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業」として、生徒の進路希望実現を目指した各学校の学力向上やキャリア教育に関する取組の支援、授業改善や進学指導力向上のための研究会などを実施した。また、将来社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指し、難関大学進学への意識、意欲の高い生徒を対象とした学習セミナーを実施した。さらに、対象校の進路指導担当者を出席者とする学力向上連絡協議会を実施した。

ウ 生徒指導の充実を図る。

(ア) 各種研修会、学校訪問等の指導を通して、校内における指導体制の確立を図るとともに、教職員の共通理解を図り、同一歩調による生徒指導の充実に努めた。

(イ) 生徒指導担当者研修会を開催し、生徒の多様化に即した生徒指導の在り方、開かれた生徒指導の在り方について研究協議を行った。

(ウ) 学校における教育相談体制の確立と教育相談活動の改善・充実を図った。

(エ) スクールカウンセラー活用事業として、生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、いじめや不登校等生徒の問題行動の解決に当たった。

エ 進路指導の充実を図る。

各種の研修会や講座を通して、下記事項の徹底に努めた。

(ア) キャリア教育の観点より低学年からの計画的・組織的な進路指導を通し進路意識の高揚に努めること。

(イ) ホームルーム活動における進路指導の充実に努めること。

(ウ) 面談や諸調査・諸検査を通して、生徒の能力・適性・進路の希望等を的確に把握すること。

(エ) 生徒の自己理解の促進に努めること。

(オ) 進路指導室の整備及び進路に関する情報や資料の収集に努めるとともに、その効果的な活用を図ること。

(カ) 組織的・計画的な進路相談の充実に努めること。

(キ) きめ細かな就職指導の充実・徹底に努めること。

オ 産業教育の充実を図る。

産業教育の改善・充実を図るため、施設・設備の充実及び情報教育の推進に努めた。

(ア) 体験入学の内容の質的改善・充実に努めた。

(イ) 情報教育の充実のため、教員の研修に努めた。

(ウ) 産業教育関係機関との連携により、産業教育の振興に努めた。

#### (4) 教職員の資質の向上と学校管理運営の充実

ア 現職教育の充実

(ア) 校内における研修体制の改善・充実を図った。

(イ) 研修会、講習会等への積極的な参加を促進し、指導力の向上を図った。

(ウ) 自己研修の充実により、教職員の能力が効果的に発揮されるように努めた。

イ 学校管理運営の適正化

(ア) 学校経営・運営ビジョンを定め、その達成度を客観的に評価し、その結果を公表するように努めた。

(イ) 管理者が学校管理運営について積極的に指導助言を行うよう努めた。

(ウ) 諸表簿の整理と保管、設備・備品の管理と活用については、適正に行われるように努めた。

(エ) 学校事務の責任分担を明確にし、正確、敏速、円滑に処理するよう努めた。

(オ) 各種調査報告について、厳正、的確に作成し、期限の厳守に努めた。

#### ウ 勤務体制の確立

教職員の勤務内容を明確にし、その実績について客観的に評価できるようにした。

#### エ 使命感の高揚

(ア) 教育公務員としての使命感に徹し、規律と責任ある体制を整え、教育能率の向上に努めた。

(イ) 教育公務員としての立場を自覚するとともに、服務倫理委員会を活用して事故防止に努め、社会的信用を失墜させることのないようにした。

(ウ) 絶えず自己研修に努め、豊かな知性を養い、指導力を高め、職責を十分果たせるようにした。

### (5) 教育環境の整備充実

#### ア 学習環境の整備充実

(ア) 環境整備については、方針を確立し、年次計画による充実を図った。

(イ) 学習環境を整備し、学習意欲の高揚を図った。

(ウ) 施設・設備の管理と運営の適正化を図った。

#### イ 学校事故防止の徹底

(ア) 安全教育の計画的実施と、事故防止を配慮した環境の整備改善に努めた。

(イ) 学校事故、教職員事故の防止については、適切な対策を講じ、事故の絶無を期した。

(ウ) 指導・管理の充実を図るため、関係機関、団体等との連携を密にして協力体制の確立に努めた。

### (6) 県立高等学校入学者選抜

#### ア 基本方針

平成 30 年度福島県立高等学校入学者選抜における基本方針

##### (ア) I 期選抜

I 期選抜は、各高等学校が自校の特色に応じてどのような受験生に志願してほしいかを選抜方法と併せて明示し、受験生は、それに従って自分の志願したい高等学校を主体的に選択し出願できる選抜とする。選抜に当たっては、受験生の個性や学ぶ意欲を重視するとともに、自校の特色に応じた選抜となるよう選抜資料を活用し、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

a 選抜に当たっては、志願理由書の記載内容、調査書の審査結果、面接の結果を資料とする。なお、各高等学校の判断により、学校の特色や学科の特性に応じて、小論文（又は作文）の結果、実技等の結果を選抜資料に加えることができるものとする。

b I 期選抜においては、各高等学校が自校の教育目標にふさわしい入学者を選抜するため、受験生を多面的・多元的に評価するための資料の一つとして面接の結果を積極的に活用するものとする。

このため、面接の内容としては、受験生の個性や学ぶ意欲をみるとともに、中学校における学習活動の成

果を問う内容を含むことができるものとする。

c I 期選抜の定員枠については、県教育委員会が定める範囲の中で、各高等学校が、その特色や学科の特性に応じて設定するものとする。

##### (イ) II 期選抜

II 期選抜は、中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜とする。選抜に当たっては、学力検査の成績、調査書の審査結果を資料とし、さらに面接を実施する高等学校においては面接の結果とを併せて資料とし、各学校の特色、学科の特性等に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

a 学力検査を実施する教科は、全日制の課程においては、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の 5 教科とする。

定時制の課程においては、各高等学校の判断により、実施教科を減じることができるものとする。

また、定時制の課程においては、年齢 18 歳以上の者については、学力検査を免除することができるものとし、学力検査を免除した場合、小論文（又は作文）を実施することができるものとする。

b 学力検査の問題作成に当たっては、中学校学習指導要領に示された各教科の目標及び内容を踏まえて、基礎的・基本的な内容の確実な定着をみる出題を一層工夫するとともに、論述式の解答を求める出題や思考力・分析力を問う出題をさらに工夫するものとする。

c 学力検査問題の配点については、各問の標準配点に留意しつつ、各高等学校の判断により配点ができるものとする。

d 特定の教科の学力検査の配点の比重を変える傾斜配点については、各学校の特色・学科の特性を考慮し、各高等学校の判断により実施することができるものとする。

また、志願者の自己申告による傾斜配点についても、各高等学校の判断により実施できるものとする。

e II 期選抜の合否判定に当たっては、学力検査と調査書の成績の比重を原則として同等とする。

ただし、各高等学校が自校の特色化を図るために必要と判断する場合には、学力検査と調査書の成績の比重を変えることができるものとする。

具体的には、次のようにして合否判定を行う。

(a) 学力検査と調査書の成績の比重を同等とする場合  
学力検査と調査書の成績のいずれもが定員内にある者で、調査書の記載事項及び面接を実施した場合にはその結果に特に問題のない者を合格とする。次に、その他の者については、学力検査の成績と調査書の記載事項及び面接を実施した場合にはその結果とを十分に精査して、総合的に判定する。

(b) 学力検査と調査書の成績の比重を変える場合  
学力検査と調査書の成績のいずれか一方に一定の

数値を掛けて両者を加えて得られた成績と、調査書の記載事項及び面接を実施した場合にはその結果とを十分に精査して、総合的に判定する。

ただし、上記 e) により実施する場合には、学力検査の特定の教科への傾斜配点及び自己申告による傾斜配点は実施しないものとする。

- f) 面接については、各高等学校の判断により実施できるものとする。

#### (ウ) Ⅲ期選抜

Ⅲ期選抜は、Ⅰ期選抜、Ⅱ期選抜及び連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（以下「連携型選抜」という。）により定員（会津学鳳高等学校においては、会津学鳳中学校から会津学鳳高等学校への入学を志願する者の数を除いた数とする。）を充足しない高等学校において実施するものとし、Ⅰ期選抜、Ⅱ期選抜及び連携型選抜の受験の有無にかかわらず出願できる選抜とする。選抜に当たっては、調査書の審査結果、面接の結果及び小論文（又は作文）の結果を資料として、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

なお、Ⅰ期選抜、Ⅱ期選抜又は連携型選抜に合格した者は出願できないものとする。

- a) 選抜に当たっては、調査書の成績とともに、面接の結果及び小論文（又は作文）の結果を十分に精査する。
- b) Ⅱ期選抜における学力検査の成績は、Ⅲ期選抜の資料とはしないものとする。
- c) Ⅲ期選抜における面接は、受験生の学ぶ意欲をみる内容とともに、中学校における学習活動の成果を問う内容を含むことができるものとする。

#### (エ) 連携型選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校（以下「連携型高等学校」という。）において、連携型中高一貫教育を実施する中学校（以下「連携型中学校」という。）から目的意識や意欲のある生徒の入学を促進し、6年間を通して生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を図るため連携型選抜を実施する。選抜に当たっては、受験生の個性や学ぶ意欲をみるとともに、連携している内容に応じた選抜となるよう配慮し、各連携型高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

- a) 選抜に当たっては、中学校長から提出された調査書及び面接の結果を資料とする。

なお、各連携型高等学校長の判断により、学校の特色や連携している内容に応じて、課題研究レポート、適性検査等の結果を選抜資料に加えることができるものとする。

- b) 連携型選抜においては、各連携型高等学校が連携型中高一貫教育にふさわしい入学者を選抜するため、面接の内容としては、受験生の個性や学ぶ意欲をみるとともに、中学校における学習活動の成果を問う内容を

含むことができるものとする。

- c) 募集定員枠については、別に公告する募集定員の30%を下限とし、各連携型高等学校が学校・学科の特色や地域の特性に応じて設定する。

ただし、定員枠については、当該高等学校長はあらかじめ県教育委員会と協議するものとする。

また、Ⅰ期選抜の募集定員枠は、これとは別に設定するものとする。

- d) 連携型高等学校の連携型選抜に出願することができる者は、当該高等学校と連携している中学校を卒業する見込みの者とする。

なお、連携型中学校を卒業する見込みの者は、当該中学校と連携している高等学校のⅠ期選抜へ出願することはできない。

- e) 実施期日については、Ⅰ期選抜と同日又はⅠ期選抜に近接した日とする。

なお、併設型中高一貫教育校である会津学鳳中学校から会津学鳳高等学校への入学を志願する者については、各選抜に出願することはできないものとする。

#### イ 入学者選抜関係日程

- |              |                                           |
|--------------|-------------------------------------------|
| 6月8日         | 第1回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議                  |
| 7月18日        | 第2回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議                  |
| 8月22日        | 第3回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議                  |
| 8月22日        | 県立中学校・高等学校入学者選抜方法の改善等に関する調査研究報告書提出        |
| 10月6日～10月13日 | 県北・県中・県南・会津・南会津・いわき・相双の7地区で入学者選抜実施要綱説明会実施 |
| 10月20日       | 平成30年度入学者募集定員決定                           |
| 11月2日        | 第4回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議                  |
| 12月4日        | 第5回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議                  |
| 1月11日        | 第6回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議                  |
| 1月11日        | 新たな県立高等学校入学者選抜制度に関する報告書                   |

#### (ア) Ⅰ期選抜関係日程

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1月18日～1月23日 | 出願書類受付  |
| 2月1日(2月2日)  | 面接等     |
| 2月6日        | 合格内定通知  |
| 2月8日～2月13日  | 入学確約書提出 |
| 3月14日       | 合格者発表   |

#### (イ) Ⅱ期選抜関係日程

- |             |        |
|-------------|--------|
| 2月14日～2月19日 | 出願書類受付 |
| 2月20日～2月22日 | 出願先変更  |

- 2月23日～2月26日 調査書提出  
 3月8日 学力検査  
 3月8日又は9日 面接等  
 3月14日 合格者発表
- (ウ) III期選抜関係日程  
 3月15日～3月16日 出願書類受付  
 3月19日 出願先変更  
 3月22日 面接等  
 3月23日 合格者発表
- (エ) 連携型選抜関係日程  
 1月18日～1月23日 出願書類受付  
 I期選抜と同日又はI期選抜に近接した日 面接等  
 2月6日 合格内定通知  
 2月8日～2月13日 入学確約書提出  
 3月14日 合格者発表
- (オ) 通信制の課程選抜日程  
 2月14日～3月27日 出願書類受付  
 4月4日 合格者発表(個人宛通知)

- ウ ふたば未来学園高等学校の入学選抜  
 平成27年度入学選抜において、双葉高等学校(普通科)、浪江高等学校(普通科)、浪江高等学校津島校(普通科)、富岡高等学校(国際・スポーツ科)、双葉翔陽高等学校(総合学科)を募集停止とし、平成27年4月にふたば未来学園高等学校を開校した。平成30年度連携型選抜においては、次の(ア)～(ウ)に該当する者を出願資格を有する者とした。
- (ア) 出願時にJFAアカデミー福島又は双葉地区教育構想ビクトリープログラムに参加している者
- (イ) 次の双葉郡の中学校に在籍している者  
 双葉郡浪江町立浪江中学校  
 双葉郡浪江町立浪江東中学校  
 双葉郡浪江町立津島中学校  
 双葉郡葛尾村立葛尾中学校  
 双葉郡双葉町立双葉中学校  
 双葉郡大熊町立大熊中学校  
 双葉郡富岡町立富岡第一中学校  
 双葉郡富岡町立富岡第二中学校  
 双葉郡川内村立川内中学校  
 双葉郡檜葉町立檜葉中学校  
 双葉郡広野町立広野中学校
- (ウ) ふたば未来学園高等学校との連携型中高一貫教育を実施している中学校に在籍している者以外で、東日本大震災が発生した時に、双葉郡内の小学校に在籍していた者又は双葉郡内に保護者が居住していた者で、中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校若しくは中等教育学校の前期課程を平成30年3月に卒業見込又は修了見込の者

エ 志願者数・合格者数

◇各選抜ごとの集計

※ 「普通科等」には、普通科、理数科、数理科学科、文理科、国際文化科、英語科、体育科、デザイン科学科、国際科学科が含まれる。

( ) 内は平成29年度

(ア) I期選抜

《全日制》

| 学科   | 入学定員               | I期選抜<br>定員       | 志願者数             |                  |                  | 志願<br>倍率       | 合格内定者数           |                  |                  |
|------|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|------------------|------------------|------------------|
|      |                    |                  | 男                | 女                | 計                |                | 男                | 女                | 計                |
| 普通科等 | 7,700              | 1,908            | 1,139            | 1,694            | 2,833            | 1.48           | 769              | 1,190            | 1,959            |
| 農業   | 1,040              | 448              | 272              | 347              | 619              | 1.38           | 198              | 249              | 447              |
| 水産   | 160                | 56               | 74               | 12               | 86               | 1.54           | 49               | 11               | 60               |
| 工業   | 2,120              | 958              | 1,158            | 150              | 1,308            | 1.37           | 851              | 110              | 961              |
| 商業   | 1,560              | 658              | 329              | 751              | 1,080            | 1.64           | 198              | 502              | 700              |
| 家庭   | 40                 | 14               | 2                | 10               | 12               | 0.86           | 2                | 7                | 9                |
| 総合   | 1,320              | 422              | 263              | 465              | 728              | 1.73           | 158              | 284              | 442              |
| 計    | 13,940<br>(14,530) | 4,464<br>(4,624) | 3,237<br>(3,311) | 3,429<br>(3,580) | 6,666<br>(6,891) | 1.49<br>(1.49) | 2,225<br>(2,213) | 2,353<br>(2,534) | 4,578<br>(4,747) |

《定時制》

| 学科 | 入学定員         | I期選抜<br>定員   | 志願者数       |            |              | 志願<br>倍率       | 合格内定者数     |            |              |
|----|--------------|--------------|------------|------------|--------------|----------------|------------|------------|--------------|
|    |              |              | 男          | 女          | 計            |                | 男          | 女          | 計            |
| 普通 | 440          | 140          | 64         | 97         | 161          | 1.15           | 35         | 72         | 107          |
| 工業 | 40           | 12           | 2          | 2          | 4            | 0.33           | 2          | 2          | 4            |
| 計  | 480<br>(480) | 152<br>(152) | 66<br>(84) | 99<br>(99) | 165<br>(183) | 1.09<br>(1.20) | 37<br>(44) | 74<br>(71) | 111<br>(115) |

(イ) 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（連携型選抜）

| 学科 | 入学定員         | 連携型選抜<br>定員  | 志願者数        |              |              | 志願<br>倍率       | 合格内定者数     |            |              |
|----|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|----------------|------------|------------|--------------|
|    |              |              | 男           | 女            | 計            |                | 男          | 女          | 計            |
| 普通 | 80           | 32           | 17          | 13           | 30           | 0.94           | 17         | 13         | 30           |
| 工業 | 80           | 24           | 12          | 5            | 17           | 0.71           | 12         | 5          | 17           |
| 総合 | 320          | 128          | 66          | 101          | 167          | 1.30           | 46         | 80         | 126          |
| 計  | 480<br>(480) | 184<br>(192) | 95<br>(101) | 119<br>(115) | 214<br>(216) | 1.16<br>(1.13) | 75<br>(84) | 98<br>(93) | 173<br>(177) |

(ウ) II期選抜

《全日制》

| 学科   | 入学定員               | I期選抜・<br>連携型選抜<br>合格内定者を<br>除いた定員 | 志願者数             |                  |                  | 志願<br>倍率       | 合格内定者数           |                  |                  |
|------|--------------------|-----------------------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|------------------|------------------|------------------|
|      |                    |                                   | 男                | 女                | 計                |                | 男                | 女                | 計                |
| 普通科等 | 7,700              | 5,711                             | 2,903            | 3,073            | 5,976            | 1.05           | 2,388            | 2,529            | 4,917            |
| 農業   | 1,040              | 593                               | 316              | 254              | 570              | 0.96           | 265              | 226              | 491              |
| 水産   | 160                | 100                               | 69               | 15               | 84               | 0.84           | 58               | 14               | 72               |
| 工業   | 2,120              | 1,142                             | 977              | 84               | 1,061            | 0.93           | 848              | 70               | 918              |
| 商業   | 1,560              | 860                               | 387              | 569              | 956              | 1.11           | 320              | 454              | 774              |
| 家庭   | 40                 | 31                                | 1                | 8                | 9                | 0.29           | 1                | 7                | 8                |
| 総合   | 1,320              | 666                               | 311              | 385              | 696              | 1.05           | 260              | 321              | 581              |
| 計    | 13,940<br>(14,530) | 9,103<br>(9,519)                  | 4,964<br>(5,267) | 4,388<br>(4,691) | 9,352<br>(9,958) | 1.03<br>(1.05) | 4,140<br>(4,403) | 3,621<br>(3,830) | 7,761<br>(8,233) |

《定時制》

| 学科 | 入学定員         | I期選抜<br>合格内定者を<br>除いた定員 | 志願者数         |            |              | 志願<br>倍率       | 合格内定者数     |            |              |
|----|--------------|-------------------------|--------------|------------|--------------|----------------|------------|------------|--------------|
|    |              |                         | 男            | 女          | 計            |                | 男          | 女          | 計            |
| 普通 | 440          | 333                     | 97           | 65         | 162          | 0.49           | 73         | 58         | 131          |
| 工業 | 40           | 36                      | 5            | 0          | 5            | 0.14           | 5          | 0          | 5            |
| 計  | 480<br>(480) | 369<br>(365)            | 102<br>(124) | 65<br>(78) | 167<br>(202) | 0.45<br>(0.55) | 78<br>(88) | 58<br>(69) | 136<br>(157) |

## (エ) 外国人生徒等に係る特別枠選抜

| 学校名   | 学科名  | 定員  | 志願者数 |   |   | 合格者数 |   |   |
|-------|------|-----|------|---|---|------|---|---|
|       |      |     | 男    | 女 | 計 | 男    | 女 | 計 |
| 福島北   | 総合   | 若干名 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 |
| 福島南   | 国際文化 | 若干名 | 0    | 3 | 3 | 0    | 3 | 3 |
| あさか開成 | 国際科学 | 若干名 | 1    | 1 | 2 | 1    | 0 | 1 |
| 光南    | 総合   | 若干名 | 4    | 1 | 5 | 2    | 1 | 3 |
| 会津学鳳  | 総合   | 若干名 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 |
| 湯本    | 普通   | 若干名 | 0    | 1 | 1 | 0    | 1 | 1 |
| 相馬東   | 総合   | 若干名 | 1    | 0 | 1 | 1    | 0 | 1 |

## (オ) III期選抜

《全日制》

| 学科   | 入学定員             | 志願者数         |              |              | 合格者数         |              |              |
|------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|      |                  | 男            | 女            | 計            | 男            | 女            | 計            |
| 普通科等 | 794              | 111          | 88           | 199          | 75           | 76           | 151          |
| 農業   | 102              | 17           | 4            | 21           | 12           | 4            | 16           |
| 水産   | 28               | 9            | 2            | 11           | 5            | 2            | 7            |
| 工業   | 224              | 30           | 2            | 32           | 24           | 1            | 25           |
| 商業   | 86               | 5            | 14           | 19           | 5            | 14           | 19           |
| 家庭   | 23               | 1            | 0            | 1            | 1            | 0            | 1            |
| 総合   | 85               | 12           | 9            | 21           | 10           | 9            | 19           |
| 計    | 1,342<br>(1,286) | 185<br>(190) | 119<br>(115) | 304<br>(305) | 132<br>(131) | 106<br>(105) | 238<br>(236) |

《定時制》

| 学科 | 入学定員         | 志願者数       |            |            | 合格者数       |            |            |
|----|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|    |              | 男          | 女          | 計          | 男          | 女          | 計          |
| 普通 | 202          | 31         | 15         | 46         | 22         | 11         | 33         |
| 工業 | 31           | 7          | 0          | 7          | 7          | 0          | 7          |
| 計  | 233<br>(208) | 38<br>(26) | 15<br>(13) | 53<br>(39) | 29<br>(18) | 11<br>(11) | 40<br>(29) |

## ◇III期選抜実施後の最終集計

※ 「普通科等」には、普通科、理数科、数理科学科、文理科、国際文化科、英語科、  
体育科、デザイン科学科、国際科学科が含まれる。

( ) 内は平成29年度

《全日制》

| 学科   | 入学定員  | I期選抜<br>合格<br>内定者数 | 連携型選抜<br>合格<br>内定者数 | II期選抜<br>合格者数 | III期選抜<br>合格者数 | 合格者数  |       |       |
|------|-------|--------------------|---------------------|---------------|----------------|-------|-------|-------|
|      |       |                    |                     |               |                | 男     | 女     | 計     |
| 普通科等 | 7,700 | 1,959              | 30                  | 4,917         | 151            | 3,249 | 3,808 | 7,057 |
| 農業   | 1,040 | 447                |                     | 491           | 16             | 475   | 479   | 954   |
| 水産   | 160   | 60                 |                     | 72            | 7              | 112   | 27    | 139   |

| 学科 | 入学定員               | Ⅰ期選抜<br>合格<br>内定者数 | 連携型選抜<br>合格<br>内定者数 | Ⅱ期選抜<br>合格者数     | Ⅲ期選抜<br>合格者数 | 合格者数             |                  |                    |
|----|--------------------|--------------------|---------------------|------------------|--------------|------------------|------------------|--------------------|
|    |                    |                    |                     |                  |              | 男                | 女                | 計                  |
| 工業 | 2,120              | 961                | 17                  | 918              | 25           | 1,735            | 186              | 1,921              |
| 商業 | 1,560              | 700                |                     | 774              | 19           | 523              | 970              | 1,493              |
| 家庭 | 40                 | 9                  |                     | 8                | 1            | 4                | 14               | 18                 |
| 総合 | 1,320              | 442                | 126                 | 581              | 19           | 474              | 694              | 1,168              |
| 計  | 13,940<br>(14,530) | 4,578<br>(4,747)   | 173<br>(177)        | 7,761<br>(8,233) | 238<br>(236) | 6,572<br>(6,831) | 6,178<br>(6,562) | 12,750<br>(13,393) |

《定時制》

| 学科 | 入学定員         | Ⅰ期選抜<br>合格<br>内定者数 | 連携型選抜<br>合格<br>内定者数 | Ⅱ期選抜<br>合格者数 | Ⅲ期選抜<br>合格者数 | 合格者数         |              |              |
|----|--------------|--------------------|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|    |              |                    |                     |              |              | 男            | 女            | 計            |
| 普通 | 440          | 107                |                     | 131          | 33           | 130          | 141          | 271          |
| 工業 | 40           | 4                  |                     | 5            | 7            | 14           | 2            | 16           |
| 計  | 480<br>(480) | 111<br>(115)       |                     | 136<br>(157) | 40<br>(29)   | 144<br>(150) | 143<br>(151) | 287<br>(301) |

## 2 現職教育

### (1) 各種研修並びに講習会

| 名称             | 期日                     | 期間    | 会場                                                                                                             | 参加者                  |
|----------------|------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 新任校長研修会        | 5.1～5.19               | 2日    | 教育センター                                                                                                         | 新任県立高等学校長8名          |
| 新任教頭研修会        | 5.18～5.19              | 2日    | 教育センター                                                                                                         | 新任県立高等学校教頭12名        |
| 経験者研修Ⅲ（中堅教員研修） | 10.25～10.27            | 3日    | 教育センター                                                                                                         | 県立学校中堅教員54名          |
| 初任者研修（基本研修）    | 4.4～4.5                | 2日    | 教育センター                                                                                                         | 高等学校初任者研修<br>対象教員46名 |
| 〃（一次研修）        | 4.19～4.21              | 3日    | 教育センター                                                                                                         |                      |
| 〃（二次研修）        | 2.15～2.17              | 3日    | 教育センター                                                                                                         |                      |
| 〃（教科別研修）       | （1班）<br>9.6～9.8        | 3日    | ・国語（西会津）<br>・地歴公民（原町）<br>・数学（新地）<br>・理科（修明）<br>・保健体育（小名浜）<br>・美術（湯本、四倉）<br>・家庭（小野）<br>・農業水産（岩瀬農業）<br>・商業（若松商業） |                      |
|                | （2班）<br>9.25～9.27      | 3日    | ・音楽<br>（磐城桜が丘、平工業）<br>・書道（福島東）<br>・工業（福島工業）                                                                    |                      |
|                | 9.27～9.29<br>10.3～10.5 | 3日    | ・英語（白河実業）<br>・情報（会津学鳳）                                                                                         |                      |
| 〃（地区別研修）       | 4月～11月                 | 11日   | 各地区施設<br>学校等                                                                                                   |                      |
| 〃（所属における研修）    | 4月～3月                  | 150時間 | 各所属校                                                                                                           |                      |

| 名 称                         | 期日                | 期間    | 会 場     | 参加者                      |
|-----------------------------|-------------------|-------|---------|--------------------------|
| 2年次教員フォローアップ研修<br>(教科等指導研修) | 7.22              | 1日    | 教育センター  | 高等学校初任者研修<br>修了教員49名     |
| 〃 (企業体験研修)                  | 長期休業期間中           | 2日    | 各企業等    |                          |
| 〃 (所属校における研修)               | 4月～3月             | 30時間  | 各所属校    |                          |
| 経験者研修Ⅰ (校外研修)               | 1班<br>10.11～10.13 | 3日    | 教育センター  | 県立学校教職経験<br>5年を経過した者39名  |
| 〃 (所属校における研修)               | 5月～12月            | 5日    | 各所属校    |                          |
| 経験者研修Ⅱ (共通研修)               | 4.18              | 1日    | 教育センター  | 県立学校教職経験<br>10年を経過した者53名 |
| 〃 (生徒指導研修)                  | 7.4               | 1日    | 教育センター  |                          |
| 〃 (教科指導研修Ⅰ)                 | 7.5               | 1日    |         |                          |
| 〃 (教科指導研修Ⅱ)                 | 2.7～2.8           | 2日    |         |                          |
| 〃 (社会体験研修Ⅰ)                 | 4月～1月             | 2日    | 各所、施設等  |                          |
| 〃 (所属校における研修)               | 4月～1月             | 15日以上 | 各所属校    |                          |
| 〃 (選択研修)                    | 4月～1月             | 3日以上  | 各所、施設等  |                          |
| 新任教務主任研修会                   | 8.10              | 1日    | 本宮高校    | 新任教務主任17名                |
|                             | 8.17              | 1日    | あさか開成高校 |                          |
|                             | 8.18              | 1日    | 喜多方東高校  |                          |
|                             | 8.18              | 1日    | 平工業高校   |                          |

## (2) 教員体験研修 (2か月)

実施せず

## (3) 教職員等中央研修

ア 趣旨

学校経営力向上のための高度で専門的な知識等を習得させ、各地域の中核となる校長、教頭、中堅教員を育成する。

イ 主催 独立行政法人教員研修センター

ウ 共催 文部科学省

エ 会場 独立行政法人教員研修センター

オ 期間及び参加者

◇校長研修 (10月16日～10月20日)

県立平工業高等学校校長 鈴木 康隆

◇副校長・教頭等研修 (9月25日～10月6日)

県立安積高等学校教頭 阿部 拓宏

◇中堅教員研修 (11月20日～12月8日)

県立福島東高等学校教諭 荒川 政弘

県立清陵情報高等学校教諭 春木 祐二

## (4) 学校組織マネジメント指導者養成研修

ア 趣旨

学校組織マネジメントの理論を身に付け、的確な校長のリーダーシップと経営理念のもとに戦略を構築し、学校内外の資源を活用することができるようにする。

イ 主催 独立行政法人教員研修センター

ウ 共催 文部科学省

エ 会場 独立行政法人教員研修センター

オ 期間及び参加者

(10月23日～10月27日)

県立橘高等学校教頭 加藤 香洋

## 3 教育課程

### (1) 高等学校教育課程説明会

平成29年度は実施せず。

### (2) 福島県高等学校教育課程講習会

ア 目的

高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図るとともに、教育課程実施に伴う諸問題について研究協議を行う。

イ 主催

文部科学省及び福島県教育委員会

ウ 期日・会場・参加者数

| 地 区    | 期日    | 会 場       | 参加者数 |
|--------|-------|-----------|------|
| 県中・県南  | 8月7日  | 清陵情報高等学校  | 115  |
| いわき    | 8月8日  | いわき光洋高等学校 | 55   |
| 県 北    | 8月9日  | 福島明成高等学校  | 64   |
| 会津・南会津 | 8月10日 | 会津学鳳高等学校  | 57   |
| 合 計    |       |           | 291  |



エ 部会の参加者

設置部会及び参加者数は次の通りである。

| 部 会     | 参加者数 | 部 会 | 参加者数 |
|---------|------|-----|------|
| 総 則     | 0    | 書 道 | 0    |
| 国 語     | 51   | 家 庭 | 12   |
| 地 理 歴 史 | 16   | 情 報 | 3    |
| 公 民     | 3    | 農 業 | 21   |
| 数 学     | 40   | 工 業 | 34   |
| 理 科     | 28   | 商 業 | 26   |
| 保 健 体 育 | 40   | 水 産 | 8    |
| 音 楽     | 5    | 福 祉 | 2    |
| 美術・工芸   | 2    | 計   | 291  |

※外国語部会については、教育課程講習会を実施せず英語教育推進リーダー中央研修参加者による研修を実施する。

(3) 情報教育の充実

ア 情報教育研修

- (ア) 専門研修 高等学校教育の産業教育及び教育センターの情報処理教育講座の欄参照
- (イ) 一般研修 各種研修において情報処理に関する演習等を実施

イ 情報処理関係学科の設置状況

|    |          |                       |
|----|----------|-----------------------|
| 農業 | 生産情報     | 福島明成、岩瀬農業             |
| 工業 | 情報技術     | 郡山北工業、会津工業、平工業        |
|    | 情報電子     | 福島工業、清陵情報             |
|    | 情報システム   | 二本松工業                 |
| 商業 | 情報処理     | 郡山商業、清陵情報             |
|    | 情報会計     | 福島南、本宮、清陵情報           |
|    | 情報ビジネス   | 福島商業、白河実業、若松商業、小高産業技術 |
|    | オフィス情報   | 須賀川                   |
|    | 情報マネジメント | 修明                    |
|    | 情報システム   | 喜多方桐桜、平商業             |
|    | 産業革新     | 小高産業技術                |
| 水産 | 情報通信     | いわき海星                 |

(4) 国際理解教育の充実

語学指導等を行う外国青年招致事業

国際化に対応できる人材の育成及び外国語教育の充実

ア 招致人数 32名

- イ 配 置 ○県内23の高校に各1名を配置、配置校における指導及び訪問指導
- 県内8つの高校に各1名、県立中学校に1名配置、専任校における指導

4 学力向上対策等

(1) 平成29年度文部科学省指定各種研究校

| 研究種別                 | 学校名  | 指定年度  | 研究主題                                                                                                        |
|----------------------|------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スーパーサイエンスハイスクール(SSH) | 福島   | 29～33 | 高い専門性と地域のリーダーとしての資質を併せ持つ世界で活躍する科学技術人材の育成を目的とし、この達成のために創造的思考力、表現力・発信力、国際力、専門力、物事を完遂する力といった5つの資質・能力の育成を目標とする。 |
|                      | 会津学鳳 | 28～32 | 大学、研究機関、地元企業の協力のもとに、高度なコンピュータリテラシーをそなえ、国際化、情報化社会で活躍できる科学技術系人材を、中学校・高等学校・大学の連携体制を通して育成するプログラムの研究開発。          |

(2) アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業

ア スペシャリスト育成ミッション支援事業

アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて、生徒の進路実現に必要な学力向上や指導力の向上及び地域とのつながりを重視したプログラム等を実施し、社会人としての自覚や基礎学力の育成を図った。各学校における指導内容や指導法について連携を図り、3年間を見通した計画的な指導体制の充実を図った。

○ 対象校：県立高等学校23校

福島商業、福島明成、福島西、須賀川、須賀川桐陽、清陵情報、岩瀬農業、光南、白河旭、白河実業、塙工業、石川、田村、船引、若松商業、猪苗代、川口、南会津、湯本、小名浜、いわき海星、相馬農業、新地

イ 大学進学ミッション支援事業

アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて、生徒の大学進学へ向けた早期の意識改革と学力向上を図った。さらには、教員の教科指導力や進学指導力の向上を図るとともに、各学校における指導内容や指導法等について情報共有や連携を進めて、3年間を見通した計画的な指導体制の充実を図った。

○ 対象校：県立高等学校16校

福島、橘、福島東、安積、安積黎明、郡山東、郡山、白河、会津、葵、会津学鳳、喜多方、磐城、磐城桜が丘、相馬、原町

ウ オールふくしまリーダー育成プロジェクト

教員や予備校講師によるレベルの高い授業を実施し学力の向上を図るとともに、進路講演会や大学の先輩との交流、参加者同士の協議等を通して進路意識の高揚を図り、将来リーダーシップを発揮し社会に貢献できる人材としての礎を築いた。

- 対象：難関大学進学への意識、意欲の高い県立高等学校1年生及び2年生、それぞれ150名程度。
- 日時：1年生・3泊4日  
平成30年3月25日～28日  
2年生・地区別2日間  
平成30年9月2日、3日又は  
平成30年9月9日、10日（地区による）

## 5 生徒指導・進路指導

### (1) 教育事務所指導主事の活動

県内7地区の教育事務所の指導主事の活動によって生徒指導の充実を図った。

主な活動は次のとおりである。

- ア 地区内の高等学校の訪問指導（計画・随時）
- イ 地区内の高等学校生活指導協議会の指導・援助
- ウ 関係諸機関、諸団体との連携
- エ 生徒指導関係の情報と資料の収集
- オ 生徒指導関係の諸研修会における指導

### (2) スクールカウンセラーの配置

生徒の問題行動の多様化や深刻化、東日本大震災に伴う心のケアに対応するため、全ての県立高等学校（88校）にスクールカウンセラーを配置した。

## 6 学校行事

### (1) 卒業式

ア 県立高等学校卒業生数

| 課程  | 性別    |       | 計      |
|-----|-------|-------|--------|
|     | 男     | 女     |        |
| 全日制 | 6,918 | 6,552 | 13,470 |
| 定時制 | 98    | 92    | 190    |
| 通信制 | 45    | 76    | 121    |
| 計   | 7,061 | 6,720 | 13,781 |

イ 卒業式実施期日

| 日付   | 種別  |     |     |    |
|------|-----|-----|-----|----|
|      | 全日制 | 定時制 | 通信制 | 計  |
| 3月1日 | 82  | 6   | 0   | 88 |
| 3月2日 | 1   | 0   | 0   | 1  |
| 3月4日 | 0   | 0   | 1   | 1  |
| 3月5日 | 0   | 1   | 0   | 1  |
| 計    | 83  | 7   | 1   | 91 |

ウ 県知事、県議会議長、県教育長臨席校

- 県知事臨席校 3月1日 ふたば未来学園高等学校
- 県議会議長臨席校 3月1日 ふたば未来学園高等学校
- 県議会副議長臨席校 3月1日 郡山東高等学校
- 県教育長臨席校 3月1日 ふたば未来学園高等学校

### (2) 修学旅行（県立高等学校）（ ）は前年度

- ア 参加生徒総数 13,573人(13,592人)
- イ 参加率 95.4%(98.3%)
- ウ 行先

| 行先       | 校数      |
|----------|---------|
| 北海道      | 2 (0)   |
| 関東       | 0 (0)   |
| 奈良・京都    | 36 (52) |
| 中国・近畿    | 20 (15) |
| 九州       | 1 (1)   |
| 沖縄       | 25 (15) |
| 四国・中国・近畿 | 0 (1)   |
| 四国・近畿    | 1 (0)   |
| 四国       | 0 (0)   |
| 海外       | 3 (4)   |

エ 航空機利用 49校(43校)

- 北海道方面 2校(0校)
- 大阪方面 18校(23校)
- 九州方面 1校(1校)
- 沖縄方面 25校(15校)
- 広島 0校(0校)
- 愛媛 0校(0校)
- 海外 3校(4校)

オ 泊日数

- 1泊2日 0校(0校)
- 2泊3日 3校(0校)
- 3泊4日 74校(73校)
- 4泊5日 11校(13校)

カ 必要経費

- 生徒一人当たりの最高額 172,579円(169,386円)
- 最低額 78,534円(73,603円)
- 平均額 104,776円(101,556円)

キ 引率責任者

- 校長 38校(41校)
- 教頭 50校(47校)

## 7 産業教育

### (1) 県産業教育フェア

平成29年度は実施せず。

## (2) 文部科学省主催の研修講座と内容

### ア 平成29年度産業・情報技術等指導者養成研修

| 教科 | 氏名    | 職名 | 学校名       | 研修先               | 研修期間        |
|----|-------|----|-----------|-------------------|-------------|
| 農業 | 山本智久  | 教諭 | 修明高等学校    | クリエイト浜松他          | 7月31日～8月4日  |
| 工業 | 酒井政明  | 教諭 | 喜多方桐桜高等学校 | 金沢工業大学            | 8月21日～8月25日 |
| 商業 | 鹿目新   | 教諭 | 福島商業高等学校  | 千葉商科大学            | 7月31日～8月4日  |
| 水産 | 清水弥   | 教諭 | いわき海星高等学校 | 一般社団法人大日本水産会      | 8月7日～8月10日  |
| 家庭 | 鈴木砂代子 | 教諭 | 安達東高等学校   | 全国高等学校長協会家庭部会事務局他 | 8月7日～8月10日  |
| 情報 | 阿部憲二  | 教諭 | 郡山商業高等学校  | 千葉商科大学            | 7月31日～8月4日  |

### イ 平成29年度産業教育実習助手研修

| 教科 | 氏名   | 職名   | 学校名     | 研修先    | 研修期間        |
|----|------|------|---------|--------|-------------|
| 工業 | 池田政人 | 実習助手 | 平工業高等学校 | 足利工業大学 | 8月21日～8月25日 |

### ウ 平成29年度学校農業・家庭クラブ連盟指導者養成講座

| 教科 | 氏名    | 職名 | 学校名      | 研修先                 | 研修期間        |
|----|-------|----|----------|---------------------|-------------|
| 農業 | 江川篤   | 教諭 | 会津農林高等学校 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | 8月2日～8月4日   |
| 家庭 | 鈴木美加子 | 教諭 | 湯本高等学校   | 国立オリンピック記念青少年総合センター | 7月27日～7月28日 |

## 8 学校訪問

### (1) 目的

指導主事等が県立学校を訪問し、関係者とともに授業研究や教科の指導に関する研究協議を行うことにより、学習指導等の充実を図る。

### (2) 訪問校

経験者研修Ⅰ、又は経験者研修Ⅱの該当者の勤務する学校から数校を選定する。

### (3) 訪問学校一覧

|           |            |
|-----------|------------|
| 福島高等学校    | 英語、理科      |
| 橘高等学校     | 地理歴史       |
| 福島北高等学校   | 国語、学校保健    |
| 福島東高等学校   | 理科         |
| 安積高等学校    | 情報         |
| 郡山東高等学校   | 数学         |
| 郡山北工業高等学校 | 工業         |
| 須賀川高等学校   | 公民         |
| 清陵情報高等学校  | 工業         |
| 岩瀬農業高等学校  | 保健体育、農業    |
| 光南高等学校    | 音楽、美術、地理歴史 |
| 白河高等学校    | 英語         |

|            |       |
|------------|-------|
| 白河旭高等学校    | 国語    |
| 白河実業高等学校   | 国語、公民 |
| 修明高等学校     | 農業、商業 |
| 石川高等学校     | 学校保健  |
| 田村高等学校     | 保健体育  |
| 会津高等学校     | 理科    |
| 喜多方高等学校    | 保健体育  |
| 喜多方東高等学校   | 書道    |
| 西会津高等学校    | 家庭    |
| いわき総合高等学校  | 数学    |
| 磐城農業高等学校   | 英語    |
| 勿来工業高等学校   | 工業    |
| 好間高等学校     | 家庭    |
| 相馬高等学校     | 保健体育  |
| 相馬東高等学校    | 商業    |
| 相馬農業高等学校   | 数学    |
| 白河第二高等学校   | 国語    |
| いわき翠の杜高等学校 | 理科    |

## 9 県立学校学校教育指導委員

| 教科名                    | 氏名    | 職名   | 学校名         |
|------------------------|-------|------|-------------|
| 国語                     | 江原 沙織 | 教諭   | 川俣高等学校      |
|                        | 小野寺洋子 | 教諭   | 郡山高等学校      |
|                        | 岩田 隼  | 教諭   | 小野高等学校      |
| 地理歴史                   | 岩間真由美 | 教諭   | 須賀川桐陽高等学校   |
|                        | 神田みほ子 | 教諭   | 猪苗代高等学校     |
| 公民                     | 菅野 京子 | 教諭   | 福島明成高等学校    |
|                        | 八幡 史恵 | 教諭   | 修明高等学校      |
| 数学                     | 小島 栄人 | 教諭   | 郡山高等学校      |
|                        | 佐川 綾  | 教諭   | 磐城高等学校      |
|                        | 高谷 喜彦 | 教諭   | 相馬東高等学校     |
| 理科                     | 菅野 俊樹 | 教諭   | 福島東高等学校     |
|                        | 渡邊 吉城 | 教諭   | 保原高等学校      |
|                        | 渡邊 義和 | 教諭   | 安積高等学校      |
|                        | 渡邊 大典 | 教諭   | 湖南高等学校      |
| 保健体育                   | 松井 暢彦 | 教諭   | 福島高等学校      |
|                        | 増子 賢俊 | 教諭   | 白河旭高等学校     |
|                        | 三國 邦彦 | 教諭   | 喜多方高等学校     |
|                        | 小野 瞳  | 教諭   | 板下高等学校      |
| 芸術(音楽)<br>(美術)<br>(書道) | 篠原 久人 | 教諭   | 福島工業高等学校    |
|                        | 木口 純孝 | 教諭   | 福島西高等学校     |
|                        | 郡司 仁美 | 教諭   | 福島北高等学校     |
| 外国語                    | 砂子田 吏 | 教諭   | 福島西高等学校     |
|                        | 春日 智志 | 教諭   | 田島高等学校      |
|                        | 人見 彩  | 教諭   | 湯本高等学校      |
| 家庭                     | 戸坂 孝子 | 教諭   | 耶麻農業高等学校    |
|                        | 清水堅香子 | 教諭   | 勿来高等学校      |
| 情報                     | 阿部 泰之 | 教諭   | 磐城桜が丘高等学校   |
|                        | 鈴木 拓也 | 教諭   | 遠野高等学校      |
| 農業・水産                  | 中畑 良司 | 教諭   | 岩瀬農業高等学校    |
|                        | 鈴木 洋行 | 教諭   | 修明高等学校      |
|                        | 佐藤 博之 | 教諭   | 会津農林高等学校    |
| 工業                     | 熊谷 雅仁 | 教諭   | 白河実業高等学校    |
|                        | 田中 哲  | 教諭   | 喜多方桐桜高等学校   |
|                        | 小宅 郁雄 | 教諭   | 平工業高等学校     |
|                        | 山野辺 康 | 教諭   | 平工業高等学校     |
| 商業                     | 二瓶 政紀 | 教諭   | 若松商業高等学校    |
|                        | 高野 賢司 | 教諭   | ふたば未来学園高等学校 |
| 定通                     | 木村 哲也 | 教諭   | 会津第二高等学校    |
| 学校保健                   | 小林 恵子 | 養護教諭 | 塙工業高等学校     |
|                        | 長崎 幸恵 | 養護教諭 | 相馬農業高等学校    |

(40名)

## 10 教科用図書

### (1) 教科書採択事務説明会

平成29年度は実施せず。

### 11 教育研究団体

#### (1) 福島県高等学校長協会

組織

平成29年度福島県高等学校長協会役員名簿

| 役職名  | 氏名          |
|------|-------------|
| 会長   | 菅野 誠 (福島)   |
| 副会長  | 渡辺 昇 (安積)   |
| 副会長  | 山内 正之 (会津)  |
| 副会長  | 阿部 正春 (磐城)  |
| 副会長  | 佐川 尚史 (原町)  |
| 監査   | 井関 和明 (福西)  |
| 監査   | 池田 健一郎 (福南) |
| 事務局長 | 吉田 豊彦 (福東)  |

支部

| 支部  | 支部長        | 副支部長        |
|-----|------------|-------------|
| 県北  | 菅野 誠 (福島)  | 青山 修身 (橘)   |
|     |            | 佐久間秀夫 (福明)  |
| 県南  | 渡辺 昇 (安積)  | 菅野 哲哉 (黎明)  |
|     |            | 太田 孝 (白河)   |
| 会津  | 山内 正之 (会津) | 高城 友治 (葵)   |
|     |            | 瓜生 康弘 (喜多方) |
| いわき | 阿部 正春 (磐城) | 根本 良政 (桜が丘) |
|     |            | 澤尻 京二 (海星)  |
| 相双  | 佐川 尚史 (原町) | 江尻 雅彦 (新地)  |
|     |            | 丹野 純一 (ふ未来) |

理事会

|     | 氏名         |             |
|-----|------------|-------------|
| 理事会 | 菅野 誠 (福島)  | 青山 修身 (橘)   |
|     | 渡辺 昇 (安積)  | 小林 喜則 (福商)  |
|     | 山内 正之 (会津) | 佐久間秀夫 (福明)  |
|     | 阿部 正春 (磐城) | 松本 明倫 (福工)  |
|     | 山内 正之 (会津) | 白石 文夫 (萌世)  |
|     | 佐川 尚史 (原町) | 須田 康仁 (視支)  |
|     | 吉田 豊彦 (福東) | 廣瀬 敬彦 (高体連) |

| 専門委員会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)     |             |             |
|----------------------------|-------------|-------------|
| 専門委員会                      | 氏 名         |             |
| 管 理<br>運 営<br>委 員 会        | ◎吉田 強栄 (翠杜) | ○湯田 重哉 (田島) |
|                            | 池田健一郎 (福南)  | 丹野 純一 (ふ未来) |
|                            | 佐藤 恵一 (清陵)  | 須田 康仁 (視支)  |
|                            | 菊池 直之 (喜東)  | 渡邊 周二 (石支)  |
|                            | 安瀬 一夫 (い総)  | 阿部 正春 (磐城)  |
| 教 育<br>課 題<br>委 員 会        | ◎田中 誠 (石川)  | ○山崎 雅弘 (光南) |
|                            | 安田 修久 (修明)  | 長島 雄一 (川口)  |
|                            | 廣瀬 敬彦 (田村)  | 松尾 親弥 (遠野)  |
|                            | 吉田 豊彦 (福東)  | 門馬 栄 (平支)   |
|                            | 郷 清隆 (耶農)   | 片寄 一 (大笹支)  |
|                            | 齋藤 恵子 (た支)  | 西村 則昌 (相支)  |
| 生 徒<br>指 導<br>委 員 会        | ◎渡辺 譲治 (磐農) | ○阿部 秀樹 (四倉) |
|                            | 高野 成一 (福北)  | 佐藤 京治 (猪苗代) |
|                            | 高梨 哲夫 (二工)  | 江尻 雅彦 (新地)  |
|                            | 吉田 浩美 (湖南)  | 古河志津子 (あ支)  |
|                            | 佐藤 浩正 (塙工)  | 神田 豊 (会支)   |
| 教 育<br>課 程<br>委 員 会        | ◎猪俣 豊 (只見)  | ○佐藤 秀美 (相東) |
|                            | 佐久間秀夫 (福明)  | 富樫 実 (勿工)   |
|                            | 松本 明倫 (福工)  | 鹿目 敦子 (須支)  |
|                            | 渡邊 学 (小野)   | 齋藤 秀美 (い支)  |
|                            | 中野 隆幸 (西会津) | 菅野 誠 (福島)   |
|                            | 谷川 信一 (大沼)  |             |
| 高 校<br>入 試<br>検 討<br>委 員 会 | ◎鈴木 睦治 (あ開) | ○安田 徹 (保原)  |
|                            | 菊田 勇雄 (梁川)  | 星 栄一 (小名浜)  |
|                            | 遠藤 均 (須賀川)  | 比佐 功 (好間)   |
|                            | 桑名 俊之 (長沼)  | 中野 幹夫 (相農)  |
|                            | 芳賀 菊博 (喜桐)  | 山内 正之 (会津)  |
|                            | 諏佐 一夫 (坂下)  |             |
| 大 学<br>入 試<br>対 策<br>委 員 会 | ◎井関 和明 (福西) | ○瀬谷真理子 (郡東) |
|                            | 青山 修身 (橘)   | 加藤 知道 (学鳳)  |
|                            | 菅野 哲哉 (黎明)  | 瓜生 康弘 (喜多方) |
|                            | 小島 稔 (郡山)   | 根本 良政 (桜丘)  |
|                            | 末永 仁 (須桐)   | 森 義彦 (い光)   |
|                            | 太田 孝 (白河)   | 二瓶 晃一 (湯本)  |
|                            | 安倍真一郎 (白旭)  | 長田 公雄 (相馬)  |
|                            | 高城 友治 (葵)   | 上妻 弘 (郡支)   |
|                            | 渡辺 昇 (安積)   |             |

| 専門委員会                      | 氏 名         |              |
|----------------------------|-------------|--------------|
| 就 職<br>指 導<br>対 策<br>委 員 会 | ◎齋藤 寿 (郡商)  | ○澁谷 栄一 (郡北)  |
|                            | 小林 喜則 (福商)  | 鈴木 康隆 (平工)   |
|                            | 佐藤 誠一 (川俣)  | 松浦 冬樹 (平商)   |
|                            | 杉内 聡恵 (本宮)  | 澤尻 京二 (海星)   |
|                            | 大和田範雄 (岩農)  | 鈴木 稔 (小産)    |
|                            | 菅野 利彦 (若商)  | 白石 文夫 (萌世)   |
|                            | 二瓶 賢一 (会工)  | 芳賀 孝美 (聴支)   |
|                            | 佐藤 文男 (会農)  |              |
| 人 権<br>教 育<br>委 員 会        | ◎小河原健一 (富支) | ○吉津三千彦 (南会津) |
|                            | 佐藤 信常 (安達)  | 吉村 淳 (勿来)    |
|                            | 森田晶代 (安達東)  | 眞部 知子 (西支)   |
|                            | 馬場 裕史 (白実)  |              |

部会長

| 部 会    | 氏 名           |
|--------|---------------|
| 普通部会   | 青山 修身 (橘)     |
| 商業部会   | 小林 喜則 (福島商業)  |
| 農業部会   | 佐久間秀夫 (福島明成)  |
| 工業部会   | 松本 明倫 (福島工業)  |
| 水産部会   | 澤尻 京二 (いわき海星) |
| 家庭部会   | 森田 晶代 (安達東)   |
| 定通部会   | 白石 文夫 (郡山萌世)  |
| 特別支援部会 | 須田 康仁 (視覚支援)  |
| 理数部会   | 太田 孝 (白河)     |
| 英語国際部会 | 池田健一郎 (福島南)   |
| 体育部会   | 廣瀬 敬彦 (田村)    |
| 総合学科部会 | 安瀬 一夫 (いわき総合) |

全国校長会

| 部 会  | 氏 名            |
|------|----------------|
| 理 事  | 菅野 誠 (福島)      |
| 理 事  | 阿部 正春 (磐城)     |
| 理 事  | 佐川 尚史 (原町)     |
| 管理運営 | 吉田 強栄 (いわき翠の杜) |
| 教育課題 | 田中 誠 (石川)      |
| 生徒指導 | 渡辺 譲治 (磐城農業)   |
| 教育課程 | 猪俣 豊 (只見)      |
| 大学入試 | 井関 和明 (福島西)    |
| 就職対策 | 齋藤 寿 (郡山商業)    |
| 人権教育 | 小河原健一 (富岡支援)   |

## (2) 福島県高等学校教育研究会

ア 財政及び組織の状況

(ア) 本部

平成 29 年度福島県高等学校教育研究会

| 役職名 | 氏名    | 所属校・職名       |
|-----|-------|--------------|
| 会長  | 高野 成一 | 福島県立福島北高等学校長 |
| 副会長 | 伊豆 幸男 | 〃 船引高等学校長    |
| 副会長 | 高城 友治 | 〃 葵高等学校長     |
| 監査  | 菅野 誠  | 〃 福島高等学校長    |
| 監査  | 吉田 豊彦 | 〃 福島東高等学校    |
| 委員  | 松本 明倫 | 〃 福島工業高等学校長  |
| 委員  | 佐藤 恵一 | 〃 清陵情報高等学校長  |
| 委員  | 比佐 功  | 〃 好間高等学校長    |
| 委員  | 佐久間秀夫 | 〃 福島明成高等学校長  |
| 委員  | 小林 喜則 | 〃 福島商業高等学校長  |
| 委員  | 鈴木 睦治 | 〃 あさか開成高等学校長 |
| 委員  | 小島 稔  | 〃 郡山高等学校長    |
| 委員  | 菅野 哲哉 | 〃 安積黎明高等学校長  |
| 幹事  | 高村 健一 | 〃 福島北高等学校教頭  |
| 幹事  | 佐藤 真一 | 〃 福島北高等学校教頭  |

(イ) 部会

| 部会名  | 部会長氏名 | 所属校・職名     | 会員数 |
|------|-------|------------|-----|
| 養護教諭 | 松本 明倫 | 福島工業高等学校長  | 153 |
| 保健体育 | 比佐 功  | 好間高等学校長    | 451 |
| 理科   | 高城 友治 | 葵高等学校長     | 514 |
| 音楽   | 佐藤 恵一 | 清陵情報高等学校長  | 76  |
| 農業   | 佐久間秀夫 | 福島明成高等学校長  | 230 |
| 工業   | 松本 明倫 | 福島工業高等学校長  | 428 |
| 商業   | 小林 喜則 | 福島商業高等学校長  | 336 |
| 定通   | 松本 明倫 | 福島工業高等学校長  | 157 |
| 英語   | 鈴木 睦治 | あさか開成高等学校長 | 467 |
| 数学   | 伊豆 幸男 | 船引高等学校長    | 468 |
| 家庭   | 小島 稔  | 郡山高等学校長    | 142 |
| 美術工芸 | 菅野 哲哉 | 安積黎明高等学校長  | 69  |

○平成 29 年度予算 121,120 円

## 第 4 節 文化活動の振興

### 1 文化活動の振興

高校生の芸術文化活動の充実向上を図るため、福島県高等学校文化連盟に対する助成を行った。

平成 29 年 12 月 17 日(日)、白河文化交流館コミネスにおいて第 36 回福島県高等学校総合文化祭～ふくしまをつなぐ 2017～活動優秀校公演が行われ、事務局校である郡山東高等学校を中心とした実行委員会の協力により、成功裏のうちに終了した。

#### (1) 芸術文化活動発表機会の充実

ア 福島県高等学校文化連盟への助成

福島県高等学校総合文化祭の開催に対する補助を行った。(補助対象事業費計：8,072 千円、補助金額計：1,000 千円)

(ア) 平成 29 年度福島県高等学校文化連盟

役員

| 役職名      | 氏名    | 職  | 所属校      | 役職名 | 氏名    | 職  | 所属校       |
|----------|-------|----|----------|-----|-------|----|-----------|
| 会長       | 菅野 哲哉 | 校長 | 安積黎明高等学校 | 監事  | 齋藤 寿  | 校長 | 郡山商業高等学校  |
| 副会長(私立)  | 森 涼   | 校長 | 学法石川高等学校 | 幹事  | 飯豊 利子 | 教諭 | 郡山高等学校    |
| 副会長(県北)  | 井関 和明 | 校長 | 福島西高等学校  | 幹事  | 菊地 良尚 | 教諭 | 郡山東高等学校   |
| 副会長(県南)  | 瀬谷真理子 | 校長 | 郡山東高等学校  | 幹事  | 金子真理子 | 教諭 | 福島西高等学校   |
| 副会長(会津)  | 山内 正之 | 校長 | 会津高等学校   | 幹事  | 吉田 義仁 | 教諭 | 郡山北工業高等学校 |
| 副会長(いわき) | 比佐 功  | 校長 | 好間高等学校   | 幹事  | 岩田 隼  | 教諭 | 小野高等学校    |
| 副会長(相双)  | 江尻 雅彦 | 校長 | 新地高等学校   | 幹事  | 藤川 潤子 | 教諭 | 安積黎明高等学校  |
| 理事長      | 三條 敦  | 教諭 | 安積黎明高等学校 | 幹事  | 樋川 太地 | 講師 | 安積黎明高等学校  |
| 副理事長     | 根本 靖彦 | 教諭 | 安積黎明高等学校 | 顧問  | 阿部 武彦 | 課長 | 高校教育課     |
| 事務局長     | 澤田 静香 | 教諭 | 安積黎明高等学校 |     |       |    |           |

専門部会長・専門部委員長

| 専 門 部       | 部会長   | 職  | 所属校    | 部委員長  | 職  | 所属校    |
|-------------|-------|----|--------|-------|----|--------|
| 演劇          | 本田 哲朗 | 校長 | 福島成蹊   | 岡田 篤  | 教諭 | 福島東稜   |
| 高音連         | 佐藤 恵一 | 校長 | 清陵情報   | 菅原 民栄 | 教諭 | 岩瀬農業   |
| 合唱          | 渡辺 昇  | 校長 | 安積     | 鈴木 敦  | 教諭 | 安積     |
| 吹奏楽         | 丹野 純一 | 校長 | ふたば未来  | 今野 貴文 | 教諭 | ふたば未来  |
| 器楽管弦楽       | 齋藤 寿  | 校長 | 郡山商業   | 鈴木 敦  | 教諭 | 郡山商業   |
| 日本音楽        | 根本 良政 | 校長 | 磐城桜が丘  | 野口八重子 | 教諭 | 磐城桜が丘  |
| 吟詠剣詩舞       | 永井 祥一 | 校長 | 昌平     | 賀澤 裕三 | 講師 | 昌平     |
| 郷土芸能        | 中野 幹夫 | 校長 | 相馬農業   | 村田 和丈 | 教諭 | 相馬農業   |
| マーチングB・バトンT | 小島 稔  | 校長 | 郡山     | 工藤 幸恵 | 教諭 | 郡山     |
| 美術・工芸       | 菅野 哲哉 | 校長 | 安積黎明   | 片平 仁  | 教諭 | 福島工業   |
| 書道          | 白石 文夫 | 校長 | 郡山萌世   | 小野 俊彦 | 教諭 | 郡山萌世   |
| 写真          | 齋藤 寿  | 校長 | 郡山商業   | 石井 克明 | 教諭 | 郡山商業   |
| 放送          | 加藤 知道 | 校長 | 会津学鳳   | 高橋 俊男 | 教諭 | 会津学鳳   |
| 囲碁          | 阿部 正春 | 校長 | 磐城     | 鈴木 仁孝 | 教諭 | 橘      |
| 将棋          | 菅野 誠  | 校長 | 福島     | 根本 郁男 | 教諭 | 福島     |
| 弁論          | 山内 正之 | 校長 | 会津     | 中村 涼子 | 教諭 | 会津     |
| 小倉百人一首かるた   | 菅野 哲哉 | 校長 | 安積黎明   | 橋本 安広 | 教諭 | 田村     |
| 新聞          | 長田 公雄 | 校長 | 相馬     | 武内 義明 | 教諭 | 相馬     |
| 文芸          | 加藤 知道 | 校長 | 会津学鳳   | 奥 真理子 | 教諭 | 会津学鳳   |
| 自然科学        | 高城 友治 | 校長 | 葵      | 山口 伝  | 教諭 | 会津学鳳   |
| 農業          | 中野 幹夫 | 校長 | 相馬農業   | 藤原 忍  | 教諭 | 相馬農業   |
| 工業          | 渋谷 栄一 | 校長 | 郡山北工業  | 木船 健二 | 教諭 | 郡山北工業  |
| 商業          | 小林 喜則 | 校長 | 福島商業   | 三浦 純  | 教諭 | 福島商業   |
| 家庭          | 高城 友治 | 校長 | 葵      | 須賀千保子 | 教諭 | 葵      |
| 定通          | 吉田 強栄 | 校長 | いわき翠の杜 | 原 寛子  | 教諭 | いわき翠の杜 |
| 特別支援学校      | 芳賀 孝美 | 校長 | 聴覚支援学校 | 坂内 哲郎 | 教諭 | 聴覚支援学校 |
| J R C       | 富樫 実  | 校長 | 勿来工業   | 吉田 智洋 | 教諭 | 勿来工業   |

イ 第36回福島県高等学校総合文化祭

県内高校生の文化活動の成果発表と相互の交流を目的として、全県内において、平成29年5月から平成29年12月まで、専門部の行事を開催した。

ウ 第41回全国高等学校総合文化祭への参加

平成29年7月31日から8月4日まで、宮城県で開催された文化祭に参加するため、436名を派遣した。

〔参加部門等及び参加生徒数〕

総合開会式1名、パレード84名、演劇6名、合唱21名、吹奏楽31名、器楽・管弦楽118名、日本音楽41名、吟詠剣詩舞9名、郷土芸能22名、美術・工芸8名、書道5名、写真8名、放送22名、囲碁5名、将棋7名、弁論2名、小倉百人一首9名、新聞8名、文芸6名、自然科学19名、ボランティア4名

エ 平成 29 年度福島県高文連専門部全国大会入賞状況

(ア) 団体

| 専門部                     | 大会名                                                      | 成績                        | 学校名         |
|-------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------|-------------|
| 演劇                      | 第 41 回全国高等学校総合文化祭演劇部門                                    | 舞台美術賞                     | 相馬農業<br>飯舘校 |
| 合唱                      | 第 7 0 回全日本合唱コンクール全国大会                                    | 金賞 (全国 2 位相当) (大阪府知事賞)    | 会津          |
|                         |                                                          | 銀賞                        | 郡山          |
|                         |                                                          | 銀賞                        | 安積黎明        |
| 吹奏楽                     | 第 6 5 回全日本吹奏楽コンクール全国大会                                   | 銀賞                        | 磐城          |
|                         |                                                          | 銅賞                        | 湯本          |
|                         |                                                          | 銅賞                        | 平商業         |
| 器楽・管弦楽                  | 日本学校合奏コンクール 2 0 1 7 全国大会                                 | 金賞 (千葉県教育長賞)              | 郡山商業        |
| マーチングバンド・<br>バトントワリング   | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2 0 1 7                                | ミリタリー部門 (第 2 位)           | 郡山          |
|                         |                                                          | ポン部門 (第 1 位)              | 郡山商業        |
|                         |                                                          | プロップ部門 (第 2 位)            | 郡山商業        |
|                         | 第 9 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会                                    | JAZZ 部門 Small 編成 (第 1 位)  | 郡山          |
| POM 部門 (第 1 位)          |                                                          | 郡山商業                      |             |
| リリカル部門 (第 3 位)          |                                                          | 郡山商業                      |             |
| 第 1 0 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 | KICK 部門 (第 2 位)                                          | 郡山商業                      |             |
| 放送                      | 第 6 4 回 NHK 杯全国高等学校放送コンテスト                               | テレビドキュメント部門優秀賞            | 磐城          |
|                         | キッド・ウィットネス・ニュース (KWN) グローバル<br>コンテスト「グローバルコンテスト 2 0 1 7」 | グランプリ・ベスト・コンセプト賞          | 磐城          |
| 小倉百人一首かるた               | 第 39 回全国小倉百人一首かるた選手権大会                                   | 優勝                        | 安積黎明        |
| 新聞                      | 第 4 1 回全国高等学校総合文化祭新聞部門                                   | 優秀賞校                      | 郡山東         |
| 工業                      | 世界青少年発明工夫展 2017                                          | PC キーボード入力支援装置銅メダル        | 郡山北工業       |
|                         | 第 15 回高校生技術アイデアコンテスト全国大会                                 | リハビリ運動入力装置 MOMO コン<br>優秀賞 | 郡山北工業       |
| 家庭                      | 第 65 回全国家庭クラブ研究発表大会                                      | 学校家庭クラブ活動の部<br>産業教育振興中央会賞 | 耶麻農業        |

(イ) 個人

| 専門部                   | 大会名                                            | 成績                              | 学校名   | 氏名    |
|-----------------------|------------------------------------------------|---------------------------------|-------|-------|
| 写真                    | 第 4 1 回全国高等学校総合文化祭写真部門                         | 文部科学大臣賞                         | 磐城桜が丘 | 戸田 泰成 |
|                       |                                                | 奨励賞                             | 安積    | 白石 毬  |
|                       |                                                | 奨励賞                             | 安積    | 安田 葵  |
| 小倉百人一首かるた             | 第 4 1 回全国高等学校総合文化祭<br>小倉百人一首かるた部門              | 読手の部 最優秀読手                      | 安積黎明  | 本田 茉那 |
| 将棋                    | 第 4 1 回全国高等学校総合文化祭将棋部門<br>第 5 3 回全国高等学校将棋選手権大会 | 男子個人戦 第 3 位                     | 福島    | 野田 大輔 |
|                       | 第 4 1 回全国高等学校総合文化祭将棋部門<br>第 5 3 回全国高等学校将棋選手権大会 | 女子個人戦 第 3 位                     | 福島成蹊  | 佐藤 陽香 |
| マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国ダンスドリル選手権大会 2 0 1 7                          | ミスダンスドリルチーム<br>部門 優勝<br>文部科学大臣賞 | 郡山    | 鈴木 梨奈 |



| 専 門 部 | 大 会 名                               | 成 績                           | 学 校 名   | 氏 名    |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------|---------|--------|
|       | 第9回全国高等学校ダンスドリル冬季大会                 | Ms. solo 部門<br>1年生 第1位        | 郡 山     | 大河内ほのか |
|       |                                     | Ms. solo 部門<br>2年生 第3位        | 郡 山     | 安藤 楓香  |
| 商 業   | 第64回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>(電卓の部) 伝票算競技 | 優勝                            | 平 商 業   | 海老澤 雪乃 |
|       | 第64回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>(珠算の部) 伝票算競技 | 優勝                            | 郡 山 商 業 | 小野崎くるみ |
| 放 送   | 第41回全国高等学校総合文化祭放送部門                 | 優秀賞                           | 郡 山     | 大石田 萌  |
|       |                                     | 審査委員特別賞                       | 会 津 学 鳳 | 片村 菜緒  |
| 弁 論   | 第65回全国高等学校決勝弁論大会                    | 優秀賞<br>館林教育委員会教育長賞<br>館林高等学校賞 | 会 津     | 上島 花菜  |
|       | 福沢諭吉記念第56回全国高等学校弁論大会                | 優秀賞<br>大分県知事賞                 | 会 津     | 秀島 由里子 |
|       | 第71回高等学校弁論大会                        | 準 優 勝<br>愛知県知事賞               | 会 津     | 齋 藤 奏  |
| 家 庭   | 第65回全国家庭クラブ研究発表大会                   | ホームプロジェクトの部<br>産業教育振興中央会賞     | 湯 本     | 大越 雅子  |

オ 平成29年度福島県高等学校文化連盟表彰  
(ア) 優秀団体

| No. | 団 体 名         | 所属校名 | 専 門 部                 | 全国大会での成績                                                                          |
|-----|---------------|------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | かるた部          | 安積黎明 | 小倉百人一首<br>かるた         | 第39回全国小倉百人一首選手権大会<br>主催：全日本かるた協会、全国高等学校文化連盟、天智聖徳文教財団<br>優勝（全国1位相当）                |
| 2   | チアダンス部        | 郡山高校 | マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2017<br>主催：NPO法人ミスダンスドリル<br>ミリタリー部門 2位（全国2位相当）                   |
|     |               |      |                       | 第9回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>JAZZ部門 Small編成 1位（全国1位相当）      |
| 3   | チアリーダー<br>ング部 | 郡山商業 | マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2017<br>主催：NPO法人ミスダンスドリル<br>ポン部門 1位（全国1位相当）<br>プロップ部門 2位（全国2位相当） |
|     |               |      |                       | 第9回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>POM部門 1位（全国1位相当）               |
|     |               |      |                       | 第9回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>リリカル部門 3位（全国3位相当）              |
|     |               |      |                       | 第10回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>KICK部門 2位（全国2位相当）             |

| No. | 団体名   | 所属校名 | 専門部    | 全国大会での成績                                                                                           |
|-----|-------|------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | 放送委員会 | 磐城   | 放送     | 第64回NHK杯全国高等学校放送コンテスト<br>主催：全国放送教育研究連盟<br>テレビキュメント部門 優秀賞（全国3位相当）                                   |
|     |       |      |        | キッド・ウィットネス・ニュース(KWN)グローバルコンテスト<br>「グローバルコンテスト2017」<br>主催：パナソニック<br>グランプリ・ベスト・コンセプト賞（全国1位相当、世界1位相当） |
| 5   | 家庭クラブ | 耶麻農業 | 家庭     | 第65回全国家庭クラブ研究発表大会<br>主催：全国家庭クラブ<br>学校家庭クラブ活動の部 産業教育振興中央会賞（全国2位相当）                                  |
| 6   | 新聞部   | 郡山東  | 新聞     | 第41回全国高等学校総合文化祭新聞部門<br>主催：全国高等学校文化連盟<br>優秀賞校（全国2位相当）                                               |
| 7   | 電気部   | 郡山北  | 工業     | 世界青少年発明工夫展2017<br>主催：公益社団法人発明協会<br>「PCキーボード入力支援装置」銅メダル（全国3位相当）                                     |
|     |       |      |        | 第15回高校生技術アイデアコンテスト全国大会<br>主催：公益社団法人全国工業高等学校長協会<br>リハビリ運動入力装置 MOMO コン（全国2位相当）                       |
| 8   | 合唱部   | 会津   | 合唱     | 第70回全日本合唱コンクール全国大会<br>主催：全日本合唱連盟<br>金賞（大阪府知事賞、第2位相当）                                               |
| 9   | 管弦楽部  | 郡山商業 | 器楽・管弦楽 | 日本学校合奏コンクール2017全国大会<br>主催：JSECC日本学校合奏コンクール委員会<br>金賞（千葉県教育長賞、全国2位相当）                                |

(イ) 優秀個人

| No. | 氏名     | 所属校名  | 専門部               | 全国大会での成績                                                                              |
|-----|--------|-------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 戸田 泰成  | 磐城桜が丘 | 写真                | 第41回全国高等学校総合文化祭写真部門<br>主催：全国高等学校文化連盟<br>文部科学大臣賞（全国1位相当）                               |
| 2   | 本田 茉那  | 安積黎明  | 小倉百人一首かるた         | 第41回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門<br>主催：全国高等学校文化連盟<br>読手コンクールの部 最優秀読手賞（全国1位相当）               |
| 3   | 野田 大輔  | 福島    | 将棋                | 第41回全国高等学校総合文化祭将棋部門<br>第53回全国高等学校将棋選手権大会<br>主催：全国高等学校文化連盟、日本将棋連盟他<br>男子個人戦 3位（全国3位相当） |
| 4   | 佐藤 陽香  | 福島成蹊  | 将棋                | 第41回全国高等学校総合文化祭将棋部門<br>第53回全国高等学校将棋選手権大会<br>主催：全国高等学校文化連盟、日本将棋連盟他<br>女子個人戦 3位（全国3位相当） |
| 5   | 鈴木 梨奈  | 郡山    | マーチングバンド・バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2017<br>主催：NPO法人ミスダンスドリル<br>ミスダンスドリルチーム部門優勝 文部科学大臣賞（全国1位相当）          |
| 6   | 大河内ほのか | 郡山    | マーチングバンド・バトントワリング | 第9回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>Ms. solo 部門1年生 1位（全国1位相当）          |

| No. | 氏名     | 所属校名 | 専門部               | 全国大会での成績                                                                                 |
|-----|--------|------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7   | 安藤 楓香  | 郡山   | マーチングバンド・バトントワリング | 第9回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>Ms. solo 部門 2年生 3位 (全国3位相当)           |
| 8   | 海老澤 雪乃 | 平商業  | 商業                | 平成29年度 第64回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>主催：全国商業高等学校長協会、公益財団法人全国商業高等学校協会<br>(電卓の部) 伝票算競技優勝 (全国1位相当) |
| 9   | 小野崎くるみ | 郡山商業 | 商業                | 平成29年度 第64回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>主催：全国商業高等学校長協会、公益財団法人全国商業高等学校協会<br>(珠算の部) 伝票算競技優勝 (全国1位相当) |
| 10  | 大石田 萌  | 郡山   | 放送                | 第41回全国高等学校総合文化祭放送部門<br>主催：全国高等学校文化連盟<br>優秀賞 (全国1位相当)                                     |
| 11  | 大越 雅子  | 湯本   | 家庭                | 第65回全国家庭クラブ研究発表大会<br>主催：全日本家庭クラブ<br>ホームプロジェクトの部 産業教育振興中央会賞 (全国2位相当)                      |
| 12  | 上島 花菜  | 会津   | 弁論                | 第65回全国高等学校決勝弁論大会<br>主催：群馬県立館林高等学校<br>優秀賞 館林教育委員会教育長賞・館林高等学校賞 (全国3位相当)                    |
| 13  | 秀島 由里子 | 会津   | 弁論                | 福沢諭吉記念第56回全国高等学校弁論大会<br>主催：大分県中津市<br>優秀賞 大分県知事賞 (全国2位相当)                                 |
| 14  | 齋藤 奏   | 会津   | 弁論                | 第71回高等学校弁論大会<br>主催：学校法人東海学園東海高等学校<br>準優勝 愛知県知事賞 (全国2位相当)                                 |

(ウ) 優秀指導者

| No. | 氏名    | 所属校名 | 専門部               | 指導歴等                                                                                                                                                    |
|-----|-------|------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 横田 日夏 | 郡山商業 | チアリーディング・バトントワリング | 第7回・第8回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 POM 部門優勝<br>全国ダンスドリル選手権大会 2016 プロップ部門優勝                                                                                         |
| 2   | 高橋 俊男 | 会津学鳳 | 放送                | 第40回全国高等学校総合文化祭広島<br>大会放送部門 朗読部門優秀賞 (全国1位相当)                                                                                                            |
| 3   | 祓川 晃  | 安積黎明 | 放送                | 第63回 NHK 杯全国放送コンテスト<br>創作ラジオドラマ部門 最優秀賞 (全国1位相当)<br>第40回全国高等学校総合文化祭広島<br>大会放送部門 ビデオメッセージ部門<br>優秀賞 (全国1位相当)                                               |
| 4   | 鹿目 新  | 福島商業 | 商業                | 平成28年度 第8回全国高等学校情報処理選手権<br>団体準優勝・個人3位<br>平成27年度 第11回全国高等学校情報科学競技大会<br>システムエンジニア部門 団体準優勝<br>第35回全国高等学校 IT 簿記選手権大会 IT 部門 団体第3位<br>第7回全国高等学校情報処理選手権大会 団体4位 |
| 5   | 舘下 大恵 | 福島明成 | 農業                | 第67回日本学校農業クラブ全国大会平成28年度大阪大会<br>意見発表 分野Ⅲ類 (ヒューマン サービス) 最優秀賞                                                                                              |
| 6   | 高畑 正宏 | 耶麻農業 | 農業                | 第67回日本学校農業クラブ全国大会平成28年度大阪大会<br>農業鑑定競技 分野農業 最優秀賞                                                                                                         |



# 第7章 特別支援教育

## 第1節 概要

県教育委員会では、福島県学校教育審議会に本県における今後の特別支援教育の在り方について諮問し、平成21年9月に「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進を基本理念とする答申を受けた。本答申を具体的な施策に反映させるため、第6次福島県総合教育計画（改訂版）においては、「地域におけるインクルーシブ教育システムの構築と理解啓発の促進」、「小・中学校における特別支援教育の充実」、「高等学校における特別支援教育の充実」、「特別支援学校における特別支援教育とセンター的機能の充実」、「教員の特別支援教育に関する指導力の向上」の5項目を本県の目指すべき特別支援教育の方向性として示した。

また、「夢に向かってテクノチャレンジ事業」を実施し、高等部設置県立特別支援学校全校による特別支援学校作業技能大会を開催した。各校の進路に関する学習の成果を発表し合うとともに、作業技能検定等において外部専門家から客観的な評価を受けることを通して、生徒の自立や社会参加につながる学力や技能、意欲の向上を図った。また、「次世代のふくしまを担う人材育成事業（特別支援学校における就労総合支援事業）」を実施し、特別支援学校高等部生徒の就職率と職場定着率の向上に向けて、労働や福祉の関係機関と連携体制の構築と、企業への理解啓発並びに企業で働き続けることのできる人材の育成を図った。

「インクルーシブ教育システム推進事業」では、市町村教育委員会と連携協力の下、医療、保健、福祉、労働との関係機関と連携を図りながら、県内全ての特別な支援を必要とする幼児児童生徒が自立に向けて地域において一貫した支援を受けることができる体制整備を進めた。特別支援学校教員に対する研修の充実を図り専門性の向上を図るとともに、特別支援学校のセンター的機能による、幼稚園、小・中・高等学校への相談支援や研修支援を充実させ、地域における指導支援の充実を図った。さらに、教育事務所を中心として特別支援教育センター、特別支援学校がそれぞれの役割や機能を生かし、地域支援チームとして連携・協力して市町村や学校等のニーズに応じて、支援体制整備に向けた取組を行った。

「特別支援学校における医療的ケア実施事業」を実施し、教育・医療・福祉等関係者からなる「医療的ケア実施運営協議会」を設置し、本県における医療的ケアの在り方について研究・協議を行った。また、常時、医療的ケアを必要とする児童生徒（訪問教育や病院入院生徒は除く）が在籍している学校（13校）に常勤講師及び特別非常勤講師として看護師を配置した。さらに、医療的ケアの実施を指導する「指導医の委嘱」、地域の保健・医療・福祉機関のバックアップ体制の確立のための「医療的ケアサポート会議の設置」、医療的ケアの実施に必要な「医療機器等の整備」を行った。

## 第2節 学校管理

### 1 児童生徒数と教職員定数

#### (1) 児童生徒数の推移

| 種別              | 部/年度 | 20    | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    |
|-----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 視覚障がい<br>特別支援学校 | 小学部  | 8     | 10    | 9     | 7     | 6     | 6     | 4     | 3     | 5     | 5     |
|                 | 中学部  | 12    | 10    | 7     | 6     | 7     | 8     | 6     | 5     | 3     | 4     |
|                 | 高等部  | 28    | 29    | 32    | 33    | 35    | 30    | 25    | 24    | 22    | 19    |
|                 | 計    | 48    | 49    | 48    | 46    | 48    | 44    | 35    | 32    | 30    | 28    |
| 聴覚障がい<br>特別支援学校 | 幼稚部  | 14    | 17    | 17    | 14    | 16    | 11    | 17    | 12    | 10    | 14    |
|                 | 小学部  | 35    | 35    | 44    | 42    | 46    | 54    | 45    | 44    | 44    | 38    |
|                 | 中学部  | 21    | 24    | 20    | 21    | 17    | 18    | 22    | 25    | 26    | 28    |
|                 | 高等部  | 25    | 23    | 24    | 25    | 29    | 24    | 24    | 22    | 23    | 28    |
| 計               | 95   | 99    | 105   | 102   | 108   | 107   | 108   | 103   | 103   | 108   |       |
| 知的障がい<br>特別支援学校 | 小学部  | 462   | 464   | 493   | 498   | 504   | 501   | 517   | 529   | 543   | 551   |
|                 | 中学部  | 385   | 408   | 376   | 345   | 334   | 362   | 373   | 371   | 370   | 376   |
|                 | 高等部  | 657   | 670   | 746   | 763   | 824   | 757   | 749   | 751   | 803   | 819   |
|                 | 計    | 1,504 | 1,542 | 1,615 | 1,606 | 1,662 | 1,620 | 1,639 | 1,651 | 1,716 | 1,746 |

| 種別              | 部/年度 | 20    | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    |
|-----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 肢体不自由<br>特別支援学校 | 小学部  | 114   | 118   | 119   | 120   | 124   | 128   | 142   | 139   | 136   | 130   |
|                 | 中学部  | 77    | 73    | 71    | 58    | 71    | 68    | 69    | 70    | 66    | 71    |
|                 | 高等部  | 84    | 90    | 78    | 83    | 75    | 76    | 72    | 79    | 82    | 82    |
|                 | 計    | 275   | 281   | 268   | 261   | 270   | 272   | 283   | 288   | 284   | 283   |
| 病弱<br>特別支援学校    | 小学部  | 30    | 29    | 37    | 40    | 34    | 29    | 35    | 27    | 33    | 30    |
|                 | 中学部  | 39    | 40    | 36    | 46    | 46    | 36    | 25    | 32    | 23    | 40    |
|                 | 高等部  | 42    | 40    | 45    | 44    | 46    | 40    | 32    | 37    | 35    | 36    |
|                 | 計    | 111   | 109   | 118   | 130   | 126   | 105   | 92    | 96    | 91    | 106   |
| 合 計             |      | 2,033 | 2,080 | 2,154 | 2,145 | 2,214 | 2,148 | 2,157 | 2,170 | 2,224 | 2,271 |

※1 知的障がい特別支援学校は市立特別支援学校、福島大学附属特別支援学校を含む。

※2 視覚障がい特別支援学校高等部は専攻科を含む。

## (2) 平成29年度児童生徒数

(H29.5.1 学校基本調査、訪問学級を含む)

| 種別              | 性別 | 部・学年<br>幼稚園 | 小学部 |     |    |    |    |    |     | 中学部 |     |     |     | 高等部 |     |     |     | 合計 | 総計 |       |
|-----------------|----|-------------|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|
|                 |    |             |     |     |    |    |    |    |     |     |     |     |     | 本科  |     |     | 専攻科 |    |    |       |
|                 |    |             | 1   | 2   | 3  | 4  | 5  | 6  | 計   | 1   | 2   | 3   | 計   | 1   | 2   | 3   |     |    |    | 計     |
| 視覚障がい<br>特別支援学校 | 男  |             | 0   | 1   | 0  | 0  | 1  | 0  | 2   | 0   | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   | 3   | 4   | 7  | 11 | 14    |
|                 | 女  |             | 0   | 0   | 0  | 0  | 1  | 2  | 3   | 1   | 1   | 1   | 3   | 1   | 5   | 2   | 8   | 0  | 8  | 14    |
|                 | 計  |             | 0   | 1   | 0  | 0  | 2  | 2  | 5   | 1   | 1   | 2   | 4   | 1   | 6   | 5   | 12  | 7  | 19 | 28    |
| 聴覚障がい<br>特別支援学校 | 男  | 11          | 0   | 4   | 4  | 2  | 6  | 3  | 19  | 10  | 4   | 5   | 19  | 7   | 0   | 8   | 15  |    |    | 64    |
|                 | 女  | 3           | 4   | 3   | 2  | 1  | 5  | 4  | 19  | 3   | 2   | 4   | 9   | 6   | 5   | 2   | 13  |    |    | 44    |
|                 | 計  | 14          | 4   | 7   | 6  | 3  | 11 | 7  | 38  | 13  | 6   | 9   | 28  | 13  | 5   | 10  | 28  |    |    | 108   |
| 知的障がい<br>特別支援学校 | 男  |             | 66  | 73  | 66 | 64 | 56 | 58 | 383 | 91  | 90  | 77  | 258 | 178 | 196 | 189 | 563 |    |    | 1,204 |
|                 | 女  |             | 27  | 27  | 24 | 31 | 33 | 26 | 168 | 42  | 33  | 43  | 118 | 102 | 69  | 85  | 256 |    |    | 542   |
|                 | 計  |             | 93  | 100 | 90 | 95 | 89 | 84 | 551 | 133 | 123 | 120 | 376 | 280 | 265 | 274 | 819 |    |    | 1,746 |
| 肢体不自由<br>特別支援学校 | 男  |             | 8   | 11  | 16 | 14 | 10 | 13 | 72  | 15  | 14  | 16  | 45  | 13  | 16  | 20  | 49  |    |    | 166   |
|                 | 女  |             | 7   | 7   | 7  | 11 | 16 | 10 | 58  | 10  | 9   | 7   | 26  | 12  | 11  | 10  | 33  |    |    | 117   |
|                 | 計  |             | 15  | 18  | 23 | 25 | 26 | 23 | 130 | 25  | 23  | 23  | 71  | 25  | 27  | 30  | 82  |    |    | 283   |
| 病弱<br>特別支援学校    | 男  |             | 2   | 3   | 2  | 3  | 4  | 6  | 20  | 9   | 1   | 8   | 18  | 8   | 8   | 9   | 25  |    |    | 63    |
|                 | 女  |             | 1   | 1   | 1  | 2  | 3  | 2  | 10  | 8   | 5   | 9   | 22  | 6   | 2   | 3   | 11  |    |    | 43    |
|                 | 計  |             | 3   | 4   | 3  | 5  | 7  | 8  | 30  | 17  | 6   | 17  | 40  | 14  | 10  | 12  | 36  |    |    | 106   |

※ 市立特別支援学校、福島大学附属特別支援学校を含む。

## (3) 県立特別支援学校教職員定数の推移

| 種別 | 年度    | 視覚支援学校・聴覚支援学校 |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 特別支援学校 |     |     |     |     |     |     |       |       |       |
|----|-------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|
|    |       | 20            | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  | 20     | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27    | 28    | 29    |
| 教員 | 校長    | 2             | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 11     | 11  | 12  | 12  | 12  | 12  | 12  | 12    | 12    | 13    |
|    | 教頭・教諭 | 114           | 122 | 123 | 121 | 117 | 119 | 115 | 131 | 129 | 133 | 882    | 887 | 948 | 994 | 965 | 963 | 967 | 1,145 | 1,157 | 1,209 |
|    | 養護教諭  | 4             | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 23     | 23  | 24  | 25  | 24  | 24  | 23  | 24    | 24    | 26    |
|    | 兼任主事  |               |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     |     |     |     |     |     |       |       |       |
|    | 補充教員  | 11            | 7   | 10  | 5   | 10  | 11  | 16  | 14  | 8   | 13  | 120    | 148 | 147 | 132 | 162 | 159 | 160 | 160   | 150   | 170   |

| 種別<br>年度 |        | 視覚支援学校・聴覚支援学校 |     |     |     |     |     |     |     |     |       | 特別支援学校 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|----------|--------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|          |        | 20            | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  | 29    | 20     | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    |
| 教員       | 講師     |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 寄宿舎指導員 | 22            | 24  | 24  | 24  | 26  | 25  | 25  | 25  | 27  | 28    | 31     | 30    | 31    | 34    | 33    | 32    | 34    | 32    | 31    |       |
|          | 実習助手   | 8             | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8     | 22     | 22    | 24    | 24    | 24    | 24    | 24    | 25    | 27    |       |
|          | 計      | 161           | 167 | 171 | 164 | 167 | 169 | 170 | 184 | 178 | 188   | 1,186  | 1,121 | 1,186 | 1,221 | 1,220 | 1,215 | 1,218 | 1,399 | 1,400 | 1,476 |
| 事務職員     | 11     | 11            | 10  | 11  | 11  | 12  | 11  | 11  | 11  | 11  | 45    | 44     | 48    | 48    | 49    | 53    | 51    | 50    | 51    | 53    |       |
| その他の職員   | 技能労務員  |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 学校司書   |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 用務員    | 2             | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2     | 8      | 8     | 6     | 6     | 6     | 6     | 6     | 7     | 6     |       |
|          | ボイラー技師 | 1             | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 1   | 1     | 1      | 1     | 2     | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |       |
|          | 栄養職員   | 2             | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2     | 6      | 6     | 7     | 7     | 9     | 8     | 9     | 9     | 10    |       |
|          | 調理給食員  |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 技能訓練士  |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | マッサージ師 |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 運転手    |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       | 1      | 1     | 1     | 1     |       |       |       |       |       |       |
|          | 計      | 5             | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 5   | 5     | 16     | 16    | 16    | 16    | 17    | 15    | 16    | 16    | 17    | 17    |
| 合計       | 177    | 184           | 187 | 181 | 184 | 187 | 187 | 201 | 194 | 204 | 1,150 | 1,181  | 1,250 | 1,285 | 1,286 | 1,283 | 1,285 | 1,465 | 1,468 | 1,546 |       |

| 種別<br>年度 |        | 計     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|          |        | 20    | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    |
| 教員       | 校長     | 13    | 13    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 15    |
|          | 教頭・教諭  | 996   | 1,009 | 1,071 | 1,115 | 1,082 | 1,082 | 1,082 | 1,276 | 1,286 | 1,342 |
|          | 養護教諭   | 27    | 27    | 28    | 29    | 28    | 28    | 27    | 28    | 28    | 30    |
|          | 兼任主事   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 補充教員   | 131   | 155   | 157   | 137   | 172   | 170   | 176   | 174   | 158   | 183   |
|          | 講師     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 寄宿舎指導員 | 53    | 54    | 55    | 58    | 59    | 58    | 57    | 59    | 59    | 59    |
|          | 実習助手   | 30    | 30    | 32    | 32    | 32    | 32    | 32    | 32    | 33    | 35    |
| 計        | 1,250  | 1,288 | 1,357 | 1,385 | 1,387 | 1,384 | 1,388 | 1,583 | 1,578 | 1,664 |       |
| 事務職員     | 56     | 55    | 58    | 59    | 60    | 65    | 62    | 61    | 62    | 64    |       |
| その他の職員   | 技能労務員  |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 学校司書   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 用務員    | 10    | 10    | 8     | 8     | 8     | 8     | 8     | 8     | 8     | 8     |
|          | ボイラー技師 | 2     | 3     | 4     | 4     | 4     | 3     | 3     | 3     | 2     | 2     |
|          | 栄養職員   | 8     | 8     | 9     | 9     | 11    | 10    | 11    | 11    | 11    | 12    |
|          | 調理給食員  |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 技能訓練士  |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | マッサージ師 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|          | 運転手    | 1     | 1     | 1     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 計        | 21     | 22    | 22    | 22    | 23    | 21    | 22    | 22    | 22    | 23    |       |
| 合計       | 1,327  | 1,365 | 1,437 | 1,466 | 1,470 | 1,470 | 1,472 | 1,666 | 1,661 | 1,750 |       |

## 2 特別支援学校及び特別支援学級の実態

### (1) 特別支援学校（学部別学級・児童生徒数）

| 障がい種別 | 種別<br>校名      | 幼稚部 |     | 小学部 |     | 中学部 |     | 高等部 |     |     |     | 計   |       |
|-------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
|       |               | 学級数 | 幼児数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 生徒数 | 本科  |     | 専攻科 |     | 学級数 | 児童生徒数 |
|       |               |     |     |     |     |     |     | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 |     |       |
| 視覚    | 県立視覚支援学校      |     |     | 3   | 5   | 3   | 4   | 6   | 12  | 3   | 7   | 15  | 28    |
|       | 小計            |     |     | 3   | 5   | 3   | 4   | 6   | 12  | 3   | 7   | 15  | 28    |
| 聴覚    | 県立聴覚支援学校      | 3   | 6   | 6   | 17  | 7   | 28  | 10  | 28  |     |     | 26  | 79    |
|       | 県立聴覚支援学校福島校   | 2   | 4   | 6   | 9   |     |     |     |     |     |     | 8   | 13    |
|       | 県立聴覚支援学校会津校   | 1   | 2   | 2   | 2   |     |     |     |     |     |     | 3   | 4     |
|       | 県立聴覚支援学校平校    | 1   | 2   | 4   | 10  |     |     |     |     |     |     | 5   | 12    |
|       | 小計            | 7   | 14  | 18  | 38  | 7   | 28  | 10  | 28  |     |     | 42  | 108   |
| 知的障がい | 県立大笹生支援学校     |     |     | 33  | 99  | 13  | 50  | 19  | 108 |     |     | 65  | 257   |
|       | 県立あぶくま支援学校    |     |     | 25  | 83  | 21  | 75  | 34  | 190 |     |     | 80  | 348   |
|       | 県立西郷支援学校      |     |     | 14  | 37  | 10  | 33  | 12  | 59  |     |     | 36  | 129   |
|       | 県立石川支援学校      |     |     | 11  | 32  | 9   | 26  | 13  | 63  |     |     | 33  | 121   |
|       | 県立石川支援学校たまかわ校 |     |     | 10  | 29  | 3   | 8   |     |     |     |     | 13  | 37    |
|       | 県立たむら支援学校     |     |     | 10  | 24  | 3   | 9   | 2   | 5   |     |     | 15  | 38    |
|       | 県立会津支援学校      |     |     | 23  | 74  | 14  | 39  | 20  | 105 |     |     | 57  | 218   |
|       | 県立猪苗代支援学校     |     |     | 5   | 11  | 3   | 10  | 6   | 22  |     |     | 14  | 43    |
|       | 県立いわき支援学校     |     |     | 23  | 76  | 16  | 53  | 18  | 82  |     |     | 57  | 211   |
|       | 県立いわき支援学校くぼた校 |     |     |     |     |     |     | 7   | 28  |     |     | 7   | 28    |
|       | 県立富岡支援学校      |     |     | 9   | 20  | 3   | 10  | 6   | 22  |     |     | 18  | 52    |
|       | 県立相馬支援学校      |     |     | 7   | 24  | 7   | 28  | 7   | 42  |     |     | 21  | 94    |
|       | 福島市立福島養護学校    |     |     | 8   | 27  | 5   | 21  | 12  | 70  |     |     | 25  | 118   |
|       | 小計            |     |     | 178 | 536 | 107 | 362 | 156 | 796 |     |     | 441 | 1,694 |
| 肢体不自由 | 県立郡山支援学校      |     |     | 28  | 77  | 18  | 50  | 20  | 53  |     |     | 66  | 180   |
|       | 県立平支援学校       |     |     | 23  | 53  | 10  | 21  | 10  | 29  |     |     | 43  | 103   |
|       | 小計            |     |     | 51  | 130 | 28  | 71  | 30  | 82  |     |     | 109 | 283   |
| 病弱    | 県立須賀川支援学校     |     |     | 5   | 11  | 6   | 17  | 13  | 36  |     |     | 24  | 64    |
|       | 県立須賀川支援学校医大校  |     |     | 4   | 11  | 3   | 6   |     |     |     |     | 7   | 17    |
|       | 県立須賀川支援学校郡山校  |     |     | 3   | 4   | 5   | 13  |     |     |     |     | 8   | 17    |
|       | 県立会津支援学校竹田校   |     |     | 2   | 4   | 2   | 4   |     |     |     |     | 4   | 8     |
|       | 小計            |     |     | 14  | 30  | 16  | 40  | 13  | 36  |     |     | 43  | 106   |
| 合計    |               | 7   | 14  | 264 | 739 | 161 | 505 | 215 | 954 | 3   | 7   | 650 | 2,219 |



(2) 特別支援学級（障がい別・児童生徒数）

| 管内  | 学校別   |    | 小学校 |      |    |             |           |     |                | 中学校 |    |     |    |             |           |     | 計   |                |
|-----|-------|----|-----|------|----|-------------|-----------|-----|----------------|-----|----|-----|----|-------------|-----------|-----|-----|----------------|
|     | 種別    | 内容 | 弱視  | 難聴   | 知的 | 病弱・<br>身体虚弱 | 肢体<br>不自由 | 言語  | 自閉症<br>・<br>情緒 | 小計  | 弱視 | 難聴  | 知的 | 病弱・<br>身体虚弱 | 肢体<br>不自由 | 言語  |     | 自閉症<br>・<br>情緒 |
| 県北  | 学校数   | 0  | 3   | 61   | 1  | 1           | 0         | 46  | 112            | 0   | 2  | 35  | 1  | 0           | 0         | 30  | 68  | 180            |
|     | 学級数   | 0  | 3   | 75   | 1  | 1           | 0         | 55  | 135            | 0   | 2  | 40  | 1  | 0           | 0         | 31  | 74  | 209            |
|     | 児童生徒数 | 0  | 3   | 348  | 2  | 5           | 0         | 265 | 623            | 0   | 2  | 146 | 1  | 0           | 0         | 110 | 259 | 882            |
| 県中  | 学校数   | 0  | 2   | 71   | 0  | 0           | 0         | 55  | 128            | 0   | 2  | 42  | 0  | 0           | 0         | 29  | 73  | 201            |
|     | 学級数   | 0  | 2   | 87   | 0  | 0           | 0         | 72  | 161            | 0   | 2  | 47  | 0  | 0           | 0         | 30  | 79  | 240            |
|     | 児童生徒数 | 0  | 2   | 379  | 0  | 0           | 0         | 354 | 735            | 0   | 3  | 177 | 0  | 0           | 0         | 103 | 283 | 1018           |
| 県南  | 学校数   | 1  | 3   | 24   | 0  | 2           | 0         | 18  | 48             | 0   | 0  | 10  | 0  | 0           | 0         | 8   | 18  | 66             |
|     | 学級数   | 1  | 3   | 25   | 0  | 2           | 0         | 19  | 50             | 0   | 0  | 10  | 0  | 0           | 0         | 8   | 18  | 68             |
|     | 児童生徒数 | 1  | 4   | 97   | 0  | 2           | 0         | 73  | 177            | 0   | 0  | 34  | 0  | 0           | 0         | 27  | 61  | 238            |
| 会津  | 学校数   | 0  | 0   | 31   | 0  | 2           | 0         | 25  | 58             | 0   | 0  | 22  | 0  | 0           | 0         | 9   | 31  | 89             |
|     | 学級数   | 0  | 0   | 33   | 0  | 2           | 0         | 25  | 60             | 0   | 0  | 23  | 0  | 0           | 0         | 9   | 32  | 92             |
|     | 児童生徒数 | 0  | 0   | 132  | 0  | 4           | 0         | 86  | 222            | 0   | 0  | 72  | 0  | 0           | 0         | 21  | 93  | 315            |
| 南会津 | 学校数   | 0  | 0   | 9    | 1  | 0           | 0         | 4   | 14             | 0   | 0  | 4   | 0  | 0           | 0         | 3   | 7   | 21             |
|     | 学級数   | 0  | 0   | 9    | 1  | 0           | 0         | 4   | 14             | 0   | 0  | 4   | 0  | 0           | 0         | 3   | 7   | 21             |
|     | 児童生徒数 | 0  | 0   | 16   | 1  | 0           | 0         | 9   | 26             | 0   | 0  | 10  | 0  | 0           | 0         | 5   | 15  | 41             |
| 相双  | 学校数   | 0  | 1   | 23   | 1  | 1           | 0         | 16  | 42             | 0   | 0  | 14  | 0  | 0           | 0         | 7   | 21  | 63             |
|     | 学級数   | 0  | 1   | 26   | 1  | 1           | 0         | 16  | 45             | 0   | 0  | 14  | 0  | 0           | 0         | 7   | 21  | 66             |
|     | 児童生徒数 | 0  | 2   | 96   | 1  | 1           | 0         | 56  | 156            | 0   | 0  | 46  | 0  | 0           | 0         | 17  | 63  | 219            |
| いわき | 学校数   | 1  | 1   | 40   | 0  | 0           | 0         | 25  | 67             | 0   | 0  | 22  | 0  | 0           | 0         | 12  | 34  | 101            |
|     | 学級数   | 1  | 1   | 45   | 0  | 0           | 0         | 25  | 72             | 0   | 0  | 24  | 0  | 0           | 0         | 12  | 36  | 108            |
|     | 児童生徒数 | 2  | 1   | 215  | 0  | 0           | 0         | 113 | 331            | 0   | 0  | 100 | 0  | 0           | 0         | 49  | 149 | 480            |
| 計   | 学校数   | 2  | 10  | 259  | 3  | 6           | 0         | 189 | 469            | 0   | 4  | 149 | 1  | 0           | 0         | 98  | 252 | 721            |
|     | 学級数   | 2  | 10  | 300  | 3  | 6           | 0         | 216 | 537            | 0   | 4  | 162 | 1  | 0           | 0         | 100 | 267 | 804            |
|     | 児童生徒数 | 3  | 12  | 1283 | 4  | 12          | 0         | 956 | 2270           | 0   | 5  | 585 | 1  | 0           | 0         | 332 | 923 | 3193           |

(3) 通級による指導（障がい別・児童生徒数）

| 管内  | 学校別   |    | 小学校 |     |           |     |           |     |      | 中学校 |    |    |           |     |           |    | 計   |      |
|-----|-------|----|-----|-----|-----------|-----|-----------|-----|------|-----|----|----|-----------|-----|-----------|----|-----|------|
|     | 種別    | 内容 | 弱視  | 難聴  | 言語<br>障がい | 自閉症 | 情緒<br>障がい | LD  | ADHD | 小計  | 弱視 | 難聴 | 言語<br>障がい | 自閉症 | 情緒<br>障がい | LD |     | ADHD |
| 県北  | 学校数   | 0  | 0   | 3   | 4         | 0   | 3         | 3   | 13   | 0   | 0  | 0  | 1         | 0   | 2         | 1  | 4   | 17   |
|     | 学級数   | 0  | 0   | 11  | 5         | 0   | 5         | 4   | 25   | 0   | 0  | 0  | 1         | 0   | 2         | 1  | 4   | 29   |
|     | 児童生徒数 | 0  | 0   | 166 | 105       | 0   | 105       | 70  | 446  | 0   | 0  | 0  | 21        | 0   | 23        | 18 | 62  | 508  |
| 県中  | 学校数   | 0  | 1   | 2   | 6         | 0   | 0         | 6   | 15   | 0   | 0  | 1  | 0         | 0   | 0         | 1  | 2   | 17   |
|     | 学級数   | 0  | 1   | 3   | 6         | 0   | 0         | 6   | 16   | 0   | 0  | 1  | 0         | 0   | 0         | 1  | 2   | 18   |
|     | 児童生徒数 | 0  | 17  | 49  | 63        | 0   | 0         | 59  | 188  | 0   | 0  | 12 | 0         | 0   | 0         | 15 | 27  | 215  |
| 県南  | 学校数   | 0  | 0   | 0   | 0         | 0   | 0         | 2   | 2    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0   | 2    |
|     | 学級数   | 0  | 0   | 0   | 0         | 0   | 0         | 2   | 2    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0   | 2    |
|     | 児童生徒数 | 0  | 0   | 0   | 0         | 0   | 0         | 19  | 19   | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0   | 19   |
| 会津  | 学校数   | 0  | 0   | 1   | 0         | 0   | 3         | 2   | 6    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 1         | 1  | 2   | 8    |
|     | 学級数   | 0  | 0   | 1   | 0         | 0   | 4         | 3   | 8    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 1         | 1  | 2   | 10   |
|     | 児童生徒数 | 0  | 0   | 16  | 0         | 0   | 55        | 33  | 104  | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 12        | 4  | 16  | 120  |
| 南会津 | 学校数   | 0  | 0   | 0   | 0         | 0   | 0         | 0   | 0    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0   | 0    |
|     | 学級数   | 0  | 0   | 0   | 0         | 0   | 0         | 0   | 0    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0   | 0    |
|     | 児童生徒数 | 0  | 0   | 0   | 0         | 0   | 0         | 0   | 0    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0   | 0    |
| 相双  | 学校数   | 0  | 0   | 2   | 0         | 0   | 0         | 2   | 4    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 1  | 1   | 5    |
|     | 学級数   | 0  | 0   | 6   | 0         | 0   | 0         | 2   | 8    | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 1  | 1   | 9    |
|     | 児童生徒数 | 0  | 0   | 98  | 0         | 0   | 0         | 28  | 126  | 0   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 4  | 4   | 130  |
| いわき | 学校数   | 0  | 0   | 2   | 1         | 1   | 0         | 2   | 6    | 0   | 0  | 0  | 1         | 0   | 0         | 0  | 1   | 7    |
|     | 学級数   | 0  | 0   | 5   | 1         | 1   | 0         | 2   | 9    | 0   | 0  | 0  | 1         | 0   | 0         | 0  | 1   | 10   |
|     | 児童生徒数 | 0  | 0   | 71  | 16        | 9   | 0         | 25  | 121  | 0   | 0  | 0  | 2         | 0   | 0         | 0  | 2   | 123  |
| 計   | 学校数   | 0  | 1   | 10  | 11        | 1   | 6         | 19  | 48   | 0   | 0  | 1  | 2         | 0   | 3         | 4  | 10  | 58   |
|     | 学級数   | 0  | 1   | 26  | 12        | 1   | 9         | 19  | 68   | 0   | 0  | 1  | 2         | 0   | 3         | 4  | 10  | 78   |
|     | 児童生徒数 | 0  | 17  | 400 | 184       | 9   | 160       | 234 | 1004 | 0   | 0  | 12 | 23        | 0   | 35        | 41 | 111 | 1115 |

**(4) 訪問教育対象児童生徒数及び担当教員数**

| 年 度       | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 対象児童生徒数   | 80 | 77 | 75 | 89 | 69 | 90 | 80 | 69 | 58 | 55 | 54 | 49 | 50 | 43 | 42 | 39 | 43 | 38 | 33 | 34 | 36 | 36 | 32 |
| 担 当 教 員 数 | 35 | 33 | 36 | 41 | 36 | 45 | 36 | 41 | 33 | 33 | 35 | 27 | 27 | 27 | 27 | 30 | 29 | 24 | 19 | 27 | 32 | 18 | 18 |

**(5) 障がいによる就学義務の猶予・免除者の推移**

| 年 度     | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|---------|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 猶 予 者 数 | 1 | 0 | 0 | 0  | 0  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  |
| 免 除 者 数 | 5 | 7 | 5 | 3  | 3  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |

**3 教職員人事・任用**

**(1) 人事異動の概要**

平成 29 年度の県立特別支援学校教職員の定数は、前年比 67 人増の 1,487 人となった。このうち、教諭等は、前年比 56 人増の 1,342 人である。

**ア 新採用について**

平成 30 年度福島県公立学校教員採用試験での特別支援学校の志願者数は、平成 29 年度に比べ、前年比 9 人減の 257 人（小中学校教員採用試験との併願者を含む）であった。一次及び二次選考試験の結果、名簿登載者数は 60 人であり、57 人が教諭として採用された。

**イ 交流について**

平成 29 年度人事異動は、例年通り 4 月 1 日付け実施となった。同一校永年勤務者、採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務する者等を含め 174 人の教諭の交流が実現した。

また、小・中学校・市立特別支援学校及び福島大学附属特別支援学校との交流（転入）は 18 人で、高等学校との交流（転入）は 9 人であった。特別支援教育の更なる充実が期待される。

**(2) 平成 29 年度県立特別支援学校教員異動・交流基準**

**ア 一般基準**

(ア) 教育課程の適正な運営を期するため、教員組織の均衡をはかるように努める。

(イ) 同一校には原則として最低 3 年は勤務するものとする。

(ウ) 2 親等以内の者（姻族を含む）は原則として同一校勤務をさける。

**イ 平成 20 年度以前の採用者についての基準（以下「旧基準」）という。**

**(ア) 勤続年数による基準**

次の基準に該当する者は、原則として異動の対象とする。

○ 採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務した者（以下「初任者」という。）

○ 同一校に 8 年以上勤務した者（以下「永年者」という。）

**(イ) 地区、障がいによる基準**

教員の均衡化を図るため、県内を県北、県南、会津、いわき、相双の 5 地区に分け、地区及び障がいに、所在する学校を別表 1 に定める I・II 群に分類し、以下により異動を促進する。

○ 昭和 52 年度以降、特別支援学校教員採用者は、原則として、15 年以内に 2 地区および 2 障がい以上の学校に勤務するものとする。

○ 上記の 2 障がいの経験については、原則として、別表 1 注によるものとする。

**ウ 平成 21 年度以降の採用者についての基準（以下「新基準」という。）**

**(ア) 勤続年数により基準**

次に該当する者は、異動の対象とする。

○ 初任者

○ 異動 2 校目において 3 年以上勤務したもの（以下「若年者」という。）

○ 永年者

**(イ) 地域による基準**

教員の適材適所への配置及び教員組織の均衡化を図るため、県内各学校を別表 2 のとおり中通り、会津、浜通りの 3 地域に分け、異動を促進する。

原則として、採用後 20 年以内に 3 地域の学校に勤務するものとする。

**エ 平成 24 年度より、採用年度にかかわらず新基準を適用する。**

ただし、平成 20 年度以前の旧基準採用者については、平成 30 年度まではイ(イ)別表 1 を準用し、(イ)○印を満たす者は、ウ(イ)の規定を満たす者とみなす。

**オ 交流**

特別支援学校及び小学校、中学校、高等学校における教育を充実させるため、県立特別支援学校と市立特別支援学校及び市町村公立小・中学校、県立高等学校との交流を促進する。その期間は、教諭及び実習助手については原則として 3 年とし、養護教諭及び寄宿舎指導員については、原則として 3 年から 8 年とする。

別表1 県立特別支援学校地区別・障がい別・群別学校

| 群分類       | I 群                                            | II 群                   |                        |                        |                                |
|-----------|------------------------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------------|
| 障がい<br>地区 | 知的障がい<br>教育を主と<br>する学校                         | 視覚障がい<br>教育を主と<br>する学校 | 聴覚障がい<br>教育を主と<br>する学校 | 肢体不自<br>由教育を主と<br>する学校 | 病弱教育<br>を主とする<br>学校            |
| 県北        | 大笹生支援                                          | 視覚支援                   | 聴覚支援<br>(福島)           |                        | 須賀川<br>支援<br>(医大)              |
| 県中        | あぶくま<br>支援<br>石川支援<br>石川支援<br>(たまかわ校)<br>たむら支援 |                        | 聴覚支援                   | 郡山支援                   | 須賀川<br>支援<br>須賀川<br>支援<br>(郡山) |
| 県南        | 西郷支援                                           |                        |                        |                        |                                |
| 会津        | 会津支援<br>猪苗代支援                                  |                        | 聴覚支援<br>(会津)           |                        | 会津支援<br>(竹田)                   |
| いわき       | いわき支援<br>いわき支援<br>(くぼた)                        |                        | 聴覚支援<br>(平)            | 平支援                    |                                |
| 相双        | 富岡支援<br>相馬支援                                   |                        |                        |                        |                                |

注：平成20年度までの採用教員について

- (1) II群内の学校のみ経験者は、I群の学校に勤務することを必須とする。
- (2) I群の学校に勤務している者、又は勤務した者で、2障がいの経験を有していない者は、II群内の学校での勤務をするものとする。
- (3) ただし、平成7年度までに2地区及び2障がいの勤務経験を終了している者はこの限りではなく、これまで2地区及び2障がいの勤務経験を有していない者、及び平成8年度以降平成20年度までの採用教員については、(1)、(2)の勤務経験を必要とする。

別表2 県立特別支援学校地域別学校

| 地域          | 地区  | 学校                                                 |                                |
|-------------|-----|----------------------------------------------------|--------------------------------|
| 中<br>通<br>り | 県北  | 視覚支援<br>聴覚支援(福島)                                   | 大笹生支援<br>須賀川支援(医大)             |
|             | 県中  | 聴覚支援<br>あぶくま支援<br>須賀川支援(郡山)<br>石川支援<br>石川支援(たまかわ校) | 郡山支援<br>須賀川支援<br>石川支援<br>たむら支援 |
|             | 県南  | 西郷支援                                               |                                |
| 会津          | 会津  | 会津支援<br>聴覚支援(会津)                                   | 会津支援(竹田)<br>猪苗代支援              |
| 浜<br>通<br>り | いわき | 平支援<br>聴覚支援(平)                                     | いわき支援<br>いわき支援(くぼた校)           |
|             | 相双  | 富岡支援                                               | 相馬支援                           |

## 第3節 学校教育

### 1 概要

#### (1) 指導行政の基本方針

学校教育審議会答申(平成21年9月)の基本理念「地域で共に学び、共に生きる教育」をもとに、第6次総合教育計画(改訂版)で、特別支援教育の推進に向けた取組を行った。

本県では、「共に学ぶ」理念のもと、障がいのある子どもが障がいのない子どもと共に学ぶ環境づくりを推進し、障がいのある子どもが地域の小・中学校等で、障がいのない子どもと共に学ぶことができる教育環境の整備を進めた。第6次総合教育計画(改訂版)では、次の基本的な方針のもとに、大きく5つの具体的な取組を示し、その充実に努めた。

#### ○ 基本的方向性

- ・ 障がいのある子どもが、就学前、在学中、さらには卒業後において、一貫した支援を受けることができるよう、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関の連携を深めることなどにより、地域で「共に生きる」ことができる体制の整備を進める。
- ・ 障がいのある子どもが、一人一人のニーズに応じて、地域の幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校において学ぶことができるよう、教員の専門性の向上、校内支援体制の整備・充実、すべての保護者に対する特別支援教育への理解の促進などにより、各学校における「共に学ぶ」環境づくりを進める。

#### ○ 具体的な取組

- ・ 地域におけるインクルーシブ教育システムの構築と理解啓発の促進、小・中学校における特別支援教育の充実
- ・ 高等学校における特別支援教育の充実
- ・ 特別支援学校における特別支援教育とセンター的機能の充実
- ・ 教員の特別支援教育に関する指導力の向上

#### (2) 指導組織

課長、主幹兼副課長、主幹1名、主任管理主事1名、管理主事3名、主任指導主事1名、指導主事5名、各教育事務所特別支援教育担当指導主事7名、教育委員会委嘱特別支援教育担当学校教育指導委員8名をもって指導に当たった。

#### (3) 学校教育指導の重点

前記の基本方針に基づき、指導の重点を次のように設定し、指導の充実を図った。

##### ア 教育内容・方法の改善充実

- (7) 児童生徒一人一人の障がいの状態や教育的ニーズに応じた適切な教育を行うために特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室等の教員に対し、教育課程実施に伴う指導上の問題点、個に応じた指導の工夫改善、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成等について研修を行い、指導担当者の指導力の向上に努めた。

(イ) 各種研修会、要請訪問等を通して、幼児児童生徒の実態に応じた学習指導、生徒指導等の諸問題について協議を深め、学校運営の質的向上に努めた。

#### イ 生徒指導の充実

幼児児童生徒の障がいの状態や特性について、教職員の共通理解を図り、幼・小・中・高等部の一貫した指導に努めるとともに、生徒指導の機能を生かした授業や家庭及び関係機関との連携に努めた。

また、県立特別支援学校の生徒指導担当者による連絡協議会を5月と11月の2回開催し、本県の生徒事故の現状や課題の共有を図り、事故の未然防止に向けた取組の充実に努めた。

#### ウ 進路指導の充実

「夢に向かってテクノチャレンジ事業」を実施し、生徒の自立や社会参加を図るため、全ての高等部設置県立特別支援学校による「特別支援学校作業技能大会」を開催した。作業技能検定や作業製品品評等で得られた外部専門家からの評価を生かし、各校の進路に関する取組のさらなる充実を図ると共に、生徒の就労に向けた企業等への理解啓発を行った。また、「次世代のふくしまを担う人材育成事業（特別支援学校における就労総合支援事業）」において、生徒の就職率とその定着率の向上を目指し、高等部を設置する特別支援学校の進路指導担当者による進路支援チーム会議を開催し、教員の進路指導に関する専門性の向上と、労働、福祉の各関係機関と連携した早期からの支援体制の構築を図った。

#### エ 発達障がいのある児童生徒への指導の充実

障がいの多様化に対応した教育課程の編成に努め、個に応じた指導計画の作成及び指導の充実に努めるなど、学習指導要領の趣旨を生かした特別支援学級経営の充実に努めた。また、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童生徒の理解や指導の在り方について、各地域において幼稚園、小・中学校、高等学校等の特別支援教育コーディネーターや教員を対象とした研修を開催し、指導力や専門性の向上に努めた。

#### オ 交流及び共同学習の推進

近隣の幼稚園や小・中学校、高等学校との交流及び共同学習や、児童生徒の居住地における学校との交流を通し、幼児児童生徒の経験を広め、社会性を養うとともに、障がいのあるなしにかかわらず、お互いを理解し尊重する心を育むことに努めた。

#### カ 情報教育の充実

幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難を改善・克服し、学習を支援するために情報機器や情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用するとともに児童生徒の情報活用能力の育成に努めた。

### (4) 教職員の資質と指導力の向上

#### ア 「インクルーシブ教育システム推進事業」事業担当者会議の開催

事業を推進する指導主事が参集し、各事業実施状況等

の報告及び課題についての協議を行い、各教育事務所域内の支援体制の整備や特別支援教育に関する指導の重点や事業概要等について研究協議を行い、各教育事務所域内の特別支援教育の充実にに向けた指導業務の円滑な推進を図った。

#### イ 学校教育指導委員連絡協議会の開催

特別支援教育に関する指導の重点や事業概要及び学校教育指導委員の任務についての研修を行い、学校教育指導委員の資質の向上を図った。

#### ウ 特別支援学校初任者研修、二年次教員フォローアップ研修、経験者研修の実施

特別支援学校の初任者に対し、校内・校外における研修を通して、実践的指導力と使命感を養った。

また、教職経験に応じた経験者研修を実施し、校内におけるリーダーとしての力量の向上に努めた。経験者研修において、教科（領域）指導研修や社会体験研修等を行った。

#### エ 特別支援教育担当教員専門研修

特別支援教育に関し、指導的立場に立つ教員の育成に対し、専門的知識及び技術を習得させ、資質の向上と指導力の向上を図るため、教員6名を国立特別支援教育総合研究所の専門研修へ派遣した。

### (5) 就学相談の推進

学校教育法施行令の一部改正による就学先決定の仕組み等の周知を図るため、市町村教育委員会就学事務担当者と公立小学校管理職を対象に教育支援協議会を県内7か所で開催した。また、市町村の就学先決定における相談の充実については、各教育事務所で支援し、障がい児の早期からの一貫した支援の充実に努めた。

### (6) 特別支援教育の推進

#### ア 特別支援学校における医療的ケア実施事業

「平成29年度特別支援学校における医療的ケア実施事業」を実施し、教育・医療・福祉等関係者からなる「医療的ケア実施運営協議会」を設置し、本県における医療的ケアの在り方について研究・協議を行った。また、常時、医療的ケアを必要とする児童生徒（訪問教育や病院入院生徒は除く）が、在籍している学校（13校）に看護師を配置した。さらに、医療的ケアの実施を指導する「指導医の委嘱」、地域の保健・医療・福祉機関のバックアップ体制の確立のための「医療的ケアサポート会議の設置」、医療的ケアの実施に必要な「医療機器等の整備」を行った。

#### ※看護師配置校

聴覚支援学校、聴覚支援学校福島校、大笹生支援学校、郡山支援学校、あぶくま支援学校、須賀川支援学校、西郷支援学校、石川支援学校、会津支援学校、会津支援学校竹田校、平支援学校、いわき支援学校、相馬支援学校

【平成 29 年度医療的ケア実施運営協議会委員】

| 氏名     | 委嘱時の職名              |
|--------|---------------------|
| ◎森田 浩之 | 県総合療育センター・副所長       |
| ○上妻 弘  | 郡山支援学校・校長           |
| 古橋 知子  | 福島医科大学看護学部・准教授      |
| 鈴木 恵   | 保健福祉部自立支援総室障がい福祉課主幹 |
| 鈴木 朋子  | 保健福祉部自立支援総室障がい福祉課主査 |
| 橋本 淳一  | 県特別支援教育センター・所長      |
| 鈴木 仁   | 白河こひつじ学園・相談支援アドバイザー |
| 岡田 進   | 聴覚支援学校・教頭           |
| 江尻 修   | 聴覚支援学校福島校・教頭        |
| 小川 令子  | 大笹生支援学校・教頭          |
| 菅野かおり  | 郡山支援学校・教頭           |
| 柳沼 哲   | あぶくま支援学校・教頭         |
| 喜多見久美  | 須賀川支援学校・教頭          |
| 田中 紀彦  | 西郷支援学校・教頭           |
| 菅野美恵子  | 石川支援学校・教頭           |
| 鈴木 龍也  | 会津支援学校・教頭           |
| 梅津 幸男  | 会津養護学校竹田分校・分校長      |
| 小野 美花  | 平支援学校・教頭            |
| 香取 重治  | いわき支援学校・教頭          |
| 本田 知史  | 相馬支援学校・教頭           |
| 鈴木志保子  | 平支援学校・看護師           |
| 鏑木いづみ  | 郡山支援学校・看護師          |

(◎委員長 ○副委員長)

【医療的ケア実施運営協議会の開催】

○ 平成 29 年 9 月 7 日

【会議における検討事項】

- 迷走神経刺激装置（VNS システム）操作の取組に向けて
- 胃ろうによる半固形物の栄養摂取について
- 医療的ケア児の学校卒業後の進路について

【看護師研修会の開催】

- 年 1 回の医療的ケア実施校看護師研修会を郡山支援学校において実施した。

イ 「インクルーシブ教育システム推進事業」による市町村における支援体制整備の促進

県内 7 地区において「特別支援教育体制促進協議会」を年 2 回開催し、市町村における支援体制の整備・機能充実に向けた支援や、地域自立支援協議会子ども部会等の充実のための具体的方策について協議するとともに、保健福祉部局と連携した相談体制の整備や相談支援ファイルの作成・活用の促進に取り組んだ。また、各教育事務所で特別支援教育啓発セミナーを開催し、地域住民への特別支援教育の理解・啓発に努めた。

ウ 地域支援体制の充実

特別支援学校が、地域における特別支援教育のセンターとして、小・中学校等や市町村教育委員会のニーズに応じた相談や研修等の支援を実施した。

相談件数は 1,292 件であった。

また、県内 6 箇所で開催支援チームを編制し、市町村や小・中学校等への支援の在り方や具体的な方策について協議するとともに、地域の小・中学校等における特別支援教育の充実に向けた支援に努めた。

エ 「高等学校学習支援推進事業」による後期中等教育における発達障がい等のある生徒の支援の充実

平成 17 年度から平成 23 年度まで、文部科学省「研究開発学校」制度や、県重点事業「LD 等の中高連携型生徒支援事業」、「特別支援教育総合推進事業」において進めてきた学習支援員を活用した生徒支援のノウハウを活かし、平成 29 年度は県立高等学校 18 校に学習支援員を配置し、高等学校における支援を必要とする生徒への支援の充実を図った。

オ 障がいのある幼児児童生徒の就学相談の充実

市町村教育委員会、公立小学校管理職を対象に学校教育法施行令の一部改正に伴い、「教育支援協議会」において、就学先決定の流れや特別な支援を必要とする児童の支援等について説明をし、障がい児の一貫し支援に努めた。また、本協議会を通して各市町村における早期からの相談支援体制の整備と各学校における教育相談の充実を図った。

## 2 現職教育

### (1) 教職員の研修

研修会については、下表のとおり実施し、教職員の資質向上に努めた。

| 名称               | 期日                     | 期間 | 会場          | 人数  | 対象         |
|------------------|------------------------|----|-------------|-----|------------|
| 特別支援学校教育課程運営改善講座 | 8月17日                  | 1日 | 県特別支援教育センター | 42  | 特別支援学校教員   |
| 特別支援学級等新任担当教員研修会 | 4月20日<br>11月各地区<br>2日間 | 3日 | 県特別支援教育センター | 109 | 特別支援学級担当教員 |
| 通級指導教室担当教員研修会    | 7月13日                  | 1日 | 県特別支援教育センター | 51  | 通級指導教室担当教員 |
| 特別支援学校経験者研修Ⅰ     | 6月21日～<br>6月23日        | 3日 | 県特別支援教育センター | 18  | 特別支援学校教員   |
| 特別支援学校経験者研修Ⅱ     | 6月28日～<br>6月30日        | 3日 | 県特別支援教育センター | 29  | 特別支援学校教員   |

#### 特別支援学校初任者研修

| 名称        | 期日          | 期間      | 会場          |
|-----------|-------------|---------|-------------|
| 宿泊研修      | 一次研修        | 8月2日～4日 | 磐梯青少年交流の家   |
|           | 二次研修        | 2月7日～9日 | いわき海浜自然の家   |
| 一般研修      | 4月12日～13日   | 2日      | 県特別支援教育センター |
| カウンセリング研修 | 6月14日～15日   | 2日      | 県特別支援教育センター |
| 地区別研修     | 講習会研修会等参加研修 | 各校で実施   | 各地区内の該当学校等  |
|           | 他校参観研修      | 各校で実施   | 各地区内の該当学校等  |
|           | 企業等体験研修     | 各校で実施   | 各地区内の該当学校等  |
| 教育課程別研修   | 9月13日       | 1日      | 初任者配置校      |
| 学部別研修     | 11月15日      | 1日      | 初任者配置校      |
|           | 年間150時間以上   |         | 各所属校        |

### (2) 特別支援教育教員短期研修

国立特別支援教育総合研究所（専門研修 2か月）

| 氏名    | 職名 | 学校名       | コース等      | 期間                 |
|-------|----|-----------|-----------|--------------------|
| 松永日誌志 | 教諭 | 視覚支援学校    | 視覚障害教育専修  | 5月15日～<br>7月14日    |
| 村岡有加里 | 教諭 | 聴覚支援学校会津校 | 聴覚障害教育専修  | 5月15日～<br>7月14日    |
| 磯部 麻子 | 教諭 | 平支援学校     | 肢体不自由教育専修 | 5月15日～<br>7月14日    |
| 嶋原 一寿 | 教諭 | 大笹生支援学校   | 知的障害教育専修  | 30年1月16日～<br>3月20日 |
| 會田 晃子 | 教諭 | 西郷支援学校    | 知的障害教育専修  | 30年1月16日～<br>3月20日 |

### (3) 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会

小・中学校の特別支援教育コーディネーターに対し、校内支援や関係機関との連携の在り方について研修し、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図った。

### (4) 高等学校特別支援教育コーディネーター研修会

高等学校の特別支援教育コーディネーターに対し、校内支援や関係機関との連携の在り方について研修し、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図った。

### (5) 特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会

特別支援学校の特別支援教育コーディネーターを対象に、センター的機能の在り方、国や県の教育施策、コンサルテーションの進め方等について研修し、特別支援教育コーディネーターとしての専門性の向上及び実践力の向上を図った。

| 地区 | 会場          | 期日    | 受講者数 |
|----|-------------|-------|------|
| 県内 | 県特別支援教育センター | 5月30日 | 24   |

## 3 教育課程

### (特別支援学校教育課程運営改善講座)

特別支援学校における教育課程実施上の諸問題に関する専門的な研修を実施することにより、指導的立場にある教員の指導力の向上を図るとともに、学校の実態や児童生徒の障がいの種類と程度に応じた教育課程の編成と適切な実施及び管理に努め、特別支援教育の改善・充実に資する。

| 地区 | 期日    | 会場          | 人数 | 参加対象         |
|----|-------|-------------|----|--------------|
| 県内 | 8月17日 | 県特別支援教育センター | 40 | 特別支援学校の教務主任等 |

## 4 訪問教育

通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対して行う訪問教育を週3回実施し、登校可能な児童生徒に対して、定期的に他の子どもたちと交流したり、集団学習を行ったりすることができるように、1回はスクーリング(登校学習)を実施した。

さらに、郡山支援学校では高等部の訪問教育を実施している。

実施状況は次のとおりである。

| 校名          | 学級数 |      |     |      |     |      |     |       | 児童生徒数 |      |     |      |     |      |     |       | スクーリング児童生徒数 |     |     |    |
|-------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-------|-------|------|-----|------|-----|------|-----|-------|-------------|-----|-----|----|
|             | 小学部 | 病院訪問 | 中学部 | 病院訪問 | 高等部 | 病院訪問 | 学部計 | 病院訪問計 | 小学部   | 病院訪問 | 中学部 | 病院訪問 | 高等部 | 病院訪問 | 学部計 | 病院訪問計 | 小学部         | 中学部 | 高等部 | 計  |
| 大笹生支援学校     | 2   |      | 1   |      |     |      | 3   | 0     | 4     |      | 3   |      |     |      | 7   | 0     | 3           | 1   |     | 4  |
| 郡山支援学校      | 1   |      | 1   |      | 2   |      | 4   | 0     | 3     |      | 2   |      | 4   |      | 9   | 0     | 2           |     | 2   | 4  |
| 須賀川支援学校郡山分校 |     | 1    |     | 1    |     |      | 0   | 2     |       | 3    |     |      |     |      | 0   | 3     |             |     |     | 0  |
| 須賀川支援学校医大分校 |     | 1    |     |      |     |      | 0   | 1     |       | 1    |     |      |     |      | 0   | 1     |             |     |     | 0  |
| 石川支援学校      |     |      | 1   |      |     |      | 1   | 0     |       |      | 1   |      |     |      | 1   | 0     |             |     |     | 0  |
| 会津支援学校      | 1   |      | 1   |      |     |      | 2   | 0     | 2     |      | 1   |      |     |      | 3   | 0     | 2           | 1   |     | 3  |
| 平支援学校       | 1   | 2    |     | 1    |     |      | 1   | 3     | 4     | 3    |     | 1    |     |      | 3   | 4     | 0           |     |     | 0  |
| 相馬支援学校      | 1   |      |     |      |     |      | 1   | 0     | 1     |      |     |      |     |      | 1   | 0     | 1           |     |     | 1  |
| 合計          | 6   | 4    | 4   | 2    | 2   | 0    | 12  | 6     | 14    | 7    | 7   | 1    | 4   | 0    | 24  | 8     | 8           | 2   | 2   | 12 |

## 5 生徒指導・進路指導

### (1) 生徒指導

障がいのある児童生徒一人一人の意思や個性を生かしながら、障がいの状態や発達段階・特性等に応じた指導が十分に行えるように、校内の生徒指導体制の確立に努めた。

特に、児童生徒一人一人の課題を的確に把握し、児童生徒の立場に立った行動理解を行い、児童生徒の自己実現を図るべく、生徒指導の機能を生かした指導支援に努めた。

### (2) 進路指導

ア 夢に向かってテクノチャレンジ事業

#### (ア) 事業の趣旨

特別支援学校高等部生徒の自立や社会参加を促すため、特別支援学校作業技能大会を開催し、日頃の進路に関する学習の成果を発表するとともに、外部専門家から客観的な評価を受ける機会とする。

#### (イ) 実施校

高等部設置県立特別支援学校 15校  
福島市立福島養護学校 計16校

#### (ウ) 実施状況

##### a 特別支援学校作業技能大会の開催

- ・期日 8月9日(水)
- ・場所 ビッグパレットふくしま

##### b 実施部門

- ・作業技能検定部門  
ビルクリーニング、喫茶接客サービス、パソコンデータ入力、店舗販売(品出し・パッケージ)

#### ・作業製品品評部門

作業製品の品評と作業学習の紹介等

#### ・デモンストレーション部門

視覚支援学校理療科のあん摩マッサージ等の技術披露

#### c 外部評価の活用

- ・各作業技能検定部門及び作業製品品評部門の評価表に関する助言
- ・作業技能検定部門と作業製品品評部門の審査

イ 次世代のふくしまを担う人材育成事業(特別支援学校における就労総合支援事業)

#### (ア) 事業の趣旨

高等部を設置する特別支援学校を対象として、労働、福祉等の各関係機関と連携した支援体制整備を基盤とし、企業への理解啓発と、企業で働き続けることのできる人材育成を充実させることにより、就職率と定着率の向上を図る。

#### (イ) 実施校

高等部設置県立特別支援学校 16校  
福島大学附属特別支援学校  
福島市立福島養護学校 計18校

#### (ウ) 実施状況

##### a 進路支援チーム会議の実施

- ・特別支援学校進路指導担当による就労促進及び支援の充実に関する協議
- ・障がい者就業・生活支援センターとの連携強化

- b 移行支援機能の充実
  - ・関係機関と連携した、早期からの移行支援会議の実施
  - ・在学中から卒業後までの長いスパンでの支援
- c 企業の求める人材育成
  - ・作業学習の内容や手法の見直し
  - ・ジョブコーチや企業等からの指導助言
  - ・「障がい者就職面接会」への参加
  - ・「特別支援学校早期訓練コース」の活用
- d 外部評価の活用
  - ・「特別支援学校作業技能大会」における作業技能検定の活用
  - ・「障がい者技能競技大会」への参加

## 6 特別活動

### (1) 卒業式

ア 県立特別支援学校卒業生数

| 学部<br>障がい | 学部   |     |     |     | 合 計 |
|-----------|------|-----|-----|-----|-----|
|           | 幼稚園部 | 小学部 | 中学部 | 高等部 |     |
| 視覚障がい     |      | 2   | 2   | 8   | 12  |
| 聴覚障がい     | 0    | 7   | 9   | 10  | 26  |
| 知的障がい     |      | 71  | 107 | 242 | 420 |
| 肢体不自由     |      | 25  | 23  | 30  | 78  |
| 病 弱       |      | 4   | 16  | 11  | 31  |
| 計         | 0    | 109 | 157 | 301 | 567 |

イ 県立特別支援学校卒業式学部別開催日(校数)

| 学部   | 開催日  |      |      |      |       |       |       |       |       |       |
|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      | 3月1日 | 3月2日 | 3月5日 | 3月6日 | 3月12日 | 3月13日 | 3月15日 | 3月16日 | 3月19日 | 3月20日 |
| 幼稚園部 |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |
| 小学部  |      |      |      |      | 1     | 1     | 4     | 10    | 2     | 2     |
| 中学部  |      |      |      |      | 1     | 1     | 4     | 10    | 1     | 1     |
| 高等部  | 1    | 1    | 1    | 3    |       |       | 2     | 6     |       | 1     |

※平成 29 年度幼稚園部の卒業生は 0 名のため開催なし

### (2) 修学旅行

| 学部  | 行き先<br>日数 | 行き先 |    |    |    |    |       |     | 日 数 |      |      |      | 人<br>数 |      |
|-----|-----------|-----|----|----|----|----|-------|-----|-----|------|------|------|--------|------|
|     |           | 県内  | 東北 | 関東 | 北陸 | 関西 | 九州・沖縄 | 北海道 | 日帰り | 一泊二日 | 二泊三日 | 三泊四日 |        | 四泊五日 |
| 小学部 |           | 5   | 7  | 4  | 1  |    |       |     | 11  | 6    |      |      |        | 124  |
| 中学部 |           |     | 1  | 15 |    |    |       |     | 2   | 3    | 11   |      |        | 163  |
| 高等部 |           |     |    | 6  |    | 10 |       | 2   |     | 1    | 13   | 4    |        | 292  |

## 7 学校訪問

### 県立特別支援学校

経験者研修 I、II の研究授業日に学校訪問を実施した。

| No. | 訪 問 日  | 学 校 名   |
|-----|--------|---------|
| 1   | 9月 6日  | 会津支援学校  |
| 2   | 9月14日  | 平支援学校   |
| 3   | 9月19日  | いわき支援学校 |
| 4   | 9月27日  | 石川支援学校  |
| 5   | 10月 3日 | 須賀川支援学校 |
| 6   | 10月25日 | たむら支援学校 |
| 7   | 11月15日 | 聴覚支援学校  |

## 8 県立学校学校教育指導委員

| 氏 名    | 職 名 | 所 属 校   |
|--------|-----|---------|
| 國分 静香  | 教諭  | 視覚支援学校  |
| 寺井 寛   | 教諭  | 聴覚支援学校  |
| 平野 真実子 | 教諭  | 大笹生支援学校 |
| 佐藤 綾   | 教諭  | 西郷支援学校  |
| 渡邊 万里  | 教諭  | 郡山支援学校  |
| 深松 さつき | 教諭  | 須賀川支援学校 |
| 近藤 聡美  | 教諭  | 郡山支援学校  |
| 石井 あかね | 教諭  | いわき支援学校 |

## 9 就学指導

### (1) 福島県特別支援教育推進会議

福島県特別支援教育推進会議委員

| 委 員   | 職 名                |
|-------|--------------------|
| 学識見識者 | 大学教授               |
| 関係機関  | NPO団体代表            |
| 関係機関  | 県総合療育センター所長        |
| 関係機関  | 県保健福祉部障がい福祉課長      |
| 関係機関  | 県保健福祉部こども未来局児童家庭課長 |
| 関係機関  | 県商工労働部雇用労政課長       |
| 教育関係  | 小学校長会代表            |
| 教育関係  | 中学校長会代表            |
| 教育関係  | 高等学校長会代表           |
| 教育関係  | 特別支援学校長会代表         |
| 教育関係  | 県特別支援教育センター所長      |
| 教育関係  | 県教育庁特別支援教育課長       |



## (2) 教育支援協議会

### ア 期日及び会場

| 地区  | 期日    | 会場         | 参加者数 |
|-----|-------|------------|------|
| 県北  | 6月9日  | パルセいいざか    | 111  |
| 県中  | 6月6日  | コミュニティふくしま | 67   |
| 県南  | 5月26日 | 白河合同庁舎     | 47   |
| 会津  | 6月16日 | 新鶴公民館      | 74   |
| 南会津 | 6月2日  | 御蔵入交流館     | 18   |
| 相双  | 6月16日 | 万葉ふれあいセンター | 58   |
| いわき | 6月1日  | いわき合同庁舎    | 73   |

### イ 参加者

- ・各市町村教育委員会指導主事等
- ・公立小学校管理職

### ウ 説明及び協議

#### (7) 説明

「特別な支援が必要な児童への支援のあり方について」

#### (イ) 説明及び協議

「自校における特別な支援が必要な児童への支援の取組について」

## 10 教科用図書

### (1) 教科用図書事務説明会

#### ア 開催日時・場所

平成29年6月7日・自治会館

#### イ 参加者

各教育事務所 各市町村教育委員会  
特別支援学校教科書担当者

### (2) 学校教育法附則第9条に規定する一般図書の展示期日及び会場

|             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 6月12日～6月13日 | 相馬支援学校                |
| 6月15日～6月16日 | 福島市立福島養護学校            |
| 6月19日～6月20日 | 大笹生支援学校               |
| 6月21日～6月22日 | 福島大学附属特別支援学校          |
| 6月26日～6月27日 | 会津支援学校                |
| 6月29日～6月30日 | 南会津町御蔵入交流館            |
| 7月4日～7月5日   | 石川支援学校                |
| 7月6日～7月10日  | あぶくま支援学校              |
| 7月12日～7月13日 | いわき支援学校               |
| 7月18日～7月24日 | 県特別支援教育センター<br>(一般公開) |

## 11 教育研究団体

### (1) 平成29年度福島県特別支援学校校長会役員

| 役職名 | 氏名    | 所属校        |
|-----|-------|------------|
| 会長  | 須田 康仁 | 視覚支援学校     |
| 副会長 | 芳賀 孝美 | 聴覚支援学校     |
| 副会長 | 塚野 薫  | 福島市立福島養護学校 |

### (2) 平成29年度福島県特別支援学校教頭会役員

| 役職名 | 氏名    | 所属校       |
|-----|-------|-----------|
| 会長  | 江尻 修  | 聴覚支援学校福島校 |
| 副会長 | 梅津 幸男 | 会津支援学校竹田校 |
| 副会長 | 香取 重治 | いわき支援学校   |

### (3) 福島県特別支援教育研究会

#### ア 組織

| 役職名 | 氏名    | 所属校        |
|-----|-------|------------|
| 会長  | 塚野 薫  | 福島市立福島養護学校 |
| 副会長 | 須田 康仁 | 視覚支援学校     |
| 副会長 | 添田 直彦 | 郡山市立橋小学校   |

#### イ 事業の概要

| 事業名 | 期日    | 会場          | 概要                  |
|-----|-------|-------------|---------------------|
| 役員会 | 2月16日 | 県特別支援教育センター | H29事業報告、H30事業計画について |

### (4) 福島県特別支援教育振興会

#### ア 役員

| 役職名 | 氏名    | 所属              |
|-----|-------|-----------------|
| 会長  | 柳沼 穹壹 | 元あぶくま養護学校校長     |
| 副会長 | 櫻井 和朋 | 元県PTA連合会長       |
| 副会長 | 齊藤 義人 | 元福島商業高等学校長      |
| 理事  | 氏家 守義 | 県北支部長           |
| 理事  | 松井 壽則 | 県中支部長           |
| 理事  | 圓谷美智子 | 県南支部長           |
| 理事  | 木村 秀  | 会津支部長           |
| 理事  | 只野 裕一 | 相双支部長           |
| 理事  | 大谷 明  | いわき支部長          |
| 監事  | 橋本 淳一 | 県特別支援教育センター所長   |
| 監事  | 高屋 隆男 | 東北福祉大学准教授 元聾学校長 |

#### イ 事務局

##### (7) 本部事務担当

|        |     |       |
|--------|-----|-------|
| 聴覚支援学校 | 校長  | 芳賀 孝美 |
| 聴覚支援学校 | 教頭  | 岡田 進  |
| 聴覚支援学校 | 教頭  | 加藤 一之 |
| 聴覚支援学校 | 事務長 | 加藤 吉昭 |

##### (イ) 支部

| 支部 | 事務局校   | 支部  | 事務局校    |
|----|--------|-----|---------|
| 県北 | 聴覚支援学校 | 会津  | 猪苗代支援学校 |
| 県中 | 郡山支援学校 | 相双  | 相馬支援学校  |
| 県南 | 西郷支援学校 | いわき | 平支援学校   |



## 第8章 体育・健康

### 第1節 概要

東日本大震災により、甚大な被害を受けたが、「健康」や「体力」の必要性・重要性について、再認識されたところである。また、震災後の深刻な健康課題の解決に向けて、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクトを策定した。これは、望ましい運動習慣や食習慣を形成するために、「自分手帳」を活用した生活改善、小学校体育専門アドバイザー及び運動部活動への外部指導者の派遣、学校等における個別・集団指導への外部人材・専門家の派遣、運動する楽しさを体感できる親子イベントの開催と体力向上表彰の実施、関係機関・団体によるチーム会議と外部評価を一体的に展開し、体力の向上及び肥満の解消を図るものである。

学校体育の充実については、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することを重視し、運動を楽しみながら体力の向上を目指す授業の普及に努めた。

また、体育の授業のさらなる充実と運動部活動の一層の活性化を図るため、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト及び武道等指導者派遣事業により、中学校の武道・ダンスの授業と中・高等学校の運動部活動に専門的な技能を有する地域のスポーツ人材を指導者として派遣し、教員との連携による効果的な指導の実践に努めた。

健康教育の充実・普及については、平成16年度から実施している「うつくしまっ子すこやか事業」の中で、平成19年度より「学校すこやかプラン」を展開し、関係機関との連携や地域を巻き込んだ学校保健委員会の活性化を目指して取り組んでいる。さらに児童生徒の自ら健康的な生活を営む実践力を育むための指導の在り方について研究を深め、関係機関と一体となって児童生徒の健康課題解決を目指している。また、食生活を取り巻く社会環境等の変化に伴い、偏った栄養摂取、肥満等の生活習慣病の増加及び若年化など、食に起因する新たな健康問題が増加している。こうした状況の下、生涯を通じた健康づくりの観点から、食に関する指導を一層充実するとともに、各種研修会・講習会の開催を通して、衛生管理指導の徹底を図り、豊かで安全な学校給食の実現に努めた。

平成29年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）開催の年となり、前年度から健康教育課内に設置した全国高校総体推進室では、福島県実行委員会事務局として担当職員10名体制で会場市町実行委員会や各関係団体と連携を図り、準備・運営に取り組んだ。（10月1日以降5名に減員）

加えて、会場地市町実行委員会に県高体連の専門部員である教職員12名の会場地担当教員派遣を週5日とし、準備・運営体制の強化を図った。（9月30日まで派遣）

今年度、多くの本県中高生が全国大会で活躍した。全国中学校体育大会では、猪苗代中学校バドミントン部の大活躍が光った。団体で男女ともに優勝、男子シングルスでは山下啓輔選手が優勝、男子ダブルスにおいては末永逸貴・杉浦壮哉

選手が優勝を果たした。また、男子シングルス・女子ダブルスで準優勝、男子シングルスで3位入賞と猪苗代中旋風を巻き起こした。ソフトテニス競技では西郷第一中学校が男子個人で準優勝、陸上競技では矢吹中学校の女子選手が800mで準優勝するなど輝かしい成績を収めた。

全国高等学校総合体育大会においては、バドミントン競技でふたば未来学園高校が6種目中5種目優勝という金字塔を打ち立てたことや、陸上競技男子1500mで半沢黎斗選手（学法石川高校）が日本高校歴代2位の記録で優勝するなどすばらしい活躍があった。

年度末に開催された全国高等学校選抜大会においては、ふたば未来学園高校バドミントン部が女子ダブルスにおいて水井ひらり（2年）・内山智尋選手（1年）が優勝を、女子シングルスで水井ひらり選手（2年）が優勝を果たした。

#### 1 学校体育の充実

学校における体育・スポーツ活動のより一層の充実を図るため「子どもの体力向上支援委員会」を開催し、具体的な方策について検証するとともに、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト支援委員会において「ふくしまっ子児童期運動指針」を作成し、児童の運動習慣づくりに努めた。

また、小・中・高等学校体育担当者連絡協議会、運動部活動への外部専門指導者派遣及び武道等指導者派遣事業を実施し、運動に親しむ児童生徒の育成を図るとともに、体力・運動能力の向上と運動部活動の活性化に努めた。

さらに、県内すべての小学校に体育専門アドバイザーを派遣し、体育の授業の更なる充実を図った。

#### 2 学校保健・学校安全の充実

学校における健康教育の充実を図るため、ヘルスプロモーションの理念に基づく各種事業を推進している。「学校すこやかプラン」においては、多様化・複雑化する児童生徒の健康課題に対応するため、現代的な課題を含めた児童生徒の健康課題に対する理解と学校における対応の在り方について健康教育推進者研修会を実施した。平成29年度は、アレルギー疾患への対応、薬物乱用防止について、児童生徒のメンタルヘルス等についての研修を実施し、健康教育推進の要となる養護教諭の資質向上を目指し、健康教育の充実を図った。

また、県の健康課題の一つである肥満の解消に対しては、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクトの事業の一つとして、「肥満に関する健康相談・個別の保健指導担当者研修会」を開催し、「学校における肥満対応ガイドライン」の活用促進と指導者である養護教諭、栄養教諭のスキルアップを目指した。

顕彰事業関係では、県教育委員会が行う「福島県学校歯科保健優良校表彰」のほかに、県学校保健会の「学校保健優良校表彰」を行った。ここでは、自校の健康教育にかかわる課題を

的確に捉え、地域と連携し、組織的・計画的に課題解決に向けた取組を行うとともに、児童生徒の主体的な活動が行われた学校を表彰した。

学校安全に関しては、学校防災マニュアルの見直しを図るとともに、福島県学校安全指導者養成研修会を実施した。これは、全国で通学路上における交通事故が多発したことを受け、効果的な交通安全教育の在り方等について研修を行い、交通安全教育の推進・充実を図る目的で行った。

### 3 食育の推進

学校における食育の方向を示す「ふくしまっ子食育指針」に基づき、食べる力、感謝の心、郷土愛を育み、望ましい食習慣を形成することを目指し、給食の時間や特別活動、各教科等教育活動全体で食に関する指導の充実を図った。また、平成26年度より東日本大震災後の新たな課題に対応するため、「ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業」を三部（保健福祉部、農林水産部、教育庁）連携事業として実施し、学校における食に関する指導体制の整備に努めた。さらに「朝食について見直そう週間運動」の一環で行った「ふくしまっ子ごはんコンテスト」では、応募総数が平成28年度の1.2倍である13,605点となり、家庭における食育への意識の向上につながった。

### 4 学校給食の充実

学校給食の充実を図るため、給食関係者を対象とした各種研修会をはじめ、学校栄養職員の専門的指導力を高めるため、新規採用学校栄養職員研修（県立学校を含む）及び学校栄養職員経験者研修Ⅰ、学校栄養職員専門研修を実施した。

さらに、食中毒防止等衛生管理の徹底を図るためには、平成21年4月1日に施行された「学校給食衛生管理基準」（文部科学省告示第64号）の遵守が必要であることから、その実施状況の確認及び指導・助言のため、各教育事務所の指導主事を中心として、単独校調理場等41校、共同調理場11施設及び県立学校25施設について、学校給食施設訪問実施状況点検を実施した。

あわせて、安全・安心を確認した県農林水産物を学校給食に活用する市町村等の取組に対して「いただきます。ふくしまさん」事業を5市町村27校で実施した。

### 5 全国高等学校総合体育大会

本県では39年ぶりの開催となった平成29年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）については、会場地市町の関係機関等と連携を密にし万全の準備を進め、全日程を無事終了し、高校生最大のスポーツの祭典にふさわしい大会とすることができた。また高校生自らが歓迎活動を行う姿を通して、全国に福島の元気な姿を発信することができた。

前年度同様、県高等学校体育連盟への補助により、県内の有望チーム・選手を指定して強化合宿等を行うインターハイ選手特別強化事業を実施し、競技力の向上に努めた。

## 第2節 表彰

### 1 体育関係

#### (1) 公益財団法人日本学校体育研究連合会表彰

- ア 最優秀校 該当なし
- イ 優良校 福島市立御山小学校  
西郷村立西郷第一中学校  
福島県立橘高等学校  
福島県立福島東高等学校
- ウ 功労者

| 職名 | 氏名    | 学校・所属名       |
|----|-------|--------------|
| 校長 | 矢館 実也 | 福島市立吉井田小学校   |
| 校長 | 丹 孝平  | いわき市立泉北小学校   |
| 校長 | 水谷 大  | いわき市立中央台北小学校 |
| 教諭 | 坂本 勝久 | 福島県立橘高等学校    |

#### (2) 福島県学校体育研究連合会表彰

##### ア 優秀校

| 学校名         | 校長名   |
|-------------|-------|
| 福島市立北沢又小学校  | 茂木 巧  |
| 福島市立平野小学校   | 佐藤 博英 |
| 福島市立福島第一中学校 | 伊藤 隆幸 |
| 福島市立福島第四中学校 | 福地 憲司 |
| 西郷村立西郷第一中学校 | 吉川 晃  |
| 福島県立橘高等学校   | 青山 修身 |
| 福島県立福島東高等学校 | 吉田 豊彦 |

##### イ 功労者

| 職名 | 氏名    | 学校名           |
|----|-------|---------------|
| 校長 | 菊地 康則 | 猪苗代町立猪苗代小学校   |
| 校長 | 菅原 治  | 猪苗代町立千里小学校    |
| 校長 | 高畑健一郎 | 喜多方市立第一中学校    |
| 校長 | 鶴巻 弘士 | 須賀川市立西袋中学校    |
| 校長 | 酒井 完  | 会津若松市立第一中学校   |
| 校長 | 宇南山忠明 | 猪苗代町立猪苗代中学校   |
| 校長 | 町田 壽章 | 会津若松市立第六中学校   |
| 校長 | 長岐 博  | 福島県立田村高等学校    |
| 教諭 | 坂本 勝久 | 福島県立橘高等学校     |
| 教諭 | 田川 卓史 | 福島県立福島工業高等学校  |
| 教諭 | 菅野 悟史 | 福島県立福島東高等学校   |
| 教諭 | 五十嵐 直 | 福島県立喜多方桐桜高等学校 |

## 2 学校保健・学校安全関係

### (1) 福島県教育委員会表彰

#### ア 学校保健功労者

| 氏名    | 役職名               |
|-------|-------------------|
| 安齋 勳  | 二本松市立杉田小学校 学校歯科医  |
| 吉田 眞理 | 福島県立若松商業高等学校 前学校医 |

#### イ 特別功績者(児童・生徒・団体)の部

| 学校名                           | 校長名   |
|-------------------------------|-------|
| 福島県立ふたば未来高等学校<br>男子・女子バドミントン部 | 丹野 純一 |
| 猪苗代町立猪苗代中学校<br>男子・女子バドミントン部   | 武田 光弘 |

### (2) 文部科学大臣表彰

#### ア 学校保健・学校安全表彰(教医・教歯科医・教薬剤師)

| 区分    | 氏名    | 勤務校          |
|-------|-------|--------------|
| 学校医   | 武田 尚壽 | 喜多方市立堂島小学校   |
| 学校医   | 原 晋二  | 元 いわき市立磐崎中学校 |
| 学校歯科医 | 荻部 仁  | 郡山市立日和田中学校   |
| 学校薬剤師 | 伊藤 勝康 | 二本松市立油井小学校   |

#### イ 学校保健・学校安全表彰(学校・団体)

該当なし

#### ウ 学校安全ボランティア活動奨励賞

該当なし

### (3) 平成 29 年度歯科衛生図画・ポスター・書写・標語コンクール表彰

#### <最優秀入賞者>

#### ア 図画の部

| 学年     | 学校名            | 氏名    |
|--------|----------------|-------|
| 幼稚園    | 認定こども園 慈光第二幼稚園 | 安齋 怜華 |
| 小学校1年  | 棚倉町立近津小学校      | 金澤 音々 |
| 小学校2年  | 会津若松市立湊小学校     | 渡部 心美 |
| 小学校3年  | 白河市立白河第一小学校    | 田村 絢  |
| 特別支援学校 | 福島県立会津支援学校竹田校  | 齋藤 光  |

#### イ ポスターの部

##### ◎小学校

| 学年     | 学校名           | 氏名    |
|--------|---------------|-------|
| 小学校4年  | いわき市立郷ヶ丘小学校   | 鈴木さくら |
| 小学校5年  | 須賀川市立稲田小学校    | 橋本 真佳 |
| 小学校6年  | 西郷村立熊倉小学校     | 田中 友陽 |
| 特別支援学校 | 福島県立会津支援学校竹田校 | 信野 志方 |

##### ◎中学校

| 学年    | 学校名         | 氏名    |
|-------|-------------|-------|
| 中学校1年 | 伊達市立梁川中学校   | 笹木 葵子 |
| 中学校2年 | 矢吹町立矢吹中学校   | 遠藤 愛里 |
| 中学校3年 | 福島県立会津学鳳中学校 | 長谷川 藍 |

#### ウ 書写の部

| 学年     | 学校名          | 氏名    |
|--------|--------------|-------|
| 小学校1年  | いわき市立中央台南小学校 | 若松千花子 |
| 小学校2年  | 白河市立白河第二小学校  | 室井 悠伍 |
| 小学校3年  | いわき市立長倉小学校   | 佐久間心暖 |
| 小学校4年  | 白河市立白河第二小学校  | 室井 楓伍 |
| 小学校5年  | 会津若松市立行仁小学校  | 安田 可歩 |
| 小学校6年  | 須賀川市立第一小学校   | 斧田明花音 |
| 中学校全学年 | 会津若松市立第一中学校  | 星 清夏  |
| 特別支援学校 | 福島県立須賀川支援学校  | 藁谷 宏紀 |

#### エ 標語の部

| 学年     | 学校名           | 氏名    |
|--------|---------------|-------|
| 小・中学校  | いわき市立中央台北小学校  | 渡邊 将人 |
| 特別支援学校 | 福島県立会津支援学校竹田校 | 芳賀 雄我 |

### (4) 平成 29 年度福島県学校歯科保健優良校表彰

#### ア 特別表彰

該当なし

#### イ 栄誉賞

1校

| No. | 域内 | 学校名       |
|-----|----|-----------|
| 1   | 県南 | 西郷村立羽太小学校 |

#### ウ 最優秀賞

2校

| No. | 域内 | 学校名         |
|-----|----|-------------|
| 1   | 県北 | 福島市立水保小学校   |
| 2   | 会津 | 喜多方市立上三宮小学校 |

#### エ 優秀賞

22校

##### ◎小学校(11学級以下) 14校

| No. | 域内  | 学校名         |
|-----|-----|-------------|
| 1   | 県中  | 田村市立緑小学校    |
| 2   | 県中  | 須賀川市立白方小学校  |
| 3   | 県中  | 田村市立常葉小学校   |
| 4   | 県中  | 田村市立西向小学校   |
| 5   | 県南  | 白河市立信夫第二小学校 |
| 6   | 県南  | 鮫川村立青生野小学校  |
| 7   | 県南  | 鮫川村立鮫川小学校   |
| 8   | 県南  | 西郷村立米小学校    |
| 9   | 会津  | 会津若松市立大戸小学校 |
| 10  | 会津  | 磐梯町立磐梯第二小学校 |
| 11  | 会津  | 湯川村立笈川小学校   |
| 12  | 会津  | 喜多方市立松山小学校  |
| 13  | 会津  | 湯川村立勝常小学校   |
| 14  | 南会津 | 只見町立朝日小学校   |

##### ◎小学校(12学級以上) 4校

| No. | 域内 | 学校名        |
|-----|----|------------|
| 15  | 県南 | 西郷村立小田倉小学校 |

|    |     |              |
|----|-----|--------------|
| 16 | 県南  | 西郷村立熊倉小学校    |
| 17 | 会津  | 喜多方市立第一小学校   |
| 18 | いわき | いわき市立中央台東小学校 |

◎中学校（11学級以下） 2校

| No. | 域内 | 学校名        |
|-----|----|------------|
| 19  | 県中 | 須賀川市立長沼中学校 |
| 20  | 県南 | 白河市立大信中学校  |

◎特別支援学校 2校

| No. | 域内 | 学校名             |
|-----|----|-----------------|
| 21  | 特支 | 福島県立視覚支援学校（小学部） |
| 22  | 特支 | 福島県立視覚支援学校（中学部） |

イ 優秀活動奨励賞 1校

| No. | 域内 | 学校名         |
|-----|----|-------------|
| 1   | 会津 | 磐梯町立磐梯第一小学校 |

カ 努力賞 41校

◎小学校（11学級以下） 20校

| No. | 域内  | 学校名         |
|-----|-----|-------------|
| 1   | 県北  | 川俣町立福田小学校   |
| 2   | 県北  | 二本松市立塩沢小学校  |
| 3   | 県中  | 玉川村立須釜小学校   |
| 4   | 県中  | 田村市立大越小学校   |
| 5   | 県中  | 三春町立中郷小学校   |
| 6   | 県中  | 三春町立沢石小学校   |
| 7   | 県中  | 浅川町立山白石小学校  |
| 8   | 県中  | 石川町立沢田小学校   |
| 9   | 県中  | 平田村立蓬田小学校   |
| 10  | 県中  | 田村市立滝根小学校   |
| 11  | 県中  | 小野町立飯豊小学校   |
| 12  | 県中  | 田村市立芦沢小学校   |
| 13  | 県南  | 白河市立小田川小学校  |
| 14  | 会津  | 喜多方市立駒形小学校  |
| 15  | 会津  | 喜多方市立第三小学校  |
| 16  | 会津  | 喜多方市立豊川小学校  |
| 17  | 南会津 | 檜枝岐村立檜枝岐小学校 |
| 18  | 相双  | 相馬市立八幡小学校   |
| 19  | いわき | いわき市立渡辺小学校  |
| 20  | いわき | いわき市立長倉小学校  |

◎小学校（12学級以上） 7校

| No. | 域内 | 学校名         |
|-----|----|-------------|
| 21  | 県北 | 福島市立清水小学校   |
| 22  | 県北 | 桑折町立醸芳小学校   |
| 23  | 県中 | 須賀川市立仁井田小学校 |
| 24  | 県中 | 石川町立石川小学校   |

|    |     |              |
|----|-----|--------------|
| 25 | 県中  | 須賀川市立柏城小学校   |
| 26 | いわき | いわき市立好間第一小学校 |
| 27 | いわき | いわき市立好間第二小学校 |

◎中学校（11学級以下） 4校

| No. | 域内  | 学校名         |
|-----|-----|-------------|
| 28  | 県中  | 田村市立常葉中学校   |
| 29  | 県南  | 西郷村立西郷第二中学校 |
| 30  | 南会津 | 檜枝岐村立檜枝岐中学校 |
| 31  | いわき | いわき市立入遠野中学校 |

◎中学校（12学級以上） 1校

| No. | 域内 | 学校名       |
|-----|----|-----------|
| 32  | 県中 | 石川町立石川中学校 |

◎特別支援学校 8校

| No. | 域内 | 学校名              |
|-----|----|------------------|
| 33  | 特支 | 福島県立聴覚支援学校（中学部）  |
| 34  | 特支 | 福島県立郡山支援学校（小学部）  |
| 35  | 特支 | 福島県立西郷支援学校（小学部）  |
| 36  | 特支 | 福島県立相馬支援学校（小学部）  |
| 37  | 特支 | 福島県立相馬支援学校（中学部）  |
| 38  | 特支 | 福島県立相馬支援学校（高等部）  |
| 39  | 特支 | 福島県立いわき支援学校（中学部） |
| 40  | 特支 | 福島県立いわき支援学校（高等部） |

◎高等学校 1校

| No. | 域内 | 学校名        |
|-----|----|------------|
| 41  | 会津 | 福島県立坂下高等学校 |

(5) 福島県学校保健会表彰

ア 学校保健功労者（21名）

| No. | 職名    | 氏名    | 勤務校                    |
|-----|-------|-------|------------------------|
| 1   | 学校医   | 本田 岳  | 二本松市立二本松南小学校           |
| 2   | 学校医   | 佐藤 昌保 | 郡山市立御代田小学校             |
| 3   | 学校医   | 大杉 和雄 | 本宮市立本宮第一中学校            |
| 4   | 学校医   | 八木 孝陸 | 郡山市立小山田小学校             |
| 5   | 学校医   | 馬場 俊吉 | 南会津町立田島小学校             |
| 6   | 学校医   | 安齋 幸夫 | 福島市立渡利中学校              |
| 7   | 学校医   | 大平謹一郎 | 福島市立森合小学校              |
| 8   | 学校医   | 三浦 秀士 | 郡山市立東芳小学校<br>郡山市立赤木小学校 |
| 9   | 学校医   | 豊増 公一 | 鏡石町立第二小学校              |
| 10  | 学校医   | 春山 登  | 三春町立御木沢学校              |
| 11  | 学校歯科医 | 新藤 洋子 | 南会津町立南郷小学校             |
| 12  | 学校歯科医 | 赤羽 治彦 | いわき市立泉中学校              |
| 13  | 学校歯科医 | 齋藤 吉嗣 | 二本松市立東和中学校             |
| 14  | 学校歯科医 | 高木 純仁 | 福島市立森合小学校              |

|    |       |       |              |
|----|-------|-------|--------------|
| 15 | 学校歯科医 | 荻生 徳司 | 伊達市立月舘小学校    |
| 16 | 学校歯科医 | 廣田 哲夫 | 須賀川市立長沼中学校   |
| 17 | 学校薬剤師 | 屋代万起子 | 南相馬市立原町第三中学校 |
| 18 | 校長    | 重巢 吉美 | 福島市立庭塚小学校    |
| 19 | 養護教諭  | 藤原あや子 | 福島市立福島第一小学校  |
| 20 | 養護教諭  | 藤田 修子 | 白河市立東中学校     |
| 21 | 養護教諭  | 田邊真佐子 | 福島県立福島明成高等学校 |

イ 学校安全ボランティア活動奨励賞（2団体）

| No. | 団体名              | 代表者名  |
|-----|------------------|-------|
| 1   | 半田地区子ども見守り隊      | 横山 正春 |
| 2   | 矢吹町立三神小学校子ども見守り隊 | 安田 正光 |

ウ 学校保健会感謝状（7名）

| No. | 職名    | 氏名     | 勤務校              |
|-----|-------|--------|------------------|
| 1   | 学校医   | 池田 正昭  | (前)福島県立福島北高等学校   |
| 2   | 学校歯科医 | 関根 祐壽  | (前)鏡石町立鏡石中学校     |
| 3   | 養護教諭  | 松坂 美紀子 | (前)福島県立富岡支援学校    |
| 4   | 養護教諭  | 只野 喜代美 | (前)福島県立相馬高等学校    |
| 5   | 養護教諭  | 香野 三枝子 | (前)福島県立翠の杜高等学校   |
| 6   | 養護教諭  | 井戸沼百合子 | (前)福島県立須賀川桐陽高等学校 |
| 7   | 養護教諭  | 佐藤 祐子  | (前)福島県立浪江高等学校    |

### 3 学校給食関係

#### (1) 文部科学大臣表彰

- ア 学校給食優良学校等 該当なし  
イ 学校給食功労者

| 職名   | 氏名     | 所名         |
|------|--------|------------|
| 栄養教諭 | 長嶺 恵美子 | 喜多方市立塩川小学校 |

#### (2) 公益財団法人福島県学校給食会会長・福島県学校給食研究会会長表彰

- ア 学校給食優良団体

| 団体名               | 校長・施設長名 |
|-------------------|---------|
| 会津若松市門田地区学校給食センター | 眞部 信一   |

- イ 学校給食功労者

| 職名      | 氏名     | 所名            |
|---------|--------|---------------|
| 作業長耐能注査 | 三浦 昭夫  | 福島市南部学校給食センター |
| 統括調理員   | 大橋 弘子  | 伊達市保原学校給食センター |
| 栄養教諭    | 橋本 恵久子 | 郡山市立小山田小学校    |
| 主任栄養技師  | 武田 眞弓  | 郡山市立大成小学校     |
| 栄養教諭    | 双石 良子  | 白河市立白河第二小学校   |
| 栄養教諭    | 長嶺 恵美子 | 喜多方市立塩川小学校    |
| 調理員     | 矢部 郁子  | 柳津町学校給食センター   |
| 栄養教諭    | 新妻 祐美  | いわき市立錦小学校     |

ウ 福島県教育委員会教育長賞（県産食材活用部門）

| No. | 団体名               |
|-----|-------------------|
| 1   | 国見町給食センター         |
| 2   | 三春町立三春中学校         |
| 3   | 鮫川村教育委員会          |
| 4   | 喜多方市熱塩加納学校給食共同調理場 |
| 5   | 只見町教育委員会          |
| 6   | 新地町教育委員会          |

## 第3節 学校体育

### 1 学校体育関係各種研修

#### (1) 小・中・高等学校体育担当者連絡協議会

- 県北：平成29年5月9日（火）  
とうほう・みんなの文化センター 163名参加
- 県中：平成29年5月24日（水）  
県環境創造センター 191名参加
- 県南：平成29年5月1日（月）  
中島村生涯学習センター 72名参加
- 会津：平成29年5月31日（水）  
湯川公民館 112名参加
- 南会津：平成29年4月27日（木）  
南会津町御蔵入交流館 25名参加
- 相双：平成29年4月26日（水）  
万葉ふれあいセンター 61名参加
- いわき：平成29年5月31日（水）  
いわき合同庁舎南分庁舎 121名参加

#### (2) 体育・保健体育指導力向上研修

- 県中央研修：平成29年6月28日（水）  
あづま総合運動公園 36名参加
- 地区別研修
- 県北地区：平成29年8月22日（火）  
国体記念体育館 92名参加
- 県中地区：平成29年8月18日（金）  
郡山総合体育館、開成山屋内水泳場 92名参加
- 県南地区：平成29年8月18日（金）  
白河市立表郷中学校 65名参加
- 会津・南会津地区：平成29年8月21日（月）  
あいづ総合体育館 148名参加
- 相双地区：平成29年8月17日（木）  
南相馬市スポーツセンター 78名参加
- いわき地区：平成29年8月22日（火）  
いわき総合体育館 99名参加

#### (3) ダンス・表現指導者養成研修会

- 日時：平成29年7月31日（月）  
○ 会場：福島市十六沼公園  
○ 参加者：88名

**(4) 学校フォークダンス指導者養成研修会**

- 日 時：平成 29 年 11 月 16 日（木）
- 会 場：いわき市総合体育館
- 参加者：35 名

**2 福島県高等学校体育連盟**

**(1) 平成 29 年度福島県高等学校体育連盟役員**

|                                 |                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 顧問(歴代会長)                        | 折笠 常弘(15代) 早川 俊一(16代) 齋藤 久(18代) 砂子田 敦博(19代)<br>杉原 陸夫(20代) 高城 俊春(21代) 齋藤 和也(22代) 古市 孝雄(23代)<br>富田 孝志(24代) 星 本文(25代) 新井田 大(26代) 富田 昭夫(27代)<br>本間 稔(28代) 長岐 博(29代)<br>佐藤 晃(県教育庁健康教育課長) 佐藤 弘樹(県体育協会専務理事) |
| 参与(歴代理事長)                       | 高橋 充雄(9代) 浅尾 晃左(11代) 菅野 一治(12代) 渡辺 正昭(13代)<br>赤沼 健一(14代) 渡邊 正仁(15代) 穂本 哲哉(16代)                                                                                                                       |
| 会 長                             | 廣瀬 敬彦 ( 田村高校長 )                                                                                                                                                                                      |
| 副会長(地区会長)                       | 佐久間 秀夫 ( 福島明成高校長 ) 遠藤 均 ( 須賀川高校長 ) 山内 正之 ( 会津高校長 )<br>比佐 功 ( 好間高校長 ) 佐藤 秀美 ( 相馬東高校長 )                                                                                                                |
| 理 事 長                           | 滝田 勝彦 ( 田村 )                                                                                                                                                                                         |
| 事 務 局 長                         | 齋藤 靖 ( 田村 )                                                                                                                                                                                          |
| 常 任 理 事                         | 新方 浩二 ( 健康教育課 ) 花田 巖 ( 県体育協会 ) 新田 恭弘 ( 田村 )<br>大森 史仁 ( 須賀川 ) 木村 あさ子 ( 郡山萌世(通信制) )                                                                                                                    |
| 常<br>任<br>理<br>事<br>・<br>理<br>事 | 県 北<br>☆◎ 瀬田川 広行 ( 福島商業 ) ○ 三浦 武彦 ( 福島明成 ) 鈴木 敦 ( 保原 )<br>金子 淳 ( 福島成蹊 ) △ 鈴木 小春 ( 福島東稜 )                                                                                                             |
|                                 | 県 南<br>☆◎ 清水 秀昭 ( 郡山商業 ) ☆○ 堀井 裕典 ( あさか開成 ) ☆ 高橋 正 ( 郡女大附属 )<br>☆ 関口 志保 ( 学法石川 ) ☆ 石本 淳 ( 修明鮫川校 ) △ 澤野 未帆 ( 帝京安積 )                                                                                   |
|                                 | 会 津<br>☆◎ 室井 真仁 ( 会津 ) ○ 福島 広己 ( 会津工業 ) 四家 寛功 ( 川口 )<br>△ 阿部 由惟人 ( 坂下 )                                                                                                                              |
|                                 | いわき<br>☆◎ 阿部 秀幸 ( 磐城桜が丘 ) ○ 糸井 亮平 ( 平工業 ) 小川 尚之 ( いわき総合 )<br>△ 星 友裕 ( 磐城桜が丘 )                                                                                                                        |
|                                 | 相 双<br>☆◎ 齊藤 清人 ( 相馬東 ) ○ 池田 泉 ( ふたば未来学園 ) 横山 義彦 ( 相馬 )<br>△ 佐藤 友美 ( 相馬東 )                                                                                                                           |
| 監 事                             | 黒澤 亮人 ( 東日本大附属昌平 ) 桑田 粒哉 ( 相馬東 )                                                                                                                                                                     |
| 会 長 指 名 理 事                     | 新方 浩二 ( 健康教育課 ) 花田 巖 ( 県体育協会 )                                                                                                                                                                       |
| 幹 事                             | 佐藤 琢麻 ( 安積黎明 ) 阿部 鉄也 ( 田村 ) 齋藤 修 ( 郡山萌世(定時制) )                                                                                                                                                       |
| (公財)福体協理事                       | 廣瀬 敬彦 ( 田村高校長 )                                                                                                                                                                                      |
| 同 評 議 員                         | 齋藤 靖 ( 田村 )                                                                                                                                                                                          |
| 東北高体連副会長                        | 廣瀬 敬彦 ( 田村高校長 )                                                                                                                                                                                      |
| 同 常 任 理 事                       | 滝田 勝彦 ( 田村 )                                                                                                                                                                                         |
| 同 理 事                           | 齋藤 靖 ( 田村 )                                                                                                                                                                                          |

☆常任理事 ◎地区理事長 ○地区副理事長 △地区生徒理事



(2) 第 63 回福島県高等学校体育大会日程・会場

※○…終日 □…半日

| 開催<br>地区 | No.    | 種 目 名      | 日 程                                    |                                  |           | 会 場                                                                                           | 参加人数                                        |     |
|----------|--------|------------|----------------------------------------|----------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-----|
|          |        |            | 6/3(土)                                 | 6/4(日)                           | 6/5(月)    |                                                                                               |                                             |     |
| 県北       | 1      | バスケットボール   | 6月3日(土)～4日(日)<br>6月10日(土)～11日(日)       |                                  |           | 県営あづま総合体育館 福島市国体記念体育館 福島市内高校                                                                  | 864                                         |     |
|          | 2      | 相撲         | 5月27日(土)～28日(日)                        |                                  |           | 福島市相撲場                                                                                        | 16                                          |     |
|          | 3      | 体操         | 体操競技                                   | 5月27日(土)～28日(日)                  |           |                                                                                               | 県営あづま総合体育館                                  | 80  |
|          |        |            | 新体操                                    | 5月27日(土)～28日(日)                  |           |                                                                                               |                                             |     |
|          | 4      | 馬術         | 5月27日(土)～28日(日)                        |                                  |           | JRA福島競馬場                                                                                      | 47                                          |     |
|          | 5      | ウエイトリフティング | ○                                      | ○                                |           | 福島明成高校 第一体育館                                                                                  | 40                                          |     |
|          | 6      | フェンシング     | ○                                      | ○                                |           | 福島商業高校 第二体育館                                                                                  | 15                                          |     |
|          | 7      | カヌー競技      |                                        | ○                                |           | 二本松市阿武隈漕艇場                                                                                    | 11                                          |     |
| 8        | ライフル射撃 |            | ○                                      |                                  | 二本松市総合射撃場 | 15                                                                                            |                                             |     |
| 県南       | 9      | 陸上競技       | 5月26日(金)～29日(月)                        |                                  |           | 開成山陸上競技場                                                                                      | 1,455                                       |     |
|          | 10     | サッカー       | 男子                                     | 5月27日(土)～29日(月)<br>6月2日(金)～3日(土) |           |                                                                                               | 鳥見山多目的広場 福島市十六沼公園サッカー場 21世紀の森公園いわきグリーンフィールド | 600 |
|          |        |            | 女子                                     | 5月28日(日)<br>6月3日(土)～4日(日)        |           |                                                                                               | 広野町サッカー場                                    | 66  |
|          | 11     | テニス        | 6月4日(日)～6日(火)                          |                                  |           | 郡山庭球場 須賀川市牡丹台庭球場 福島空港公園テニスコート                                                                 | 440                                         |     |
|          | 12     | ソフトボール     | ○                                      | ○                                | □         | 男子:須賀川市民スポーツ広場 女子:クリスタルパーク石川                                                                  | 633                                         |     |
|          | 13     | 卓球         | ○                                      | ○                                | □         | 須賀川アリーナ                                                                                       | 591                                         |     |
|          | 14     | ハンドボール     | 5月26日(金)～28日(日)<br>6月2日(金)～3日(土)       |                                  |           | 石川町総合体育館 学法石川高校 光南高校 本宮市総合体育館                                                                 | 672                                         |     |
|          | 15     | 水泳         | 飛込                                     | 7月5日(水)                          |           |                                                                                               | 郡山カルチャーパーク飛込プール                             | 2   |
|          | 16     | 剣道         | ○                                      | ○                                | □         | 白河市中央体育館                                                                                      | 128                                         |     |
|          | 17     | 弓道         | ○                                      | ○                                | □         | 開成山弓道場                                                                                        | 318                                         |     |
|          | 18     | 自転車競技      | トラック                                   | 5月27日(土)～28日(日)                  |           |                                                                                               | 泉崎国際サイクルスタジアム(泉崎村)                          | 55  |
|          |        |            | ロード                                    | 5月29日(月)                         |           |                                                                                               | エビスサーキット 西コース(二本松市)                         |     |
|          | 19     | ホッケー       | 未開催                                    |                                  |           | 未開催                                                                                           | —                                           |     |
| 20       | スケート   | スピード       | 12月8日(金)                               |                                  |           | 磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場                                                                            | 6                                           |     |
|          |        | フィギュア      | 12月24日(日)                              |                                  |           | 磐梯熱海アイスアリーナ                                                                                   |                                             |     |
| 21       | アーチェリー | ○          |                                        |                                  | 三春町営グラウンド | 16                                                                                            |                                             |     |
| 会津       | 22     | バレーボール     | 5月27日(土)～29日(月)                        |                                  |           | あいづ総合体育館 河東総合体育館 会津工業高校 会津学風高校                                                                | 1,440                                       |     |
|          |        | ソフトテニス     | ○                                      | ○                                | □         | 会津総合運動公園テニスコート                                                                                |                                             |     |
|          | 23     | バドミントン     | 6月9日(金)～11日(日)                         |                                  |           | あいづ総合体育館                                                                                      | 573                                         |     |
|          | 24     | 柔道         | ○                                      | ○                                | □         | 鶴ヶ城体育館                                                                                        | 334                                         |     |
|          | 25     | 空手道        | ○                                      | ○                                |           | 猪苗代町総合体育館 カメリーナ                                                                               | 82                                          |     |
|          | 26     | ボート        | 6月2日(金)～4日(日)                          |                                  |           | 福島県営荻野漕艇場                                                                                     | 82                                          |     |
|          | 27     | 登山         | 5月31日(金)～6月3日(日)                       |                                  |           | 会津駒ヶ岳、大津岐峠                                                                                    | 204                                         |     |
|          | 28     | レスリング      | ○                                      | ○                                |           | 田島高校                                                                                          | 45                                          |     |
|          | 29     | スキー        | 30年1月11日(木)～13日(土)                     |                                  |           | アハッ:会津高原だいくらスキー場 クロガシ:檜枝岐村七人クロスカントリーコース                                                       | 33                                          |     |
|          | 30     | なぎなた       |                                        | ○                                |           | 会津学風高校 第二体育館                                                                                  | 45                                          |     |
| 31       | 駅伝競走   | 10月26日(木)  |                                        |                                  | 猪苗代町駅伝コース | 488                                                                                           |                                             |     |
| いわき      | 32     | ラグビーフットボール | 10月28日(土)・30日(月)<br>11月4日(土)・11月11日(土) |                                  |           | 21世紀の森公園いわきグリーンフィールド・多目的広場                                                                    | 245                                         |     |
|          | 33     | 水泳         | 競泳                                     | 6月24日(土)～26日(月)                  |           |                                                                                               | いわき市民プール                                    | 422 |
|          | 34     | 軟式野球       | 7月8日(土)                                |                                  |           | いわき市 南部スタジアム                                                                                  | 30                                          |     |
|          | 35     | ボクシング      | 6月26日(金)～28日(日)                        |                                  |           | 磐城緑蔭中学・高等学校                                                                                   | 16                                          |     |
|          | 36     | ヨット        | ○                                      |                                  |           | いわき市 小名浜港(釜の前)                                                                                | 8                                           |     |
| 特殊専門部    |        | 定時制通信制     | 6月10日(土)～11日(日)                        |                                  |           | 郡山西部体育館 郡山総合体育館柔道場・剣道場 郡山萌生高校アリーナ<br>郡山庭球場 ふるさとの森スポーツパーク軟式野球場<br>須賀川アリーナ 本宮市総合体育館 福島中央高校グラウンド | 336                                         |     |

### 3 福島県中学校体育連盟

#### (1) 平成 29 年度福島県中学校体育連盟役員

| 役職名 | 氏名    | 所属名           | 地区名 |
|-----|-------|---------------|-----|
| 会長  | 関内 健  | 中央台南中         | いわき |
| 副会長 | 香内 一宏 | 福島三中          | 県北  |
|     | 長沼 政美 | 日和田中          | 県中  |
|     | 古川 晃  | 西郷一中          | 県南  |
|     | 菊地 裕二 | 一箕中           | 会津  |
|     | 笹川 育正 | 平三中           | いわき |
|     | 荒木 清隆 | 小高中           | 相双  |
| 理事長 | 長正 壮平 | 福島三中          | 県北  |
| 理事  | 塩田 俊郎 | 県教育庁健康教育課指導主事 |     |
|     | 安齋 敏彦 | 二本松一中         | 県北  |

| 役職名  | 氏名    | 所属名  | 地区名 |
|------|-------|------|-----|
| 理事   | 塚原 雅也 | 富田中  | 県中  |
|      | 馬場 正和 | 白河二中 | 県南  |
|      | 佐藤 雅司 | 一箕中  | 会津  |
|      | 鈴木 雅之 | 平三中  | いわき |
|      | 藍原 広明 | 原町一中 | 相双  |
| 監事   | 仁平 光俊 | 湖南中  | 県中  |
|      | 齋藤 洋子 | 好間中  | いわき |
|      | 和田 節子 | 飯館中  | 相双  |
| 顧問   | 鈴木 訓夫 | 前会長  | 県中  |
| 事務局長 | 大和田 亮 | 福島四中 | 県北  |

#### (2) 第 60 回福島県中学校体育大会

| 競技種目     | 競技場                      | 期日                | 参加人数              |
|----------|--------------------------|-------------------|-------------------|
| 陸上競技     | 郡山開成山陸上競技場               | 7月4日(火)～7月6日(木)   | 1,351             |
| 水泳競技     | 競泳                       | 郡山カルチャーパークプール     | 7月22日(土)～7月24日(月) |
|          | 飛込み                      | 郡山カルチャーパークプール     | 7月5日(水)           |
| 軟式野球     | いわきグリーンスタジアム             | 7月22日(土)～7月24日(月) | 4,740             |
|          | 南部スタジアム                  | 7月22日(土)～7月23日(日) |                   |
|          | 平野球場                     | 7月22日(土)          |                   |
|          | 小名浜野球場                   | 7月22日(土)          |                   |
| ソフトボール   | 東風の台運動公園                 | 7月23日(日)～7月24日(月) |                   |
| バスケットボール | いわき南の森スポーツパーク南部アリーナ      | 7月23日(日)～7月24日(月) |                   |
|          | いわき明星大学体育館               | 7月23日(日)          |                   |
| バレーボール   | いわき市立総合体育館               | 7月23日(日)～7月24日(月) |                   |
|          | 内郷コミュニティセンター             | 7月23日(日)          |                   |
|          | 県立いわき光洋高等学校体育館           | 7月23日(日)          |                   |
| ソフトテニス   | 須賀川市牡丹台庭球場               | 7月23日(日)～7月24日(月) |                   |
|          | 福島空港公園テニスコート             | 7月23日(日)～7月24日(月) |                   |
| 卓球       | 押切川公園体育館                 | 7月24日(月)～7月25日(火) |                   |
| バドミントン   | 須賀川アリーナ                  | 7月23日(日)～7月24日(月) |                   |
| サッカー     | 相馬光陽サッカー場                | 7月22日(土)～7月25日(火) |                   |
| ハンドボール   | 石川町総合体育館                 | 7月22日(土)～7月24日(月) |                   |
| 柔道       | 白河市中央体育館                 | 7月23日(日)～7月24日(月) |                   |
| 剣道       | 押切川公園体育館                 | 7月21日(金)～7月23日(日) |                   |
| 相撲       | 会津若松市立第六中学校相撲場           | 7月23日(日)～7月24日(月) |                   |
| 新体操      | 福島市国体記念体育館※              | 7月15日(土)～7月17日(月) |                   |
|          | ※ 15日の新体操男子は体操競技会場にて実施   |                   |                   |
| 体操競技     | 福島市国体記念体育館               | 7月16日(日)～7月17日(月) |                   |
| 駅伝競走     | 県営あづま総合運動公園              | 10月4日(水)～10月5日(木) | 549               |
| スケート     | 磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場       | 12月8日(金)          | 9                 |
| スキー      | 猪苗代スキー場ミネロ               | 平成30年             | 131               |
|          | 猪苗代町クロスカントリースキーコース       | 1月15日(月)～1月17日(水) |                   |
|          | 御成山公園ジャンプ場、田沢クロスカントリー競技場 | 平成30年1月8日(月)      |                   |

## 第4節 学校保健・学校安全

### 1 学校保健・学校安全研修会等

#### (1) 学校保健

| 事業名                     | 期 日                                           | 会 場                                            | 参加人数                |
|-------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------|---------------------|
| 養護教諭<br>経 験 者<br>研 修 I  | 実施なし<br>(2年に1回)                               |                                                |                     |
| 養護教諭<br>経 験 者<br>研 修 II | 校内研修(4日以上)<br>校外研修(6日以上)<br>宿泊研修<br>8月2日～8月4日 | 学校の計画による<br>各教育事務所・<br>学校の計画による<br>教育センター      | 16名                 |
| 養護教諭<br>専門研修<br>講 座     | 実施なし<br>(2年に1回)                               |                                                |                     |
| 健康教育<br>推 進 者<br>研 修 会  | 9月8日<br>9月12日<br>9月13日                        | 白河合同庁舎<br>とうほう・みんな<br>の文化センター<br>県環境創造セン<br>ター | 77名<br>176名<br>180名 |

#### (2) 学校安全

学校安全指導者養成研修会

- 時 期：平成29年9月27日(水)
- 会 場：県環境創造センター
- 参加者：127名

### 2 児童・生徒の健康管理費補助

#### (1) 要保護児童生徒援助費補助金(医療費)

学校安全保健法第25条の規定に基づく補助金の交付状況は次のとおりである。

ア 県立学校

| 対象児童生徒数(人) |        | 設置者が援助<br>した額(円) | 補 助 金<br>確 定 額(円) |
|------------|--------|------------------|-------------------|
| 区 分        | 特別支援学校 |                  |                   |
| 要保護        | 0      | 0                | 0                 |

イ 市町村立学校

| 対象児童生徒数(人) |     |     |        | 設置者が援助<br>した額(円) | 補助金<br>確定額(円) |
|------------|-----|-----|--------|------------------|---------------|
| 区 分        | 小学校 | 中学校 | 特別支援学校 |                  |               |
| 要保護        | 34  | 14  | 0      | 829,931          | 411,000       |

### 3 福島県学校保健会

#### (1) 会 員

- ア 県内小・中学校及び高等学校の児童生徒
- イ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師及び学校保健関係者

#### (2) 財 政

平成29年度予算額 4,089,265円

#### (3) 事業概要

- ア 学校保健講習会の開催(県内21支部単位)
- イ 学校保健優良学校・学校保健功労者表彰・学校安全ボランティア奨励賞
- ウ 各種研究大会、講習会等への派遣
- エ 刊行物の発行  
学校保健会報 第48号

### 4 独立行政法人日本スポーツ振興センター

#### (1) 災害共済給付契約加入状況

県立学校の平成29年度の加入幼児児童生徒数は44,530人で、前年度に比べ870人減少した。

#### (2) 災害共済給付状況

県立学校において、平成29年度「学校管理下」で発生した児童生徒等の災害は、給付件数では4,175件(平成28年度4,256件)、給付金額では96,511,183円である。

給付件数では81件減少、給付金額で59,748,912円増加した。

(3) 平成 29 年度県立学校災害共済給付状況

| 区 分              | 医 療 費                   |            | 障害見舞金    |            | 死亡見舞金    |            | 供 花 料    |        | 合 計              |            |
|------------------|-------------------------|------------|----------|------------|----------|------------|----------|--------|------------------|------------|
|                  | (発生件数)<br>給付件数          | 給 付 額      | 給付<br>件数 | 給 付 額      | 給付<br>件数 | 給 付 額      | 給付<br>件数 | 給 付 額  | (発生件数)<br>給付件数   | 給 付 額      |
| 幼稚園              | 件<br>(0)<br>0           | 円<br>0     | 件<br>0   | 円<br>0     | 件<br>0   | 円<br>0     | 件<br>0   | 円<br>0 | 件<br>(0)<br>0    | 円<br>0     |
| 小学校              | (8)<br>12               | 12,941     | 0        | 0          | 0        | 0          | 0        | 0      | (8)<br>12        | 12,941     |
| 中学校              | (16)<br>27              | 81,821     | 0        | 0          | 0        | 0          | 0        | 0      | (16)<br>27       | 81,821     |
| 高<br>等<br>学<br>校 | 全日制<br>(1,455)<br>4,084 | 29,024,517 | 9        | 38,950,000 | 1        | 28,000,000 | 0        | 0      | (1,455)<br>4,094 | 95,974,517 |
|                  | 定時制<br>(15)<br>38       | 421,121    | 0        | 0          | 0        | 0          | 0        | 0      | (15)<br>38       | 421,121    |
|                  | 通信制<br>(2)<br>4         | 20,783     | 0        | 0          | 0        | 0          | 0        | 0      | (2)<br>4         | 20,783     |
| 合 計              | (1,496)<br>4,165        | 29,561,183 | 9        | 38,950,000 | 1        | 28,000,000 | 0        | 0      | (1,496)<br>4,175 | 96,511,183 |

(4) 学校安全支援業務

ア 各種研修会等への講師派遣

第 5 節 学校給食

1 学校給食に関する研修会

| 名 称                        | 開催月日                       | 会 場                | 参加人数 |
|----------------------------|----------------------------|--------------------|------|
| 新規採用学校<br>栄養職員研修           | 校内研修<br>各 15 日             | 所属校・<br>勤務共同調理場    | 6 名  |
|                            | 校外研修<br>地区別研修 A<br>4 日     | 教育事務所の計<br>画による    |      |
|                            | 地区別研修 B<br>3 日             | 市町村教育委員<br>会の計画による |      |
|                            | 宿泊研修 A 3 日<br>5月22日～24日    | 国立磐梯青少年<br>交流の家    |      |
|                            | 宿泊研修 B 3 日<br>9月27日～29日    | 教育センター             |      |
| 新規採用学校<br>栄養職員(県<br>立学校)研修 | 校内研修<br>共通 3 日<br>専門 6 日   | 所属校                | 2 名  |
|                            | 校外研修<br>共通 1 日<br>専門 1 日以上 | 特別支援学校             |      |
|                            | 宿泊研修 3 日<br>9月27日～29日      | 教育センター             |      |

|                   |                              |                 |     |
|-------------------|------------------------------|-----------------|-----|
| 学校栄養職員<br>経験者研修 I | 校内研修 2 日                     | 所属校・<br>勤務共同調理場 | 4 名 |
|                   | 校外研修 2 日<br>(宿泊研修)<br>8月8～9日 | 教育センター          |     |

2 学校給食用パン品質調査

学校給食用パン品質を良化して、学校給食の食事内容の充実向上に役立たせるため実施した。

| 教 育 事 務 所 | 調 査 件 数 |
|-----------|---------|
| 県 北       | 5 件     |
| 県 中       | 18 件    |
| 県 南       | 8 件     |
| 会 津       | 3 件     |
| 南 会 津     | 1 件     |
| 相 双       | 2 件     |
| い わ き     | 7 件     |
| 合 計       | 44 件    |

### 3 食育等に関する研修会等

#### (1) 学校における食の担当者連絡会議

- 日 時 平成 29 年 4 月 28 日 (金)
- 会 場 県環境創造センター
- 参加者 94 名

#### (2) ふくしまっ子の食環境を考える会

- 県 北：平成 29 年 8 月 18 日 (金)  
パルセいいざか 177 名参加
- 相 双：平成 29 年 8 月 22 日 (火)  
万葉ふれあいセンター 71 名参加
- いわき：平成 29 年 7 月 29 日 (金)  
いわき合同庁舎 126 名参加

### (3) 栄養教諭食育推進研修会

- 日 時 平成 29 年 11 月 24 日 (金)
- 会 場 郡山市朝日が丘小学校
- 参加者 52 名

### 4 地場産物活用のための研修会等

#### (1) 地場産物活用のための懇談会

- 県北：平成 30 年 1 月 18 日 (金)  
福島テルサ 15 名参加
- 相双：平成 29 年 11 月 20 日 (月)  
広野町役場 16 名参加
- 平成 29 年 11 月 21 日 (火)  
万葉ふれあいセンター 14 名参加

### 5 学校給食関係の国庫助成実績

平成 23 年 4 月 1 日付け 23 文科施第 3 号文部科学大臣裁定「学校施設環境改善交付金要綱」に基づく交付金の状況は、次のとおりである。

平成 29 年度「学校施設環境改善交付金」(学校給食施設)

| 設置者名 | 交付額<br>(千円) | 学校または共同調理場名                            | 事業名         | 児童生徒数<br>(人) | 構造<br>(区分)   | 対象面積<br>(㎡) |
|------|-------------|----------------------------------------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 郡山市  | 38,309      | (仮称) 西田義務教育学校(後)<br>【H28 年度より繰越】       | 共同調理場(新增築)  | 491          | 鉄筋コンクリート造(R) | 374         |
| 須賀川市 | 1,265       | 稲田小中一貫校(I 期工事)<br>【H28 年度より繰越】         | 単独校調理場(新增築) | 294          | 鉄筋コンクリート造(R) | 47          |
| 須賀川市 | 6,323       | 稲田小中一貫校(II 期工事)<br>【H28 年度より繰越】        | 単独校調理場(新增築) |              |              |             |
| 伊達市  | 83,720      | 伊達市保原学校給食センター<br>(II 期工事) 【H28 年度より繰越】 | 共同調理場(改築)   | 3,464        | 鉄骨造(S)       | 1,707       |
| 柳津町  | 45,697      | 柳津町学校給食センター                            | 共同調理場(新增築)  | 373          | 鉄筋コンクリート造(R) | 226         |
| 柳津町  | 27,524      | 柳津町学校給食センター                            | 共同調理場(改築)   |              |              | 165         |
| 福島県  | 11,318      | 相馬支援学校(I 期工事)                          | 単独校調理場(新增築) | 130          | 鉄筋コンクリート造(R) | 91          |
| 相馬市  | 1,469       | 中村第二中学校(III 期工事)                       | 単独校調理場(新增築) | 220          | 鉄筋コンクリート造(R) | 10          |
| 相馬市  | 2,185       | 中村第二中学校(III 期工事)                       | 単独校調理場(改築)  |              |              | 24          |
| 伊達市  | 33,666      | 伊達市保原学校給食センター<br>(III 期工事)             | 共同調理場(改築)   | —            | 鉄骨造(S)       | —           |
| 計    | 251,476     |                                        | 10 件        |              |              |             |

## 第 6 節 体育施設

### 1 公立学校施設整備費補助(学校体育諸施設補助)

平成 29 年度における補助事業実施状況は次のとおりである。

#### (1) 水泳プール(屋外)

| 設置者名 | 施設名          | 水面積(㎡) | 上屋面積(㎡) | 交付金額(千円) |
|------|--------------|--------|---------|----------|
| 郡山市  | 西田学園(義務教育学校) | 325    | 600     | 32,102   |
| 須賀川市 | 第二小学校        | 395    | —       | 21,609   |

## (2) 中学校武道場

| 設置者名 | 施設名           | 面積 (m <sup>2</sup> ) | 交付金額 (千円) |
|------|---------------|----------------------|-----------|
| 平田村  | ひらた清風中学校 (Ⅱ期) | 270                  | 10,789    |

## 2 社会体育施設整備費補助

平成 29 年度における補助事業実施状況は次のとおりである。

### (1) 地域スポーツセンター

| 設置者名 | 施設名        | 面積 (m <sup>2</sup> ) | 交付金額 (千円) |
|------|------------|----------------------|-----------|
| 福島市  | 福島体育館 (Ⅰ期) | 1,200                | 64,769    |

### (2) 地域武道センター

| 設置者名 | 施設名         | 面積 (m <sup>2</sup> ) | 交付金額 (千円) |
|------|-------------|----------------------|-----------|
| 福島市  | 福島市武道館 (Ⅰ期) | 879                  | 61,382    |

### (3) 社会体育施設耐震化

| 設置者名 | 施設名   | 面積 (m <sup>2</sup> ) | 交付金額 (千円) |
|------|-------|----------------------|-----------|
| 郡山市  | 逢瀬体育館 | 1,050                | 11,665    |

## 第 7 節 全国高等学校総合体育大会

### 1 福島県実行委員会総会

#### (1) 第 3 回総会 (平 29. 5. 22)

- ア 平成 28 年度収支決算
- イ 平成 29 年度事業計画・収支予算

#### (2) 第 4 回総会 (平 30. 1. 17)

- ア 平成 29 年度収支決算見込
- イ 実行委員会の解散

### 2 専門委員会等

#### (1) 宿泊・衛生委員会

- ア 食品衛生等対策講習会・宿泊受入業務説明会
  - (ア) 食品衛生対策講習、宿泊受入業務説明、保健医療救護について次の 4 市で実施
    - a 福島市 (平 29. 5. 18 県自治会館)
    - b 郡山市 (平 29. 5. 19 郡山合同庁舎)
    - c いわき市 (平 29. 5. 25 いわき市総合保健福祉センター)
    - d 会津若松市 (平 29. 5. 26 会津若松合同庁舎)

#### (2) 会場地市町連絡協議会

- ア 第 4 回会場地市町連絡協議会 (平 29. 5. 17)
  - (ア) 役員編成
  - (イ) 協賛関係
  - (ウ) 高校生活動関係
  - (エ) 広報・報道
  - (オ) 売店関係、総合案内所関係等
- イ 第 5 回会場地市町連絡協議会 (平 29. 6. 21)
  - (ア) 競技運営関係
  - (イ) 案内所設置
  - (ウ) 高校生活動関係
  - (エ) 総務関係

ウ 第 6 回会場地市町連絡協議会 (平 29. 9. 20)

- (ア) はばたけ世界へ 南東北総体 2017 結果と福島県開催競技種目別大会の総括について報告
- (イ) 大会を終えての感想・反省等を意見交換
- (ウ) 今後のスケジュールについて伝達

#### (3) 競技種目別大会総括会 (平 29. 10. 30~12. 13)

- ア 競技種目別大会運営経費経理について協議

### 3 高校生活動

県内の高校生が大会を「支える」活動に主体的に取り組み、高校生スポーツ最大の祭典を自らの手で作り上げた連帯感等を共有できる大会を目指し、県内各高校に設置された高校生活動推進委員会を基に以下の活動を実施した。

#### (1) 県高校生活動推進委員会

- ア カウントダウンイベントの開催 (平 29. 4. 23)  
司会進行、ステージ上での本県開催競技を紹介
- イ 第 5 回県高校生活動推進委員会役員会 (平 29. 7. 4)
  - (ア) 南東北総体総合開会式及び御交流会について
    - ウ 平成 29 年度全国高等学校総合体育大会福島県選手団結団式への参加 (平 29. 7. 4)
    - エ はばたけ世界へ 南東北総体 2017 総合開会式、御交流会への参加 (平 29. 7. 28)
    - オ 解散式 (平 29. 9. 13)
    - カ 平成 30 年度全国高等学校総合体育大会 300 日前イベントへの参加 (平 29. 11. 4)

#### (2) 大会記念品の配付

- ア 県高校生活動推進委員会からの大会記念品として、高校生がデザインを考案した「福島県をモチーフとしたストラップと応援カード (県内高校生が激励や歓迎の言葉を記入)」を 13,000 個作製

イ 大会記念品を競技別開会式、代表者会議等で配付

### (3) 製作物(モザイクアート)の各競技会場への展示

ア 県高校生活動地区推進委員会ごとにモザイクアートを  
作製し、メインとなる競技会場に展示

(ア) テーマ「地区を象徴する名物」(各地区担当校の美術  
部員がデザインを考案)

(イ) サイズ 180cm×180cm

(ウ) 展示会場及び展示作品数

a 福島市:(あづま総合体育館2作品)  
(県立福島明成高校1作品)

b 郡山市:(郡山総合体育館2作品)

c 会津若松市:(あいづ総合体育館1作品)

d 猪苗代町:(猪苗代町総合体育館1作品)

e いわき市:(いわき平競輪場2作品)

### (4) 競技会場における草花装飾(プランター)の設置

県内農業系高校6校が計850鉢の草花装飾(プランタ  
ー)を栽培し、競技会場に設置

### (5) 高校生活動による広報

ア カウントダウンイベントへの参加 (平29.4.23)

イ 「福島の輝く未来へ!スポーツわくわくプロジェクト  
～テニス教室～」 (平29.6.11)

ウ 東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま  
推進会議 (平29.7.24)

### (6) 総合案内所の運営

### (7) 高校生活動の記録(冊子)の配付

高校生活動における3年間の取り組みを冊子にまとめ、  
300冊を各高校や県実行委員等へ配付

## 4 各種広報活動

### (1) カウントダウンイベントの開催 (平29.4.23)

### (2) 印刷物等による広報

ア インターハイNEWS vol.4ポスター作成、配付

イ 「29南東北インターハイNEWS」(平26.6～)

(ア) 公式ホームページへ掲載

(イ) 県内の高等学校へ電子データによる配付

ウ 広報誌、各種刊行物

(ア) 福島県広報誌 ゆめだより

(イ) 県政新聞広報

「県政特集」福島民報、福島民友

(平29.4.9掲載), (平29.7.23掲載)

(ウ) 県町村会機関誌

「ふくしま自治(第704号)」(平29.6.30発行)

「ふくしま自治(第705号)」(平29.9.29発行)

(エ) 一般財団法人とうほう地域総合研究所機関誌

「福島の進路(No.419)」(平29.6.28発行)

(オ) 県教育委員会広報誌

「ふくしま教育ニュース(第48号)」

(平29.11月発行)

### (3) テレビ媒体「県政広報番組」

ア 福島中央テレビ コジてれChu!「ふくしま未来通信」

(ア) ウェイトリフティング (平29.4.18放送)

出演 県立福島工業高校

(イ) 空手道 (平29.5.9放送)

出演 学校法人松韻学園福島高校

(ウ) 自転車競技 (平29.6.6放送)

出演 県立白河実業高校

(エ) ボクシング (平29.6.13放送)

出演 県立会津工業高校

イ 福島テレビ 「キビタンGO!～ふくしまからチャレン  
ジはじめよう～」

(ア) ソフトテニス (平29.4.19放送)

出演 県立葵高校

ウ 福島テレビ サタふく「ふくしま調査隊」

(ア) ハンドボール (平29.5.13放送)

出演 学校法人石川高校(男子)

出演 郡山女子大学附属高校(女子)

### (4) ラジオ媒体「県政ラジオ番組」

ア ふくしまFM「キビタンスマイル～ふくしまからチャレ  
ンジはじめよう。～」 (平29.4.19放送)

出演 県全国高校総体推進室 室長 鈴木義祐

### (5) 多様なメディア等による広報

ア twitter開設、情報掲載 (平28.3月～)

イ 県教育委員会及び健康教育課ホームページへバナーの  
掲載 (平28～)

ウ 県教育委員会ホームページトップページへ最新情報  
NEWSとして情報掲載 (平26～)

エ 公式ホームページ開設 (平28.4.22～)

(ア) 会場地実行委員会総会や各種専門委員会などの開催  
情報の掲載

(イ) 公募・入札・協賛関係など記載

(ウ) カウントダウン「絆リレー」

(平28.5.14～平29.7.17)

出演 各高等学校高校生活動推進委員会等

### (6) 総合案内所の設置

競技会場等へのアクセス拠点となる主要駅(福島駅、南  
福島駅、郡山駅、会津若松駅、いわき駅)に設置

### (7) 広報啓発物作製

総合案内所用のぼり、テーブル幕

## 5 選手の強化

(県教育委員会から県高等学校体育連盟への補助事業)

### (1) インターハイ選手特別強化事業

37校67部及び指導者26名・選手91名を指定し、  
強化事業を実施

ア 指定証交付(平29.4.20)

## 6 入賞状況

| 競技種目       | 氏名             | 性 | 学校名     | 入賞種別                                     | 成績             | 備考     |
|------------|----------------|---|---------|------------------------------------------|----------------|--------|
| 陸上競技       | 学法石川           | 男 |         | トラック競技学校対抗                               | 4位             |        |
|            | 学法石川           | 男 |         | 学校対抗                                     | 7位             |        |
|            | 半沢黎斗           | 男 | 学法石川    | 1500m                                    | 1位             | 強化指定選手 |
|            | 山内大夢           | 男 | 会津      | 400mハードル                                 | 2位             | 強化指定選手 |
|            | 久納 碧           | 男 | 学法石川    | 1500m                                    | 4位             | 強化指定選手 |
|            | 佐藤皓人           | 男 | 日大東北    | 砲丸投                                      | 4位             | 強化指定選手 |
|            | 芳賀宏太郎          | 男 | 学法石川    | 3000m障害                                  | 5位             | 強化指定選手 |
|            | 中村美宇           | 女 | 郡山東     | 800m                                     | 7位             | 強化指定選手 |
| ソフトテニス     | 学法石川           | 男 |         | 団体                                       | 5位             | 強化拠点校  |
| バドミントン     | ふたば未来学園        | 男 |         | 学校対抗                                     | 1位             | 強化拠点校  |
|            | ふたば未来学園        | 女 |         | 学校対抗                                     | 1位             | 強化拠点校  |
|            | 金子真大<br>久保田友之祐 | 男 | ふたば未来学園 | ダブルス                                     | 1位             | 強化拠点校  |
|            | 高橋明日香          | 女 | ふたば未来学園 | シングルス                                    | 1位             | 強化拠点校  |
|            | 高橋明日香<br>由良なぎさ | 女 | ふたば未来学園 | ダブルス                                     | 1位             | 強化拠点校  |
|            | 山田尚輝<br>筑後恵太   | 男 | ふたば未来学園 | ダブルス                                     | 2位             | 強化拠点校  |
|            | 金子真大           | 男 | ふたば未来学園 | シングルス                                    | 3位             | 強化拠点校  |
|            | 水井ひらり          | 女 | ふたば未来学園 | シングルス                                    | 3位             | 強化拠点校  |
| ソフトボール     | 帝京安積           | 男 |         | 団体                                       | 5位             | 強化拠点校  |
| 柔道         | 杉山 海           | 男 | 田村      | 81kg級                                    | 3位             | 強化拠点校  |
|            | 瀧澤秀斗           | 男 | 田村      | 90kg級                                    | 3位             | 強化拠点校  |
|            | 江口 輝           | 女 | 喜多方桐桜   | 78kg超級                                   | 5位             | 強化拠点校  |
| 自転車競技      | 白河実業           | 男 |         | 4kmチーム・パーシュート                            | 2位             | 強化拠点校  |
|            | 白河実業           | 男 |         | 学校対抗トラック                                 | 3位             | 強化拠点校  |
|            | 白河実業           | 男 |         | 学校対抗総合                                   | 3位             | 強化拠点校  |
|            | 学法石川           | 男 |         | 4kmチーム・パーシュート                            | 6位             | 強化拠点校  |
|            | 角田 光           | 男 | 白河実業    | 3kmインディビジュアル・パーシュート                      | 2位             | 強化拠点校  |
|            | 大高彰馬           | 男 | 白河実業    | 4km速度競走                                  | 3位             | 強化拠点校  |
|            | 中村龍吉           | 男 | 学法石川    | ポイント・レース                                 | 5位             | 強化拠点校  |
|            | 石井洋輝           | 男 | 白河実業    | 1kmタイムトライアル                              | 8位             | 強化拠点校  |
| ウエイトリフティング | 清水峻雅           | 男 | 福島工業    | 62kg級スナッチ<br>62kg級クリーン&ジャーク<br>62kg級トータル | 3位<br>6位<br>3位 | 強化指定選手 |
|            | 佐野裕作           | 男 | 平工業     | 77kg級スナッチ                                | 2位             | 強化指定選手 |
| カヌー        | 水木勇斗           | 男 | 二本松工業   | スプリント・カナディアンシングル500m                     | 7位             |        |



## 7 経過概要

| 年 月 日       | 経 過 概 要                                                                                                                          |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成29年 4月11日 | 平成29年度第1回全国高校総体検討委員会（東京都）<br>平成29年度全国高等学校総合体育大会競技会場視察<br>（4月11日：郡山市、4月13日：いわき市、4月17日・19日：福島市、<br>4月18日：会津若松市・猪苗代町・石川町）           |
| 4月17日       | 第4回福島県高校生活動推進委員会役員会（安積高校〔郡山市〕）                                                                                                   |
| 4月20日       | 福島県高体連評議員会にてインターハイ選手特別強化事業指定証を交付（ユラックス熱海〔郡山市〕）                                                                                   |
| 4月21日       | 平成29年度第1回全国高校総体中央委員会（東京都）                                                                                                        |
| 4月23日       | 南東北インターハイカウントダウンイベント（JR郡山駅構内〔郡山市〕）<br>記録集計会場視察（5月8日：福島市・いわき市、5月9日：会津若松市・猪苗代町、<br>5月16日：郡山市）                                      |
| 5月11日       | 第12回南東北三県連絡調整会議（山形県）                                                                                                             |
| 5月13日       | 福島市カウントダウンイベント（福島駅前〔福島市〕）                                                                                                        |
| 5月16日       | 一般社団法人福島県医師会スポーツ医学委員会（福島県医師会館〔福島市〕）                                                                                              |
| 5月17日       | 福島県実行委員会第4回会場地市町連絡協議会（福島テルサ〔福島市〕）<br>平成29年度全国高等学校総合体育大会「食品衛生等対策講習会」及び「宿泊受入業務説明会」<br>（5月18日：福島市、5月19日：郡山市、5月25日：いわき市、5月26日：会津若松市） |
| 5月22日       | 福島県実行委員会第3回総会（福島テルサ〔福島市〕）                                                                                                        |
| 5月30日       | 第3回式典映像製作研修会（山形県）                                                                                                                |
| 6月11日       | 「福島の輝く未来へ！スポーツわくわくプロジェクト」における高校生活動推進委員会PR活動<br>（あいづドーム〔会津若松市〕）                                                                   |
| 6月21日       | 福島県実行委員会第5回会場地市町連絡協議会（ふくしま中町会館〔福島市〕）                                                                                             |
| 6月23日       | 平成29年度東北高等学校空手道選手権大会<br>（～6月25日：猪苗代町総合体育館〔猪苗代町〕）リハーサル大会<br>平成29年度東北高等学校ハンドボール選手権大会<br>（～6月25日：あづま総合体育館他〔福島市〕）リハーサル大会             |
| 6月30日       | 第2回報道協議会（山形県）                                                                                                                    |
| 7月4日        | 第5回福島県高校生活動推進委員会役員会（とうほう・みんなの文化センター〔福島市〕）<br>南東北総体福島県選手団結団式における高校生活動推進委員会PR活動<br>（とうほう・みんなの文化センター〔福島市〕）                          |
| 7月7日        | 公益財団法人全国高体連第1回理事長会（山形県）                                                                                                          |
| 7月14日       | 御交流会合同研修会（山形県）                                                                                                                   |
| 7月22日       | ソフトテニス競技（～7月29日：会津総合運動公園テニスコート〔会津若松市〕）                                                                                           |
| 7月24日       | 東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議高校生活動推進委員会PR活動<br>（ホテルグリーンパレス〔福島市〕）                                                                |
| 7月26日       | 自転車競技<br>（～30日：トラック・レース・いわき平競輪場〔いわき市〕、ロード・レース・石川町・浅川町<br>周回特設コース〔石川町・浅川町〕）                                                       |
| 7月27日       | バスケットボール競技（～8月2日：あづま総合体育館他〔福島市〕）                                                                                                 |
| 7月28日       | 総合開会式（山形県）<br>卓球競技（～8月2日：郡山総合体育館〔郡山市〕）<br>空手道競技（～7月31日：猪苗代町総合体育館〔猪苗代町〕）                                                          |
| 8月1日        | テニス競技（～8月8日：会津総合運動公園テニスコート他〔会津若松市〕）                                                                                              |
| 8月2日        | ウエイトリフティング競技（～8月6日：福島明成高校〔福島市〕）                                                                                                  |
| 8月4日        | ハンドボール競技（～8月10日：あづま総合体育館他〔福島市〕）<br>ボクシング競技（～8月10日：あいづ総合体育館〔会津若松市〕）                                                               |

| 年 月 日       | 経 過 概 要                                   |
|-------------|-------------------------------------------|
| 8月 8日       | 柔道競技（～8月12日：郡山総合体育館[郡山市]）                 |
| 9月12日       | 平成29年度第2回全国高校総体検討委員会（東京都）                 |
| 9月13日       | 福島県高校生活動推進委員会解散式（猪苗代町体験交流館「学びいな」[猪苗代町]）   |
| 9月20日       | 福島県実行委員会第6回会場地市町連絡協議会（県自治会館[福島市]）         |
| 9月22日       | 平成29年度第2回全国高校総体中央委員会（東京都）                 |
| 10月 1日      | 県教育庁健康教育課内全国高校総体推進室の担当職員を減員               |
|             | 福島県実行委員会第6回会場地市町連絡協議会（県自治会館[福島市]）         |
|             | 平成29年度第2回全国高校総体中央委員会（東京都）                 |
|             | 県教育庁健康教育課内全国高校総体推進室の担当職員を減員               |
|             | 競技種目別大会総括会                                |
|             | （10月30日：石川町、11月2日：いわき市、11月9日・12月12日：猪苗代町、 |
|             | 11月13日・12月6日：会津若松、11月16日・12月13日：福島市、      |
|             | 11月30日：郡山市）                               |
| 11月 4日      | 平成30年度全国高等学校総合体育大会（東海インターハイ）              |
|             | 300日前カウントダウンイベント「友情の花の種」伝達式（三重県）          |
| 11月 7日      | 全国高等学校総合体育大会第15回開催地都道府県主幹課長協議会（山形県）       |
| 12月21日      | 第13回南東北三県連絡調整会議（山形県）                      |
| 平成30年 1月17日 | 福島県実行委員会第4回総会（とうほう・みんなの文化センター[福島市]）       |

# 第9章 社会教育

## 第1節 概要

### 1 社会教育一般

県社会教育委員の会議では、本県における社会教育推進や地域の教育力向上を目指した施策の成果及び課題を整理するとともに、本県における家庭と地域社会の現状より、社会全体として子育て家庭を支援する必要等について審議することにより、提言「地域全体で子どもたちを育てる支援体制の構築の実現に向けて～地域総ぐるみによる家庭教育の充実～」をまとめた。（第2章 第7節に記載）

### 2 地域コミュニティの再生

震災からの復興のために、地域コミュニティを再生していくことが重要である。そのために、地域の実情に即して、学校・家庭・地域住民の連携を進めるとともに、それぞれが主体的かつ確実にその役割を果たしながら、地域の教育力向上を図ることができるよう、地域には地域コーディネーターを、学校には地域との連携の窓口となる地域連携担当教職員を置き、双方向性の協働体制のもと、地域が学校を支援していく活動だけでなく、学校も地域に貢献する活動を展開する「地域学校協働活動事業」をはじめ、子どもたちの健全育成と安心安全な活動拠点づくりを推進するための「放課後子ども教室事業」や、地域人材や社会教育団体などの参画を得て、学校と地域の連携の構築を図り、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する「学校支援活動事業」を実施するとともに、「学校・家庭・地域連携サポート事業」において、コーディネーターやボランティアを対象とした研修等を実施した。

また、災害記録の保存と県民への情報提供に活用する資料の収集を行い、移動図書館や協力車の巡回を実施して読書普及を通じた支援を行った。

### 3 家庭教育

家庭教育は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーを身につける上で重要な役割を担っている。しかしながら、少子高齢化、高度情報化等、社会環境が激しく変化する現在、子育てに関する課題等も多様化している。そこで、PTAや企業との連携する等、地域ぐるみで子どもたちを育む仕組みの構築に努め、「地域でつながる家庭教育応援事業」等を実施した。

### 4 青少年教育

青少年の豊かな人間性や社会性を育むためには、異年齢の子ども同士や地域の大人等の関わりのもと、自然体験、ボランティア活動、職業体験、交流体験、スポーツ・文化活動等の様々な体験の機会の充実や社会環境づくりが促進されることが必要である。そのために、「体験活動・ボランティア推進センター事業」を実施するとともに、学校・

家庭・地域が連携を進めながら、地域ぐるみで青少年を育成する環境づくりが推進されるよう、子どもと大人が、共通の体験をとおして、感動したことや共感したことを話し合い、また、震災からさらなる復興を願った「ふくしま」への思いを、日本古来の五・七・五の十七音で表現した作品を募集、表彰、広報する「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」を実施した。

### 5 成人教育

地域における大人の持つ知識や技能、公民館等において学習した成果などを、地域社会に還元する活動の重要性が高まっていることから、地域の教育力の向上への取組と関連させながら、成人の学習活動や社会参加活動を促進するよう努めた。

### 6 子どもの読書活動推進

第三次「福島県子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携して、地域で子どもの読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館への支援等もできる人材の養成に努めるとともに、福島県子ども読書活動推進会議を開催し、読書活動推進に向けた協議を行った。また、読書の楽しさや自ら進んで読書に親しむきっかけとして、中高校生によるビブリオバトルを開催した。

### 7 ユネスコ活動

ユネスコ憲章の精神に基づく教育・科学・文化活動についての理解を県民一般に広めるよう努めた。

### 8 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業

子どもたちの豊かな人間性や生きる力を育むために「ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業」を実施し、東日本大震災の経験を踏まえ、再発見した郷土の良さを伝え合い発信していく様な交流活動を行う団体や充実した自然体験活動等を行う団体に対し、補助金を交付した。

### 9 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

子どもたちが福島の今を伝える活動を行う中で主体的に復興に寄与する社会体験活動に取り組むことなど、その想いを具現化できる機会を提供するため、「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」を実施し、市町村や青少年育成団体等が実施する事業に対し、補助金を交付した。

## 第2節 社会教育一般

### 1 社会教育推進体制の充実

#### (1) 社会教育行政の推進

社会教育担当者会議

第1回 日時 平成29年4月7日（金）

場所 公立学校共済組合飯坂保養所

第2回 日時 平成30年2月2日（金）

場所 公立学校共済組合飯坂保養所

## (2) 社会教育主事の設置

社会教育活動の充実を図るため、県立自然の家へ社会教育主事を配置するなど設置促進に努めた。

## (3) 社会教育関係職員の研修

ア 市町村の社会教育主事や公民館職員、図書館職員、社会教育指導員などの社会教育関係職員を対象とした研修機会の充実を図り、その資質向上に努めた。

イ 国立教育政策研究所等で実施する専門的な研修講座への計画的な派遣に努めた。

## (4) 各種社会教育関係団体等との連携

地域の教育力向上を図る観点から、各種社会教育関係団体等の果たす役割や学校・家庭・地域住民の連携を促進するための活動が重要であるため、各種社会教育関係団体等との連携に努めた。

## 2 社会教育施設の整備充実

### (1) 県立社会教育施設の整備充実

ア 県立図書館の整備充実

県民への図書館サービスの向上を図るため、図書館資料や設備・備品等の整備充実に努めるとともに、「県立図書館情報ネットワークシステム」を活用して公立図書館や公民館図書室、学校図書館等との連携の強化に努めた。

イ 福島県自然の家の整備充実

自然の中での集団宿泊体験を通して青少年の健全育成を図る場や機会を拡充するため、自然の家の整備充実に努めた。

### (2) 市町村立社会教育施設の整備促進

ア 公民館の整備促進

地域住民のための学習の拠点となる社会教育施設として、多様化した学習ニーズに的確に対応し、充実した公民館活動が行われるよう、市町村に対し、長期的な展望に立った施設・設備の在り方について助言した。

イ 市町村立図書館の整備促進

市町村立図書館を26自治体巡回し、図書館の運営相談や相互貸借資料等の搬送等を行った。

また、高等教育機関にも巡回しその連携体制の強化に努めた。

### (3) 災害復旧国庫補助事業

東日本大震災で被災した公立社会教育施設の災害復旧事業を補助するため、災害査定（現地調査）等の事務を行った。また、未だ申請できない双葉地区等の市町村について情報収集を行い、復旧に向けての準備ができるよう働きかけた。

## 3 社会教育関係職員の研修

### (1) 公民館職員研修会

ア 期日 平成29年5月18日(木)～19日(金)

イ 会場 福島県男女共生センター

ウ 参加対象 市町村公民館職員でおおむね3年未満の者及び社会教育関係者

エ 参加者数 59名

オ 講師

教育庁社会教育課長 菊池 篤志

郡山市立大島地域公民館長 遠藤 晃世

福島大学地域創造支援センター

副センター長 准教授 木暮 照正

福島市蓬萊学習センター長 安田 真澄

教育庁社会教育課主幹 渋川 卓也

### (2) 福島県市町村社会教育担当者研修会

ア 期日 平成29年8月29日(火)～30日(水)

イ 会場 福島県男女共生センター

ウ 参加対象 社会教育関係行政職員（公民館職員、社会教育主事等の社会教育関係事業担当2年目以上の職員）、社会教育指導員等

エ 参加者数 1日目 32名、2日目 18名

オ 講師

尚絅学院大学エクステンションセンター特任教授

松田 道雄

郡山市立日和田公民館長

井上まゆみ

須賀川市小塩江公民館主事

武田 貴志

NPO法人マイスタイル

金田このみ

教育庁社会教育課社会指導主事兼指導主事

齋藤 和久

## 4 社会教育研究集会

### (1) 主催

一般社団法人全国社会教育委員連合

福島県市町村社会教育委員連絡協議会

### (2) 主管

西白河地区社会教育委員連絡協議会

### (3) 後援

福島県教育委員会、白河市教育委員会、

西郷村教育委員会、泉崎村教育委員会、

中島村教育委員会、矢吹町教育委員会

### (4) 日程・内容

ア 期日 平成29年8月24日(木)～25日(金)

イ 会場 白河文化交流館コミネス 他

ウ 参加対象 市町村社会教育委員、市町村社会教育行政担当者、社会教育関係施設職員、社会教育関係団体会員 他

エ 参加者数 2日間のべ459名

オ 基調講演

講師 茨城県生涯学習・社会教育研究会

会長 長谷川 幸介

演題 「無縁社会に立ち向かう

～社会教育の現代的課題～」

カ 分科会

第1分科会「子育て・家庭教育支援について」

第2分科会「地域と学校との連携・協働について活動」

第3分科会「地域を担う人材発掘・人材育成について」

第4分科会「社会教育委員の役割について」

## 5 社会教育指導員の設置

### (1) 設置数

|         |     |
|---------|-----|
| ア 県北    | 48名 |
| イ 県中    | 18名 |
| ウ 県南    | 11名 |
| エ 会津    | 60名 |
| オ 南会津   | 11名 |
| カ 相双    | 11名 |
| キ いわき   | 6名  |
| 合計 165名 |     |

### (2) 福島県市町村社会教育指導員研修会（年2回）

#### ア 第1回

- (ア) 期日 平成29年5月8日（月）
- (イ) 場所 郡山市公会堂
- (ウ) 対象 福島県市町村社会教育指導員
- (エ) 参加者数 141名
- (オ) 講師 社会教育課主幹 渋川 卓也

#### イ 第2回

- (ア) 期日 平成29年9月29日（金）
- (イ) 場所 会津若松市文化センター
- (ウ) 対象 福島県市町村社会教育指導員、青少年教育指導員、社会教育主事、公民館職員等社会教育関係者
- (エ) 参加人数 153名
- (オ) 講師 落語家 三遊亭 兼好  
演題「笑いの力で 地域づくりを」

## 6 社会教育主事の市町村派遣

※ 平成22年度より派遣していない。

## 7 社会教育研修会

### (1) 内容

社会教育推進上の諸問題についての協議等を通してその方策を明らかにし、市町村における社会教育の振興・充実に資する。

市町村職員及び社会教育委員等を対象として希望市町村の計画に基づき実施する。

### (2) 対象

公民館職員、公民館運営審議会委員、社会教育委員、社会教育関係者

### (3) 期日・会場

| 域内 | 期日     | 実施市町村等 | 参加者 |
|----|--------|--------|-----|
| 県中 | 10月11日 | 田村市    | 31名 |
| 県南 | 9月4日   | 塙町     | 18名 |
|    | 11月13日 | 鮫川村    | 15名 |
|    | 11月30日 | 棚倉町    | 15名 |
| 会津 | 8月23日  | 湯川村    | 12名 |
|    | 9月15日  | 昭和村    | 5名  |
|    | 10月2日  | 磐梯町    | 5名  |

| 域内  | 期日    | 実施市町村等 | 参加者  |
|-----|-------|--------|------|
| 南会津 | 7月6日  | 南会津町   | 19名  |
|     | 7月11日 | 只見町    | 13名  |
| 相双  | 5月31日 | 双葉町    | 8名   |
|     | 9月5日  | 楡葉町    | 10名  |
|     | 9月21日 | 富岡町    | 17名  |
| いわき | 5月30日 | いわき市   | 141名 |
|     | 9月19日 | いわき市   | 111名 |
|     | 9月21日 | いわき市   | 26名  |

合計 15箇所 参加者 446名

## 8 福島県公民館研究集会

- (1) 期日 平成29年10月18日（木）
- (2) 会場 郡山市立中央公民館
- (3) 参加対象 公民館職員等
- (4) 講師 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター  
特任教授 天野 和彦

## 9 社会教育職員研修派遣

### (1) 東北大学社会教育主事講習

- ア 主催 東北大学教育学部
- イ 期日・会場  
平成29年6月15日（木）～6月16日（金）  
公立学校共済組合飯坂保養所 飯坂温泉あづま荘  
福島市飯坂学習センター  
平成29年7月3日（月）～8月9日（水）  
国立磐梯青少年交流の家  
東北大学教育学部
- ウ 受講者数 14名
- エ 修了者名

| 域内         | 氏名    | 勤務先         |
|------------|-------|-------------|
| 県北(1)      | 齋藤麻紀子 | 二本松市立杉田小学校  |
| 県中<br>(5)  | 兼子 知久 | 平田村立小平小学校   |
|            | 小島 聖子 | 郡山市立芳山小学校   |
|            | 稲田 浩充 | 郡山市立中央公民館   |
|            | 芳賀 俊哉 | 石川町公民館      |
| 県南<br>(3)  | 瀧田 洋子 | 三春町役場生涯学習課  |
|            | 戸井田 修 | 塙町立笹原小学校    |
|            | 矢内 淳仁 | 棚倉町立棚倉小学校   |
| 会津<br>(2)  | 戸倉深希子 | 西郷村立川谷中学校   |
|            | 岩橋 健紀 | 磐梯町立磐梯第一小学校 |
| いわき<br>(2) | 川島 淳  | 会津若松市立第三中学校 |
|            | 鈴木 岳  | いわき市立赤井小学校  |
| 県立(1)      | 荻野 美香 | いわき市立好間中学校  |
|            | 荒木 隆  | 県立博物館       |

**(2) 国立教育政策研究所主催講習**

ア 社会教育主事講習

(ア) 会場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

(イ) 期日

a A講習 平成29年7月21日(金)～8月25日(金)

b B講習 平成30年1月22日(月)～2月28日(水)

(ウ) 受講者数

a A講習 0名

b B講習 3名

(エ) 修了者名

| 講習名        | 氏名    | 勤務先        |
|------------|-------|------------|
| B講習<br>(3) | 石井 洋平 | 鮫川村教育委員会   |
|            | 宮崎 博光 | 会津坂下町教育委員会 |
|            | 安田 吉孝 | 福島市教育委員会   |

イ 専門講座等

| 講座名        | 期間                  | 受講者数 |
|------------|---------------------|------|
| 社会教育主事専門講座 | 11月7日(火)<br>～10日(金) | 0    |

**10 出版資料**

| 資料名         | 部門   | 規格 | 頁数 | 広報手段  |
|-------------|------|----|----|-------|
| 社会教育 No.338 | 社会教育 | A4 | 12 | Web掲載 |

**第3節 地域コミュニティの再生**

**1 地域学校協働活動事業**

(1) 目的

県内8本部を先進的な取組のモデル学区に指定し、地域の総合窓口として「地域コーディネーター」を配置し、学校の窓口として「地域連携担当教職員」を置き、地域と学校が連携・協働のもと幅広い地域住民等が参画し、郷土学習や地域行事への参加等をとおして、地域全体で未来を担う子どもたちをの成長を支え、地域づくりを推進する事業を展開する。

**(2) 県事業**

ア 評価・検証委員会の設置

第1回

期日：平成29年7月6日(木)

会場：杉妻会館

第2回

期日：平成29年9月15日(金)

会場：天栄村立天栄中学校

第3回

期日：平成29年11月15日(水)

会場：県立図書館

第4回

期日：平成30年2月15日(木)

会場：ふくしま中町会館

イ 地域連携担当教職員等連絡協議会の実施

第1回

期日：平成29年5月11日(木) 46名参加

講話：文科省視学委員 貝ノ瀬 滋

講義：尚綱学院大 松田 道雄

栃木県教委 井上 昌幸

第2回

期日：平成29年9月15日(金) 41名参加

内容：天栄村の取組を視察

第3回

期日：平成29年11月20日(月) 42名参加

講話：文科省地域学校協働推進室連携支援係長

猿渡 智衛

第4回

期日：平成30年2月20日(火) 37名参加

講話：「今年度の取組の成果と課題並びに次年度に向けて」

尚綱学院大 松田 道雄

ウ 地域学校協働活動事業推進フォーラムの実施

期日：平成30年1月31日(水) 195名参加

会場：郡山市ビッグパレットふくしま

実践発表：「地域学校協働活動事業の実践について」

地域連携担当教職員(西会津町)

地域コーディネーター(西郷村)

教育委員会担当者(双葉町)

ポスターセッション：モデル8町村

(国見町、大玉村、天栄村、西郷村、

西会津町、双葉町、川内村、檜葉町)

シンポジウム：

コーディネーター

県教育庁教育総務課長 高橋 洋平

パネリスト

尚綱学院大学特任教授 松田 道雄

文科省 生涯学習政策局 社会教育課

地域学校協働推進室 連携支援室

猿渡 智衛

国見町教育長 岡崎 忠昭

天栄町立天栄中学校長 佐浦 雅明

富岡町教育委員会学習アドバイザー

荒木 信彦

総評：福島県復興教育アドバイザー

貝ノ瀬 滋

**(3) 市町村事業**

ア 評価・検証委員会の実施

イ 地域学校協働活動事業の実施

8町村

## 2 放課後子ども教室事業

### (1) 目的

すべての児童を対象とし、地域の方々の参画を得て、様々な体験活動や交流活動を行う「放課後子ども教室」を設置し、放課後等の子どもたちの安全で健やかな居場所をつくる。

### (2) 県事業

○放課後子ども教室の実施

県立特別支援学校（3教室）

- ・福島県立聴覚支援学校福島校
- ・福島県立聴覚支援学校平校
- ・福島県立平支援学校

### (3) 市町村事業

ア 運営委員会の実施

イ 子ども教室の実施

38市町村 119教室実施

## 3 地域学校協働本部事業

### (1) 目的

地域人材や団体などの参画を得て、学校と地域が連携し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。

### (2) 市町村委託

18の市町村（福島市、桑折町、国見町、大玉村、本宮市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、田村市、三春町、西郷村、会津若松市、北塩原村、西会津町、大熊村、富岡町、檜葉町）に44の地域学校協働本部が設置され実施した。

### (3) 市町村補助

2町（柳津町、三島町）に2の地域学校協働本部が設置され実施した。

## 4 学校・家庭・地域連携サポート事業

### (1) 目的

未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭、地域住民等がそれぞれの役割と自覚し、地域全体で教育活動を支援する体制づくりを目指す。特に、震災後の子どもたちを取り巻く環境の変化に対応した要望に応えることのできる支援を行うことにより、教育環境の復興を加速させる。

### (2) 県事業

ア 放課後子ども教室地区別研修会 6箇所

県北地区

第1回 期日 平成29年8月3日（木）

会場 吾妻学習センター

参加者 47名

内容 講話・演習・情報交換

第2回 期日 平成29年10月13日（金）

会場 大玉村農村環境改善センター

参加者 45名

内容 講話・事例発表・実践参観

県中地区

期日 平成29年8月23日（水）

会場 たまかわ文化体育館

参加者 44名

内容 講演・実践発表・情報交換・実技研修

県南地区

期日 平成29年8月30日（水）

会場 白河市 新白信ビル

参加者 51名

内容 講演・グループ協議

会津地区

期日 平成29年7月12日（水）

会場 湯川村公民館

参加者 89名

内容 講演・実践発表・グループ協議

南会津地区

期日 平成29年8月24日（木）

会場 南会津町御蔵入交流館

参加者 34名

内容 講演・実技講習

相双地区

期日 平成29年12月13日（水）

会場 相馬市総合福祉センター「はまなす館」

参加者 42名

内容 講話

イ 学校支援実践研修会（本庁）

期日 平成29年6月6日（火）

場所 郡山市公会堂

内容

講演

「地域を巻き込んだアフタースクール」

特定非営利活動法人放課後 NPO アフタースクール

副代表理事 織畑 研

事例発表 I

「大玉村放課後子ども教室の取組について」

大玉村放課後子ども教室

コーディネーター 渡辺 ひとみ

事例発表 II

「北塩原村『学校の応援団』

～笑顔いきいきみんなで子育て～」

北塩原村学校支援地域本部

コーディネーター 酒井 美代子

グループ協議

「効果的な教育プログラムの実践に向けて」

地域の人材や素材を生かして！

参加者 126名

ウ 学校支援実践研修会各地区研修会（事務所）

県北地区

期日 平成29年11月27日（月）

場所 福島市松川学習センター

参加者 77名

県中地区  
 期 日 平成29年12月14日(木)  
 場 所 鏡石町図書館  
 参加者 56名  
 県南地区  
 期 日 平成29年11月15日(水)  
 場 所 新白信ビル(白河市)  
 参加者 40名  
 会津地区  
 期 日 平成29年10月19日(木)  
 場 所 会津若松市立湊小学校  
 参加者 31名  
 南会津地区  
 期 日 平成29年11月20日(月)  
 場 所 南会津町あたご館  
 参加者 52名  
 相双地区  
 期 日 平成29年11月29日(水)  
 場 所 富岡町文化交流センター「学びの森」  
 参加者 26名

第1回 平成29年5月25日(木)  
 杉妻会館  
 第2回 平成30年2月20日(火)  
 ふくしま中町会館六階 北会議室  
 イ 地域家庭教育推進各地区ブロック会議  
 各教育事務所域内(7箇所)  
 各地区2回実施(6月~1月)  
 ウ 家庭教育応援企業推進活動  
 連携企業数  
 県北地区 40社(128社)  
 県中地区 20社(195社)  
 県南地区 11社(28社)  
 会津地区 80社(145社)  
 南会津地区 6社(57社)  
 相双地区 8社(10社)  
 いわき地区 10社(30社)  
 計 175社(593社)※( )累計  
 エ 親子の学び応援講座  
 県北地区  
 本宮第二中学校区PTA 150名  
 平成29年6月24日(土)  
 「スマホ・SNS時代に育つ子どもたち」  
 ~保護者のできること・すべきこと~  
 茨城県メディア教育指導員連絡会 鈴木 慶子  
 川俣町PTA連絡協議会 70名  
 平成29年8月1日(火)  
 「メディアにむしばまれる子どもたち」  
 国立病院機構仙台医療センター 田澤 雄作  
 伊達地区PTA連絡協議会 250名  
 平成29年11月11日(土)  
 「子どもが危ない!スマホ社会」  
 ~知らなかったでは済まされない~  
 情報文化総合研究所・武蔵野大学教授 佐藤 佳弘  
 福島第三中学校区PTA 500名  
 平成29年11月24日(金)  
 「ImpossibleをI'm possibleへ(不可能を可能へ)」  
 日本ブラインドサッカー協会 加藤 健人  
 県中地区  
 三和小学校・三和小学校区幼稚園 104名  
 平成29年6月11日(日)  
 「福島子ども達を健康に導く運動プログラム  
 "BALLGAME"」  
 福島ファイアーボンズユースヘッドコーチ 安藤 太郎  
 福島ファイアーボンズ 堀 洋輔  
 国際ビジネス公務員大学校 堀越 啓子  
 国際ビジネス公務員大学校 国分 千恵  
 国際ビジネス公務員大学校 高階 裕美

## 5 東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業

### (1) 目的

災害記録の保存と県民への情報提供のため、関連資料の収集を行う。資料は館内での提供と貸出に加え、出張展示にも活用する。また、避難自治体の教育委員会と連携し学校等への移動図書館(あづま号)の巡回を実施し、資料の貸出による支援を行う。

### (2) 内容

ア 震災及び原発事故関連資料収集  
 資料収集件数 11,464件  
 イ 避難自治体支援  
 移動図書館(あづま号)による資料貸出  
 稼働18回 貸出2,747冊  
 (開催場所 飯舘村、楡葉町他 計18ヶ所)

## 第4節 家庭教育

### 1 地域でつながる家庭教育応援事業

#### (1) 目的

本県の家庭教育推進上の大きな課題である「親の学び」を支援するために、PTAと連携し、家庭教育について親自身が学ぶ機会が充実するよう支援する。また、各地域で主体的に家庭教育の支援が行えるよう学習プログラムを作成するとともに、家庭教育支援者をリードする人材を育成する。さらに、企業と連携し地域の家庭教育を推進する。

#### (2) 家庭教育応援プロジェクト

ア 福島県地域家庭教育推進協議会



|                                      |       |                       |       |
|--------------------------------------|-------|-----------------------|-------|
| 御木沢小学校区PTA                           | 148名  | 大塚製菓株式会社              | 野崎 石松 |
| 平成29年9月8日(金)                         |       | 喜多方第一小学校・第一こども園PTA    | 72名   |
| 「福島の子ども達を健康に導く運動プログラム<br>"BALLGAME"」 |       | 平成29年9月19日(火)         |       |
| バスケットボールジャパン代表取締役                    |       | 「子どもの数だけ子育てがある」       |       |
| 東 英樹                                 |       | 喜多方市家庭教育支援チーム”もも”代表   |       |
| 福島ファイアーボンズユースヘッドコーチ                  |       | 幸田 久美子                |       |
| 安藤 太郎                                |       | 湯川村PTA連絡協議会           | 63名   |
| 国際ビジネス公務員大学校                         | 堀越 啓子 | 平成29年10月23日(月)        |       |
| 国際ビジネス公務員大学校                         | 国分 千恵 | 「461個の弁当は、親父と息子の男の約束」 |       |
| 国際ビジネス公務員大学校                         | 高階 裕美 | ミュージシャン(猪苗代湖ズ) 渡辺 俊美  |       |
| 長沼幼稚園・小学校PTA                         | 129名  | 喜多方二中区PTA連絡協議会        | 437名  |
| 平成29年11月1日(水)                        |       | 平成29年10月25日(水)        |       |
| 「福島の子ども達を健康に導く運動プログラム<br>"BALLGAME"」 |       | 「未来に備えて 今からできること」     |       |
| 福島ファイアーボンズユースヘッドコーチ                  |       | グローバルキャリア代表取締役 的場 亮   |       |
| 安藤 太郎                                |       | 会津坂下町PTA連絡協議会         | 591名  |
| 国際ビジネス公務員大学校                         | 堀越 啓子 | 平成29年11月1日(水)         |       |
| 国際ビジネス公務員大学校                         | 国分 千恵 | 「人権がなければ生きていけない？」     |       |
| 県南地区                                 |       | ～いじめと人権を考える～          |       |
| 塙小学校・幼稚園                             | 97名   | 弁護士法人けやき法律事務所 武村 陽    |       |
| 平成29年5月12日(金)                        |       | 柳津町PTA連絡協議会           | 93名   |
| 「子どもに愛が伝わっていますか」                     |       | 平成29年11月22日(水)        |       |
| ～「聞く」「語る」心を通わすコミュニケーション～             |       | 「461個の弁当は、親父と息子の男の約束」 |       |
| 親業シニアインストラクター 大屋 弘子                  |       | ミュージシャン(猪苗代湖ズ) 渡辺 俊美  |       |
| 白河幼稚園・白河第五小父母と教師の会                   | 55名   | 南会津地区                 |       |
| 平成29年6月30日(金)                        |       | 下郷町小・中学校PTA           | 70名   |
| 「子どもに愛が伝わっていますか」                     |       | 平成29年6月10日(土)         |       |
| ～「聞く」「語る」心を通わすコミュニケーション～             |       | 「メディアの利便性と危険性」        |       |
| 親業シニアインストラクター 大屋 弘子                  |       | ～高度情報社会を生き抜くために～      |       |
| 三神小学校・幼稚園                            | 180名  | 実践女子大学 教授 駒谷 真美       |       |
| 平成29年9月9日(土)                         |       | 只見町小・中学校PTA           | 100名  |
| 「子どもに愛が伝わっていますか」                     |       | 平成29年7月 3日(月)         |       |
| ～「聞く」「語る」心を通わすコミュニケーション～             |       | 「ソーシャルメディアを考える」       |       |
| 親業シニアインストラクター 大屋 弘子                  |       | 茨城県メディア教育指導員連絡会       |       |
| 棚倉中学校PTA                             | 530名  | 会長 堤 千賀子              |       |
| 平成29年12月1日(金)                        |       | 南会津町内小中学校             | 70名   |
| 「パラリンピックから得たもの」                      |       | 平成29年7月 4日(火)         |       |
| リオデジャネイロパラリンピックボッチャ競技                |       | 「安心・安全なメディア活用のために」    |       |
| 日本代表コーチ 村上 光輝                        |       | ～携帯機器の怖さと対策～          |       |
| 関辺幼稚園・小学校PTA                         | 80名   | 株式会社スキット コモンアシストグループ  |       |
| 平成30年2月23日(金)                        |       | 梅北 勝夫                 |       |
| 「子どもに”愛”が伝わっていますか」                   |       | 舘岩小・中学校PTA            | 40名   |
| ～「聞く」「語る」心を通わすコミュニケーション～             |       | 平成29年7月 7日(金)         |       |
| 親業シニアインストラクター 大屋 弘子                  |       | 「メディアの利便性と危険性」        |       |
| 会津地区                                 |       | 国立病院機構仙台医療センター 田澤 雄作  |       |
| 北会津地区PTA連絡協議会                        | 134名  | 荒海小・中学校合同PTA          | 38名   |
| 平成29年7月 8日(土)                        |       | 平成29年10月5日(木)         |       |
| 「ともに考えよう 食育の大切さ」                     |       | 「メディアが子どもの生活に与える影響」   |       |
| ～からだは食べ物からつくられている～                   |       | 南会津教育事務所学校教育課         |       |
|                                      |       | 指導主事 伊藤 武徳            |       |

桜沢小・田島中学校合同PTA 120名  
平成29年10月22日(日)  
「メディアが子どもの生活に与える影響」  
株式会社スキット コモンアシストグループ  
梅北 勝夫

相双地区  
広野町立小・中学校PTA連合会 151名  
平成29年7月1日(土)  
「情報モラルの向上」～私たちにできること～  
双葉警察署 少年警察補導員 松本美智子  
双葉警察署 広野駐在所主任 三瓶 和紀

南相馬市小高区4小学校PTA 71名  
平成29年11月2日(木)  
「メディアにむしばまれる子どもたち」  
～笑顔のない・大人になれない子どもたち～  
国立病院機構仙台医療センター 田澤 雄作

いわき地区  
小名浜第二小学校連合PTA 282名  
平成29年11月28日(火)  
「情報モラルを学ぼう」  
いわき市立藤間中学校 教頭 高萩 雅人  
菊田小学校連合PTA 264名  
平成29年11月28日(火)  
「情報モラルを学ぼう」  
いわき市立藤間中学校 教頭 高萩 雅人

### (3) 家庭教育応援リーダー育成事業

家庭教育支援者の実践力向上と学習プログラムの開発

ア 家庭教育全県研修 132名  
期日 平成29年7月8日(土)  
場所 郡山市郡山ユラックス熱海  
内容 選択研修  
「発達障がい理解と支援」  
「家庭における食育の必要性」  
「子どもにとってメディアとは」  
全体講義 「こども食堂、白河発！」  
演習  
「現代における家庭教育講座の企画・運営の仕方」

イ フォローアップ研修

県北地区 37名  
期日 平成29年10月21日(土)  
場所 福島県青少年会館  
内容 講演「メディアとの上手なつきあい方」  
講師 実践女子大学 駒谷 真美  
東北福祉大学 高谷 隆男

県中地区 56名  
期日 平成30年1月24日(水)  
場所 須賀川アリーナ会議室  
内容 「平成29年度福島県の家庭教育関連事業」  
について

講演「ネット時代を生きる子どもたちへの対応」  
「子育ての現状とこどもたちへ対応」  
講師 聖心女子大学 榎本 竜二  
新潟県立大学 角張 慶子

県南地区 58名  
期日 平成29年11月27日(月)  
場所 新白信ビル  
内容 講演「パラリンピックから得たもの」  
「白河発 こども食堂」  
講師 (一社)日本ボッチャ協会 村上 光輝  
KAKECOMI代表 鴻巣麻里香

会津地区 76名  
期日 平成29年12月19日(火)  
場所 道の駅あいづ 湯川・会津坂下  
内容 講義「家庭教育支援の現状とこれから」  
事例発表  
「訪問型家庭教育支援の取組について」  
講義「食を通じた親子のコミュニケーション」  
講師 家庭教育インストラクター  
会津さざなみの会 佐藤 信寛  
佐藤 房枝

南会津地区 55名  
期日 平成29年10月30日(月)  
場所 御蔵入交流館  
内容 講演「子どもに愛が伝わっていますか」  
～『聞く』『語る』、心を通わすコミュニケーション～  
講師 親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子  
講演「子どもにとってメディアとは」  
講師 新地町教育委員会 山田 徹  
講演「461個の弁当は親父と息子の男の約束」  
講師 ミュージシャン(猪苗代湖庄) 渡辺 俊美

相双地区 20名  
期日 平成30年2月19日(月)  
場所 相馬市総合福祉センター「はまなす館」  
内容 講演「通っていますか、親の思いと子ども  
の気持ち ～『聞く』『語る』、心を通わす  
コミュニケーション～」  
講師 親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子  
実践発表  
「親業サークル”輝々”の活動について」  
講師 親業サークル”輝々”  
代表 今野登志子

いわき地区 22名  
期日 平成30年2月20日(火)  
場所 いわき合同庁舎

内容 講演「子どものこころを育む」褒め方・叱り方のコツ」  
講師 桜の聖母短期大学生涯学習センター  
講師 岡田 友子

|                     |      |
|---------------------|------|
| ・学習支援ボランティア登録人数     | 427名 |
| ・読書活動ボランティア登録人数     | 264名 |
| ・ノートテイクボランティア登録人数   | 2名   |
| ・外国出身者支援ボランティア登録人数  | 25名  |
| ・家庭教育支援ボランティア登録人数   | 205名 |
| ・病院訪問学習支援ボランティア登録人数 | 19名  |
| 計                   | 942名 |

## 第5節 青少年教育

### 1 体験活動・ボランティア推進センター事業

#### (1) 目的

青少年の社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育むため、学校内外を通じた体験活動やボランティア活動の機会の充実を図ることを目的に情報提供やコーディネート等を行う推進センターを県に設置し、市町村並びに市町村センターにおける体験活動・ボランティア活動の推進体制を支援する。

#### (2) 内容

ア 本部センターの設置

##### (ア) 構成

- ・センター長（社会教育課長）
- ・副センター長（社会教育課主幹）
- ・コーディネーター（社会教育主事兼指導主事）

##### (イ) 内容

- ・各種研修会に関する事
- ・連絡調整、情報収集、調査研究に関する事
- ・人材登録に関する事
- ・地域センターの統括、指導助言に関する事

イ 地域センターの設置

##### (ア) 構成

- ・センター長（教育事務所総務社会教育課長）
- ・コーディネーター（社会教育主事、指導主事）

##### (イ) 内容

- ・公民館及び学校の訪問指導に関する事
- ・連絡調整、情報収集、調査研究に関する事
- ・人材登録に関する事
- ・市町村センターとの連携に関する事

ウ 学校における推進体制の整備

##### (ア) 体験活動等推進委員会の開催

##### (イ) 体験活動等推進委員会主任（教頭又は社会教育主事有資格者等）の配置

エ 学習支援ボランティアの登録推進

##### (ア) 目的

青少年の体験活動の支援にあたるボランティアの登録を促進するとともに、学校内外における青少年の体験活動を支援することにより、地域の教育力の向上に寄与する。

##### (イ) 対象 ボランティアを推進する県民一般

##### (ウ) 内容

学習支援ボランティア、読書活動ボランティア、ノートテイクボランティア、外国出身者支援ボランティア、家庭教育支援ボランティア、病院訪問学習支援ボランティアの登録や活動を支援する。

### 2 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

#### (1) 目的

家庭や地域における人と人のかかわりの中で感じた思いや願いを十七音で表現することを通して、子どもの豊かな心を育成するとともに、人と人との絆を深め、家庭や地域の教育力の向上を目指す。

また、全国に避難している方からも作品を募集し「ふくしま」のことを考えるきっかけとする。

#### (2) 内容

- ア 応募期間 平成29年7月3日（金）～9月15日（金）
- イ 応募総数 42,575組
- ウ 最終審査会 平成29年12月15日（金）
- エ 審査員 和合 亮一（県立本宮高等学校教諭）  
佐々木孝司（新地町教育委員会教育長）  
室井 君男（県公立学校退職校長会副会長）  
黛 まどか（俳人）
- オ 表彰式及び応募者100万人突破記念式典  
平成30年1月13日（土）  
ホテル福島グリーンパレス
- カ 入賞数 絆部門・復興部門 最優秀賞各5組  
優秀賞各5組、佳作各10組  
100万人突破突破記念7組

#### (3) 広報・普及活動

##### ア 募集・応募

県内各幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校、特別支援学校、社会教育施設、教育事務所等にチラシ・応募用紙を配布した。また、社会教育課のホームページに掲載した。

##### イ 事後の広報

優秀作品を社会教育課のホームページに掲載したほか、ラジオ放送での紹介とYouTubeの動画配信にて紹介した。各教育事務所においては、域内の作品集を作成し、事業の普及に努めた。

## 第6節 成人教育

主に各関係団体の諸活動や研修会における指導助言や人的補助を行う。

## 第7節 子どもの読書活動推進

### 1 ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト

#### (1) 福島県子どもの読書活動推進会議

【第1回】平成29年7月20日（木）

杉妻会館3階鈴蘭

【第2回】平成29年2月7日（水）

福島県自治会館8階801会議室

#### ア 目的

第三次「福島県子ども読書活動推進計画」に沿って、読書活動推進に向けた取組等について協議・評価を行う。

#### イ 子ども読書推進会議委員

| 氏名    | 職業等              | 区分                 |
|-------|------------------|--------------------|
| 高野 保夫 | 国立大学法人福島大学名誉教授   | 学識経験者              |
| 高橋 照伸 | 福島県高等学校PTA連合会副会長 | 社会教育関係者            |
| 渡部 栄城 | 郡山市立柴宮小学校長       | 学校図書館関係者           |
| 坂内香代子 | 会津若松市立会津図書館長     | 公立図書館等関係者          |
| 矢吹 貴美 | 家庭教育インストラクター     | 家庭教育関係者            |
| 齋藤千江子 | 児童図書研究グループ「トトロ」  | 読書活動に係るボランティア団体関係者 |

#### (2) 読書活動支援者育成事業

- 【県北地区】 平成29年6月15日（木）  
国見町観月台文化センター 受講者38名  
平成29年6月23日（金）  
福島市松川学習センター 受講者48名  
平成29年7月6日（木）  
あだたらふるさとホール 受講者32名  
平成29年9月27日（水）  
福島県立図書館 受講者60名
- 【県中地区】 平成29年6月22日（木）  
郡山市労働福祉会館 受講者71名  
平成29年9月22日（金）  
郡山市労働福祉会館 受講者55名
- 【県南地区】 平成29年7月7日（金）  
棚倉町立図書館 受講者68名  
平成29年10月26日（木）  
白河市立図書館 受講者48名
- 【会津地区】 平成29年8月24日（木）  
会津大学 受講者67名  
平成29年9月19日（火）  
会津大学 受講者63名
- 【南会津地区】 平成29年6月29日（木）  
只見町朝日振興センター 受講者36名  
平成29年10月19日（木）  
南会津町御蔵入交流館 受講者33名

- 【相双地区】 平成29年9月9日（土）  
広野町公民館 受講者23名  
平成29年10月14日（土）  
南相馬市民文化会館「ゆめはっと」  
受講者25名

- 【いわき地区】 平成29年7月19日（水）  
いわき市生涯学習プラザ 受講者48名  
平成29年10月6日（金）  
いわき市文化センター 受講者57名

#### (3) 子どもの読書活動推進ネットワークフォーラム

##### 【第1回目】

期 日：平成29年9月30日（土）

場 所：郡山市立中央公民館 101名

##### 内 容

- 講演：「ことばの力～詩の世界から読書を考える～」  
詩人 和合 亮一
- シンポジウム：「生涯にわたる読書習慣の形成について」  
ふくしま学びのネットワーク理事・事務局長  
前川 直哉  
玉川村教育委員会教育長 鈴木 文雄  
安積黎明高等学校司書 鈴木 知基  
小野町ふるさと文化の館司書 籠田まき子  
福島こどものとも社代表取締役 上野 良一

##### 【第2回目】

期 日：平成29年11月21日（火）

場 所：福島県立博物館 99名

##### 内 容

- 講演：「科学の本から読書の魅力に迫る」  
科学読物研究会 坂口美佳子
- 事例発表：「博物館でも読み聞かせ」  
福島県立博物館主任学芸員 荒木 隆

##### 【第3回目】

期 日：平成29年12月14日（木）

場 所：パレスいわや 98名

##### 内 容

- 事例発表：「公共図書館と学校の連携のあり方」  
南相馬市立中央図書館専門司書 齋藤亜記子  
学区図書館支援員 加茂 秀子
- 事例発表：「学校司書の役割と可能性」  
福島県立磐城高等学校主任学校司書 成田 美紀
- 事例発表：「読書ボランティアのやりがい」  
福島市立図書館図書ボランティアの会代表  
中西 郁子
- 講演：「子どもと本との幸せな出会いのために」  
東京子ども図書館理事長 張替 恵子

#### (4) 情報発信プロジェクト「ビブリオバトル福島県大会」

期 日：平成29年11月11日（土）

場 所：郡山市立中央公民館・郡山市公会堂

参 加 者：発表者26名（中学生5名、高校生21名）  
観戦者296名

【中学生の部】  
 優勝 郡山市立緑ヶ丘中学校 七海 大輝  
 「深海魚のレシピ」平坂寛（他人書館）  
 準優勝 福島市立信陵中学校 一条 萌笑  
 「チェロの木」いせひでこ（偕成社）  
 第3位 伊達市立伊達中学校 西尾 彩希  
 「カラフル」森絵都（理論社）  
 白河市立表郷中学校 今井 彩菜  
 「ハリネズミの願い」トーンテレヘン（新潮社）

【高校生の部】  
 優勝 郡山北工業高等学校 川井 玲苑  
 「いたいなの、とんでゆけ」  
 三秋鍾（メディアワークス文庫）  
 準優勝 学校法人尚志学園尚志高等学校 坂本 萌絵  
 「たとえ明日、世界が減びても今日、僕はリングの  
 木を植える」瀧森古都（SBクリエイティブ）  
 第3位 福島県立四倉高等学校 鈴木 有香  
 「とりつくしま」東直子（筑摩書房）

敢闘賞 学校法人尚志学園尚志高等学校 岩本 莉子  
 「はてしない物語」ミヒヤエル・エンデ（岩波書店）  
 福島県立磐城高等学校 小林 桃香  
 「ケーキ王子の名推理」七月隆文（新潮社）  
 福島県立喜多方桐桜高等学校 小檜山帆波  
 「階段途中のビッグ・ノイズ」越谷オサム（幻冬舎）

#### (5) 子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト

ア 親子ふれあい読書フェスティバル「絵本はともだち」  
 期 日：平成29年7月2日（日）  
 場 所：喜多方市松山公民館 参加者60名  
 内 容：講演「おはなしかい いっしょにね」  
 幼児教育専門家 藤田 浩子  
 イ 親子ふれあい読書フェスティバル「本はともだち」  
 期 日：平成29年10月29日（土）  
 場 所：福島県男女共生センター 参加者31名  
 内 容：講演「おはなしや本の世界を楽しもう」  
 千葉県浦安市企画部 主査 伊藤 明美

## 第8節 ユネスコ活動

### 1 ユネスコ協会事務局一覧

| 協会名          | 会長名   | 事務局                             | 事務局長  | 設立年月日       |
|--------------|-------|---------------------------------|-------|-------------|
| 須賀川地方ユネスコ協会  | 岩田悦次郎 | 須賀川市教委文化・スポーツ課内<br>須賀川市牛袋町5     | 河村 朝子 | S46. 9. 13  |
| いわきユネスコ協会    | 松本 恒雄 | いわき市教委生涯学習課内<br>いわき市堂根町4-8      | 佐久間静子 | S51. 10. 23 |
| 郡山ユネスコ協会     | 過足 満雄 | 学校法人尚志学園高等学校内<br>郡山市大槻町字担ノ腰2    | 宗像 金三 | S53. 1. 24  |
| 白河ユネスコ協会     | 小野 利廣 | 白河市教委生涯学習スポーツ課内<br>白河市八幡小路7-1   | 根本 克己 | S53. 11. 19 |
| 福島ユネスコ協会     | 河田 亨  | 福島市中央学習センター内<br>福島市松木町1-7       | 阿部 隆  | S55. 7. 19  |
| 会津ユネスコ協会     | 吉田 幸代 | 会津若松市教委生涯学習センター内<br>会津若松市栄町3-50 | 石田 明夫 | S55. 11. 16 |
| 川俣ユネスコ協会     | 佐藤 好弘 | 川俣町教育委員会内<br>伊達郡川俣町字樋ノ口11       | 遠藤貴美子 | H16. 11. 26 |
| 郡山次世代ユネスコ協会  | 大本 研二 | 学校法人こおりやま東都学園本部気付<br>郡山市図景2-9-3 | 遠藤 典雄 | H28. 1. 16  |
| 福島県ユネスコ連絡協議会 | 河田 亨  | 福島市笹木野字中西表60-6<br>近野元洋宅         | 近野 元洋 | S56. 12. 5  |

### 2 福島県ユネスコ活動研修会

平成29年11月21日（火）須賀川市産業会館

参加者数 46名

テーマ 「若い力を育むユネスコ活動」

## 第9節 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業

### 1 内容

#### (1) 小・中学校自然体験・交流活動等支援事業

対象者：県内の小・中学校、特別支援学校小学部・中学部の児童生徒及び引率者等

対象期間：4月から3月末まで

実施内容：小・中学校や特別支援学校小学部・中学部が、教育課程等に位置付けられている各教科、特別活動などをよりよい環境（県内外）のもとで行う宿泊を伴う体験活動に宿泊費と活動費・交通費を補助する。

補助基準：①宿泊費 1人当たり1泊5千円上限13泊まで

②活動費・交通費 1人当たり1回2千円上限

#### (2) 幼稚園・保育所自然体験活動等支援事業

対象者：県内の幼稚園・保育所・認定こども園（認可外保育施設も含む）、特別支援学校幼稚部の幼児及び引率者等

対象期間：4月から3月末まで

実施内容：幼稚園・保育所・認定こども園や特別支援学校幼稚部が、年間計画等に位置付けられている園行事などをよりよい環境（県内外）のもとで行う日帰り及び宿泊を伴う体験活動に宿泊費と活動費・交通費を補助する。

補助基準：①宿泊費 1人当たり1泊5千円上限13泊まで

②活動費・交通費 1人当たり1回2千円上限

#### (3) 社会教育団体自然体験活動支援事業

対象者：県内の社会教育団体（子ども会、スポーツ少年団、PTA等）

対象期間：7月から8月末、12月から1月末

実施内容：社会教育団体（子ども会、スポーツ少年団、PTA等）が、よりよい環境（県内外）のもとで行う長期宿泊（6泊～）を伴う体験活動に宿泊費と活動費・交通費を補助する。

補助基準：①宿泊費 1人当たり1泊5千円上限13泊まで

②活動費・交通費 1人当たり1回2千円上限

#### (4) ふくしまっ子体験活動応援補助事業

対象者：県内の社会教育団体等（子ども会、スポーツ少年団、PTA、公民館等）

対象期間：7月から8月末、12月から1月末

実施内容：市町村や社会教育関係団体等が、よりよい環境（県内）のもとで体験活動や交流活動を実施する場合、宿泊費と交通費・体験活動費を補助する。

補助基準：①宿泊費 1人当たり1泊5千円上限5泊まで

②活動費・交通費 1人当たり1回2千円上限

### 2 実績

|                         |         |             |
|-------------------------|---------|-------------|
| (1) 小・中学校自然体験・交流活動等支援事業 | 件数：515件 | 参加者：26,486名 |
| (2) 幼稚園・保育所自然体験活動等支援事業  | 件数：464件 | 参加者：52,293名 |
| (3) 社会教育団体自然体験活動支援事業    | 件数：5件   | 参加者：87名     |
| (4) ふくしまっ子体験活動応援補助事業    | 件数：714件 | 参加者：16,888名 |

## 第10節 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

### 1 内容

事業1 避難者や被災者と交流して子どもたちが元気を発信する

事業2 風評被害などを経験した地域との交流を行い、地域の復興を考え他県等へ復興をアピールする

事業3 自分たちの専門性を生かして何ができるかを考え、実践することでふくしまを発信する

### 2 採択状況

応募団体 90団体

採択団体 84団体

補助金額 134,985千円

## 第11節 公民館等社会教育施設

### 1 公民館を除く主な社会教育施設

※震災により休館中の施設を含む

#### (1) 図書館の設置状況

##### ア 県立

| 名 称             | 所 在 地             | 電話番号         | 設置者  |
|-----------------|-------------------|--------------|------|
| 福島県立図書館         | 福島市森合字西養山1        | 024-535-3220 | 福島県  |
| イ 市町村立          |                   |              |      |
| 名 称             | 所 在 地             | 電話番号         | 設置者  |
| 福島市立図書館         | 福島市松木町1-1         | 024-531-6551 | 福島市  |
| 福島市西口ライブラリー     | 福島市三河南町1-20       | 024-525-4023 | 福島市  |
| 福島市子どもライブラリー    | 福島市早稲町1-1 (こむこむ内) | 024-526-4200 | 福島市  |
| 伊達市 教育部市立図書館    | 伊達市箱崎字川端7         | 024-551-2132 | 伊達市  |
| 二本松市立二本松図書館     | 二本松市本町1丁目102番地    | 0243-23-5082 | 二本松市 |
| 二本松市立岩代図書館      | 二本松市小浜字藤町242番地    | 0243-55-3255 | 二本松市 |
| しらさわ夢図書館        | 本宮市白岩字堤崎500       | 0243-44-2112 | 本宮市  |
| 郡山市中央図書館        | 郡山市麓山一丁目5-25      | 024-923-6601 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 田村分館   | 郡山市田村町岩作字穂多礼40-3  | 024-955-3842 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 喜久田分館  | 郡山市喜久田堀之内字下河原1    | 024-959-2205 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 緑ヶ丘分館  | 郡山市緑ヶ丘東三丁目1-21    | 024-944-0001 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 日和田分館  | 郡山市日和田町字小堰23-4    | 024-958-2352 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 三穂田分館  | 郡山市三穂田町字東屋敷6      | 024-953-2820 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 中田分館   | 郡山市中田町下枝字大平385    | 024-973-2951 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 西田分館   | 郡山市西田町三丁目桜内259    | 024-972-2807 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 大槻分館   | 郡山市大槻町字中前田56      | 024-951-1512 | 郡山市  |
| 郡山市希望ヶ丘図書館      | 郡山市希望ヶ丘1-5        | 024-961-1600 | 郡山市  |
| 郡山市安積図書館        | 郡山市安積一丁目38        | 024-946-8850 | 郡山市  |
| 郡山市富久山図書館       | 郡山市富久山町福原字泉崎181-1 | 024-921-0030 | 郡山市  |
| 須賀川市図書館         | 須賀川市八幡町134        | 0248-75-3309 | 須賀川市 |
| 須賀川市長沼図書館       | 須賀川市長沼字金町85       | 0248-67-2138 | 須賀川市 |
| 須賀川市岩瀬図書館       | 須賀川市柱田字中地前22番地    | 0248-65-3549 | 須賀川市 |
| 鏡石町図書館          | 鏡石町旭町440-6        | 0248-62-1288 | 鏡石町  |
| 古殿町図書館          | 古殿町松川字横川235       | 0247-53-2305 | 古殿町  |
| 三春町町民図書館        | 三春町字大町12-1        | 0247-62-3375 | 三春町  |
| 小野町ふるさと文化の館・図書館 | 小野町大字小野新町字中通2     | 0247-72-2120 | 小野町  |
| 田村市図書館          | 田村市船引町船引字扇田19     | 0247-82-1001 | 田村市  |
| 田村市図書館滝根分館      | 田村市滝根町神俣字町48-1    | 0247-78-2001 | 田村市  |
| 田村市図書館大越分館      | 田村市大越町上大越字元池87-5  | 0247-79-2161 | 田村市  |
| 田村市図書館常葉分館      | 田村市常葉町常葉字町裏1      | 0247-77-2013 | 田村市  |
| 田村市図書館都路分館      | 田村市都路町古道字本町33-4   | 0247-75-2063 | 田村市  |
| 白河市立図書館         | 白河市道場小路96-5       | 0248-23-3250 | 白河市  |
| 白河市立図書館表郷分館     | 白河市表郷金山字長者久保2     | 0248-32-4784 | 白河市  |
| 白河市東図書館         | 白河市東釜子字狐内47       | 0248-34-1130 | 白河市  |
| 白河市大信図書館        | 白河市大信町屋字沢田25      | 0248-46-3614 | 白河市  |
| 矢吹町図書館          | 矢吹町小松481          | 0248-44-3595 | 矢吹町  |

| 名 称              | 所 在 地                 | 電話番号         | 設置者   |
|------------------|-----------------------|--------------|-------|
| 泉崎図書館            | 泉崎村大字泉崎字館 2 4 - 9     | 0248-53-4779 | 泉崎村   |
| 棚倉町立図書館          | 棚倉町大字棚倉字棚倉字森町 2 1 - 1 | 0247-33-4342 | 棚倉町   |
| 塙町立図書館           | 塙町大字塙字栄町 6 8 - 6      | 0247-43-0808 | 塙町    |
| 矢祭もったいない図書館      | 矢祭町大字東館字石田 2 5        | 0247-46-4646 | 矢祭町   |
| 鮫川村図書館           | 鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作 1 2 8   | 0247-49-3151 | 鮫川村   |
| 会津若松市立会津図書館      | 会津若松市栄町 3 - 5 0       | 0242-22-4711 | 会津若松市 |
| 猪苗代町図書館歴史情報館     | 猪苗代町字古城町 1 3 2 - 7    |              | 猪苗代町  |
| 喜多方市立図書館         | 喜多方市字柳原 7 5 0 3 - 1   | 0241-22-1855 | 喜多方市  |
| 南会津町図書館          | 南会津町田島字宮本東 2 2        | 0241-62-5522 | 南会津町  |
| 相馬市図書館           | 相馬市中村字塚ノ町 6 5 - 1 6   | 0244-37-2630 | 相馬市   |
| 新地町図書館           | 新地町谷地小屋字樋掛田 4 0 - 1   | 0244-62-5031 | 新地町   |
| 南相馬市立中央図書館       | 南相馬市原町区朝日町二丁目 7 - 1   | 0244-23-7789 | 南相馬市  |
| 南相馬市立鹿島図書館       | 南相馬市鹿島区寺内字迎田 2 2 - 1  | 0244-46-5116 | 南相馬市  |
| 南相馬市立小高図書館 (休館中) | 南相馬市小高区本町二丁目 8 9 - 1  | 0244-44-3049 | 南相馬市  |
| 浪江町図書館 (休館中)     | 浪江町権現堂字矢沢町 6 - 1      | 0240-34-5024 | 浪江町   |
| 双葉町図書館 (休館中)     | 双葉町大字長塚字鬼木 1          | 0240-33-4214 | 双葉町   |
| 大熊町図書館 (休館中)     | 大熊町大字下野上字大野 6 6 9 - 3 | 0240-32-3011 | 大熊町   |
| 富岡町図書館 (休館中)     | 富岡町大字本岡字王塚 6 2 2 - 1  | 0240-21-3665 | 富岡町   |
| いわき市立総合図書館       | いわき市平字田町 1 2 0        | 0246-22-5552 | いわき市  |
| いわき市立内郷図書館       | いわき市内郷綴町榎下 4 0 - 1    | 0246-45-1030 | いわき市  |
| いわき市立小名浜図書館      | いわき市小名浜字愛宕上 7 - 2     | 0246-54-9257 | いわき市  |
| いわき市立常磐図書館       | いわき市常磐関船町作田 1         | 0246-44-6218 | いわき市  |
| いわき市立勿来図書館       | いわき市植田町南町 1 丁目 2 - 2  | 0246-62-7431 | いわき市  |
| いわき市立四倉図書館       | いわき市四倉町字東一丁目 5 0      | 0246-32-5980 | いわき市  |

#### ウ 法人

| 名 称        | 所 在 地                | 電話番号         | 設置者    |
|------------|----------------------|--------------|--------|
| クローバー子供図書館 | 郡山市開成 6 丁目 3 4 6 - 1 | 024-932-2118 | 財金森和心会 |

## (2) 博物館の設置状況

### ア 登録博物館及び相当施設

| 名 称                  | 所 在 地                | 電話番号         | 設置者            | 種別    | 登録・指定年月日     |
|----------------------|----------------------|--------------|----------------|-------|--------------|
| 福島県立美術館              | 福島市森合字西養山 1          | 024-531-5511 | 福島県            | 美術博物館 | 59. 7. 16    |
| 福島県立博物館              | 会津若松市城東町 1-25 号      | 0242-28-6000 | 福島県            | 総合博物館 | 61. 11. 28   |
| 須賀川市立博物館             | 須賀川市池上町 6            | 0248-75-3239 | 須賀川市           | 歴史博物館 | 46. 7. 10    |
| いわき市立美術館             | いわき市平字堂根町 4-4        | 0246-25-1111 | いわき市           | 美術博物館 | 59. 9. 3     |
| 郡山市立美術館              | 郡山市安原町字大谷地 130-2     | 024-956-2200 | 郡山市            | 美術博物館 | 平 5. 1. 20   |
| 南相馬市博物館              | 南相馬市原町区牛来字出口 194     | 0244-23-6421 | 南相馬市           | 総合博物館 | 平 8. 5. 9    |
| 野口英世記念館              | 猪苗代町大字三ツ和字前田 81      | 0242-85-7867 | (公財)野口英世記念会    | 歴史博物館 | 29. 10. 21   |
| 会津民俗館                | 猪苗代町大字三ツ和字前田 33-1    | 0242-65-2600 | 会津民俗館          | 歴史博物館 | 55. 10. 3    |
| 白虎隊記念館               | 会津若松市一箕町大字八幡字弁天下 33  | 0242-24-9170 | (一財)白虎隊記念館     | 歴史博物館 | 63. 6. 30    |
| 奥会津博物館               | 南会津町糸沢字西沢山 3692-20   | 0241-66-3077 | 南会津町           | 歴史博物館 | 平 21. 6. 16  |
| 諸橋近代美術館              | 北塩原村大字桧原字剣ヶ峰 1093-23 | 0241-37-1088 | (公財)諸橋近代美術館    | 美術博物館 | 平 11. 8. 17  |
| 藤田記念博物館 (休館中)        | 白河市五郎窪 37-1          | 0248-24-1780 | (公財)藤田教育振興会    | 美術博物館 | 54. 9. 1     |
| CCGA 現代グラフィックアートセンター | 須賀川市塩田宮田 1           | 0248-79-4811 | (公財)DNP 文化振興財団 |       | 平 25. 12. 25 |



イ 博物館相当施設

| 名 称           | 所 在 地               | 電話番号         | 設置者          | 種別      | 登録・指定年月日   |
|---------------|---------------------|--------------|--------------|---------|------------|
| やないづ町立齋藤清美術館  | 柳津町柳津字下平乙 187       | 0241-42-3630 | 柳津町          | 美術博物館   | 平 11.9.28  |
| 龍が城美術館（休館中）   | いわき市平字旧城跡 27-1      | 0246-22-1601 | （一財）白龍会      | 美術博物館   | 30.2.10    |
| 会津武家屋敷会津歴史資料館 | 会津若松市東山町大字石山字院内 1   | 0242-28-2525 | （株）会津武家      | 屋敷歴史博物館 | 56.11.25   |
| 安積歴史博物館       | 郡山市開成 5-25-63       | 024-938-0778 | （公財）安積歴史博物館  | 歴史博物館   | 59.9.8     |
| 磐梯山噴火記念館      | 北塩原村桧原字剣ヶ峰 1093-36  | 0241-32-2888 | （株）ワールドハウス目黒 | 科学博物館   | 平 5.7.1    |
| 会津藩校日新館       | 会津若松市河東町南高野字高塚山10番地 | 0242-75-2525 | （株）会津武家屋敷    | 歴史博物館   | 平 12.11.28 |
| はじまりの美術館      | 猪苗代町新町 4873         | 0242-62-3454 | （社福）安積愛育園    | 歴史博物館   | 平 28.12.6  |

ウ 類似施設

| 名 称                 | 所 在 地                      | 電話番号         | 設置者  |
|---------------------|----------------------------|--------------|------|
| ふくしま海洋科学館           | いわき市小名浜字辰巳町 5 0            | 0246-73-2525 | 福島県  |
| 福島県文化財センター白河館       | 白河市白坂一里段 8 6               | 0248-21-0700 | 福島県  |
| 福島県歴史資料館            | 福島市春日町 5 - 5 4             | 024-534-9195 | 福島県  |
| ふれあい歴史館（福島市資料展示室）   | 福島市上町 3 9 - 1              | 024-563-7855 | 福島市  |
| 福島市民家園              | 福島市上名倉字大石前地内               | 024-593-5249 | 福島市  |
| 福島市古関裕而記念館          | 福島市入江町 1 - 1               | 024-531-3012 | 福島市  |
| 福島市写真美術館            | 福島市森合町 1 1 - 3 6           | 024-523-1202 | 福島市  |
| U F Oふれあい館          | 福島市飯野町大字青木字小手神森 1-299      | 024-562-2002 | 福島市  |
| 民俗資料展示室             | 福島市飯野町大字明治字北小戸明利 6 0       | 024-525-3785 | 福島市  |
| 羽山の森美術館             | 伊達郡川俣町大字西福沢字山柁内 2 0        | 024-566-3367 | 川俣町  |
| 伊達市梁川美術館            | 伊達市梁川町字中町 1 0              | 024-527-2656 | 伊達市  |
| 伊達市保原歴史文化資料館        | 伊達市保原町大泉字宮脇 2 6 5          | 024-575-1615 | 伊達市  |
| 霊山子どもの村遊びと学びのミュージアム | 伊達市霊山町石田字宝司沢 9 - 1         | 024-589-2211 | 伊達市  |
| 二本松市歴史資料館           | 二本松市本町 1 - 1 0 2           | 0243-23-3910 | 二本松市 |
| 二本松市智恵子記念館          | 二本松市油井字漆原町 3 6             | 0243-22-6151 | 二本松市 |
| 二本松市大山忠作美術館         | 二本松市本町 2 - 3 - 1           | 0243-24-1217 | 二本松市 |
| あだたらふるさとホール         | 大玉村玉井字西庵 1 8 3             | 0243-48-2569 | 大玉村  |
| 本宮市歴史民俗資料館          | 本宮市字南町裡 1 3 0              | 0243-33-2546 | 本宮市  |
| 本宮市白沢ふれあい文化ホール      | 本宮市白岩字堤崎 4 9 4 - 4 4       | 0243-44-3185 | 本宮市  |
| 郡山市開成館              | 郡山市開成 3 - 3 - 7            | 024-923-2157 | 郡山市  |
| 郡山市歴史資料館            | 郡山市麓山 1 - 8 - 3            | 024-932-5306 | 郡山市  |
| 郡山市こおりやま文学の森資料館     | 郡山市豊田町 3 - 5               | 024-991-7610 | 郡山市  |
| 郡山市ふれあい科学館          | 郡山市駅前 2-11-1 ビッグアイ 20F～24F | 024-936-0201 | 郡山市  |
| 須賀川市歴史民俗資料館         | 須賀川市長沼字門口 1 8 6            | 0248-67-2030 | 須賀川市 |
| 古殿町郷土文化保存伝習施設       | 古殿町大字松川字横川 2 3 5           | 0247-53-2305 | 古殿町  |
| 天栄村ふるさと文化伝承館        | 天栄村大字大里字八石 1 - 2           | 0248-81-1030 | 天栄村  |
| 石川町歴史民俗資料館          | 石川町字高田 2 0 0 - 2           | 0247-26-3768 | 石川町  |
| 浅川町歴史民俗資料館          | 浅川町大字浅川字背戸谷地 1 4 4 - 6     | 0247-36-2134 | 浅川町  |
| 吉田富三記念館             | 浅川町大字袖山字森下 2 8 7           | 0247-36-4129 | 財団法人 |
| 三春町歴史民俗資料館          | 三春町字桜谷 5                   | 0247-62-5263 | 三春町  |
| 三春郷土人形館             | 三春町字大町 3 0                 | 0247-62-7053 | 三春町  |
| 小野町ふるさと文化の館・郷土資料館   | 小野町大字小野新町字中通 2             | 0247-72-2120 | 小野町  |
| 田村市歴史民俗資料館          | 田村市船引町船引字四城内前 1 9 6 番地     |              | 田村市  |

| 名 称                | 所 在 地               | 電話番号         | 設置者   |
|--------------------|---------------------|--------------|-------|
| 白河市歴史民俗資料館         | 白河市中田 7-1           | 0248-27-2310 | 白河市   |
| 白河集古苑              | 白河市郭内 1-73          | 0248-24-5050 | 白河市   |
| 中山義秀記念文学館          | 白河市大信町屋字沢田 25       | 0248-46-3614 | 白河市   |
| 白河市大信ふるさと文化伝承館     | 白河市大信町屋字沢田 25       | 0248-46-3614 | 白河市   |
| 泉崎資料館              | 泉崎村大字泉崎字館 24-9      | 0248-54-1533 | 泉崎村   |
| あぶくま高原美術館          | 塙町大字那倉字吉元 86-1      | 0247-42-2510 | 塙町    |
| 矢祭町歴史民俗資料館         | 矢祭町大字東館字石田 25       |              | 矢祭町   |
| 国指定名勝会津松平氏庭園       | 会津若松市花春町 8-1        | 0242-27-2472 | 会津若松市 |
| 若松城天守閣             | 会津若松市追手町 1-1        | 0242-27-4005 | 会津若松市 |
| 茶室麟閣               | 会津若松市追手町 1-1        | 0242-27-4005 | 会津若松市 |
| 会津町方伝承館            | 会津若松市大町 2-8-8       | 0242-22-8686 | 会津若松市 |
| アクアマリンいなわしろカワセミ水族館 | 猪苗代町大字長田字東中丸 344-4  | 0242-65-2481 | 猪苗代町  |
| 喜多方市郷土民俗館          | 喜多方市柳原 7503-1       | 0241-24-3821 | 喜多方市  |
| 喜多方蔵の里             | 喜多方市字押切 2丁目 109     | 0241-22-6592 | 喜多方市  |
| 喜多方市美術館            | 喜多方市押切 2丁目 2        | 0241-23-0404 | 喜多方市  |
| 喜多方市カイギョウランドたかさど   | 喜多方市高郷町西羽賀字和尚堂 3163 | 0241-44-2924 | 喜多方市  |
| 喜多方市高郷郷土資料館        | 喜多方市高郷町上郷字天神後戊 417  | 0241-44-2765 | 喜多方市  |
| 会津坂下町五浪美術記念館       | 会津坂下町字台ノ下 842       | 0242-84-1233 | 会津坂下町 |
| ほっと in やないづ縄文館     | 柳津町大字柳津字下平乙 151-1   | 0241-41-1077 | 柳津町   |
| 会津美里町民俗資料館         | 会津美里町米田字堂ノ後甲 149    | 0242-54-2368 | 会津美里町 |
| 三島町交流センター山びこ       | 三島町名入字諏訪ノ上 418      | 0241-52-2165 | 三島町   |
| からむし工芸博物館          | 昭和村大字佐倉字上ノ原 1       | 0241-58-1677 | 昭和町   |
| 旧南会津郡役所            | 南会津町田島字丸山甲 4681     | 0241-62-3848 | 南会津町  |
| 久川城資料館             | 南会津町青柳字久川 23        | 0241-76-2191 | 南会津町  |
| 奥会津民俗館 南郷館         | 南会津町界字川久保 552       | 0241-73-2829 | 南会津町  |
| 奥会津民族館 館岩館         | 南会津町松戸原 55          | 0241-78-2110 | 南会津町  |
| 奥会津民族館 伊南館         | 南会津町青柳字久川 24        |              | 南会津町  |
| 檜枝岐村歴史民俗資料館        | 檜枝岐村字下ノ原 887-2      | 0241-75-2342 | 檜枝岐村  |
| 会津只見考古館            | 只見町大字大倉字窪田 33       | 0241-86-2175 | 只見町   |
| 只見町ブナセンター          | 只見町字町下 2590         | 0241-72-8355 | 只見町   |
| 河井継之助記念館           | 只見町大字塩沢字上ノ台 850-5   | 0241-82-2870 | 只見町   |
| 相馬市歴史民俗資料館         | 相馬市中村字大手先 13        | 0244-37-2191 | 相馬市   |
| 鹿島歴史民俗資料館 (廃止)     | 南相馬市鹿島区西町 3-1       | 0244-46-4281 | 南相馬市  |
| 埴谷島尾記念文学資料館 (休館中)  | 南相馬市小高区本町 2-89-1    | 0244-44-3049 | 南相馬市  |
| 葛尾村郷土文化保存伝習館       | 葛尾村落合字落合 11         | 0240-29-2008 | 葛尾村   |
| 双葉町歴史民俗資料館 (休館中)   | 双葉町大字新山字本町 27-1     | 0240-33-4763 | 双葉町   |
| 大熊町民俗伝承館 (休館中)     | 大熊町大字下野上字大野 669-3   | 0240-32-3011 | 大熊町   |
| 富岡町歴史民俗資料館 (休館中)   | 富岡町大字本岡字王塚 622-1    | 0240-22-2626 | 富岡町   |
| 檜葉町歴史資料館 (休館中)     | 檜葉町大字北田字鐘突堂 5-4     | 0240-25-2492 | 檜葉町   |
| いわき市石炭・化石館         | いわき市常磐湯本町向田 3-1     | 0246-42-3155 | いわき市  |
| いわき市勿来関文学歴史館       | いわき市勿来関町田長沢 6-1     | 0246-65-6166 | 財団法人  |
| いわき市アンモナイトセンター     | いわき市大久町大久字鶴房 147-2  | 0246-82-4561 | いわき市  |
| いわき市考古資料館          | いわき市常磐湯本町手這 50-1    | 0246-43-0391 | いわき市  |

| 名 称                 | 所 在 地                 | 電話番号         | 設置者  |
|---------------------|-----------------------|--------------|------|
| いわき市立草野心平記念文学館      | いわき市小川町高萩字下夕道 1-3-9   | 0246-83-0005 | いわき市 |
| いわき市草野心平生家          | いわき市小川町上小川字植ノ内 6-1    | 0246-83-0005 | いわき市 |
| いわき市暮らしの伝承郷         | いわき市鹿島町下矢田字散野 1-4-1-6 | 0246-29-2230 | いわき市 |
| 原郷のこけし群西田記念館        | 福島市荒井字横塚 3-1-8-3      | 024-593-0639 | 財団法人 |
| 種徳美術館               | 桑折町字陣屋 1-2            | 024-582-5507 | 桑折町  |
| 東北サファリパーク           | 二本松市沢松倉 1             | 0243-24-2336 | 株式会社 |
| デコ屋敷資料館             | 郡山市西田町高柴字福内 4-1       | 024-971-3900 | 私人   |
| ふくしまの森科学体験センター      | 須賀川市虹の台 1-0-0         | 0248-89-1120 | 財団法人 |
| (有)大桑原つつじ園          | 須賀川市大桑原字竹ノ花 1-3       | 0248-76-5857 | 有限会社 |
| (株)エイトファーム三春ハーブガーデン | 三春町大字斉藤字仁井道 1-2-6     | 024-942-1138 | 株式会社 |
| リカちゃんキャッスル          | 小野町小野新町中通 5-1-3       | 0247-72-6364 | 株式会社 |
| 白河フラワーワールド          | 白河市南湖 5-9             | 0248-23-2100 | 私人   |
| 南湖神社宝物館             | 白河市字菅生館 2             | 0248-23-3015 | 私人   |
| 木の博物館               | 塙町大字伊香字松原 1-6-0-1-3   | 0247-43-1480 | 有限会社 |
| 會津宮泉酒造(旧会津酒造歴史館)    | 会津若松市東栄町 8-7          | 0242-26-0031 | 株式会社 |
| 会津葵シルクロード文明館        | 会津若松市追手町 4-6          | 0242-27-1001 | 株式会社 |
| (社)福島県伝統産業会館        | 会津若松市大町 1-7-3         | 0242-24-5757 | 社団法人 |
| 大和川酒造北方風土館          | 喜多方市字寺町 4-7-6-1       | 0241-22-2233 | 私人   |
| 喜多方蔵品美術館            | 喜多方市梅竹 7-2-9-4-4      | 0241-24-3576 | 私人   |
| うるし美術博物館            | 喜多方市字東町 4-0-9-5       | 0241-24-4151 | 株式会社 |
| 御蔵入細井家資料館           | 南会津町静川字風下甲 1-7-5      | 0241-62-0906 | 私人   |
| 福島さくら遊学舎            | 三春町大字鷹巣字瀬山 2-1-3      | 0247-61-6345 | 株式会社 |

### (3) 青少年教育関係施設の設置状況

#### ア 県設置

| 名 称          | 所 在 地                    | 電話番号         | 設置者 |
|--------------|--------------------------|--------------|-----|
| 福島県郡山自然の家    | 郡山市逢瀬町多田野字中丸山 4-6        | 024-957-2111 | 福島県 |
| 福島県会津自然の家    | 会津坂下町大字八日沢字西東山 4-4-9-5-1 | 0242-83-2480 | 福島県 |
| 福島県いわき海浜自然の家 | いわき市久之浜町田之網字向山 5-3       | 0246-32-7700 | 福島県 |

#### イ 教育施設

| 名 称           | 所 在 地              | 電話番号         | 設置者   |
|---------------|--------------------|--------------|-------|
| 国立那須甲子青少年自然の家 | 西郷村大字真船字村火 6-1     | 0248-36-2331 | 文部科学省 |
| 国立磐梯青少年交流の家   | 猪苗代町字五輪原 7-1-3-6-1 | 0242-62-2530 | 文部科学省 |
| 市町村(条例)設置     | ※25施設(別掲)          |              |       |
| 他県設置等         | ※8施設(別掲)           |              |       |

#### 《市町村(条例)設置25施設》

| 名 称                | 所 在 地             | 電話番号         | 設置者    |
|--------------------|-------------------|--------------|--------|
| 福島県青少年会館           | 福島市黒岩字田部屋 5-3-5   | 024-546-8311 | 公益財団法人 |
| 福島市社会教育会館「こぶし荘」    | 福島市庭坂字砥石山 4-0-1-3 | 024-591-3366 | 福島市    |
| 福島市社会教育会館「立子山自然の家」 | 福島市立子山字金井作 1      | 024-597-2951 | 福島市    |
| 福島市子どもの夢を育む施設      | 福島市早稲町 1-1        | 024-524-3131 | 福島市    |
| 霊山子どもの村キャンプ場       | 伊達市霊山町石田字宝司沢 9-1  | 024-589-2211 | 伊達市    |
| 二本松市青年の家           | 二本松市榎戸 1-9-2      | 0243-23-5121 | 二本松市   |
| 二本松市二本松勤労青少年ホーム    | 二本松市榎戸 1-9-2      | 0243-23-5121 | 二本松市   |

| 名 称             | 所 在 地               | 電話番号         | 設置者   |
|-----------------|---------------------|--------------|-------|
| 二本松市安達勤労青少年ホーム  | 二本松市油井字濡石 3-1       | 0243-23-3721 | 二本松市  |
| 本宮市勤労青少年ホーム     | 本宮市字矢来 3-9-1        | 0243-33-2611 | 本宮市   |
| 郡山市青少年会館        | 郡山市大槻町字漆棒 8-2       | 024-961-8282 | 郡山市   |
| 郡山市少年湖畔の村       | 郡山市湖南町横沢字村西 1-1-2   | 024-982-2115 | 郡山市   |
| 郡山勤労青少年ホーム      | 郡山市麓山 1-丁目 8-4      | 024-932-3027 | 郡山市   |
| 須賀川市市民の森        | 須賀川市塩田音森 2-0        |              | 須賀川市  |
| 須賀川市勤労青少年ホーム    | 須賀川市和田字柏崎 4-4       | 0248-63-2154 | 須賀川市  |
| 小野町勤労青少年ホーム     | 小野町大字小野新町字中道 2      | 0247-72-2125 | 小野町   |
| 石川町勤労青少年ホーム     | 石川郡石川町字当町 4-1-8番地の1 |              | 石川町   |
| 矢祭山友情の森         | 矢祭町山下字下河原 1-1       | 0247-46-2162 | 矢祭町   |
| 会津若松市勤労青少年ホーム   | 会津若松市城東町 1-4-5-2    | 0242-26-6662 | 会津若松市 |
| 会津若松市少年の家       | 会津若松市城東町 1-5-6-2    |              | 会津若松市 |
| 喜多方市勤労青少年ホーム    | 喜多方市舞台田 3-1-1-9-1   | 0241-22-1403 | 喜多方市  |
| 喜多方市勤労青少年体育センター | 喜多方市舞台田 3-1-1-9-1   | 0241-22-1403 | 喜多方市  |
| びわ沢原森林公園        | 猪苗代町字琵琶沢原 7-0-9-5   | 0242-62-3291 | 猪苗代町  |
| LVMH 子どもアート・メゾン | 相馬市中村 2-丁目 2-1-5    | 0244-26-7415 | 相馬市   |
| 新地町勤労青少年ホーム     | 新地町大字福田字中里 1-5-1    | 0244-62-3106 | 新地町   |
| 富岡町合宿センター（休館中）  | 富岡町小浜 3-4-3         | 0240-22-7000 | 富岡町   |

参考 ※いわき市生涯学習プラザ いわき市平字一丁目1番地ティールワンビル4・5階

※財団法人福島県産業振興センター産業交流館（ビッグパレットふくしま） 郡山市安積町日出山字北千保 1-9-8

#### 《他県設置等8施設》

| 名 称              | 所 在 地                      | 電話番号         | 設置者   |
|------------------|----------------------------|--------------|-------|
| 小野田自然塾           | 埴町大字片貝字長久木 3-6-3           | 0247-42-2311 | 財団法人  |
| 越谷市立あだたら高原少年自然の家 | 二本松市永田字長坂国有林 1-4林班         | 0243-24-2561 | 越谷市   |
| 羽生市立あだたら高原少年自然の家 | 二本松市永田字長坂国有林 1-4林班         | 0243-24-2859 | 羽生市   |
| 葛飾区立あだたら高原少年自然の家 | 二本松市永田字長坂国有林 1-4林班         | 0243-24-2206 | 葛飾区   |
| 中野区常葉少年自然の家      | 田村市常葉町山根字鰯 5-2-9           | 0247-77-2098 | 中野区   |
| 朝霞私立猪苗代湖自然の家     | 会津若松市湊町赤井戸の口 5-3           | 0242-94-2434 | 朝霞市   |
| さいたま市立館岩少年自然の家   | 南会津町宮里字向山 2-8-4-7-1        | 0241-78-2311 | さいたま市 |
| SYDばんだいふれあいびあ    | 北塩原村桧原字南黄連沢山 1-1-5-7-1-9-2 | 0241-33-2335 | 財団法人  |

## 2 文化施設の整備充実

### (1) 県立美術館の整備充実

移動展等を開催するとともに、美術作品の収集と作品・作家等に関する調査研究を計画的に推進したほか、教育普及活動に努め、本県美術振興の中心的施設として機能の充実に努めた。

### (2) 県立博物館の整備充実

展示資料の収集・整備に努め、調査研究を計画的に推進し、常設展・企画展等の充実を図るとともに教育普及のための各種事業を行い、県内博物館の中心的施設として機能の充実に努めた。

### (3) 県文化財センター白河館（まほろん）

文化財の収蔵と被災した地域の文化財等の公開・活用及び埋蔵文化財担当職員等の研修を図り、文化財に親しみ、文化財への理解を深める施設として機能の充実に努めた。

## 第12節 福島県立図書館

### 1 概要

福島県立図書館は、平成17年10月に策定した『福島県立図書館「学びの環境づくり」』に基づき、県民の生涯にわたる多様な学習活動に応えるため、資料及び情報の計画的な収集を図るとともに市町村立図書館等との連携のもとに効果的な図書館活動の展開に努め、県民文化の向上に寄与することを目的とした事業を行っている。

さらに、平成25年度に策定した『福島県立図書館アクションプラン（第2次）』（平成25年度～29年度）の4つの方針・9つの行動に基づき読書環境、学習環境の整備やサービスの充実にも取り組んでいる。また、『福島県立図書館アクションプラン（第3次）』（平成30年度～32年度）を平成30年3月に策定し、公表した。

併せて、平成27年2月に策定された「第三次福島県子ども読書活動推進計画」（平成27年度～31年度）に基づき、計画実現のための事業推進にも取り組んでいる。

#### 『福島県立図書館アクションプラン（第2次）』

##### 4つの方針・9つの行動

#### I 東日本大震災等により失われた読書環境、学習環境を取り戻します。

- 1 東日本大震災等の記録をのこします。
- 2 支援体制の基盤を整備します。
- 3 読書環境、学習環境の整備を通じて「ふるさと再生」を支援します。

#### II 県民一人ひとりのお役に立てるよう図書館環境を整えます。

- 1 県民が必要とする情報を提供します。
- 2 県民が利用しやすい環境を整備します。
- 3 県民と共に歩む図書館を目指します。

#### III 福島県の子どもの読書活動を推進します。

- 1 「第二次福島県子ども読書活動推進計画」に基づき、県立図書館の役割を果たします。※現「第三次」

#### IV 「図書館の図書館」として、図書館の振興を図ります。

- 1 図書館・公民館の活動を支援します。
- 2 高等教育機関、文化施設等関係機関との連携を図ります。

#### (1) 図書館協議会

##### 会議

第一回 11月14日 於：県立図書館

- ・会長・副会長の選出
- ・図書館利用実績について
- ・「福島県立図書館アクションプラン（第3次）」の策定について

第二回 2月22日 於：県立図書館

- ・東日本大震災復興ライブラリーの貸出状況について
- ・個人貸出の状況について
- ・「福島県立図書館アクションプラン（第3次）」案について

#### 図書館協議会委員名※所属団体等は就任時現在

[任期:平成29年10月21日～平成31年10月20日]

| 区分     | 氏名    | 所属団体等（主な役職名等）                 |
|--------|-------|-------------------------------|
| 学識経験者  | 佐藤 佐敏 | 福島大学人間発達文化学類（教授）              |
|        | 三瓶千香子 | 桜の聖母短期大学キャリア教養学科（准教授）         |
|        | 佐藤 克也 | 株式会社福島民報社（編集局 文化部長）           |
|        | 菊池 克彦 | 福島民友新聞社株式会社（編集局長）             |
|        | 東山 京子 | 公募                            |
| 家庭教育   | 金澤 一成 | 公募                            |
|        | 矢吹 貴美 | 福島県家庭教育インストラクター連絡協議会          |
| 社会教育   | 宮崎 亜古 | 福島県公共図書館協会<br>（田村市図書館長）       |
| 学校教育関係 | 佐藤 秀美 | 福島県高等学校校長協会<br>（福島県立相馬東高等学校長） |
|        | 吉田ひとみ | 福島県中学校長会<br>（磐梯町立磐梯中学校長）      |

（会長）佐藤 佐敏 （副会長）佐藤 秀美

### 2 資料の収集・整理

「福島県立図書館資料収集基本要綱」及び「福島県立図書館アクションプラン（第2次）」を踏まえ、県民からの資料要求に対応するために、各分野の基本資料を収集し迅速な整理に努めた。また、平成24年度に開設した「東日本大震災福島県復興ライブラリー」の整備充実を継続して行った。

#### (1) 図書館資料の収集

##### ア 一般資料の収集

新刊・既刊を問わず、資料的価値や利用的価値の高い資料の収集を行った。官公庁刊行物は主要なものを収集、年鑑白書や叢書等の継続資料については厳選し計画的な収集に努めた。文学作品は、受賞作品・候補作品や書評等で評価の高い作品を収集した。重点収集として、東日本大震災に関する資料をはじめ、調査相談に対応するために必要な各種参考図書、大活字本等のユニバーサルデザインに対応した資料の収集・整理に努めた。

##### イ 地域資料の収集

福島県に関する資料の収集に努め、福島県人著作の収集は話題性等を考慮し購入した。非売品等の資料については出版した個人・団体・機関等へ寄贈を依頼し収集に努めた。購入冊数 944 冊に対して寄贈を受けた冊数は 3,620 冊となった。

行政資料についても各自自治体・部局へ収集の依頼を行い、県職員へは全員へメールで要請を行うなど積極的な収集に努めた。収集した資料は当館HPの「県立図書館所蔵 県内行政機関発行資料一覧」を更新し情報提供を行った。

震災関連資料及び東京電力福島第一原子力発電所事故に関する資料に関しては、HP上やチラシ等で寄贈のお願いを掲載し、約800冊を収集、地域資料の約15%となった。重点収集とした歴史の変遷を辿る地形図は、県下を網羅して購入目標を達成した。

ウ 地域視聴覚資料の収集

震災関連資料及び合唱・吹奏楽関係の資料を主に137点を収集した。地元新聞のCD-ROMなど保存価値の高いものは継続的に収集し提供している。

エ 児童資料・研究資料の収集

(ア) 児童資料

市町村のモデルとして運営している「こどものへや」用児童資料として、子どもの読書活動推進に資する資料を、新刊書を中心に厳選して収集した。

重点収集として、ユニバーサルデザインや多文化に対応した資料の収集に努めた。また、中学生・高校生向け資料にいても収集した。

(イ) 研究資料

「児童図書研究室」用研究資料として、児童図書に関する調査研究及び子どもの読書活動支援に資する資料を、新刊書を中心に厳選して収集した。

また、読み聞かせ活動支援のための大型絵本や研究用児童資料としての主要な児童図書賞受賞作品も収集した。

重点収集として、子どもの読書や読書環境に関する資料の収集に努めた。

オ 逐次刊行物の収集と整備

雑誌は、資料価値を重視し、専門的な調査相談や相互貸借に対応できる資料を幅広く継続収集した。要望していた『福島民友新聞』過去紙面マイクロフィルム(昭和56-61年)141本を購入し、提供できるようになった。

新聞、雑誌の震災・原発事故関連記事についても収集に努めた。

カ 市町村支援用資料の収集

図書館未設置の自治体や、県立図書館の利用環境が十分ではない過疎・中山間地域、また、東日本大震災に伴う被災地地域の読書活動に役立たせるため、新刊書を中心に、話題性の高い文芸書や生活に密着した情報が掲載された実用書・時事関係資料等を収集した。

逐次刊行物受入状況

(単位：種)

| 区分  | 購入  | 寄贈・他 | 計     |
|-----|-----|------|-------|
| 新聞  | 25  | 59   | 84    |
| 雑誌  | 240 | 785  | 1,025 |
| 官報等 | 3   | 0    | 3     |
| 合計  | 268 | 844  | 1,112 |

資料受入状況

(単位：冊)

| 区分      | 購入     | 寄贈・他  | 計      |
|---------|--------|-------|--------|
| 一般資料    | 5,222  | 3,276 | 8,498  |
| 地域・行政資料 | 944    | 4,405 | 5,349  |
| 児童図書    | 2,451  | 335   | 2,786  |
| 児童図書研究書 | 406    | 51    | 457    |
| 市町村支援資料 | 1,110  | 1,500 | 2,610  |
| 合計      | 10,133 | 9,567 | 19,700 |

資料受入状況・推移

(単位：冊)

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|
| 16,422 | 28,080 | 19,700 |

キ 県民のくらし応援文庫

県民が抱える課題の解決に役立つ図書を整備することを目的に、平成28年度に創設した寄贈制度。平成29年度までに、延べ9団体(企業)から合計1,352冊の寄贈を受けた。

蔵書統計(資料別・分類別)

(単位：冊)

| 分類   | 区分      | 28年度累計  | 29年度増加  | 29年度除籍 | 利用替え  | 29年度累計  |
|------|---------|---------|---------|--------|-------|---------|
| 一般資料 | 0 総記    | 32,359  | 499     | 663    | 0     | 32,195  |
|      | 1 哲学    | 25,806  | 418     | 301    | 0     | 25,923  |
|      | 2 歴史    | 64,081  | 1,054   | 821    | 1     | 64,315  |
|      | 3 社会科学  | 105,400 | 2,099   | 1,533  | 7     | 105,973 |
|      | 4 自然科学  | 36,445  | 886     | 461    | 6     | 36,876  |
|      | 5 工学・工業 | 35,207  | 747     | 273    | 1     | 35,682  |
|      | 6 産業    | 28,265  | 581     | 304    | 0     | 28,542  |
|      | 7 芸術    | 40,236  | 915     | 328    | -1    | 40,822  |
|      | 8 語学    | 9,423   | 184     | 114    | 1     | 9,494   |
|      | 9 文学    | 92,338  | 1,115   | 948    | -2    | 92,503  |
|      |         | 計       | 469,560 | 8,498  | 5,746 | 13      |

| 分類      | 区分        | 28年度累計  | 29年度増加 | 29年度除籍 | 利用替え      | 29年度累計  |
|---------|-----------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 地域資料    | 0 総記      | 17,532  | 458    | 3      | 0         | 17,987  |
|         | 1 哲学      | 2,680   | 35     | 1      | 0         | 2,714   |
|         | 2 歴史      | 36,832  | 857    | 25     | -14       | 37,650  |
|         | 3 社会科学    | 63,971  | 1,507  | 36     | 13        | 65,455  |
|         | 4 自然科学    | 9,513   | 375    | 3      | 1         | 9,886   |
|         | 5 工学・工業   | 13,882  | 520    | 7      | 0         | 14,395  |
|         | 6 産業      | 21,387  | 555    | 5      | 0         | 21,937  |
|         | 7 芸術      | 16,310  | 499    | 11     | 0         | 16,798  |
|         | 8 語学      | 894     | 24     | 0      | 0         | 918     |
|         | 9 文学      | 27,648  | 519    | 1      | 1         | 28,167  |
|         | 計         | 210,649 | 5,349  | 92     | 1         | 215,907 |
| 児童資料    | 研究資料      | 36,141  | 457    | 77     | 0         | 36,521  |
|         | 児童図書      | 111,660 | 2,786  | 504    | -14       | 113,928 |
|         | 計         | 147,801 | 3,243  | 581    | -14       | 150,449 |
| 逐次刊行物資料 | 雑誌        | 160,087 | 5,672  | 414    | 0         | 165,345 |
|         | 新聞合本      | 15,234  | 220    | 0      | 0         | 15,454  |
|         | 新聞記事ファイル  | 3,830   | 0      | 0      | 0         | 3,830   |
|         | 計         | 179,151 | 5,892  | 414    | 0         | 184,629 |
| 特殊文庫    | 70,272    | 0       | 0      | 0      | 70,272    |         |
| 館内用計    | 1,077,433 | 22,982  | 6,833  | 0      | 1,093,582 |         |
| 市町村支援計  | 63,889    | 2,610   | 0      | 0      | 66,499    |         |
| 合計      | 1,141,322 | 25,592  | 6,833  | 0      | 1,160,081 |         |

### 3 館内奉仕

開館日は288日、入館者は164,502人、1日平均571人の利用があった。震災の影響で平成23年度に大きく落ち込んだ入館者数だが、震災前（平成22年度）の7割程度に回復してきている。しかし大きな伸びはない。

#### 入館者数

|        |          |
|--------|----------|
| 開館日数   | 288日     |
| 入館者数   | 164,502人 |
| (1日平均) | 571人     |

#### 入館者数・推移 (単位：人)

| 平成27年度  | 平成28年度  | 平成29年度  |
|---------|---------|---------|
| 162,594 | 167,650 | 164,502 |

#### 調査相談件数

(単位：件)

|       | 一般・地域・逐刊 | 児童資料  | 小計     |
|-------|----------|-------|--------|
| 口頭    | 7,191    | 3,085 | 10,276 |
| 電話    | 1,465    | 68    | 1,533  |
| 文書    | 26       | 0     | 26     |
| FAX   | 40       | 0     | 40     |
| 電子メール | 194      | 5     | 199    |
| 合計    | 8,916    | 3,158 | 12,074 |

#### 調査相談件数・推移

(単位：件)

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|
| 11,928 | 11,473 | 12,074 |

#### (1) 調査相談（レファレンス）

県内外から、日常生活の中での質問、仕事上の調査研究等、多種多様な調査相談を受け、所蔵資料及び関係機関の協力を得て回答している。問い合わせは、口頭、電話、文書、FAX、電子メールにて受け付けている。総件数は一般・地域・逐刊、児童資料ともに昨年度より増加した。また、当館のホームページについては、トップページや「蔵書検索」へのアクセスが大きく伸びた。県内の図書館の所蔵資料を検索する「横断検索」も利用されている。

#### ホームページアクセス件数

(単位：件)

| 区分         | 平成27年度  | 平成28年度  | 平成29年度  |
|------------|---------|---------|---------|
| トップページ     | 148,481 | 194,853 | 270,257 |
| 蔵書検索       | 439,340 | 510,541 | 529,594 |
| 横断検索       | 399,524 | 396,175 | 374,626 |
| デジタルライブラリー | 4,684   | 4,677   | 3,880   |
| こどものへや     | 3,489   | 3,480   | 3,383   |
| 利用案内       | 14,128  | 14,634  | 14,595  |

## (2) 館内サービス

「福島県立図書館アクションプラン（第2次）」を踏まえ、図書館資料の提供や各種講座の実施を通じ、地域の復興及び暮らしに役立つ情報の提供に努めた。

また、当館のホームページから全ての所蔵資料（貸出可能なもの）の予約ができるWeb予約サービスに加えて、平成29年7月より、Web予約した資料を市町村図書館で受取ることができる受取館指定サービスを開始した。

## (3) 館外個人貸出

登録者数は13,733人、貸出冊数は150,699冊、のべ人数は39,979人で、昨年度より増加した。

直接自宅へ資料が届く資料宅配サービス（有料）の利用は、24件、冊数は147冊と昨年度より減少した。

### 館外個人貸出状況

| 分類    | 冊数(冊)   | 構成比(%) |
|-------|---------|--------|
| 総記    | 2,026   | 1.3    |
| 哲学・宗教 | 4,451   | 3.0    |
| 歴史・地理 | 7,399   | 4.9    |
| 社会科学  | 11,626  | 7.7    |
| 自然科学  | 7,151   | 4.7    |
| 工学・工業 | 6,571   | 4.3    |
| 産業    | 3,584   | 2.4    |
| 芸術    | 7,973   | 5.3    |
| 語学    | 1,206   | 0.8    |
| 文学    | 21,337  | 14.2   |
| 地域資料  | 8,054   | 5.3    |
| 新聞雑誌  | 7,316   | 4.9    |
| 小計    | 88,658  | 58.8   |
| 児童    | 62,041  | 41.2   |
| 合計    | 150,699 | 100.0  |

### 館外個人貸出状況・推移

| 区分      | 平成27年度  | 平成28年度  | 平成29年度  |
|---------|---------|---------|---------|
| 冊数(冊)   | 140,598 | 140,037 | 150,699 |
| のべ人数(人) | 38,426  | 38,237  | 39,979  |

### 館外個人貸出登録者数（登録有効期間3年）（単位：人）

| 区分  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 合計     |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 新規  | 3,145  | 3,130  | 3,169  | 9,444  |
| 更新者 | 1,422  | 1,459  | 1,408  | 4,289  |
| 合計  | 4,567  | 4,589  | 4,577  | 13,733 |

### 館外個人貸出登録者数・推移（単位：人）

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|
| 14,141 | 13,993 | 13,733 |

## (4) 特別貸出

特別貸出とは、類縁機関での展示等のための貸出を行う制度で、資料・冊数・期間などの面で配慮している。

### 特別貸出状況

| 貸出先    | 件数(件) | 冊数(冊) |
|--------|-------|-------|
| 官公庁関係  | 2     | 60    |
| 図書館その他 | 16    | 286   |
| 会社・事業所 | 32    | 231   |
| 報道関係   | 0     | 0     |
| 学校     | 32    | 178   |
| 計      | 82    | 755   |

### 特別貸出状況・推移

（単位：冊）

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|
| 889    | 828    | 755    |

## (5) 一般資料

県民が必要とする多種多様な情報を迅速に提供するように資料整理等に努めた。

また、時事や季節、話題性のあるテーマで展示を行い資料の紹介に努めた。「本のひろば」のコーナーでは「日本の城・世界の城」「今日からはじめるエコライフ」「童心にかえる～おもちゃ・工作の本」など7回実施した。時事展示として、「福島県立図書館ベストリーダー展」「子どもたちの教科書を見てみよう！」「ここを込めて手紙を書く」など7回実施。ミニ展示としては、日本赤十字企画展に合わせた「赤十字いまむかし」や美術館企画展示関連の「描かれた聖母たち」ノーベル賞発表の11月に合わせた「ノーベル文学賞2017にカズオ・イシグロ氏」など5回実施した。さらに、パスファインダー「本の森への道しるべ」を作成し、効率かつ有効的な情報の提供に努めた。

## (6) 地域資料

地域資料については、県内外の個人・団体などから様々な調査相談が寄せられた。調査相談件数の29%が福島県に関するものの問い合わせであり、的確な回答を導き出せるよう調査に取り組むとともに、迅速な対応を心がけた。

企画展示は、白河藩主・丹羽長重の没後380年にちなみ「城郭絵図展～福島を中心に～」を行った。前期・後期で入れ替えをし、当館所蔵の貴重な城絵図を多数展示した。本のひろばでは「ふくしまの城」を特集し、企画展示に合わせて県内の城郭に関する資料を集めるなどした。ミニ展示は、話題となった出来事をタイムリーに紹介することを心掛け、第40回福島民報出版文化賞の受賞作の一部を展示するなどした。

一つのテーマを絞って資料を案内するパスファインダー「本の森への道しるべ」は「福島県の工芸<全般>・漆器編」など新たに4本、「役立っ！ふくしまの行政資料」など改訂を8本作成した。



地域資料の館外個人貸出冊数は前年度比 102%となった。分野別に見ると歴史地理部門が多く個人貸出冊数の約 35%を占め、東日本大震災関連資料は約 11%に留まった。県人文庫は前年度の 19%から 20%と伸びる傾向にある。

資料の撮影・展示及び掲載許可の申請は 15 件あり、所蔵する貴重資料も幅広く利用された。

## (7) 逐次刊行物

『福島県公立図書館 現行購入雑誌保存年限および保存指定館、現行受入新聞一覧』（平成 29 年度版）については、本年も避難している大熊町、富岡町、双葉町、浪江町の 4 町以外から回答を得て発行した。

ミニ展示については、「雑誌で和菓子」「ことしもみんなでおおそうじ」「春を満喫しよう」など、季節を配慮するなどして利用者の方に喜んでいただける内容で行った。

パスファインダー「本の森への道しるべ」は、当館で開催された福島県立医科大学公開講座「がんを知り尽くす」にちなんで「がんを考える」で新規 1 本を作成した。

平成 24 年 6 月から提供している新聞記事閲覧システムについては、図書館ボランティアの協力のもとに行っていた『民報縮刷版』からの記事データ 8 万件に加え、『伝えて百十年』（福島民報／編・発行）の明治期からの記事データ約 2,700 件が加わり、検索機能が拡充された。

## (8) 児童サービス

子どもの読書活動推進のために各種の事業を行った。

### ア こどものへや・児童図書研究室の運営

資料の貸出や調査相談をはじめ、「絵本コーナー」や「新着図書コーナー」などで推奨する資料の展示を行った。また、「子ども読書活動支援コーナー」では、読書活動関係者に対して情報提供を行った。

### イ おはなしかいの開催

乳幼児と保護者を対象とした「ちいさなおはなしかい」（毎月第 2 木曜日）や児童を対象に以下の「おはなしかい」を開催した。

- ・「夏の図書館ミステリーツアー」（7 月 22 日、8 月 5 日・19 日）  
小学校の夏休みに合わせて、図書館の書庫探検を行い、併せて、図書館をテーマとしたおはなしかいを実施した。

- ・アートなおはなしかい（12 月 9 日）  
県立美術館と連携し、「冬」をテーマとしたおはなしかいを実施した。おはなしかいの後、美術館で斎藤清の版画を鑑賞し、クリスマスカードを作成した。

- ・クリスマス ミステリーツアー（12 月 23 日）  
クリスマスについて調べる本を紹介しながら、図書館の見学を行い、おはなしかいを行った。

### ウ 図書館見学の受け入れ

学校等の要望に応え、施設見学や利用案内、読み聞かせ等を行い、図書館や本に親しむ機会の提供に努めた。

### エ 情報誌の発行

思春期の子どものための読書案内誌『LITTLE BIG』や児童サービス関連情報誌『児童図書研究ニュース』を発行し読書普及のための情報提供に努めた。

### オ 「子育て支援コーナー」の運営

子育てに役立つ図書や雑誌の展示や関係各課からのパンフレット配布等、情報提供に努めた。また、親子で楽しむ「わらべうた・手遊びの本」「健康・病気」「昔の遊びあやとり・お手玉」などのテーマ展示を行った。

### カ 子ども読書と科学のコラボ事業

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム spff と連携して、あきのおはなしかい「たねのふしぎにせまる！かがくのおはなしかい」を実施した。また、科学のテーマ展示「人の体に関する本」「おいしい科学」「見えない力」などのテーマ展示を行った。

## (9) 東日本大震災福島県復興ライブラリー

平成 24 年度より「東日本大震災福島県復興ライブラリー」を開設。常設コーナーとして、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の関連資料を中心に、地震、津波、体験記、放射線、除染、復興、防災、エネルギー問題等の資料を配架し、利用に供している。所蔵数は、平成 30 年 3 月 11 日現在で 11,464 タイトルとなっており、平成 29 年度増加資料一覧を作成し HP で公開した。また、資料紹介として「ブックガイド」を刊行し利用促進を図った。

また福島民報と福島民友に掲載された震災・原発・復興関連の記事の見出しを地区ごとにまとめ一覧にした『地元新聞にみる原発関連見出し一覧』を平成 30 年 1 月 31 日現在までに更新し、HP に掲載した。

さらに、「巡回する福島県復興ライブラリー」として、資料やパネル等を出張展示用セットとして編成し活用を図っている。今年度は、放送ライブラリー（平成 30 年 2 月 6 日～3 月 18 日）、環境創造センター（平成 30 年 2 月 14 日～3 月 11 日）の 2 箇所出張展示が開催された。

## (10) 特殊文庫・貴重資料紹介コーナー

公開図書室内にて各特殊文庫概要紹介パネルの掲示をはじめ、資料の一部配架や展示ケースにて貴重資料の展示などを行い、当館所蔵の特殊文庫や貴重資料の紹介に努めた。今年度は、平成 29 年 2 月に開設した「長田弘文庫」の一部を展示し紹介した。11 月からは展示ケース内で「蔵書印やサインなど長田氏の所蔵の痕跡がみられる資料」の公開展示を実施した。併せて「長田弘文庫見学会」を 2 回（5 月 3 日と 11 月 11 日）実施した（参加者 のべ 12 人）。

## (11) 複写サービス

コイン式コピー機は 1 台、レーザープリンター 1 台、カラープリンター 1 台、マイクロプリンター 2 台での対応となっている。保存のために資料の媒体を変えていることから、形態にあわせてそれぞれのプリンターで対応している。

### 複写利用状況

| 区分        | 件数 (件)   | 枚数 (枚)   |
|-----------|----------|----------|
| 自・他館処理    | 4,229    | 49,297   |
| 複写利用状況・推移 |          | (単位：枚)   |
| 平成 27 年度  | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
| 51,994    | 51,548   | 49,297   |

## (12) 来館者用インターネットコーナー

来館者が利用できるインターネット端末を一般用に6台、こどものへやに1台設置し、情報提供の便宜を図っている。また、当館職員による「はじめてのインターネット使い方講座」を2回(11月9日と12月14日)実施し、インターネット利用の啓発を図った。

### インターネット利用状況 (単位:人)

| 区分 | 人数    |
|----|-------|
| 一般 | 6,023 |
| 児童 | 44    |
| 合計 | 6,067 |

### インターネット利用状況・推移 (単位:人)

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|
| 6,710  | 6,603  | 6,067  |

## (13) 展示

### ア 展示コーナー企画展示

当館入り口の展示コーナーにおいて、テーマに沿った資料の展示を行った。

#### (ア) 「城郭絵図展～福島の城を中心に～」

(4月7日～4月30日)

棚倉城を築き、小峰城の大修築をおこなった白河藩主・丹羽長重の没後380年にちなんで当館の所蔵する城絵図を展示。前期・後期で展示資料を入替え、多くの貴重な城絵図を見る機会とした。

前期:「陸奥国白川城之図」「白河旧城内図面井上申書」「棚倉城郭絵図」「棚倉城外地割絵図」

後期:「二本松旧城内之全図」「福島旧城郭之図」「福島旧城郭絵図」「平城郭之図」

#### (イ) 「日本赤十字社福島県支部企画展」

(5月3日～5月31日)

赤十字社のおいたちから現在の活動を紹介する展示を行った。※(14)普及事業に再掲あり。

#### (ウ) まほろん移動展示「縄文土器の年代Ⅱー縄文中期世界に迫るー」(6月2日～7月5日)

公益財団法人福島県文化振興財団との共催事業として、福島県文化財センター白河館で開催した同テーマによる収蔵資料展の移動展を行った。

縄文時代中期の土器や石材、またはその測定値などから読み取ることのできる当時の地域間交流や、縄文人の暮らしについて展示解説した。

併せて、福島県文化財センター白河館の専門学芸員・三浦武司氏による関連講座「縄文土器から探る地域間交流」(第1回ふくしまを知る連続講座)を実施した。

#### (エ) 「絵本はともだち かがくやちしきの絵本展」

(7月7日～9月6日)

子どもたちの夏休み期間に合わせて、幼児から楽しめる科学や知識の本を紹介したブックリスト「絵本はともだち かがくやちしきの絵本」を配布し、掲載資料50冊と関連資料を展示した。

#### (オ) 「宇宙への誘い」(9月8日～11月1日)

9月12日の「宇宙の日」、10月4日から10日までの「世界宇宙週間」にちなみ、宇宙開発を中心に宇宙の魅力を伝える資料を展示した。有人宇宙飛行、人工衛星、惑星探査機などをキーワードに、宇宙開発の歴史的な出来事や最近話題になった事柄について紹介しながら、関連する資料25点を展示。

併せて、関連資料のパスファインダーを作成配布した。

#### (カ) 「懐かしの雑誌たち」(11月3日～12月27日)

昭和から平成にかけて一世を風靡した、たくさんの雑誌たち。そのなかでも、『改造』や『朝日ソノラマ』『毎日グラフ』など、現在は休刊になってしまった雑誌に光をあて、その時代を彩った懐かしい雑誌を展示した。

#### (キ) 福島県歴史資料館移動展「檜枝岐村文書の世界」

(平成30年1月5日～2月12日)

公益財団法人福島県文化振興財団との共催事業として、福島県歴史資料館で開催した同テーマによる展示の移動展を行った。

会津郡古町組檜枝岐村名主で沼田街道檜枝岐口留番所役であった星縫殿之助家の伝来文書から、檜枝岐村の概要をはじめ、特産の小羽板の生産と流通、白峯銀山をめぐる領有権の争い、檜枝岐口留番所の役割、檜枝岐川や沼田街道の景観などについて展示解説した。

併せて、福島県歴史資料館の副主幹兼専門学芸員渡邊智裕氏による講座「檜枝岐村文書の魅力 ～近世山村の景観と生業～」(第4回ふくしまを知る連続講座)を実施した。

#### (ク) 「装幀の魅力 ～美しいデザインの本」

(平成30年2月24日～4月4日)

明治期から現代まで活躍した橋口五葉、武井武雄、芹沢銈介、花森安治などの装幀家や、次々とベストセラーを生み出し注目されている現代のブックデザイナーたちを紹介した。また、彼らが手がけた美しくそして心惹かれる本の数々を展示した。

### イ ロビー展示

情報発信の一環としてロビー通路壁面を利用し、県民に作品発表の場を提供した。

#### (ア) 「中村勢津夫 色鉛筆の世界展」(4月7日～4月30日)

#### (イ) 「イタリア風景スケッチ展」(5月3日～5月31日)

#### (ウ) 「ナチュラル・ハイ」(6月2日～7月5日)

#### (エ) 「谷津健司写真展「道ーいま、そこにある危機(クライシス)の四季(とき)を超えてー ～ふくしまの風に抱かれて～自分を信じて」(7月7日～8月2日)

#### (オ) 「わたしの心象風景 絵画作品展」

(8月4日～9月6日)

#### (カ) 「トールペイントの中の鳥たち～復興に願いを乗せてはばたけ～」(9月8日～10月4日)

- (キ) 「第9回網代澄亭と一門による刻字展」  
(10月6日～11月1日)
  - (ク) 「10年後の飯館村一願い・目標一」  
(11月3日～12月6日)
  - (ケ) 「クリスマスの贈りもの」(12月8日～12月27日)
  - (コ) 「裏側から描いたガラス絵の魅力 紹介 二人展」  
(平成30年1月5日～2月12日)
  - (カ) 「福島県の新イメージポスター展」  
(平成30年2月24日～4月4日)
- ウ エントランスホール
- (ア) 「梶井宮流福島支部 華道展」(9月8日～10日)
  - (イ) 「私のおすすめ本 メッセージカードコンテスト」展  
(平成30年1月5日～2月12日)
  - (ウ) 「君たちの哲学」(平成30年2月24日～4月20日)

#### (14) 普及事業

県内公共図書館及び公民館図書室等、図書館関係施設職員の資質の向上を図るため、講演会や講座を実施することで、幅広い知識の習得を目指し、また、一般県民に対しても開放し、図書館としての情報発信を行い、地域文化の進展に寄与した。

##### ア 鼎談

- (ア) 期 日 8月11日
  - (イ) 会 場 福島県立図書館
  - (ウ) 参加者 一般県民等 170名
  - (エ) テーマ 「ベルリン、福島  
～あの日から言葉の灯りをさがして～」
  - (オ) 出演者 作家 多和田葉子 詩人 和合亮一  
社会学者 開沼 博
- \*ignition gallery主催事業

##### イ ふくしまを知る連続講座

- 第1回「縄文土器から探る地域間交流」6月18日  
講師 福島県文化財センター白河館 三浦武司  
参加者 55名
  - 第2回「現存数日本一! ふくしまの算学の魅力」  
7月30日  
講師 福島県和算研究保存会 白岩 信博  
福島県和算研究保存会 五輪 教一  
参加者 44名
  - 第3回「医学者・野口英世を支えた人々」11月19日  
講師 野口英世記念会 森田 鉄平  
参加者 20名
  - 第4回「檜枝岐村文書の魅力～近世山村の景観と生業～」  
平成30年1月28日  
講師 福島県歴史資料館 渡邊 智裕  
参加者 40名
- ウ 衛生学予防医学講演会  
福島県立医科大学の衛生学・予防医学講座との連携による講演会を、平成20年度より開催している。  
開催日 9月2日  
場所 福島県立図書館 第一研修室

- 内容
- (講演1)  
・テーマ「医療における安全を考える ～なぜ病院で患者が名前をなのることになったのか?～」  
・講師 木下 美佐子  
(福島県立医科大学基礎看護部門准教授)
  - (講演2)  
・テーマ「最近のバイオトピックスとタンパク ～実験室にはノーベル賞の技術がいっぱい～」  
・講師 増石 有佑  
(福島県立医科大学衛生学・予防医学講座助教)
- 参加者 47名

エ ふれて まなんで 赤十字パーク 2017in県立図書館  
平成27年3月17日に締結した、「福島県と日本赤十字社との復興、防災対策等に関する共同宣言」の趣旨を踏まえ、『復興』、『防災』及び『健康づくり』をテーマに、日本赤十字社福島県支部との共催により、次の事業を実施した。

- (ア) オープニングセレモニー  
期 日：5月3日  
場 所：県立図書館エントランスホール
- (イ) 資料展示  
内 容：赤十字の歴史と活動に関する資料を展示  
期 間：5月3日～5月31日  
場 所：展示コーナー  
閲覧者：961名
- (ウ) パネル展示  
内 容：赤十字の活動をパネルで紹介  
期 間：5月3日～5月31日  
場 所：第一研修室
- (エ) フラワーアート展示  
内 容：赤十字のマークと福島県章を植栽で表現  
期 間：5月3日～5月31日  
場 所：図書館正面玄関前ロータリー
- (オ) 健康講演会  
テーマ：「心臓病について」  
講 師：福島赤十字病院 大和田尊之  
期 日：5月13日  
場 所：第一研修室  
参加者：30名
- (カ) 映画上映会  
作 品：「チェブラーシカ動物園へ行く」  
「ちえりとチェリー」  
期 日：5月14日  
場 所：講堂  
参加者：100名
- (キ) 救急法講習会  
期 日：5月20日  
場 所：第一研修室  
参加者：10名

- (ク) 幼児安全法講習会  
期 日：5月27日  
場 所：第二研修室  
参加者：8名

#### 4 館外奉仕

##### (1) 移動図書館「あづま号」

以下の目的により巡回事業を実施し、連携協力を図るとともに、合計23,506冊の資料を貸出した。

###### ア 図書館未設置町村支援

図書館未設置町村における図書館活動の促進を図ることを目的に、資料の貸出しと公民館図書室等の運営相談を行った。17自治体に巡回し、延べ20,119冊の資料を貸出した。

###### イ 避難自治体支援事業

東日本大震災等の影響により避難を余儀なくされ、図書館等の運営が困難な6自治体に対し、読書環境を改善することを目的に巡回し資料の貸出しを行った。

該当自治体の設置する仮設校と、地元で活動を再開した公民館及び学校等を巡回対象とし、学校に対しては、大熊町・葛尾村・飯館村・檜葉町の4自治体の幼稚園、小・中学校を延べ10回巡回し、1,176冊の貸出しを行った。その他、葛尾村及び川内村の公民館、浪江町の仮設図書館に対し、1,384冊を貸出した。

###### ウ 特別支援学校読書活動支援事業

日常的に図書館や読書施設、書店等の利用が困難な子どもたちの読書環境の向上を目的に、西郷養護学校と富岡養護学校の2校を巡回し、延べ827冊の資料を貸出した。

###### エ 文化施設連携事業

県内文化施設間の連携を図ることを目的に、福島県文化財センター白河館の事業（まほろん冬まつり）に参加したが、当該年度は事業参加（移動展示「なつかしの教科書たち」）のみとし、移動図書館は稼動しなかった。

##### 移動図書館「あづま号」貸出状況・推移（単位：冊数）

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|
| 26,330 | 23,026 | 23,506 |

##### (2) 市町村援助のための支援貸出

大規模な図書館事業を行う市町村に対して、長期にわたり一括大量に資料の貸出しを行い、図書館・公民館図書室の読書・学習環境を支援した。

平成29年度の利用状況は次のとおりである。

|           |        |
|-----------|--------|
| 本宮市教育委員会  | 2,171冊 |
| 川俣町教育委員会  | 483冊   |
| 浅川町教育委員会  | 4,864冊 |
| 平田村教育委員会  | 356冊   |
| 西郷村教育委員会  | 322冊   |
| 西会津町教育委員会 | 350冊   |
| 合 計       | 8,546冊 |

##### (3) 福島県立図書館資料の譲与

再活用が十分見込まれる資料を、県内市町村教育委員会及び高等学校等に対し譲与し、図書館施設の蔵書の充実を支援した。平成29年度の利用状況は次のとおりである。

|            |     |
|------------|-----|
| 会津坂下町教育委員会 | 70冊 |
| 合 計        | 70冊 |

##### (4) 学校図書館活動支援貸出

県内高等学校及び県立特別支援学校の図書館活動の充実を図るために、長期にわたり一括大量に図書の出しを行い、学校図書館読書・学習環境を支援した。平成29年度は、県立湖南高等学校に対し、627冊の資料を貸出した。

##### (5) 学校図書館活動支援セット貸出

県内の児童・生徒の学びの環境づくりを支援するため、県内の高等学校および特別支援学校、小・中学校等に対して、その図書館活動の充実を図ることを目的に、118テーマ（延べ277セット）を編成し貸出しを行った。

29年度の利用状況は、15団体に対し43セット（1,867冊）を貸出した。

##### (6) 広報資料の発行

###### ア 館報「あづま」

第67巻（通巻271号）を11月14日に発行した。主たる掲載事項としては、「避難指示区域の現状と福島県立図書館の活動」「他機関との連携による文化発信事業」「福島県立図書館のサービスの今」等

###### イ 平成29年版福島県公共図書館・公民館図書室実態調査報告書（データ版）

図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から県内公共図書館等の実態調査を実施し、報告書としてまとめ、県立図書館ホームページに掲載している。

主な調査結果であるが、4月1日現在、県内図書館の合計蔵書冊数は5,921,890冊で、当該人口1人当たり3.48冊（前年度3.44冊）、年間増加冊数は213,889冊である。また、平成28年度中の貸出図書冊数は、6,485,331冊（当該人口1人当たり3.81冊）であり、前年度と比べると総冊数では、224,794冊の減である。状況としては、各館の数値が微減しているものであり、大きな要因は認められない。

###### ウ 福島県郷土資料情報

第58号を発行。特集「郷土福島の人物調べ・虎の巻」と「朝河貫一コレクション～没後70年に寄せて～」を掲載した。また、年度内に3回実施した「ふくしまを知る連続講座」の報告や、連載記事として「福島の児童文学者」「福島県関係書誌」をまとめた。100部発行し、当館HPへも掲載する等、郷土の情報発信を発信した。

#### 5 図書館協力

##### (1) 相互協力と遠隔地返却

協力貸出（他館との資料の貸借）サービス、遠隔地返却（当館資料を他館に返却する）サービスを行っている。協力貸出は前年と比べて利用は減少したが、遠隔地返却の冊数は増加した。

相互貸借状況 (単位：件/冊)

| 区分 | 県内    |       | 県外  |     | 合計    |       |
|----|-------|-------|-----|-----|-------|-------|
|    | 件数    | 冊数    | 件数  | 冊数  | 件数    | 冊数    |
| 貸出 | 1,041 | 4,538 | 493 | 791 | 1,534 | 5,329 |
| 借用 | 116   | 138   | 69  | 88  | 185   | 226   |
| 小計 | 1,157 | 4,676 | 562 | 879 | 1,719 | 5,555 |

相互貸借状況・推移 (単位：冊)

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|
| 5,839  | 5,819  | 5,555  |

隔地返却冊数・推移 (利用者が来館し、直接貸出しを受けた資料を県内公立図書館に返却した冊数) (単位：冊)

| 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|
| 5,924  | 6,551  | 6,865  |

(2) 図書館協力車事業

県内市町村図書館などの運営を支援するため、各館を定期的に巡回し、情報の収集と提供、運営に関する相談を行った。

また、協力貸出(資料の賃借)などの資料の搬送支援を行った。平成29年度は、16コースを編成し、26自治体と2高等教育機関に対し巡回した。

(3) 県内図書館職員研修会

県内図書館職員の資質向上と専門的知識の涵養を図るため、毎年行っている。

ア 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会

(ア) テーマ 「図書館の意義と基本について」

(イ) 期 日 5月26日

(ウ) 会 場 福島県立図書館

(エ) 参加者 県内図書館・学校図書館・公民館図書室職員等  
83名

(オ) 講 師 県立図書館職員

イ 福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会

(ア) テーマ 「図書館サービスと著作権

ケーススタディから考える」

(イ) 期 日 10月20日

(ウ) 会 場 県立図書館

(エ) 参加者 県内図書館・学校図書館・公民館図書室職員等  
60名

(オ) 講 師 元日本図書館協会著作権委員会委員

南 亮一

ウ 福島県内図書館初任者職員実務研修

(ア) 期 日 6月21日～23日

(イ) 会 場 県立図書館

(ウ) 参加者 6名

(エ) 講 師 県立図書館職員

(4) 第15回福島県図書館研究集会

図書館業務及び読書活動推進に関わる実務的な業研究会を行うとともに、情報交換や協議を行い図書館活動の振興を図ることを目的に、福島県公共図書館協会事務局として実施・運営している。

ア テーマ 「つなげよう! 広げよう! ～事例に学ぶ、地域を生かすネットワーク～」

イ 期 日 11月17日

ウ 会 場 福島県立図書館

エ 参加者 県内図書館・学校図書館・公民館図書室職員等 51名

オ 内 容

講 話

・演 題 「図書館が生み出す地域のネットワーク  
～「図書・新聞に親しむ条例」を起点に～」

・講 師 小野町ふるさと文化の館

副主幹兼司書兼学芸員 籠田まき子

事例報告①

・テーマ 「館種をこえたネットワーク

～I-TOSSの現状と課題～」

・報告者 いわき市立いわき総合図書館

副館長 大平久美子

事例報告②

・テーマ 「住民が生み出すネットワーク

～ボランティアとともに歩む～」

・報告者 新地町図書館

主任主査兼図書館管理係長兼司書

目黒美千代

事例報告③

・テーマ 「物流が支える域内ネットワーク

～サービス拠点としての学習センター～」

・報告者 福島市立図書館 主任司書 本多恵子

講評及び情勢報告

・助言者 元江東区立深川図書館 次長 西村彩枝子

・司 会 福島県立図書館資料情報サービス部長

大崎眞希子

(5) 子どもの本がっぐスマイルプロジェクト

東日本大震災で被災した子どもたちや親たちが、本とのふれあいを通して心を癒やすことを目的に、読み聞かせなどを行うフェスティバルを、平成26年度より開催している。

プロジェクト実施に併せ、子どもたちに出会って欲しい絵本を紹介したブックリスト「本はともだち～子どもと楽しむせかいのむかしばなし～」 「絵本はともだち～かがくやちしきの絵本～」を作成し配布した。

ア 「絵本はともだち」

(ア) 期 日 7月2日

(イ) 会 場 喜多方市松山公民館

(ウ) 参加者 子どもと保護者・保育従事者・読書ボランティア・その他関係者等 60名

(エ) 内 容

講演・実演（おはなしかい等）

- ・テーマ 「おはなしかい いっしょにね」
- ・講 師 幼児教育専門家 藤田 浩子

イ 「本はともだち」

(ア) 期 日 10月29日

(イ) 会 場 福島県男女共生センター

(ウ) 参加者 子どもと保護者・学校・保育関係者・読書ボランティア・その他 31名

(エ) 内 容

講演・実演（おはなしかい等）

- ・テーマ 「おはなしや本の世界を楽しもう」
- ・講 師 浦安市企画部主査 伊藤 明美

**(6) 県内大学図書館間との連携**

県内の大学図書館及び公共図書館間における、「図書館資料の相互貸借」「複写」「参考業務」及び「一般社会人への共通利用証発行」等の協力体制を推進するため、“福島県内大学図書館連絡協議会”の公共図書館唯一の加盟館として、「福島県内大学図書館間相互利用制度」の維持に努めた。

同協議会には、県立図書館の他、県内 20 の市町村立図書館が参加館として参加している。参加している図書館は、福島市立図書館、二本松市立二本松図書館、郡山市中央図書館、須賀川市図書館、白河市立図書館、会津若松市立会津図書館、喜多方市立図書館、相馬市図書館、南相馬市立中央図書館、いわき市立いわき総合図書館、田村市図書館、小野町ふるさと文化の館、三春町民図書館、鏡石町図書館、矢吹町図書館、双葉町図書館、大熊町図書館、新地町図書館、浪江町図書館、本宮市立しらさわ夢図書館である。

さらに、福島大学附属図書館、及び、福島県立医科大学附属学術情報センター図書館とは、相互協力のための「ふくふくネット」を締結しており、それに基づき活動を行った。

## 第13節 福島県立美術館

### 1 概要

1984年に開館した福島県立美術館は、さまざまなテーマに基づく展覧会、創作や芸術鑑賞のための各種講座等の事業を実施している。また、文化財としての美術作品の収集保存、美術や地域の芸術運動に関する調査研究を継続的に実施している。これらの活動を基盤に、美術の情報センターとしての機能を担っている。

当年度の美術館活動の概要は以下のとおりである。

#### (1) 美術館運営協議会

##### ア 委員

|       |                                                   |
|-------|---------------------------------------------------|
| 山口 功  | 福島県中学校教育研究会美術専門部所属<br>(平成 25. 1. 1～)              |
| 番匠あつみ | 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会所属<br>(平成 27. 1. 1～)            |
| 杉 昭重  | 公益財団法人福島県文化振興財団理事長兼<br>福島県文化センター館長 (平成 29. 1. 1～) |
| 坂本節子  | 福島県家庭教育インストラクターいわきの会事務局長<br>(平成 25. 1. 1～)        |
| 齋藤勝正  | 福島県美術家連盟会長<br>(平成 29. 1. 1～)                      |
| 鈴木 仁  | 日本放送協会福島放送局長<br>(平成 29. 8. 19～)                   |
| 星眞智子  | 西会津国際芸術村事務局長<br>(平成 27. 1. 1～)                    |
| 清水眞砂  | 世田谷美術館分館長<br>(平成 27. 1. 1～)                       |
| 齋藤美保子 | 郡山女子大学短期大学部教授<br>(平成 27. 1. 1～)                   |
| 舟木藤弘  | 福島県立美術館友の会理事<br>(平成 29. 1. 1～)                    |

##### イ 協議会の開催

(ア) 期日 平成 30 年 3 月 6 日(火)

(イ) 内容 ・平成 29 年度事業実施の概要  
・平成 30 年度事業計画案の概要  
・県立美術館の運営等

#### (2) 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

|      |                   |
|------|-------------------|
| 加盟団体 | ・全国美術館会議 (理事)     |
|      | ・日本博物館協会 (会員)     |
|      | ・日本博物館協会東北支部 (監事) |
|      | ・東北地区博物館協会 (監事)   |
|      | ・福島県博物館連絡協議会 (理事) |

### 2 美術品の収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション(収集作品)の収集活動を継続的にを行っている(ただし平成 22 年度以降、作品購入実績はない)。

今年度は作品 28 点および美術資料 1 件を寄贈により収集した。

#### (1) 収集作品点数(平成 30 年 3 月 31 日現在)

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 海外作品  | 450 点             |
| 日本画   | 353 点             |
| 洋画    | 907 点             |
| 版画    | 1,148 点           |
| 立体    | 139 点             |
| 工芸    | 155 点             |
| 書     | 39 点              |
| 素描・下絵 | 215 点             |
| 写真    | 410 点             |
| 計     | 3,816 点 美術資料 63 件 |

#### (2) 収集評価委員会

##### ア 委員

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 原田 光  | 元岩手県立美術館長<br>(平成 23. 12. 1～)         |
| 村田眞宏  | 豊田市美術館長<br>(平成 23. 12. 1～)           |
| 荒屋鋪透  | 中部大学民族資料博物館長<br>(平成 23. 12. 1～)      |
| 三上満良  | 宮城県美術館副館長<br>(平成 23. 12. 1～)         |
| 佐々木吉晴 | いわき市立美術館長、宇都宮美術館長<br>(平成 23. 12. 1～) |

##### イ 委員会の開催

(ア) 期日 平成 30 年 2 月 22 日(木)

(イ) 内容 ・平成 28 年度収集作品の報告  
・平成 29 年度収集候補作品について

#### (3) 平成 29 年度収集作品

##### ア 美術作品及び美術資料の収集

|          |                 |     |
|----------|-----------------|-----|
| 国内：日本画   | 小川千甕            | 2 点 |
|          | 荻生天泉            | 4 点 |
|          | 勝田蕉琴            | 1 点 |
|          | 室井東志生           | 3 点 |
| 国内：洋画    | 大岩オスカル          | 2 点 |
|          | 佐藤二郎            | 1 点 |
|          | 寺田政明            | 1 点 |
|          | 秀島由己男           | 1 点 |
| 国内：素描・下絵 | 朝倉 撰            | 7 点 |
|          | 横山 操            | 4 点 |
| 国内：立体    | 入江比呂            | 1 点 |
| 国内：工芸    | 森田恒友            | 1 点 |
| 国内：資料    | 荻生天泉資料          | 1 件 |
|          | 計 28 点 美術資料 1 件 |     |

##### イ 図書資料の収集(平成 30 年 2 月 28 日現在)

収集図書数 58,687 冊

#### (4) 保存管理

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

##### ア 保存環境調査の実施

- (ア) 時期 平成 29 年 6 月 5 日～19 日、8 月 11 日～26 日
- (イ) 内容 展示室、収蔵庫、搬入口およびその他の館内外の虫菌害調査、酸アルカリ濃度測定等

##### イ 美術作品の修復

今年度は酒井三良《冬暖》、朝倉撰《寮》ほか 6 点、田口安男《回転と移行》ほか 2 点、青木繁《催合傘》ほか 1 点、ジョルジュ・ルオー《ミセレーレ》(58 点組)の修復を実施した。

##### ウ 敷地内の放射線測定

- (ア) 時期 毎月 1 回、計 12 回測定
- (イ) 場所 美術館内および敷地内 計 45 か所

### 3 展示事業

#### (1) 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して、年 4 回(版画は年 8 回)展示替えを行っている。

##### ア 常設展示

###### (ア) 第Ⅰ期常設展

会期 平成 29 年 4 月 8 日(土)～7 月 9 日(日)  
主な内容

- ・福島の工芸：宗像豊意《飴釉白流壺》など
- ・日本画の女性像：速水御舟《女二題》など
- ・ヨーロッパの美術：モネ《ジヴェルニーの草原》など
- ・斎藤清の版画：《海の幻想》《ヌード(A)》など

###### (イ) 第Ⅱ期常設展

会期 平成 29 年 7 月 15 日(土)～9 月 24 日(日)  
主な内容

- ・佐藤玄々(朝山)の彫刻：《春》《冬眠》など
- ・夏の日本画：山口華揚《畑》、池田遙邨《大漁》など
- ・抽象絵画／彫刻：田中敦子《WORK1968》など
- ・小関庄太郎の芸術写真：《田舎の風景》《夕照》など

###### (ウ) 第Ⅲ期常設展

会期 平成 29 年 9 月 30 日(土)～12 月 24 日(日)  
主な内容

- ・現代の日本画：齋藤隆《ドラマ》など
- ・関根正二と大正期の洋画：《一本杉の風景》など
- ・河野保雄コレクション：清宮質文《夜明け》など
- ・『月映』と恩地孝四郎

###### (エ) 第Ⅳ期常設展

会期 平成 30 年 1 月 6 日(土)～3 月 11 日(日)  
主な内容

- ・酒井三良と日本画の名品：下村観山《寒空》など
- ・朝倉撰の日本画：《おんな》《ズリ山》など

- ・いわきの絵画：田口安男《波から焔へ》など
- ・それぞれの黒あるいは闇：鏑木昌弥、秀島由己男

##### イ 移動美術館

当館所蔵作品の一部を、県内の文化施設で公開展示する事業で、開催館との協働でテーマ、作品選定から実務までを行う。今年度は富岡町で開催した。

###### (ア) 「世界／日本／福島の名作」

- a 会期 平成 29 年 11 月 8 日(水)～22 日(水)
- b 会場 富岡町文化交流センター学びの森 小ホール(双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1)
- c 展示数 40 点
- d 主催 富岡町、富岡町教育委員会、福島県立美術館
- e 観覧料 無料
- f 観覧者数 346 名
- g 概要

東日本大震災発生から 6 年後の 2017 年 4 月、富岡町は帰町宣言した(帰還困難区域を除く)。当館では被災地域復興支援として「移動美術館」を提案し、同町でも地域活性化事業の一つとしてこれを受け入れた。会場となった文化交流センターは、震災で大きな被害を受けたが、その後の改修工事で使用可能な状態まで復旧していた。

展示内容は同町の希望をもとに展示構成を図り、ロダン、ルノワール、シャガール、ルオーら世界の名作、佐藤忠良や舟越保武ら日本を代表する彫刻家、福島県にゆかりのある斎藤清や富岡高校の校長を勤めたことがある渡辺良雄の作品など 40 点を展示した。

移動展開催当時の同町の帰町人口は 304 人だが、展覧会はこれを上回る 346 人の観覧者があった。

###### h 関連事業

ギャラリートーク

期日 11 月 12 日(日)

解説 伊藤匡(当館専門員) 参加者 10 名

#### (2) 企画展

今年度は 6 回の企画展示を開催し、国内外の様々な文化を紹介した。

##### ア 国立西洋美術館所蔵

ミューズ：まなざしの先の女性たち

###### (ア) 会期 平成 29 年 4 月 22 日(土)～7 月 2 日(日)

###### (イ) 分野 絵画、彫刻、版画、工芸

###### (ウ) 展示数 103 点

###### (エ) 主催 国立西洋美術館、福島県立美術館、福島県教育委員会

後援 福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局、NHK 福島放送局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしま FM



(オ) 観覧料 一般・大学生 1,000 円、高校生 600 円、  
小・中学生 400 円

(カ) 観覧者数 10,571 名

(キ) 概要

本展では、東京・上野の国立西洋美術館のコレクションから、女性にまつわる西洋美術の名品を 8 つのテーマに沿って展示した。ルネサンスから印象派を経て 20 世紀に至るまで約 500 年の西洋絵画 (40 点)、彫刻 (6 点)、版画 (47 点) に加え、貴重な指輪作品 (10 点) も出品された。

福島県ではあまり見る機会の少ない西洋美術 (特に印象派以前) に焦点を当てた展覧会として、有意義な機会となった。なお、本展は平成 29 年度国立美術館巡回展として、その後秋田県立近代美術館に巡回した。

(ク) 関連事業

a 講演会①「国立西洋美術館と松方コレクション」

期日 5 月 20 日 (土)

講師 村上博哉 (国立西洋美術館副館長兼学芸課長)

会場 当館講堂 参加者 60 名

b 講演会②「アルカディアの女性たち」

期日 6 月 3 日 (土)

講師 高橋健一 (和歌山大学准教授)

会場 当館講堂 参加者 65 名

c スライドトーク

期日 6 月 24 日 (土)

講師 川瀬佑介 (国立西洋美術館主任研究員)

会場 当館講堂 参加者 50 名

d ギャラリートーク

①5 月 13 日 (土) 解説 坂本篤史 (当館副主任学芸員)

②6 月 10 日 (土) 解説 坂本篤史 (当館副主任学芸員)

イ ジャック=アンリ・ラルティエグ

幸せの瞬間をつかまえて

(ア) 会期 平成 29 年 7 月 22 日 (土)～9 月 10 日 (日)

(イ) 分野 写真

(ウ) 展示数 205 点

(エ) 主催 福島県立美術館

後援 在日フランス大使館、アンスティチュ・フランス日本

協力 富士フィルムイメージングシステムズ株式会社

企画協力 (株) コンタクト

(オ) 観覧料 一般・大学生 1,000 円、高校生 600 円、  
小・中学生 400 円

(カ) 観覧者数 4,142 名

(キ) 概要

ジャック=アンリ・ラルティエグは、1894 年生まれのフランスの写真家。8 歳で写真と出会い、アマチュア写真家として幸せな時間を記録し続けた。裕福な家庭に育ち、20 世紀初頭のベル・エポックとよばれた時代の最先端の風俗、自動車レース、飛行機、テニス、海辺のヴァカンス、最新モード女性などが生き生きと捉えられた作品か

らは、郷愁と臨場感が伝わってくる。

本展ではフランス、ラルティエグ財団所蔵の幼少期から晩年までの代表作品に加え、日本初公開を含むカラー写真作品など、写真約 160 点、資料 45 点を展示し、ラルティエグが終生追い求めた幸福の姿を紹介した。

また、関連展示として、同時代の福島を中心とした芸術写真家たちの当館コレクション作品も展示し、写真愛好の広がりを見せた。

(ク) 関連事業

a ゲストトーク

「ラルティエグ ; アマチュアから写真史の巨匠へ」

期日 8 月 6 日 (日)

講師 金子隆一 (写真史家)

会場 当館企画展示室 参加者 : 60 名

b スペシャルトーク

「ラルティエグと堀内誠一のはなし」

期日 8 月 27 日 (日)

講師 堀内花子 (堀内誠一長女)

会場 当館講堂 参加者 60 名

c ギャラリートーク

①7 月 29 日 (土) 解説 堀 宜雄 (当館専門学芸員)  
参加者 45 名

②8 月 19 日 (土) 解説 白木ゆう美 (当館学芸員)  
参加者 52 名

③9 月 8 日 (金) 解説 橋本恵里 (当館学芸員)  
参加者 60 名

ウ 生誕 110 年・没後 20 年記念 斎藤清からのメッセージ

(ア) 会期 平成 29 年 10 月 7 日 (土)～12 月 10 日 (日)

(イ) 分野 版画

(ウ) 展示数 231 点

(エ) 主催 福島県立美術館

共催 斎藤清画伯顕彰協議会

特別協力 福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ

後援 福島市、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局、NHK 福島放送局、ラジオ福島、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしま FM

協力 やないづ町立斎藤清美術館

助成 公益財団法人花王芸術・科学財団

(オ) 観覧料 一般・大学生 1,000 円、高校生 600 円、  
小・中学生 400 円

(カ) 観覧者数 9,534 名

(キ) 概要

福島県会津坂下町出身の版画家・斎藤清の生誕 110 年、没後 20 年を記念して、10 年ぶりの展覧会を開催した。展覧会は 2 部構成とし、第 1 部では「斎藤清の造形」として代表作を年代ごとにその表現に着目、第 2 部では「斎藤清と会津」として、会津を主題とした

作品、特に1970年からの《会津の冬》シリーズ全115点を展示した。木版画、コラグラフ、ドライポイント、墨画、スケッチなど作品231点のほか、版木などの資料も展示し、斎藤の生涯にわたる造形表現の変化を追った。初期の装幀や挿絵の仕事や、斎藤の作品が県内で親しまれるようになった背景について、県内における支援の有り様などを紹介した。

展覧会はやないづ町立斎藤清美術館と同時期に開催し、斎藤清画伯顕彰協議会の協力も得て、多くの人に斎藤清の芸術について改めて知ってもらう機会となった。

#### (ク) 関連事業

##### a 講演会「斎藤清の芸術—その国際的評価をめぐって」

期日 10月29日(日)

講師 桑原規子(聖徳大学教授)

会場 当館講堂 参加者 50名

##### b 講演会「斎藤清の創造力と美」

期日 11月23日(木・祝)

講師 早川博明(当館館長)

会場 当館講堂 参加者 60名

##### c ギャラリートーク

①11月4日(火) 参加者 40名

②11月16日(木) 参加者 5名

③11月30日(木) 参加者 10名

④12月2日(土) 参加者 40名

解説 紺野朋子(当館副主任学芸員)

#### エ Gallery F 2018 コレクション再発見

(ア) 会期 平成30年2月3日(土)～3月4日(日)

(イ) 分野 絵画、版画、立体、工芸、資料

(ウ) 展示数 164点

(エ) 主催 被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

(構成員: 福島県立美術館、あだたら高原美術館-ao-, 美術館とまちづくり研究会、福島造形サークル、福島大学H29芸術文化クラス)

\*平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

(オ) 観覧料 無料

(カ) 観覧者数 1,528名

(キ) 概要

「Gallery F」とは、当館のコレクションの中から、今まで紹介できなかった作品や新収蔵・寄託作品を取り上げ、あるいはテーマを絞って掘り下げる小さな展覧会である。今年度は3つのGallery Fを開催した。

「生誕110年渡部菊二展」は会津若松出身の水彩画家・渡部菊二生誕110年を記念した展覧会。戦前、菊二と共に若松で切磋琢磨した若き水彩画家たちの活動も含めて紹介した。

「小川千甕と門間春雄」では、大正期に福島を訪れた京都の画家・小川千甕と千甕を招いた福島の歌人・門間春雄の作品や資料を紹介し、福島の文芸と美術の交流を振り返った。

「実践福島県立美術館アートカード」は、今年度から活用が開始された鑑賞用補助教材「福島県立美術館アートカード」を使って、桜の聖母学院小学校5年生28名が考えた「みて、かんじて、あじわう展覧会」を開催した。

#### (ク) 関連事業

##### a ギャラリートーク

①2月10日(土) 解説 増渕鏡子(当館専門学芸員)

参加者 30名

②2月24日(土) 解説 荒木康子(当館学芸課長)

参加者 20名

##### b スペシャル・ギャラリートーク

期日 2月3日(土)

解説 後藤 學(喜多方市美術館長)

参加者 50名

##### c 桜の聖母小学生によるギャラリートーク

期日 2月17日(土)

解説 桜の聖母学院小学校5年生28名

参加者 80名

#### オ 長谷川利行展

(ア) 会期 平成30年3月24日(土)～4月22日(日)

(イ) 分野 絵画

(ウ) 展示数 140点

(エ) 主催 福島県立美術館

協力 長谷川利行の会

(オ) 観覧料 一般・大学生1,000円、高校生600円、小・中学生400円

(カ) 観覧者数(平成30年3月31日まで) 600名

(キ) 概要

伝説の洋画家、長谷川利行(1891-1940)。木賃宿をめぐらし、友人知人の肖像を素早い筆さばきで描いては、その絵を売りつけ金をせびる風来坊。しかし、対象の本質をわしづかみにする利行の作品は、近代日本絵画の到達した一つの極である。原色を多用しながら、水墨画の静けさすら感じさせる長谷川利行の芸術を回顧した。

本展は、福島会場を立ち上がり、東京、愛知、福岡、栃木に巡回する。

#### (ク) 関連事業

##### a ゲストトーク

期日 3月24日(土)

解説 小林真結(府中市美術館学芸員)

参加者 50名

##### b 担当学芸員によるギャラリートーク

期日 3月25日(日)

解説 堀 宜雄(当館専門学芸員)

参加者 30名

## 4 調査研究事業

### (1) 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

今年度は県内の美術品調査と、県内出身作家やゆかりの作家、収蔵作家（斎藤清、渡部菊二、小川千甕、横山操等）の調査を重点的に行った。

## 5 普及事業

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、学校と連携しての出張講座等を行っている。

### (1) 館内解説

学校や公民館その他の団体での鑑賞者のために、鑑賞前に学芸員が美術館の概要、鑑賞のマナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

今年度の団体総数は104団体2,856人、そのうち解説を行ったのは63団体1,987人である。

### (2) 鑑賞講座

館長講座「パリの異邦人 エコール・ド・パリの画家たち」

講師：早川博明（当館館長）

第1回「モディリアーニ」

日時 平成29年5月13日（土） 参加者 34名

第2回「シャガール」

日時 平成29年7月8日（土） 参加者 35名

第3回「キスリングとパスキン」

日時 平成29年9月9日（土） 参加者 31名

第4回「藤田嗣治」

日時 平成29年11月11日（土） 参加者 38名

第5回「スーティンとザッキン」

日時 平成30年1月13日（土） 参加者 23名

第6回「ユトリロとマリー・ローランサン」

日時 平成30年3月10日（土） 参加者 30名

### (3) 創作プログラム

広く県民各層の美術に関する関心をふまえ、美術創作と鑑賞の理解を深める一助とする目的で、各種プログラムを実施している。

「親子で作ろう！シルバーアクセサリ」

期日 平成29年5月3日（水）

講師 竹田智美（PMC ジャパン認定講師）

参加者 16名

「リトグラフで描こう」

期日 平成29年6月17日（土）、18日（土）

講師 宮崎文子（版画家） 参加者 12名

「水鉄砲でTシャツ作り！」

期日 平成29年7月15日（土）

講師 青山ひろゆき（画家） 参加者 16名

「チェキで撮ろう！〇〇の瞬間」

期日 平成29年7月30日（日）、8月2日（水）、5日（土）

講師 白木ゆう美（当館学芸員）、國島敏（当館主任学芸員） 参加者 34名

「ぐるぐるまわる！回転絵画をえがこう！」

期日 平成29年8月20日（日）

講師 國島敏（当館主任学芸員） 参加者 8名

「どきどきわくわく！ピンホールカメラ体験」

期日 平成29年9月2日（土）、3日（日）

講師 千葉奈穂子（写真家） 参加者 8名

「多色木版画の制作 木目と色彩のハーモニー」

期日 平成29年10月9日（月）、14日（土）、21日（土）、29日（日）

講師 太田隆明（版画家） 参加者 12名

「なりきり！清先生 版でつくる動物たち」

期日 平成29年11月5日（日）

講師 白木ゆう美（当館学芸員）、國島敏（当館主任学芸員） 参加者 5名

「軽銀でつくるキャンドルトレー」

期日 平成29年12月23日（日）

講師 牧野広大（金属工芸作家） 参加者 16名

「湧水画（わきみずが）」

期日 平成30年2月11日（日）

講師 古川弓子（美術家） 参加者 9名

### (4) 美術館・学校教育連携事業

ア 学校連携共同ワークショップ

学校からの要望をもとに平成15年度より開催する連携事業。子どもたちが作家と触れ合う機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心にした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通して美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域へも文化事業の還元を図る。

今年度は幼稚園・小・中・高校合わせて12校で開催した。ワークショップ作品は平成29年12月16日（土）～24日（日）、および平成30年1月6日（土）～14日（日）の期間、当館企画展示室Bにて活動中のスナップ写真とあわせて展示。さらに平成30年2月7日（水）～12日（月）までいわき市暮らしの伝承郷でも展示した。

イ 「デコって張りこる！不思議で楽しい張り子づくり」

講師 橋本彰一（工芸家）

開催校および参加人数

学校法人富田幼稚園 参加者 103名

認定こども園ぼだい樹 参加者 44名

二本松市立渋川小学校 参加者 14名

いわき市立平第二小学校（特別支援） 参加者 10名

二本松市立安達中学校 参加者 13名

会津若松市立第一中学校 参加者 20名

福島県立小野高等学校 参加者 25名

福島市立福島養護学校高等部 参加者 16名

- (イ) 「紙で絵地図をつくろう！」  
 講師 佐藤洋美 (デザイナー、コラージュ作家)  
 開催校および参加人数  
 学校法人西郷幼稚園 参加者 136名  
 福島市立杉妻幼稚園 参加者 45名  
 学校法人開南幼稚園 参加者 38名  
 会津美里町立高田中学校 参加者 86名

- イ 先生と考える美術館ミーティング  
 小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開講する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。  
 今年度は、前期 (県教育センター) 後期 (当館) の 2 回に分けて開催した。  
 期日 平成 29 年 8 月 7 日 (月)、11 月 9 日 (木)  
 参加者 小学校教諭 3 名、中学校教諭 5 名、高等学校教諭 2 名、支援学校 1 名 計 11 名

#### (5) 美術館への年賀状展

- 県内の小中学生から寄せられた手作り年賀状を展示した。  
 会期 平成 30 年 1 月 12 日 (金) ~ 31 日 (水)  
 応募数 427 枚

#### (6) 博物館実習

- 学芸員資格取得のため実習を希望する大学生を受け入れ、カリキュラムを組んで指導している。  
 期日 平成 29 年 8 月 22 日 (火) ~ 27 日 (日)  
 実習生 6 名

#### (7) 友の会、協力会との連携事業

- ア 友の会通常総会  
 期日 平成 29 年 5 月 21 日 (日)  
 会場 美術館講義室 参加者 20 名
- イ 友の会美術鑑賞講座  
 「斎藤清からのメッセージ」  
 期日 平成 29 年 10 月 14 日 (土)  
 講師 早川博明 (館長) 参加者 20 名
- ウ 友の会実技講座  
 「サイアノタイプ体験」  
 期日 平成 29 年 9 月 10 日 (日)  
 講師 國島 敏 (当館主任学芸員) 参加者 6 名
- エ 友の会研修旅行  
 「本間美術館、土門拳記念館」  
 期日 平成 29 年 9 月 3 日 (日)  
 参加者 酒井哲朗 (名誉館長)、早川博明 (館長)、伊藤匡 (当館専門員) ほか 計 45 名
- オ 友の会アートチャリティ・バザー  
 会期 平成 29 年 12 月 3 日 (土)  
 会場 当館エントランスホール 参加者 約 200 名
- カ ミュージアム・コンサート  
 福島県立美術館協力会、福島県立美術館友の会との共同開催によるコンサート。  
 「春を呼ぶジャズ&ポピュラー名曲の宴」  
 期日 平成 30 年 3 月 3 日 (土)

- 会場 当館エントランスホール (参加無料)  
 演奏 斎藤栞 (ヴォーカル)、三鈿美香 (キーボード)、岩谷真 (ベース)、Mr. Gretch (ドラムス)  
 参加者 約 250 名

- キ ワークショップ「アート〜ものづくりの庭〜」  
 美術館庭園にテントを設置して当館収蔵作品をテーマに「もの作りワークショップ」を開催した。  
 期日 平成 29 年 9 月 23 日 (土)  
 会場 当館庭園  
 協力 福島県立美術館協力会  
 参加者 約 700 名
- ク 触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ  
 斎藤清「会津の冬」を取り上げ、視覚障がい者と晴眼者と一緒に作品鑑賞を楽しんだ。  
 期日 平成 29 年 11 月 3 日 (金)  
 会場 当館実習室、企画展示室 (参加無料)  
 講師 真下弥生 (ルーテル学院大学非常勤講師)、半田こづえ (明治学院大学非常勤講師)  
 協力 福島県点字図書館、福島県立美術館協力会  
 参加者 20 名
- ケ アートカード『ぼけっとアート』貸し出し  
 平成 29 年度 4 月より鑑賞補助教材『ぼけっとアート』の貸し出しをはじめた。  
 対象 県内の小・中・高校その他教育関係機関  
 貸出総数 78 か所、368 セット  
 協力 福島県立美術館協力会

#### (8) その他の事業

- ア 県立図書館との連携事業「アートなおはなしかい」  
 小学生とその保護者を対象にした、図書館での絵本の読み聞かせと工作ワークショップ。  
 期日 平成 29 年 12 月 9 日 (土)  
 参加者 30 名
- イ 館外での活動  
 (ア) 委員の委嘱等  
 ・いわき市立美術館収集評価委員 (荒木康子学芸課長)  
 ・「新しいAIZU の美術展」選考委員 (荒木康子学芸課長)  
 ・福島市写真美術館運営委員 (堀宜雄専門学芸員)  
 ・裏磐梯猪苗代フォトコンテスト審査員 (堀宜雄専門学芸員)  
 ・宇都宮美術館美術作品等収集評価委員 (増渕鏡子専門学芸員)  
 ・相馬市史調査編さん委員 (増渕鏡子専門学芸員)  
 ・須賀川市歴史文化基本構想策定委員 (増渕鏡子専門学芸員)  
 ・一般財団法人可月亭庭園美術館評議員 (増渕鏡子専門学芸員)  
 ・西会津国際芸術村公募展審査員 (坂本篤史副主任学芸員)
- (イ) 寄稿、発表、受賞等  
 ・福島大学行政政策学類「博物館経営論」講師 平成 29 年 4 月 11 日 (火) ~ 7 月 15 日 (火) 全 15 回 (伊藤匡専門員)  
 ・宮城県美術館「ミニレクチャー+ディスカッション 美術館の『コレクション』をめぐる」平成 29 年 6 月 11 日 (日) (荒木康子学芸課長)

- ・福島民報社講座「民報ランチ会 7月例会 世界的版画家・斎藤清氏に学ぶ講演会」講師 平成 29 年 7 月 25 日(火)、27 日(木) (紺野朋子副主任学芸員)
- ・国見町小坂総合農村管理センター「斎藤清と西洋の名画」講師 平成 29 年 8 月 27 日(日) (早川博明館長)
- ・二本松市レポートあだち「レモン忌講演会 智恵子の横貌—『青鞥』表紙絵のナゾ—」講師 平成 29 年 10 月 1 日(日) (堀宜雄専門学芸員)
- ・福島民友新聞社講座「第 35 期民友カルチャー教室教養講座『斎藤清からのメッセージ展』解説」講師 平成 29 年 10 月 27 日(金) (紺野朋子副主任学芸員)
- ・喜多方市美術館ギャラリートーク「喜多方美術倶楽部から 100 年—大正時代・昭和の美術—」講師 平成 29 年 12 月 16 日(土) (増淵鏡子専門学芸員)
- ・福島市アクティブシニアセンターアオウゼ講座「名画でたどる美の世界～福島県立美術館コレクションより～」講師 平成 30 年 2 月 23 日(金) (坂本篤史副主任学芸員)

## 第14節 福島県立博物館

### 1 概要

福島県立博物館は、資料収集・展示・調査研究・教育普及事業を中心に、内容の充実を図っている。平成29年度の博物館活動の概要は次のとおりである。

#### (1) 運営協議会

博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

##### ア 運営協議会委員

学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者10名に委嘱している。平成13年1月からは、委員の選考に一部公募方式を導入した。

学校教育 鈴木 充子 いわき市立長倉小学校長  
和田 節子 飯館村立飯館中学校長  
加藤 知道 会津学鳳高等学校長

社会教育 杉 昭重 (公財)福島県文化振興財団理事長

鈴木 静人 いわき市立中央公民館長  
学識経験者 佐藤彌右衛門 合資会社 大和川酒造店代表社員

長尾 修 博物館友の会幹事長  
秋月 順子 会津若松市教育委員会委員  
大友 靖子 福島県家庭教育インストラクター連絡協議会理事

公 募 山口昂太郎 棚倉町文化団体連絡協議会長

##### イ 会議

第1回 平成29年6月8日(木)

##### 議題

- ① 会長・副会長の選出について
- ② 平成29年度事業計画について
- ③ 中期目標の達成状況について

第2回 平成30年2月15日(木)

##### 議題

- ① 平成29年度事業の概要について
- ② 平成29年度実績中期目標(12月末現在)について
- ③ 平成30年度事業計画について

### 2 資料収集事業

#### (1) 収集展示委員会

##### ア 収集展示委員会委員

館の収集資料、企画展の計画等についての審議のため、12人を委嘱している。

##### 福島県立博物館収集展示委員会 委員名簿

| 氏名    | 役職名                 | 備考   |
|-------|---------------------|------|
| 有賀 祥隆 | 東北大学名誉教授・東京藝術大学客員教授 | 委員長  |
| 野沢 謙治 | 郡山女子大学短期大学部文化学科教授   | 副委員長 |

| 氏名    | 役職名                           | 備考 |
|-------|-------------------------------|----|
| 入間田宣夫 | 一関市博物館館長                      | 委員 |
| 大石 雅之 | 岩手県立博物館研究協力員、東北大学総合学術博物館協力研究員 | 委員 |
| 岡田 清一 | 東北福祉大学大学院嘱託教授                 | 委員 |
| 佐々木利和 | 北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授        | 委員 |
| 原田 一敏 | 東京藝術大学大学美術館教授                 | 委員 |
| 三上 喜孝 | 国立歴史民俗博物館准教授                  | 委員 |
| 村川 友彦 | 福島県史学会会長、元福島県歴史資料館課長          | 委員 |
| 柳田 俊雄 | 東北大学名誉教授、東北大学総合学術博物館協力研究員     | 委員 |

##### イ 会議

平成29年8月3日(木)

##### 議題

- ① 今後3年間の展示計画について
- ② 平成29年度冬及び30・31年度開催予定企画展について
- ③ 平成28・29年度購入・寄贈資料について
- ④ その他

#### (2) 受贈・受託

##### ア 歴史資料

##### (ア) 受贈

|                         |     |    |
|-------------------------|-----|----|
| 米軍ビラほか                  | 21件 | 個人 |
| 渋谷源蔵旧蔵資料                | 6件  | 個人 |
| 商家教誡秘録                  | 1件  | 個人 |
| 土津神社告文(鳥羽伏見開戦一同奮戦につき)ほか | 7件  | 個人 |

##### (イ) 受託

|                  |     |    |
|------------------|-----|----|
| 藤原尚古筆 会津藩白虎殉難図ほか | 54件 | 個人 |
| 松平容保肖像ほか         | 3件  | 個人 |
| 松平容保書状(原田対馬宛)ほか  | 2件  | 個人 |
| 石井家文書ほか          | 7件  | 個人 |
| 会津藩弾薬箱           | 1件  | 個人 |
| 松平容保肖像 説明板       | 1件  | 個人 |
| 会津藩蠟漆制度秘書        | 1件  | 個人 |

##### イ 美術資料

##### (ア) 受贈

|                |     |    |
|----------------|-----|----|
| 金地松喰鶴漆絵屠蘇器七ツ揃  | 1件  | 個人 |
| 一分銀ほか          | 4件  | 個人 |
| 盆踊り漆絵盃 附黒漆椀ほか  | 12件 | 個人 |
| 遠藤香村他書画寄書      | 1件  | 個人 |
| 遠藤香村筆「十六橋図」ほか  | 2件  | 個人 |
| 朱塗高砂図沈金三ツ組盃    | 1件  | 個人 |
| 藤蒔絵平棗ほか        | 4件  | 個人 |
| 遠藤香村筆「山水図屏風」ほか | 17件 | 個人 |

(イ) 受託

|                                  |     |    |
|----------------------------------|-----|----|
| 佐竹永海筆「太公望図」ほか                    | 3件  | 個人 |
| 開発好明制作写真・造形作品<br>「新世界ピクニック(福島篇)」 | 1件  | 個人 |
| 小平瀧天神御本殿七分の一之建図ほか                | 10件 | 個人 |
| 聖徳大神鐘 天人像 拓本ほか                   | 5件  | 個人 |
| 稲穂小判図ほか                          | 37件 | 個人 |
| 竹内澤与「朝陽図」                        | 1件  | 個人 |

ウ 民俗資料

(ア) 受贈

|                 |     |    |
|-----------------|-----|----|
| 掛け時計ほか          | 14件 | 個人 |
| 図面類ほか           | 17件 | 個人 |
| 木製スキー板ほか        | 2件  | 個人 |
| 前掛け(森永牛乳)       | 1件  | 個人 |
| 家相図             | 1件  | 個人 |
| 手漉き和紙一式ほか       | 2件  | 個人 |
| 真空管ラジオ(叡山号四号)ほか | 2件  | 個人 |
| 万石              | 1件  | 個人 |
| 蓑ほか             | 27件 | 個人 |
| 手回し式計算機         | 1件  | 個人 |
| 鋸ほか             | 7件  | 個人 |
| 鋸ほか             | 20件 | 個人 |
| 必要上曲線自由定規       | 1件  | 個人 |
| 諸織物覚帳ほか         | 2件  | 個人 |
| 写真(アルバム等)ほか     | 4件  | 個人 |
| 電気掃除機           | 1件  | 個人 |

(イ) 受託

|                          |      |    |
|--------------------------|------|----|
| 旧修験高橋家所蔵修験資料(県指定重要文化財含む) | 242件 | 個人 |
|--------------------------|------|----|

エ 考古資料

(ア) 受託

|          |     |             |
|----------|-----|-------------|
| 荒屋敷遺跡出土品 | 18件 | 三島町教育委員会教育長 |
|----------|-----|-------------|

オ 自然資料

(ア) 受贈

|         |    |    |
|---------|----|----|
| 浅貝層産玄能石 | 1件 | 個人 |
|---------|----|----|

(イ) 受託

|            |     |    |
|------------|-----|----|
| 南相馬地域産化石標本 | 36件 | 個人 |
|------------|-----|----|

カ 震災遺産

(ア) 受贈

|                                    |    |  |
|------------------------------------|----|--|
| 避難所対応関係文書                          | 7件 |  |
| 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会理事長<br>久之浜商店街案内板 | 1件 |  |
| 西武企画株式会社 代表取締役<br>久之浜ふるさとの記憶模型     | 1件 |  |
| いわき市立久之浜第一小学校長<br>久之浜街並み模型(小型)     | 1件 |  |
| 久之浜大久地区まちづくりサポートチーム                |    |  |

(3) 購入

ア 民俗資料

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 民俗文化映像研究所 映像民俗学シリーズ<br>DVD「日本の姿」 | 1件 |
|----------------------------------|----|

イ 美術資料

|            |    |
|------------|----|
| 竹内澤與筆「朝陽図」 | 1件 |
|------------|----|

ウ 自然資料

|                  |    |
|------------------|----|
| 放散虫アクリル樹脂立体模型    | 2件 |
| ペルム紀魚類化石(レプリカ)ほか | 8件 |

エ 図書資料

(ア) 一般図書

考古分野 28冊、民俗分野 33冊、美術分野 15冊、  
自然分野 29冊、保存分野 10冊、共通 2冊 計 122冊

(イ) 定期刊行物

定期刊行物リスト (平成30年3月31日現在)

| No. | 定期購読雑誌        | 分野   |
|-----|---------------|------|
| 1   | 考古学研究         | 考古   |
| 2   | 宗教研究          | 民俗   |
| 3   | 民具研究          | 民俗   |
| 4   | ナショナルジオグラフィック | 共通   |
| 5   | 第四紀研究         | 自然   |
| 6   | ヒストリア         | 歴史   |
| 7   | 考古学雑誌         | 考古   |
| 8   | 日本民俗学         | 民俗   |
| 9   | 信濃            | 共通   |
| 10  | ミュゼ           | 共通   |
| 11  | 史林            | 共通   |
| 12  | 史学雑誌          | 歴史   |
| 13  | 歴史評論          | 歴史   |
| 14  | 地方史研究         | 歴史   |
| 15  | 日本史研究         | 歴史   |
| 16  | 日本歴史          | 歴史   |
| 17  | 歴史学研究         | 歴史   |
| 18  | 美術手帳          | 美術   |
| 19  | 芸術新潮          | 美術   |
| 20  | 国華            | 美術   |
| 21  | 古代文化          | 考古   |
| 22  | 文化財発掘出土情報     | 考古   |
| 23  | 考古学ジャーナル      | 考古   |
| 24  | 季刊考古学         | 考古   |
| 25  | 日経サイエンス       | 自然   |
| 26  | 科学            | 自然   |
| 27  | 化学            | 保存科学 |
| 28  | 海洋            | 自然   |
| 29  | 地球            | 自然   |
| 30  | 月刊文化財         | 共通   |
| 31  | たくさんのふしぎ      | 共通   |
| 32  | ニュートン         | 共通   |

### 3 保存管理事業

#### (1) 資料の収蔵

##### ア 博物館資料

資料受入れ時点における収蔵資料件数の、現在までの累計を示す。件数は概数であり、「一括」で受け入れた資料も1件と数える。

##### 収蔵資料数 (平成30年3月31日現在)

| 分野   | 件数      | 備 考               |
|------|---------|-------------------|
| 考古   | 20,419  | 土器・石器・金属器ほか       |
| 民俗   | 13,509  | 生活・生業・交通・信仰・芸用具ほか |
| 歴史   | 22,242  | 書籍・文書資料ほか         |
| 美術   | 6,566   | 絵画・彫刻・工芸資料ほか      |
| 自然   | 49,644  | 化石・岩石・鉱物ほか        |
| 震災遺産 | 39      | 文書資料ほか            |
| 合計   | 112,419 |                   |

##### イ 図書および映像資料

##### (ア) 収蔵図書数 (平成30年3月31日現在)

考古分野：26,963冊 民俗分野：4,884冊  
 歴史分野：10,581冊 美術分野：4,361冊  
 自然分野：17,209冊 保存分野：1,758冊  
 その他：56,610冊 合計：122,366冊

##### (イ) 収蔵映像資料数 (平成29年3月31日現在)

収蔵映像資料総数：1,373点

#### (2) 登録・整理

##### ア 資料管理システムの運用

平成25年度中に、それまでのサーバクライアント方式による資料管理システムに換えて、新たにASP方式の博物館資料管理専用システムである早稲田システム開発株

式会社製 I.B. Museum SaaS を導入した。新システムは県教育委員会のFKS回線を介してインターネットに接続した端末パソコンより使用するものとし、それまで使用してきた資料管理システム専用LAN回線はFKS回線に一本化した。

新システムでは多数のデータの一括登録や一括修正が可能となり、また、経年的なランニングコストが削減された。更に、インターネット上での資料情報の外部公開が可能となった。

資料管理システム本来の目的である資料の登録および資料情報の外部公開に関しては運用が軌道に乗り、各種登録作業などがほぼ順調に進められるようになった。しかし運用が本格化するにつれ、使用中に発見される書式や登録方法の設定ミス等は引き続き散見され、これらはそのつど修正に努めており、自力で修正出来ないものについては内容を書き出して、一括して早稲田システムに修正を依頼する必要がある。また、有償の改修が必要な一部項目の再構成については、予算措置を待って改修する予定である。

##### イ 資料の登録・資料情報の外部公開

整理が終了した資料のデータを資料管理システムに入力し、資料の登録を行った。表中の数値は登録済み資料の件数を示す。また、システムの資料情報外部公開機能を使用し、インターネット上で公開する所蔵資料情報を新たに追加した。本年度は、収蔵資料の登録数および資料情報の外部公開数ともに中期目標の評価指標を達成した。ただし各分野により達成度にばらつきが見られる。引き続き資料情報の外部公開において検索機能をより使いやすく改良することが望まれるが、システムがASP方式であるため実施可能な修正に制限があり、相当の工夫と時間が必要となる。

#### 平成29年度収蔵指定文化財一覧

(平成30年3月31日現在)

| 連番 | 指定者 | 指定種別  | 資料種類 | 指定番号 | 資料名                   | 点数 | 単位 | 備考         |
|----|-----|-------|------|------|-----------------------|----|----|------------|
| 1  | 国   | 重要文化財 | 絵画   | 1903 | 絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図       | 1  | 幅  | 館蔵         |
| 2  | 国   | 重要文化財 | 絵画   | 6    | 紙本着色蒲生氏郷像             | 1  | 幅  | 寄託         |
| 3  | 国   | 重要文化財 | 工芸品  | 2065 | 銅鉢                    | 2  | 口  | 指定4口中の2口寄託 |
| 4  | 国   | 重要文化財 | 工芸品  | 2187 | 椿彫木彩漆笈                | 1  | 背  | 館蔵         |
| 5  | 国   | 重要文化財 | 工芸品  | 981  | 白銅三鈷杵                 | 1  | 点  | 寄託         |
| 6  | 国   | 重要文化財 | 工芸品  | 2055 | 刺繍阿弥陀名号掛幅             | 1  | 幅  | 寄託         |
| 7  | 国   | 重要文化財 | 考古資料 | 352  | 会津大塚山古墳出土品            | 一括 |    | 寄託         |
| 8  | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 7    | 絹本着色仏涅槃図・如意輪観音像・愛染明王像 | 3  | 幅  | 寄託         |
| 9  | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 10   | 絹本着色松平楽翁像             | 1  | 幅  | 館蔵         |
| 10 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 25   | 絹本着色達磨図               | 1  | 幅  | 寄託         |
| 11 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 26   | 絹本墨画著色寒山図・絹本墨画著色拾得図   | 2  | 幅  | 寄託         |
| 12 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 9    | 絹本着色十六善神像             | 1  | 幅  | 寄託         |
| 13 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 3    | 紙本着色千葉妙見寺縁起           | 2  | 巻  | 寄託         |
| 14 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 13   | 絹本着色名体不離阿弥陀画像         | 1  | 幅  | 寄託         |
| 15 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 27   | 絹本着色熊野曼陀羅図            | 1  | 幅  | 寄託         |



| 連番 | 指定者 | 指定種別    | 資料種類 | 指定番号 | 資料名                    | 点数  | 単位 | 備考         |
|----|-----|---------|------|------|------------------------|-----|----|------------|
| 16 | 福島県 | 重要文化財   | 絵画   | 28   | 絹本著色普賢菩薩像              | 1   | 幅  | 寄託         |
| 17 | 福島県 | 重要文化財   | 絵画   | 2    | 紙本著色両界種子曼荼羅            | 2   | 幅  | 寄託         |
| 18 | 福島県 | 重要文化財   | 絵画   | 6    | 絹本著色土津神社霊神画像           | 1   | 幅  | 指定9幅中の1幅寄託 |
| 19 | 福島県 | 重要文化財   | 彫刻   | 4    | 木造大日如来坐像               | 1   | 軀  | 寄託         |
| 20 | 福島県 | 重要文化財   | 彫刻   | 29   | 木造地藏菩薩坐像               | 1   | 軀  | 寄託         |
| 21 | 福島県 | 重要文化財   | 彫刻   | 81   | 銅造聖観音菩薩立像（羽黒山湯上神社）     | 1   | 軀  | 寄託         |
| 22 | 福島県 | 重要文化財   | 彫刻   | 23   | 銅造聖観音菩薩立像（福聚寺）         | 1   | 軀  | 寄託         |
| 23 | 福島県 | 重要文化財   | 工芸品  | 58   | 銅鉢                     | 1   | 口  | 寄託         |
| 24 | 福島県 | 重要文化財   | 工芸品  | 55   | 青磁牡丹唐草文大瓶              | 1   | 口  | 寄託         |
| 25 | 福島県 | 重要文化財   | 工芸品  | 18   | 鉄製の燈籠                  | 1   | 箇  | 寄託         |
| 26 | 福島県 | 重要文化財   | 工芸品  | 40   | 十一面観音版木                | 1   | 枚  | 寄託         |
| 27 | 福島県 | 重要文化財   | 工芸品  | 42   | 刺繍阿弥陀三尊来迎掛幅            | 1   | 幅  | 寄託         |
| 28 | 福島県 | 重要文化財   | 工芸品  | 53   | 大名家婚礼調度等               | 47  | 件  | 寄託         |
| 29 | 福島県 | 重要文化財   | 書跡   | 8    | 紙本墨書猪苗代兼載書八代集秀逸        | 1   | 巻  | 寄託         |
| 30 | 福島県 | 重要文化財   | 書跡   | 10   | 相馬家系図                  | 1   | 巻  | 寄託         |
| 31 | 福島県 | 重要文化財   | 典籍   | 3    | 家世実紀                   | 277 | 冊  | 館蔵         |
| 32 | 福島県 | 重要文化財   | 古文書  | 10   | 築田家文書                  | 一括  |    | 寄託         |
| 33 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 35   | 流麿寺跡出土金銀象嵌鉄剣           | 1   | 口  | 寄託         |
| 34 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 1    | 福島信夫山出土品               | 一括  |    | 館蔵         |
| 35 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 14   | 金銅製双魚袋金具               | 2   | 枚  | 館蔵         |
| 36 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 21   | 原山1号墳出土埴輪              | 一括  |    | 館蔵         |
| 37 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 28   | 常世原田遺跡出土品              | 一括  |    | 館蔵         |
| 38 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 2    | 田村山古墳出土品               | 一括  |    | 寄託         |
| 39 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 46   | 相馬・双葉地方の弥生時代石器         | 一括  |    | 館蔵         |
| 40 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 23   | 松野千光寺経塚出土品             | 一括  |    | 寄託         |
| 41 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 20   | 五職神経塚出土銅製経筒 附 石製外容器 3口 | 3   | 口  | 寄託         |
| 42 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 33   | 森北1号墳出土品               | 一括  |    | 寄託         |
| 43 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 40   | 荒屋敷遺跡出土品               | 一括  |    | 寄託         |
| 44 | 福島県 | 重要文化財   | 歴史資料 | 4    | 絹本著色恵日寺絵図              | 1   | 幅  | 寄託         |
| 45 | 福島県 | 重要文化財   | 歴史資料 | 5    | 陸奥国会津城絵図               | 1   | 鋪  | 館蔵         |
| 46 | 福島県 | 重要文化財   | 歴史資料 | 15   | 絹本著色飯豊山山道絵図            | 1   | 巻  | 寄託         |
| 47 | 福島県 | 有形民俗文化財 |      | 16   | 上行合人形                  | 368 | 点  | 寄託         |
| 48 | 福島県 | 有形民俗文化財 |      | 3    | (宇内薬師堂) 古絵馬            | 3   | 面  | 指定6面中の3面寄託 |
| 49 | 福島県 | 有形民俗文化財 |      | 31   | 旧修験高橋家所蔵修験資料           | 241 | 点  | 寄託         |
| 50 | 福島県 | 天然記念物   | 化石   | 63   | パレオパラドキシア化石梁川標本        | 1   | 体  | 館蔵         |

登録資料数・資料情報の外部公開数

(平成30年3月31日現在)

| 資料類別   | 登録資料<br>(平成29年度) | 登録資料<br>(累計) | 資料情報の外部公開<br>(平成29年度) | 資料情報の外部公開<br>(累計) |
|--------|------------------|--------------|-----------------------|-------------------|
| 考古資料類  | 96               | 12,130       | 769                   | 3,532             |
| 民俗資料類  | 221              | 14,251       | 1,008                 | 3,405             |
| 歴史資料類  | 427              | 41,468       | 2,284                 | 8,520             |
| 美術工芸品類 | 1                | 6,229        | 0                     | 23                |
| 自然標本類  | 279              | 24,969       | 1,215                 | 10,398            |
| 合計     | 1,024            | 99,047       | 5,276                 | 25,878            |

ウ ボランティア

博物館資料の整理のため、次の通り資料整理ボランティアを受け入れ、資料の整理を行った。

(ア) 自然資料整理

桑原 功 企画展「ふくしま5億年の自然史」展示作業補助 12日、化石標本整理 5日

星総一郎 企画展「ふくしま5億年の自然史」展示作業補助 3日

(イ) 古文書整理

古文書整理ボランティア登録者のうち9名が延べ54日参加し、斎藤美恵子家文書・本田徳壽家文書・本田信英家文書の整理作業（表題・年代・法量などのデータ採取）を行った。終了したのは191点。参加者は五十嵐晴日子、大堀義子、小関栄助、小檜山裕二、佐藤敏子、佐野喜惣次、鈴木清二、馬場純、星弘明の諸氏。

(3) 貸出

ア 博物館資料

貸出資料一覧

| 資料名                                                                            | 貸出先                   | 貸出期間                       | 展覧会名                          |
|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 蒲生記 2冊<br>蒲生氏郷画像(当館受託資料) 1幅                                                    | 仙台市博物館                | 平成29年9月～12月                | 特別展「伊達政宗―生誕450年記念」            |
| 原山1号墳出土埴輪のうち<br>冠を付けた男子像 1点<br>琴を弾く男子像 1点<br>女子像 1点<br>円筒埴輪 1点<br>円筒埴輪 1点      | 福島県文化財センター<br>白河館     | 平成29年9月5日～<br>12月15日       | 企画展「はにわ行進曲」                   |
| 三貫地貝塚出土品のうち<br>縄文土器深鉢 2点<br>縄文土器台付鉢 1点<br>縄文土器浅鉢 1点<br>縄文土器注口土器 1点<br>骨角器ヤス 4点 | 宮畑遺跡史跡公園<br>じょーもびあ宮畑  | 平成29年7月13日～<br>11月30日      | 企画展<br>「上岡遺跡発掘物語」             |
| 浦上玉堂「山林読書図」 1幅<br>浦上玉堂「野橋可立図」 1幅<br>浦上玉堂「青山弹琴図」 1幅                             | 足利市立美術館               | 平成29年10月27日～<br>平成30年1月10日 | 企画展「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」           |
| 蒲生羅漢「虚空蔵菩薩像・十一面観音像」 2幅<br>浦上玉堂「布袋山水図」 3幅                                       | 白河集古苑                 | 平成29年8月～11月                | 特別企画展「文晁門人 蒲生羅漢―白河のまちを飾った絵師―」 |
| 棚倉町流麿寺跡出土品のうち<br>13号平場 土師器杯 1点<br>13号平場 土師器高台付杯 1点<br>13号平場 鉄剣 1点              | 大田原市なす風土記の<br>丘湯津上資料館 | 平成29年8月29日～<br>12月28日      | 特別展<br>「那須の人々の心とほとけ」          |
| 正直9号墳出土石製模造品「斧」 2点                                                             | 新潟市文化財センター            | 平成29年9月19日～<br>12月27日      | 企画展<br>「古墳時代のお祭り」             |
| 木造建築継ぎ手一式                                                                      | 福島県森林保全課              | 平成29年9月24日～25日             | 平成29年度「福島県もりの案内人養成講座」         |
| 富岡町関連震災遺産(当館保管) 4点                                                             | 大安場史跡公園               | 平成29年10月19日～<br>12月17日     | 企画展「遺跡と災害」                    |
| 久之浜張り子 熊乗り金太郎 1点<br>久之浜張り子 馬 1点<br>久之浜張り子 お多福面 1点                              | いわき市暮らしの伝承館           | 平成29年11月29日～<br>平成30年3月25日 | 企画展<br>「久之浜張り子の世界展」           |

| 資料名                                                                                                                                                                | 貸出先           | 貸出期間                      | 展覧会名                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------|---------------------------------------------|
| 桐蔭絵鼓 1点<br>紫檀能尽蔭絵煙草盆 1点<br>松平容保書「和致芳」 1点<br>京都戦争之図 1点<br>松平容保書状 文久4年2月18日付 1点                                                                                      | 桑名市博物館        | 平成29年8月～12月               | 特別企画展<br>「幕末維新と桑名藩」                         |
| 近習人別帳(当館受託資料) 1冊<br>外様人別帳(当館受託資料) 1冊<br>告文(中将様京都守護職正四位下被仰付ニ付報告状(当館受託資料) 1通<br>告文(守護職中御役知五万石被下金三万兩拝借ニ付報告状)(当館受託資料) 1通                                               | 若松城天守閣郷土博物館   | 平成29年9月1日～<br>11月30日      | 秋季企画展「戊辰前夜」                                 |
| 家訓 1幅<br>藤蔭絵提重 松平容保所用 1具<br>夕顔蔭絵 松平容保所用 1挺                                                                                                                         | 茨城県立歴史館       | 平成29年9月27日～<br>12月12日     | 特別展Ⅰ「志士のかたち<br>—桜田門,天狗党,そして<br>新選組」         |
| 野口英世千円冊3番券 1点<br>日本の古代の貨幣 12点<br>日本の中世の渡来銭 21点<br>日本の近世の渡来銭 49点<br>日本の近世の藩札 9点                                                                                     | いわき市勿来関文学歴史館  | 平成29年12月15日～<br>平成30年2月   | 企画展「銭の話」                                    |
| 浦上玉堂「山林読書図」 1幅<br>浦上玉堂「野橋可立図」 1幅<br>浦上玉堂「青山弾琴図」 1幅                                                                                                                 | 沖縄県立博物館・美術館   | 平成30年1月11日～<br>平成30年6月24日 | 「涯テノ詩聲 詩人 吉<br>増剛造展」                        |
| 会津戦争記聞 3枚続<br>会津軍記 3枚続<br>家訓 1幅<br>会津藩弾薬箱(以下、当館受託資料) 1箱<br>斗南移転海行人別 1冊<br>戸南移転際行衛不知人別 1冊<br>戸南移転陸行人別 1冊<br>斗南藩記録 1冊<br>斗南藩家族移転ニ付ケ条書 1冊<br>会津藩戦死人別 1冊<br>会津藩士人別帳 1冊 | 高知県立高知城歴史博物館  | 平成30年2月～<br>平成30年6月       | 特別企画展<br>「明治元年の日本と土<br>佐～戊辰戦争 それぞ<br>れの信義～」 |
| 追鳥狩図 1点<br>会津藩士人別帳 1冊                                                                                                                                              | 若松城天守閣郷土博物館   | 平成30年3月1日～<br>平成30年12月31日 | 企画展                                         |
| 十二天図(恵日寺旧蔵)旧軸木2本(修復銘有)<br>①延宝三年銘 ②文政九年銘                                                                                                                            | 磐梯町磐梯山恵日寺資料館  | 平成30年3月28日～<br>平成30年12月4日 | 常設展                                         |
| 阿弥陀二十五菩薩来迎図 1幅                                                                                                                                                     | 埼玉県立歴史と民俗の博物館 | 平成31年2月20日～<br>平成31年5月20日 | 特別展<br>「東国の地獄極楽」                            |

#### イ 写真資料

総数：143件 261点

考古：13件 29点 民俗：14件 41点

歴史：83件 143点 美術：26件 36点

自然：7件 12点

#### (4) 保存

収蔵資料を適切に保存するため、収蔵庫および展示室など主要箇所での保存環境の定期調査、新規収蔵資料の生物被害防除を実施している。

##### ア 保存管理

##### (7) 保存環境調査

常設展示室・収蔵資料展示室・企画展示室、収蔵庫（一時、第1～第6収蔵庫）、エントランスホール、体験学習室、講堂、事務室、会議室、研究室、図書室、空調機械室など主要なスペースについて昆虫、室内塵埃中昆虫、空中浮遊菌、空中浮遊塵埃数、化学物質（環境モニター、ホルムアルデヒド、酢酸、アンモニアの気中濃度）及び温度、湿度、照度等について調査を行った。

調査は季節による生息害虫等の状況を確認するため、6月18日～7月15日、12月3日～1月8日の2回にわたり実施した。

#### (イ) 生物被害防除

7月、2月、3月に各1回、新収蔵資料などを対象に燻蒸処理を実施した。燻蒸処理件数は、合計166件であった。平成27年度に燻蒸設備の故障が判明してから館内で燻蒸処理をできないため、平成29年度は7月にトラックの荷台内部にビニールシートを貼り付けて、仮設の被覆とした。2月、3月は、専門業者の設備へ搬入して燻蒸処理を実施した。

12月、新規に受託した民俗資料を文化財用のシート（エスカル）にバックして、文化財害虫発生監視を始めた。

## 4 展示事業

### (1) 常設展示

総合展示と部門展示からなる。総合展示は、原始から現代までの福島の歴史を通観し、人々の暮らしを時系列に沿って展示している。原始・古代・中世・近世・近現代・自然と人間の6つのテーマで構成される。部門展示は、テーマ性の高い専門的な展示であり、民俗・自然・考古・歴史美術の展示に分かれる。平成21年度から、常設展示室内においてテーマ展・ポイント展を実施している。

#### ア テーマ展

常設展示室内において、特定のテーマを設定した小・中規模展示を「テーマ展」として実施した。平成29年度が9年目である。全7回実施。うち「檜枝岐村文書の世界」は公益財団法人福島県文化振興財団との連携事業として実施した。

#### ① 「ふるさとの考古資料6【飯館村】遺跡探訪展」

（部門：考古展示室）

前年度～5月14日（日）

#### ② 「心の四季 美術工芸に見る春・夏・秋・冬」

（部門：歴史・美術展示室）

4月22日（土）～6月4日（日）

#### ③ 「託されたおもい 寄贈・寄託の名品たち」

（部門：歴史・美術展示室）

6月10日（土）～7月17日（月・祝）

#### ④ 「ふるさとの考古資料7【檜葉町歴史資料館】移動展

（部門：考古展示室）

7月1日（土）～平成30年5月20日（日）

#### ⑤ 「祈りのふくしま～収蔵仏教美術展～」

（部門：歴史・美術展示室）

8月5日（土）～9月18日（月・祝）

#### ⑥ 「檜枝岐村文書の世界」 （部門：歴史・美術展示室）

9月23日（土・祝）～12月10日（日）

#### ⑦ 「けんぱくの宝2017」 （部門：歴史・美術展示室）

12月23日（土）～平成30年2月18日（日）

#### イ ポイント展

常設展示室内において、特定資料の公開を目的とした小規模展示を「ポイント展」として実施した。平成29年度が9年目である。全14回実施。

#### ① 「収蔵史料にみる戦国の群雄」 （総合：中世展示室）

4月15日（土）～7月16日（日）

#### ② 「端午の節供と五月飾り」 （部門：民俗展示室）

4月21日（金）～6月21日（水）

#### ③ 「いろんなダルマ集まれ！」 （部門：民俗展示室）

6月23日（金）～8月30日（水）

#### ④ 「ふくしまの戦争資料」 （総合：近現代展示室）

7月15日（土）～8月21日（月・祝）

#### ⑤ 「会津石譜」 （総合：近世展示室）

7月15日（土）～9月18日（月・祝）

#### ⑥ 「お日市のお札～会津・夏の風物詩～」

（部門：民俗展示室）

9月1日（金）～11月22日（水）

#### ⑦ 「戊辰戦争回顧の足跡」 （総合：近現代展示室）

9月2日（土）～10月1日（日）

#### ⑧ 「斎藤一の肖像写真」 （展示ロビー）

9月16日（土）～9月24日（日）

#### ⑨ 「近代学校の誕生」 （総合：近現代展示室）

10月21日（土）～11月24日（金）

#### ⑩ 「東山水力発電所－自然を技術で利用する－

若松に電灯がともった！」（エントランス）

会期：10月28日（土）～12月3日（日）

#### ⑪ 「会津農書の世界」 （総合：近世展示室）

11月1日（水）～平成30年3月31日（土）

#### ⑫ 「火をつかう昔の道具」 （部門：民俗展示室）

11月24日（金）～平成30年2月28日（水）

#### ⑬ 「鉱山の鉱物」 （展示ロビー）

平成30年1月27日（土）～3月4日（日）

#### ⑭ 「安産・成長へのねがい～会津のカサボコ」

（部門：民俗展示室）

平成30年3月1日（木）～3月28日（水）

### (2) 企画展示

歴史・美術・民俗・考古・自然の各分野が単独もしくは協力し企画した館のオリジナルなテーマに基づいた展示を中心に、期間を限定して開催している。平成29年度は、4本の企画展示を開催した。福島県立博物館は季節毎に年間の展示のコンセプトを設定している。春は、会津をテーマにした展示をとおして会津の魅力を見ることができるような内容。夏は、学校の夏休みの時期に、子どもたちが興味を持ち、家族や親子で楽しめる内容。秋は、福島をテーマにした展示をとおして県民が広く文化や歴史に親しむ機会を提供する内容。

ア 春の企画展「寄贈記念 自然をうつす 漆芸家・関谷浩二が挑んだ漆表現の可能性」

(ア) 会 期 平成 29 年 4 月 29 日(土・祝)～6 月 4 日(日)

開館日数：32 日間

(イ) 会 場 企画展示室

(ウ) 入館者数 (総務課に確認) 人

(エ) 担当学芸員 美術分野：小林めぐみ

(オ) 趣 旨

福島県文化功労賞受賞者で会津を代表する漆芸家・関谷浩二。福島県川俣町出身で、会津若松市の蒔絵師・関谷彦蔵に学び、後にその養子となり、養父の没後は日本を代表する漆芸家・六角大塚、田口善国の門下となった。

日々、自然に向き合い、対象の質感、気配までうつし取ろうとするかのように丹念に行われた写生と秀逸な技が融合した関谷浩二の漆の新たな表現。

本展は、近年、本人よりご寄贈いただいた漆作品約 40 点の当館での初公開と代表作の展示により、関谷浩二の漆表現への挑戦の軌跡を紹介した。会津伝統の漆の技、日本を代表する技術、それらを基盤とした漆表現の数々。会津が生んだ珠玉の作品たちをご覧いただく機会とした。

(カ) 展示構成

関谷浩二の漆芸作品 67 点、写生帖、図案等。

主な展示作品「湿原蒔絵箱」(個人蔵)、「霧氷蒔絵箱」(当館蔵)、「出穂の頃蒔絵飾箱」(当館蔵)、「ごぜんたちばな割貝蒔絵飾箱」(当館蔵)、「穂波蒔絵盤」(当館蔵)など。

(キ) 関連事業

・アーティストトーク「漆との出会い、自然との出会い」

講師：関谷浩二(漆芸家)

日時：4 月 29 日(土) 13：30～14：30

会場：企画展示室、申込不要

(一般・大学生は要企画展チケット)

・ワークショップ

「自然を描く・漆で描く 第 1 部写生編」全 2 回

講師：古川弓子(アーティスト)、

古川裕司(野鳥研究家)

日時：5 月 6 日(土)13：30～15：30、

5 月 7 日(日)9：30～12：30

会場：実習室、定員：15 名(要申込・先着順)、

参加費：無料

・ワークショップ

「自然を描く・漆で描く 第 2 部蒔絵編」全 3 回

講師：八木由紀子(蒔絵師)

日時：5 月 14 日(日)、5 月 21 日(日)、5 月 28 日(日)

3 日間とも 13：30～15：60

会場：実習室、定員：15 名(要申込・先着順)、

参加費：1,000 円

(ク) 成果と課題

会津を拠点に活躍した漆芸家・関谷浩二の作品とその

制作の背景となる思想を伝える展示は、作家の制作姿勢を通して、あらためて自然との向き合い方を問いかけるものとなった。

あわせて、本展が作家を知るきっかけとなったことへの評価もいただいた。

会期中に行った作家本人による講演会、また作家の制作の一端を体験することを目的として行った 2 種類のワークショップは、展示を補完し、展示の意図への理解をより深めるものとして高評価を得るとともに、体験への要望や当館への期待を認識する場ともなった。

年度初めの開催のため広報が遅れたことは、今後の課題である。また、会期中、学習支援班との連携により、学校団体向きの鑑賞の仕掛けを行えたことは今後の可能性を探る大きな試行となった。

イ 夏の企画展「ふくしま 5 億年の自然史」

(ア) 会 期 平成 29 年 7 月 15 日(土)～9 月 18 日(月)

館日数：58 日間

(イ) 会 場 福島県立博物館企画展示室

(ウ) 入館者数 6,637 人

(エ) 担当学芸員 自然分野：相田優、猪瀬弘瑛

(オ) 趣 旨

この展示は、これまで当館で地学分野を担当してきた学芸員が、博物館設立準備時代より 30 数年に渡り、県内をくまなく歩き、本県の自然史に関する調査、研究と資料収集を積み重ねてきた成果の集大成であった。これまでに当館で収集した豊富な自然史資料に基づき、ふくしまのたどってきた自然史の位置づけを具体的に紹介した。

(カ) 展示構成

a 古生代のふくしま

b 中生代のふくしま

c 新生代のふくしま

d 現在のふくしま—地震・火山・津波—

e 化石にさわってみよう

出品点数 松ヶ平変成岩、阿武隈花崗岩類、カルデラ火山岩類、古生代腕足類、三葉虫、ジュラ紀アンモナイトほか軟体動物、白亜紀アンモナイトほか軟体動物、チンタオサウルス全身骨格復元、新生代植物、パレオパラドキシア、ナウマンゾウ全身骨格復元、活断層断面剥ぎ取りなど 1,023 点

(キ) 関連事業

・企画展展示解説会「化石の見方、教えます！」

日時：7 月 16 日(日)、7 月 23 日(日)、8 月 6

日(日)、8 月 13 日(日)、9 月 17 日(日)

(各日) 13 時 30 分～14 時 30 分

場所：企画展示室

講師：当館学芸員

・ワークショップ「—ふくしま最古の岩石がもらえる！—アンモナイトの名前を当てよう！」

日時：7 月 30 日(日)、8 月 20 日(日)

(各日) 13 時 30 分～15 時

場所：企画展示室

講師：当館学芸員

・気象庁福島地方気象台出前講座

演題：「地震と津波について」

日時：8月10日（木）13時30分～14時30分

場所：講堂

講師：大和田淳（福島地方気象台地震津波防災官）

(ク) 成果と課題

最新の研究成果を基に福島県の大地の成り立ちを紹介することができた。1,500枚以上回収されたアンケートの集計結果によれば、85%以上の観覧者が本展を「おもしろかった」と評価しており、観覧時間も30分以上の人が50%を越えている。展示内容では「化石にさわってみよう」が特に高い人気を得ており、体験型展示の有効性が示された。一方、「解説文が長く難しい」、「鉱物にさわれなかった」などの改善を求める意見もあったので、今後の展示の参考にしていきたい。

ウ 秋の企画展

「発掘ふくしま4 一土中の声に耳をすませば」

(ア) 会 期 平成29年10月7日(土)～11月26日(日)

開館日数：44日間

(イ) 会 場 福島県立博物館企画展示室

(ウ) 入館者数 3,741人

(エ) 担当学芸員 考古分野：森幸彦

(オ) 趣 旨

「発掘ふくしま」シリーズの第4回目。「発掘ふくしま3」から14年ぶりの開催で、近年10年間の県内発掘調査成果を紹介する展示。

旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代・中世、申請以降近代までの70遺跡を扱った。また、古墳時代の特別展示として5年間の再修理を経た会津大塚山古墳出土品全資料を展示し、さらに、近年国史跡に指定された縄文時代の福島市和台遺跡、宮川遺跡、南相馬市浦尻貝塚、中世の伊達市宮脇遺跡を扱った。

(カ) 展示構成

a 旧石器時代 一浜通りの旧石器時代人ー

b 縄文時代ーふくしまが列島文化の中心だった!?ー

c 弥生時代 一墓は語るー

d 古墳時代 一新資料が語るふくしま古墳文化の成り立ちー

e 奈良・平安時代 一県内ぐるっと郡家の旅ー

f 中世 一進む中世城館の調査

g 近世以降 一城・城下・産業遺跡

出品点数 大谷上ノ原遺跡出土ナイフ形石器など

74遺跡 1,104点

(キ) 関連事業

・記念講演会

○「ふくしまの考古学この10年」

日時：10月7日(土) 13時30分～15時

講師：福島県考古学会会長 玉川一郎

○「最新 ふくしまの古墳時代研究」

日時：11月3日（金・祝）13時30分～15時

講師：福島大学行政政策学類教授 菊地芳朗

○「世界初！核DNA抽出に成功ー三貫地貝塚の人骨は語る」

日時：11月23日（金・祝）13時30分～15時

講師：国立遺伝学研究所教授 斎藤成也

・ゲスト解説会

日時：11月18日（土）13時30分～14時30分

講師：中央大学文学部教授 小林謙一

・展示解説会

日時：10月7日（土）15時15分～16時15分

10月22日（日）11時15分～16時15分

11月3日（金・祝）15時15分～16時15分

11月12日（日）13時30分～14時30分

11月23日（金・祝）15時15分～16時15分

講師：当館考古担当学芸員

(ク) 成果と課題

世界で初めて縄文人の核DNAが解析された新地町三貫地貝塚出土人骨は興味深く観覧する人が多く縄文人と現代人の関係を改めて認識したようである。弥生時代末から古墳時代初期にかけての湯川村桜町遺跡や喜多方市家西遺跡の資料は、今後の議論の材料として意義ある展示であった。5年の修復期間を経て一同に展示した会津大塚山古墳出土品の人気は高かった。

講演会講師玉川一郎氏の言を借りれば、この10年の考古学的成果を総括すると、大規模開発事業が収束し、各地域の歴史資料として各遺跡の再評価がなされ、地域の財産として主要遺跡の史跡整備などが進められた時期と言える。

アンケートでは、キャプションが総じて小さかった点と距離のある壁面のパネルの文字が小さかった点の指摘が多かった。

エ 冬の企画展

「山水憧憬 一雪舟・蕪村・応挙 水墨の山野に遊ぶ」

(ア) 会 期 平成30年1月13日(土)～2月18日(日)

開館日数：32日間

(イ) 会 場 企画展示室

(ウ) 入館者数 (総務課に確認) 人

(エ) 担当学芸員 美術分野：川延安直、小林めぐみ

(オ) 趣 旨

本展では、東京国立博物館の協力により同館が所蔵する「山水」をテーマとする水墨画の名品から10件、工芸品から8件を紹介。日本美術の主要な画題の一つである「山水」を描いた作品から、日本人の自然への憧憬、畏怖を捉えなおした。

水墨画の大成者とされる雪舟等楊の「秋冬山水図」(国宝)をはじめ、江戸時代の与謝蕪村、円山応挙らの作品を通して水墨画の多様な表現と画家の個性に触れ、平安時代から江戸時代にわたる工芸品の数々から人々の思いを受け止めて表現してきた日本の工芸の技と美の素

晴らしさを伝えた。

本展にあわせて、常設展では、当館が収蔵する水墨画・工芸品を紹介するテーマ展「けんぱくの宝」を開催。地域の文化史理解を深める場も同時に設けた。

#### (カ) 展示構成

雪舟等楊筆「秋冬山水図」（国宝）、与謝蕪村「山野行楽図屏風」（重要文化財）、雪村周継「鷹山水図屏風」（重要美術品）、「山水蒔絵鏡箱」、「楼閣山水蒔絵宝石箱」など18件23点

#### (キ) 関連事業

講演会

「国宝とは何か—文化財保護・博物館・美術工芸品」

日時：平成30年1月13日（土）13：30～15：00

講師：佐藤康宏（東京大学教授）

会場：福島県立博物館 企画展示室

#### (ク) 成果と課題

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館平成29年度収蔵品貸与促進事業として開催した本展は、東京国立博物館から福島への文化的な復興支援として開催された。

東京国立博物館が収蔵する名品を一堂にご覧いただく機会とすることができた。

来場者からは名品を間近に観覧できたことに高い評価をいただいた。

冬季の開催であったが、水墨画と館外の雪景色を重ねた広報戦略で、冬季開催への好印象を得ることもできた。

### (3) 特集展

特集展は、新しく収集した寄贈・寄託資料を中心に、特定のテーマに基づいて一定の期間開催する展示会である。平成29年度は、第2期中期目標で掲げている次世代ミュージアム機能の充実を図る活動として、冬に「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト成果展」および「震災遺産を考える」を同時に開催した。福島県立博物館は、季節毎に年間の展示のコンセプトを設定している。冬は、東日本大震災や復興に関連する内容。

企画展示のように特別の観覧料金を設定せずに、特集展ごとに常設展観覧料で観覧できるか、無料で観覧できるように対応した。

#### ア 特集展

「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト成果展」

##### (ア) 会期

第1会場：平成29年2月4日（土）～4月11日（火）

開館日数：57日間（平成29年度の会期11日間）

第2会場：平成29年2月11日（土）～4月11日（火）

開館日数：51日間（平成29年度の会期11日間）

##### (イ) 会場

第1会場：常設展部門歴史美術展示室

第2会場：企画展示室

##### (ウ) 観覧者数 1,020人（会期中の累計観覧者数3,616人）

##### (エ) 担当学芸員 川延安直・小林めぐみ・塚本麻衣子

#### (オ) 趣旨

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から5年を迎え、その記憶も薄れつつある。しかし、巨大地震と原子力発電所事故が福島に限らない課題であることはこの国の多くの人が共有し続けなければならない課題である。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、文化・芸術の視点から2011年以降福島が抱えている課題に向き合ってきた。地域に新たなアートを定着させ、アーティストとともに被災地の記憶をとどめ、未来そのものである子供たちにアートワークショップを通じて触れあってきた。2011年以降の福島を伝え、ともに考えることを目的に制作されたはま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの成果作品を展示。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの5年間の成果をまとめて公開した。

#### (カ) 展示構成

岡部昌生「被爆樹×被曝し続ける樹、他」【フロアージュ作品】、片桐功敦「sacrifice」【写真作品】等、出品点数約100点

#### イ 特集展「震災遺産を考える～6本の年輪～」

##### (ア) 会期 平成29年2月11日（土・祝）～4月11日（火）

開館日数：51日間（平成29年度の会期11日間）

##### (イ) 会場 エントランスホール・企画展示室

##### (ウ) 観覧者数 1,020人（会期中の累計観覧者数3,616人）

##### (エ) 担当学芸員 森幸彦・栗原祐斗

#### (オ) 趣旨

ふくしま震災遺産保全プロジェクトは、東日本大震災を「歴史」と位置づけ、震災が産み出したモノや震災を示すバシヨを「震災遺産」と名付けて、収集・保全、そして公開する取り組みを平成26年から実施してきた。本展示では、これまでに収集・保全した震災遺産からふくしまが経験した東日本大震災を振り返り、未来のふくしまについて考える機会にしようとして実施したものである。

#### (カ) 展示構成

a あの日・あの時から

b 断絶する「日常」

c 思いがけない「未来」

※出品点数 火災で溶けた街頭、富岡町災害対策本部のホワイトボード、東京電力女子サッカー部マリーゼのマスコットキャラクター「マリちゃん」の着ぐるみ、飯館村綿津見神社大杉の輪切り、津波で被災したJR常磐線の線路など107件

#### (キ) 関連事業

・展示解説会

会期中に2回実施した。参加者は15名である。

・柏崎市被災者サポートセンター「あまやどり」活動報告パネル展示

エントランスホールにおいて3月5日（日）から4月11日（火）にかけて実施した。

- ・参加型パネル展示「はじまりのごはん」

3.11 オモイデアーカイブ・3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター(せんだいメディアテーク)が企画し、エントランスホールにおいて2月16日(木)から4月11日(火)にかけて実施した。この展示は東日本大震災発生翌日の朝ごはんの思い出や震災当時のことを付箋に記し、ブースに貼り付けていく参加型展示である。

#### ウ 特集展

「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト成果展」

(ア) 会 期 平成30年3月3日(土)～4月11日(水)

開館日数：33日間(3月31日時点で24日間)

(イ) 会 場 部門歴史美術展示室・収蔵資料展示室

(ウ) 観覧者数 1,677人(会期中の累計観覧者数2,388人)

(エ) 担当学芸員 川延安直・小林めぐみ・塚本麻衣子

(オ) 趣 旨

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から7年を迎え、その記憶も薄れつつある。しかし、巨大地震と原子力発電所事故が福島に限らない課題であることはこの国の多くの人々が共有し続けなければならない課題である。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、文化・芸術の視点から2011年以降福島が抱えている課題に向き合ってきた。地域に新たなアートを定着させ、アーティストとともに被災地の記憶をとどめ、未来そのものである子供たちにアートワークショップを通じて触れあってきた。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトで生まれた作品は、どれも、2011年以降の福島を伝え、ともに考えようと語りかけている。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの6年間の成果の一部を展示公開し、芸術文化を通して福島の実験を共有し、共に考える場とした。

(カ) 展示構成

岡部昌生「被曝し続ける樹、他」【フロッタージュ作品】、安田佐智種「みち<<未知の道>>」「みち<<未知の地>>」【写真作品】、岩根愛「Island in my mind」【写真作品】、土田ヒロミ「願う者はかなえられるか」【写真作品】、藤井光「福島・文化・文化財～被災地のミュージアムと文化財のこれから～」【映像作品】。

出品点数 約100点。

(キ) 関連事業

- ・ギャラリートーク「アートで伝える考える」

日時：3月3日(土)14:00～

会場：福島県立博物館企画展示室・部門展示室歴史美術

講師：当館学芸員

- ・ファイナルラウンドテーブル

「岡部昌生フロッタージュプロジェクトの6年」

日時：3月4日(日)14:00～

会場：福島県立博物館企画展示室

講師：岡部昌生(美術家)×港千尋(著述家)×赤坂

憲雄(福島県立博物館長/実行委員会委員長)

進行：川延安直(福島県立博物館専門学芸員/実行委員会事務局)

(ク) 成果と課題

2011年から6年間に渡って実施してきた事業の成果を公表・共有する場として開催した成果展。2011年からの福島の復興の様子と変化を伝えることを意図した。3月11日を挟んだ会期の間には、作品という形での東日本大震災と原発事故の記録への協力者も数多く来場し、あらためて将来に伝える残し伝えることの意義を考えることができた。

また、本展にはこれまでの当該事業の県外での協力者も遠方より来場し、本事業を通じて築かれた県外の大学や文化団体とのネットワークが「福島」を共有の場として堅固なものとなっていることを改めて認識させた。

県立の博物館として、震災と大事故をいかに伝え残していくか、共有の議論の場を設けていくかは、今後、当館にとってより重要な役割となっていくと思われる。

#### エ 特集展

「震災遺産を考える－災害の歴史と東日本大震災－」

(ア) 会 期 平成30年3月3日(土)～4月11日(水)

開館日数：33日間(3月31日時点で24日間)

(イ) 会 場 企画展示室

(ウ) 共 催 大熊町、双葉町、浪江町

(エ) 特別協力 久之浜・大久地区復興対策協議会、いわき市立久之浜第一小学校、久之浜大久地区まちづくりサポートチーム、久之浜町商工会、いわき市

(オ) 観覧者数 1,677人(3月31日時点)

(カ) 担当学芸員

猪瀬弘瑛、大里正樹、栗原祐斗(震災遺産保全チーム)

(キ) 趣 旨

ふくしま震災遺産保全プロジェクトは、東日本大震災を「歴史」と位置づけ、震災が産み出したモノや震災を示すバシヨを「震災遺産」と名付けて、収集・保全、そして公開する取り組みを平成26年度から平成28年度まで実施してきた。本展示では、これまでに収集・保全した「震災遺産」と過去に起こった災害に関する資料を合わせて展示し、震災を地域の歴史としてとらえ直した。

(ク) 展示構成

(第1章) 歴史の中の災害

(第2章) 東日本大震災の“歴史”

※出品点数 69件 津波堆積物断面剥ぎ取り(小高区、広野町)、浪江・大熊・双葉関連資料、浜風商店街関連資料、久之浜地区町並み模型、久之浜地区案内看板、被災街灯(久之浜)、磐梯山噴火図(各種)、書状(御屋敷普請につき)、九州大悪風津波大破損之事、白亜紀津波化石、ワークショップの成果物など



(ケ) 関連事業

・ 展示解説会

展示解説会は各回にテーマを設け、企画展示室において当館学芸員を講師として実施した。ただし、3月4日の回については大熊町、双葉町、浪江町の担当者、3月15日の回については、久之浜大久地区まちづくりサポートチームの方々にも解説していただいた。

日時「テーマ」：

3月3日（土）13時～13時30分「歴史の中の災害」

3月4日（日）13時～13時30分

「大熊・双葉・浪江の取組み」

3月11日（日）11時～11時30分

「久之浜から見る震災の前と後」

3月15日（木）14時45分～15時15分

「久之浜「ふるさとの記憶」模型について」

3月18日（日）13時30分～14時「災害からの避難」

3月25日（日）11時～11時30分「会津の災害」

・ ワークショップ「段ボールトイレを作ろう」

日時：3月18日（日）10時～11時30分

場所：企画展示室

講師：宮崎賢哉（一般社団法人 防災教育普及協会）

(コ) 成果と課題

会期中に実施したアンケートには「過去の災害と対比できることなどがよかったです」、「形に残すということがいかに重要か7年たった今ずっと考えています」といったように、展示や取り組みに対して好意的なご意見を頂いた。その一方で、「物も重要だが体験者の言葉が真実を伝えると思う」といったご意見も寄せられた。今後の活動を考える上で参考にしたい。

(4) 移動展

県立博物館と市町村の博物館・資料館と連携を促進するために、移動展を共催して県立博物館の企画展、収蔵品を展示公開している。開催が活発化するよう、移動展のパッケージプランを用意している。

ア 移動展「東北の仕事着コレクション」

主催：いわき市暮らしの伝承郷／福島県立博物館

(ア) 会 期 平成29年6月3日（土）～7月2日（日）

開館日数：26日間

(イ) 会 場 いわき市暮らしの伝承郷 企画展示室

(いわき市鹿島町下矢田散野 14-16)

(ウ) 入館者数 1,095人

(エ) 担当学芸員 大里正樹・山口拓（以上 当館）、  
長谷川由美・渡邊彩（以上 いわき市暮らしの伝承郷）

(オ) 趣 旨

日本海と太平洋に面した東北地方は、気候的にもそれぞれ独自の風土を持ち、気候の相違は、伝統的な服装にも表れている。東北地方という寒冷積雪地における労働時の服装、仕事着は東北地方の風土をよく示す資料といえる。当館には、故・渡部つとむ氏が長年にわたり収集

された東北地方の仕事着コレクション 1,320点が寄託されており、会津地方はじめ、広く東北地方各地の仕事着が含まれている。

本移動展では、渡部つとむコレクションを中心に東北地方各地の仕事着を展示し、東北地方の風土やその厳しい自然に生きた人々の衣服と暮らしを紹介した。また今回は開催地（いわき市）にちなんだ資料として、漁師の祝い着であるマイワイ（万祝）を展示した。

(カ) 展示構成

a マイワイと漁業の仕事着

～海の男たちのユニフォーム～

b 福島県内の仕事着 ～仕事着が語るメッセージ～

c 様々な素材と手仕事の美 ～麻や木綿だけじゃない？多様な素材と、東北の刺し子の美～

d 庄内地方の仕事着

～実用性に裏付けられたデザイン～

(キ) 関連事業

展示解説会

講師：大里正樹（当館学芸員）

日時：6月17日（土）13時30分～14時

会場：いわき市暮らしの伝承郷 企画展示室

(ク) 成果と課題

・ 出品点数 37点

当館寄託資料「東北地方の仕事着コレクション」（全1,320点）から34点、当館所蔵資料3点

・ 主な展示資料

マイワイ（いわき市、宮城県）、ジバン（会津若松市、新潟県）、ヌノモモヒキ（昭和村）、モモヒキ（青森県）、サキオリソデナン（山形県）、コギンキモノ（青森県津軽地方）、南郷サシコ（南会津町）など

・ 展示内容

当館寄託資料である「東北地方の仕事着コレクション」（1,320点）を中心に暮らしの中で発達した衣服の民俗を紹介。当館所蔵資料を加え、全37点の資料を展示した。

展示観覧者の反応はおおむね好意的であった。来館者アンケートからは、いわき市内の手仕事サークルの人々が複数訪れていたことが分かった。東北地方各地の古い刺し子の実物を展示したことから、単に歴史への興味関心を持つ人々のみならず、広く手仕事に興味を持つ人々の観覧につながったと考えられる。他方、アンケートでは一部、パネル類の文字の大きさや展示方法について見にくいとのご意見もあった。

なお今回、いわきへの「里帰り」資料として、戦前期に小名浜で作られたマイワイ（万祝＝漁師の祝い着）を展示したところ、船名などから新たに資料の来歴が判明、開催地に密着した情報を得ることができたのは移動展ならではの利点であった。

## (5) 指定文化財の公開

平成 29 年度の展示で以下の指定文化財の公開を行った（館蔵・寄託品などは除く）。

### ア 国指定

〈国宝〉

(ア) 「秋冬山水図」（雪舟等揚筆）二幅 東京国立博物館  
〈重文〉

(イ) 「山水図」（岳翁蔵丘筆・天隠龍澤賛）一幅 東京国立博物館

(ウ) 「山野行楽図屏風」（与謝蕪村筆）六曲一双 東京国立博物館

（以上、3 件は企画展「山水憧憬－雪舟・蕪村・応挙水墨の山野に遊ぶ－」で展示公開）

〈重文〉

(ア) 磐城檜葉天神原遺跡出土品のうち 92 点 檜葉町教育委員会（福島県）（テーマ展「ふるさとの考古資料 7」で展示公開）

(イ) 磐城檜葉天神原遺跡出土品のうち 2 点 檜葉町教育委員会（福島県）（総合：原始展示室）

### イ 県指定（福島県指定）

(ア) 和台遺跡出土人体文土器及び狩猟文土器 2 箇  
福島市教育委員会

(イ) 夏井廃寺跡出土品のうち 10 点いわき市教育委員会

(ウ) 根岸官衙遺跡出土品のうち 4 点いわき市教育委員会  
（以上、3 件は企画展「発掘ふくしま 4－土中の声に耳をすませば－」で展示公開）

(エ) 関和久官衙遺跡出土品のうち 2 点  
福島県教育委員会（総合：古代展示室）

(オ) 森北 1 号墳出土品のうち 4 点  
会津坂下町教育委員会（総合：古代展示室）

## (6) 展示解説

### ア 展示解説員

平成 29 年度の展示解説員は 13 名で前年度と変わらなかった。これに加えて前年度と同様に常設展示室内で 2 名分の監視員を委託できる予算を確保したが、展示解説員の増員を図ることができなかった。企画展についても、展示予算の中で監視員 1 名を予算化し、通常の展示解説員 1 名に監視員 1 名を交えた体制で展示室の対応をせざるをえない状況であった。

さらに、企画展開催時には企画展示室の入口のモギリに人数を割かれるなどするため、常設展示室内に対応できる人員が不足する状況が恒常的に続いている。これらの状況に対して、学芸員による解説活動を増やし、定数減の状況を乗り切る対策をとっている。

このような展示解説員の減員により、過去に実施されていた解説員が主となる講座などは、今年度も実施できない状況であった。

また、展示解説員は来館者に展示を解説・案内することが第一の役割であるが、定数減により展示解説員 1 人に対応しなければならないエリアが広がった関係で十

分な解説活動ができない場合が少なくなく、最低限の監視業務を行うので精一杯の状況であることが多かった。きめ細やかな展示解説活動をはじめとしたより質の高い行政サービスを保障するために、展示解説員に対する研修を実施するなど、質的向上に向けた努力を行っているが、展示解説員の人数不足という量的課題については、引き続き検討をしていく必要がある。

展示解説員の業務は、総合ガイダンスと名付けられた受付での来館者への対応をはじめとして展示や館内の業務をよく知っている職員でなければ担当できない内容がほとんどである。現在の減員状況の中でどうにか対応している状況であるが、現在の定数では通常業務を実施する上では限界の状態であり、来館者への解説サービスを考えた場合、定数増が図られなければ、本来の業務にも支障を来す可能性が出てくる。

### (ア) けんぱくハイライトツアー

展示解説員による常設展の定時解説で、平成 28 年度に開館 30 周年記念行事としてそれまで実施していた「やさしい展示解説会」をリニューアルさせたものである。原則的に他の行事の入っていない土曜と日曜日・祝日の午前 11 時、午後 2 時の 2 回開催を基本に実施している。1 回の所要時間は約 30 分。各解説員が独自の解説ルートを開発し、それぞれ展示解説員ごとのテーマで解説会を実施している。今年度の「けんぱくハイライトツアー」は 5 月 3 日から 3 月 25 日の期間実施した。

＜実施状況＞ 実施日数：67 日

総参加人数：335 人

### (イ) 通し解説

不定期的に行われる常設展・企画展の解説。主として来館の個人・団体の要望に応じて展示解説員 1 名が全体を解説するもの。解説員の減員のため、通し解説は困難になってきているが、予約の団体の要望にこたえる形で実施してきていることが多い。

実施回数：11 回

### (ウ) 部屋送り解説

不定期的常設展・企画展の解説。主として来館する個人の要望に応じ、各展示室の担当として立っている解説員が順に引き継いで解説する。

実施回数：19 回

### (エ) 体験講座

体験講座などの解説員が主体となって実施する講座は、解説員業務に比して人数が少ないために平成 29 年度も実施されなかった。

ただし、七夕の時期には竹飾り、クリスマスには手製のクリスマスツリー、小正月に合わせての団子飾り、ひな祭りの時期に自作の雛人形の段飾りなど、解説員が自分たちで作ったものを体験学習室内に展示することは継続している。

また、ゴールデンウィークを中心に時代衣装の試着体験に加え、期間限定で甲冑の試着体験も行うなど、体験

的な活動の充実を図っている。

#### イ 学芸員

企画展および特集展の開催中は展示解説のために職員を配置する場が増えることになり、展示解説員だけでは解説員の昼休みや休憩時間の減員に対応できない状況であるため、学芸員が代わって展示室に立つことになっている。原則1コマ45分である。29年度は年間で475回を数えた。学芸員が展示室に立つことは単なる解説員の肩代わりではなく、実際に展示室に立つことにより得るもの、気づくものが多かったが、通常業務とのバランスの点で今後の検討が必要である。

また、企画展、テーマ展、特集展については、公民館、研究団体などからの依頼に応じて、担当分野の学芸員が展示解説を実施した。

#### ウ 展示解説のための資料等

##### (ア) 『今月のおすすめ』

展示室見学の参考とするため、常設展示総合展示室(A～F)の各部屋から月別に1点ずつおすすめ資料を選定し、資料に関するキャッチコピーと簡単な紹介を展示室内の表示と常設展入り口にデジタルフォトフレームによる表示を行っている。月別に紹介する資料が変わり、見学するポイントが分かることから、常設展示に対する観覧者の興味・関心を高めることに役立っている。

##### (イ) 福島県立博物館ガイドブック

常設展の展示内容をコンパクトに解説したもの(28ページ)で、館活動についても紹介している。昭和61年に発行され、一部改訂をしながら観覧補助資料として有償配布している。

##### (ウ) Fukushima Museum Permanent Exhibition Guide Book

ガイドブックを要約した英文の展示解説パンフレット(14ページ)で、平成18年に発行され、一部改訂を行いながら観覧補助資料として、希望する来館者に無償配布している。

#### (7) 体験学習室

エントランスホール隣に設置してある無料で使用できる場所。囲炉裏のついた畳敷きの座敷と木のフローリングの部分がある。昔のおもちゃが用意されていて、自由に遊べるほか、季節ごとに昔の着物を着ることができる。着付けは衣服の上からだがかなり本格的で好評を得ている。また、資料に触れるハンズオンコーナーは半年ごとの入れ替えになっている。この部屋には展示解説員が常駐し来館者に対応している。

#### ア 衣装

##### (ア) 衣装着付け

体験学習室で時代衣装の着付け体験を行っている。着衣のままその上に着る形ではあるが、かなり本格的な衣装着付けであり、展示解説員は着付けの技術をきちんと学ばなければならないし、一回の時間もかかる。しかし、他の博物館ではここまできちんと着つけることはそれ

ほど多くはないと思われ、当館の体験学習室のセールス・ポイントでもある。

##### a 衣装着付け件数 499件

##### b 着付けた衣装

春：打掛・番具足

夏：水干・半袴

秋：壺装束・武士旅姿

冬：白拍子・山伏

衣装の着付けはかなり本格的なものなので、そのため解説員の研修時間も長くなり、多人数の要望には一度に応え難い面もある。しかし、着終わった姿を鏡に映したり、デジカメで撮影したりして満足する来館者が多く見られる。

##### (イ) 衣装展示

春：小直衣・十二単

夏：大鎧・稚児鎧

秋：町人旅姿・南蛮装束

冬：推古朝朝服・天武朝女官朝服

#### イ 手作り資料展示

季節に関する手作りの資料を展示した。製作は展示解説員が担当。

7月：七夕飾り / 12月：クリスマスツリー /

1月：団子さし / 3月：手作り雛人形

#### ウ おもちゃ

畳の上で幼児におもちゃで遊ばせるお母さんや家族連れが多くみられる。壁の引き出しに用意されているおもちゃの利用も多い。修理を必要とするおもちゃもあり、解説員の係で担当している。

おもちゃの修理：39件

#### エ ハンズオンコーナー

来館者が展示品を実際に手に取り使用法を体験できるコーナー。春と秋は、企画展に関連した資料を展示した。

平成29年4月～平成29年6月

「漆器の工程」(美術分野)

平成29年7月～平成29年9月

「蚊帳体験」(民俗分野)

平成29年10月～平成29年12月

「古代の土器にさわってみよう」(考古分野)

平成29年12月～平成30年3月

「雪国のはきもの・かぶりもの」(民俗分野)

#### (8) リニューアルの検討

リニューアルに向けて、調査・研究を行うためにリニューアル推進チームを設置して活動した。会議は通年で18回実施し、下記の内容について協議した。

##### ア リニューアル基本構想原案の作成・検討

イ 検討委員会の設置など次年度以後の事業について検討  
今年度は、チームで基本構想原案を作成し、館内で協議・検討しながら、よりよい基本構想案の形に整えてゆく作業を進めた。

## 5 調査研究事業

### (1) 展示資料調査研究

将来の博物館リニューアルに向けて、新たな研究成果と展示資料の収集のため、考古・歴史・民俗・美術・自然・保存の各分野がテーマを設定して調査を実施している。また分野合同での研究テーマも設定し、併せて調査研究を進めている。平成 29 年度は、以下の 7 テーマの調査を実施した。

#### ア 山口弥一郎調査資料の研究

##### (ア) 分野 民俗

##### (イ) 趣旨

山口弥一郎(1902-2000)は旧・新鶴村に生まれ、東北の地理学・民俗学研究に多大な業績を残した。近年では東日本大震災を経て著書『津浪と村』(1943 年刊)が復刊され、津波災害と集落移動に関する研究が全国的に注目を集めている。しかし、磐梯山慧日寺資料館(磐梯町)に一括して収蔵されている山口が残した調査ノートや写真、蔵書などは、体系的な整理や目録作成にまで至っていない。本研究では磐梯町の協力のもと、同資料の整理・調査を進めることで、山口弥一郎の調査研究を見直し、人文科学的側面からの災害研究の新しい方向性を探っていく。

##### (ウ) 調査概要

磐梯町と福島県立博物館で取り交わした協約書にもとづいて資料の整理を進めた。調査ノートや文書類について標題・年代等を目録化し、写真撮影等を行った。また早くから当該資料の調査を行い、また研究者資料アーカイブについても実績のある辻本侑生氏(浜銀総合研究所研究員)に指導を依頼し、助言を仰いだ。

#### イ 考古資料による原始・古代の画期の再検討

##### (ア) 分野 考古

##### (イ) 趣旨

I 縄文時代後半期から弥生時代初頭と II 古墳時代終末期から奈良時代(6世紀末～8世紀)の2つの時期を取り上げ、当館収蔵の当該期の考古資料を中心に引き上げ、資料の有する社会的背景を考察し、本県における原始・古代の時代変遷の画期を検討し考古地域史の確立を目指すものである。

##### (ウ) 調査概要

縄文時代では、「複式炉文化の再検討」として昨年度抽出した南相馬市東町遺跡の複式炉土壌サンプル内の炭化種実同定を行った。結果は、オニグルミが主体でこれにクルミが伴う状況が明らかになった。「福島県内出土古人骨の研究」では、南相馬市宮田貝塚及び浦尻貝塚出土古人骨の年代測定を東京大学と共同研究として実施し、同位体分析の成果を年代軸で検討する準備を整えた。また手計測の実測が困難な荒屋敷遺跡出土編組製品と原山古墳出土埴輪のデジタル写真計測による図化を行った。

#### ウ 福島県産中生代軟体動物化石の研究

##### (ア) 分野 自然

##### (イ) 趣旨

福島県内には相馬地方にジュラ系相馬中村層群、いわき地方に白亜系双葉層群という中生代の地層が分布している。これらの地層からはアンモナイトや二枚貝や巻貝といった軟体動物化石を豊富に産することが知られ、特に近年は地元の化石収集家の努力によって多くの標本が発見されてきた。

しかし、これらの標本については鑑定が不十分なものもあり、論文などで発表されていないものも多い。そこで、これらの中生代軟体動物化石について鑑定内容を確認した上で成果を論文として記録・公表し、当館所蔵標本を充実させることを目指す。また、新たに追加した標本を展示する機会を設け、さらなる標本の発見・評価につなげる。

##### (ウ) 調査概要

相馬地方のジュラ系相馬中村層群の化石産地について現地調査を行った。現地調査の際には、特に巻貝の産状を確認、採取した。福島県立博物館に所蔵されている巻貝化石について鑑定作業を行った。いわき地方の白亜系双葉層群から新たに発見したアンモナイト化石について紀要で報告した。

#### エ 戊辰戦争資料の研究

##### (ア) 分野 歴史

##### (イ) 趣旨

平成 30 年に戊辰戦争から 150 年の節目をむかえる。戦争の激戦地となり、日本の歴史が転換する舞台となった本県でも、改めて戊辰戦争の意義について問い直す必要がある。そのため戦争の経過及び戦後の復興過程までを対象として3年計画で資料調査を進め、新たな資料の発掘を行い、3年目の平成 30 年には調査成果を盛り込んだ企画展の開催を目指す。

##### (ウ) 調査概要

研究の2年目となる本年は、戦争の勝敗を分けたいわゆる錦旗の調査、新政府側の分捕品として伝来した会津藩旗の調査、奥羽列藩同盟側の政権構想を示す新資料、籠城戦の最中のようなすを記した貴重な絵画資料などの調査を行った。いずれも平成 30 年度の当館企画展への出品依頼をあわせて行った。

#### オ 会津の三十三観音めぐりの調査研究

##### (ア) 分野 美術・民俗

##### (イ) 趣旨

会津の三十三観音めぐりは、近世以降、女性を中心に連綿と行われてきた。仏教信仰のみならず、観音講におけるコミュニティ形成や御詠歌など多様な要素を含む非常に重要な文化と言える。その一方で、参加人口の減少などにより、継承が危惧されてもいる。本調査研究では、聞き取り調査等を実施し、会津の信仰文化・民俗を掘り下げ、地域の文化の新たな見直し・活用を目指す。

#### (ウ) 調査概要

会津の三十三観音を構成する観音堂を実際にめぐり、各観音堂の歴史や地域において果たしてきた役割等について現地調査を行った。また、三十三観音めぐり経験者に、観音講の運営や観音めぐりの実施方法等について聞き取り調査を行った。

#### カ 災害史の学際的研究と災害史展示の構築

##### (ア) 分野 震災遺産保全チーム

##### (イ) 趣旨

東日本大震災の発生以来、災害史の研究はこれまで以上に盛んに行われるようになった。これまで当館では、慶長大地震や磐梯山噴火などに関する資料の収集や会津藩の社倉制の研究、山口弥一郎資料の研究など多様な災害に関わる調査研究を進めてきたが、いずれも個々の分野が断片的に行ってきた活動であった。東日本大震災や原発事故のような大規模災害の経験を後世に語り継いでいくためには、自然史や歴史、民俗、考古、保存科学等の分野が総合的に資料を調査研究していく必要があり、また学際的な見地から歴史上の災害を整理し直し、資料調査を進めたうえで展示に反映していくことも求められる。本研究では東日本大震災と災害史に関する資料の収集や調査研究を分野横断的なチームで進め、将来的な常設展示のリニューアルにおいてそれらを福島県の歴史として位置づけることを目指す。

#### (ウ) 調査概要

本年度は主に東日本大震災に関連する資料の保全と、それを特集展に反映するための調査研究を進めた。具体的には南相馬市における津波堆積物の剥ぎ取り標本の製作や、原発事故により置き去りにされた牛が餌代わりに齧った木柱のレプリカ製作などを進めた。いずれも自然史や民俗学・考古学的手法による調査と、保存科学的な手法を用いた資料保全であった。さらにこれらの一部を特集展「震災遺産を考える—災害の歴史と東日本大震災—」に展示した。

#### キ 古墳出土金属製品の現代保存修復と展示公開

##### (ア) 分野 保存科学分野

##### (イ) 趣旨

発掘調査で出土した金属製品は、歴史上、過去の社会・経済・産業・流通などを考える上で貴重な資料であり、博物館等の収蔵施設での保存・展示のために、クリーニング、埋没環境下で進行した腐食の安定化(脱塩処理)、形態を保つための樹脂含浸、破片の復元等の一連のプロセス(保存処理)が要求される。保存処理の後には、温度、湿度、空気質(金属の腐食促進ガス、塵埃等)、照明等の環境を適切に構築することによって、保存処理の効果が持続する。

維持管理において、適切な環境構築手法を検討する。

#### (ウ) 調査概要

本年度は、福島市梅本古墳出土象嵌刀装具の保存修復、福島県立博物館展示室における金属腐食ガスの実態を把握するため、パッシブインジケーターを用いて半定量分析した。

## (2) その他の調査研究事業

### ア 古文書整理事業

古文書類の調査・研究は、福島県の歴史をさぐるために欠かせない。しかし古文書を歴史資料として活用するためには、1点ずつ整理を行い、表題・年代・形態・法量・状態などのデータを採取した上で、博物館資料として登録する必要がある。このため、購入・寄贈・寄託などにより当館で受け入れた古文書の整理・登録作業を行っている。また古文書原本を状態よく保存し後世に伝えていくため、古文書をマイクロ撮影し、原本のかわりに閲覧用に提供している。

平成29年度は、前年度に引き続き斎藤美恵子家寄託資料(会津藩士篠澤家文書)および安斎勇雄コレクションの整理を継続して実施したほか、新たに浅羽興一家寄贈資料、本田徳壽家寄託資料、本田信英家寄託資料の整理を行った。また整理済みで未登録であった久米幹男家寄贈資料(絵はがき類)と松崎達夫家寄贈資料(若松城下菓種問屋資料)の一部を登録し、登録済みだが未公開であった田中野狐禅コレクションの公開も併せて行った。マイクロ撮影は、前年度に引き続き「築田家追加寄託資料」の撮影を行った。

## (3) 職員の研究活動

### ア 研究成果の公表(職員の氏名あいうえお順)

#### (ア) 印刷物(単行本・自治体史・図録・報告書・紀要・学術雑誌)

相田優・猪瀬弘瑛・香内修・竹谷陽二郎 2017.7 福島県立博物館企画展図録『ふくしま 5億年の自然史』88p. 福島県立博物館

荒木隆・高橋満・田中敏・藤原妃敏・森幸彦 2017.10 福島県立博物館企画展図録『発掘ふくしま4』福島県立博物館

荒木隆 2018.3 「学校支援を中核とした博物館における多様な社会教育活動の実践と展望—学校・博物館・地域・市町村教育委員会の連携を模索して—」『福島県立博物館紀要』第32号 p. 1-32 福島県立博物館

荒木隆 2018.3 「平安時代の山林寺院に表された神仏習合の姿—史跡流廃寺後の仏堂・社殿遺構から検証する—」『福島県立博物館紀要』第32号 p. 33-62 福島県立博物館

荒木隆 2018.3 「江戸時代交通路からみた南奥州の諸藩配置の意味—南奥州における幕府支配体制確立期における丹羽家の役割—」『福島県立博物館紀要』第32号 p. 63-82 福島県立博物館

J. Tazawa, H. Inose and N. Kaneko 2017.8 「*Cyrtospirifer ainosawensis* sp. nov., from the Upper Devonian Ainosawa Formation, Soma, Abukuma Mountains, northeastern Japan」『地質学雑誌』第123巻 p. 653-656 日本地質学会

猪瀬弘瑛 2018.3 「福島県いわき市の上部白亜系双葉層群足沢層大久川部層から産出したアンモナイト

*Yezoites perrini* (Anderson, 1902) 『福島県立博物館紀要』第32号 p. 93-96 福島県立博物館

内山大介 2018.1「博物館資料としての『震災遺産』—場所・モノ・物語の継承のために—」ふくしま歴史資料保存ネットワーク事務局編『ふくしまの未来へつなぐ、伝える シンポジウム記録集◆2017』p. 21-26

内山大介 2018.2「博物館における『民俗分野』の位置—震災を起点とした活動から—」『日本民俗学』第293号 p. 146-151 日本民俗学会

内山大介 2018.3『会津の御田植祭』（共著）会津の御田植祭調査委員会

内山大介 2018.3『間々田のジャガマイタ調査報告書』（共著）小山市教育委員会

内山大介 2018.3「民俗資料の保全をめぐる限界と可能性—福島県における民具の救出を事例に—」西村慎太郎編『新しい地域文化研究の可能性を求めて』Vol. 5 地域歴史資料救出の先へ（人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」ブックレット）p. 8-19

内山大介 2018.3「福島県における震災・原発被災と博物館活動—文化財の救出から『震災遺産』の保全へ—」科学研究費補助金基盤研究（S）「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて」研究グループ編『被災地フォーラム新潟2017 報告書』p. 16-19

内山大介 2018.3「展示批評 千葉県立関宿城博物館『鯛は弱いが役に立つ—肥料の王様 干鯛—』」『民具研究』第157号 p. 91-94 日本民具学会

内山大介 2018.3「書評 中原正男『白河踊り—奥州白河からふるさとへ伝えた盆踊り』」『福島の民俗』第46号 p. 90-91 福島県民俗学会

大里正樹 2017.9「第3章 衣食住 2 食生活」『野田市民俗調査報告書 10 二川・関宿地区の民俗』pp. 81-97 野田市

大里正樹 2017.9「第4章 人生儀礼 4 葬送」『野田市民俗調査報告書 10 二川・関宿地区の民俗』pp. 52-65 野田市

大里正樹 2018.3「郷友会の存続と村落社会—沖縄県内の郷友会数調査から—」古家信平編『現代民俗学のフィールド』p. 259-273 吉川弘文館

大里正樹 2018.3「書評 鈴木節子『どごんわらしえ—故郷福島県「正直」の言葉』」『福島の民俗』第46号 p. 91-92 福島県民俗学会

Motoyama, I., Itaki, T., Kamikuri, S., Taketani, Y. and Okada, M. 2017.10 Cenozoic biostratigraphy, chronostratigraphy and paleoceanography in the Boso Peninsula and Bandai Volcano in the Aizu region, East Japan. (InterRad XV in Niigata 2017 Excursion Guide). *Sci. Rep., Niigata Univ. (Geology)*,

*no. 32 (Supplement)*, p. 1-27.

高橋充 2018.3「郡山陣中からの伊達政宗書状」『南奥中世史への挑戦』p. 76-85 福島県中世史研究会

高橋充 2018.3「墨書のある部材について」『名勝会津松平氏庭園御茶屋御殿修理工事報告書』p. 70-80 会津若松市教育委員会

時枝務・高橋充 2018.3「信夫山頂遺跡出土品の研究（6）」『福島県立博物館紀要』第32号 p. 83-92 福島県立博物館

高橋 満 2017.9「縄文時代土器製塩研究の展開と課題」『縄文の塩—土器製塩の技術と展開—シンポジウム予稿集』p. 1-8

#### (イ) 学会発表

安藤佑介・御前明洋・猪瀬弘瑛・服部創紀・古野竹志・森木和則・疋田吉識・嶋田智恵子・加藤久佳 2017.6「道北地域の白亜系および新第三系から産出した十脚類化石の追加記録」日本古生物学会 2017 年年会 於北九州市立自然史・歴史博物館

内山大介 2017.6.17「博物館資料としての『震災遺産』—場所・モノ・物語の継承のために—」シンポジウム「ふくしまの未来へつなぐ、伝える—歴史・文化・震災遺産の保全と活用の今—」ふくしま歴史資料保存ネットワーク主催 於 郡山市民プラザ

内山大介 2017.9.2「民俗資料の保全をめぐる限界と可能性—福島県における民具の救出を事例に—」シンポジウム「地域歴史資料救出の先へ」人間文化研究機構広領域型基幹研究プロジェクト国文学研究資料館ユニット「人命環境アーカイブズの過去・現在・未来に関する双方向的研究」主催 於 いわき市文化センター

内山大介 2017.10.13「東北における傘と吊るし物の奉納習俗—会津と庄内の比較から—」第4回山鉾屋台研究会 於 京都市職員会館かもがわ

内山大介 2017.10.15「奉納物としてのカサボコー 観音・地藏信仰と吊るし物の民俗—」（グループ発表「祭礼・行事の傘・鉾・傘ブク」）日本民俗学会 第69回年会 於 佛教大学

内山大介 2017.12.2「福島県における震災・原発被災と博物館活動—文化財の救出から『震災遺産』の保全へ—」シンポジウム「被災地フォーラム新潟」科学研究費基盤研究（S）「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて」、新潟大学災害・復興科学研究所 地震・火山噴火予知研究協議会史料・考古部会「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析」研究グループ主催 於 新潟大学

大里正樹 2017.10.15「行事の継承におけるコスト—福島県郡山市『笹川のあばれ地蔵保存会』の事例—」日本民俗学会 第69回年会 於 佛教大学

杉崎佐恵・高橋 満・松田隆嗣 2017.6「象嵌線

に潜む古墳時代の象嵌技法の顕在化」 日本文化財科学会第34回大会 於東北芸術工科大学

杉崎佐保恵・高橋 満・松田隆嗣 2017.6 「象嵌線の観察から導く古墳時代の象嵌技法」 文化財科保存修復学会第39回大会 於金沢歌舞伎座

高橋 充 2017.11 「馬の流通からみた戦国期奥羽の城下町」 城下町科研総括シンポジウムⅡ 於大阪市立大学(科学研究費助成事業「中世・近世移行期における守護所・城下町の総合的研究」)

高橋 満 2017.6 「東日本大震災と博物館－福島県立博物館の取組み－」文化庁第10回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー 於東京国立博物館

高橋 満 2017.10 「縄文時代土器製塩研究の展開と課題」明治大学資源利用史研究クラスター研究成果公開シンポジウム「縄文の塩－土器製塩の技術と展開－」於明治大学

安藤佑介・御前明洋・猪瀬弘瑛・服部創紀・古野竹志・森木和則・疋田吉識・嶋田智恵子・加藤久佳 2017.6 「道北地域の白亜系および新第三系から産出した十脚類化石の追加記録」 日本古生物学会 2017年年会 於北九州市立自然史・歴史博物館

Taketani, Y. 2017.10 Lowermost Cretaceous radiolarian assemblage from the South Kitakami Terrane, Northeast Japan. InterRad XV in Niigata 2017, General Symposium Session 19(Poster) (第15回国際放散虫研究集会 ポスター発表)

#### イ 他団体による委嘱等

阿部綾子：青森県史編さん調査研究員 青森県

阿部綾子：相馬市史編さん調査執筆員 相馬市教育委員会

阿部綾子：郡山市文化財保護審議委員

荒木 隆：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会

荒木 隆：堂後遺跡及び勝常寺跡調査指導委員会委員 湯川村教育委員会

猪瀬弘瑛：ふくしまサイエンスぶらっとフォーム連携コーディネーター

内山大介：共同研究員 共同研究「地域における歴史文化研究拠点の構築」国立歴史民俗博物館

内山大介：非常勤講師 福島県立医科大学医学部

内山大介：評議員 日本民具学会

内山大介：委員 第42回日本民具学会大会実行委員会

内山大介：副委員長 会津の御田植祭調査委員会

内山大介：三島町史編さん専門委員 三島町教育委員会

内山大介：会津坂下町史編さん専門委員 会津坂下町教育委員会

内山大介：委員 郡山市文化財保護審議委員会

内山大介：事務局 福島県民俗学会

内山大介：委員 小山市国選択無形民俗文化財間々田のジャガマイタ調査委員会

大里正樹：研究協力者 科研費基盤研究(C)「民俗文化の継承におけるコストとモチベーションに関する基礎的研究」聖徳大学

大里正樹：三島町史編さん専門委員 三島町教育委員会

大里正樹：会津坂下町史編さん専門委員 会津坂下町教育委員会

大里正樹：福島県民俗学会事務局 福島県民俗学会

大里正樹：野田市史編さん調査研究員 野田市

川延安直：喜多方市美術館収集委員会委員 喜多方市教育委員会

川延安直：「ふるさとの風景展」審査員 喜多方市美術館

川延安直：いわき市文化財保護審議委員会委員 いわき市教育委員会

川延安直：須賀川市文化財保護審議委員会委員 須賀川市教育委員会

川延安直：白河市文化財保護審議委員会委員 白河市教育委員会

川延安直：福島県文学賞エッセー・ノンフィクション部門審査委員

川延安直：福島大学芸術による地域創造研究所研究員 福島大学

川延安直：やないづ町立斎藤清美術館運営協議会委員

小林めぐみ：福島芸術計画×Art Support TOHOKU-TO KYO 運営委員会委員 福島県、東京都

小林めぐみ：会津漆器技術後継者訓練校講師 会津漆器協同組合

小林めぐみ：やないづ町立斎藤清美術館運営協議会委員 柳津町

小林めぐみ：会津若松市文化のまちづくり事業委員会委員 公益財団法人会津若松文化振興財団

小林めぐみ：只見町ユネスコエコパーク支援委員会委員 只見町ユネスコエコパーク推進協議会

小林めぐみ：福島大学芸術による地域創造研究所研究員 福島大学

小林めぐみ：調査委員会委員 会津の御田植祭調査委員会

小林めぐみ：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会

小林めぐみ：西会津町歴史文化基本構想等策定委員会委員 西会津町

佐藤洋一：南会津町伝統的建造物群保存地区保存審議委員会委員

佐藤洋一：共同研究「『聆涛閣集古帖』の総合資料学的研究」共同研究員 国立歴史民俗博物館

高橋 充：二本松城跡整備検討委員会委員 二本松市教育委員会

高橋 充：向羽黒山城跡調査整備委員会委員 会津美里町教育委員会

高橋 充：相馬市史編さん専門委員 相馬市教育委員会

高橋 充：会津藩主松平家墓所及び名勝会津松平氏庭園整備指導会議委員 会津若松市教育委員会

高橋 充：阿津賀志山防塁調査・整備指導委員会委員  
国見町教育委員会

高橋 充：伊達市宮脇廃寺跡保存管理計画策定委員会  
委員 伊達市教育委員会

高橋 充：伊達市立博物館（仮称）整備検討委員会委  
員 伊達市教育委員会

高橋 充：棚倉城跡調査指導委員会委員 棚倉町教育  
委員会

高橋 充：会津坂下町史編さん委員会委員 会津坂下町

高橋 充：北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員  
会委員 北塩原村教育委員会

高橋 充：小峰城跡石垣検討委員会委員 白河市

高橋 充：堂後遺跡及び勝常寺跡調査指導委員会委員  
湯川村教育委員会

高橋 充：日本学術振興会「中世・近世移行期における  
守護所・城下町の総合的研究」大阪市立大学

高橋 充：医学部講義「芸術と文化（博物館からみた  
地域文化）」福島県立医科大学

高橋 充：只見町教育振興基本計画検討委員会委員  
只見町教育委員会

高橋 満：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委  
員会

高橋 満：「日本先史文化の多視点的研究」研究推進員  
明治大学

高橋 満：富岡町アーカイブ施設検討町民会議委員（会  
長） 富岡町

高橋 満：富岡町アーカイブ施設整備識者検討部会委員  
富岡町

竹谷陽二郎：原町市史編さん専門委員 相馬市教育委  
員会

竹谷陽二郎：南相馬市博物館協議会委員 南相馬市博  
物館

竹谷陽二郎：南相馬市博物館「小高の自然」調査員 南  
相馬市博物館

竹谷陽二郎：磐梯山ジオパーク協議会運営委員長 磐  
梯山ジオパーク協議会

竹谷陽二郎：ジオパーク支援委員 日本地質学会

竹谷陽二郎：ふくしまサイエンスぶらっとフォーム運  
営協議委員

竹谷陽二郎：サポートセンター員 福島大学うつくし  
まふくしま未来支援センター

田中 敏：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育  
委員会

田中 敏：郷土研究奨励賞選考委員 会津若松市教育  
委員会

田中 敏：喜多方市立美術館運営協議会委員 喜多方  
市教育委員会

藤原妃敏：会津若松市文化財保護審議委員 会津若松  
市教育委員会

藤原妃敏：原町市史編さん専門研究委員 南相馬市教  
育委員会

藤原妃敏：新鶴民俗資料館運営委員 会津美里町教育  
委員会

藤原妃敏：喜多方市文化財保護審議委員会委員 喜多  
方市教育委員会

藤原妃敏：笹山原No.16 遺跡調査指導委員 郡山女子短  
期大学

藤原妃敏：福島県考古学会副会長 福島県考古学会

藤原妃敏：南相馬市博物館運営協議会委員 南相馬市  
博物館

藤原妃敏：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育  
委員会

森 幸彦：福島県の森林文化に係わる調査検討委員会委  
員 福島県森林計画課

## 6 教育普及事業

### (1) 講座・講演会

当館では館長と学芸員による各種講座を開催しているが、そのほかにも、外部に講師を依頼しさまざまな講座・講演会等を実施している。また、新規事業として「子育て世代対応支援事業」を立ち上げた。平成29年度の各講座開催数は154、総参加者数は9,905人であった。

前年度（平成28年度）の開催回数は120回で今年度は34回多かった。総参加者数は前年度8,229人で、1,676人の増加、前年比120%であった。次頁は個別講座・講演等の一覧である。

| テ ー マ        | 回数 | 参加者数 |
|--------------|----|------|
| (1) 館長講座     | 12 | 721  |
| (2) 考古学講座    | 22 | 403  |
| (3) 民俗講座     | 4  | 103  |
| (4) 歴史講座     | 8  | 842  |
| (5) 自然史講座    | 3  | 91   |
| (6) 保存科学講座   | 1  | 6    |
| (7) 美術講座     | 3  | 107  |
| (8) ギャラリートーク | 8  | 162  |



| テ ー マ                               | 回数  | 参加者数   |
|-------------------------------------|-----|--------|
| (9) 指導者向け研修                         | 1   | 8      |
| (10) 実技講座                           | 5   | 32     |
| (11) 実演                             | 2   | 44     |
| (12) 企画展関連行事（記念講演・シンポジウム・講座・展示解説会等） | 34  | 1,049  |
| (13) ミュージアムイベント                     | 9   | 1,370  |
| (14) 子育て世代対応事業                      | 14  | 2262   |
| (15) 共催事業                           | 10  | 913    |
| (16) 後援事業                           | 12  | 1232   |
| (17) 企画展・特集展内覧会（友の会）                | 7   | 558    |
| (18) 復興応援パートナー事業                    | 2   | 208    |
| 計                                   | 157 | 10,111 |

平成 29 年度講座・講演会等行事一覧

ア 館長講座

| テ ー マ                                | 講師・所属等                                               | 期 日       | 参加人数 |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------|------|
| 『北のはやり歌』①「リンゴの唄」                     | 赤坂憲雄（館長）                                             | 4月20日（木）  | 56   |
| 『北のはやり歌』②「北上夜曲」                      | 赤坂憲雄（館長）                                             | 5月18日（木）  | 59   |
| 『北のはやり歌』③「北帰行」                       | 赤坂憲雄（館長）                                             | 6月15日（木）  | 57   |
| 『北のはやり歌』④「ああ上野駅」                     | 赤坂憲雄（館長）                                             | 7月20日（木）  | 70   |
| 『北のはやり歌』⑤「港町ブルース」                    | 赤坂憲雄（館長）                                             | 8月17日（木）  | 65   |
| 『北のはやり歌』⑥「浜屋顔」                       | 赤坂憲雄（館長）                                             | 9月21日（木）  | 49   |
| 『北のはやり歌』⑦「北国の春」                      | 赤坂憲雄（館長）                                             | 10月19日（木） | 52   |
| 『北のはやり歌』⑧「津軽海峡・冬景色」                  | 赤坂憲雄（館長）                                             | 11月16日（木） | 42   |
| 『北のはやり歌』⑨「俺ら東京さ行ぐだ」                  | 赤坂憲雄（館長）                                             | 12月21日（木） | 60   |
| 『北のはやり歌』⑩「みだれ髪」                      | 赤坂憲雄（館長）                                             | 1月18日（木）  | 80   |
| 『東日本大震災を考える』①<br>クロストーク「語りがたきものに触れて」 | 赤坂憲雄（館長）<br>久保田翠（クリエイティブサポートレッツ理事長）<br>小松理虔（ヘキレキ舎主宰） | 2月15日（木）  | 56   |
| 『東日本大震災を考える』②<br>対談「歌と能一鎮魂はいかにして可能か」 | 赤坂憲雄（館長）・笠井賢一（演出家）                                   | 3月15日（木）  | 75   |

イ 考古学講座

| テ ー マ               | 講師・所属等   | 期 日      | 参加人数 |
|---------------------|----------|----------|------|
| ハニワ大王の講談スーパー古事記1    | 荒木隆（学芸員） | 4月16日（日） | 16   |
| 「パワーアップ サロンド 考古学 1」 | 荒木隆（学芸員） | 4月22日（土） | 12   |
| ハニワ大王の講談スーパー古事記2    | 荒木隆（学芸員） | 5月21日（日） | 19   |
| 「パワーアップ サロンド 考古学 2」 | 荒木隆（学芸員） | 5月27日（土） | 10   |
| ハニワ大王の講談スーパー古事記3    | 荒木隆（学芸員） | 6月18日（日） | 19   |
| 「パワーアップ サロンド 考古学 3」 | 荒木隆（学芸員） | 6月24日（土） | 10   |
| ハニワ大王の講談スーパー古事記4    | 荒木隆（学芸員） | 7月16日（日） | 32   |
| 「パワーアップ サロンド 考古学 4」 | 荒木隆（学芸員） | 7月22日（土） | 8    |
| 「縄文土器を作ろう！①」        | 森幸彦（学芸員） | 8月5日（土）  | 11   |
| 「縄文土器を作ろう！②」        | 森幸彦（学芸員） | 8月6日（日）  | 11   |
| ハニワ大王の講談スーパー古事記5    | 荒木隆（学芸員） | 8月20日（日） | 22   |

| テ ー マ                          | 講師・所属等        | 期 日       | 参加人数 |
|--------------------------------|---------------|-----------|------|
| 「パワーアップ サロンド 考古学 5」            | 荒木隆 (学芸員)     | 8月26日(土)  | 20   |
| ハニワ大王の講談スーパー古事記6               | 荒木隆 (学芸員)     | 9月17日(日)  | 10   |
| 「出張 パワーアップ サロンド 考古学 i n 会津まつり」 | 荒木隆 (学芸員)     | 9月24日(日)  | 25   |
| 「縄文土器の野焼き」                     | 森幸彦 (学芸員)     | 10月15日(日) | 11   |
| ハニワ大王の講談スーパー古事記7               | 荒木隆 (学芸員)     | 10月15日(日) | 10   |
| 「交通路からみた幕藩体制確立期における丹羽氏の役割」     | 荒木隆 (学芸員)     | 10月22日(日) | 17   |
| 「パワーアップ サロンド 考古学7」             | 荒木隆 (学芸員)     | 10月28日(土) | 10   |
| ハニワ大王の講談スーパー古事記8               | 荒木隆 (学芸員)     | 11月19日(日) | 32   |
| 「パワーアップ サロンド 考古学8」             | 荒木隆 (学芸員)     | 11月25日(土) | 10   |
| 「縄文と弥生」                        | 田中敏・森幸彦 (学芸員) | 3月10日(土)  | 68   |
| 「勾玉・ガラス玉を作ろう」                  | 高橋満 (学芸員)     | 3月24日(土)  | 20   |

### ウ 民俗講座

| テ ー マ                                             | 講師・所属等      | 期 日      | 参加人数 |
|---------------------------------------------------|-------------|----------|------|
| おもしろ民俗学ゼミナール1<br>「どうして玄関では靴を脱ぐの? -住まいと暮らしの民俗入門-   | 内山大介 (学芸員)  | 5月27日(土) | 34   |
| おもしろ民俗学ゼミナール2<br>「昔はみんなお見合い結婚だったの? -家族と結婚の民俗入門-   | 大里正樹 (学芸員)  | 7月1日(土)  | 10   |
| おもしろ民俗学ゼミナール3<br>「なぜ七・五・三にお祝いをするの? -子供と成長祈願の民俗入門- | 山口拓 (学芸員)   | 11月4日(土) | 21   |
| おもしろ民俗学ゼミナール4<br>「大正月と小正月はどうちがうの? -暦と行事の民俗入門-     | 江川トヨ子 (学芸員) | 1月13日(土) | 38   |

### エ 歴史講座

| テ ー マ                                              | 講師・所属等     | 期 日       | 参加人数 |
|----------------------------------------------------|------------|-----------|------|
| はじめてさんの古文書講座①                                      | 阿部綾子 (学芸員) | 6月17日(土)  | 32   |
| はじめてさんの古文書講座②                                      | 高橋充 (学芸員)  | 7月15日(土)  | 31   |
| はじめてさんの古文書講座③                                      | 栗原祐斗 (学芸員) | 8月19日(土)  | 30   |
| 史料でよむ戊辰戦争<br>第1回「会津藩雪辱の書～渋谷源蔵「雪冤一弁」をよむ～」           | 阿部綾子 (学芸員) | 9月16日(土)  | 150  |
| 史料でよむ戊辰戦争<br>第2回「戦場・会津の7日間～「酒井安右衛門覚書」をよむ～」         | 高橋充 (学芸員)  | 10月21日(土) | 156  |
| 史料でよむ戊辰戦争<br>第3回「民政局とは何か?～築田家文書「公用簿籍」をよむ～」         | 田中伸一 (学芸員) | 11月18日(土) | 151  |
| 史料でよむ戊辰戦争<br>第4回「県庁文書にみる戦後の会津～若松県「日誌」をよむ～」         | 栗原祐斗 (学芸員) | 12月16日(土) | 117  |
| 史料でよむ戊辰戦争<br>第5回「新島八重の回顧談～「男装して会津城に入りたる当時の苦心」をよむ～」 | 佐藤洋一 (学芸員) | 1月20日(土)  | 175  |

### オ 自然史講座

| テ ー マ           | 講師・所属等       | 期 日       | 参加人数 |
|-----------------|--------------|-----------|------|
| 野外講座「化石をさがそう」   | 相田優 (学芸員)    | 10月7日(土)  | 40   |
| 実技講座「化石標本をつくろう」 | 香内修 (学芸員)    | 10月8日(日)  | 36   |
| 野外講座「鶴ヶ城の野鳥」    | 古川裕司 (野鳥研究家) | 11月12日(日) | 15   |

## カ 保存科学講座

| テ ー マ                           | 講師・所属等     | 期 日      | 参加人数 |
|---------------------------------|------------|----------|------|
| 「犯人はおまえだ！—原因を見極めて博物館資料の寿命を延ばす—」 | 杉崎佐保恵（学芸員） | 4月22日（土） | 6    |

## キ 美術講座

| テ ー マ     | 講師・所属等     | 期 日        | 参加人数 |
|-----------|------------|------------|------|
| 「仏像のキホン①」 | 塚本麻衣子（学芸員） | 8月11日（金・祝） | 38   |
| 「仏像のキホン②」 | 塚本麻衣子（学芸員） | 8月25日（金）   | 33   |
| 「仏像のキホン③」 | 塚本麻衣子（学芸員） | 9月8日（金）    | 36   |

## ク ギャラリートーク

| テ ー マ            | 講師・所属等   | 期 日      | 参加人数 |
|------------------|----------|----------|------|
| ハニワ大王のさわってギャラリー1 | 荒木隆（学芸員） | 4月2日（日）  | 36   |
| ハニワ大王のさわってギャラリー2 | 荒木隆（学芸員） | 5月7日（日）  | 18   |
| ハニワ大王のさわってギャラリー3 | 荒木隆（学芸員） | 6月4日（日）  | 16   |
| ハニワ大王のさわってギャラリー4 | 荒木隆（学芸員） | 7月2日（日）  | 24   |
| ハニワ大王のさわってギャラリー5 | 荒木隆（学芸員） | 8月6日（日）  | 25   |
| ハニワ大王のさわってギャラリー6 | 荒木隆（学芸員） | 9月3日（日）  | 11   |
| ハニワ大王のさわってギャラリー7 | 荒木隆（学芸員） | 10月1日（日） | 12   |
| ハニワ大王のさわってギャラリー8 | 荒木隆（学芸員） | 11月5日（日） | 20   |

## ケ 指導者向け研修

| テ ー マ       | 講師・所属等   | 期 日      | 参加人数 |
|-------------|----------|----------|------|
| 博物館利用指導者研修会 | 荒木隆（学芸員） | 8月18日（金） | 18   |

## コ 実技講座

| テ ー マ              | 講師・所属等                | 期 日           | 参加人数 |
|--------------------|-----------------------|---------------|------|
| 「須賀川の絵のぼり・小旗をつくろう」 | 大野青峯・大野久子（伝統技術保持者）    | 5月5日（金・祝）     | 11   |
| 会津・三島の編み組み細工1・2    | 渡部ユキ子・角田キイ子（三島町生活工芸館） | 7月8日（土）・9日（日） | 10   |
| 「唐人和風をつくろう」        | 斎藤誠一（伝統技術保持者）         | 7月29日（土）      | 4    |
| 「縄文時代の編み物を再現しよう！」  | 本間一恵（バスケットリー作家）       | 11月11日（土）     | 7    |

## サ 実演

| テ ー マ       | 講師・所属等           | 期 日      | 参加人数 |
|-------------|------------------|----------|------|
| 「大堀相馬焼の絵付け」 | 山田慎一（いかりや商店白河工房） | 6月18日（日） | 30   |
| 「昔語り」       | 横山幸子（語り部）        | 9月30日（土） | 14   |

## シ 企画展開連行事（記念講演・シンポジウム・講座・展示解説会等）

| テ ー マ                | 講師・所属等       | 期 日        | 参加人数 |
|----------------------|--------------|------------|------|
| 「漆との出会い、自然との出会い」     | 関谷浩二（漆芸家）    | 4月29日（土・祝） | 115  |
| 「自然を描く・漆で描く I部写生編1」  | 古川弓子（アーティスト） | 5月6日（土）    | 16   |
| 「自然を描く・漆で描く I部写生編2」  | 古川弓子（アーティスト） | 5月7日（日）    | 13   |
| 「自然を描く・漆で描く II部蒔絵編1」 | 八木由紀子（蒔絵師）   | 5月14日（日）   | 15   |
| 「自然を描く・漆で描く II部蒔絵編2」 | 八木由紀子（蒔絵師）   | 5月21日（日）   | 15   |
| 「自然を描く・漆で描く II部蒔絵編3」 | 八木由紀子（蒔絵師）   | 5月28日（日）   | 15   |

| テ ー マ                                         | 講師・所属等                          | 期 日         | 参加人数 |
|-----------------------------------------------|---------------------------------|-------------|------|
| 企画展「自然をうつす」より自然のものをスケッチする                     | 小林めぐみ（学芸員）                      | 6月6日（火）     | 21   |
| 企画展「ふくしま5億年の自然史」展示解説会                         | 自然分野学芸員                         | 7月16日（日）    | 22   |
| 企画展「ふくしま5億年の自然史」展示解説会                         | 自然分野学芸員                         | 7月23日（日）    | 6    |
| ワークショップ「—ふくしま最古の岩石がもらえる！—<br>アンモナイトの名前を当てよう！」 | 自然分野学芸員                         | 7月30日（日）    | 47   |
| 企画展「ふくしま5億年の自然史」展示解説会                         | 自然分野学芸員                         | 8月6日（日）     | 24   |
| 気象庁福島地方気象台出前講座「地震と津波について（仮題）」                 | 大和田 淳（福島地方気象台地<br>震津波防災官）       | 8月10日（木）    | 34   |
| 企画展「ふくしま5億年の自然史」展示解説会                         | 自然分野学芸員                         | 8月13日（日）    | 35   |
| ワークショップ「—ふくしま最古の岩石がもらえる！—<br>アンモナイトの名前を当てよう！」 | 自然分野学芸員                         | 8月20日（日）    | 48   |
| 企画展「ふくしま5億年の自然史」展示解説会                         | 自然分野学芸員                         | 9月17日（日）    | 24   |
| 企画展「発掘ふくしま4～土中の声に耳をすませば～」<br>記念講演会1           | 玉川一郎（福島県考古学会会長）                 | 10月7日（土）    | 30   |
| 企画展「発掘ふくしま4～土中の声に耳をすませば～」<br>展示解説会1           | 高橋満（学芸員）                        | 10月7日（土）    | 20   |
| 企画展「発掘ふくしま4～土中の声に耳をすませば～」<br>展示解説会2           | 荒木隆（学芸員）                        | 10月22日（日）   | 4    |
| 企画展「発掘ふくしま4～土中の声に耳をすませば～」<br>記念講演会2           | 菊地芳朗（福島大学人間発達文<br>化学類教授）        | 11月3日（金・祝）  | 63   |
| 企画展「発掘ふくしま4～土中の声に耳をすませば～」<br>展示解説会3           | 荒木隆（学芸員）                        | 11月3日（金・祝）  | 30   |
| 企画展「発掘ふくしま4～土中の声に耳をすませば～」<br>展示解説会4           | 森幸彦（学芸員）                        | 11月12日（日）   | 2    |
| 「檜葉町上ノ台遺跡の発掘調査」                               | 小林謙一（中央大学文学部）                   | 11月18日（土）   | 38   |
| 企画展「発掘ふくしま4～土中の声に耳をすませば～」<br>記念講演会3           | 斎藤成也（国立遺伝学研究所教<br>授）            | 11月23日（木・祝） | 70   |
| 企画展「発掘ふくしま4～土中の声に耳をすませば～」<br>展示解説会5           | 森幸彦（学芸員）                        | 11月23日（金・祝） | 20   |
| 講演会「国宝とは何か？」                                  | 佐藤康宏（東京大学教授）                    | 1月13日（土）    | 136  |
| 特集展解説会「歴史の中の災害」                               | 震災遺産保全チーム担当学芸員                  | 3月3日（土）     | 22   |
| ギャラリートーク「アートで伝える考える」                          | はま・なか・あいづ文化連携プ<br>ロジェクト担当学芸員    | 3月3日（土）     | 13   |
| グランド・ラウンドテーブルファイナル<br>「岡部昌生フロッタージュプロジェクトの6年」  | 岡部昌生（美術家）・港千尋（著<br>述家）・赤坂憲雄（館長） | 3月4日（日）     | 41   |
| 特集展解説会「大熊・双葉・浪江の取組み」                          | 震災遺産保全チーム担当学芸員                  | 3月4日（日）     | 41   |
| 特集展解説会「久之浜から見る震災の前と後」                         | 震災遺産保全チーム担当学芸員                  | 3月11日（日）    | 9    |
| 特集展解説会久之浜「ふるさとの記憶」模型について                      | 震災遺産保全チーム担当学芸員                  | 3月15日（木）    | 15   |
| 特集展ワークショップ「段ボールトイレを作ろう」                       | 宮崎賢哉（防災教育普及協会）                  | 3月18日（日）    | 20   |
| 特集展解説会「災害からの避難」                               | 震災遺産保全チーム担当学芸員                  | 3月18日（日）    | 10   |
| 特集展解説会「会津の災害」                                 | 震災遺産保全チーム担当学芸員                  | 3月25日（日）    | 15   |

## ス ミュージアムイベント

| テ ー マ                        | 出演・講師                   | 期 日        | 参加人数 |
|------------------------------|-------------------------|------------|------|
| 「玄如節と日本の民謡」                  | 玄如節顕彰会                  | 6月24日(土)   | 79   |
| 夏休み子ども野外映画会「ペット」             | 学芸員                     | 7月17日(月・祝) | 40   |
| 会津磐梯山・市民盆踊り                  | 会津磐梯山盆踊り保存会             | 8月15日(火)   | 130  |
| 夏休みナイトミュージアム                 | 学芸員                     | 8月19日(土)   | 78   |
| ハワイアン in けんぱく                | モハル・ハワイアンズ              | 8月26日(土)   | 130  |
| 会津室内楽団アンサンブル「Coderanni」コンサート | 会津室内楽団アンサンブル「Coderanni」 | 9月18日(月・祝) | 275  |
| クリスマス ジャズ ライブ                | 羽賀秀樹・眞鍋伸(ギター デュオ)       | 12月17日(日)  | 191  |
| 会津の彼岸獅子                      | 本滝沢獅子舞保存会               | 3月11日(日)   | 161  |
| coderanniコンサート               | 会津室内楽団アンサンブル「Coderanni」 | 3月25日(日)   | 286  |

## セ 子育て世代対応事業

| テ ー マ           | 講 師                                  | 期 日                 | 参加人数 |
|-----------------|--------------------------------------|---------------------|------|
| 博物館でも読み聞かせ1     | 読み聞かせグループ                            | 4月8日(土)             | 45   |
| 子供ミニミニ博物館       | 学習支援班                                | 4月29日(土・祝)～5月7日(日)  | 806  |
| 博物館でも読み聞かせ2     | 読み聞かせグループ                            | 5月13日(土)            | 38   |
| 博物館でも読み聞かせ3     | 読み聞かせグループ                            | 6月10日(土)            | 48   |
| 博物館でも読み聞かせ4     | 読み聞かせグループ                            | 7月8日(土)             | 50   |
| 博物館でも読み聞かせ特別編   | 会津短大幼児教育学科                           | 7月9日(日)             | 18   |
| 博物館でも読みきかせ～夏休み編 | 会津短大                                 | 8月6日(日)             | 18   |
| 子供ミニミニ博物館       | 学習支援班                                | 8月11日(金・祝)～8月17日(木) | 923  |
| 博物館でも読み聞かせ5     | 読み聞かせグループ                            | 8月12日(土)            | 42   |
| 博物館でも読み聞かせ6     | 読み聞かせグループ                            | 9月9日(土)             | 31   |
| 博物館でも読み聞かせ7     | 読み聞かせグループ                            | 10月14日(土)           | 38   |
| 親子でやすらぐ子守唄コンサート | 西館好子・稲村なお子・川口京子・長谷川芙美子(NPO法人日本子守唄協会) | 10月20日(金)           | 152  |
| 博物館でも読み聞かせ8     | 読み聞かせグループ                            | 11月11日(土)           | 38   |
| 博物館でも読み聞かせ 特別編  | 会津短大幼児教育学科                           | 1月20日(土)            | 15   |

## ソ 共催事業

| テ ー マ                                | 主 催                    | 期 日       | 参加人数 |
|--------------------------------------|------------------------|-----------|------|
| ふくしま史料ネットシンポジウム<br>「ふくしまの未来へつなぐ、伝える」 | ふくしま歴史資料保存ネットワーク       | 6月17日(土)  | 108  |
| 福島県博物館連絡協議会総会                        |                        | 7月6日(木)   | 28   |
| 福島県博物館連絡協議会 研修会                      |                        | 10月12日(木) | 22   |
| 福島県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会                 | 福島県高等学校家庭クラブ連盟         | 10月18日(水) | 80   |
| 平成29年度 文化財保護指導者研修会                   | 公益財団法人福島県文化振興財団        | 10月24日(火) | 85   |
| 平成29年度 文化財保護指導者研修会                   | 公益財団法人福島県文化振興財団        | 10月25日(水) | 63   |
| 子どもの読書活動推進ネットワークフォーラム                | 社会教育課                  | 11月21日(火) | 105  |
| 福島県考古学会大会                            | 福島県考古学会                | 11月25日(土) | 70   |
| 福島県考古学会総会・大会                         | 福島県考古学会                | 11月26日(日) | 52   |
| spffサイエンス屋台村 in 会津                   | ふくしまサイエンスぷらっとフォーム運営協議会 | 12月24日(日) | 300  |

## タ 後援事業

| テ ー マ                                     | 主 催               | 講師・所属                                      | 期 日       | 参加人数 |
|-------------------------------------------|-------------------|--------------------------------------------|-----------|------|
| 「温故知新の旅 4 漆工職人五十二年 今想う事・好奇心」(会津漆器協同組合青年部) | 会津漆器協同組合青年部       | 佐藤阡朗(工芸家)                                  | 6月23日(金)  | 85   |
| 「ふくしま 星と宇宙の展覧会」                           | 日新館天文台跡保護推進プロジェクト | 渡部潤一(国立天文台副台長)                             | 7月22日(土)  | 121  |
| 「ふくしま 星と宇宙の展覧会」                           | 日新館天文台跡保護推進プロジェクト | 鳴沢真也(西はりま天文台天文科学専門員)                       | 7月23日(日)  | 48   |
| 福島県造形サークル連合大会                             | 福島県造形サークル         | 三浦浩喜(福島大教授)                                | 7月29日(土)  | 31   |
| 会津熱中塾                                     | 会津熱中塾             | 河合祐子(日本銀行金融機構局城跡考査役) 阪井和夫(明治大学サービス創新研究所所長) | 9月17日(日)  | 34   |
| 「夢あるき」創立20周年事業                            | 特定非営利活動法人 夢あるき    |                                            | 10月8日(日)  | 86   |
| あいづまちなかあーとプロジェクト講演会                       | あいづまちなかあーとプロジェクト  | 四柳嘉章(輪島漆芸美術館長)                             | 10月14日(土) | 68   |
| 会津史学会講演会「平成の風土記～奥会津書房の立ち上げとその後」           | 会津史学会             | 遠藤由美子                                      | 10月29日(日) | 100  |
| 五色百人一首福島県大会                               | 五色百人一首福島県協会       |                                            | 11月5日(日)  | 70   |
| 会津史談会公開文化史講座「戊辰戦争と錦旗」                     | 会津史談会             | 栗原祐斗(学芸員)                                  | 11月22日(水) | 155  |
| 青木山を守る会講演会「青木山麓の歴史と文化」                    | 青木山を守る会           | 滝沢洋之、長尾修、東瀬紘一                              | 12月3日(日)  | 118  |
| 会津民俗研究会公開講演会「会津三十三観音を歩く」                  | 会津民俗研究会           | 吉田邦吉、吉田博子、塚本麻衣子(学芸員)                       | 2月25日(日)  | 316  |

## チ 企画展・特集展内覧会等(友の会)

| テ ー マ                           | 主催  | 講師・所属等                   | 期 日       | 参加人数 |
|---------------------------------|-----|--------------------------|-----------|------|
| Coderanniコンサート                  | 友の会 | 会津室内楽団「アンサンブル・Coderanni」 | 4月1日(土)   | 211  |
| 企画展「自然をうつす」内覧会                  |     | 小林めぐみ(学芸員)               | 4月28日(金)  | 25   |
| 企画展「ふくしま5億年の自然史」内覧会             |     | 相田優(学芸員)                 | 7月14日(金)  | 35   |
| 企画展「発掘ふくしま4」内覧会                 |     | 森幸彦(学芸員)                 | 10月6日(金)  | 30   |
| 友の会 映画祭(午前:「アマゾン大冒険」、午後:「天地明察」) | 友の会 |                          | 10月28日(土) | 203  |
| 企画展「山水憧憬」内覧会                    |     | 小林めぐみ(学芸員)               | 1月12日(金)  | 43   |
| 友の会総会                           | 友の会 |                          | 3月17日(土)  | 11   |

## ツ 復興応援パートナー事業

| テ ー マ                                                                            | 講師・所属等    | 期 日               | 参加人数 |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------|------|
| ちいさな黄色い手紙プロジェクト                                                                  | 会津短期大学他   | 11月4日(土)～23日(木・祝) | 185  |
| 映画会「地球交響曲 第8番(ガイアシンフォニーNo.8)」<br>映画会「ドキュメンタリー映画 新地町の漁師たち」<br>トークライブ「新地町の漁師たち」を語る | 山田徹(映画監督) | 2月24日(土)          | 23   |

## (2) 学校・文化施設との連携

各種学校および文化施設との連携を図りながら、次の事業を展開した。

県内外の学校団体や文化施設主催団体が訪れた際の学習効果をさらに高めるために、新たに学習支援のためのプログラムを開発した。学習支援班が電話の受付を担当し、各団体からの相談対応をしながら、目的ニーズに応じた効果的な学習プログラムをプロデュースした。

### ア 展示室での自主学习

常設展示室における児童・生徒の学習活動が有意義なものとなるように、発達段階や見学の目的などに応じた2種類のワークシートを準備している。

#### (ア) 博物館見学のしおり（小・中学生用）

常設展示室の展示資料を見る際のポイントを与えるように設問形式で構成されており、資料を観察しながら設問に答えられるように「考える」ことを重視したものになっている。難易度により3種類のシートがあり、当館ホームページからダウンロードできるようになっている。団体利用する学校等は事前に学校で印刷・配布し、事前学習を踏まえて当館を見学できるような形になっている。

#### (イ) 博物館探検シート

小学校高学年から中学生向けに作成されており、常設展示を構成する6つの大テーマに沿うかたちで、展示室内の主要な資料を題材に取り上げている。当館ホームページからダウンロードすることができるようになっているため、見学学習の目的に応じて選択できるとともに、事前の課題意識を持って児童・生徒が来館できるような形になっている。また、小学校低学年向けには「展示室探検ビンゴ」を作成した。

### ○学習プログラム実施状況

- ・講堂・視聴覚室におけるレクチャー 31回 1614名
- ・総合展示室におけるレクチャー 30回 1253名
- ・体験学習室におけるレクチャー 22回 847名
- ・企画展示室におけるレクチャー 24回 1046名

### イ 団体体験学習プログラム

児童・生徒が博物館の資料を用いながら体験学習をすることは、多様なものの見方や考え方を育む上で有効である。当館では、入館団体の多様なニーズに対応すべく、事前申込制で「原始・古代のワザに挑戦（考古分野）」「化石にふれてみよう（自然分野）」「紙すきハガキづくり（民俗分野）」「昔の道具体験（民俗分野）」「度量衡の統一と農民の暮らし（歴史分野）」の5つの団体体験学習プログラムを準備している。特に、「昔の道具体験」は小学校3年生の授業と連動した内容となっており、実施回数、人数とも増加した。

### ○体験学習プログラム実施状況

- 「原始・古代のワザに挑戦（考古分野）」 13回 218名
  - ・勾玉づくり 10回 179名
  - ・火おこし 3回 39名
- 「化石にふれてみよう（自然分野）」 2回 45名
- 「昔の道具体験（民俗分野）」 13回 452名
- 合計 28回 715名（公民館研修等を除く）

### ウ 指導者向け研修

学校教育・生涯教育関係者を対象に博物館利用指導者研修会を実施していたが、平成29年度から主に教職員の博物館利用促進を図るために、博物館を利用した日常授業と博物館見学を組み合わせた学習プログラムの取り組み方、さらに個別の体験学習、日常授業を進めるうえでの参考情報などを提供する研修会として内容を一新し、博物館を活用した学校活動の充実をねらう講習会として「博物館を活用した学校教育プログラム研修会 ―小学校社会科：会津地方の古墳時代をどう教材化するか？―」と題して実施した。

今年度は、「古墳時代」をテーマに取り上げ、8月18日（金）に8名の参加者により実施した。

### エ 学習用具・教材等の貸出

学校での授業づくりや生涯教育関連施設における活動等を支援するため、考古・歴史・民俗・自然の各分野で学習用具・教材等の貸出を行っている。

### ○学習用具・教材等の貸出実績

- ・実体顕微鏡 2台  
特定非営利活動法人 Wunder ground
- ・実体顕微鏡照明装置 2台  
特定非営利活動法人 Wunder ground
- ・実体顕微鏡用接眼レンズ（×10）2組  
特定非営利活動法人 Wunder ground
- ・実体顕微鏡用接眼レンズ（×20）2組  
特定非営利活動法人 Wunder ground

### オ ゲストティーチャー

当館学芸員がもつ専門知識や経験を館外で有効に活用してもらうため、学校等教育機関の要請に応じて現地に赴き、体験学習や講話を中心とした授業を担当している。また、8月13日（日）うすい百貨店において開催された福島民報社主催の「夏休みキッズワールド」に民俗分野の体験学習プログラム「紙すき体験」を実施した。

実施状況－50名参加

平成 29 年度 博物館を活用した学校教育プログラム研修会（定員 30 名）

| 時 間         | 内 容                                          | 場 所  |
|-------------|----------------------------------------------|------|
| 10:00～10:10 | 開講式・オリエンテーション                                | 視聴覚室 |
| 10:10～10:30 | 研修 1「当館における学校団体活用プログラムの概要」                   | 視聴覚室 |
| 10:30～11:30 | 研修 2「教科書分析/発掘調査成果からの補足事項【巨大古墳と豪族・和朝廷と国土の統一】」 | 視聴覚室 |
| 11:30～12:00 | 研修 3「展示資料の活用ポイント」                            | 展示室  |
| － 昼 食 －     |                                              |      |
| 13:00～13:45 | 研修 4「児童対象プログラム【会津の古墳時代を探ろう】体験」               | 視聴覚室 |
| 13:55～15:25 | 研修 5「体験学習メニューの実際：勾玉作り」                       | 実習室  |
| 15:25～15:50 | 博物館活用に関する意見交換                                | 実習室  |
| 15:50～16:00 | 閉講式・修了証授与                                    | 実習室  |

ゲストティーチャー実施一覧

| 月 日    | 講 師                 | 分野 | 内 容                | 実施先         | 科目        |
|--------|---------------------|----|--------------------|-------------|-----------|
| 6月14日  | 田中伸一                | 歴史 | 会津から世界へ～見つけよう宝人    | 会津若松市立東山小学校 | 総合的な学習の時間 |
| 9月13日  | 小林めぐみ               | 美術 | 地域に根ざす日本の伝統文化を学ぶ   | 会津若松市立第二中学校 | 総合的な学習の時間 |
| 9月27日  | 高橋 充                | 歴史 | ガイダンス              | 福島県立医科大学    | 芸術と文化     |
| 10月 3日 | 川延安直、小林めぐみ          | 美術 | 絵画資料から見る幕末の政治・社会   | 会津坂下町立坂下中学校 | 社会        |
| 10月 4日 | 川延安直                | 美術 | 博物館と美術館①           | 福島県立医科大学    | 芸術と文化     |
| 10月10日 | 高橋 満、田中伸一           | 震災 | 震災遺産に学ぶ震災の記憶・記録と防災 | 福島県立南会津高等学校 | 総合的な学習の時間 |
| 10月11日 | 川延安直、小林めぐみ          | 美術 | 絵画資料から見る幕末の政治・社会   | 会津坂下町立坂下中学校 | 社会        |
| 10月11日 | 高橋 充                | 歴史 | 檜枝岐文書の世界           | 福島県立医科大学    | 芸術と文化     |
| 10月11日 | 相田 優                | 自然 | 環境教育～自然に学ぶ         | 慈光第二幼稚園     | 行事        |
| 10月13日 | 相田 優                | 自然 | 環境教育～自然に学ぶ         | 会津慈光こども園    | 行事        |
| 10月18日 | 内山大介                | 民俗 | 生と死をめぐる民俗          | 福島県立医科大学    | 芸術と文化     |
| 10月25日 | 内山大介                | 民俗 | 盆と正月をめぐる民俗         | 福島県立医科大学    | 芸術と文化     |
| 11月11日 | 田中伸一、大里正樹、猪瀬弘瑛、栗原祐斗 | 震災 | 被災地フィールドワーク        | 福島県立会津高等学校  | 総合的な学習の時間 |
| 11月15日 | 猪瀬弘瑛                | 自然 | 化石の宝庫・福島県①         | 福島県立医科大学    | 芸術と文化     |
| 11月22日 | 猪瀬弘瑛                | 自然 | 化石の宝庫・福島県②         | 福島県立医科大学    | 芸術と文化     |
| 12月 6日 | 高橋 充                | 歴史 | 伊達政宗からの手紙          | 福島県立医科大学    | 芸術と文化     |
| 12月13日 | 民俗分野                | 民俗 | 昔の道具               | 会津若松市立城北小学校 | 社会        |

カ 職場体験

児童・生徒の進路意識の向上や職業観・勤労観の育成に寄与すべく、職場体験を受け入れている。平成 29 年度は 5 校からの要請があり、当館における業務を幅広く体験してもらった。

○職場体験受け入れ実績（児童・生徒のみ）

- ・福島県立若松商業高等学校（2年生：4名） 3日間
- ・会津若松市立第四中学校（2年生：4名） 2日間
- ・会津若松市立第一中学校（2年生：5名） 2日間
- ・三島町立三島中学校（2年生：1名） 2日間
- ・北塩原村立第一中学校（2年生：3名） 1日間

キ 博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習を実施している。平成 29 年度は県内出身および県内大学に在学する学生

11名を受け入れた。演習「体験学習メニューの企画立案」では、新しい体験学習メニューを企画した。実際に実施することを想定しながら、プレゼンテーション形式で発表したのち積極的な意見交換を行うことができた。

実習期間 8月22日（火）～8月27日（日）

(3) 生涯学習・研究支援

ア 相談コーナー

エントランスホール内に配置された無料空間。展示図録・報告書・紀要など博物館の刊行物、および博物館資料に関連した図書を配架。図書は図鑑・事典類、調べ学習への対応、見て楽しむ本の3項目を重視して選定し、入館者が自由に閲覧できる。現在の配架図書数は、2,662冊である。



相談コーナーは、入館者の展示や資料に関する質問や相談の求めに応じて、入館者と学芸員が面談する場としても利用される。

イ 資料の特別観覧

個人や研究機関による研究活動を支援するため、博物館資料の閲覧や撮影を許可し、実施している。

分野別特別観覧件数

考古：3件13点 歴史：17件294点 美術：6件12点  
民俗：4件16点 計30件335点

ウ 講師派遣

大学や公民館、研究団体などからの依頼に応じて、学芸員を講演会や講座に講師として派遣している。

平成29年度の派遣回数は25回であった。

実習生所属大学一覧

| No | 大学名          | 人数 |
|----|--------------|----|
| 1  | 茨城大学         | 1  |
| 2  | 神奈川工科大学      | 1  |
| 3  | 東北芸術工科大学     | 1  |
| 4  | 東洋大学         | 1  |
| 5  | 長岡造形大学       | 1  |
| 6  | 新潟大学         | 1  |
| 7  | 盛岡大学         | 1  |
| 8  | 山形県立米沢女子短期大学 | 2  |
| 9  | 立命館大学        | 1  |
| 10 | 立正大学         | 1  |
|    | 合計           | 11 |

講師派遣一覧

| No. | 月 日    | 講 師                   | 分野 | 演 題 ・ 内 容 等                              | 主 催              |
|-----|--------|-----------------------|----|------------------------------------------|------------------|
| 1   | 5月11日  | 大里正樹                  | 民俗 | 地域の魅力を見つめなおそう～身近な地域の伝統的な祭事を学ぶ～           | 会津坂下青年会議所        |
| 2   | 5月25日  | 荒木 隆                  | 考古 | 会津の歴史                                    | 磐梯町教育委員会         |
| 3   | 5月26日  | 高橋 充                  | 歴史 | 会津三十三観音巡礼歌について                           | 会津坂下町教育委員会       |
| 4   | 6月1日   | 高橋 充                  | 歴史 | 会津三十三観音                                  | 東北労働金庫喜多方支店      |
| 5   | 6月1日   | 竹谷陽二郎                 | 自然 | 会津盆地と磐梯山、その生い立ちを探る                       | 会津若松市教育委員会       |
| 6   | 6月9日   | 小林めぐみ                 | 美術 | 茶の湯の歴史と会津本郷焼                             | 会津美里町公民館         |
| 7   | 6月10日  | 高橋 充                  | 歴史 | 会津三十三観音と御詠歌                              | 磐梯町恵日寺資料館        |
| 8   | 6月17日  | 内山大介                  | 震災 | 博物館資料としての「震災遺産」～場所・モノ・物語の継承のために～         | ふくしま歴史資料保存ネットワーク |
| 9   | 6月29日  | 高橋 満                  | 震災 | 文化庁指定文化財企画・展示セミナー                        | 文化庁              |
| 10  | 7月5日   | 高橋 充                  | 歴史 | 会津三十三観音巡礼歌について2                          | 会津坂下町教育委員会       |
| 11  | 7月5日   | 内山大介                  | 民俗 | 伊佐須美神社の御田植祭                              | 会津美里町教育委員会       |
| 12  | 7月9日   | 阿部綾子                  | 歴史 | 保科家の歴史                                   | 猪苗代の偉人を考える会      |
| 13  | 7月28日  | 荒木 隆                  | 考古 | 会津の歴史                                    | 磐梯町教育委員会         |
| 14  | 8月13日  | 江川トヨ子<br>大里正樹<br>弦巻優太 | 民俗 | 紙漉き体験                                    | 福島民報社            |
| 15  | 8月23日  | 山口 拡                  | 民俗 | 忘れかけた年中行事                                | 喜多方市中央公民館        |
| 16  | 9月2日   | 内山大介                  | 民俗 | 民俗資料の保全をめぐる限界と可能性～福島県における民具の救出を事例に～      | 人間文化研究機構         |
| 17  | 10月11日 | 猪瀬弘瑛                  | 自然 | 化石講演会                                    | いわき市アンモナイトセンター   |
| 18  | 10月28日 | 高橋 充                  | 歴史 | 伊達政宗                                     | 仙台市博物館           |
| 19  | 11月14日 | 高橋 充                  | 考古 | 美里大学「資料で読む戊辰戦争」                          | 会津美里町公民館         |
| 20  | 12月2日  | 内山大介                  | 民俗 | 福島県における震災・原発被災と博物館活動～文化財の救出から「震災遺産」の保全へ～ | 新潟大学災害・復興科学研究所   |
| 21  | 1月28日  | 荒木 隆                  | 考古 | 石背国建国1300年と国指定史跡上人壇廃寺跡整備事業               | 須賀川市             |

| No. | 月 日   | 講 師   | 分野 | 演 題 ・ 内 容 等                | 主 催               |
|-----|-------|-------|----|----------------------------|-------------------|
| 22  | 2月10日 | 山口 拓  | 民俗 | 銭湯で働く人々<br>～浴場業者のライフヒストリー～ | 横浜開港資料館・横浜市歴史博物館  |
| 23  | 2月17日 | 高橋 充  | 歴史 | 会津三十三観音と御詠歌                | 喜多方市教育委員会         |
| 24  | 2月18日 | 竹谷陽二郎 | 自然 | ミクロの化石からアートへ               | NPO法人wunderground |
| 25  | 3月4日  | 竹谷陽二郎 | 自然 | ミクロの化石からアートへ               | NPO法人wunderground |

#### (4) 博物館友の会活動への支援

当館は、福島県立博物館友の会の活動を支援するため、共催事業などの実施、行事に対する講師の派遣、サークル活動への協力、各会員に対して博物館だよりの送付、展示観覧への便宜、資料や文献の閲覧等、研究活動の支援などを行っている。

##### ア 友の会の概要

(ア) 発足 平成元年3月10日

##### (イ) 設立の目的

博物館活動に協力するとともに、会員が「福島県の歴史と文化・自然」についての研修を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする。

##### (ウ) 総会の開催

平成30年3月17日に開催した。平成29年度の事業・会務・会計決算等の報告と平成30年度の計画を協議し、承認された。また、各サークルの活動・会計の報告が行われた。

##### (エ) 平成29年度会員数

個人会員：176 家族会員：39 高校生会員：0  
賛助会員：5 合計：220名

##### イ 平成29年度事業概要

##### (ア) 研修旅行

秋の研修旅行を実施した。上野の東京国立博物館にて開催されていた特別展「興福寺 運慶」を観覧する企画で、大変有意義な研修旅行となった。春は、最低人員に達せずやむなく中止となった。

○「春の研修旅行」『青森・弘前 歴史と文化、伝統をめぐる旅』(中止)

○「秋の研修旅行」『興福寺 運慶』

研修先：東京国立博物館

期 日：平成29年11月9日(木)

参加者：会員30名

##### (イ) 会報の発行

第113号・第114号・第115号と3回の会報を発行し会員に配布した。会長のご挨拶、研修旅行の報告、サークル活動の様子や「友の会映画祭」の報告、さらに私のライフワークの紹介など会員の顔が見える紙面作りに努めた。

##### (ウ) 博物館事業への協力

○博物館展示観覧

○友の会会員向け企画展内覧会への参加

4月28日(金)「自然をうつす」内覧会 25名参加

7月14日(金)「ふくしま5億年の自然史」内覧会

35名参加

10月6日(金)「発掘ふくしま4」内覧会 30名参加

1月12日(金)「山水憧憬」内覧会 47名参加

○博物館講座への協力

博物館の各種講座へ多くの会員が参加した。

○主な行事

4月1日(土)会津室内楽団Coderanniコンサート

211名参加

10月28日(土)友の会映画祭

午前「アマゾン大冒険」 50名参加

午後「天地明察」 153名参加

##### ウ サークル活動

化石・鉱物探検隊、古文書愛好会の2サークルが、それぞれの目的に向かって積極的に活動している。サークルごとに主体的に計画し、自立した活動となっている。

##### (ア) 化石・鉱物探検隊

化石や鉱物に興味をもつ研究サークルで、自然史に関する研鑽と会員相互の親睦を深めることを目的とし、平成11年に設立された。会員数27名。野外での巡検、化石や鉱物の採集、研修会等の活動を行っており、博物館の行事にも随時協力している。

平成29年度は次の活動を行った。

a 4月16日 西会津町漆窪林道での化石採集

b 5月14日 北塩原村大滝での鉱物採集

c 6月11日 下郷町大川右岸での化石採集

d 7月9日 山形県米沢市唐戸屋鉱山での鉱物採集

e 8月20日 栃木県西沢金山での鉱物採集

f 9月23日 化石・鉱物探検隊第2回成果展への取り組み(構想と作業日程)について協議

g 10月1日 郡山市熱海町母成での鉱物採集

h 10月7日 塙町西河内 藤田鉱業採石場での化石採集(博物館自然史講座への協力)

i 10月8日 福島県立博物館実習室での化石のクリーニング(博物館自然史講座への協力)

j 12月3日 化石・鉱物研修(鑑定)会の開催

k 平成30年3月4日 総会・研修会の開催

##### (イ) 古文書愛好会

平成14年度に発足した古文書愛好会は随時20～25名が参加し、活動を続けてきた。メンバーは5つの藩に分かれ、チームを組んで古文書の解説・考察にあたっている。テキストには当初から県指定文化財の築田家文書

(福島県立博物館寄託)を用いている。築田家は江戸時代に若松城下の検断(町役人)を務めた家で、その文書は城下の様相を伝える良質な資料であり、解説を通して少しずつ会津藩の歴史についての知見を深めている。近年では平成26年度から明治元年の公用簿籍(戊辰戦争直後の若松城下の記録)をテキストとし、戊辰戦争から150年の節目を迎える平成30年度に読み終えるのを目標としている。

平成29年度の活動人数は25名で、前年度に引き続き月1回・第2土曜日の午前中に開催し、班ごとに順番に発表を行い、毎回最後に文字・内容の検討を行った。

## 7 東日本大震災からの復興支援

平成23年3月11日午後2時46分、宮城県牡鹿半島沖の海底を震源としたマグニチュード9.0の大地震が発生した。震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及んだ。福島県立博物館のある会津若松市は震度5強の揺れを被った。福島県立博物館では、建物の躯体そのものには被害はなかった。しかし、設備および資料に若干の被害があり展示室の安全性の確認と修繕工事のため当面のあいだ休館とした。再開したのは平成23年4月12日(火)である。

福島県域は地震とそれに伴う津波、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により甚大な被害を被った。当館では、震災からの復興支援を目的として、平成24年度に新たに「ふくしまの文化・自然遺産の発掘と再生プロジェクト」を立ち上げた。これは次の3つの柱からなっている。

### 1 ふくしまの宝の発掘と保全

市町村や文化施設および大学等と連携し、被災地域の文化財の救出と保全を図るとともに、地域の宝である文化財や自然史資料を改めて調査・収集し、その価値を明らかにすることに努める。

### 2 ふくしまの宝の公開と活用

救出および新たに収集した文化財およびその研究成果をさまざまな形で県民に発信し、地域の誇りをとりもどすとともに、それらを教材として、ふくしまの未来を担う子供たちの育成を図る。

### 3 ふくしまの再生と活性化

文化施設や地域の文化団体、市民グループと連携し、文化資源を活用した地域おこし、文化的事業の開催など、文化の力を用いて地域の再生と活性化を図る。

このコンセプトに基づいて復興支援の事業を展開している。

## (1) 文化財・自然資料レスキュー

### ア 平成29年度の活動

#### (7) レスキュー作業の体制

前年度から継続して「福島県被災文化財等救援本部」(以下「救援本部、当館は副代表・幹事・事務局」)に参画して活動した。幹事会3回、会議1回。

#### (4) 被災資料への対応

震災後から受け入れてきた資料について、整理作業などを継続し、条件が整ったものについては返還した。

警戒区域の再編や解除が進み、住民の帰還が始まる中で、個人所有の資料の調査依頼があった(1件)。

#### (9) 救出された資料の展示公開

a 当館テーマ展「ふるさとの考古資料6【飯館村】遺跡探訪」(平成28年度～5月14日)

b 当館テーマ展「託されたおもい 寄贈・寄託の名品たち」(6月10日～7月17日)

c 当館テーマ展「ふるさとの考古資料7【檜葉町歴史資料館】移動展」(7月1日～平成30年5月20日)

d 当館企画展「ふくしま5億年の自然史」(7月16日～9月18日)

e 当館企画展「発掘ふくしま4—土中の声に耳をすませば—」(10月7日～11月26日)

#### (5) 研修会・研究会への参加

被災資料の保全に関する講演会やシンポジウムなどに参加した。

#### (6) 5年間のレスキュー活動紹介パネル展示

震災後5年間の活動の内容をまとめたパネル展示を、当館展示室内の展示ロビー・エントランスホールにおいて行った。

### イ 今後の課題

#### (7) 受け入れてきた文化財・自然資料への対応(継続)

#### (4) 旧警戒区域からの文化財・自然資料の搬出・保全(継続)

##### a 個人所有資料の保全

b 救出された文化財・自然資料の収蔵・公開施設についての検討

#### (9) 救出された文化財・自然資料の展示公開(継続)

#### (5) 今後の災害に備えたしくみづくりや準備

当館での被災文化財等の受け入れ状況

(平成29年度末現在)

| 受入年度        | No.           | 所有者             | 資料概要         | 点数             | 要因             | 整理状況 | 現状      |
|-------------|---------------|-----------------|--------------|----------------|----------------|------|---------|
| 平成23        | 1             | 旧相馬女子高校         | 土器片等         | 195点           | 旧校舍収蔵施設の損壊     | 済み   | 採集      |
|             | 2             | いわき市の個人         | 古文書・祭礼道具等    | 13件<br>(1509点) | 地震による蔵の損壊      | 未了   | 受託      |
|             | 3             | 南相馬市の個人         | 野馬追甲冑等       | 12件<br>(16点)   | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 返還済み    |
|             | 4             | 南相馬市の個人         | 文書           | 1点             | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 返還済み    |
|             | 5             | 双葉町教育委員会        | 古文書          | 253点           | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 受託      |
|             | 6             | 南相馬市の神社         | 棟札・像・文書等     | 22点            | 津波による神社の損壊     | 済み   | 一時預かり   |
|             | 7             | 須賀川市の神社         | 絵馬           | 109点           | 地震による神社の損壊     | 済み   | 受託・一部返還 |
|             | 8             | 須賀川市の個人         | 雛人形・五月人形等    | 4点             | 地震による建家の損壊     | 済み   | 受贈      |
|             | 9             | 双葉町教育委員会        | 刀剣・火縄銃       | 7点             | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 受託      |
|             | 10            | 郡山市の個人          | 近代史料・書籍等     | 961点           | 地震による蔵の損壊      | 済み   | 返還済み    |
|             | 11            | 双葉町の個人（教育委員会寄託） | 太刀           | 1点             | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 受託      |
|             |               |                 | 十三仏画         | 1点             |                | 不要   |         |
|             | 12            | 浪江町の寺院          | 両界種子曼荼羅      | 1点             | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 受託      |
|             | 13            | 福島市の個人          | 雛人形・古写真等     | 17件<br>(22点)   | 地震による建家の損壊     | 済み   | 受贈・受託   |
|             | 14            | 伊達市の個人          | 土器・石器・図書・地図  | 3件<br>(1647点)  | 地震による蔵の損壊      | 済み   | 受贈      |
|             | 15            | 南相馬市の寺院         | 膳碗漆器         | 48件<br>(79点)   | 原発事故避難により管理不能  | 未了   | 受託      |
|             | 16            | 会津工業高校          | 陶磁器          | 8点             | 地震による損壊        | 不要   | 返還済み    |
| 17          | 南相馬市鹿島歴史民俗資料館 | 植物化石標本          | 62件<br>(66点) | 地震による収蔵施設の損壊   | 済み             | 返還済み |         |
| 平成24        | 18            | 浪江町の個人          | 書跡           | 2点             | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 受託      |
|             | 19            | 富岡町             | 16ミリフィルム     | 1点             | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 受託      |
|             | 20            | 南相馬市の個人         | 化石標本         | 約400点          | 地震による収蔵施設の損壊   | 済み   | 受託      |
|             | 21            | 大熊町教育委員会        | 考古資料（落合B遺跡）  | 4943点          | 原発事故避難により管理不能  | 済み   | 受託      |
| 考古資料（棚和子遺跡） |               |                 | 10箱          | 済み             |                |      |         |
| 和鏡          |               |                 | 1点           | 済み             |                |      |         |
| 平成25        | 22            | 浪江町教育委員会        | 棚塩地区公民館地図    | 1点             | 地震・津波による建物損壊   | 不要   | 返還済み    |
|             | 23            | 葛尾村の寺院          | 仏像・仏画・経典等    | 5件<br>(604点)   | 原発事故避難により管理不能  | 未了   | 受託      |
|             | 24            | 双葉町教育委員会        | 清戸迫横穴壁画模写    | 1点             | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 受託      |
|             | 25            | 双葉町教育委員会        | フタバクジラ化石他    | 27件            | 原発事故避難により管理不能  | 未了   | 受託      |
| 平成28        | 26            | 浪江町の個人          | 大型民具         | 21点            | 地震による建物損壊、解体予定 | 済み   | 受贈      |
|             | 27            | 南相馬市小高区         | 石仏           | 5点             | 津波被害による処分予定    | 済み   | 採集      |
| 平成29        | 該当なし          |                 |              |                |                |      |         |

## (2) ふくしま応援ミュージアムイベント

従来実施してきたミュージアムイベントを、「ふくしま応援ミュージアムイベント」と名付け、被災された方々への励ましや、福島県を応援する意図をもったイベントを企画し実施した。

### ア 民謡 会津磐梯山と玄如節

(ア) 日 時 平成 29 年 6 月 24 日(土)13 時 30 分～15 時

(イ) 会 場 福島県立博物館 エントランスホール

(ウ) 参加者数 79 人

(エ) 共 催 玄如節顕彰会

(オ) 内 容

玄如節は、即興の掛け合いで唄うのを基本とする会津の民謡の源流でもある。今回のイベントでは、会津や全国各地の民謡を歌と踊りをまじえて披露し、最後に来館者の方々から募集した玄如節の歌詞を即興の歌で披露した。

### イ 夏休み子ども野外映画会「ペット」

(ア) 日 時 平成 29 年 7 月 17 日(月・祝)19 時～21 時

※博物館閉館後

(イ) 会 場 福島県立博物館 前庭

(ウ) 参加者数 40 人

(エ) 内 容

ミュージアムイベントとして前年に引き続き野外映画会を開催した。幅広い年齢層に楽しんでいただく映画として「ペット」を上映した。開放的な雰囲気の中で映画を味わえる野外映画会として楽しんでいただいた。

### ウ 会津磐梯山・市民盆踊り大会

(ア) 日 時 平成 29 年 8 月 15 日(火)19 時～20 時 30 分

※博物館閉館後

(イ) 会 場 福島県立博物館 前庭

(ウ) 参加者数 130 人

(エ) 共 催 会津磐梯山盆踊り保存会

(オ) 内 容

博物館前庭に櫓を組み、会津磐梯山の歌に合わせて自由参加での盆踊り大会を開催した。踊りを通して、先の戦争やこの度の大地震でやむなく生命を奪われてしまった方々に、あらためて追悼と感謝の祈りを捧げた。

### エ 夏休みナイトミュージアム

(ア) 日 時 平成 29 年 8 月 19 日(土)17 時 30 分～19 時

※博物館閉館後

(イ) 会 場 福島県立博物館 常設展示室

(ウ) 参加者数 78 人

(エ) 講 師 相田・高橋満・大里・栗原・佐藤洋

(オ) 内 容

いつもと違う雰囲気の真っ暗闇な展示室の中を、懐中電灯の光を頼りに見学する「ナイトミュージアム」は、例年人気の高いイベントである。例年参加申込み者数が多いため、一昨年度から定員を 20 名増員した。

### オ ハワイアン in けんぱく

(ア) 日 時 平成 29 年 8 月 26 日(土)13 時 30 分～15 時

(イ) 会 場 福島県立博物館 講堂

(ウ) 参加者数 130 人

(エ) 出 演

モハル・ハワイアンズ

フラ・ホニ・ケ・アロハ (辻フラスクール)

メグミフラスクール

ポポレフア

マハロヌイフラスタジオ

ウクレレフレンズ

(オ) 内 容

前年度より開催時期を早めて夏の暑い時期にハワイアン音楽を聴いていただき、いつもとは少し違った博物館に親しんでもらった。福島県内で活躍する多数の出演者の協力もあり、参加者に楽しんでいただいた。

### カ 会津室内楽団「アンサンブル・Coderanni」コンサート～ものがたりの音楽～

(ア) 日 時 平成29年9月18日(月・祝)13時30分～15時

(イ) 会 場 福島県立博物館 講堂

(ウ) 参加者数 275 人

(エ) 出 演 会津室内楽団「アンサンブル・Coderanni」の皆様

(オ) 内 容

会津地域の室内楽普及を目的として、平成 23 年 7 月に音楽教育学研究者の峯岸創によって設立された楽団による演奏。第 1 部「懐かしの映画音楽」第 2 部 朗読と管弦楽による音楽物語「窓ぎわのトットちゃん」第 3 部「劇・絵画の中のクラシック」と 3 部構成で行われた。また、学芸員が第 2 部から第 3 部の間に「博物館ワンポイントレッスン」のコーナーを設定し、企画展「発掘ふくしま 4」の見所を紹介した。音楽好きのお客様にも博物館を身近に感じていただくよい機会になった。

### キ クリスマス・ジャズ・ライブ

(ア) 日 時 平成 29 年 12 月 17 日(日)13 時 30 分～15 時

(イ) 会 場 福島県立博物館 エントランスホール

(ウ) 参加者数 191 人

(エ) 出 演 羽賀秀樹(ギター)、眞鍋伸(ギター)

(オ) 内 容

毎年恒例となっている 12 月のクリスマスコンサート。音楽好きの方々にも博物館に親しんでいただく機会とするために実施しており、毎回好評を博している。今回は会津地方在住のジャズ音楽演奏家 2 人による、ボロディン原曲「ストレンジャー・イン・パラダイス」などのジャズ音楽、「川の流れるように」など歌謡曲に加え、「ホワイト・クリスマス」などのクリスマスソングも交えて約 15 曲演奏していただき、0 歳から大人の方まで幅広世代の方に楽しんでいただいた。

### ク 会津の彼岸獅子

(ア) 日 時 平成 30 年 3 月 11 日(日)13 時 30 分～15 時

(イ) 会 場 福島県立博物館 エントランスホール

(ウ) 参加者数 161 人

(エ) 出 演 本滝沢獅子舞保存会

(カ) 内 容

会津の春を彩る風物詩として有名なのが、春のお彼岸に三匹の獅子が舞い踊る「彼岸獅子」。通常は地区ごとに無病息災、五穀豊穡を祈って舞われるが、地区外の方々にも「会津の文化」として親しんでいただくために、県立博物館では彼岸に先駆けて館内での実演を開催した。特に本滝沢獅子舞保存会は後継者育成のために小中学生を踊り手として活動を行っている。立派な舞に感嘆していた観客は、獅子頭を外したあどけない踊り手の姿に驚くとともに、大きな拍手を送っていた。

ケ 会津室内楽団「アンサンブル・Coderanni」コンサート  
～懐かしい歌 心の旅 & 管楽器の魅力Ⅱ～

(ア) 日 時 平成30年3月25日(日)13時30分～15時

(イ) 会 場 福島県立博物館 講堂

(ウ) 参加者数 286人

(エ) 出 演 会津室内楽団「アンサンブル・Coderanni」  
の皆様

(カ) 内 容

9月に大変好評を博したコンサートを閑散期の3月に実施することで、博物館に足を運んでいただくきっかけづくりとして開催された。第1部「懐かしい歌 心の旅」第2部「管楽器の魅力Ⅱ」の2部構成で演奏された。今回も学芸員が「博物館ワンポイントレッスン」として、開催されている特集展「震災遺産を考える」から展示資料の紹介と春の企画展「匠のふるさと 会津」から見所や関連イベントの詳細について紹介した。

## 8 次世代ミュージアム機能

第2期中期目標で目標設定している次世代ミュージアム機能に関して、東日本大震災による震災の共有と継承、福島県における新たな文化事業の創出と定着を達成するため、2件のプロジェクト活動を行った。

### (1) はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト

ア 事業の趣旨

平成23年3月11日の東日本大震災、その後の東京電力福島第一原子力発電所事故により福島県内には津波・地震による被害に加え放射線汚染被害、さらに、そこに由来するコミュニティの分断、風評被害が発生し、今なお多くの局面で復旧・復興が急がれている。

この状況から一歩でも前進するため、福島県立博物館と福島県下の各地域の博物館、文化事業に携わる大学、NPOなどの諸団体が連携し文化活動の支援を行うことを目的に、はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトを平成24年にスタートした。

平成24年度は、地域への愛着を象徴するような文化財の活用に配慮し復興につながる文化的事業の継続的な展開をめざした。

平成25年度は前年度の実績を踏まえ、事業をさらに発展させるとともに、福島県立博物館と地域との協働、他分野との連携・融合、地域へのアウトリーチを積極的に

推進した。

平成26年度は、震災後4年目の福島に必要な文化的な事業を、各団体との協議の上で計画し、福島の文化の豊かさの再認識、福島の現状の共有と発信を柱に実施した。

平成27年度は、震災・原発事故からの時間の経過と共に際立つようになった県内各地域が抱える問題・課題の差異に留意しながら、それらの解決につながる文化的なアプローチとなることを目指した。

平成28年度は、避難の長期化により地域の文化の衰退・断絶の恐れが強まる中、文化芸術による復興につながるプロジェクトを継続実施し、あわせて、県内外での震災の記憶の風化に対するため、震災・事故の記憶の作品化とそれら成果による発信・交流事業に力を入れた。

福島県を地理的に区分する「はま・なか・あいづ」は、それぞれの地域の文化や自然の特徴を生み、福島に多様な豊かさをもたらすもの。平成23年以降は、同時に、震災と原発事故による影響の差異を生み出すものもなった。豊さと課題。福島が大事にし、向き合わなくてはならないそれらを多くの方と共有することを目的に、平成29年度は7つのプロジェクトを実施した。

イ 組織

(ア) 主催：はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

構成団体：南相馬市博物館、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、福島大学芸術による地域創造研究所、いいたてまでの会、NPO法人喜多方市民活動サポートネットワーク、はじまりの美術館

事務局：福島県立博物館

(イ) 協力団体

南相馬市国際交流協会／朝日座を楽しむ会／NPO法人まちづくりNPO新町なみえ／NPO法人西会津ローカルレンズ／NPO法人Wunder ground

(ウ) 実行委員会委員長：赤坂憲雄（福島県立博物館長）

(エ) 事務局：福島県立博物館

ウ 実施期間

(ア) 実施期間：平成29年4月3日～平成30年3月31日

(イ) プロジェクト活動期間：

平成29年4月30日～平成30年3月3日

エ 参加アーティスト 約20人

オ 主な活動エリア

(ア) 福島県内：南相馬市、浪江町、大熊町、双葉町、いわき市、飯館村、福島市、郡山市、須賀川市、喜多方市、会津若松市、西会津町、三島町、他

(イ) 福島県外：京都府京都市、大分県別府市

カ 助成

平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

## キ 事業内容

### (ア) 福島交流・発信プログラム

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの成果を活用した成果展を、県内外の歴史的建造物、文化施設、コミュニティスペース等を会場に開催。震災と復興について広く共に考え体験の場を創出するとともに、県内外諸団体との連携の構築を図った。これまでの成果となる震災・原発事故を記録した作品の整理作業、これまでの活動をまとめた記録集の作成も行った。

#### a 成果展

- ・芸術文化で伝える考える福島の今、未来 in KORIYAMA (2会場)
- ・アートで伝える考える福島の今、未来 in FUKUSHIMA × FUREアーカイブ事業成果展 第1期～第3期 (1会場)
- ・アートで伝える考える福島の今、未来 in BEPPU (4会場)
- ・はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト成果展 語りがたきものに触れて (4会場)
- ・アートで伝える考える福島の今、未来 at Fukushima Museum (1会場)

#### b トークイベント

- ・芸術文化で伝える考える福島の今、未来 in KORIYAMA トークイベント+標葉せんだん太鼓公演「文化でつながるさと」など、22件開催。

#### c 成果物

- ・語り合う希望 はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトトーク集 (750部)
- ・岡部昌生フロッタージュプロジェクト記録集 (1000部)

### (イ) 震災の記録・継承プログラム

#### 暮らしの記憶プロジェクト

福島県沿岸部の津波被災地に残る流失家屋の基礎の撮影記録と元住人からの聞き取りによって東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故により失われた暮らしの記憶をとどめ伝えるプロジェクト。

形式：調査・制作

担当作家：安田佐智種

### (ウ) 震災の記録・継承プログラム

#### 避難の記憶プロジェクト

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故により浪江町は二本松市に役場機能を移し、町立の小学校も二本松市に仮校舎を開校した。避難とそれがもたらした事象、取り組みの記憶を残し伝えるプロジェクト。

形式：調査・制作

担当作家：赤間政昭

### (エ) 福島の今を伝えるプログラム

#### 福島祝いの膳プロジェクト

多様な自然環境、歴史に育まれた福島。はま・なか

・あいづ各地域の食材・郷土食のリサーチを通じて、原発事故で大きく損なわれた福島の食文化の再興を目指すプロジェクト。リサーチを県内各地で数回実施。

形式：調査

担当作家：中山晴奈

### (オ) 福島の今を伝えるプログラム

#### 震災・大事故と文化財を考えるプロジェクト

東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故により多くの文化財も被害を受け、レスキュー活動が行われた。土地の歴史やアイデンティティと深く結びつく文化財。震災・大事故が起きた時にそれらにどう向き合い、対処するのか。文化財関係者への聞き取り調査と記録・公開を行った。

形式：調査

担当作家：藤井光

### (カ) 福島の今を伝えるプログラム

#### 岡部昌生フロッタージュプロジェクト

南相馬市、石川町、飯館村、大熊町などで、フロッタージュの技法により震災の記録、原発事故に至った福島の近代史を掘り下げる活動を続けてきたプロジェクト。

形式：調査・制作

担当作家：岡部昌生

### (キ) 福島の今を伝えるプログラム

#### 福島写真美術館プロジェクト

写真家・美術家らの映像・画像による福島の現状の記録にとどまらず、その撮影、調査過程において、地域との連携を生み出しているプロジェクト。

形式：調査・制作

担当作家：土田ヒロミ、岩根愛

全事業の参加者：22,047人

## (2) ふくしま震災遺産保全プロジェクト

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震とそれともなう津波・原発事故は、福島県内に甚大な被害を及ぼした。未だに多くの方々が避難生活を余儀なくされ、一方で復興や除染工事等により地域の景観は大きく変わりつつある。当館では平成26年度から28年度まで文化庁芸術振興費補助金の採択を受けて、県内の資料館や研究会とともに実行委員会を組織し「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」を推進してきた。大震災を契機に起こった様々な出来事を歴史として共有し未来へ継承するため、震災を物語る資料を「震災遺産」と位置付けて、その保全や県内外での展覧会・シンポジウム等のアウトリーチ活動を行った。平成29年度からは当館の事業として、引き続き「震災遺産」の保全や発信を行っている。

### ア 震災遺産保全チームの組織

前年度まで活動母体として組織してきた実行委員会は解散したが、博物館内では引き続き「震災遺産保全チーム」として分野横断的なプロジェクトチームを編成し、震災遺産の保全活動を進めている。平成29年度は民俗・

考古・歴史・保存科学・自然の各分野から1～3名の学芸員が参画し（平成29年度は民俗2名・考古1名・歴史3名・保存科学1名・自然2名）、計9名で活動を行った。当館の事業として行う最初の年度であったため、博物館事業として今後進めていくに当たっての活動理念や組織編成、活動方針やその将来像などについてチーム内で協議した。併せて当事業を将来に渡り専属的に担う学芸員として歴史（災害史）専門の学芸員1名の採用についてチーム内及び館内で検討し、年度内に職員募集を実現した。

#### イ 震災遺産の調査・保全

前年に引き続き県内における震災遺産の調査や資料収集を進めたが、主な事例として以下のような活動を行った。避難所関係では、東日本大震災発生から数カ月間避難所として利用された福島市のあづま総合体育館に残された関連資料を受贈した。避難所の運営にかかわる資料が中心で、避難者名簿や救援物資の管理に関わる文書、避難所の行事予定やボランティアの受け入れに関する資料、提供された食事のメニューなどが含まれる。また震災から半年後にいわき市の久之浜第一小学校校庭につくられた復興商店街「浜風商店街」での資料調査を進めた。前年度に商店街の全店舗が移転し、平成29年度末には建物が解体されたため、商店街の横断幕や応援メッセージの書かれた壁面、現地に展示されていた町並み模型などを受贈した。また南相馬市小高区にある半杭牧場の牛舎には、家畜によって齧られた痕跡のある柱が現在も残されている。震災後に警戒区域となったために住民は避難を余儀なくされ、置き去りにされた牛が餌の代わりに木柱を齧り、やがて餓死した。原発事故により引き起こされた重大な出来事として後世に継承するために、当館では柱のレプリカ製作を進めている。平成29年度は現地調査や聞き取り調査と型取り作業までを終えている。

さらに県内における震災遺産関連施設の視察調査も併せて実施した。平成28年に三春町に開設された福島県環境創造センター内にある交流棟（愛称・コミュタン福島）の展示をはじめ、川内村で個人が設置した震災・原発事故を伝える資料館「感がえる知ろう館」、さらに白河市でNPO法人が設置するアウシュヴィッツ平和博物館とその敷地内に建てられている原発災害情報センターなどを視察し、設置者や職員に設立経緯や展示・活動内容等についての解説を受けた。

#### ウ 他団体・諸機関との連携・協力

また、震災遺産の保全や普及活動については、県内外の諸団体・諸機関との連携も進めている。例えば、ふくしま歴史資料保存ネットワーク主催（当館後援事業）で行われたシンポジウム「ふくしまの未来へつなぐ、伝えるー歴史・文化・震災遺産の保全と活用の今」（於：郡山市民プラザ）や、科学研究費基盤研究(S)「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立」等が主催したシンポジウム「被災地フォーラム新潟」（於：新潟大学）などに

参加し、震災遺産保全活動に関する報告やミニ展示を行った。さらに福島県文化振興財団が主催した平成29年度文化財保護指導者研修会（於：福島県立博物館）や、文化庁指定文化財企画・展示セミナー（於：東京国立博物館）では、当チームのメンバーが研修の講師として参加して震災遺産保全活動に関する講義を行った。

また資料の保全に関しては県内の市町村による取り組みが本格化しており、近年ではその活動への協力依頼が増えてきた。富岡町ではアーカイブ施設の設置に向けた検討を進めており、「富岡町アーカイブ施設検討町民会議」に当チームのメンバーが参加しているほか、同様に震災遺産の保全活動を進めている大熊町や双葉町においても、当チームのメンバーが会議へ出席し、現地での資料調査に参加するなど、相互に協力・連携を進めている。また科学研究費基盤研究(A)「防災と被災地復興の基盤を形成する地域災害資料・情報学の構築」（代表：白井哲哉筑波大学教授）により行われた台湾九二一地震関係施設に関する視察調査にもメンバーが同行した。台南市の国立台湾歴史博物館で開催された特別展「地震帯上の共同体：歴史の中の日台震災」の見学や、台中市の九二一地震教育園、南投市の車籠埔断層保存園區などの震災関連施設の視察を行った。さらに、福島県が進めているアーカイブ拠点施設の整備に向けた会議等への出席や、福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの受託事業である同施設の資料収集に関するワーキンググループへも参加し、相互協力を図っている。

#### エ 普及事業の実施

学校現場における震災・防災学習についての依頼も増えており、前年度までのプロジェクト活動による学校連携事業を引き継ぐ形で活動を進めている。例えば福島東高校の2年生が総合学習の一環として来館した際には、震災遺産に関する講座と資料見学にあたっての解説を行った。南会津高校で行われた「課題探求力養成講座」ではゲストティーチャーとしてメンバーが講師を務め、震災遺産に関する講座とミニ展示を行った。また会津高校が進める「復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業」と連携し、同校が主催する「被災地フィールドワーク」にメンバーが講師として随行して被災地での高校生の学習を支援し、それをもとにした生徒による研究発表会にも参加した。



## 第 15 節 福島県自然の家

### 1 概要

#### (1) 沿革

昭和 47 年県内初の県立少年自然の家として、また、東北でも 3 番目の宿泊研修用の先導的施設として「福島県少年自然の家」（以下「自然の家」という。）を開設。

昭和 50 年海浜型の青少年社会教育施設として「福島県海浜青年の家」（以下「青年の家」という。）を開設。同年発足した「財団法人福島県海浜青年の家」が管理運営を行うこととなる。

昭和 56 年県立少年自然の家 2 施設目となる「福島県会津少年自然の家」を開設。これに伴い、「自然の家」の名称を「福島県郡山少年自然の家」に改める。

平成 8 年「福島県いわき海浜自然の家」を開設。これに伴い、「青年の家」の名称を「福島県相馬海浜自然の家」に改める。運営財団の名称を「財団法人福島県海浜自然の家」に変更し、海浜型 2 施設の管理運営を行うこととなる。

平成 10 年福島県教育庁の直営であった「福島県郡山少年自然の家」及び「福島県会津少年自然の家」の名称を「福島県郡山自然の家」及び「福島県会津自然の家」と改める。これにより財団の名称を「財団法人福島県自然の家」に変更し、県内 4 施設の管理運営を行うこととなる。

平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、平成 20 年度までの 3 年間「財団法人福島県自然の家」が指定管理者となり 4 施設の管理運営を行うこととなる。

指定管理者であった財団が平成 20 年度末をもって解散したため、平成 21 年度から 4 施設とも県の直営による管理運営となる。

平成 22 年度に開催した指定管理者選定検討会において「福島県いわき海浜自然の家」が「財団法人いわき市教育文化事業団」に指定管理することとなる。なお、他 3 施設については検討会の条件を満たす団体がいないため直営による運営が継続されることとなる。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、「福島県会津自然の家」は同年 7 月 2 日まで「福島県郡山自然の家」は同年 8 月 28 日まで避難所として運営を行う。また「福島県いわき海浜自然の家」の指定管理は震災の影響により平成 23 年 11 月 1 日からの開始となる。なお「福島県相馬海浜自然の家」は地震・津波の甚大な被害を受け平成 24 年 3 月 31 日をもって公所廃止となる。

平成 25 年度に開催した指定管理者選定検討会において「福島県いわき海浜自然の家」について平成 26 年度から平成 30 年度まで「財団法人いわき市教育文化事業団（平成 26 年度より公益財団法人に移行）」に指定管理することとなる。

#### (2) 所在地

ア 福島県郡山自然の家

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山 46

〒963-0213 TEL 024-957-2111

FAX 024-957-2112

URL <http://www.koriyama-nc.fks.ed.jp/>

イ 福島県会津自然の家

福島県河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山 4495-1

〒969-6504 TEL 0242-83-2480

FAX 0242-83-2481

URL <http://www.aizu-nc.fks.ed.jp/>

ウ 福島県いわき海浜自然の家

福島県いわき市久之浜町田之網字向山 53

〒979-0335 TEL 0246-32-7700

FAX 0246-32-7730

URL <http://www.iwaki-nc.fks.ed.jp/>

## 2 教育目標及び基本的視点

### (1) 教育目標

恵まれた自然環境の中で、野外学習や集団宿泊活動など様々な活動を通して主体的に対応できる人々の育成を目指す生涯学習の推進のため、次の目標を設定する。

ア 自然の恩恵にふれ、自然に親しむ心や敬虔の念を育てる。

イ 集団宿泊活動を通して規律・協同・友愛及び奉仕の精神を養う。

ウ 自然体験活動を通して自ら実践し、創造する態度を育てる。

### (2) 基本的視点

豊かな自然体験を楽しめる施設として、その機能を十分に発揮するために、施設・設備の整備や運営方法の確立・改善に努め、利用者が充実した活動を展開できるよう、次の基本的視点に基づきそれぞれの施設の運営にあたる。

ア 所員の英知と創意を結集し、施設の充実・整備を図り活気と魅力ある施設の運営に努める。

イ 利用者の多様なニーズや利用目的に応じた柔軟な運営を行うよう努める。

ウ 立地条件を生かした特色ある企画事業を展開するとともに、学校や地域に生きる活動種目やその指導方法の研究開発に努める。

エ 民間の指導者の協力や高校生・大学生等にボランティアとして参加していただけるように努める。

オ 現代的課題の解決に対応する事業を推進し、その情報の発信に努める。

# 第 16 節 福島県郡山自然の家

## 1 概要

### (1) 沿革

郡山自然の家は、昭和 47 年に「福島県少年自然の家」という名称で設立され、小・中学校の宿泊体験学習の場として開所して以来 45 年が経過し、平成 29 年 12 月には、延べ利用者数が 170 万人に達した。

本施設は、郡山駅より西へ約 11km、郡山南インターより車で約 8 分という交通の便に恵まれ、しかも豊かな自然環境に囲まれている都市近郊型の自然の家であり、心身共に健全な青少年と心豊かな社会人を育成することを目的とした教育施設である。

平成 20 年度まで 11 年間、県内 4 つの自然の家を運営してきた財団法人福島県自然の家が解散し、平成 21 年度から県直営としての運営形態に変わり 9 年目を終了した。

利用者は、これまで主体であった小・中学生のみならず、園児、高校生、一般社会人、家族など利用者層が多種多様になってきている。恵まれた自然環境の中で、「みどり・であい・感動」をキャッチフレーズに、野外活動や集団宿泊活動を通して、「自然に親しむ心や畏敬の念」「規律・協同・友愛・奉仕の精神」「自ら実践し、創造する態度」の育成を目指し、様々な活動を展開するとともに、生涯学習の拠点として、広く県民に利用していただけるような施設を目指し、施設の改築・改修や本館の段差を解消するなど障がい者にもやさしい施設づくりを進めてきた。

また、園児から高齢者までの幅広い年齢層に対応し、多くの人に利用していただけるよう、多種多様な企画事業の展開や、特色あるプログラムの開発に努めてきた。

さらに、放射線の影響を心配する利用者の声に応えるため、毎月エリア内の放射線量を測定してホームページに載せたり、クラフト活動で使用する木材等については、放射線量の低い地域から採集したり、「みどりの宅配便」を利用して全国から取り寄せたりした。また、放射線量が比較的高い場所のこまめな除草や表土の除去、活動コース付近の落ち葉等の清掃を実施し放射線量の低減化に努めた。

年間の利用状況は、震災前の 9 割程度まで回復し、利用団体数 4 5 6 団体、延べ利用者数 2 6, 3 4 7 人となった。

### (2) 職員組織

| 職 名      | 人員 |
|----------|----|
| 所長       | 1  |
| 次長       | 1  |
| 主査       | 1  |
| 専門員      | 1  |
| 主任社会教育主事 | 1  |
| 社会教育主事   | 2  |
| 計        | 7  |

### (3) 平成 29 年度重点目標と成果

「復興加速の年」と位置づけ、利用者数を震災前の水準まで戻すために次の点に力を入れて取り組んだ。

#### ア 利用団体への効果的な支援の充実

(イ) 団体が主体的に活動できるようにするために、学校利用・社会教育団体利用ともに、利用団体の指導者との連携を密にしてきた。学校利用については、4 月と 7 月に「学校利用指導者研修会」を実施し、フィールドワークやニュースポーツなどの実技研修の他、施設の概要説明や活動計画の立案に対しての指導・援助を行った。また、事前打合せや実地踏査・下見等を奨励し、各利用団体が主体的に活動できるように支援した。

(ロ) 社会教育団体の利用については、各団体代表者との連絡を密にしなが、施設見学や活動計画の調整など、各団体の利用目的に応じた活動が展開できるよう努めた。

(ハ) 利用団体の指導者及び利用者の声をアンケート等により集約・分析して、職員の対応や準備物、食事等の改善に努めるとともに、利用者の立場に立った施設の運営に努めた。

#### イ 特色ある企画事業の運営

(イ) 季節感を生かした魅力ある企画事業を計画するとともに、外部講師やボランティアを積極的に活用したり、地域や関係機関との連携を図ったりすることができた。

(ロ) 前年度の反省や評価を踏まえ内容や方法等に工夫・改善を加え、参加者の満足度を高める運営に努めた。

(ハ) 利用者増を図るために新規の企画事業を立案し、幅広い年代に応じた特色ある企画事業を実施することができた。

#### ウ 広報の充実と利用促進

(イ) 多くの団体に利用してもらえよう、利用拡大に向けて、積極的に広報活動を行ってきた。学校利用の拡大については、各種企画事業の案内をその都度電子メールで送付するなど、より多くの学校に利用していただけるよう PR 活動を行った。また、未来キッズ生き活き事業については、中通り地区の全小学校・全児童に案内を配付し募集を図った。

(ロ) 企画事業案内や事業実施後の企画事業のあしあとをホームページに掲載するなど、ホームページの改善・充実に努めた。また、毎月エリア内 1 3 カ所の放射線量をホームページに掲載し、利用者が安心して利用できるよう配慮した。

(ハ) 企画事業では、報道機関を通じた周知活動や広報活動を積極的にを行い、利用拡大に努めた。また、新聞社やタウン誌に企画事業に関する記事の掲載の依頼をすることで、多くの方の参加につなげることができた。

(ニ) 利用促進を図るため、平成 25 年度から家族を対象とした会員登録制度を立ち上げ、名称を本所のマスコットキャラクターにちなんで「サザッピークラブ」とした。

登録した会員には会員証を発行して入所手続きの簡略化を図ったり、企画事業の案内を送付したりして利用促進につなげた。また、利用回数に応じて、特製のシールやキーホルダーを贈呈した。133家族、459名が会員となっている。

#### エ 安全管理と保健安全指導の徹底

(ア) 「事故はどこでもいつでも起こり得る」という認識に立って、所員の安全意識の向上を図り、施設設備の日常点検及び定期点検の実施はもちろんのこと、利用者に対しても働きかけ、積極的に安全対策を行ってきた。

また、特に次の点に力を入れてきた。

- ・各団体の活動前のコース点検や遊具点検の徹底
- ・食中毒防止のための、手洗い・アルコール消毒の徹底
- ・食物アレルギー対応のための、利用団体との連絡及び食堂との連携
- ・スズメバチ対策のための、捕虫装置の設置と点検
- ・松食い虫による倒木防止のための計画的な伐採

(イ) 防災に関しては食堂等の委託業者にも参加してもらい、消火訓練や火災が起きたことを想定した避難訓練を実施するとともに、日常の点検を怠ることのないようにした。

さらに、不審者の侵入防止を図るためのマニュアルを作成して職員研修により理解を深めた。常に来所者に声をかけ、車止めや施設の施錠に万全を期すなどして、安全管理に努めてきた。

#### オ 施設・設備の整備

(ア) 利用者が快適に利用できるように、現在の施設環境のもとでできることは何かを考えながら、ハード面とソフト面の両面から改善を行ってきた。

また、安全対策として、利用者が利用する総合活動館やアスレチックなどの遊具全般の点検と併せて必要な補修整備に努めてきた。

(イ) 館内については、季節ごとの掲示に心がけたり、利用者から届いた写真や手紙を工夫して掲示したりするなど、変化のある計画的な掲示に努めた。

## 2 施設・設備の概要

### (1) 所在地

〒963-0213

郡山市逢瀬町多田野字中丸山 46 番地

### (2) 宿泊定員

ア 本館 166 名 (14 部屋)

イ ロッジ 126 名 (9 棟)

ウ テント 120 名 (20 張)

### (3) 敷地面積

237,587.59 m<sup>2</sup>

### (4) 建物面積

延床面積 3,806.08 m<sup>2</sup>

- ・本館 (管理棟・宿泊室・研修室・浴室)
- ・体育館、総合活動館、野外活動センター、東西炊飯場、ロッジ等

## (5) 設備備品等

### ア 野外活動設備

- ・みどりの広場アスレチック
- ・フィールドアドベンチャーコース
- ・アーチェリー場 (24 的)
- ・ナイトハイクコース (3 コース)
- ・スコアオリエンテーリングポスト (20)
- ・フィールドワークコース (赤、青のグ・ショート)
- ・スタンプラリー (20)
- ・営火場 (4)

### イ その他

- ・野外炊飯用具
- ・インラインスケート
- ・フリスビーゴルフ
- ・フロッカー
- ・キンボール
- ・ペタンク
- ・マウンテンバイク
- ・グランドゴルフ
- ・ターゲットバードゴルフ
- ・そり
- ・各種クラフト用具
- ・伝承遊びセット
- ・ピアノ
- ・双眼鏡
- ・液晶プロジェクター
- ・インターネット接続大型液晶テレビ等
- ・ジェットヒーター
- ・ブルーヒーター

## 3 企画事業

### (1) 研修会事業

#### ア 学校利用指導者研修会 (第 1 回、第 2 回)

(ア) 期日・対象校及び参加者数

##### a 第 1 回

期日 平成 29 年 4 月 19 日 (水)

対象校 5 月～8 月まで利用の学校

参加者 57 名

##### b 第 2 回

期日 平成 29 年 7 月 28 日 (金)

対象校 8 月～10 月まで利用の学校

参加者 42 名

(イ) 研修内容 (第 1 回、第 2 回とも同じ内容)

- ・施設案内
- ・実技研修 (アスレチック、フィールドアドベンチャー、スコア OL、室内アーチェリー、ニュースポーツなど)
- ・全体会
- ・施設の利用の仕方等
- ・活動プログラムの調整 (所バス利用調整を含む)

## (2) 利用拡大事業

### ア サクラ・カタクリ週間

期 日 平成29年4月2日(日)～23日(日)

対象者 どなたでも

参加者 851名

### イ 総合活動館及びフィールドアドベンチャーリニューアルオープニングセレモニー

期 日 平成29年4月14日(金)

参加者 郡山市立多田野小学校(堀口分校含)

4、5年生と先生方など75名

内 容 児童代表あいさつ、テーブルカット、自由活動

### ウ さくらウォーク

期 日 平成29年4月15日(土)

対象者 どなたでも

参加者 97名

活動内容 ・自然の家を出発し、約5km・10kmのウォーキング

・みどりの広場アスレチック

・総合活動館開放

### エ 春のオープナー

期 日 平成29年4月30日(日)

対象者 どなたでも

参加者 371名

活動内容 ・各種プログラム体験(顔写真缶バッジ、プラ板キーホルダーのプレゼント、アーチェリー、インラインスケート、スコアOLなど)、おうせ茶屋の出店 他

### オ 未来キッズ生き生き事業

#### (ア) 期日・対象者及び参加者数

- ・期 日 平成29年4月22日(土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 27名
- ・期 日 平成29年4月23日(日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 34名
- ・期 日 平成29年4月30日(日)  
対象者 どなたでも  
参加者 371名
- ・期 日 平成29年5月13日(土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 4名
- ・期 日 平成29年5月14日(日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 19名
- ・期 日 平成29年5月27日(土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 13名

- ・期 日 平成29年5月28日(日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 54名
- ・期 日 平成29年7月9日(日)  
対象者 県北地区の子どもたち  
参加者 162名
- ・期 日 平成29年8月20日(日)  
対象者 県南地区の子どもたち  
参加者 72名
- ・期 日 平成29年9月10日(日)  
対象者 県北・県中・県南地区の子どもたちを含めたどなたでも  
参加者 957名
- ・期 日 平成29年9月24日(日)  
対象者 県中地区の子どもたち  
参加者 65名
- ・期 日 平成29年11月18日(土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 63名
- ・期 日 平成29年11月19日(日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 71名
- ・期 日 平成29年12月9日(土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 19名
- ・期 日 平成29年12月10日(日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 68名
- ・期 日 平成30年1月6日(土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 13名
- ・期 日 平成30年1月7日(日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 19名
- ・期 日 平成30年2月24日(土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 10名
- ・期 日 平成30年2月25日(日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 60名
- ・期 日 平成30年3月3日(土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 20名

- ・期 日 平成 30 年 3 月 4 日 (日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 68 名
- ・期 日 平成 30 年 3 月 17 日 (土)  
対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
参加者 30 名
- ・期 日 平成 30 年 3 月 18 日 (日)  
対象者 幼児・小学生とその家族  
参加者 35 名
- (イ) 活動内容  
アーチェリー、インラインスケート、スタンプラリー、フィールドアドベンチャー、活動館、みどりの広場アスレチック、おうせ茶屋 (出店/昼食)
- カ 親子でチャレンジ  
期 日 平成 29 年 6 月 11 日 (日)  
対象者 親子または祖父母と孫  
参加者 65 名  
活動内容 スコアOL、フィールドビンゴ (小学 4～6 年生) 野外炊飯 (カレーづくり)
- キ 夢冒険キャンプ  
期 日 平成 29 年 8 月 2 日 (水)～4 日 (金)  
対象者 小学 4 年生～小学 6 年生  
参加者 24 名  
活動内容  
第 1 日 開講式、オリエンテーション、鉱山跡見学、鉱石採集、野外炊飯 (カレーライス)  
第 2 日 猪苗代湖畔ハイキング、湖水浴、ナイトハイク  
第 3 日 フィールドワーク、アーチェリー、閉講式
- ク 第 15 回郡山自然の家オープンデー (未来キッズ生き生き事業)  
期 日 平成 29 年 9 月 10 日 (日)  
対象者 どなたでも  
参加者 957 名  
活動内容  
・オープニングセレモニー (鬼五郎・幡五郎太鼓による和太鼓演奏)  
・各種プログラム体験 (アーチェリー、インラインスケート、缶バッジ製作、活動館開放など)  
・イベント参加 (ザリガニ釣り、似顔絵コーナー)  
・公園の駅「おうせ茶屋」、郡山きのこファーム出店  
・ステージ発表 (須賀川市立第一中学校吹奏楽部、他 4 団体)
- ケ 親子五色沼ハイキング  
期 日 平成 29 年 10 月 22 日 (日)  
対象者 家族または祖父母と孫  
参加者 ※悪天候のため中止  
活動内容 五色沼周辺のトレッキング (予定)
- コ 手ぶらで、いも煮会  
期 日 平成 29 年 10 月 28 日 (土)
- 平成 29 年 10 月 29 日 (日)  
対象者 家族またはグループ  
参加者 1 回目) 27 名 2 回目) 80 名  
活動内容 野外炊飯 (いも煮会)、みどりの広場アスレチック体験、活動館開放
- サ 蓬田岳登山  
期 日 平成 29 年 11 月 5 日 (日)  
対象者 小学生を含む親子  
参加者 26 名  
活動内容 蓬田岳登山
- シ キンボール教室  
期 日 平成 29 年 11 月 25 日 (土)  
対象者 小学生を含む親子  
参加者 50 名  
活動内容 キンボール教室 (基礎基本・ゲーム)
- ス 親子でハッピークリスマス&ハッピーニューイヤー  
期 日 平成 29 年 12 月 3 日 (日)  
対象者 どなたでも  
参加者 74 名  
活動内容 クリスマスリースづくり、門松づくり (外部講師による)
- セ 親子スケート教室  
期 日 平成 30 年 1 月 14 日 (日)  
対象者 親子または家族  
参加者 50 名  
活動内容 講師の指導による基本的な動き、自由滑走
- ソ わくわく!ファミリー冬のつどい  
期 日 平成 30 年 2 月 17 日 (土)～18 日 (日)  
対象者 小・中学生を含む家族  
参加者 45 名  
活動内容 猪苗代スキー場でのスキー体験、そり滑り
- タ サザピーククラブ感謝デー  
期 日 平成 30 年 3 月 11 日 (日)  
対象者 サザピーククラブ会員親子  
参加者 33 名  
活動内容 いわき海浜自然の家クラフト体験、いわきららミュウ内見学・体験
- チ みどりの広場アスレチック&活動館開放します  
期 日 前期 平成 29 年 4 月 22 日 (土)  
平成 29 年 5 月 13 日 (土)、27 日 (土)  
後期 平成 29 年 11 月 18 日 (土)  
平成 29 年 12 月 9 日 (土)  
平成 30 年 1 月 6 日 (土)  
平成 30 年 2 月 24 日 (土)  
平成 30 年 3 月 3 日 (土)、17 日 (土)  
対象者 特別支援学校、学級の幼児及び小学生とその家族  
参加者 199 名  
期 日 前期 平成 29 年 4 月 23 日 (日)

平成 29 年 5 月 14 日(日)、28 日(日)  
後期 平成 29 年 11 月 19 日(日)  
平成 29 年 12 月 10 日(日)  
平成 30 年 1 月 7 日(日)  
平成 30 年 2 月 25 日(日)  
平成 30 年 3 月 4 日(日)、18 日(日)

対象者 幼児及び小学生とその家族

参加者 428名

活動内容 みどりの広場アスレチック(10基)、  
活動館開放

ツ 特別企画 自然の家でからだを動かそう

期 日 平成 29 年 11 月 14 日(火)～平成 30 年 3 月 16  
日(金)までの平日、9:00～16:00

参加者 21園、545名

活動内容 活動館やアスレチックを利用した運動  
屋外での雪遊び、そり滑り

ク 第 41 回子どもの祭典  
(須賀川市明るいまちづくりの会連絡協議会主催)

期 日 平成 29 年 10 月 8 日(日)

参加者 400名(缶バッジ来場者)

活動内容 クラフト体験(缶バッジ)

ケ 会津の冬を満喫! ウィンターフェスティバル  
(会津自然の家主催)

期 日 平成 29 年 1 月 21 日(土)～22 日(日)

参加者 178名

活動内容 スキー

スノーシュー、そり滑り

会津の民話

### (3) 協力事業

ア 春のオープンデー(会津自然の家主催)

期 日 平成 29 年 5 月 14 日(日)

参加者 150名(プラ板来場者)

活動内容 クラフト体験(プラ板キーホルダー)

イ 安積山登山

(安積アルプス出逢いプロジェクト実行委員会主催)

期 日 平成 29 年 5 月 21 日(日)

対象者 どなたでも

参加者 224名

活動内容 ユラックス熱海入口→大将旗山→御霊櫃峠  
→高篠山森林公園までの縦走トレッキング  
(総距離約 16 km)

ウ ノルディックウォーキング大会

(県ノルディックウォーキング協会主催)

期 日 平成 29 年 6 月 4 日(日)

参加者 80名

活動内容 10 kmコース 浄土松公園→八畳座敷→冒  
険の丘→本所(トイレ休憩)～きのこ岩コ  
ースの所員による警備

エ ミュージックライブ

(安積アルプス出逢いプロジェクト実行委員会主催)

期 日 平成 29 年 9 月 17 日(日)

参加者 200名

活動内容 クラフト体験(缶バッジ)

オ 逢瀬公園秋の感謝祭(福島県総合緑化センター主催)

期 日 平成 29 年 10 月 7 日(日)

参加者 107名(缶バッジ来場者)

活動内容 クラフト体験(缶バッジ)

カ 第 30 回浄土松公園まつり

(浄土松公園まつり実行委員会主催)

期 日 平成 29 年 10 月 8 日(日)

参加者 200名(缶バッジ来場者)

活動内容 クラフト体験(缶バッジ)

# 第17節 福島県会津自然の家

## 1 概要

福島県会津自然の家は、恵まれた自然環境の中で、自然に親しむ活動や集団宿泊生活、野外活動を体験することにより心豊かで心身ともに健全な県民を育成することを目的とした生涯学習施設である。

昭和56年4月に開所し、本年度末で37年になり、開所以来多くの方々にご利用いただいているところである。

本年度の利用者数は、4万5千人弱で、昨年度を2千人弱上回った。これは、「未来キッズ生き生き事業」の実施をはじめ、様々な企画事業や、企業など、新たな利用者層への利用促進に努めてきたことによるものと考えられる。

また、5つの重点目標を掲げ、その達成に努めるとともに、誰もが利用しやすい魅力的な施設をめざして運営の改善を図り、時代や利用者のニーズに対応した生涯学習施設の役割に積極的に取り組んできた。

### (1) 職員組織

| 職名       | 人員 |
|----------|----|
| 所長       | 1  |
| 次長       | 1  |
| 主査       | 1  |
| 専門員      | 1  |
| 主任社会教育主事 | 1  |
| 社会教育主事   | 3  |
| 体験活動指導員  | 3  |
| 嘱託運転手    | 1  |
| 計        | 12 |

### (2) 平成29年度重点目標と成果

年間利用者数4万人以上の成果目標を達成するために、次の点に力を入れて取り組んできた。

【 】の数値は職員による自己評価の平均値

ア 事故の絶無を期する安全管理と保健安全指導を徹底します。【3.40】

(イ) 日常（事前、事中、事後）及び定期の安全・確認の徹底【3.18】

定期安全点検だけでなく、労務員も含めた全所員による日常点検を徹底し、事故防止に努めることができた。

(イ) 利用者への適時的確な指導助言【3.18】

気象条件等、様々な状況の変化に対応し、所員の連携を図りながら、助言に努めることができた。

(ウ) 傷病、感染症（インフルエンザ、感染性胃腸炎等）防止【3.36】

食堂業者との連携も密にし、疾病や感染症防止に努めることができた。

(エ) 施設の整備、修繕【3.27】

日常点検を大切に、危険箇所を発見したらすぐに整備、修繕を行った。

イ 「好感度」の高い施設を目指す親切的な接遇に努めます。

【3.60】

(イ) 笑顔と元気なあいさつ、親切・ていねいな接遇

【3.82】

団体対応だけでなく、来客や電話対応など、相手の立場に立った対応に努め、好感度の高い施設を目指すことができた。

(イ) 利用者一人一人の立場に立った支援及び利用目的や目標達成のための支援【3.27】

利用者のねらい達成のために、必ず団体に担当所員がつき、積極的に支援を行った。

(ウ) 各団体の自立的活動による、目標達成の支援【3.09】

社会教育団体の利用数増加に伴い、自立的な活動に対する補助及び支援を行った。

(エ) 適切な会計事務の執行、服務規律の厳正な保持【3.73】

会計事務にかかる研修を受講したり、服務倫理委員会の定期的な開催を行ったりした。

(オ) 施設内・フィールド内ごみゼロ及び整理整頓【3.36】

所員だけでなく、委託業者とも連携し、清潔な所内外の環境づくりに努めることができた。

ウ 教育目標を達成する研修プログラムを充実します。

【3.33】

(イ) 里山、堤及び周辺環境の活用、四季を通して体験できる野外活動の充実【3.36】

研修委員会を中心に新たなプログラム開発を行い、各団体のニーズに合った活動ができるように配慮した。

(イ) 利用者の層に応じた、健康増進や体力づくりのための活動プログラムの提供【3.27】

学校団体から社会教育団体まで幅広い団体に対して指導・支援を行った。

(ウ) ボランティアの確保及び活用の充実【2.73】

ボランティアセミナーを実施し、ボランティアの確保とともに、参加者のスキルアップに努めてきた。

(エ) 職員一人一人の絶えざる研鑽と修養【3.36】

お互いのプログラム指導を見合う場を設けたり、研修の場を設けたりして、所員全体のスキルアップに努めた。

エ 生涯学習施設の拠点として、独創的で多様な企画事業と研修会を充実します。【3.20】

(イ) 自然体験活動の促進及び歴史・文化に係る事業の工夫【3.64】

会津坂下町と連携した高寺山登山や東松峠ウォーキング大会などの企画事業をとおして、地元の歴史に触れる場を設定した。

(イ) 社会や利用者のニーズに応え、前年踏襲にとらわれない事業の企画立案【3.18】

年5回の未来キッズ生き生き事業において様々なプログラムを提供するとともに、利用者のニーズに応えられるよう創造的な事業の企画立案に努めた(あったかふ

れあいまつり・楽習宿など)。

(ウ) P D C Aサイクルの確実な実施【2. 91】

P D C Aサイクルを確実に実施することにより、反省点を活かして、次の事業などの計画立案を進めることができた。

(エ) 地域及び生涯学習施設（自然の家、公民館、美術館、博物館、図書館等）との連携【3. 27】

磐梯青少年交流の家や地元の公民館との連携事業を実施するなど、相互に高めあえる場の設定をした。

オ 利用者数、利用者層を拡大する効果的で多様な広報活動を充実します。【3. 50】

(ア) ホームページの充実及び適時的確な更新【3. 22】

タイムリーな話題を時期を逃さず、ホームページにアップできるように、担当だけではなく、全所員で声を掛け合った。

(イ) 情報発信の工夫【3. 11】

新たな利用者層にアプローチするために、フェイスブックを立ち上げ、利用促進につなげることができた。

(ウ) 誘客活動の工夫【3. 67】

学校、公民館など教育施設だけではなく、企業訪問を行い、利用者の拡大につなげることができた。

(エ) 記録の蓄積及びデータの確実な分析【3. 33】

利用者アンケートや食堂アンケートなどの利用者の声を、確実に集計、分析し、改善につなげることができた。

## 2 施設・設備の概要

### (1) 所在地

河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山 4495 番 1

### (2) 宿泊定員

ア 本館 26室 292名(うち1室障がい者用)

イ ロッジ 10棟 150名

ウ テント 10張 60名

### (3) 敷地面積

249,848.98㎡

### (4) 建物面積

ア 延床面積 5,893.8㎡

(ア) 管理研修棟(鉄筋造2階建)

(イ) 宿泊棟(鉄筋造2階建)

(ウ) プレイホール(鉄筋造)

(エ) アセンブリホール(鉄筋造)

(オ) 機械棟(鉄筋造3階建)

(カ) ロッジ(木造平屋建)

(キ) 野外活動管理センター(鉄筋造)

(ク) 炊飯場(鉄筋造)

(ケ) 薪置場(コンクリートブロック造)

(コ) 車庫(鉄筋造)

(サ) 野外便所(鉄筋造)

### (5) 運動広場面積

8,500㎡

### (6) 設備備品等

ア フィールドアスレチック

イ 野外活動用具、野外炊飯用具、運動用具

ウ 双眼鏡、天体望遠鏡、テレビ、VTR

エ 液晶プロジェクター、CDカセットプレーヤー

オ ピアノ、オルガン

カ 伝承遊びセット

キ クラフト用具

ク 各種オリエンテーリング用具

ケ アルペンスキー

コ 歩くスキー(クロスカントリースキー)

サ そり

シ スノーシュー

ス 営火場(4箇所)

セ 諸活動コース

ソ その他

## 3 利用状況

### (1) 利用可能対象者

ア 学校教育団体(幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、

高校、大学、高等専門学校等)の構成員及びその指導者

イ 社会教育団体(公民館、子ども会、保育所、スポーツ少年団体、老人会、勤労青少年団体等)の構成員及びその指導者

ウ 教育長が適当と認めた者

エ その他、家族などの一般人

### (2) 平成29年度の利用団体数

ア 607団体

イ 実利用者数 32,499人

ウ 延利用者数 44,787人

### (3) 子どもたちへ体験活動機会提供

ア 「未来キッズ生き生き事業」(5回)

イ 企画事業の実施(13事業)

## 4 企画事業

### (1) 研修会事業

ア 学校団体指導者事前研修会

(ア) 目的

a 本所の設立の趣旨、教育目標、方針、利用のねらい及び運営方法を理解させる。

b 児童生徒が安全に生活し充実した活動が行えるよう屋内外の施設環境を確認するとともに、各種プログラムのねらいや配慮事項を理解させ、効果的な活動計画が作成できるようにさせる。

c 集団宿泊生活が円滑かつ効果的に進められるよう同じ時期に宿泊する他の学校団体との活動及び役割分担等について調整を図らせる。

(イ) 期日、対象、参加者数

a 第1回：平成29年4月19日(水)

5/9～6/9に利用する学校の教職員36名参加

b 第2回：平成29年4月20日(木)

6/13～7/25に利用する学校の教職員36名参加



- c 第3回：平成29年4月26日（水）  
8/29～10/25に利用する学校の教職員33名参加

(ウ) 研修内容

- a 利用の仕方及び利用日までの手続き準備物の確認
- b 活動計画の作成及び同時期利用団体との調整
- c プログラム及び活動内容、指導方法の理解
- d 施設及び避難経路の確認

イ 社会教育団体指導者事前研修会

(ア) 目的

- a 本所の設立の趣旨、教育目標、方針、利用のねらい及び運営方法を理解させる。
- b 社会教育活動が安全に充実したものになるよう屋内外の施設環境を確認するとともに、各種プログラムのねらいや配慮事項を理解させ、効果的な活動計画が作成できるようにさせる。
- c 集団宿泊生活が円滑かつ効果的に進められるよう、同じ時期に宿泊する他の社会教育団体との活動及び役割分担等について調整を図らせる。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成29年6月11日（日）
- b 7/21～8/24に利用する社会教育団体の指導者  
13団体21名参加

(ウ) 研修内容

- a 利用の仕方及び利用日までの手続き準備物の確認
- b 活動計画の作成及び同時期利用団体との調整
- c プログラム及び活動内容、指導方法の理解
- d 施設及び避難経路の確認

**(2) 教育研究事業**

ア サマーキャンプ

(ア) 目的

- a いわき海浜自然の家やいわき地方の浜辺や海での体験活動を通して、健全な心と体、自然に親しむ気持ちを養わせる。
- b 宿泊体験を通していわきと会津の参加者同士の交流を図らせる。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成29年7月28日（金）～30日（日）  
2泊3日
- b 県内の小学校4～6年生 30名参加

(ウ) 活動内容

- a 交流活動
- b 野外炊飯
- c ナイトハント
- d 海遊び
- e いわきダイクルーズ

イ 冬休み楽習宿

(ア) 目的

- a 児童に冬季休業中の学習課題等に効果的に取り組む場を設定する。
- b 自主性や創造性を育みながら、学習の仕方や基本的

な生活習慣を身に付けさせる。

- c 児童のふれあいや東京大学生ボランティアとのふれあいの場を設定し、参加者相互の交流を図る。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成29年12月25日（月）～27日（水）  
2泊3日 56名参加
- b 県内の小学校4～6年生

(ウ) 活動内容

- a お楽しみ交流会
- b 学習（国語、社会、算数、理科）
- c 体力づくり

**(3) 利用促進事業**

ア 第13回高寺山山開き（会津坂下町との共催）

(ア) 目的

- a いにしえのロマンと豊かな自然を有する高寺山の山開きを行い、登山者の安全を願うとともに、町の教育観光資源を広く内外に広報し、地域振興に資する。
- b 参加者同士が共に汗を流し登山することより、健康づくりと温かい心の交流の機会を提供する。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成29年4月9日（日）221名参加
- b 一般対象

(ウ) 活動内容

- a 山開き式典
- b 高寺山登山
- c お楽しみ抽選会、豚汁サービス

イ 春のオープンデー（未来キッズ生き生き事業との併催）

(ア) 目的

- a 自然の家オープンデーを実施することにより、県民に会津自然の家内外の環境やプログラムについて公開する。
- b 子どもたちに、心身ともにリラックスできる環境とプログラムを体験する機会を提供し明るく楽しい活動をさせる。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成29年5月14日（日）285名参加
- b 県内の幼児、小・中学生とその家族対象
- c ボランティア23名

(ウ) 活動内容

- a プログラム体験コーナー（無料）  
カヌー体験、アスレチック（種目を限定）、森遊び、火おこし体験、ビンゴOL、UFOゴルフ、クラフト

ウ お月見コンサート2017

(ア) 目的

- a 中秋の名月の時期に天体望遠鏡で月面を観賞し、年中行事としての「月見」の体験をさせる。
- b 「月見」にふさわしい音楽や民話の語りを聴き、世代を越え、共に秋の夜長を楽しむ。

(イ) 期日、対象、参加者数、出演者数

- a 平成29年10月7日（土）107名参加

- b 一般対象
- c 講話講師、ピアノ演奏、民話の出演者 9 名
- (ウ) 活動内容
  - a 月面観賞～天体望遠鏡による月面観察、講話
  - b 音楽コンサート
  - c 会津の民話

エ 東松峠ウォーキング大会 2017

- (ア) 目的
  - a 「旧越後街道」は、古くから会津若松と新潟県新発田市を結ぶ重要な街道であり、文化庁が選定する「歴史の道百選」に選定されており、地域の歴史的文化的遺産である「東松峠」の再確認と継承・維持と保護の一環とする。
  - b 東松峠ウォーキング大会に、地区外から参加を集うことにより、交流・地域の活性化を図る。

- (イ) 期日、対象、参加者数
  - a 平成 29 年 10 月 21 日（土） 85 名参加
  - b 一般対象

- (ウ) 活動内容
  - <コース>
  - 高寺コミュニティーセンター→天屋・本名→三本松→旧道→里檀→東松洞門→峠の茶屋跡→新道→三本松→天屋の阿弥陀様（希望者）→高寺コミュニティーセンター ※片門薬師堂（希望者）

オ あったかふれあいまつり  
(未来キッズ生き生き事業との併催)

- (ア) 目的
  - a 野外活動プログラムや各種体験コーナーなどの自然や人とのふれあいを通して、心身のリフレッシュや体力増進を図る。
  - b 各団体と連携を図ることにより、体験活動の充実を図り、生涯学習の拠点として自然の家に対する理解を深める。

- (イ) 期日、対象、参加者数
  - a 平成 29 年 10 月 29 日（日） 246 名参加
  - b 県内の幼児、小・中学生とその家族対象

- (ウ) 活動内容
  - a 協力団体発表（坂下東小学校合唱部・会津大学短期大学部ダンスサークル O.M.G・うつくしま YOSAKOI 振興会会津支部・マーヒー・里山の仲間たち）
  - b 協力団体販売（ファットリアこもと・出張☆ばんげマルシェ・耶麻農業高等学校・若宮地区地域づくり協議会）
  - c 協力団体ブース（阿賀川・川の達人の会・ばんげ語り部の会・ばんげ読み聞かせの会・会津大学短期大学部・フォトスタジオ原）

カ 新そばにチャレンジ

- (ア) 目的
  - そば打ち体験を通して、郷土の食生活、食の大切さを理解し、参加者同士の交流を深める。

- (イ) 期日、対象、参加者数
  - a 第 1 回：平成 29 年 11 月 18 日（土）  
75 名参加、講師 3 名
  - 第 2 回：平成 29 年 11 月 19 日（日）  
76 名参加、講師 3 名
- b 一般対象

- (ウ) 活動内容
  - a そば打ち実演
  - b そば打ち体験
  - c そば茹で実演
  - d そば茹で体験
  - e 試食

キ 手作り森のクリスマス

- (ア) 目的
  - クリスマスケーキ、クラフトづくりを通して、楽しみながらケーキを作ったり、自然素材を工夫したりすることにより、家族やグループ間の交流、親睦を深める。

- (イ) 期日、対象、参加者数
  - a 第 1 回：平成 29 年 12 月 2 日（土）  
44 名参加、講師 1 名
  - 第 2 回：平成 29 年 12 月 3 日（日）  
55 名参加、講師 1 名
  - b 県内の小・中学生とその家族対象

- (ウ) 活動内容
  - a クリスマスケーキ作り
    - (a) 講師の実演
    - (b) 生地づくり、ロールの仕方、デコレート
  - b クリスマスクラフト作成
  - c 試食

ク ウィンターフェスティバル

- (ア) 目的
  - 会津自然の家での宿泊、雪国ならではの冬を楽しむ活動などを通して、会津の冬や伝統文化のすばらしさを体験するとともに、参加者相互の交流を深めさせる。

- (イ) 期日、対象、参加者数
  - a 平成 30 年 1 月 20 日（土）～21 日（日） 1泊 2日  
142 名参加
  - b 県内の小・中学生とその家族対象

- (ウ) 活動内容
  - a 1 日目：そりすべり、木工クラフト、スノーシュー体験、雪灯籠作り、会津の民話
  - b 2 日目：猪苗代スキー場（スキー、スノーボード、そり、エアボード）

ケ そりすべり家族開放

- (ア) 目的
  - 県民にそりゲレンデを開放することにより、会津の冬の楽しさを感じさせるとともに、冬の自然体験を備えた本所への理解を深めさせ、今後の集客につなげる。

- (イ) 期日、対象、参加者数
  - a 第 1 回：平成 30 年 1 月 28 日（日） 133 名参加

- 第2回：平成30年2月4日（日）165名参加
- 第3回：平成30年2月18日（日）95名参加
- 第4回：平成30年2月25日（日）116名参加

b 県内の幼児、小・中学生とその家族対象

(ウ) 活動内容

そりすべり、チューブすべり、エアボードすべり

コ クラフトキッズフェア

(ア) 目的

- a 親子で工夫し、楽しみながらクラフト作成を行うことにより、子どもの発想力や創造力を高めたり、親子の絆を深めたりする。
- b クラフト作成の場を提供することにより、本所のプログラムについて理解を深める機会とする。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年3月4日（日） 208名参加
- b 県内の幼児、小・中学生とその家族対象
- c ボランティア8名

(ウ) 活動内容

- a 飛行リング
- b もっくんマグネット
- c 壁飾り
- d 缶バッジ
- e ぶんぶんごま
- f バードコール

#### (4) その他の企画事業

ア 未来キッズ生き生き事業

(ア) 目的、対象

県内の子どもたちとその家族を自然の家へ招待し、ブレイリーダーの協力も得ながら、一日を通して、自然の家でのプログラムに基づき、心身の健康や運動不足解消や体力増進となる取組を実施する。

会津地方の12歳以下の子どもたちとその家族を対象とする。

(イ) 名称、期日、参加者数

- a 春のオープンデー・・・・・・・・・・前  
平成29年5月14日（日）
- b 会津自然の山里山開放デー①  
平成29年6月4日（日） 94名参加
- c 会津自然の山里山開放デー②  
平成29年9月17日（日） 138名参加
- d あったかふれあいまつり・・・・・・・・前  
平成29年10月29日（日）
- e そりすべり団体開放 ※事前予約団体  
平成30年1月16日～2月25日
  - 1月 10団体 632人
  - 2月 13団体 636人
  - 3月 1団体 59人 計24団体1327人
- f そりすべり家族開放・・・・・・・・前  
(a) 平成30年1月28日（日）  
(b) 平成30年2月4日（日）

(c) 平成30年2月18日（日）

(d) 平成30年2月25日（日） 計509名参加

(ウ) 活動内容

フィールドアスレチック、森遊び、UFOゴルフ、草すべり、各種オリエンテーリング、そりすべり、スノーチューブ

## 第 18 節 福島県いわき海浜自然の家

### 1 概要

福島県いわき海浜自然の家は、海と山の豊かな自然環境の中で様々な活動や集団宿泊体験を通して、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とした社会教育施設として平成 8 年 7 月に開所した。

開所以来、学校の利用はもとより、スポーツ少年団、子ども会などの社会教育団体や家族などのあらゆる年齢層に利用されてきた。しかし、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により休所を余儀なくされ、同年 11 月 1 日から財団法人いわき市教育文化事業団を指定管理者として一部再開をした。以降、利用者が安心して利用できる環境を創出するため、活動エリアの放射線量測定及びデータの公開を行うとともに、低減措置を講じている。

平成 23 年度には本館周辺、平成 24 年度にはつどいの広場やいこいの広場、及び、第 5 号火場周辺の芝生張替等による線量低減措置、平成 25 年度にはトリムランドの除染、野営場入り口付近の崩落現場の復旧工事を実施した。平成 26 年度には野営場の表土入替作業や火場のレンガ交換などの除染作業を行い安全安心な活動エリアの拡大・復旧に努めた。なお、復旧工事等により平成 25 年度まで使用できなかったロッジ・野外炊飯場等については、除染終了後の平成 26 年 7 月より使用を再開した。山林部分の一部についても平成 29 年 3 月に除染を行ったが、フィールドアスレチックや冒険の森などの山での活動プログラムの再開はできていない。しかしながら、四倉海岸の海水浴の再開に合わせて、砂の芸術や磯遊びなどの本施設の目玉である海浜活動を再開し、いかに活動については、平成 28 年度から川での活動として再開した。

平成 29 年度の利用状況は、518 団体、延べ利用者数 40,194 人であった。利用者数については、震災前の平成 22 年度 (546 団体 66,611 人) に比して 60%ほどであった。特に、学校教育団体の利用については、167 団体延べ 14,174 人 (平成 22 年度は 342 団体、延べ 50,576 人) と、団体数では 48%、延べ人数では未だに 3 割にも満たない状況である。しかしながら、学校教育団体の利用者も戻りはじめ平成 28 年度に比べて 1,396 人の増となった。また、社会教育団体の団体数についても 309 団体と、平成 25 年度以降から連続で 300 を超え、総利用者数も 2 年連続で 4 万人を越えることができた。

#### (1) 平成 29 年度重点目標と成果

震災によって、これまでの自然体験活動が制限される中、少しでも多くの利用者が、新たな発見や感動、満足感・充実感を味わうことにより、本来の活動目的が達成されるよう引き続き次の目標に取り組んだ。

ア 本施設の設置目的の明確化とその周知及び利用促進を図る。

(ア) 自然体験活動が制限される中で教育施設として、青少年健全育成を目的とした利用のあり方などを考えながら受け入れを実施。野外での活動内容が制限されていることから、クラフト活動、歴史講座などの出前講

座の充実を図った。

(イ) オープンデーやクラフトのつどいなどの企画事業を充実させ、利用の促進・広報につなげることができた。

(ウ) 小・中学校等への利用促進のための積極的な情報提供、PR 活動に努めるとともに、生涯学習施設としての役割に鑑み、教育文化施設や公民館への広報活動を行い、史跡・文化財めぐり、ニュースポーツなどを実施。さらには、公民館等との連携事業を展開するなど、新たな利用者開拓を行った。

イ 利用者のニーズに対応した施設運営に努める。

(ア) 幼児から高齢者まで、多様なニーズに対応した幅広いプログラムの開発とクラフト活動に努めた。

(イ) 企画事業を通してアンケート調査を実施し、利用者のニーズについての調査・研究を行い、ニーズに応じた支援を実施した。また、利用者の自主性・主体性を助長できるよう、工夫・改善に努めた。

ウ 事故の未然防止、危機管理体制の充実に努める。

(ア) 受付やオリエンテーション、活動支援において安全のための適切な助言や指導を行った。

(イ) 学校・社会教育団体ともに事前研修会を実施し、安全で有効かつ適切な施設の活用について周知徹底するとともに、利用団体の指導者に対して適切な助言を行い安全教育の充実を図った。

(ウ) 東日本大震災を教訓として、事故発生時の緊急対応及び連絡体制を明確にし、情報の共有化を徹底し危機管理体制の充実に努めた。

無線アンテナ設備の設置による海浜活動時等の情報通信網の整備や自然災害等での避難方法のマニュアル化など、利用者の安全と被害防止に努めた。

(エ) 山林部のフィールドアスレチックコース等の点検を定期的に行うとともに、公園施設製品安全管理士による点検を行った。また、利用可能な遊具等についても、利用前の点検を行い、安全管理に努めた。

(オ) 施設全体と活動エリアである海岸、さらに非活動エリア内山間部の放射線量の測定を定期的に変更して公表した。

(カ) 所内にハチトラップを設置してスズメ蜂対策を行った。また、所外での活動に備えて平成 29 年度から 2 台の AED をレンタルして安全面の充実を図った。

エ 定期的な業務内容の点検と改善に努める。

(ア) 計画的かつ定期的な評価により、改善点の明確化を図り、密度の高い施設運営に努めた。

(イ) 多面的かつ多角的な視点から、業務遂行の在り方について検討し、開かれた施設運営に努めた。

(ウ) 利用者へのアンケート結果を参考に、業務遂行の在り方を検討し、利用者の目線に立った支援や管理運営に努めた。

オ 地域との連携を深め、生涯学習実践の場として機能する施設運営に努める。

(ア) 環境ボランティアを中心に地域との関係を密接にし地域に根ざした施設づくりに努めた。

(イ) 支援ボランティアが企画事業の一端を自主運営するなど、ボランティア活動の場の充実に努めた。

(ウ) 公民館、支所、消防署、交番、教育文化施設等のほか、地域の各種団体など、関係機関との連携強化に努めた。

(エ) 地域の連携、協力を得て様々な企画事業を開催した。

## (2) 職員組織

| 職名      | 人員 |
|---------|----|
| 所長      | 1  |
| 次長      | 1  |
| 総括主査    | 1  |
| 副主任指導員  | 1  |
| 指導員     | 3  |
| 教育指導専門員 | 1  |
| 体験活動指導員 | 4  |
| 運転手     | 2  |
| 事務補助員   | 2  |
| 臨時労務員   | 1  |
| 計       | 17 |

## 2 施設・設備の概要

### (1) 所在地

いわき市久之浜町田之網字向山 53

### (2) 宿泊定員

- ア 本館定員 300名 (和室 28室)
- イ ロッジ定員 160名 (10棟)
- ウ テント定員 100名 (25張)

### (3) 敷地面積

350,171 m<sup>2</sup>

### (4) 建物面積

6,696.97 m<sup>2</sup>

- ア 中心施設  
本館 (宿泊室、オリエンテーションホール、研修室、  
野外学習室、事務室、食堂、浴室等)  
体育館
- イ 野外施設  
管理棟、ロッジ、便所等

### (5) 野外活動施設面積

- ア つどいの広場 7,000 m<sup>2</sup>
- イ 多目的広場 8,890 m<sup>2</sup>
- ウ 自然観察園 4,050 m<sup>2</sup>
- エ みんなの広場 4,700 m<sup>2</sup>

### (6) 設備備品等

- ア 体育館  
(バレーボールコート 2面、バスケットボールコート 1

面(バスケットボールリング、ミニバスケットボールリング)、バドミントンコート 2面、卓球台 3台、ピアノ 1台 キンボール 他)

### イ 野営場

(野外炊飯、キャンプ用品一式、冷蔵庫 他)

### ウ 野外活動設備

(フィールドアスレチックコース、冒険の森歩道、トリムランド、営火場 5カ所、各種オリエンテーリングコース、ナイトハイキングコース、ウォークラリーコース、ロープコース、マウンテンバイクコース 他)

### エ 多目的広場

(ソフトボール、マウンテンバイクコース、サッカーゴール 他)

### オ その他

(視聴覚機器、無線機、天体望遠鏡、双眼鏡、七宝焼窯、マウンテンバイク、釣り用具一式、海浜用具一式、大型バス 他)

## 3 利用状況

### (1) 平成 29 年度利用者数

延べ利用者数 40,194 人

|    |        |        |          |
|----|--------|--------|----------|
| 内訳 | 学校教育団体 | 167 団体 | 14,174 人 |
|    | 社会教育団体 | 309 団体 | 19,064 人 |
|    | ファミリー  | 9 団体   | 168 人    |
|    | 企画事業   |        | 6,788 人  |

## 4 企画事業

### (1) 研修会事業

#### ア 学校団体指導者事前研修会

##### (ア) 目的

本所の利用にあたって、自主的、主体的な活動を展開するため、施設見学や実技研修を行い、研修計画の立案やその実施についての理解を深める。また、学校間で調整を図り、宿泊体験活動が円滑に実施できるようにする。

##### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 第1回平成 29 年 4 月 19 日(水)～20 日(木)
- 第2回平成 29 年 5 月 16 日(火)～17 日(水)

・対象 平成 29 年度利用の学校団体

・参加者数 (延べ人数)

第1回 51 名 第2回 52 名

##### (ウ) 研修内容

- ・施設紹介と利用の仕方について
- ・本所プログラム活動の紹介
- ・活動プログラムの作成・調整

#### イ 社会教育団体指導者事前研修会(活動プログラム研修会)

##### (ア) 目的

施設見学や実技研修を通して、自主的、主体的な活動の進め方や研修計画の立て方の理解を深め、活動が円滑に実施できるようにする。

##### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年5月26日(金)
- ・対象 平成29年7月1日以降の利用団体及び参加希望団体
- ・参加者数 45名

(ウ) 研修内容

- ・施設紹介と利用の仕方について
- ・本所プログラム活動の紹介
- ・海浜活動(磯遊び)

ウ ボランティア養成講座

(ア) 目的

自然体験活動を支援する上で、必要な知識と技術を習得するとともに、本所のボランティアとしての活動方法を学ぶ。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年5月14日(日) 参加者数 13名
- 平成29年7月16日(日) 参加者数 10名
- 平成29年9月17日(日) 参加者数 10名
- 平成29年12月17日(日) 参加者数 9名
- ・対象 高校生 大学生 一般

(ウ) 内容

実施予定の自然体験活動・企画事業支援についての研修を行った。

**(2) 利用促進事業**

ア 春のオープンデー (未来キッズ生き生き事業)

連携：会津自然の家 郡山自然の家

(ア) 目的

施設を地域の人々に広く開放し、本所への理解を深め、地域の中での自然の家の役割を認識し、多くの方々の協力及び参加を得ながら地域づくりやまちづくりに貢献する。さらに、ボランティアスタッフとのつながりを深め、生涯学習活動や施設運営の充実を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年5月28日(日)
- ・対象 一般
- ・参加者数 1,456名

(ウ) 内容

グラウンドゴルフ、マウンテンバイクなどのスポーツ体験で身体を動かしたり、缶バッジ作り、プラバンキーホルダー作りなどのクラフト体験を楽しんだ。また、高校生フラダンスや子どもじゃんがらを鑑賞したり、野外炊飯(豚汁)、パトカー・消防車展示、海浜レストラン、海浜風呂などでも楽しんだ。

イ 遊ぼう！初夏の海で

(ア) 目的

自然に親しみ、海での釣りや磯遊びを楽しみながら家族の絆を深める。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年6月25日(日)
- ・対象 小学生とその家族
- ・参加者数 38名

(ウ) 内容

防波堤や磯場でさまざまな魚を釣ったり、磯遊びなどを楽しみながら海への理解を深めた。

ウ ふれあいサマーキャンプ 連携：会津自然の家

(ア) 目的

自然の素晴らしさや人とふれあう喜びを体得し、協調性・社会性を身につけ、自立心を養う。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年7月28日(金)～30日(日)
- ・対象 小学生
- ・参加者数 54名

(ウ) 内容

交流ゲームや野外炊飯(カレー)、キャンプファイア、ボディボードなどの海遊びを行い参加者同士の親睦を深めた。

エ 海浜アウトドアクッキング

(ア) 目的

野外のかまどを使うことにより火の取扱いや料理する楽しさを学ぶ。併せて、本所への理解、利用促進を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年10月1日(日)
- ・対象 小学生とその家族
- ・参加者数 12名

(ウ) 内容

自然の中で、協力しながらカレー作りを行い野外炊飯の楽しさや共同作業の大切を学んだ。

オ スポーツフェスティバル (未来キッズ生き生き事業)

(ア) 目的

身体を動かす大切さを知り、幼児・児童には体力向上、成人には健康維持を促進して、県民の健康的に生活するための意識向上を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年10月15日(日)
- ・対象 一般
- ・参加者数 158名

(ウ) 内容

マウンテンバイク、ノルディックウォーキングなどで身体を動かしたり、フラダンス体験、竹馬体験などを楽しみ、目的や体力に合わせて身体を動かした。

カ ふくしまキッズフェスタ2017 in いわき

主催：福島県教育委員会

(ア) 目的

県内の子どもや親などに自然体験や外遊びの大切さを訴えていくとともに、学校や日常生活では得ることができない貴重な体験を通して、未来を築いていく子どもたちや今を支える大人たちに、楽しみながら健康意識を持ってもらうことを目的とする。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年10月28日(土)～29日(日)
- ・対象 一般

・参加者数 3,213名

(ウ) 内容

ディスクゴルフ、プラズマカーなどのニューアトラクション、グランドゴルフ、ペタンクなどのニュースポーツ体験などで身体を動かした。また、仮面ライダーやプリキュアショーなどのさまざまな芸能人の華やかなステージを楽しんだ。

キ ふれあいオータムキャンプ

(ア) 目的

自然のすばらしさや人とふれあう喜びを体得し、協調性・社会性を身につけ、自立心を養う。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年11月11日(土)～12日(日)
- ・対象 小学生
- ・参加者数 29名

(ウ) 内容

交流ゲームや野外炊飯(豚汁うどん)、キャンドルファイア、夏井川溪谷でのハイキングなどを行い参加者同士の親睦を深めた。

ク 親子のつどい

(ア) 目的

親子での共同作業を通して、家族の絆を深めるとともに、他の家族との交流の促進を図る。

地域の人々やボランティアへ活動の場を提供し、交流の推進を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年12月2日(土)～12月3日(日)
- ・対象 幼児から小学生とその家族
- ・参加者数 26名

(ウ) 内容

家族でクラフト体験(クリスマスリース作り)、野外炊飯(トマト煮込みパスタ)、交流ゲームなどで楽しんだ。

ケ 冬を楽しもう！～スキー教室～

(ア) 目的

雪で遊ぶことの少ないいわきの子どもを対象に、県内の自然や冬の自然体験活動を学ぶ。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年1月7日(日)
- ・対象 小学生とその家族
- ・参加者数 38名

(ウ) 内容

猪苗代スキー場でスキーやそり遊びなどのウィンタースポーツを体験した。

コ クラフトのつどい

(ア) 目的

創作活動の場を提供し、ものづくりの楽しみや生涯学習の振興に寄与することを目的とする。併せて、本所への理解、利用促進を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年2月18日(日)

・対象 幼児から中学生とその家族

・参加者数 147名

(ウ) 内容

缶バッジ、万華鏡、割り箸鉄砲、紙バンドの手カゴ作りなどを楽しんだりトリムランドで身体を動かしたりした。

サ 森の音楽会

(ア) 目的

地域の文化活動の向上と本所の利用促進を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年3月4日(日)
- ・対象 一般
- ・参加者数 236名

(ウ) 内容

ディナーバイキング料理と平商業高校吹奏楽部の演奏を楽しんだ。

(3) その他の企画事業

ア 未来キッズ生き生き事業 主催:福島県教育委員会

(ア) 目的

身体を動かすプログラムを提供し、県民の体力向上の促進を目的とする。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年6月18日(日) 参加者数 100名
- 平成29年7月2日(日) 参加者数 88名
- 平成29年9月3日(日) 参加者数 68名
- 平成30年1月28日(日) 参加者数 124名
- 平成30年2月10日(日) 参加者数 61名
- ・対象 幼児から小学生とその家族

(ウ) 内容

所内のアスレチックで身体を動かしたり、野外ゲームやタグラグビー、運動会などを楽しんだ。

イ ウィンターフェスティバル! 主催:会津自然の家

(ア) 目的

会津の冬や伝統文化のすばらしさを体験するとともに、参加者相互の交流を深める。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年1月20日(土)～21日(日)
- ・対象 小・中学生とその保護者
- ・参加者数 38名(当所からの参加者)

(ウ) 内容

会津自然の家に宿泊し、スキーや雪遊びなどの冬の自然体験活動を満喫した。

(4) 連携事業

ア 公民館等連携講座(全26件)

(ア) 目的

いわき市立公民館等と連携し、史跡見学・歴史講座、ニュースポーツ、クラフト体験などを行い、社会教育団体等の利用促進を図った。

(イ) 期間・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年4月1日～平成30年3月31日

- ・対象 成人
- ・参加者数 500名

(ウ) 内容

歴史講座、クラフトやニュースポーツ体験、健康体操などを体験した。

イ 出前講座（全5件）

(ア) 目的

自然の家の活動内容の紹介と学校及び社会教育団体等への利用促進を図るために、また、生涯学習支援をするため出前講座を行う。

(イ) 期間・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年4月1日～平成30年3月31日
- ・参加者数 844名

(ウ) 内容

いわき市内の学校、教育文化施設などで、歴史講座、クラフト、ニュースポーツ体験などを実施。

ウ いわき市アンモナイトセンター自然観察会「地層と化石の観察会」 主催:いわき市アンモナイトセンター

(ア) 目的

科学的な見方や考え方を養うために地域の歴史的背景を学び、実際に化石を発掘する事で理科学習への興味関心を高める。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成29年10月29日(土)
- ・対象 小・中学生とその保護者
- ・参加者数 15名

(ウ) 内容

いわき市アンモナイトセンターと連携して約8900万年前の中生代白亜紀時代の地層の観察会を行った。

**(5) その他**

ア タイ青少年日本語研修(タイ王国カインドエンジェル)

(ア) 期日 平成30年3月14日～4月30日

(イ) 内容

タイ青少年53名が、45日間にわたり日本語学習と観光施設見学、茶道などを体験して国際交流、日本文化への理解を深めた。



# 第10章 文化財

## 第1節 文化財保護体制の充実

### 1 指定文化財保護体制の充実 (文化財パトロール)

例年、文化財保護体制の充実を図るため、民間の有識者を文化財保護指導委員に委嘱し、パトロール計画に基づいて、定期的に国・県指定重要文化財や重要遺跡の巡視を行い、その現況把握に努めてきた。平成29年度は双葉地区の巡視を再開し、巡視対象地区を15地区に編成して実施した。

### 2 文化財保護指導者研修会

#### (1) 趣旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、県文化財センター白河館が実施主体となり、文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に役立てることを目的とする。

#### (2) 期日及び場所

平成29年10月24日(火)～25日(水)

福島県立博物館(会津若松市)

#### (3) 内容

ア 講義内容及び講師

(ア) 「未指定文化財等の保護について」

阿部 浩一(福島大学)

(イ) 「まるごと博物館事業について」

大栗 行貴(国見町)

(ウ) 「技の記録と復元」

國井 秀紀(公財)福島県文化振興財団)

(エ) 「震災遺産の保全について」

福島県立博物館

イ 現地研修

見学会「発掘ふくしま4」

福島県立博物館

### 3 市町村文化財保護担当者会議

#### (1) 趣旨

県内市町村の文化財行政担当者が職務を遂行するうえでの必要な知識の習得を図り、また、実務上の疑問点や問題点等について質疑・意見交換することによって、より円滑に文化財行政を推進させることを目的として開催した。

#### (2) 期日及び場所

平成29年6月26日(月)本庁舎5階正庁

#### (3) 内容

ア 文化行政の動向

イ 平成29年度事業について

ウ 指定文化財の対応について

## 第2節 埋蔵文化財の保護の充実

### 1 埋蔵文化財保護体制

県の歴史と文化を物語る文化財や県内の遺跡への関心は、県民の中で着実に高まっていることから、福島県教育委員会は、埋蔵文化財(遺跡)の保存・保護のため調査体制の充実を図ってきた。平成29年度は、他の県市及び財団から延べ8名の派遣を受けて、東日本大震災からの復旧・復興事業の埋蔵文化財調査のため、文化財課の体制を強化した。

#### 他の県市からの派遣

| 派遣期間        | 県市名                               |
|-------------|-----------------------------------|
| H29.4～H30.3 | 青森県、新潟県(半年毎、延べ2名)、埼玉県、静岡県、兵庫県、神戸市 |

また、県の委託により発掘調査を行っている(公財)福島県文化振興財団遺跡調査部においては、財団職員23名、派遣職員3名、財団間出向職員2名、嘱託職員2名、計30名で調査にあたった。

#### 福島県文化振興財団遺跡調査部職員数

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 年度 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 元  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 人員 | 26 | 26 | 30 | 40 | 44 | 47 | 47 | 55 | 60 | 60 | 62 | 62 | 62 | 62 |
| 年度 | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 人員 | 62 | 62 | 68 | 68 | 76 | 61 | 39 | 40 | 40 | 40 | 41 | 41 | 38 | 32 |
| 年度 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |    |    |    |    |    |    |
| 人員 | 26 | 26 | 35 | 40 | 39 | 37 | 32 | 30 |    |    |    |    |    |    |

(平成14年度までは遺跡調査課定数)

### 2 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、遺跡の所在・範囲・内容等を明らかにする「分布調査」・「試掘・確認調査」の結果により、事業者と遺跡を保護するための「保存協議」を行い、現状保存ができない場合は、発掘調査により「記録保存」し、その成果を調査報告書としてまとめることで対応している。

#### (1) 分布調査、試掘・確認調査

分布調査、試掘・確認調査は、遺跡を保護するための情報を収集することを目的としている。

平成29年度は、一般国道115号相馬福島道路71,600㎡、県道吉間田・滝根線8,600㎡、小名浜道路12,700㎡、阿武隈右岸築堤4,900㎡、会津縦貫南道路20,900㎡、国道349号改良工事8,300㎡、計127,000㎡の試掘・確認調査を実施した。また、会津縦貫南道路及び国道289号改良工事に伴う計画路線内4.5haの分布調査を実施した。

#### (2) 保存協議

昨年度の継続協議を含め、次の事業について関係機関と保存協議を実施した。

一般国道115号相馬福島道路の各事業関係機関、国道・県道の工事事務所等。

### (3) 発掘調査

福島県教育委員会では、開発に伴う発掘調査（保存目的調査）を（公財）福島県文化振興財団に委託し、以下の遺跡の調査を実施した。

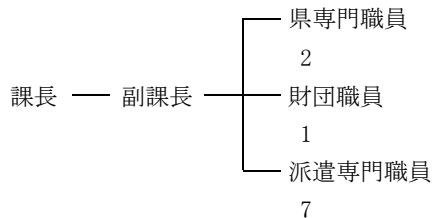
- ・阿武隈川上流河川改修事業：高木遺跡（須賀川市）  
6,600 m<sup>2</sup>
  - ・一般国道 115 号相馬福島（霊山）道路：日照田遺跡他  
3 遺跡（桑折町・伊達市）8,600 m<sup>2</sup>
  - ・常磐自動車道  
大谷上ノ原遺跡（檜葉町）9,300 m<sup>2</sup>
  - ・県道広野小高線整備事業：毛萱館跡（富岡町）5,000 m<sup>2</sup>
- なお、県内市町村においても開発に伴う発掘調査を各市町村教育委員会が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制の実情に応じ、適時福島県教育委員会が指導・助言している。

### 3 平成 29 年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況

全国から専門職員 7 名の派遣を受けて県の復興調査体制を強化し、農山村地域復興基盤総合整備事業、海岸防災林関連事業等に係る埋蔵文化財の分布調査、試掘・確認調査を迅速に実施し、復興事業計画に遅れが出ないように対応した。

また、被災市町村の復興事業に対しても、技術協力を実施し、復興事業の迅速化に寄与してきた。

〈平成 29 年度〉復興調査体制  
(南相馬市駐在)



調査対応した開発事業は以下のとおりである。

#### (1) 分布調査

農山村地域復興基盤総合整備事業、中間貯蔵施設等  
約 1,300 万 m<sup>2</sup>

#### (2) 試掘・確認調査

農山村地域復興基盤総合整備事業、海岸防災林、中間貯蔵施設等 約 213 万 m<sup>2</sup>

#### (3) 災害復興に係る市町村技術協力

ア 南相馬市

県立相馬支援学校建設、土砂採取、市内再開発関連等に係る分布調査、試掘・確認調査、本発掘調査

イ 浪江町

工業団地造成に係る試掘・確認調査

ウ 双葉町

福島第一原子力発電所内造成、メガソーラー事業に係る分布調査、試掘・確認調査

エ 川内村

メガソーラー事業、携帯電話基地局建設、風力発電所建設に係る分布調査、試掘・確認調査

オ 広野町

農地改良、道の駅建設に係る分布調査、試掘・確認調査

## 4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

### (1) 福島県文化財センター白河館文化財研修

（公財）福島県文化振興財団が指定管理を行っている福島県文化財センター白河館において、埋蔵文化財の調査を担当する自治体・団体職員などを対象とした研修会を実施し、333 名が受講した。

### (2) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財担当者専門研修

平成 29 年度研修を受けた者は、以下のとおり。

| 研修名称            | 期 日                                    | 受 講 者                            |
|-----------------|----------------------------------------|----------------------------------|
| 三次元計測課程         | 9月25日～<br>9月29日                        | 南相馬市 1名                          |
| 古代・中近世瓦<br>調査課程 | 11月13日～<br>11月17日                      | (公財)いわき市教育文化<br>事業団 1名           |
| 報告書編集基礎<br>課程   | 12月7日～<br>12月8日<br>12月12日～<br>12月14日   | (公財)いわき市教育文化<br>事業団 1名<br>伊達市 1名 |
| 報告書デジタル<br>作成課程 | 12月14日～<br>12月15日<br>12月18日～<br>12月21日 | (公財)福島県文化振興財<br>団 1名             |

## 5 埋蔵文化財保護普及活動

平成29年度に刊行した埋蔵文化財調査報告書は以下のとおり。

- ・福島県内遺跡分布調査報告 24
- ・会津縦貫南道路遺跡発掘調査報告書 2
- ・農山村地域復興基盤総合整備事業関連遺跡調査報告 1, 2
- ・一般国道 115 号相馬福島道路遺跡発掘調査報告 6
- ・東日本大震災復興関連遺跡調査報告 4
- ・平成 29 年度中間貯蔵土壌貯蔵施設等工事予定地における埋蔵文化財調査業務報告書
- ・県道浪江鹿島線関連遺跡発掘調査報告 1

## 6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業

県内の市町村教育委員会が実施する埋蔵文化財発掘調査等について、市町村教育委員会からの依頼により埋蔵文化財の調査等に必要な技術を協力・支援している。

具体的には、分布調査、試掘確認調査、小規模な発掘調査及び出土遺物の整理や報告書作成に関する技術の協力・支援を内容とするが、県教育委員会の委託により（公財）福島県文化振興財団が行っている。

平成 29 年度の技術協力の実績は、以下のとおり。

| 市町村   | 遺 跡 名       | 協力内容    |
|-------|-------------|---------|
| 川俣町   | 国道114号改良工区内 | 分布調査    |
| 川俣町   | 国道114号改良工区内 | 試掘・確認調査 |
| 川俣町   | 国道349号改良工区内 | 試掘・確認調査 |
| 西会津町  | 横町館跡        | 本発掘調査   |
| 昭和村   | 国道401号改良工区内 | 試掘調査    |
| 会津若松市 | 田中遺跡        | 本発掘調査   |
| 湯川村   | 下樽川西遺跡      | 試掘・確認調査 |
| 昭和村   | 中坪A遺跡       | 本発掘調査   |
| 三島町   | 大石田居平遺跡     | 試掘・確認調査 |
| 会津若松市 | 上高野村北遺跡外    | 試掘・確認調査 |
| 鮫川村   | 姿平西製鉄遺跡     | 試掘・確認調査 |
| 三島町   | 小和瀬遺跡       | 試掘・確認調査 |
| 昭和村   | 中坪A遺跡       | 報告書作成   |
| 小野町   | 農業基盤整備浮金地区  | 分布調査    |

## 7 文化財センター整備事業

福島県教育委員会が（公財）福島県文化振興財団に委託して実施した発掘調査により出土した遺物については、福島県渡利の県施設を活用し、福島県文化財センター整備事業としてその保存処理と調査を行っている。主な業務としては、金属製品や木製品等脆弱な出土文化財の保管管理と劣化防止措置、出土した遺物の整理・梱包・搬送・文化財データベース入力などである。

## 8 開発事業に伴う試掘確認・発掘調査件数

### (1) 平成 29 年度開発事業に伴う試掘確認調査件数

(平成 29 年 4 月～30 年 3 月)

| No. | 調査原因        | 県北 | 県中  | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双  | いわき | 計   |
|-----|-------------|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 1   | 道路建設        | 24 | 5   | 5  | 1  | 5   | 8   | 6   | 54  |
| 2   | 河川・ダム・空港・港湾 | 0  | 2   | 0  | 1  | 0   | 12  | 0   | 15  |
| 3   | 学校建設        | 1  | 0   | 0  | 0  | 0   | 1   | 1   | 3   |
| 4   | その他の建物      | 2  | 7   | 0  | 1  | 1   | 24  | 0   | 35  |
| 5   | 宅地造成・住宅等    | 37 | 77  | 3  | 2  | 0   | 13  | 8   | 140 |
| 6   | 都市計画等       | 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 7   | 公園造成など      | 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 8   | 土砂採取        | 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 6   | 0   | 6   |
| 9   | 農業関係        | 0  | 4   | 0  | 3  | 0   | 22  | 0   | 29  |
| 10  | 電気・ガス・水道    | 1  | 1   | 0  | 1  | 0   | 7   | 0   | 10  |
| 11  | その他の開発      | 4  | 11  | 1  | 0  | 0   | 9   | 0   | 25  |
|     | 計           | 69 | 107 | 9  | 9  | 6   | 102 | 15  | 317 |

### (2) 平成 29 年度発掘調査件数

(平成 29 年 4 月～30 年 3 月)

| No. | 調査原因        | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 計  |
|-----|-------------|----|----|----|----|-----|----|-----|----|
| 1   | 道路建設        | 6  | 0  | 0  | 2  | 0   | 2  | 0   | 10 |
| 2   | 河川・ダム・空港・港湾 | 0  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 1  |
| 3   | 学校建設        | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1  | 0   | 1  |
| 4   | その他の建物      | 0  | 1  | 0  | 2  | 0   | 0  | 0   | 3  |
| 5   | 宅地造成・住宅等    | 0  | 3  | 0  | 1  | 0   | 0  | 0   | 4  |
| 6   | 都市計画等       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 1   | 1  |
| 7   | 公園造成など      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0  |
| 8   | 土砂採取        | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0  |

| No. | 調査原因             | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 計  |
|-----|------------------|----|----|----|----|-----|----|-----|----|
| 9   | 農業関係             | 1  | 1  | 2  | 3  | 0   | 1  | 0   | 8  |
| 10  | 電気・ガス・水道         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0  |
| 11  | その他の開発           | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1  | 0   | 1  |
| 小計  |                  | 7  | 6  | 2  | 8  | 0   | 5  | 1   | 29 |
| 12  | 史跡整備・保存目的の範囲内容確認 | 5  | 2  | 2  | 7  | 1   | 3  | 1   | 21 |
| 13  | 学術調査             | 0  | 1  | 0  | 3  | 0   | 0  | 0   | 4  |
| 合計  |                  | 12 | 9  | 4  | 18 | 1   | 8  | 2   | 54 |

## 9 平成29年度開発事業に伴う試掘調査（周知の埋蔵文化財包蔵地）

### (1) 県調査

| No. | 遺跡名                 | 所在地                             | 調査主体者 | 調査実施期間       | 調査面積<br>(㎡) | 時代                     | 種別                     | 調査原因        |
|-----|---------------------|---------------------------------|-------|--------------|-------------|------------------------|------------------------|-------------|
| 1   | 一杯清水遺跡              | 南相馬市鹿島区榎原字一杯清水・台                | 福島県教委 | 9月11日～10月16日 | 1,182       | 縄文                     | 散布地                    | 農地整備        |
| 2   | 百枚遺跡                | 南相馬市鹿島区榎原字百枚                    | 福島県教委 | 9月11日～10月16日 | 150         | 縄文                     | 集落跡                    | 農地整備        |
| 3   | 東殿館跡                | 南相馬市原町区下高平字御屋敷                  | 福島県教委 | 8月23日～2月14日  | 8           | 中世                     | 城館跡                    | 農地整備        |
| 4   | 沢田館跡                | 南相馬市原町区上北高平字沢田                  | 福島県教委 | 8月23日～2月14日  | 67          | 中世                     | 城館跡                    | 農地整備        |
| 5   | 貝餅遺跡                | 南相馬市原町区上北高平字貝餅                  | 福島県教委 | 8月23日～2月14日  | 144         | 縄文                     | 散布地                    | 農地整備        |
| 6   | 天神谷地遺跡              | 南相馬市原町区上北高平字貝餅                  | 福島県教委 | 8月23日～2月14日  | 880         | 縄文・弥生                  | 散布地                    | 農地整備        |
| 7   | 太鼓田遺跡               | 南相馬市原町区上北高平字太鼓田                 | 福島県教委 | 8月23日～2月14日  | 219         | 縄文                     | 散布地                    | 農地整備        |
| 8   | 竹下遺跡                | 南相馬市原町区上高平字竹下                   | 福島県教委 | 8月23日～2月14日  | 956         | 縄文・平安                  | 散布地・<br>集落跡            | 農地整備        |
| 9   | 太鼓田B遺跡              | 南相馬市原町区上北高平字太鼓田                 | 福島県教委 | 8月23日～2月14日  | 477         | 縄文・奈良・<br>平安           | 集落跡                    | 農地整備        |
| 10  | 上北高平西谷地遺跡<br>芦ノ口前遺跡 | 南相馬市原町区上北高平字西谷地・<br>上高平字柳町・芦ノ口前 | 福島県教委 | 8月23日～2月14日  | 364         | 縄文・奈良・<br>平安           | 集落跡                    | 農地整備        |
| 11  | 南才ノ上遺跡              | 南相馬市原町区萱浜字南才ノ上                  | 福島県教委 | 8月28日～8月29日  | 60          | 縄文・古墳・<br>奈良・平安        | 散布地                    | 農地整備        |
| 12  | 愛原B遺跡               | 南相馬市原町区萱浜字愛原                    | 福島県教委 | 8月28日～8月29日  | 60          | 縄文・平安・<br>近世           | その他の臺・<br>その他の<br>生産遺跡 | 農地整備        |
| 13  | 鶴谷台畑遺跡              | 南相馬市原町区鶴谷字台畑・西田                 | 福島県教委 | 6月12日～7月7日   | 82          | 平安                     | 製鉄跡                    | 農地整備        |
| 14  | 窯場平下遺跡              | 田村市都路町古道字山口                     | 福島県教委 | 11月6日～11月9日  | 177         | 縄文                     | 散布地                    | 農地整備        |
| 15  | 磯ノ上遺跡<br>磯ノ上古墳群     | 南相馬市鹿島区北海老字磯ノ上                  | 福島県教委 | 5月8日～5月17日   | 190         | 古墳・奈良・<br>平安           | 古墳・<br>散布地             | 海岸防災林<br>造成 |
| 16  | 湊遺跡                 | 南相馬市原町区下渋佐字湊                    | 福島県教委 | 4月12日～4月13日  | 130         | 縄文・古墳                  | 散布地                    | 海岸防災林<br>造成 |
| 17  | 角部内貝塚<br>角部内南台遺跡    | 南相馬市小高区角部内字南台                   | 福島県教委 | 5月29日～5月31日  | 148         | 縄文・弥生・<br>古墳・奈良・<br>平安 | 貝塚・<br>製鉄跡・<br>散布地     | 海岸防災林<br>造成 |
| 18  | 北新田塩田跡              | 南相馬市小高区井田川字北新田                  | 福島県教委 | 7月6日         | 20          | 近世・不明                  | その他の<br>生産遺跡           | 海岸防災林<br>造成 |

| No. | 遺跡名              | 所在地              | 調査主体者 | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代                     | 種別                           | 調査原因            |
|-----|------------------|------------------|-------|---------------|---------------------------|------------------------|------------------------------|-----------------|
| 19  | 清水尻横穴墓群<br>清水尻遺跡 | 双葉郡富岡町大字仏浜字釜田    | 福島県教委 | 9月11日～9月14日   | 151                       | 古墳・奈良                  | 横穴墓・<br>集落跡                  | 海岸防災林<br>造成     |
| 20  | 吾安谷地A遺跡          | 相馬郡新地町大字浜字吾安谷地   | 福島県教委 | 5月29日～5月30日   | 58                        | 奈良・平安                  | 散布地                          | 県道整備<br>(相馬互理線) |
| 21  | 赤坂B遺跡            | 双葉郡浪江町大字棚塩字赤坂    | 福島県教委 | 6月19日～6月22日   | 80                        | 縄文・奈良・<br>平安           | 散布地                          | 県道整備<br>(広野小高線) |
| 22  | 赤坂D遺跡            | 双葉郡浪江町大字棚塩字赤坂    | 福島県教委 | 6月12日～6月23日   | 88                        | 奈良・平安                  | 窯跡・<br>製鉄跡                   | 県道整備<br>(広野小高線) |
| 23  | 鹿屋敷遺跡            | 双葉郡浪江町大字棚塩字狐塚    | 福島県教委 | 7月4日～7月13日    | 330                       | 縄文・弥生・<br>古墳・奈良・<br>平安 | 集落跡                          | 県道整備<br>(広野小高線) |
| 24  | 安養院古墳群           | 双葉郡浪江町大字棚塩字狐塚    | 福島県教委 | 7月4日～7月13日    | 75                        | 古墳                     | 古墳                           | 県道整備<br>(広野小高線) |
| 25  | 小浜遺跡             | 双葉郡富岡町大字小浜       | 福島県教委 | 4月24日～4月27日   | 139                       | 古墳                     | 集落跡                          | 河川改修            |
| 26  | 藤倉遺跡             | いわき市久ノ浜町末続字藤倉    | 福島県教委 | 12月22日        | 6                         | 不明                     | 社寺跡                          | 常磐自動車道          |
| 27  | 高倉城跡             | 双葉郡広野町大字折木字高倉    | 福島県教委 | 2月22日         | 13                        | 中世                     | 城館跡                          | 常磐自動車道          |
| 28  | 北原遺跡             | 双葉郡浪江町大字北幾世橋字北原  | 福島県教委 | 2月14日～2月15日   | 24                        | 古墳・奈良・<br>平安           | 散布地                          | 共用送電線           |
| 29  | 陳場沢B遺跡           | 双葉郡双葉町大字郡山字陳場沢   | 福島県教委 | 7月27日～10月12日  | 23                        | 弥生・奈良                  | 散布地                          | 中間貯蔵施設          |
| 30  | 西原C遺跡            | 双葉郡双葉町大字郡山字西原    | 福島県教委 | 9月11日～9月27日   | 80                        | 弥生・古墳・<br>奈良・平安        | 集落跡                          | 中間貯蔵施設          |
| 31  | 館腰遺跡             | 双葉郡双葉町大字山田字館腰    | 福島県教委 | 11月1日         | 60                        | 縄文                     | 散布地                          | 中間貯蔵施設          |
| 32  | 島遺跡              | 双葉郡双葉町大字郡山字島     | 福島県教委 | 11月21日～11月28日 | 26                        | 古墳                     | 集落跡                          | 中間貯蔵施設          |
| 33  | 銅谷迫遺跡            | 双葉郡双葉町大字郡山字銅谷迫   | 福島県教委 | 1月24日～2月19日   | 323                       | 古墳・奈良・<br>平安           | 集落跡                          | 中間貯蔵施設          |
| 34  | 東台遺跡             | 双葉郡大熊町大字夫沢字東台    | 福島県教委 | 7月11日～7月12日   | 173                       | 縄文                     | 散布地                          | 中間貯蔵施設          |
| 35  | 梨木平遺跡            | 双葉郡大熊町大字小入野字東平   | 福島県教委 | 7月12日～1月19日   | 2,638                     | 縄文・古墳・<br>奈良・平安        | その他の<br>生産遺跡・<br>散布地・<br>集落跡 | 中間貯蔵施設          |
| 36  | 越巻遺跡             | 双葉郡大熊町大字小入野字東平   | 福島県教委 | 7月19日～2月8日    | 343                       | 縄文                     | 散布地                          | 中間貯蔵施設          |
| 37  | 南沢北遺跡            | 双葉郡大熊町大字小入野字東大和久 | 福島県教委 | 8月29日～8月30日   | 98                        | 縄文                     | 散布地                          | 中間貯蔵施設          |
| 38  | 北原日向遺跡           | 双葉郡大熊町大字小入野字東平   | 福島県教委 | 12月11日        | 99                        | 弥生                     | 散布地                          | 中間貯蔵施設          |
| 39  | 中室内遺跡            | 伊達市保原町上保原字中室内    | 福島県教委 | 6月19日～6月28日   | 284                       | 中世                     | 散布地                          | 相馬福島道路          |
| 40  | 荒屋敷遺跡            | 伊達市保原町伏黒字荒屋敷・六角  | 福島県教委 | 7月6日～7月20日    | 424                       | 弥生・古墳・<br>中世           | 散布地                          | 相馬福島道路          |
| 41  | 徳定A・B遺跡          | 郡山市田村町徳定字芋干場・中川原 | 福島県教委 | 8月28日～8月31日   | 78                        | 縄文・弥生・<br>古墳・奈良・<br>平安 | 散布地                          | 河川改修            |
| 42  | 中室内遺跡            | 伊達市保原町上保原字中室内    | 福島県教委 | 8月28日～8月29日   | 74                        | 中世                     | 散布地                          | 相馬福島道路          |
| 43  | 大上山遺跡            | 伊達市保原町大柳字栃窪入     | 福島県教委 | 9月12日～9月13日   | 135                       | 中世                     | 散布地                          | 相馬福島道路          |
| 44  | 辻堂遺跡             | 下郷町中妻字辻堂         | 福島県教委 | 10月25日～10月26日 | 63                        | 中世                     | 散布地                          | 会津縦貫南道路         |
| 45  | 辻堂下遺跡            | 下郷町中妻字辻堂下        | 福島県教委 | 10月19日～10月20日 | 57                        | 中世                     | 散布地                          | 会津縦貫南道路         |

| No. | 遺跡名      | 所在地                | 調査主体者 | 調査実施期間       | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代 | 種別  | 調査原因     |
|-----|----------|--------------------|-------|--------------|---------------------------|----|-----|----------|
| 46  | 江畑町堀ノ内館跡 | いわき市大字江畑字堀ノ内       | 福島県教委 | 8月1日～8月4日    | 85                        | 中世 | 散布地 | 小名浜道路    |
| 47  | 江畑町堀ノ内館跡 | いわき市大字江畑字堀ノ内・添野字猿田 | 福島県教委 | 8月1日～8月4日    | 85                        | 中世 | 散布地 | 小名浜道路    |
| 48  | 宮平遺跡     | 東白川郡矢祭町大字下関河内字宮平   | 福島県教委 | 11月7日～11月15日 | 39                        | 中世 | 集落跡 | 349号改良工事 |
| 49  | 下町遺跡     | 東白川郡矢祭町大字下関河内字下町   | 福島県教委 | 11月2日～11月6日  | 69                        | 中世 | 散布地 | 349号改良工事 |
| 50  | 田中前遺跡    | 東白川郡矢祭町大字下関河内字田中前  | 福島県教委 | 11月7日～11月15日 | 128                       | 中世 | 散布地 | 349号改良工事 |
| 51  | 館ノ前遺跡    | 桑折町松原字館ノ前          | 福島県教委 | 12月4日～12月6日  | 184                       | 中世 | 製鉄跡 | 相馬福島道路   |

## (2) 市町村調査

| No. | 遺跡名             | 所在地             | 調査主体者   | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代          | 種別  | 調査原因   |
|-----|-----------------|-----------------|---------|---------------|---------------------------|-------------|-----|--------|
| 1   | 南諏訪原遺跡          | 福島市松川町字木曾内      | 福島市教委   | 5月23日～5月24日   | 36                        | 縄文・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅   |
| 2   | 本内館跡            | 福島市本内字南古館       | 福島市教委   | 5月19日～6月12日   | 104                       | 中世          | 城館跡 | 宅地造成   |
| 3   | 八幡館跡            | 福島市小田字八幡館       | 福島市教委   | 6月20日～6月20日   | 16                        | 中世          | 城館跡 | 個人住宅   |
| 4   | 杉ノ内遺跡           | 福島市鳥谷野字杉ノ内      | 福島市教委   | 7月4日～7月5日     | 40                        | 縄文・平安       | 散布地 | 個人住宅   |
| 5   | 中畑遺跡            | 福島市笹谷字中ノ畑       | 福島市教委   | 8月1日～8月23日    | 100                       | 縄文          | 散布地 | 宅地造成   |
| 6   | 町畑遺跡            | 福島市平石字八郎        | 福島市教委   | 8月28日～9月7日    | 40                        | 奈良・平安       | 散布地 | 道路建設   |
| 7   | 南諏訪原遺跡          | 福島市松川町字南諏訪原     | 福島市教委   | 10月12日～10月12日 | 12                        | 縄文・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅   |
| 8   | 北屋敷遺跡           | 福島市南沢又字北屋敷      | 福島市教委   | 10月18日～10月31日 | 4                         | 奈良・平安       | 散布地 | 個人住宅   |
| 9   | 北五老内遺跡          | 福島市北五老内町        | 福島市教委   | 11月7日～11月16日  | 19                        | 奈良・平安       | 散布地 | その他開発  |
| 10  | 川面西部遺跡          | 福島市岡部字当木前       | 福島市教委   | 11月27日～11月29日 | 21                        | 平安          | 散布地 | 宅地造成   |
| 11  | 佐久間前山遺跡         | 福島市松川町下川崎字佐久間前山 | 福島市教委   | 2月13日～2月23日   | 122                       | 縄文          | 散布地 | その他開発  |
| 12  | 木曾内遺跡           | 福島市松川町字木曾内      | 福島市教委   | 4月19日～4月24日   | 73                        | 縄文・奈良・平安    | 散布地 | 住宅     |
| 13  | 南諏訪原遺跡          | 福島市松川町字南諏訪原     | 福島市教委   | 5月9日～5月12日    | 106                       | 縄文・奈良・平安    | 散布地 | その他開発  |
| 14  | 本内館跡            | 福島市本内字南古館       | 福島市教委   | 6月13日～6月30日   | 29                        | 中世          | 城館跡 | 宅地造成   |
| 15  | 小滝原遺跡           | 会津若松市湊町堰場       | 会津若松市教委 | 11月1日～11月30日  | 385                       | 縄文          | 散布地 | 農業基盤整備 |
| 16  | 上高野村北遺跡<br>他3遺跡 | 会津若松市上高野        | 会津若松市教委 | 10月26日～12月25日 | 4,006                     | 古墳・奈良・平安    | 散布地 | 農業基盤整備 |
| 17  | 大師前遺跡           | 郡山市富久山町福原字戸屋    | 郡山市教委   | 4月13日         | 98                        | 平安          | 散布地 | 事務所建設  |
| 18  | 大槻城跡            | 郡山市大槻町字熊野木      | 郡山市教委   | 4月14日         | 82                        | 中世          | 城館跡 | 集合住宅建設 |
| 19  | 神明町遺跡           | 郡山市神明町          | 郡山市教委   | 4月17日         | 10                        | 奈良・平安       | 散布地 | 個人住宅   |
| 20  | 堀込遺跡            | 郡山市日和田町字堀込      | 郡山市教委   | 4月18日         | 13                        | 平安          | 散布地 | 個人住宅   |
| 21  | 鳴神・柿内戸遺跡        | 郡山市富久山町福原字沼下    | 郡山市教委   | 4月20日～4月21日   | 158                       | 縄文・古墳・奈良・平安 | 散布地 | 駐車場    |
| 22  | 七ツ池遺跡           | 郡山市七ツ池町         | 郡山市教委   | 4月26日         | 13                        | 奈良          | その他 | 個人住宅   |
| 23  | 大根畑（下権現）遺跡      | 郡山市久留米二丁目       | 郡山市教委   | 4月27日         | 39                        | 縄文・古墳・奈良・平安 | 散布地 | 戸建分譲   |

| No. | 遺跡名        | 所在地            | 調査主体者 | 調査実施期間      | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代             | 種別  | 調査原因        |
|-----|------------|----------------|-------|-------------|---------------------------|----------------|-----|-------------|
| 24  | 大根畑(下権現)遺跡 | 郡山市久留米二丁目      | 郡山市教委 | 4月27日       | 13                        | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅        |
| 25  | 正直C遺跡      | 郡山市田村町正直字天井田   | 郡山市教委 | 4月28日       | 33                        | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅        |
| 26  | 川田下館遺跡     | 郡山市三穂田町川田字館    | 郡山市教委 | 5月9日        | 26                        | 中世             | 城館跡 | 個人住宅        |
| 27  | 鳴神・柿内戸遺跡   | 郡山市富久山町福原字舟橋   | 郡山市教委 | 5月11日       | 70                        | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅        |
| 28  | 新屋敷遺跡      | 郡山市新屋敷一丁目      | 郡山市教委 | 5月16日       | 46                        | 奈良・平安          | 散布地 | 売買          |
| 29  | 新屋敷遺跡      | 郡山市新屋敷一丁目      | 郡山市教委 | 5月16日       | 27                        | 奈良・平安          | 散布地 | 個人住宅        |
| 30  | 古町遺跡       | 郡山市富久山町久保田字古町  | 郡山市教委 | 5月18日       | 18                        | 古墳・奈良・平安       | 散布地 | 個人住宅        |
| 31  | 大森遺跡       | 郡山市安積町大森町      | 郡山市教委 | 5月19日       | 27                        | 古墳・奈良・平安       | 散布地 | 個人住宅        |
| 32  | 南向遺跡       | 郡山市安積町笹川字南向    | 郡山市教委 | 5月23日       | 14                        | 縄文             | 散布地 | 携帯電話無線基地局建設 |
| 33  | 明神下遺跡      | 郡山市静町          | 郡山市教委 | 5月29日       | 57                        | 弥生・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅        |
| 34  | 水見台遺跡      | 郡山市桜木二丁目       | 郡山市教委 | 5月30日       | 9                         | 縄文・奈良・平安       | 散布地 | 個人住宅        |
| 35  | 下西田遺跡      | 郡山市大槻町字針生      | 郡山市教委 | 5月31日       | 18                        | 古墳             | 散布地 | 個人住宅        |
| 36  | 登戸遺跡       | 郡山市富田町字細田      | 郡山市教委 | 6月2日        | 13                        | 平安             | 散布地 | 個人住宅        |
| 37  | 山王館遺跡      | 郡山市富久山町久保田字上野  | 郡山市教委 | 6月6日        | 43                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地 | 集合住宅建設      |
| 38  | 長久保遺跡      | 郡山市安積町長久保一丁目   | 郡山市教委 | 6月7日        | 13                        | 古墳・奈良・平安       | 散布地 | 集合住宅建設      |
| 39  | 清水内遺跡      | 郡山市大槻町字人形坦東    | 郡山市教委 | 6月8日～6月9日   | 111                       | 古墳             | 散布地 | 戸建分譲        |
| 40  | 向館跡、十文字遺跡  | 郡山市富田町字館南      | 郡山市教委 | 6月13日、6月22日 | 68                        | 中世             | 城館跡 | 集合住宅建設      |
| 41  | 南田遺跡       | 郡山市富久山町久保田字南田  | 郡山市教委 | 6月14日       | 20                        | 古墳             | その他 | 売買          |
| 42  | 南田遺跡       | 郡山市富久山町久保田字南田  | 郡山市教委 | 6月14日       | 16                        | 古墳             | その他 | 売買          |
| 43  | 鳴神・柿内戸遺跡   | 郡山市富久山町福原字町裏   | 郡山市教委 | 6月15日       | 18                        | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅        |
| 44  | 切払遺跡       | 郡山市熱海町熱海一丁目    | 郡山市教委 | 6月20日       | 14                        | 縄文             | 散布地 | 個人住宅        |
| 45  | 切払遺跡       | 郡山市熱海町熱海一丁目    | 郡山市教委 | 6月20日       | 18                        | 縄文             | 散布地 | 個人住宅        |
| 46  | 亀田遺跡群      | 郡山市亀田二丁目       | 郡山市教委 | 6月22日       | 9                         | 古墳・奈良・平安       | その他 | 個人住宅        |
| 47  | 十文字遺跡      | 郡山市富田町下西田      | 郡山市教委 | 6月27日       | 19                        | 古墳             | 散布地 | 個人住宅        |
| 48  | 阿久戸遺跡      | 郡山市町東二丁目       | 郡山市教委 | 6月29日       | 33                        | 弥生・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅        |
| 49  | 徳定A・B遺跡    | 郡山市田村町徳定字芋干場   | 郡山市教委 | 7月6日        | 13                        | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地 | 個人住宅        |
| 50  | 堀込遺跡       | 郡山市日和田町字原町     | 郡山市教委 | 7月5日        | 8                         | 平安             | 散布地 | 個人住宅        |
| 51  | 西原遺跡群      | 郡山市富田町字若木下     | 郡山市教委 | 7月7日        | 14                        | 縄文・古墳          | 散布地 | 個人住宅        |
| 52  | 恩田遺跡       | 郡山市富久山町久保田字久保田 | 郡山市教委 | 7月12日       | 6                         | 古墳・奈良・平安       | 散布地 | 住宅兼店舗建設     |

| No. | 遺跡名      | 所在地           | 調査主体者 | 調査実施期間      | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代             | 種別  | 調査原因   |
|-----|----------|---------------|-------|-------------|---------------------------|----------------|-----|--------|
| 53  | 辰巳田遺跡    | 郡山市静町         | 郡山市教委 | 7月12日       | 13                        | 平安             | 散布地 | 個人住宅   |
| 54  | 南山田遺跡    | 郡山市田村町桜ヶ丘二丁目  | 郡山市教委 | 7月13日       | 18                        | 弥生・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅   |
| 55  | 中野遺跡     | 郡山市大槻町字仙海東    | 郡山市教委 | 7月19日       | 12                        | 奈良             | 散布地 | 個人住宅   |
| 56  | 新屋敷遺跡    | 郡山市新屋敷一丁目     | 郡山市教委 | 7月20日       | 27                        | 奈良・平安          | 散布地 | 個人住宅   |
| 57  | 咲田遺跡     | 郡山市咲田一丁目      | 郡山市教委 | 7月27日、8月2日  | 93                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地 | 売買     |
| 58  | 清水台遺跡    | 郡山市赤木町        | 郡山市教委 | 8月3日        | 42                        | 奈良・平安          | 官衙跡 | 保育所改築  |
| 59  | 谷地林遺跡    | 郡山市大槻町針生北     | 郡山市教委 | 8月22日       | 21                        | 古墳             | 散布地 | 個人住宅   |
| 60  | 新屋敷遺跡    | 郡山市新屋敷一丁目     | 郡山市教委 | 8月24日       | 104                       | 奈良・平安          | 散布地 | 売買     |
| 61  | 古戸遺跡     | 郡山市富久山町福原字古戸  | 郡山市教委 | 8月29日       | 60                        | 平安             | 散布地 | 倉庫建設   |
| 62  | 清水台遺跡    | 郡山市清水台二丁目     | 郡山市教委 | 9月5日        | 15                        | 奈良・平安          | 官衙跡 | 個人住宅   |
| 63  | 清水台遺跡    | 郡山市清水台二丁目     | 郡山市教委 | 9月5日        | 31                        | 奈良・平安          | 官衙跡 | 個人住宅   |
| 64  | 下権現遺跡    | 郡山市久留米二丁目     | 郡山市教委 | 9月7日        | 10                        | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地 | 個人住宅   |
| 65  | 境橋遺跡     | 郡山市安積町笹川字境橋   | 郡山市教委 | 9月8日        | 17                        | 奈良・平安          | 散布地 | 個人住宅   |
| 66  | 大師前遺跡    | 郡山市富久山町福原字大師前 | 郡山市教委 | 9月12日       | 12                        | 平安             | 散布地 | 個人住宅   |
| 67  | 原ノ町遺跡    | 郡山市大槻町字普門寺坦北  | 郡山市教委 | 9月14日～9月15日 | 99                        | 古墳・奈良・平安       | 集落跡 | 個人住宅   |
| 68  | 畑田遺跡     | 郡山市安積町荒井字神明 外 | 郡山市教委 | 9月20日       | 43                        | 平安             | 散布地 | 集合住宅建設 |
| 69  | 亀田遺跡群    | 郡山市字下亀田       | 郡山市教委 | 9月21日       | 20                        | 古墳・奈良・平安       | その他 | 個人住宅   |
| 70  | 恩田遺跡     | 郡山市富久山町久保田字恩田 | 郡山市教委 | 9月26日       | 38                        | 古墳・奈良・平安       | 散布地 | 集合住宅建設 |
| 71  | 大根畑遺跡    | 郡山市安積町荒井字水神前  | 郡山市教委 | 10月3日       | 14                        | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅   |
| 72  | 清水台遺跡    | 郡山市赤木町        | 郡山市教委 | 10月5日       | 32                        | 奈良・平安          | 官衙跡 | 分譲住宅   |
| 73  | 西原遺跡群    | 郡山市富田町若木下     | 郡山市教委 | 10月11日      | 18                        | 縄文・古墳          | 散布地 | 個人住宅   |
| 74  | 四十坦塚群    | 郡山市片平町字瓜坪     | 郡山市教委 | 10月16日      | 42                        | 不明             | 塚   | 店舗建設   |
| 75  | 向館跡      | 郡山市富田町字向館     | 郡山市教委 | 10月17日      | 18                        | 中世             | 城館跡 | 個人住宅   |
| 76  | 堀込遺跡     | 郡山市日和田町字原町    | 郡山市教委 | 10月18日      | 27                        | 平安             | 散布地 | 個人住宅   |
| 77  | 新屋敷遺跡    | 郡山市新屋敷二丁目     | 郡山市教委 | 10月26日      | 33                        | 奈良・平安          | 散布地 | 売買     |
| 78  | 金畑遺跡     | 郡山市大槻町字針生金畑   | 郡山市教委 | 10月31日      | 15                        | 奈良・平安          | 散布地 | 個人住宅   |
| 79  | 下西田遺跡    | 郡山市大槻町字下西田    | 郡山市教委 | 11月7日       | 14                        | 古墳             | 散布地 | 個人住宅   |
| 80  | 大根畑遺跡    | 郡山市安積町荒井字北田   | 郡山市教委 | 11月13日      | 9                         | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 個人住宅   |
| 81  | 鳴神・柿内戸遺跡 | 郡山市富久山町福原字舟橋  | 郡山市教委 | 11月14日      | 43                        | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 分譲住宅   |
| 82  | 古町遺跡     | 郡山市富久山町久保田字南田 | 郡山市教委 | 11月16日      | 41                        | 古墳・奈良・平安       | 散布地 | 売買     |
| 83  | 大鏑館跡     | 郡山市富久山町福原字山中  | 郡山市教委 | 11月21日      | 57                        | 中世             | 城館跡 | 倉庫建設   |
| 84  | 上之内遺跡    | 郡山市富久山町福原字陣場  | 郡山市教委 | 11月22日      | 8                         | 平安             | その他 | 個人住宅   |



| No. | 遺跡名      | 所在地           | 調査主体者  | 調査実施期間      | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代             | 種別   | 調査原因   |
|-----|----------|---------------|--------|-------------|---------------------------|----------------|------|--------|
| 85  | 大根畑遺跡    | 郡山市久留米一丁目     | 郡山市教委  | 11月28日      | 20                        | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地  | 分譲住宅   |
| 86  | 神明町遺跡    | 郡山市神明町        | 郡山市教委  | 12月1日       | 10                        | 奈良・平安          | 散布地  | 個人住宅   |
| 87  | 咲田遺跡     | 郡山市咲田二丁目      | 郡山市教委  | 12月5日       | 13                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地  | 個人住宅   |
| 88  | 下権現遺跡    | 郡山市字名倉        | 郡山市教委  | 12月7日       | 14                        | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地  | 個人住宅   |
| 89  | 清水台遺跡    | 郡山市虎丸町        | 郡山市教委  | 12月19日      | 9                         | 奈良・平安          | 官衙跡  | 個人住宅   |
| 90  | 咲田遺跡     | 郡山市咲田一丁目      | 郡山市教委  | 12月21日      | 10                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地  | 売買     |
| 91  | 咲田遺跡     | 郡山市咲田一丁目      | 郡山市教委  | 12月21日      | 15                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地  | 売買     |
| 92  | 清水台遺跡    | 郡山市神明町        | 郡山市教委  | 12月25日      | 11                        | 奈良・平安          | 官衙跡  | 個人住宅   |
| 93  | 陣場遺跡     | 郡山市富久山町福原字陣場  | 郡山市教委  | 1月11日       | 24                        | 弥生・古墳・奈良・平安    | 散布地  | 売買     |
| 94  | 清水台遺跡    | 郡山市赤木町        | 郡山市教委  | 1月16日       | 8                         | 奈良・平安          | 官衙跡  | 分譲住宅   |
| 95  | 鳴神・柿内戸遺跡 | 郡山市富久山町福原字舟橋  | 郡山市教委  | 1月19日       | 32                        | 縄文・古墳・奈良・平安    | 散布地  | 集合住宅建設 |
| 96  | 大徳遺跡     | 郡山市富田町字大徳南    | 郡山市教委  | 1月30日～1月31日 | 70                        | 縄文             | 散布地  | 宅地分譲   |
| 97  | 野毛館遺跡    | 郡山市小原田二丁目     | 郡山市教委  | 1月31日       | 15                        | 古墳・奈良・平安       | その他  | 個人住宅   |
| 98  | 大槻城跡     | 郡山市大槻町字北寺     | 郡山市教委  | 2月1日        | 16                        | 中世             | 城館跡  | 個人住宅   |
| 99  | 細田遺跡     | 郡山市富田町字音路     | 郡山市教委  | 2月2日        | 15                        | 平安             | 散布地  | 個人住宅   |
| 100 | 上之内遺跡    | 郡山市富久山町福原字陣場  | 郡山市教委  | 2月6日        | 11                        | 平安             | その他  | 建売住宅   |
| 101 | 桃見台遺跡    | 郡山市長者二丁目      | 郡山市教委  | 2月8日        | 12                        | 縄文・弥生・奈良・平安    | その他  | 個人住宅   |
| 102 | 下権現遺跡    | 郡山市久留米二丁目     | 郡山市教委  | 2月15日       | 9                         | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地  | 個人住宅   |
| 103 | 大師前遺跡    | 郡山市富久山町福原字戸屋  | 郡山市教委  | 2月20日～2月21日 | 105                       | 平安             | 散布地  | 工場建設   |
| 104 | 辰巳田遺跡    | 郡山市静町         | 郡山市教委  | 3月1日        | 16                        | 平安             | 散布地  | 個人住宅   |
| 105 | 明覚寺跡     | 郡山市安積町笹川字四角坦  | 郡山市教委  | 3月2日        | 7                         | 中世             | 社寺跡  | 個人住宅   |
| 106 | 咲田遺跡     | 郡山市咲田二丁目      | 郡山市教委  | 3月8日        | 14                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地  | 個人住宅   |
| 107 | 神明町遺跡    | 郡山市神明町        | 郡山市教委  | 3月13日       | 71                        | 奈良・平安          | 散布地  | 個人住宅   |
| 108 | 麓山遺跡     | 郡山市富久山町久保田字麓山 | 郡山市教委  | 3月15日       | 18                        | 平安             | 散布地  | 個人住宅   |
| 109 | 柿平B遺跡    | 郡山市日和田町鬼生田字柿平 | 郡山市教委  | 3月20日       | 23                        | 縄文             | 散布地  | 個人住宅   |
| 110 | 堀切遺跡     | いわき市勿来町関田行屋前  | いわき市教委 | 5月9日～5月10日  | 69                        | 弥生、近世          | 散布地  | 道路     |
| 111 | 東橋本遺跡    | いわき市小名浜大原字東橋本 | いわき市教委 | 5月22日～5月22日 | 20                        | 不明             | 生産遺跡 | 集合住宅建築 |
| 112 | 塚前古墳     | いわき市小名浜林城字塚前  | いわき市教委 | 6月7日～6月14日  | 54                        | 古墳             | 古墳   | 宅地造成   |
| 113 | 下船尾館跡    | いわき市常磐下船尾町居作  | いわき市教委 | 8月23日       | 29                        | 近・現代           | 城館跡  | 集合住宅建築 |
| 114 | 北境遺跡     | いわき市勿来町酒井北境   | いわき市教委 | 9月13日～10月4日 | 135                       | 縄文～平安<br>近世    | 集落跡  | 宅地造成   |
| 115 | 金山遺跡     | いわき市常磐西郷町金山   | いわき市教委 | 11月1日～11月7日 | 28                        | 不明             | 散布地  | 道路     |

| No. | 遺跡名            | 所在地           | 調査主体者  | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代              | 種別          | 調査原因          |
|-----|----------------|---------------|--------|---------------|---------------------------|-----------------|-------------|---------------|
| 116 | 小谷作広畑遺跡        | いわき市好間町小谷作字広畑 | いわき市教委 | 11月28日～12月8日  | 33                        | 古墳              | 集落跡         | 集合住宅建築        |
| 117 | 小浜西ノ作遺跡        | いわき市小浜町西ノ作    | いわき市教委 | 2月1日～2月13日    | 68                        | 不明              | 集落跡         | 学校建設          |
| 118 | 北境遺跡           | いわき市勿来町酒井北境   | いわき市教委 | 2月22日～3月7日    | 60                        | 縄文～平安<br>近世     | 集落跡         | 宅地造成          |
| 119 | 小谷作広畑遺跡        | いわき市好間町小谷作字広畑 | いわき市教委 | 3月5日～3月13日    | 98                        | 縄文・古墳           | 集落跡         | 集合住宅建築        |
| 120 | 東大沼B遺跡         | 白河市東大沼        | 白河市教委  | 6月22日～6月22日   | 133                       | 縄文・奈良・<br>平安    | 散布地         | 道路            |
| 121 | 上人壇廃寺跡<br>(1次) | 須賀川市岩瀬森       | 須賀川市教委 | 5月11日         | 152                       | 奈良・平安           | 寺院跡         | 宅地造成          |
| 122 | 上人壇廃寺跡<br>(2次) | 須賀川市岩瀬森       | 須賀川市教委 | 5月15日～7月11日   | 566                       | 奈良・平安           | 寺院跡         | 宅地造成          |
| 123 | 須賀川城跡          | 須賀川市宮先町       | 須賀川市教委 | 8月4日          | 10                        | 中近世             | 城館跡         | 店舗建設          |
| 124 | 木曾原遺跡          | 喜多方市慶徳町豊岡字木曾原 | 喜多方市教委 | 10月16日～10月16日 | 36                        | 古墳・平安           | 集落跡         | 道路            |
| 125 | 駒形第三地区         | 喜多方市塩川町中屋沢地内  | 喜多方市教委 | 10月17日～12月4日  | 536                       | 縄文・古墳・<br>奈良・平安 | 集落跡・<br>散布地 | 農業基盤整備        |
| 126 | 太夫内遺跡          | 二本松市中町        | 二本松市教委 | 4月19日～4月20日   | 20                        | 中世              | 城館跡         | 個人住宅          |
| 127 | 塩沢上原A遺跡        | 二本松市上原        | 二本松市教委 | 4月21日         | 20                        | 縄文              | 集落跡         | 個人住宅          |
| 128 | 二本松城跡          | 二本松市郭内三丁目     | 二本松市教委 | 5月15日～6月9日    | 256                       | 中世～近世           | 城館跡         | その他建物         |
| 129 | 郡山台遺跡          | 二本松市郡山台       | 二本松市教委 | 7月19日～7月20日   | 36                        | 古墳・奈良・<br>平安    | 集落跡・<br>官衙跡 | 宅地造成          |
| 130 | 堰田C遺跡          | 田村市船引町船引字堰田   | 田村市教委  | 10月17日～11月17日 | 1,300                     | 縄文・平安           | 散布地         | 道路            |
| 131 | 羽倉南沢地区         | 南相馬市小高区羽倉字南沢  | 南相馬市教委 | 4月4日～4月24日    | 109                       | 縄文・奈良・<br>平安    | 散布地<br>製鉄跡  | 土砂採取          |
| 132 | 小高城跡4次         | 南相馬市小高区小高字古城  | 南相馬市教委 | 4月13日～5月30日   | 68                        | 奈良～中世           | 集落跡<br>城館   | 社務所改築         |
| 133 | 東町遺跡4次         | 南相馬市原町区東町     | 南相馬市教委 | 4月6日          | 54                        | 縄文・奈良・<br>平安    | 集落跡         | 集合住宅建設        |
| 134 | 八幡林遺跡16次       | 南相馬市鹿島区寺内字八幡林 | 南相馬市教委 | 4月11日         | 17                        | 縄文～古墳           | 集落跡         | 個人住宅          |
| 135 | 上根沢原畑遺跡<br>1次  | 南相馬市小高区上根沢字原下 | 南相馬市教委 | 4月10日         | 4                         | 弥生～平安           | 散布地         | 個人住宅          |
| 136 | 鷺内遺跡5次         | 南相馬市鹿島区寺内字鷺内  | 南相馬市教委 | 4月25日～5月23日   | 120                       | 縄文・古墳<br>～平安    | 集落跡         | 学校建設          |
| 137 | 梨木下西館跡<br>4次   | 南相馬市原町区雫字塔場下  | 南相馬市教委 | 5月19日         | 40                        | 古墳～中世           | 集落跡<br>城館   | 個人農地造成        |
| 138 | 四ツ栗遺跡2次        | 南相馬市小高区川房字四ツ栗 | 南相馬市教委 | 6月13日～6月14日   | 12                        | 縄文・平安           | 散布地         | 太陽光発電<br>施設建設 |
| 139 | 北明内遺跡2次        | 南相馬市原町区石神字北明内 | 南相馬市教委 | 8月7日～8月10日    | 164                       | 奈良・平安           | 製鉄跡         | 土砂採取          |
| 140 | 上根沢原畑遺跡<br>2次  | 南相馬市小高区上根沢字堂北 | 南相馬市教委 | 8月28日         | 18                        | 弥生～平安           | 散布地         | 個人住宅          |
| 141 | 大富西畑遺跡1次       | 南相馬市小高区大富字東畑  | 南相馬市教委 | 8月29日～8月30日   | 50                        | 縄文・平安           | 散布地         | 介護施設建<br>設    |
| 142 | 小高城跡5次         | 南相馬市小高区小高字城下  | 南相馬市教委 | 9月21日         | 4                         | 奈良～中世           | 城館          | 個人住宅          |
| 143 | 池ノ沢遺跡1次        | 南相馬市小高区神山字池ノ沢 | 南相馬市教委 | 11月20日～12月15日 | 135                       | 奈良・平安           | 製鉄跡         | 個人農地造成        |
| 144 | 泉官衙遺跡25次       | 南相馬市原町区泉字宮前   | 南相馬市教委 | 12月27日        | 13                        | 奈良・平安           | 官衙跡         | 個人住宅          |
| 145 | 片草貝塚1次         | 南相馬市小高区片草字北原  | 南相馬市教委 | 1月9日～1月31日    | 9                         | 縄文              | 貝塚          | 個人住宅          |

| No. | 遺跡名       | 所在地            | 調査主体者  | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代                | 種別      | 調査原因      |
|-----|-----------|----------------|--------|---------------|---------------------------|-------------------|---------|-----------|
| 146 | 高見町B遺跡5次  | 南相馬市原町区高見町一丁目  | 南相馬市教委 | 1月30日         | 30                        | 縄文～平安             | 散布地     | 集合住宅建設    |
| 147 | 上根沢原畑遺跡3次 | 南相馬市小高区上根沢字原畑  | 南相馬市教委 | 3月7日～3月12日    | 180                       | 弥生～平安             | 散布地     | 太陽光発電施設建設 |
| 148 | 八幡林遺跡17次  | 南相馬市鹿島区寺内字八幡林  | 南相馬市教委 | 3月14日         | 23                        | 縄文～古墳             | 集落跡     | 個人住宅      |
| 149 | 金秀寺遺跡16次  | 伊達市梨子木町        | 伊達市教委  | 4月21日         | 9                         | 縄文・平安             | 散布地     | 個人住宅      |
| 150 | 本館跡       | 梁川町東大枝字館洗      | 伊達市教委  | 5月11日         | 10                        | 中世                | 城館跡     | 個人住宅      |
| 151 | 金秀寺遺跡17次  | 伊達市宮前          | 伊達市教委  | 5月15日         | 21                        | 縄文・平安             | 散布地     | 集合住宅      |
| 152 | 田向遺跡      | 伊達市保原町上保原字田向   | 伊達市教委  | 4月26日         | 5                         | 中世                | 集落跡     | 個人住宅      |
| 153 | 宮本遺跡      | 伊達市伏黒字宮本       | 伊達市教委  | 5月31日         | 16                        | 奈良・平安             | 散布地     | 個人住宅      |
| 154 | 中畑遺跡3次    | 伊達市中畑          | 伊達市教委  | 6月21日         | 5                         | 平安・中世             | 散布地     | 個人住宅      |
| 155 | 万所・新田城跡3次 | 伊達市梁川町新田字町通    | 伊達市教委  | 6月14日         | 10                        | 縄文・奈良・中世・近世       | 城館跡     | 個人住宅      |
| 156 | 金秀寺遺跡18次  | 伊達市雪車町         | 伊達市教委  | 7月4日・11月7日    | 34                        | 縄文・平安             | 散布地     | 宅地造成      |
| 157 | 町谷川遺跡8次   | 伊達市梁川町希望ヶ丘     | 伊達市教委  | 7月27日         | 10                        | 縄文・平安・近世          | 散布地     | 宅地造成      |
| 158 | 長倉館跡8次    | 伊達市館ノ内         | 伊達市教委  | 8月17日～8月18日   | 32                        | 中世・室町             | 城館跡     | 学校改築      |
| 159 | 輪王寺跡5次    | 伊達市梁川町字赤五輪     | 伊達市教委  | 8月31日         | 10                        | 中世                | 社寺跡     | 宅地造成      |
| 160 | 長倉館跡9次    | 伊達市館ノ内         | 伊達市教委  | 9月7日          | 5                         | 中世・室町             | 城館跡     | 建売住宅      |
| 161 | 館ノ内遺跡     | 伊達市伏黒字館ノ内      | 伊達市教委  | 10月26日        | 3                         | 奈良・平安・近世          | 散布地・集落跡 | 個人住宅      |
| 162 | 大館遺跡3次    | 伊達市保原町大泉字平地内   | 伊達市教委  | 9月13日         | 20                        | 古墳・中世             | 集落跡     | 個人住宅      |
| 163 | 舟橋遺跡3次    | 伊達市保原町字舟橋      | 伊達市教委  | 11月15日～11月16日 | 41                        | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世 | 散布地・集落跡 | 駐車場       |
| 164 | 中志和田遺跡2次  | 伊達市田町          | 伊達市教委  | 11月30日        | 2                         | 縄文                | 散布地     | 個人住宅      |
| 165 | 久保遺跡3次    | 伊達市保原町字久保      | 伊達市教委  | 12月7日         | 6                         | 古墳                | 散布地     | 個人住宅      |
| 166 | 梁川城跡35次   | 伊達市梁川町字菖蒲沢     | 伊達市教委  | 2月13日         | 3                         | 縄文・中世・近世          | 城館跡     | 個人住宅      |
| 167 | 関畑遺跡      | 本宮市荒井字関畑       | 本宮市教委  | 9月26日         | 20                        | 縄文～平安             | 集落跡     | 個人住宅      |
| 168 | 山王川原遺跡    | 本宮市高木字山王川原     | 本宮市教委  | 11月30日        | 10                        | 縄文～平安             | 集落跡     | 集合住宅      |
| 169 | 高木遺跡      | 本宮市高木字高木       | 本宮市教委  | 12月11日        | 28                        | 縄文～平安             | 集落跡     | 集合住宅      |
| 170 | 関畑遺跡      | 本宮市荒井字関内       | 本宮市教委  | 1月19日         | 80                        | 縄文～平安             | 集落跡     | 集合住宅      |
| 171 | 高木田中館跡    | 本宮市高木字田中       | 本宮市教委  | 1月21日         | 36                        | 中世                | 館跡      | 個人住宅      |
| 172 | 八幡阿部館跡    | 桑折町大字南半田字八幡阿部  | 桑折町教委  | 7月5日～7月6日     | 8                         | 中世                | 城館跡     | 携帯電話基地局設置 |
| 173 | 上台館跡      | 川俣町大綱木字上台地内    | 川俣町教委  | 5月22日～6月16日   | 391                       | 縄文・平安             | 集落跡     | 道路建設      |
| 174 | 大木田遺跡     | 川俣町大綱木字大木田地内 他 | 川俣町教委  | 7月10日～7月20日   | 192                       | 弥生                | 散布地     | 道路建設      |
| 175 | 前田遺跡(第1次) | 川俣町小綱木字前田地内    | 川俣町教委  | 8月1日          | 20                        | 縄文                | 集落跡     | 個人住宅      |
| 176 | 前田遺跡(第2次) | 川俣町小綱木字前田地内    | 川俣町教委  | 9月11日         | 51                        | 縄文                | 集落跡     | 道路建設      |
| 177 | 俎板倉館跡     | 川俣町大綱木字俎板倉地内   | 川俣町教委  | 9月12日～9月14日   | 60                        | 中世                | 城館跡     | 道路建設      |
| 178 | 前田遺跡(第3次) | 川俣町小綱木字前田地内    | 川俣町教委  | 11月13日        | 4                         | 縄文                | 集落跡     | 個人住宅      |
| 179 | 大壇遺跡      | 大玉村玉井字大壇       | 大玉村教委  | 8月23日         | 32                        | 縄文・古墳             | 散布地     | 幼稚園増築     |
| 180 | 薄黒内B遺跡    | 大玉村玉井字馬場       | 大玉村教委  | 2月9日          | 36                        | 弥生～奈良             | 散布地     | 個人住宅      |

| No. | 遺跡名           | 所在地                  | 調査主体者 | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代           | 種別           | 調査原因          |
|-----|---------------|----------------------|-------|---------------|---------------------------|--------------|--------------|---------------|
| 181 | 窪田遺跡          | 只見町大字大倉字窪田           | 只見町教委 | 12月8日～12月11日  | 101                       | 縄文・弥生        | 集落跡          | その他建物         |
| 182 | 旧吉田邸跡地        | 磐梯町大字磐梯字本寺上          | 磐梯町教委 | 6月19日～10月19日  | 83                        | 平安～近世        | 集落跡          | 住宅整備          |
| 183 | 下樽川西遺跡        | 湯川村大字田川字下樽川          | 湯川村教委 | 6月29日～7月19日   | 666                       | 奈良・平安        | 散布地          | 宅地造成          |
| 184 | 大石田居平遺跡       | 三島町大字大石田字下居平         | 三島町教委 | 9月11日～9月13日   | 72                        | 縄文           | 散布地          | 公共施設<br>(集会所) |
| 185 | 大石田居平遺跡       | 三島町大字大石田字下居平         | 三島町教委 | 9月14日～9月21日   | 25                        | 縄文           | 散布地          | 携帯電話基<br>地局設置 |
| 186 | 小和瀬遺跡         | 三島町大字桧原字下小和瀬         | 三島町教委 | 11月20日～11月30日 | 96                        | 縄文           | 散布地          | 河川            |
| 187 | 向原・中原遺跡       | 西郷村大字米字中山前           | 西郷村教委 | 7月5日～7月6日     | 120                       | 縄文～平安        | 散布地          | 集合住宅          |
| 188 | 向原・中原遺跡       | 西郷村大字米字中山前           | 西郷村教委 | 3月13日         | 30                        |              | 散布地          | 集合住宅          |
| 189 | 向原・中原遺跡       | 西郷村大字米字中山前           | 西郷村教委 | 3月13日         | 60                        |              | 散布地          | 集合住宅          |
| 190 | 天王内遺跡         | 棚倉町大字金沢内             | 棚倉町教委 | 6月5日～6月6日     | 389                       | 古墳～平安        | 散布地          | 資材置場整備        |
| 191 | 姿平西製鉄遺跡       | 鮫川村大字渡瀬字青生野          | 鮫川村教委 | 11月6日～11月9日   | 50                        | 近世           | 生産遺跡         | 道路            |
| 192 | 徳念院跡          | 石川町大字形見字小原100        | 石川町教委 | 10月11日～10月12日 | 28                        | 近世           | 社寺跡          | 道路            |
| 193 | 松橋遺跡          | 三春町字松橋               | 三春町教委 | 11月8日～11月10日  | 90                        | 奈良・平安        | 散布地          | 河川改修          |
| 194 | 高津戸館跡         | 富岡町大字上手岡字高津戸         | 富岡町教委 | 12月18日～12月18日 | 11                        | 中世           | 館跡           | 太陽光発電<br>施設建設 |
| 195 | 上郡A遺跡         | 富岡町大字上郡山             | 富岡町教委 | 3月2日～3月2日     | 40                        | 縄文・平安        | 散布地          | 工業団地造成        |
| 196 | 宮田条里遺跡        | 広野町大字下北迫字火の口         | 広野町教委 | 4月11日～4月11日   | 730                       | 奈良・平安        | その他          | 宿舍建設          |
| 197 | 西町遺跡          | 広野町大字下北迫字西町          | 広野町教委 | 4月20日～4月20日   | 496                       | 近世           | 窯跡           | 宿舍建設          |
| 198 | 宮田条里遺跡        | 広野町大字下北迫字宮田          | 広野町教委 | 5月23日～5月23日   | 300                       | 奈良・平安        | その他          | 農業基盤整備        |
| 199 | 宮田条里遺跡        | 広野町大字下北迫字宮田          | 広野町教委 | 7月11日～7月11日   | 639                       | 奈良・平安        | その他          | 個人住宅          |
| 200 | 宮田条里遺跡        | 広野町大字下北迫字宮田          | 広野町教委 | 8月31日～8月31日   | 11                        | 奈良・平安        | その他          | 事務所倉庫<br>建設   |
| 201 | 宮田条里遺跡        | 広野町大字下北迫字宮田          | 広野町教委 | 1月18日～1月18日   | 847                       | 奈良・平安        | その他          | 障がい者施<br>設建設  |
| 202 | 南平C遺跡         | 大熊町大字大川原字南平          | 大熊町教委 | 7月25日～7月27日   | 4,300                     | 奈良・平安        | 散布地          | 事務所建設         |
| 203 | 南平C遺跡         | 大熊町大字大川原字南平          | 大熊町教委 | 10月25日        | 1,640                     | 奈良・平安        | 散布地          | 事務所建設         |
| 204 | 南平A遺跡         | 大熊町大字大川原字南平          | 大熊町教委 | 11月20日～11月21日 | 1,640                     | 近世           | 散布地          | 事務所建設         |
| 205 | 上平A遺跡         | 大熊町大字大川原字南平          | 大熊町教委 | 1月16日         | 1,314                     | 縄文           | 散布地          | 個人住宅          |
| 206 | 大原遺跡ほか<br>2遺跡 | 浪江町大字棚塩字大原           | 浪江町教委 | 5月8日～5月12日    | 299                       | 縄文・奈良・<br>平安 | 散布地          | 工業団地造成        |
| 207 | 北中谷地遺跡        | 浪江町大字北幾世橋字北中谷地ほ<br>か | 浪江町教委 | 6月27日～7月10日   | 176                       | 縄文～平安        | 集落跡・<br>生産遺跡 | 工業団地造成        |
| 208 | 赤坂C遺跡         | 浪江町大字棚塩字赤坂           | 浪江町教委 | 9月11日～9月12日   | 42                        | 縄文・奈良・<br>平安 | 散布地          | 工業団地造成        |
| 209 | 北中谷地遺跡        | 浪江町大字北幾世橋字北中谷地ほ<br>か | 浪江町教委 | 9月25日～10月6日   | 234                       | 縄文～平安        | 集落跡・<br>生産遺跡 | 工業団地造成        |
| 210 | 百間沢遺跡         | 浪江町大字幾世橋字西原          | 浪江町教委 | 2月21日～2月21日   | 30                        | 縄文・奈良・<br>平安 | 散布地          | 太陽光発電<br>施設建設 |
| 211 | 三貫地貝塚         | 新地町駒ヶ嶺字三貫地西          | 新地町教委 | 1月22日～3月28日   | 20                        | 縄文           | 散布地          | 農地復旧          |

## 10 平成29年度開発事業に伴う試掘調査（未周知の埋蔵文化財包蔵地）

### (1) 県調査

| No. | 遺跡名     | 所在地                        | 調査主体者 | 調査実施期間        | 調査面積<br>(㎡) | 時代 | 種別 | 調査原因              |
|-----|---------|----------------------------|-------|---------------|-------------|----|----|-------------------|
| 1   | 檜原地区    | 南相馬市鹿島区檜原                  | 福島県教委 | 9月11日～10月16日  | 374         |    |    | 農地整備              |
| 2   | 高平中部地区  | 南相馬市原町区上高平他                | 福島県教委 | 8月23日～2月14日   | 276         |    |    | 農地整備              |
| 3   | 鶴谷地区    | 南相馬市原町区鶴谷                  | 福島県教委 | 6月12日～7月7日    | 414         |    |    | 農地整備              |
| 4   | 片草地区    | 南相馬市小高区片草                  | 福島県教委 | 7月25日～8月7日    | 235         |    |    | 農地整備              |
| 5   | 川内地区    | 双葉郡川内村大字上川内                | 福島県教委 | 11月13日～11月28日 | 383         |    |    | 農地整備              |
| 6   | 鹿島地区    | 南相馬市鹿島区南海老                 | 福島県教委 | 5月10日～5月11日   | 80          |    |    | 海岸防災林造成           |
| 7   | 原町地区    | 南相馬市原町区下渋佐                 | 福島県教委 | 4月17日～4月19日   | 86          |    |    | 海岸防災林造成           |
| 8   | 小高地区    | 南相馬市小高区井田川他                | 福島県教委 | 4月24日～7月6日    | 202         |    |    | 海岸防災林造成           |
| 9   | 神山地区    | 南相馬市小高区神山                  | 福島県教委 | 9月4日～9月6日     | 17          |    |    | 海岸防災林造成           |
| 10  | 富岡地区    | 双葉郡富岡町大字仏浜                 | 福島県教委 | 8月1日～8月3日     | 127         |    |    | 海岸防災林造成           |
| 11  | 広野小高線関連 | 南相馬市小高区他                   | 福島県教委 | 6月3日～6月26日    | 309         |    |    | 県道整備<br>(広野小高線)   |
| 12  | 富岡川     | 双葉郡富岡町大字小浜                 | 福島県教委 | 4月25日～月日      | 18          |    |    | 河川改修              |
| 13  | 双葉町内    | 双葉郡双葉町大字細谷字大森他             | 福島県教委 | 11月29日～3月1日   | 209         |    |    | 中間貯蔵施設            |
| 14  | 大熊町内    | 双葉郡大熊町大字小入野字東大和久他          | 福島県教委 | 7月26日～2月20日   | 710         |    |    | 中間貯蔵施設            |
| 15  | 東北電力関連  | 双葉郡双葉町大字細谷、<br>双葉郡大熊町大字小入野 | 福島県教委 | 12月5日～3月9日    | 18          |    |    | 送電線               |
| 16  | 川原田地区   | 桑折町大字松原字川原田                | 福島県教委 | 4月10日～4月12日   | 139         |    |    | 相馬福島道路            |
| 17  | 田向地区    | 伊達市保原町上保原字田向               | 福島県教委 | 6月1日～6月13日    | 437         |    |    | 相馬福島道路            |
| 18  | 川岸地区    | 伊達市保原町伏黒字川岸                | 福島県教委 | 7月4日～7月5日     | 127         |    |    | 相馬福島道路            |
| 19  | 館ノ内地区   | 伊達市保原町伏黒字館ノ内               | 福島県教委 | 7月3日～7月7日     | 60          |    |    | 相馬福島道路            |
| 20  | 八反田地区   | 小野町小野新町字八反田                | 福島県教委 | 7月25日～8月7日    | 216         |    |    | 県道整備(吉<br>間田・滝根線) |
| 21  | 狐平地区    | 小野町小野新町字狐平                 | 福島県教委 | 7月10日～7月10日   | 72          |    |    | 県道整備(吉<br>間田・滝根線) |
| 22  | 大久保地区   | 小野町小野新町字大久保                | 福島県教委 | 7月11日～7月26日   | 435         |    |    | 県道整備(吉<br>間田・滝根線) |
| 23  | 安住内地区   | 伊達市保原町所沢字安住内               | 福島県教委 | 8月30日～9月5日    | 681         |    |    | 相馬福島道路            |
| 24  | 大上山地区   | 伊達市保原町大柳字大上山               | 福島県教委 | 9月6日～9月11日    | 95          |    |    | 相馬福島道路            |
| 25  | 栃窪入地区   | 伊達市保原町大柳字栃窪入               | 福島県教委 | 9月22日～9月27日   | 21          |    |    | 相馬福島道路            |
| 26  | 栃窪入地区   | 伊達市保原町大柳字栃窪入               | 福島県教委 | 9月14日～9月21日   | 345         |    |    | 相馬福島道路            |
| 27  | 下居平乙地区  | 下郷町高隣字下居平乙                 | 福島県教委 | 10月16日～10月18日 | 194         |    |    | 会津縦貫南道路           |
| 28  | 辻堂地区    | 下郷町中妻字辻堂                   | 福島県教委 | 10月19日～10月20日 | 57          |    |    | 会津縦貫南道路           |
| 29  | 新田乙地区   | 下郷町中妻新田乙                   | 福島県教委 | 10月30日～11月2日  | 177         |    |    | 会津縦貫南道路           |
| 30  | 高倉地区    | いわき市大字高倉                   | 福島県教委 | 8月7日～8月10日    | 41          |    |    | 小名浜道路             |

## (2) 市町村調査

| No. | 遺跡名            | 所在地              | 調査主体者  | 調査実施期間        | 調査面積<br>(㎡) | 時代              | 種別  | 調査原因   |
|-----|----------------|------------------|--------|---------------|-------------|-----------------|-----|--------|
| 1   | 町畑吉治下地区        | 福島市平石字町畑         | 福島市教委  | 9月1日～9月15日    | 198         | 奈良・平安           | 散布地 | 道路     |
| 2   | 町畑吉治下地区        | 福島市平石字吉治下        | 福島市教委  | 10月17日～11月4日  | 260         | 奈良・平安           | 散布地 | 道路     |
| 3   | 水押遺跡隣接地        | いわき市小名浜花畑町       | いわき市教委 | 6月13日～6月14日   | 50          | 現代              | 散布地 | 宅地造成   |
| 4   | 前田川地区          | 須賀川市前田川          | 須賀川市教委 | 5月11日         | 200         | 奈良・平安           | 散布地 | 農業基盤整備 |
| 5   | 前田川地区          | 須賀川市前田川          | 須賀川市教委 | 12月18日～12月26日 | 680         | 奈良・平安           | 散布地 | 農業基盤整備 |
| 6   | 森宿地区           | 須賀川市森宿           | 須賀川市教委 | 3月23日～3月27日   | 136         | —               | —   | 農業基盤整備 |
| 7   | 上北高平比丘<br>尼沢地区 | 南相馬市原町区上北高平字比丘尼沢 | 南相馬市教委 | 6月6日～7月26日    | 107         | 奈良・平安           | 製鉄跡 | 土砂採取   |
| 8   | 神山池ノ沢地区        | 南相馬市小高区神山字池ノ沢    | 南相馬市教委 | 7月26日～8月10日   | 15          | 奈良・平安           | 製鉄跡 | 土砂採取   |
| 9   | 上根沢仏供田<br>地区   | 南相馬市小高区上根沢字東・    | 南相馬市教委 | 8月24日～10月25日  | 216         | 平安              | 製鉄跡 | 土砂採取   |
| 10  | 深野入竜田地区        | 南相馬市原町区深野字入龍田    | 南相馬市教委 | 11月14日        | 4           | —               | —   | 土砂採取   |
| 11  | 大木田地区          | 川俣町大綱木字大木田地内 他   | 川俣町教委  | 7月10日～7月20日   | 192         | 弥生              | 散布地 | 道路     |
| 12  | 大木田地区          | 川俣町大綱木字大木田地内 他   | 川俣町教委  | 7月31日、8月8日    | 20          | —               | —   | 道路     |
| 13  | 山木屋地区          | 川俣町山木屋字菅ノ又地内     | 川俣町教委  | 8月2日～8月10日    | 87          | —               | —   | 道路     |
| 14  | 小綱木地区          | 川俣町小綱木字前田地内      | 川俣町教委  | 11月14日～11月21日 | 102         | 縄文              | 集落跡 | 道路     |
| 15  | 南平地区           | 大熊町大字大川原字南平      | 大熊町教委  | 7月11日～7月12日   | 12,800      | —               | —   | 事務所建設  |
| 16  | 南平地区           | 大熊町大字大川原字南平      | 大熊町教委  | 8月21日～8月23日   | 3,386       | —               | —   | 駐車場    |
| 17  | 南平地区           | 大熊町大字大川原字南平      | 大熊町教委  | 8月24日         | 1,500       | —               | —   | 駐車場    |
| 18  | 南平地区           | 大熊町大字大川原字南平      | 大熊町教委  | 3月8日          | 5,381       | —               | —   | 事務所建設  |
| 19  | 赤坂B遺跡隣接地       | 浪江町大字棚塩字赤坂       | 浪江町教委  | 7月11日～7月18日   | 125         | 縄文・奈良・<br>平安    | 散布地 | 工業団地造成 |
| 20  | 鍛冶屋川原遺<br>跡隣接地 | 浪江町大字請戸字雨垂ほか     | 浪江町教委  | 10月10日～10月16日 | 159         | 奈良～平安           | 散布地 | 工業団地造成 |
| 21  | 乱塔前遺跡他<br>隣接地  | 浪江町大字谷津田字上谷津田ほか  | 浪江町教委  | 1月15日～1月16日   | 47          | 縄文・奈良・<br>平安・近世 | 散布地 | 太陽光発電  |
| 22  | 藤橋古墳隣接地        | 浪江町大字北幾世橋字西原     | 浪江町教委  | 3月26日～3月26日   | 36          | 古墳              | 古墳  | 道路     |
| 23  | 久保田遺跡隣接地       | 檜葉町下小塙字町         | 檜葉町教委  | 6月13日～6月13日   | 30          | —               | —   | 個人住宅   |
| 24  | 中川原遺跡隣接地       | 檜葉町上小塙字中川原       | 檜葉町教委  | 1月12日～1月12日   | 30          | —               | —   | 個人住宅   |
| 25  | 浄光東遺跡隣接地       | 檜葉町井出字浄光東地内      | 檜葉町教委  | 1月12日～1月12日   | 30          | —               | —   | その他建物  |

## 11 平成29年度発掘調査

### (1) 県調査

| No. | 遺跡名     | 所在地            | 調査主体者 | 調査実施期間       | 調査面積<br>(㎡) | 時代                      | 種別          | 調査原因                          |
|-----|---------|----------------|-------|--------------|-------------|-------------------------|-------------|-------------------------------|
| 1   | 大谷上ノ原遺跡 | 双葉郡檜葉町大字大谷上ノ原  | 福島県教委 | 5月10日～12月22日 | 9,300       | 旧石器・縄<br>文・弥生・奈<br>良・平安 | 散布地、<br>集落跡 | 常磐自動車道な<br>らはスマートイ<br>ンターチェンジ |
| 2   | 毛萱遺跡    | 双葉郡富岡町大字毛萱字前川原 | 福島県教委 | 8月4日～12月12日  | 5,000       | 中世                      | 城館跡         | 県道整備<br>(広野小高線)               |
| 3   | 高木遺跡    | 須賀川市浜尾字高木      | 福島県教委 | 4月18日～1月29日  | 6,600       | 弥生～鎌倉                   | 散布地、<br>集落跡 | 阿武隈川上<br>流河川改修                |

| No. | 遺跡名             | 所在地            | 調査主体者 | 調査実施期間                     | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代           | 種別          | 調査原因         |
|-----|-----------------|----------------|-------|----------------------------|---------------------------|--------------|-------------|--------------|
| 4   | 上ノ台遺跡<br>(2次調査) | 伊達市霊山町下小国字上ノ台  | 福島県教委 | 8月21日～12月15日               | 1,500                     | 平安・中世・<br>近世 | 産婦地、<br>集落跡 | 相馬福島<br>改築事業 |
| 5   | 中室内遺跡           | 伊達市保原町上保原字中室内  | 福島県教委 | 10月10日～12月22日              | 2,700                     | 古墳・古代・<br>中世 | 散布地、<br>集落跡 | 相馬福島<br>改築事業 |
| 6   | 日照田遺跡           | 伊達市桑折町大字松原字日照田 | 福島県教委 | 4月18日～4月28日<br>5月29日～8月24日 | 2,800                     | 縄文・平安・<br>中世 | 散布地、<br>集落跡 | 相馬福島<br>改築事業 |
| 7   | 館ノ前遺跡           | 伊達市桑折町大字松原字館ノ前 | 福島県教委 | 4月18日～5月24日<br>8月24日～9月15日 | 1,600                     | 縄文・平安        | 散布地、<br>集落跡 | 相馬福島<br>改築事業 |

## (2) 市町村調査

| No. | 遺跡名             | 所在地            | 調査主体者           | 調査実施期間                       | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代                     | 種別          | 調査原因         |
|-----|-----------------|----------------|-----------------|------------------------------|---------------------------|------------------------|-------------|--------------|
| 1   | 南沢又城跡           | 福島市南沢又字西原      | 福島市教委           | 6月2日～10月5日                   | 185                       | 中世                     | 城館跡         | 道路           |
| 2   | 大鳥城跡            | 福島市飯坂字館ノ山      | 福島市教委           | 10月24日～12月20日                | 338                       | 平安・中世                  | 城館跡         | 範囲内容確認       |
| 3   | 和台遺跡            | 福島市飯野明治字南和台    | 福島市教委           | 7月19日～10月5日                  | 57                        | 縄文                     | 散布地、<br>集落跡 | 史跡範囲確認       |
| 4   | 若松城郭内武<br>家屋敷跡  | 会津若松市東栄町       | 会津若松市教委         | 4月24日～7月31日                  | 3,500                     | 近世                     | 城館跡         | オフィスビル<br>建設 |
| 5   | 若松城郭内武<br>家屋敷跡  | 会津若松市本町、山鹿町    | 会津若松市教委         | 10月6日～3月26日                  | 850                       | 近世                     | 城館跡         | 道路           |
| 6   | 田中遺跡            | 会津若松市倉橋字田中     | 会津若松市教委         | 6月1日～9月29日                   | 1,840                     | 縄文～中世                  | 散布地         | 農業基盤整備       |
| 7   | 笹山原遺跡<br>No. 16 | 会津若松市湊町        | 郡山女子大学<br>短期大学部 | 5月20日～5月30日                  | 100                       | 旧石器・<br>縄文・平安          | 散布地         | 学術目的調査       |
| 8   | 清水台遺跡           | 郡山市清水台二丁目      | 郡山市教委           | 8月25日～9月15日                  | 115                       | 奈良・平安                  | 官衙跡         | 集合住宅建設       |
| 9   | 清水台遺跡           | 郡山市清水台二丁目      | 郡山市教委           | 10月5日～11月30日                 | 125                       | 奈良・平安                  | 官衙跡         | 個人住宅建設       |
| 10  | 清水台遺跡           | 郡山市清水台二丁目      | 郡山市教委           | 11月2日～11月30日                 | 47                        | 奈良・平安                  | 官衙跡         | 住宅建設         |
| 11  | 正直B遺跡           | 郡山市田村町正直       | 郡山市教委           | 7月31日～2月23日                  | 2,800                     | 縄文・弥生・<br>古墳・奈良・<br>平安 | 散布地         | 範囲内容確認       |
| 12  | 泉町A遺跡           | いわき市泉町滝尻字御前田   | いわき市教委          | 5月16日～6月13日                  | 200                       | 古墳                     | 散布地         | 区画整理         |
| 13  | 梅ノ作瓦窯跡群         | いわき市小川町下小川字梅ノ作 | いわき市教委          | 11月13日～12月18日                | 30                        | 奈良・平安                  | 生産遺跡        | 範囲内容確認       |
| 14  | 天王山遺跡           | 白河市大岩倉地内       | 白河市教委           | 11月27日～12月15日<br>3月14日～3月27日 | 15                        | 弥生                     | 散布地         | 範囲内容確認       |
| 15  | 小峰城跡            | 白河市郭内地内        | 白河市教委           | 4月1日～12月1日                   | 668                       | 中世・近世                  | 城郭          | 災害復旧         |
| 16  | 須賀川城跡           | 須賀川市弘法坦        | 須賀川市教委          | 9月1日～9月29日                   | 200                       | 近世～近代                  | 城館跡         | 児童館建築        |
| 17  | 岡の内B遺跡          | 須賀川市前田川字岡の内    | 須賀川市教委          | 11月24日～1月11日                 | 180                       | 弥生～古代                  | 集落          | 農業基盤整備       |
| 18  | 団子山古墳           | 須賀川市日照田字入ノ久保   | 福島大学            | 8月8日～9月9日                    | 220                       | 古墳                     | 古墳          | 学術目的調査       |
| 19  | 中屋沢・竹ノ花<br>遺跡   | 喜多方市塩川町中屋沢字二百苺 | 喜多方市教委          | 5月8日～7月31日                   | 1,142                     | 古墳～平安                  | 集落跡         | 農業基盤整備       |
| 20  | 田中村東遺跡<br>ほか1遺跡 | 喜多方市塩川町中屋沢字村東  | 喜多方市教委          | 11月2日～12月20日                 | 1,513                     | 縄文～平安                  | 集落跡         | 農業基盤整備       |

| No. | 遺跡名       | 所在地                     | 調査主体者   | 調査実施期間       | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代                        | 種別        | 調査原因   |
|-----|-----------|-------------------------|---------|--------------|---------------------------|---------------------------|-----------|--------|
| 21  | 灰塚山古墳(8次) | 喜多方市慶徳町新宮               | 東北学院大学  | 8月6日～9月16日   | 120                       | 古墳                        | 古墳        | 学術目的調査 |
| 22  | 灰塚山古墳(9次) | 喜多方市慶徳町新宮               | 東北学院大学  | 3月10日～3月25日  | 20                        | 古墳                        | 古墳        | 学術目的調査 |
| 23  | 古屋敷遺跡     | 喜多方市塩川町大田木字古屋敷          | 喜多方市教委  | 8月22日～10月10日 | 1,200                     | 縄文・古墳                     | 豪族居館      | 史跡範囲確認 |
| 24  | 二本松城跡     | 二本松市郭内三丁目               | 二本松市教委  | 6月6日～7月10日   | 66                        | 中世～近世                     | 城館跡       | 範囲内容確認 |
| 25  | 二本松城跡     | 二本松市郭内三丁目               | 二本松市教委  | 6月16日～6月29日  | 287                       | 中世～近世                     | 城館跡       | 史跡整備確認 |
| 26  | 浦尻貝塚14次   | 南相馬市小高区浦尻字台ノ前           | 南相馬市教委  | 9月26日～11月16日 | 320                       | 縄文～平安                     | 集落跡       | 範囲内容確認 |
| 27  | 真野古墳群A    | 南相馬市鹿島区寺内字八幡林           | 南相馬市教委  | 8月28日～3月23日  | 70,000                    | 古墳                        | 古墳        | 範囲内容確認 |
| 28  | 永田古墳群B    | 南相馬市鹿島区永田字永田            | 南相馬市教委  | 9月15日～3月15日  | 110,000                   | 古墳                        | 古墳        | 範囲内容確認 |
| 29  | 梨木下西館跡5次  | 南相馬市原町区雫字塔場下            | 南相馬市教委  | 11月6日～3月23日  | 4,383                     | 古墳～中世                     | 集落跡<br>城館 | 個人農地造成 |
| 30  | 鷲内遺跡6次    | 南相馬市鹿島区寺内字鷲内            | 南相馬市教委  | 10月10日～3月31日 | 6,500                     | 縄文・<br>古墳～平安              | 集落跡       | 学校建設   |
| 31  | 西迫横穴墓群1次  | 南相馬市原町区雫字蛭沢             | 南相馬市教委  | 6月1日～3月31日   | 6,000                     | 古墳～平安                     | 横穴墓       | 工業団地造成 |
| 32  | 阿津賀志山防塁   | 国見町大字石母田字国見山下           | 国見町教委   | 12月11日～1月11日 | 178                       | 古代                        | 防塁        | 道路     |
| 33  | 長障子遺跡     | 国見町大字貝田字竹ノ内             | 国見町教委   | 7月11日～3月31日  | 5,224                     | 縄文                        | 集落跡       | 農業基盤整備 |
| 34  | 阿津賀志山防塁   | 国見町大字西大枝字下二重堀           | 国見町教委   | 6月19日～8月23日  | 211                       | 古代                        | 防塁        | 範囲内容確認 |
| 35  | 八十里越      | 只見町大字叶字木ノ根山             | 只見町教委   | 6月15日～11月19日 | 20                        | 近代<br>(明治期)               | 歴史の道      | 範囲内容確認 |
| 36  | 柏木城跡      | 北塩原村大字大塩字柏木城            | 北塩原村教委  | 6月1日～12月11日  | 47                        | 中世                        | 城館跡       | 範囲内容確認 |
| 37  | 横町館跡      | 西会津町野沢字下小屋上地内           | 西会津町教委  | 4月24日～8月10日  | 4,870                     | 中世・近世                     | 城館跡       | 役場整備   |
| 38  | 慧日寺跡      | 磐梯町大字磐梯字堂東              | 磐梯町教委   | 6月19日～12月8日  | 240                       | 平安～近世                     | 寺院跡       | 史跡整備   |
| 39  | 稲荷塚遺跡     | 会津坂下町字上柳田、大字気多宮<br>字柳田  | 会津坂下町教委 | 4月4日～11月30日  | 8,259                     | 弥生・古墳・<br>平安・中世           | 墳墓群       | 宅地造成   |
| 40  | 境ノ沢古墳群    | 会津坂下町大字船杉字境ノ沢乙、<br>盗人沢乙 | 会津坂下町教委 | 6月20日～10月19日 | 2,000                     | 古墳                        | 古墳        | 範囲内容確認 |
| 41  | 高寺山遺跡     | 会津坂下町大字高寺字高寺            | 会津坂下町教委 | 9月29日～1月10日  | 6,000                     | 古代                        | 社寺跡       | 範囲内容確認 |
| 42  | 堂後遺跡      | 湯川村大字勝常字代舞              | 湯川村教委   | 7月20日～10月30日 | 163                       | 弥生～中世                     | 散布地       | 範囲内容確認 |
| 43  | 中坪A遺跡     | 昭和村大字大芦字中坪              | 昭和村教委   | 8月7日～3月30日   | 1,100                     | 縄文                        | 落とし穴      | 道路     |
| 44  | 向羽黒山城跡    | 会津美里町字船場                | 会津美里町教委 | 4月3日～3月30日   | 1,800                     | 中世                        | 城館跡       | 史跡整備   |
| 45  | 割目遺跡      | 矢祭町大字中石井字割目             | 矢祭町教委   | 5月29日～2月28日  | 3,200                     | 縄文・弥生・<br>古墳・奈良・<br>平安・近世 | 集落跡       | 基幹農道整備 |
| 46  | 我満平遺跡     | 矢祭町大字中石井字我満平            | 矢祭町教委   | 5月29日～3月14日  | 3,180                     | 縄文・平安・<br>近世              | 集落跡       | 基幹農道整備 |
| 47  | 実沢堂平遺跡    | 三春町大字実沢字堂平              | 三春町教委   | 5月16日～5月30日  | 35                        | 縄文                        | 集落跡       | 範囲内容確認 |



### 第3節 文化財保存助成の充実

#### 1 文化財保存助成事業

国指定文化財の防災設備保守点検等の管理に必要な経費について、助成を行った。

| 事業区分            | 補助事業者 | 名称           | 種別  | 事業内容    | 金額（単位：円）  |           |           |           |
|-----------------|-------|--------------|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                 |       |              |     |         | 事業費       | 国庫補助      | 県費補助      | その他       |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 八葉寺   | 八葉寺阿弥陀堂      | 建造物 | 防災保守点検等 | 233,064   | 57,000    | 58,000    | 118,064   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 延命寺   | 延命寺地蔵堂       | 建造物 | 防災保守点検等 | 263,800   | 65,000    | 65,000    | 133,800   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 飯盛正徳  | 旧正宗寺三匠堂      | 建造物 | 防災保守点検等 | 934,173   | 230,000   | 230,000   | 474,173   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 横山操   | 旧滝沢本陣横山家住宅   | 建造物 | 防災保守点検等 | 501,012   | 124,000   | 125,000   | 252,012   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 勝福寺   | 勝福寺観音堂       | 建造物 | 防災保守点検等 | 433,200   | 108,000   | 107,000   | 218,200   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 熊野神社  | 熊野神社長床       | 建造物 | 防災保守点検等 | 1,149,720 | 286,000   | 286,000   | 577,720   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 円満寺   | 円満寺観音堂       | 建造物 | 防災保守点検等 | 1,061,640 | 225,000   | 225,000   | 611,640   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 飯野八幡宮 | 飯野八幡宮        | 建造物 | 防災保守点検等 | 828,373   | 203,000   | 202,000   | 423,373   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 願成寺   | 阿弥陀堂（白水阿弥陀堂） | 建造物 | 小修理     | 1,066,500 | 267,000   | 266,000   | 533,500   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 福生寺   | 福生寺観音堂       | 建造物 | 防災保守点検  | 53,352    | 12,000    | 12,000    | 29,352    |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 常福院   | 常福院薬師堂       | 建造物 | 防災保守点検  | 51,300    | 11,000    | 11,000    | 29,300    |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 法用寺   | 法用寺本堂内厨子及び仏壇 | 建造物 | 防災保守点検  | 42,552    | 9,000     | 10,000    | 23,552    |
| 計               | 12件   |              |     |         | 6,618,686 | 1,597,000 | 1,597,000 | 3,424,686 |

#### 2 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）

文化財の修理・防災・整備・調査・管理、埋蔵文化財保存調査等の事業（保存事業）とそれらの文化財を活用した事業（活用事業）を一体的に行った事業（保存活用事業）に必要な経費について、助成を行った。

##### (1) 国指定文化財

| 事業区分    | 補助事業者  | 名称             | 種別    | 事業内容     | 金額（単位：円）    |            |           |            |
|---------|--------|----------------|-------|----------|-------------|------------|-----------|------------|
|         |        |                |       |          | 事業費         | 国庫補助       | 県費補助      | その他        |
| 建造物保存修理 | 専称寺    | 専称寺本堂・総門       | 建造物   | 保存修理     | 52,410,000  | 44,200,000 | 1,530,000 | 6,680,000  |
| 建造物保存修理 | 相馬中村神社 | 相馬中村神社本殿・幣殿・拝殿 | 建造物   | 保存修理     | 69,563,760  | 51,750,000 | 2,500,000 | 15,313,760 |
| 記念物保存修理 | 隠津島神社  | 木幡の大スギ         | 天然記念物 | 枯枝の伐採・剪定 | 2,240,003   | 1,070,000  | 150,000   | 1,020,003  |
| 計       | 3件     |                |       |          | 124,213,763 | 97,020,000 | 4,180,000 | 23,013,763 |

## (2) 県指定文化財

| 事業区分    | 補助事業者                 | 名称               | 種別  | 事業内容  | 金額（単位：円）   |      |            |            |
|---------|-----------------------|------------------|-----|-------|------------|------|------------|------------|
|         |                       |                  |     |       | 事業費        | 国庫補助 | 県費補助       | その他        |
| 建造物保存修理 | 喜多方市                  | 旧外島家住宅           | 建造物 | 茅屋根改修 | 9,131,656  | 0    | 2,120,000  | 7,011,656  |
| 記念物保存修理 | 八幡神社                  | 旧梁川亀岡八幡宮並びに別当寺境域 | 史跡  | 屋根改修  | 27,698,640 | 0    | 9,220,000  | 18,478,640 |
| 建造物保存修理 | 郡山市                   | 開成館              | 建造物 | 屋根改修  | 12,644,360 | 0    | 2,950,000  | 9,694,360  |
| 建造物保存修理 | いわき市<br>上黒田区・<br>下黒田区 | 満照寺不動堂           | 建造物 | 茅屋根改修 | 11,448,860 | 0    | 3,810,000  | 7,638,860  |
| 計       | 4件                    |                  |     |       | 60,923,516 | 0    | 18,100,000 | 42,823,516 |

### 3 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）

東日本大震災により被災した国指定・県指定文化財の修復等保存事業に必要な経費について、助成を行った。

#### (1) 国指定文化財

| 事業区分    | 補助事業者 | 名称        | 種別  | 事業内容     | 金額（単位：円）   |            |           |           |
|---------|-------|-----------|-----|----------|------------|------------|-----------|-----------|
|         |       |           |     |          | 事業費        | 国庫補助       | 県費補助      | その他       |
| 建造物保存修理 | 専称寺   | 専称寺本堂及び総門 | 建造物 | 建物傾斜大を修復 | 92,200,000 | 78,380,000 | 6,915,000 | 6,905,000 |
| 計       | 1件    |           |     |          | 92,200,000 | 78,380,000 | 6,915,000 | 6,905,000 |

#### (2) 県指定文化財

| 事業区分          | 補助事業者 | 名称         | 種別        | 事業内容          | 金額（単位：円）   |      |           |            |
|---------------|-------|------------|-----------|---------------|------------|------|-----------|------------|
|               |       |            |           |               | 事業費        | 国庫補助 | 県費補助      | その他        |
| 重要有形民俗文化財保存修理 | 相馬市   | 田代駒焼登り窯    | 重要有形民俗文化財 | 天井崩落や剥離等を修復   | 8,164,800  | 0    | 2,425,000 | 5,739,800  |
| 記念物保存修理       | 相馬市   | 中村城跡       | 史跡        | 石垣崩落5箇所を積み直し  | 7,200,360  | 0    | 3,589,000 | 3,611,360  |
| 記念物保存修理       | 泉崎村   | 観音山磨崖供養塔場群 | 史跡        | 磨崖物壁面の一部損壊を修復 | 3,000,187  | 0    | 1,500,000 | 1,500,187  |
| 計             | 3件    |            |           |               | 18,365,347 | 0    | 7,514,000 | 10,851,347 |

### 4 地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による被害により避難を余儀なくされた地域の市町村で活動した保存団体が行う、用具類の新調・修理、稽古等に必要な経費について、助成を行った。

| 事業区分 | 補助事業者 | 名称      | 種別   | 事業内容     | 金額（単位：円） |      |         |     |
|------|-------|---------|------|----------|----------|------|---------|-----|
|      |       |         |      |          | 事業費      | 国庫補助 | 県費補助    | その他 |
| 南相馬市 | 江井の神楽 | 江井神楽保存会 | 無形民俗 | 用具の修理    | 637,200  | 0    | 637,200 | 0   |
| 南相馬市 | 高倉の神楽 | 高倉神楽保存会 | 無形民俗 | 用具の新調・修理 | 696,600  | 0    | 696,600 | 0   |
| 南相馬市 | 泉の神楽  | 泉神楽保存会  | 無形民俗 | 用具の修理    | 702,000  | 0    | 702,000 | 0   |

| 事業区分 | 補助事業者       | 名称            | 種別   | 事業内容     | 金額（単位：円）  |      |           |           |
|------|-------------|---------------|------|----------|-----------|------|-----------|-----------|
|      |             |               |      |          | 事業費       | 国庫補助 | 県費補助      | その他       |
| 南相馬市 | 村上の神楽       | 村上神楽保存会       | 無形民俗 | 用具の新調    | 324,000   | 0    | 324,000   | 0         |
| 南相馬市 | 雫の神楽        | 雫青年団          | 無形民俗 | 用具の修理    | 165,000   | 0    | 165,000   | 0         |
| 浪江町  | 苧宿の鹿舞       | 苧宿芸能保存会       | 無形民俗 | 用具の修理    | 1,674,000 | 0    | 750,000   | 924,000   |
| 双葉町  | 三字の神楽       | 三字芸能保存会       | 無形民俗 | 用具の新調    | 745,200   | 0    | 745,200   | 0         |
| 双葉町  | 相馬流れ山踊り     | 双葉町相馬流れ山踊り保存会 | 無形民俗 | 用具の新調    | 735,000   | 0    | 735,000   | 0         |
| 大熊町  | 熊川稚児鹿舞      | 熊川稚児鹿舞保存会     | 無形民俗 | 稽古       | 98,250    | 0    | 98,250    | 0         |
| 富岡町  | 上手岡麓山神社の火祭り | 麓山神社氏子総代会     | 無形民俗 | 稽古       | 204,360   | 0    | 62,275    | 0         |
| 広野町  | 大滝神社の浜下り    | 大滝神社浜下り神事保存会  | 無形民俗 | 用具の修理    | 750,600   | 0    | 750,000   | 600       |
| 広野町  | 鹿島神社の浜下り    | 鹿島神社浜下り神事保存会  | 無形民俗 | 用具の新調・修理 | 920,328   | 0    | 750,000   | 170,328   |
| 広野町  | 亀山神社百矢祭     | 亀山神社百矢祭保存会    | 無形民俗 | 用具の新調    | 642,140   | 0    | 642,140   | 0         |
| 広野町  | 八雲神社浜下り神事   | 八雲神社浜下り神事保存会  | 無形民俗 | 用具の修理    | 750,600   | 0    | 750,000   | 600       |
| 計    | 14件         |               |      |          | 9,045,278 | 0    | 7,807,665 | 1,095,528 |

## 第4節 文化財の保護と公開の推進

### 1 第59回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地区に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、その価値を周知するとともに、無形民俗文化財の保存・伝承、文化財公開による地域振興等に寄与する。

期 日 平成29年10月28日 リハーサル・実行委員会

10月29日 開会式・民俗芸能公開

場 所 とうほう・みんなの文化センター（福島県福島市）

公開演目 本県出演団体 2団体

「北萱浜の天狗舞」北萱浜神楽愛好会（南相馬市）、

「会津坂下の早乙女踊り」会津農林高等学校早乙女踊り保存クラブ（会津坂下町）

### 2 文化財保護強調週間の実施

文化財保護の一層の推進を図るために、11月1日から11月7日までの文化財保護強調週間を中心に、チラシを配布し、県民に対し啓発を行った。

### 3 文化財防火デーの実施

文化財の防火について、所有者、管理者はもとより、県民の理解と協力を高めるため、1月26日の文化財防火デーを中心に、チラシを配布するなど啓発を行った。

また、各市町村においては、消防署等の協力を得て、防火訓練、防火診断、防火査察等を実施した。

## 第5節 銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品としての価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類の登録審査会を次のとおり実施した。

### 1 登録審査委員

塚本憲司、佐藤安弘、阿部榮、溝井辰美

### 2 登録審査会の実施状況

| 期 日    | 会 場       | 審査数 | 失格数 | 登録数 | 登録数の内訳 |     |
|--------|-----------|-----|-----|-----|--------|-----|
|        |           |     |     |     | 刀 剣    | 銃 砲 |
| 5月10日  | いわき合同庁舎   | 43  | 2   | 30  | 30     | 0   |
| 7月12日  | 郡山市労働福祉会館 | 24  | 1   | 23  | 21     | 2   |
| 9月11日  | 会津若松合同庁舎  | 29  | 0   | 29  | 29     | 0   |
| 11月24日 | あづま荘      | 32  | 0   | 32  | 32     | 0   |
| 2月7日   | 郡山市労働福祉会館 | 47  | 1   | 46  | 43     | 3   |
| 計      |           | 175 | 4   | 160 | 155    | 5   |

※ 再交付に係る審査を除く。

### 3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況

| 区 分       | 銃 砲 等 | 刀 剣 類 |
|-----------|-------|-------|
| 譲 受 け     | 30    | 613   |
| 相 続       | 3     | 71    |
| 貸 付       | 0     | 0     |
| 保 管 の 委 託 | 0     | 0     |
| 計         | 33    | 684   |

## 第6節 文化財センター白河館の運営状況

### 1 入館者数

平成29年度の入館者は28,102人であり、前年度の入館者(29,341人)に比べ1,239人減少した。団体利用は、前年度に比べ167名減少した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、514,346人となった。

(平成30年3月31日現在)

| 月   | 入館者数(人) | 1日平均入館者数(人) |
|-----|---------|-------------|
| 4月  | 2,376   | 91          |
| 5月  | 3,283   | 122         |
| 6月  | 2,976   | 114         |
| 7月  | 3,060   | 109         |
| 8月  | 2,901   | 97          |
| 9月  | 2,353   | 91          |
| 10月 | 1,914   | 74          |
| 11月 | 2,511   | 97          |
| 12月 | 1,401   | 61          |
| 1月  | 1,443   | 63          |
| 2月  | 2,548   | 106         |
| 3月  | 1,336   | 49          |
| 計   | 28,102  | —           |

## 2 入館者の内訳と傾向

地域別利用状況 県内者 84.5% (うち白河市 45.8%)

県外者 15.5%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒(高校生以下)が41%、団体入館者が27%を占める。

## 3 団体利用者の内訳と傾向

(単位 人) (平成30年3月31日現在)

|                       |      | 4月  | 5月  | 6月    | 7月    | 8月  | 9月    | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月 | 計     |
|-----------------------|------|-----|-----|-------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
| 幼稚園・保育園               | 団体数  |     | 1   |       | 1     |     |       |     | 1   | 1   |     |     | 1  | 5     |
|                       | 入館者数 |     | 22  |       | 10    |     |       |     | 26  | 37  |     |     | 15 | 110   |
| 小学校                   | 団体数  | 12  | 11  | 28    | 8     | 1   | 12    | 3   |     |     | 5   | 5   |    | 85    |
|                       | 入館者数 | 603 | 256 | 1,598 | 455   | 92  | 797   | 245 |     |     | 195 | 193 |    | 4,434 |
| 中学校                   | 団体数  | 1   |     |       | 1     |     | 1     |     |     |     |     |     |    | 3     |
|                       | 入館者数 | 184 |     |       | 37    |     | 195   |     |     |     |     |     |    | 416   |
| 高等学校                  | 団体数  |     |     |       |       |     |       |     |     |     |     |     |    |       |
|                       | 入館者数 |     |     |       |       |     |       |     |     |     |     |     |    |       |
| 養護学校                  | 団体数  |     |     |       |       |     |       |     |     |     |     |     |    |       |
|                       | 入館者数 |     |     |       |       |     |       |     |     |     |     |     |    |       |
| 大学                    | 団体数  |     |     | 1     |       | 2   |       |     | 1   | 1   |     |     |    | 5     |
|                       | 入館者数 |     |     | 32    |       | 80  |       |     | 19  | 11  |     |     |    | 142   |
| 幼小中高PTA<br>(保護者のみ)    | 団体数  |     |     |       |       |     |       |     |     |     |     |     |    |       |
|                       | 入館者数 |     |     |       |       |     |       |     |     |     |     |     |    |       |
| 幼小中高PTA<br>(保護者と児童生徒) | 団体数  |     |     |       | 2     |     | 1     | 1   | 1   |     |     |     |    | 5     |
|                       | 入館者数 |     |     |       | 115   |     | 31    | 101 | 25  |     |     |     |    | 272   |
| 研究会                   | 団体数  |     |     |       |       |     |       | 1   |     |     |     |     |    | 1     |
|                       | 入館者数 |     |     |       |       |     |       | 28  |     |     |     |     |    | 28    |
| 子ども会                  | 団体数  |     |     | 1     | 4     | 1   |       |     |     |     |     | 1   |    | 6     |
|                       | 入館者数 |     |     | 13    | 280   | 55  |       |     |     |     |     | 38  |    | 348   |
| 公民館等                  | 団体数  |     |     | 1     | 1     | 5   | 2     | 4   | 5   | 2   |     | 1   |    | 21    |
|                       | 入館者数 |     |     | 20    | 26    | 108 | 50    | 96  | 94  | 34  |     | 33  |    | 461   |
| 福祉施設・<br>ダイケアサービス     | 団体数  | 3   | 1   |       | 1     | 3   | 1     | 3   | 10  | 4   |     | 3   | 5  | 34    |
|                       | 入館者数 | 68  | 24  |       | 28    | 21  | 8     | 45  | 114 | 30  |     | 19  | 55 | 412   |
| 資料館等                  | 団体数  |     |     |       |       |     |       | 1   |     |     |     |     |    | 1     |
|                       | 入館者数 |     |     |       |       |     |       | 20  |     |     |     |     |    | 20    |
| 歴史研究団体                | 団体数  |     |     |       |       |     |       |     | 1   |     |     |     |    | 1     |
|                       | 入館者数 |     |     |       |       |     |       |     | 25  |     |     |     |    | 25    |
| 県・市町村・<br>教委・審議会等     | 団体数  |     | 2   | 1     |       |     |       |     | 1   |     |     | 1   |    | 5     |
|                       | 入館者数 |     | 23  | 4     |       |     |       |     | 20  |     |     | 43  |    | 90    |
| その他                   | 団体数  | 2   | 3   | 10    | 3     | 5   | 2     | 3   | 4   | 3   |     |     |    | 35    |
|                       | 入館者数 | 24  | 76  | 200   | 69    | 233 | 21    | 54  | 94  | 80  |     |     |    | 853   |
| 計                     | 団体数  | 18  | 18  | 42    | 21    | 17  | 19    | 16  | 24  | 11  | 5   | 10  | 6  | 207   |
|                       | 入館者数 | 879 | 403 | 1,867 | 1,020 | 589 | 1,102 | 589 | 417 | 192 | 195 | 288 | 70 | 7,611 |
| 総入館者に占める<br>団体入館者の割合% |      | 37  | 12  | 63    | 33    | 20  | 47    | 31  | 17  | 14  | 14  | 11  | 5  | 27    |

## 4 情報発信事業の利用者

文化財データベースアクセス件数 138,908 件

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

(文化財データベース公開件数 384,918 件、文化財情報提供システム 406 件をインターネット上で公開し、白河館のイベント情報等もホームページで紹介している。)

## 5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品 51,943 箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理している。  
写真掲載・転載の申し込み 27 件、出土品借受の申し込み 13 件、収蔵庫保管品の館内閲覧 16 件であった。

## 6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

平成29年度研修実施状況 (平成30年3月31日現在)

| 区分           | 研修対象者      | 研修内容                                                           |
|--------------|------------|----------------------------------------------------------------|
| 基礎研修<br>(5回) | 教職員・市町村職員等 | 主に発掘調査技術の向上と整理技術の向上などをめざす。                                     |
| 専門研修<br>(4回) | 教職員・市町村職員等 | 考古資料を基に、深く細やかな指導を行うための知識や技術の習得と、総合的な歴史価値判断能力の習得などをめざす。         |
| 特別研修<br>(2回) | 教職員・市町村職員等 | 上記以外の研修(教職員を主な対象とする発掘調査研修、市町村職員等の要望に応じて随時実施する研修、無形の文化財に関する研修等) |

参加者：合計 378 名

- ・基礎研修 (5 回)
  - 「考古資料研修」 4月29日 参加者 7名
  - 「文化財保護・活用基礎研修」 5月13日 参加者 4名
  - 「無形の文化財研修」 7月 1日 参加者 4名
  - 「教職員等発掘調査体験研修」 (開催場所：会津坂下町)
    - 8月 2日～ 4日 参加者 11名
  - 「地方史研修」 2月24日 参加者 24名
- ・専門研修 (4回)
  - 「文化財保護・活用専門研修」 9月 9日 参加者 14名
  - 「文化財と関連科学研修」 9月 9日 参加者 16名
  - 「文化財保護指導者研修会」 (開催場所：会津若松市)
    - 10月13日～14日 参加者149名
  - 「考古学専門研修」 10月28日 参加者 31名
- <特別研修> (2回)
  - 職員派遣研修 (2回) 参加者：計 73名
  - 「縄文土器から探る地域間交流」 福島県立図書館 (福島市)
    - 6月18日 参加者 55名

「身近な“もの”から暮らしの移り変わりを見直す」

「ものづくりから製作技術を知る」 昭和村公民館 (昭和村)

3月22日 参加者 18名

## 7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室、別棟として体験学習館を設けている。また、野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

### (1) 常時体験型体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体で体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、「勾玉づくり」「火おこしに挑戦」「昔の道具にさわろう」などである。

常時体験型体験活動状況 (平成30年3月31日現在)

| 月   | 来館者数(人) | 体験者数(人) | 割合(%) |
|-----|---------|---------|-------|
| 4月  | 2,376   | 2,530   | 106   |
| 5月  | 3,283   | 1,200   | 37    |
| 6月  | 2,976   | 3,612   | 121   |
| 7月  | 3,060   | 2,404   | 79    |
| 8月  | 2,901   | 2,793   | 96    |
| 9月  | 2,353   | 1,883   | 80    |
| 10月 | 1,914   | 1,516   | 79    |
| 11月 | 2,511   | 627     | 25    |
| 12月 | 1,401   | 869     | 62    |
| 1月  | 1,443   | 1,012   | 70    |
| 2月  | 2,548   | 1,065   | 42    |
| 3月  | 1,336   | 985     | 74    |
| 計   | 28,102  | 20,496  | 73    |

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

### (2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり・竹かごづくりなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関連性・継続性のあるメニューを年間6回実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

#### ・まほろん森の塾

- 第1回「入塾式」 6月25日 参加者 5名
- 第2回「発表会用衣装・楽器製作」 8月 6日 参加者 5名
- 第3回「発表会使用資材製作」 8月20日 参加者 2名
- 第4回「企画展・発表会」 9月24日 参加者 4名
- 第5回「企画展はにわ解説式」 10月 1日 参加者 4名
- 第6回「活動のまとめ・終了式」 10月29日 参加者 3名

・実技講座

|                     |        |        |
|---------------------|--------|--------|
| 「家族で土器づくり」          | 6月11日  | 参加者15名 |
| 「カラムシから布を作ろう①刈り取り」  | 7月9日   | 参加者13名 |
| 「カラムシから布をつくろう②糸づくり」 | 7月23日  | 参加者13名 |
| 「カラムシから布をつくろう①完成」   | 8月27日  | 参加者13名 |
| 「鏡づくり」              | 10月15日 | 参加者6名  |
| 「竹かごをつくろう①材料採取・加工」  | 11月12日 | 参加者16名 |
| 「竹かごをつくろう②底編み」      | 12月3日  | 参加者10名 |
| 「竹かごをつくろう③立ち上げ」     | 12月17日 | 参加者15名 |
| 「竹かごをつくろう④縁巻き・補修」   | 12月24日 | 参加者14名 |
| 「縄文土器づくり上級編①製作」     | 1月20日  | 参加者12名 |
| 「縄文土器づくり上級編②施文」     | 1月21日  | 参加者10名 |
| 「昔のはきものづくり①」        | 2月3日   | 参加者12名 |
| 「昔のはきものづくり②」        | 2月4日   | 参加者12名 |
| 「縄文土器づくり上級編③野焼き」    | 2月25日  | 参加者9名  |

(3) まほろんイベント

|               |            |           |
|---------------|------------|-----------|
| 「GWまほろんまつり」   | 5月4日～6日    | 参加者1,846名 |
| 「野外展示と植物の見学会」 | 6月4日       | 参加者19名    |
| 「まほろん夏まつり」    | 7月30日      | 参加者625名   |
| 「野外展示と植物の見学会」 | 10月1日      | 参加者29名    |
| 「まほろん大感謝祭」    | 11月18日・19日 | 参加者1,052名 |
| 「まほろん冬まつり」    | 2月18日      | 参加者890名   |

(4) 「おでかけまほろん」

文化財センター白河館の職員が、小中学校等教育機関を対象として職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を教職員と協働でおこなうプログラム。平成29年度は35か所(38校)で実施し、参加者数は合計892名であった。

(平成29年度実績(実施日順))

|      |              |       |         |
|------|--------------|-------|---------|
| 第1回  | 会津坂下町立坂下南小学校 | 4月12日 | 参加者90名  |
| 第2回  | 喜多方市立上三宮小学校  | 4月13日 | 参加者9名   |
| 第3回  | 相馬市立中村第一小学校  | 4月19日 | 参加者67名  |
| 第4回  | 田村市立常葉小学校    | 4月20日 | 参加者22名  |
| 第5回  | 喜多方市立堂島小学校   | 4月26日 | 参加者8名   |
| 第6回  | 二本松市立石井小学校   | 4月27日 | 参加者34名  |
| 第7回  | 二本松市立杉田小学校   | 4月27日 | 参加者29名  |
| 第8回  | 田村市立関本小学校    | 5月10日 | 参加者7名   |
| 第9回  | 柳津町立柳津小学校    | 5月11日 | 参加者11名  |
| 第10回 | 本宮市立白岩小学校    | 5月17日 | 参加者32名  |
| 第11回 | 会津若松市立小金井小学校 | 5月24日 | 参加者100名 |
| 第12回 | 南会津町立館岩小学校   | 5月25日 | 参加者9名   |
| 第13回 | 磐梯町立磐梯第二小学校  | 5月31日 | 参加者7名   |
| 第14回 | 伊達市立伊達小学校    | 6月1日  | 参加者66名  |
| 第15回 | 二本松市立原瀬小学校   | 6月7日  | 参加者46名  |
| 第16回 | 二本松市立新殿小学校   | 6月8日  | 参加者11名  |
| 第17回 | 磐梯町立磐梯第一小学校  | 6月14日 | 参加者18名  |

|      |                          |        |        |
|------|--------------------------|--------|--------|
| 第18回 | 田村市立美山小学校                | 6月15日  | 参加者13名 |
| 第19回 | 北塩原村立裏磐梯小学校              | 6月21日  | 参加者7名  |
| 第20回 | 二本松市立油井小学校               | 7月5日   | 参加者71名 |
| 第21回 | 伊達市立堰本小学校                | 8月30日  | 参加者14名 |
| 第22回 | 二本松市立旭小学校                | 9月6日   | 参加者9名  |
| 第23回 | 双葉町立双葉南小学校・双葉北小学校        | 9月7日   | 参加者5名  |
| 第24回 | 喜多方市立松山小学校               | 9月14日  | 参加者20名 |
| 第25回 | 二本松市立渋川小学校               | 9月20日  | 参加者22名 |
| 第26回 | 飯館村立草野小学校・飯樋小学校・白石小学校    | 9月21日  | 参加者20名 |
| 第27回 | 田村市立西向小学校                | 9月27日  | 参加者8名  |
| 第28回 | 伊達市立上保原小学校               | 10月4日  | 参加者33名 |
| 第29回 | 福島県立会津支援学校竹田校中学部(会津若松市)  | 10月5日  | 参加者6名  |
| 第30回 | 喜多方市立豊川小学校               | 10月11日 | 参加者27名 |
| 第31回 | 福島県立いわき支援学校くぼた校高等部(いわき市) | 10月12日 | 参加者11名 |
| 第32回 | 伊達市立伊達東小学校               | 11月15日 | 参加者15名 |
| 第33回 | 福島県立聴覚支援学校会津校小学部(会津若松市)  | 11月16日 | 参加者2名  |
| 第34回 | 福島県立あぶくま支援学校中学部(郡山市)     | 11月22日 | 参加者25名 |
| 第35回 | 福島県立須賀川支援学校小・中学部(須賀川市)   | 12月20日 | 参加者18名 |

(5) まほろん出前講座

公民館等で活動している子どもクラブ等を対象として、職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を施設職員と協働でおこなうプログラム。平成29年度は5か所で開催し、123名が参加した。

(平成29年度実績)

|     |            |        |        |
|-----|------------|--------|--------|
| 第1回 | いわき市立四倉公民館 | 9月9日   | 参加者43名 |
| 第2回 | 国見町あつかし歴史館 | 9月17日  | 参加者13名 |
| 第3回 | 桑折町睦合公民館   | 11月5日  | 参加者10名 |
| 第4回 | いわき市立小川公民館 | 11月11日 | 参加者28名 |
| 第5回 | 棚倉町子どもセンター | 3月27日  | 参加者29名 |

(6) まるごとまほろん

生涯学習施設等に職員が出向き、収蔵資料等を活用したミニ展示や体験学習を行うプログラム。平成29年度は6か所で開催し、3,517名が参加した。

(平成29年度実績)

|     |               |            |           |
|-----|---------------|------------|-----------|
| 第1回 | うすい百貨店        | 8月8日～13日   | 参加者1,538名 |
| 第2回 | 須賀川アリーナ       | 10月8日      | 参加者704名   |
| 第3回 | 福島県青少年会館      | 10月22日     | 参加者92名    |
| 第4回 | 国立磐梯青少年交流の家   | 10月22日     | 参加者326名   |
| 第5回 | あだたらふるさとホール   | 10月28日・29日 | 参加者409名   |
| 第6回 | 国立那須甲子青少年自然の家 | 10月29日     | 参加者448名   |

## (7) 講演会・講習会

文化財に親しみ、文化財への理解を深めるために、講演会やビデオ上映会を開催した。

- ア 館長講演会 シリーズ『進展する考古学』 5回開催
- 第1回「考古学から見た日本人の特質」  
5月21日 聴講者 30名
  - 第2回「ネアンデルタール人と花」 7月16日 聴講者 36名
  - 第3回「謎の古代文学、その後」 9月17日 聴講者 30名
  - 第4回「戦争遺跡 - 戦跡考古学の今」  
12月16日 聴講者 30名
  - 第5回「日本考古学の歩みと戦後の発掘調査」  
2月3日 聴講者 26名

### イ 文化財講演会

- 第1回「縄文時代中期の世界について」 4月23日 聴講者 60名
- 第2回「ふくしま発掘クロニクル」 6月24日 聴講者 25名
- 第3回「植物利用の考古学」 7月16日 聴講者 27名
- 第4回「音の考古学」 10月 8日 聴講者 30名
- 第5回「戊辰戦争期の陣地遺跡」 12月17日 聴講者 75名
- 第6回「被災地と文化財 - 双葉高校史学部の軌跡 - 」  
1月28日 聴講者 36名
- 第7回「被災地と文化財 - ふるさとの記憶をつなぐ - 」  
3月 4日 聴講者 31名

### ウ 文化財講座

- 「縄文土器の年代と地域性」 8月26日 聴講者 19名

### エ 文化財に関するビデオ上映会

- 「木積の箕をつくる - 千葉県匝瑳市木積 - 」  
7月 1日 聴講者 4名

## 8 常設展事業

常設展示室では、収蔵遺物や復元品を、「見て、触れて、考え、学ぶ」というプロセスを通じて理解しやすい形で展示している。常設展示では、次の各展示コーナーにより構成される。「暮らしのうつりかわり」「みんなの研究ひろば」「しらかわ歴史名場面」「話題の遺跡」については展示替えを積極的に行い、歴史や文化財等に関する新鮮な情報を提供した。

- 暮らしのうつりかわり
- みんなの研究ひろば(まほろん森の塾活動記録等)
- しらかわ歴史名場面(白河市借宿廃寺等)
- 話題の遺跡(会津若松市城東町遺跡等)  
コーナー展示「戊辰戦争と考古学」
- 重要文化財公開コーナー (国指定法正尻遺跡出土品)
- プロムナードギャラリー等でのミニ展示及び展示替え
  - ・ 「土器年代測定結果公開」
  - ・ 「ふくしまの宝物」
  - ・ 「新春干支特別展示」

## 9 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

### (1) 収蔵資料展

- 「縄文土器の年代Ⅱ - 縄文中期の世界に迫る」  
4月 5日～5月 7日 観覧者4,630名

### (2) ふくしま復興展 1

- 「編む・組む・削る - 植物利用の技術史」  
6月24日～8月27日 観覧者6,817名

### (3) 指定文化財展

- 「はには行進曲」  
9月30日～11月26日 観覧者4,391名

### (4) ふくしま復興展 2

- 「被災地の文化財 - 双葉高校史学部の歩み」  
12月16日～3月18日 観覧者5,455名  
(平成29年度中入館者数)

## 10 ボランティア運営事業

### (1) 「まほろんボランティア」の活動状況

- 施設・展示の案内
- 体験学習用器材の整備など
- ボランティア連絡会(8回開催)

### (2) 登録数

- 個人ボランティア 21名



# 第11章 福利厚生

## [教職員の健康管理・福利厚生事業]

### 第1節 概要

(1) 教職員の健康管理については、教職員の安全確保と健康の保持増進のため、労働安全衛生法や学校保健安全法等に基づき各種事業を実施した。

(2) 保健・厚生事業については、特定健康診査等を実施するとともに、教職員人間ドック等をはじめとする健診事業を、県、市町村、公立学校共済組合、一般財団法人福島県教職員互助会等が連携を図り、実施した。教職員の健康管理を重点目標とし、生活習慣病の早期発見・早期治療等健康づくりを支援するための人間ドックや大腸がん検診等の健診事業のほか、保養所等利用助成事業等を実施した。

また、教職員の生涯生活設計の推進のためのライフプラン講座、教職員の健康管理意識を高めるため、生活習慣病、メンタルヘルス等に関する各種セミナー事業を実施し、教職員の心身の健康づくりを支援した。さらに、ふくしま教職員こころのケア事業等をはじめとする各種相談事業やストレスチェック事業を実施し、メンタルヘルス対策の充実を図った。

主な事業と実績は、以下のとおりである。

### 第2節 事業実績

#### 1 教職員の健康管理

教職員の健康管理を適正に行うため、雇入時健康診断、教職員定期健康診断、教職員結核健康診断、ストレスチェック事業等を実施した。

##### (1) 雇入時健康診断結果

教育庁及び県立学校等の新規採用教職員

ア 健康診断実施状況の内訳

| 受診者数 | 要注意者数 |       | 要精密検査者数 |       |
|------|-------|-------|---------|-------|
|      | 人数    | 割合    | 人数      | 割合    |
| 134  | 47    | 35.1% | 31      | 23.1% |

イ 精密検査の内訳

| 検査項目   | 聴力   | 血圧   | 貧血   | 血中   | 肝機能  | 血糖   | 尿    | 心電   | 胸部   |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 受診者数   | 134  | 134  | 134  | 134  | 134  | 134  | 133  | 134  | 134  |
| 要精密検査者 | 1    | 3    | 10   | 12   | 7    | 1    | 7    | 0    | 2    |
| 要精密検査率 | 0.7% | 2.2% | 7.5% | 9.0% | 5.2% | 0.7% | 5.3% | 0.0% | 1.5% |

(注) 要精密検査者については、要精密検査項目が1人で2つ以上ある場合には、該当項目にそれぞれ計上した。

##### (2) 教職員定期健康診断結果

教育庁及び県立学校等教職員（新規採用教職員を除く）

ア 健康診断実施状況の内訳

| 年齢・性別 | 区分 | 受診者数  | 要注意者数 |       | 要精密検査者数 |       |
|-------|----|-------|-------|-------|---------|-------|
|       |    | 人数    | 人数    | 割合    | 人数      | 割合    |
| 35歳以上 | 男  | 3,246 | 945   | 29.1% | 2,204   | 67.9% |
|       | 女  | 2,103 | 827   | 39.3% | 1,046   | 49.7% |
|       | 計  | 5,349 | 1,722 | 32.2% | 3,250   | 60.8% |
| 35歳未満 | 男  | 732   | 305   | 41.7% | 260     | 35.5% |
|       | 女  | 681   | 198   | 29.1% | 172     | 25.3% |
|       | 計  | 1,413 | 503   | 35.6% | 432     | 30.6% |
| 合計    | 男  | 3,978 | 1,250 | 31.4% | 2,464   | 61.9% |
|       | 女  | 2,784 | 1,025 | 36.8% | 1,218   | 43.8% |
|       | 計  | 6,762 | 2,275 | 33.6% | 3,682   | 54.5% |

イ 要精密検査の内訳

| 検査項目    | 聴力    |       | 血圧    |       | 貧血    |       | 血中脂質   |       | 肝機能   |       | 腎機能   |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満  | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 |
| 受診者数    | 1,410 | 5,331 | 1,413 | 5,345 | 1,411 | 5,340 | 1,411  | 5,340 | 1,411 | 5,340 | 1,411 | 5,139 |
| 要精密検査者数 | 15    | 337   | 46    | 873   | 51    | 261   | 226    | 1,396 | 101   | 604   | 57    | 244   |
| 要精密検査率  | 1.1%  | 6.3%  | 3.3%  | 16.3% | 3.6%  | 4.9%  | 16.0%  | 26.1% | 7.2%  | 11.3% | 4.0%  | 4.7%  |
| 検査項目    | 血糖    |       | 尿     |       | 心電図   |       | 胃エックス線 |       | 大腸がん  |       | 眼底    |       |
|         | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満  | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 |
| 受診者数    | 1,413 | 5,347 | 1,393 | 5,305 | /     | 5,315 | /      | 4,061 | /     | 5,050 | /     | 5,279 |
| 要精密検査者数 | 13    | 329   | 72    | 344   |       | 227   |        | 208   |       | 278   |       | 255   |
| 要精密検査率  | 0.9%  | 6.2%  | 5.2%  | 6.5%  |       | 4.3%  |        | 5.1%  |       | 5.5%  |       | 4.8%  |

(注) 要精密検査者については、要精密検査項目が1人で2つ以上ある場合には、該当項目にそれぞれ計上した。

(3) 教職員結核健康診断結果

教育庁及び県立学校等教職員（新規採用教職員を除く）

| 受診者数   | 要精密検査者数 | 要精密検査率 |
|--------|---------|--------|
| 6,456人 | 53人     | 0.8%   |

(4) 教職員ストレスチェック事業（県）

労働安全衛生法に基づくストレスチェックを教育庁及び県立学校等教職員（平成29年7～11月実施）

検査を受けた職員数、率 6,439人、90.5%

(5) VDT作業従事教職員健康診断（県）

教育庁及び県立学校等教職員のうち作業に従事したもの  
受診者数 4,982人

(6) 警戒区域等で業務に従事した職員の健康診断（県）

教育庁及び県立学校等教職員のうち作業に従事したもの  
受診者延数 941人

2 保健事業

(1) 特定健康診査等（共済組合）

平成29年度中に、40～74歳となった公立学校共済組合員（任意継続組合員も含む）とその被扶養者を対象に、特定健康診査を実施した。特定健康診査の結果、生活習慣病のリスクが高い場合、その程度に応じて特定保健指導を実施した。

| 対象者数    | 受診者数    | 受診率   | 保健指導対象者 |
|---------|---------|-------|---------|
|         |         | B/A   |         |
| A       | B       |       |         |
| 17,298人 | 14,977人 | 86.6% | 2,650人  |

(H29年度確定値)

(2) 人間ドック（県・市町村・公立大学法人・共済組合・互助会）

ア 教職員人間ドック（県・市町村・公立大学法人・共済組合・互助会）

平成29年4月1日現在、満35・38・40・43・45・48・50・53・55・58歳、61歳以上の教職員を対象に、人間ドック（脳ドックを含む。）を実施した。

| 対象者数   | 申込者数   | 受診者数   | 申込率   | 受診率   |       | 検診結果 |       |       |       |
|--------|--------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
|        |        |        | B/A   | C/A   | C/B   | 異常なし | 要注意   | 要精検   | 治療中   |
| A      | B      | C      |       |       |       |      |       |       |       |
| 6,562人 | 5,352人 | 5,308人 | 81.5% | 80.8% | 99.1% | 3.4% | 37.0% | 36.2% | 23.4% |

イ 配偶者人間ドック（共済組合・互助会）

平成 29 年 4 月 1 日現在、満 35 歳以上の被扶養配偶者を対象に、人間ドックを実施した。

| 申込者数<br>A | 受診者数<br>B | 受診率<br>B/A | 検診結果 |       |       |       |
|-----------|-----------|------------|------|-------|-------|-------|
|           |           |            | 異常なし | 要注意   | 要精検   | 治療中   |
| 276 人     | 250 人     | 90.5%      | 2.8% | 39.2% | 42.0% | 16.0% |

ウ 定年退職予定者人間ドック（互助会）

平成 29 年 4 月 1 日現在、満 59 歳の教職員を対象に、人間ドックを実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果 |       |       |       |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし | 要注意   | 要精検   | 治療中   |
| 637 人     | 476 人     | 468 人     | 74.7%      | 73.5% | 98.3% | 1.3% | 27.1% | 25.4% | 46.2% |

(3) 大腸がん検診（共済組合・互助会）

平成 29 年 4 月 1 日現在、満 35 歳以上の教職員（人間ドック及び脳ドック受診者を除く。）を対象に、大腸がん検診を実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率  |       | 検診結果  |       |       |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|------|-------|-------|-------|-------|------|
|           |           |           |            | C/A  | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検   | 治療中  |
| 11,204 人  | 872 人     | 778 人     | 7.7%       | 6.9% | 88.9% | 59.8% | 29.0% | 10.2% | 1.0% |

(4) 乳がん・子宮がん検診（県・公立大学法人・共済組合・互助会）

平成 29 年 4 月 1 日現在、満 20 歳以上の女性教職員（人間ドック及び脳ドック受診者を除く。）を対象に、乳がん・子宮がん検診を実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果  |       |      |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検  | 治療中  |
| 7,109 人   | 3,874 人   | 3,721 人   | 54.5%      | 52.3% | 96.0% | 83.7% | 11.0% | 4.9% | 0.4% |

(5) 脳ドック（県・市町村・公立大学法人・共済組合・互助会）

平成 29 年 4 月 1 日現在、満 40・43・45・48・50・53・55・58 歳、61 歳以上の教職員を対象に、脳ドックを実施した。

※申込者数及び受診者数は教職員人間ドックの内数で、検診結果は人間ドック項目を除いた項目の構成比率である。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果  |       |       |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検   | 治療中  |
| 5,836 人   | 881 人     | 876 人     | 15.0%      | 15.0% | 99.4% | 46.4% | 31.3% | 22.0% | 0.3% |

(6) 脳検診（共済組合・互助会）

平成 29 年 4 月 1 日現在、満 40・43・45・48・50・53・55・58 歳、61 歳以上の教職員を対象に、脳検診を実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果  |       |      |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検  | 治療中  |
| 5,836 人   | 1,802 人   | 1,739 人   | 30.8%      | 29.8% | 96.5% | 80.2% | 15.0% | 3.6% | 1.2% |

(7) 肺がん検診（共済組合・互助会）

平成 29 年 4 月 1 日現在、満 40 歳以上の教職員を対象に、肺がん検診を実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果  |       |      |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検  | 治療中  |
| 14,661 人  | 1,511 人   | 1,490 人   | 10.3%      | 10.1% | 98.6% | 63.4% | 26.8% | 8.4% | 1.4% |

### (8) 胃がん検診（共済組合・互助会）

平成 29 年 4 月 1 日現在、満 30・33 歳の教職員を対象に胃がん検診を実施した。

| 対象者数  | 申込者数 | 受診者数 | 申込率   | 受診率   |       |       | 検診結果  |      |      |     |
|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-----|
|       |      |      |       | B/A   | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意  | 要精検  | 治療中 |
| A     | B    | C    |       |       |       |       |       |      |      |     |
| 538 人 | 95 人 | 73 人 | 21.4% | 13.6% | 63.5% | 76.7% | 13.7% | 8.2% | 1.4% |     |

## 3 厚生事業

### (1) 厚生事業

#### ア ライフプラン講座（共済組合・互助会）

教職員一人ひとりが、生涯にわたり健やかで充実したゆとりある生活を送ることができるよう、退職後の生活を視野に入れた生涯生活設計づくりとその実現を支援するため、ライフプラン講座を開催した。

| 日 程   | 平成 29 年 8 月 4 日～10 日                                                                                                                 |                |                 |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----------------|
| 会 場   | ビッグパレット<br>ふくしま                                                                                                                      | 南東北総合<br>卸センター | ビッグパレット<br>ふくしま |
| プログラム | ライフプラン設計演習<br>○20代～30代コース（8月9日）<br>株式会社FP研究所 石田 英憲<br>○40代コース（8月9日）<br>株式会社FP研究所 今野 隆文<br>○50代～60代コース（8月4日・8月10日）<br>株式会社FP研究所 石田 英憲 |                |                 |
| 受講者数  | 229 人                                                                                                                                | 42 人           | 208 人           |

#### イ 在宅介護講座（共済組合）

組合員を対象に、在宅介護に必要な知識や技術を身につけるための実技中心の 1 日介護講座を実施した。

| 日 程   | 平成 29 年<br>8 月 3 日                                                                                                                                        | 平成 29 年<br>8 月 8 日 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 会 場   | 福島県男女共生センター                                                                                                                                               |                    |
| プログラム | (1) 講義「在宅介護の基礎知識」<br>(2) 実技Ⅰ「環境整備と更衣の仕方」<br>(3) 実技Ⅱ「食事介助法と排泄援助」<br>(4) 実技Ⅲ「清潔援助」<br>8月3日<br>福島県介護福祉士会<br>小山田 米子、鈴木 慎也<br>8月8日<br>福島県介護福祉士会<br>関根 誠一、和田 広美 |                    |
| 受講者数  | 35 人                                                                                                                                                      | 22 人               |

#### ウ 管理監督者メンタルヘルス研修会

管理監督者に対し、メンタルヘルスケアに関する基礎知識や職場環境等の改善方法を習得させるため、研修会を実施した。

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 日 程  | 平成29年5月8日～平成29年8月23日（計7回） |
| 会 場  | 県内各方部                     |
| 講 師  | (株)インソース 藤田美代子、長澤敦志       |
| 受講者数 | 計 752 人                   |

#### エ メンタルヘルスセミナー（共済組合）

組合員の心の健康を保持増進するため、メンタルヘルスに関する基礎知識を習得するための講座を開催した。

| 日 程   | 平成 29 年<br>7 月 24 日                                                                      | 平成 29 年<br>7 月 25 日 | 平成 29 年<br>7 月 27 日 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------------|
| 会 場   | ビッグパレット<br>ふくしま                                                                          | 道の駅<br>南相馬          | 会津アピオ               |
| プログラム | 講演：メンタルヘルスの基礎知識<br>演習：人間関係のストレスを軽減するコミュニケーション法 アンガーマネジメント<br>講師：(株)カイトック<br>皆川 芳弘、今林 美都菜 |                     |                     |
| 受講者数  | 59 人                                                                                     | 14 人                | 43 人                |

#### オ 女性のための健康セミナー（共済組合）

女性組合員を対象に、健康意識の向上を図るため、女性特有の病気についての知識や予防法等を習得する講演、実技を行うセミナーを開催した。

| 日 程   | 平成 29 年 8 月 1 日                                                                                                                                                           | 平成 29 年 8 月 8 日 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 会 場   | 南東北卸センター<br>協同組合                                                                                                                                                          | 会津アピオ           |
| プログラム | (1) 講演<br>「女性のきれい元気のために」<br>(株)カイトック 講師 樋口 恵子<br>(2) 演習<br>「好きな香りと色を付けて癒やしの石鹸づくり」<br>(株)カイトック 講師 樋口 恵子<br>(3) 実技<br>「心と身体をコントロールするエクササイズ<br>ピラティス体験」<br>(株)カイトック 講師 綿貫 恵子 |                 |
| 受講者数  | 197 人                                                                                                                                                                     | 76 人            |

カ 教職員のためのカラダ元気力アップ！セミナー（共済組合）

組合員を対象に、生活習慣病の知識と予防法等に関する講話と運動指導を行うセミナーを実施した。

| 日 程                   | 平成 29 年<br>7 月 31 日                                                                                                                                     | 平成 29 年<br>8 月 1 日 | 平成 29 年<br>8 月 2 日 |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|
| 会 場                   | 会津アピオ<br>スペース                                                                                                                                           | ビッグパレット<br>ふくしま    | ビッグパレット<br>ふくしま    |
| プ<br>ロ<br>グ<br>ラ<br>ム | (1) 講演 「快適人生への未来日記」<br>(2) 演習 「セルフチェックでカラダ改善」<br>(3) 実技<br>「ボクシングエクササイズ&リラクゼーション」<br>(7月31日・8月1日)<br>「体幹トレーニング&リラクゼーション」<br>(8月2日)<br>(株)カイトック 講師 皆川 芳弘 |                    |                    |
| 受講者数                  | 39 人                                                                                                                                                    | 39 人               | 72 人               |

キ 食のセミナー（共済組合）

組合員と被扶養配偶者を対象に、「高血圧」、「糖尿病」の予防・改善のため、「食に関する秘訣」を習得するセミナーを実施した。

| 日 程                   | 平成 29 年 8 月 3 日                                                                                               | 平成 29 年 8 月 7 日 |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 会 場                   | いわきゆったり館                                                                                                      | ビッグパレットふくしま     |
| プ<br>ロ<br>グ<br>ラ<br>ム | (1) 講話 「高血圧・糖尿病について」<br>(2) 演習 「栄養バランスのとれた食事」<br>「弁当や汁物のカロリーや塩分」<br>(公財)福島県保健衛生協会<br>保健師 本田 恭子<br>管理栄養士 軒名 礼子 |                 |
| 受講者数                  | 39 人                                                                                                          | 38 人            |

ク 保育補助（共済組合）

平成 29 年度内に出産し又は出産を予定する女性組合員及び被扶養配偶者を有する組合員に対し、保育の支援及び福祉の向上に資するため、乳幼児の保育に必要な用品を出生児 1 人につき 1 セット交付した。

| 区分   | 内 容                                     | 交付件数    |
|------|-----------------------------------------|---------|
| Aセット | 電子レンジで除菌セット<br>ベビー用耳式体温計<br>お風呂用湯温計     | 1 0 0 件 |
| Bセット | ベビー食器セット（14 点セット）<br>ベビーマグセット（スペアパーツ付属） | 1 9 2 件 |

| 区分   | 内 容                                                                                                 | 交付件数    |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| Cセット | ベビー用バスローブ<br>肌着（前開きミニオール）                                                                           | 7 2 件   |
| Dセット | 月刊「赤ちゃん和妈妈」 12 冊<br>お誕生号 1 冊<br>単行本<br>「赤ちゃんのつぶやき」 1 冊<br>「やさしい離乳食」 1 冊<br>冊子<br>「お医者さんにかかるまでに」 1 冊 | 2 2 件   |
| 計    |                                                                                                     | 3 8 6 件 |

ケ 教職員健康相談事業（共済組合）

（こころとからだの健康相談）

健康上の不具合や心身の悩みについて相談を受けられるよう、18 医療機関に相談業務を委託。

のべ利用件数 12 件

コ 教職員相談事業（県）

専任の相談員を配置し、教職員の各種相談に応じた。

相談件数 472 件

サ メンタルヘルスサポート（セルフチェック）事業

公立学校共済組合福島支部のホームページにアクセスし、所定の質問に回答することで、自己の状態を確認した。

アクセス数 15,553 件

シ ふくしま教職員こころのケア事業（共済組合）

東日本大震災を受けて、日常のストレスやこころの悩みを専門のカウンセラーに相談できる機会を提供するため、7 カウンセリング機関に業務を委託。

カウンセリングのべ利用件数 579 件

講師派遣利用件数 5 件

グループカウンセリングコース・

ピアカウンセリングコース利用件数 2 件

ス 教職員メンタルヘルスカウンセリング事業（県）

常勤講師等臨時的任用職員の心の疾患の未然防止や心の健康保持増進を図るため7カウンセリング機関に業務を委託

カウンセリングのべ利用件数 7 件

セ 保養所等利用助成（共済組合）

組合員が福島支部指定の共済組合宿泊施設を利用した場合、利用料金の一部を助成した。

○ あづま荘利用助成

| 区分         | 助成対象                               | 助成内容                                    | 助成件数    |
|------------|------------------------------------|-----------------------------------------|---------|
| 宿泊利用助成     | 組員・被扶養者・配偶者・子・父母・祖父母が宿泊したとき        | 1人1泊1食まで<br>2,000円<br>1人1泊2食<br>3,000円等 | 11,411件 |
| 会議室利用助成    | 組員が開催する諸会議                         | 会議室料金の<br>2分の1の額                        | 76件     |
| 結婚式利用助成    | 新郎・新婦が組員のとき                        | 1組<br>200,000円                          | 0件      |
|            | 新郎・新婦の一方あるいは親が組員のとき                | 1組<br>100,000円                          | 0件      |
| 会食利用助成     | 組員が5名以上で、かつ1人5,000円以上の会食を行ったとき     | 1人<br>1,000円                            | 117件    |
| 法要利用助成     | 組員及び直系親族が法要を行うとき                   | 利用額の30%<br>(上限70,000円)                  | 5件      |
| 年金受給者等利用助成 | 福島支部発行の「宿泊施設特別利用者証」の交付を受けた者が宿泊したとき | 1人<br>1,000円                            | 456件    |

○ 他支部保養所等利用助成

県内2、県外10の指定宿泊施設利用に対し、1人1泊1,500円、計1,128件の助成を行った。

ソ 指定旅館等利用助成（互助会）

会員の保養及び健康の保持増進を図るため、県内（26施設）、県外（9施設）の宿泊施設等を指定し、会員が利用したとき、利用料金の一部を助成した。

| 区分        | 助成件数    | 金額       |
|-----------|---------|----------|
| 宿泊利用助成    | 13,766件 | 36,831千円 |
| 会食利用助成    | 121件    | 121千円    |
| アアマリン利用助成 | 413件    | 360千円    |
| 計         | 14,300件 | 37,312千円 |

タ 弔慰供花（共済組合）

在職中に亡くなった組員の霊前に供花を行い、哀悼の意を表した。

供花件数 9件

チ 法律相談（共済組合）

組員が抱える民事問題を早期解決に導くため法律相談を実施した。

相談件数 5件

ツ リフレッシュ助成（互助会）

勤続10年及び20年の節目に心身のリフレッシュを図るための助成（旅行券又は宿泊施設利用券）を実施した。

実施件数 593件

テ 永年勤続リフレッシュ助成（互助会）

永年勤続表彰会員及び20年以上30年未満勤続し退職した会員等に対し、助成品（旅行券、宿泊施設利用券、図書券又は現金）を交付した。

永年勤続表彰会員 725名

20年以上30年未満勤続し退職した会員 5名

勤続30年以上で表彰を受けずに退職した会員 5名

ト 国内外旅行助成（互助会）

福島空港を利用して旅行した会員に対し、旅行代金の一部を助成した。

| 区分   | 助成件数 | 金額      |
|------|------|---------|
| 国内旅行 | 222件 | 1,110千円 |
| 海外旅行 | 6件   | 30千円    |
| 計    | 228件 | 1,140千円 |

ナ 教育塔合祀遺族助成（互助会）

教育塔に合祀された教職員、生徒児童等の遺族が教育祭に参加するための経費の一部を助成した。

教育祭参加者数 4人

ニ 会員交流促進事業（互助会）

独身会員を対象に異性との出会いと交流の場を提供することを目的に実施した。

事業参加者数 29人

(2) 公益事業

ア へき地等教育事業助成（互助会）

県人事委員会指定の特地以上のへき地学校及び特別支援学校に在学する児童生徒の健全育成を図るため、これらの学校に図書を贈呈した。

対象校 93校

児童生徒数 5,603人

イ 互助会文庫（互助会）

県民の教育文化の向上に寄与するため、県立図書館に図書を寄贈し、広く県民の利用に供した。

一般・児童生徒用 1,160冊（累計 62,201冊）

### 第3節 貸付事業

#### 1 共済組合

平成 29 年度における共済組合貸付事業は、住宅貸付け（介護構造部分貸付けを含む。）をはじめ、一般、教育、結婚、葬祭の 5 種類の新規貸付けを行った。

#### (1) 貸付けの状況

種類別貸付けの状況は次のとおりである。

(単位：件、千円)

| 種 類 別     | 件 数 | 金 額     | 金額割合  |
|-----------|-----|---------|-------|
| 一 般 貸 付 け | 129 | 144,843 | 48.8  |
| 住 宅 貸 付 け | 11  | 63,622  | 21.4  |
| 教 育 貸 付 け | 55  | 68,151  | 23.0  |
| 結 婚 貸 付 け | 7   | 13,900  | 4.7   |
| 葬 祭 貸 付 け | 5   | 6,200   | 2.1   |
| 計         | 207 | 296,716 | 100.0 |

### 第4節 宿泊・保養施設

公立学校共済組合では、組合員の福利厚生施設として、飯坂保養所「あづま荘」を運営しているが、平成 29 年度の利用状況は、次のとおりである。

| 種別    | 施設                                                                                                     | あづま荘                                                                                                                                                                                                                                                  |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|-------|---------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|---|----------|
|       | 利用人員                                                                                                   | <table border="1"> <tr><td>宿 泊</td><td>15,179 人</td></tr> <tr><td>会 議</td><td>2,113 人</td></tr> <tr><td>宴 会</td><td>595 人</td></tr> <tr><td>婚 礼</td><td>0 人</td></tr> <tr><td>休 憩</td><td>0 人</td></tr> <tr><td>計</td><td>17,887 人</td></tr> </table> | 宿 泊    | 15,179 人 | 会 議   | 2,113 人 | 宴 会 | 595 人 | 婚 礼 | 0 人 | 休 憩 | 0 人 | 計 | 17,887 人 |
| 宿 泊   | 15,179 人                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                       |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
| 会 議   | 2,113 人                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                       |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
| 宴 会   | 595 人                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                       |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
| 婚 礼   | 0 人                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                       |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
| 休 憩   | 0 人                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                       |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
| 計     | 17,887 人                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                       |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
| 利用率   | <table border="1"> <tr><td>宿 泊</td><td>43.8 %</td></tr> <tr><td>宿 泊 外</td><td>2.1 %</td></tr> </table> | 宿 泊                                                                                                                                                                                                                                                   | 43.8 % | 宿 泊 外    | 2.1 % |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
| 宿 泊   | 43.8 %                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                       |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |
| 宿 泊 外 | 2.1 %                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                       |        |          |       |         |     |       |     |     |     |     |   |          |

※利用率

$$\cdot \text{宿 泊} = \frac{\text{利用人数 (宿泊)}}{\text{宿泊延定員 (宿泊定員} \times \text{営業日数)}} \times 100$$

$$\cdot \text{宿泊外} = \frac{\text{利用人数 (会議・宴会・婚礼)}}{\text{宿泊外延定員 (宿泊外定員} \times \text{営業日数)}} \times 100$$

### 第5節 児童手当（特例給付を含む）

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする「児童手当法」に基づき、以下のとおり支給した。

(単位：人、千円)

|          | 平成 30 年 3 月の<br>認 定 状 況 |               | 支給額     |
|----------|-------------------------|---------------|---------|
|          | 受 給<br>資格者数             | 支給対象<br>児 童 数 |         |
| 本庁・教育機関等 | 127                     | 247           | 24,590  |
| 小学校      | 1,113                   | 1,926         | 245,945 |
| 中学校      | 1,023                   | 1,754         | 223,475 |
| 高等学校     | 1,087                   | 1,804         | 239,250 |
| 特別支援学校   | 321                     | 566           | 75,795  |
| 計        | 3,671                   | 6,297         | 809,055 |

### 第6節 財産形成貯蓄制度

教職員の計画的な財産形成を促進するために財産形成貯蓄を導入し、昭和 62 年 3 月から控除預入を開始したが、平成 29 年度における契約状況は次のとおりである。

#### 財産形成貯蓄契約状況

◎貯蓄種類別契約件数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

(単位：件)

|      | 期日指定<br>定期預金 | 金銭<br>信託 | 公社債<br>投資信託 | 積立<br>保険 | 計      |
|------|--------------|----------|-------------|----------|--------|
| 一般貯蓄 | 7,318        | 58       | 140         | 563      | 8,079  |
| 年金貯蓄 | 1,746        | 39       | 56          | 285      | 2,126  |
| 住宅貯蓄 | 433          | 9        | 14          | 52       | 508    |
| 計    | 9,497        | 106      | 210         | 900      | 10,713 |

契約者数 8,543 人

### [福利給付事業]

#### 第7節 概要

教職員の福利給付事業については、県教育委員会、公立学校共済組合、一般財団法人福島県教職員互助会において、組合員（会員）に対する各種の給付事業を実施した。

一方、長期給付事業については、教職員等への退職手当、恩給及び厚生（共済）年金の支給を行った。

なお、平成 29 年度の年金額は平成 28 年度から 0.1%の引き下げとなった。

また、恩給年額については、平成 22 年度以降据え置きとなっている。

## 第8節 短期給付

### 1 共済組合

平成29年度末現在における組合員数は、現職組合員数19,246人（前年同期比133人減）、任意継続組合員327人（同19人減）の計19,573人（同152人減）である。

また、被扶養者数は、17,111人（同489人減）、組合員1人当たりの被扶養者数は、0.87人となっている。

平成29年度の共済組合短期給付の給付総額は、5,221,635千円で、前年度対比86,478千円の減少となった。

総額に占める割合は、法定給付97.58%、附加給付2.42%となっており、給付の内訳は次のとおりである。

共済組合短期給付内訳表

| 法定給付   |          |         |                | 附加給付    |             |       |        |         |
|--------|----------|---------|----------------|---------|-------------|-------|--------|---------|
| 種別     | 件数(件)    | 給付額(千円) | 種別             | 件数(件)   | 給付額(千円)     | 種別    | 件数(件)  | 給付額(千円) |
| 医療給付   | 本人医療費    | 173,359 | 1,830,594      | 医療給付    | 家族療養費       | 933   | 28,329 |         |
|        | 家族医療費    | 144,931 | 1,393,649      |         | 家族訪問看護療養費   | 0     | 0      |         |
|        | 高額療養費    | 2,978   | 294,848        |         | 出産費         | 276   | 13,800 |         |
|        | 薬剤       | 145,120 | 954,323        |         | 家族出産費       | 128   | 6,400  |         |
|        | 移送費      | 0       | 0              |         | 埋葬料         | 13    | 325    |         |
|        | 小計       | 466,388 | 4,473,414      |         | 家族埋葬料       | 16    | 400    |         |
| その他の給付 | 出産費      | 277     | 116,794        | その他の給付  | 直営保健給付家族療養費 | 0     | 0      |         |
|        | 家族出産費    | 124     | 53,495         |         | 傷病手当金       | 16    | 3,973  |         |
|        | 埋葬料      | 14      | 652            |         | 災害見舞金       | 0     | 0      |         |
|        | 家族埋葬料    | 16      | 800            |         | 結婚手当金       | 0     | 0      |         |
|        | 傷病手当金    | 280     | 67,005         |         | 入院附加金       | 0     | 0      |         |
|        | 出産手当金    | 21      | 2,549          |         |             |       |        |         |
|        | 休業手当金    | 4       | 66             |         |             |       |        |         |
|        | 育児休業手当金  | 2,137   | 372,236        |         |             |       |        |         |
|        | 介護休業手当金  | 53      | 8,490          |         |             |       |        |         |
|        | 弔慰金      | 0       | 0              |         |             |       |        |         |
|        | 家族弔慰金    | 0       | 0              |         |             |       |        |         |
|        | 災害見舞金    | 0       | 0              |         |             |       |        |         |
|        | 小計       | 2,926   | 622,087        |         |             |       |        |         |
|        | ① 法定給付 計 | 469,314 | 5,095,501      |         | ② 附加給付 計    | 1,382 | 53,227 |         |
|        |          |         | ③ 一部負担金払戻金     | 2,489   | 72,907      |       |        |         |
|        |          |         | 短期給付合計 (①+②+③) | 473,185 | 5,221,635   |       |        |         |

### 2 互助会

平成29年度末現在の互助会の会員数は、16,267人（前年同期比309人減）となっている。

互助会給付規程に基づいた短期給付金及び厚生給付金事業の内訳については、次のとおりである。

#### (1) 短期給付金

| 種別           | 件数(件)  | 給付額(千円) |
|--------------|--------|---------|
| 医療補助金 (被扶養者) | 12,251 | 48,636  |
| 死亡弔慰金 (会員)   | 11     | 550     |
|              | (被扶養者) | 13      |
| 災害見舞金        | 0      | 0       |
| 出産見舞金 (会員)   | 193    | 9,650   |
|              | (被扶養者) | 94      |
| 計            | 12,562 | 62,186  |

#### (2) 厚生給付金

| 種別      | 件数(件)  | 給付額(千円) |
|---------|--------|---------|
| 医療給付金   | 42,891 | 160,009 |
| 死亡給付金   | 581    | 18,340  |
| 出産給付金   | 92     | 2,820   |
| 結婚祝金    | 221    | 11,050  |
| 入学祝金    | 543    | 16,290  |
| 入院療養見舞金 | 1,601  | 17,110  |
| 障害見舞金   | 95     | 4,750   |
| 育児休業給付金 | 2,197  | 31,515  |
| 介護休暇給付金 | 19     | 2,043   |
| 計       | 48,240 | 263,927 |



## 第9節 長期給付

平成29年度の教職員等に対する退職給付の執行状況は、次のとおりである。

### 1 恩給

#### (1) 恩給の受給者数及び支給の状況

ア 支給人員及び支給額

普通恩給等の支給人員及び支給額は、次のとおりである。

平成29年度末現在の受給者数は57人（前年度比17人減）、平成29年度における支給総額は89,329千円（同16,375千円減）となっており、受給者の高齢化に伴い、いずれも減少傾向にある。

| 学校種別    | 普通恩給      |             | 扶助料       |             | 退隠料       |             | 遺族扶助料     |             | 計         |             |
|---------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
|         | 人員<br>(人) | 支給額<br>(千円) | 人員<br>(人) | 支給額<br>(千円) | 人員<br>(人) | 支給額<br>(千円) | 人員<br>(人) | 支給額<br>(千円) | 人員<br>(人) | 支給額<br>(千円) |
| 小学校     | 4         | 8,029       | 35        | 50,059      | 1         | 1,232       | 0         | 0           | 40        | 59,320      |
| 中学校     | 1         | 1,578       | 13        | 23,895      | 1         | 2,219       | 0         | 0           | 15        | 27,692      |
| 特別支援学校  | 0         | 0           | 0         | 0           | 0         | 0           | 1         | 112         | 1         | 112         |
| 高等学校    | 0         | 0           | 0         | 0           | 0         | 0           | 0         | 394         | 0         | 394         |
| 教育庁・その他 | 0         | 0           | 1         | 945         | 0         | 0           | 0         | 866         | 1         | 1,811       |
| 計       | 5         | 9,607       | 49        | 74,899      | 2         | 3,451       | 1         | 1,372       | 57        | 89,329      |

イ 裁定及び失権

裁定を受けた者及び死亡等により受給権を失った者は、次のとおりである。（単位：人）

| 恩給種別  | 裁 定 | 失 権 | 左のうち<br>完全失権 |
|-------|-----|-----|--------------|
| 普通恩給  | 0   | 2   | 2            |
| 扶助料   | 0   | 11  | 11           |
| 退隠料   | 0   | 2   | 2            |
| 遺族扶助料 | 0   | 2   | 2            |
| 計     | 0   | 17  | 17           |

#### (2) 恩給の改定について

恩給は、国民年金改定率(国民年金法第27条で規定する改定率)を基準に毎年度改定し、当該年度の4月以降に適用される。

直近の改定としては、平成21年度に0.9%の引き上げがされているが、22年度以降は実施していない。

被用者年金一元化法により、平成28年4月分以後の年金の支払額について端数処理の方法が変更された。

### 2 退職手当

#### (1) 退職手当の支給人員及び支給額

退職手当の支給人員及び支給額は、次のとおりである。

| 学校種別    | 人員 (人) | 支給額 (千円)   |
|---------|--------|------------|
| 教育庁・その他 | 13     | 258,266    |
| 小学校     | 1,229  | 9,123,539  |
| 中学校     | 753    | 3,736,673  |
| 高等学校    | 546    | 3,243,961  |
| 特別支援学校  | 372    | 914,098    |
| 計       | 2,913  | 17,276,537 |

#### (1) 失業者の退職手当

退職手当のうち「失業者の退職手当」の支給人員及び支給額は、次のとおりである。

| 学校種別    | 人員 (人) | 支給額 (千円) |
|---------|--------|----------|
| 教育庁・その他 | 0      | 0        |
| 小学校     | 18     | 6,118    |
| 中学校     | 14     | 4,713    |
| 高等学校    | 5      | 2,167    |
| 特別支援学校  | 5      | 1,531    |
| 計       | 42     | 14,529   |

### 3 年金

#### (1) 進達件数

老齢厚生（退職共済）年金等の本部への進達件数は、次のとおりである。

（単位：件）

| 進達<br>区分 | 旧共済法による年金 |      | 新共済法・一元化法による年金       |                          |                          |                    |                    | 計   |
|----------|-----------|------|----------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|-----|
|          | 退職年金      | 障害年金 | 老齢厚生<br>(退職共済)<br>年金 | 老齢厚生<br>(退職共済)<br>年金(特別) | 老齢厚生<br>(退職共済)<br>年金(繰上) | 障害厚生<br>(共済)<br>年金 | 遺族厚生<br>(共済)<br>年金 |     |
| 決定請求     | 0         | 0    | 20                   | 92                       | 2                        | 13                 | 13                 | 140 |
| 改定請求     | 0         | 0    | 13                   | 20                       | 0                        | 0                  | 0                  | 33  |

#### (2) 支給人員及び支給額

老齢厚生（退職共済）年金等の平成 29 年度末現在における支給人員は 23,586 人で、平成 29 年度における支給額は 37,359,063 千円、平均年齢は 77.1 歳である。

平成 27 年 10 月の被用者年金一元化以降は、新たに厚生年金、職域加算額の年金及び年金払い退職給付の年金が決定されることになったが、一人の者に厚生年金と職域加算額の年金など複数の年金受給権が発生することになるため、年金種別ごとの受給者数が増加している。

前年度に比較して人員で 1,351 人の増加、支給額で 339,911 千円の減少となっている。

| 年金種別       | 受給者数         |        |        | 平均年齢   | 平均年金額<br>(円) | 支給額<br>(円)     |                |
|------------|--------------|--------|--------|--------|--------------|----------------|----------------|
|            | 男            | 女      | 計      |        |              |                |                |
| 厚生年金       | 老齢厚生年金       | 599    | 514    | 1,113  | 65.9         | 1,295,324      | 1,441,695,612  |
|            | 老齢厚生年金(特別)   | 387    | 462    | 849    | 62.4         | 1,166,169      | 990,077,481    |
|            | 障害厚生年金       | 14     | 14     | 28     | 55.8         | 1,084,871      | 30,376,388     |
|            | 遺族厚生年金       | 32     | 140    | 172    | 65.4         | 1,275,367      | 219,363,124    |
|            | 小計           | 1,032  | 1,130  | 2,162  | 64.4         | —              | 2,681,512,605  |
| 年金払給付      | 終身退職年金       | —      | —      | 30     | 66.9         | 1,663          | 49,890         |
|            | 有期退職年金       | —      | —      | 21     | 66.7         | 2,862          | 60,102         |
|            | 公務障害年金       | —      | —      | 0      | —            | 0              | 0              |
|            | 公務遺族年金       | —      | —      | 0      | —            | 0              | 0              |
|            | 小計           | —      | —      | 51     | 66.8         | —              | 109,992        |
| 新共済年金・職域加算 | 退職共済年金(既裁定)  | 6,155  | 4,144  | 10,299 | 78           | 1,780,389      | 18,336,226,311 |
|            | 退職共済年金(職域加算) | 585    | 508    | 1,093  | 65.8         | 239,617        | 261,901,381    |
|            | 退共(特別・既裁定)   | 402    | 477    | 879    | 63.7         | 1,463,996      | 1,286,852,484  |
|            | 退共(特別・職域加算)  | 369    | 446    | 815    | 62.4         | 235,774        | 192,155,810    |
|            | 退職共済年金(繰上)   | 0      | 0      | 0      | —            | 0              | 0              |
|            | 障害共済年金(既裁定)  | 158    | 133    | 291    | 60.8         | 1,176,791      | 342,446,181    |
|            | 障害共済年金(職域加算) | 11     | 14     | 25     | 57           | 192,966        | 4,824,150      |
|            | 遺族共済年金(既裁定)  | 394    | 3,871  | 4,265  | 82.7         | 1,680,391      | 7,166,867,615  |
|            | 遺族共済年金(職域加算) | 66     | 541    | 607    | 78.8         | 132,364        | 80,344,948     |
|            | 遺族共済年金(追加費用) | 34     | 401    | 435    | 84.2         | 1,710,763      | 744,181,905    |
| 小計         | 8,174        | 10,535 | 18,709 | 76.9   | —            | 28,415,800,785 |                |
| 旧共済年金      | 退職年金         | 416    | 1,594  | 2,010  | 90.2         | 2,631,608      | 5,289,532,080  |
|            | 減額退職年金       | 22     | 139    | 161    | 86.1         | 1,921,143      | 309,304,023    |
|            | 通算退職年金       | 4      | 9      | 13     | 93.1         | 651,214        | 8,465,782      |
|            | 障害年金         | 20     | 25     | 45     | 79.1         | 2,070,823      | 93,187,035     |
|            | 遺族年金         | 14     | 420    | 434    | 86.3         | 1,292,660      | 561,014,440    |
|            | 通算遺族年金       | 0      | 1      | 1      | 93           | 136,507        | 136,507        |
|            | 小計           | 476    | 2,188  | 2,664  | 89.1         | —              | 6,261,639,867  |
| 合計         | —            | —      | 23,586 | 77.1   | —            | 37,359,063,249 |                |

※支給額は平均年金額に受給者数を乗じた額である。

※受給者数について、一人の者に厚生年金及び職域加算額が裁定された場合はそれぞれ1件の年金受給権が発生するものとして合計している。

※既裁定とは一元化前に裁定された共済年金であり、職域加算とは一元化後に裁定された厚生年金等の旧職域部分の年金である。

※追加費用とは一元化後に受給権が発生した共済年金であり、厚生年金保険法が適用される。

### (3) 年金額の改定

平成28年平均の全国消費者物価指数（生鮮食品を含む総合指数）の対前年比変動率はマイナス0.1%、対前年度比名目手取り賃金変動率はマイナス1.1%であった。

年金額は、新規裁定者（68歳未満）は名目手取り賃金変動率、既裁定者（68歳以上）は物価変動率を基準として再評価率を改定するが、調整期間（マクロ経済スライドが発動する期間）においては、原則として、それぞれの率にスライド調整率を乗じた率により改定される。ただし、物価変動率、名目手取り賃金変動率がともにマイナスで、名目手取り賃金変動率が物価変動率を下回る場合は、物価変動率により改定されることから、新規裁定者・既裁定者ともに原則として、物価変動率（マイナス0.1%）により改定され、平成29年度の年金額は0.1%の引下げとなった。

また、改定率政令の改正により、平成29年度の国民年金法による改定率は「0.998」とされた。



# 第12章 福島県教育センター

## 第1節 概要

教育センターは、教育に関する専門的・技術的事項の調査と研究、教育関係職員の研修、情報教育、教育相談及び教育図書・資料の作成・収集・提供等、本県の学校教育の向上・発展に寄与するための事業を実施してきた。

また、カリキュラムセンター業務として、学校や教職員及び市町村教育委員会をはじめとする教育機関等を対象に、学校経営を含む教育活動全般について、研究成果・資料・情報を提供するとともに、要請に応じて指導主事の派遣等の支援を行ってきた。

平成 28 年度より初任者の負担軽減や継続的な研修を考慮し、「2 年次教員フォローアップ研修」を設け、実践的指導力の向上を図った。

なお、事業概要は、次のとおりである。

### 1 調査・研究事業

教育センターの使命、役割を自覚し、県教育委員会のシンクタンクとしての期待に十分こたえられるようにするとともに、本県の教育推進上の課題や学校教育の在り方に対応するために、本県学校教育の諸課題の解決に役立つ先導的・実証的な調査・研究を進めてきた。

#### (1) 調査

本県の教育に関する実態や課題を的確に把握するため、客観的で広範囲な基礎データを継続的に収集し分析した。さらに、その調査結果を教育センターでの研究に生かし、各学校や教育機関等へ提供した。

#### (2) 研究

「学校での様々な実践に生かす」視点から、本県の教育課題を具体的に把握し、それらの課題に対処する基礎的・実証的な研究を行った。

研究の推進に当たっては、研究調査のためのチームを組織し、また、教育センターの役割と学校現場のニーズに基づく研究とするために、研究協力校、研究協力者を全県的に募り、開かれた研究の実践に努めた。

調査研究チーム、情報教育チーム、教育相談チームがそれぞれ共同研究を行った。

これらの研究成果は、「教育センターWeb サイト」「研究紀要」「所報ふくしま『窓』」等に掲載するとともに、平成 29 年 11 月 30 日（木）に実施した「福島県教育研究発表会」においても発表し、その成果を各学校や教育機関へ提供した。

### 2 研修事業

教職員の資質と指導力の向上を図るために、「平成 29 年度福島県公立学校教職員現職教育計画」に基づいて各種の研修講座を計画した。

基本研修、職能研修（職能研修Ⅰ、職能研修Ⅱ）、専門研修について、平成 29 年度の実績は、次のとおりであった。

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 講座数    | 75 講座                            |
| 講座開設数  | 139 回                            |
| 講座研修者数 | 3,711 人（延べ人数）                    |
| 講座開設期間 | 平成 29 年 4 月 4 日～平成 30 年 2 月 16 日 |
| 前年度比   |                                  |
| 講座数    | 1 減                              |
| 講座開設数  | 2 増                              |
| 講座研修者数 | 906 減                            |

### 3 情報教育事業

福島県内の学校・教育関係機関を接続する「ふくしま教育総合ネットワーク（FKS）」事業では、安全・安心なサービス提供のためのネットワーク基盤の運用・整備及び保守対応を行った。また、既存の FKS のメールシステムや TV 会議システムを更新するものとして、新たにグループウェア機能を付加した G Suite（システム名「FCS:ふくしま教育クラウドサービス」）については、平成 28 年度より試行的に併行運用を行っていたが、本年 10 月に単独での本格運用を開始した。

さらに、ネットワークについても、多様な ICT 教育に対する質的・量的な新たな需要に応えるために、ネットワーク回線の高規格化及びサーバのクラウド化を具体化すべく、平成 30 年 10 月の本格運用開始を目的に、更新への具体的な検討作業に着手した。

情報教育における研修事業では、学習指導要領へ対応した研修の充実を図り、「教科指導における ICT 活用」、「児童生徒の情報活用能力の育成」、「校務の情報化」を 3 つの柱とした「教育の情報化」の推進に向けて取り組んだ。

専門研修では、「校務処理における表計算（関数）講座」や「授業力向上のための ICT 活用基礎講座」、「グループウェアで活用する G Suite 基礎講座」、「校内ネットワークの管理と運用基礎講座」などを行った。また、基本研修での講義等とおして、「情報モラル教育」及び「教科指導における ICT 活用」の研修の充実を図った。さらに、職能研修では「教育の情報化」の講義を行い、教育の情報化が円滑かつ確実に実施されるよう努めた。

### 4 教育相談事業

教育相談事業では、児童生徒の教育上の諸問題について来所及び電話で相談を受け、問題の改善・解決をめざした。

来所相談では不登校、集団不適応に関する相談が、電話相談では学校への不満、不登校、いじめに関する相談が多かった。

学校への不満やいじめに関する電話相談の中で早急な対応が必要と思われる事案については、当該校の管理職に情報を提供し、その共有に努めた。いじめに関する電話相談については、相談者の思いを受け止めるとともに、今後の対応を一緒に考えたり、身近な相談機関を紹介したりした。不登校に関する電話相談については、来所による相談も可能であることを積極的に伝えた。

## 5 教育図書・資料事業

県内教職員の教育活動に役立つ教育図書及び教育資料の収集・分類・整理に努め、データベース化して教育センターWebサイトに掲載し、図書検索を可能にした。また、文献資料利用相談への対応並びに貸し出し等のサービスも行い、教職員の研修・研究活動を援助してきた。

教育センター広報誌「所報ふくしま『窓』」第173号、174号及び「研究紀要」第47集を発行した。

## 第2節 調査・研究事業

### 1 調査・研究

平成29年度の調査・研究として、教育庁より依頼された調査研究チーム、情報教育チーム、教育相談チームの3件に取り組んだ。

#### (1) 調査研究チームによる研究

「思考力」を高める問題解決的な学習指導の在り方（第二年度）～研究協力校における実践的研究～

児童生徒の学力向上は本県の喫緊の課題であり、「言語活動の充実（21、22年度）」、「活用力の育成（23、24年度）」、「教師のコーディネート（25年度）」、「校内研修の在り方（26、27年度）」と、教師の授業力向上について研究してきた。

一年次（28年度）は、研究の対象を算数科・数学科に絞り、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を提案した。具体的には、研究協力校における実践を通して、「思考力」を高める「深い学び」の過程を実現させる上で必要な授業づくりの視点や手だて等を明らかにし、問題解決的な学習の質的改善を目指した。

二年次（29年度）は、研究対象を国語科へ広げ、より汎用的な提案を目指した。具体的には、授業改善に向けた研究協力者（国語科・算数科、小学校教諭各1名）によるケーススタディを基に、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた学習の構成要素やポイントを明らかにした。また、授業の質的向上を目指し、授業改善に向けた取組の在り方を提示した。これにより、本県教員に対して、これまでの実践を見直し、学習指導の在り方を更に改善するための視点や、授業改善に向けた「授業づくり」への取組の具体像を示すことができると考えた。

研究協力校における実践の結果、次のような成果と課題が確認された。

#### (成果)

- 児童に行ったアンケート調査の結果や、授業における児童の発言やノートへの記述等、さらには、研究協力者である担当教師から見た児童の向上的変容等から、児童に少しずつではあるが「思考力」が育成されてきたことが確認できた。
- 研究協力者に行った、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて大切なことに関するアンケート調査の結果から、「主体的・対話的で深い学び」の視点やポイントを位置づけた「授業構成モデル」の有効性を確認することができた。
- 授業改善に向けた授業づくりのプロセスを明確にすることができた。具体的には、教師が「何をどのように教えるか」という見方から、児童生徒が「どのように学ぶか」を重視する意識の変革を重視し、「授業改善に向けた授業づくりのプロセス」としてモデル化した。モデルの内側には、「思考力」につながる子どもの学びのイメージを、外側に教師のPDCAサイクルに基づく授業改善のシステムを位置づけ、児童生徒の学びと授業改善をつなぐものが、「主体的・対話的で深い学び」の三つの視点であるという意図に基づいて作成した。

#### (課題)

- 資質・能力の育成（「思考力」の育成）の評価の在り方について、評価方法の研究と、客観性や妥当性も含めた更なる検証が必要である。
- 本研究で提案した各モデルは「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業の一つの基盤として意味をもつが、限られた実践によるものである。校種、教科・領域等の特質に応じた視点やポイントとなるように、今後も実践を広げて実践事例を蓄積し、より実効性の高いものへと修正・改善を図る必要がある。

#### (2) 情報教育チームによる研究

タブレット PC 等の特性を生かした効果的な利用法に関する研究（第二年度）～ICT機器の活用と運用管理～

一年次の基礎研究を踏まえ、二年次は、「環境整備と運用管理の工夫」「教師による教科指導での活用」「児童生徒による授業での活用」の三つを視点とし、実際にタブレット PC を導入し、活用を始めた小学校1校、高等学校1校の研究協力を得て、既存の環境で効果的に ICT 機器を活用するための運用管理の工夫や、教科指導におけるタブレット PC の効果的な利用に関する授業実践を行った。

#### (成果)

- 研究協力校において、既存の ICT 環境を向上させる工夫を行うことで、様々な活用法が可能となることを検証し、ICT 機器の活用を推進するための運用管理の在り方についてまとめることができた。
- ICT を活用した「教師による教科指導での活用」「児童生徒による授業での活用」の双方について多数実践を積み重ね、その効果を検証できた。

- 研修を行い、実践を重ねることで、子どもの姿や興味関心に応じた活用が、自信をもって実践できるようになることが検証できた。また、組織的な取り組みによる ICT を活用した授業づくりへの意識の向上が見られた。

#### (課題)

- 教師の ICT 活用スキルの向上には、教科指導での活用と運用管理技術の両面において、継続的な研修の実施と実践の積み重ねを、組織として取り組む必要がある。そのために、教育センターの ICT 活用に関する専門研修を充実させながら、各校での取組を支援していく必要がある。
- ICT の効果的な活用には、活用目的や期待する効果を十分理解することが重要である。児童生徒の実態に即した有効な活用場面について探究し、教師が授業内容や子どもの姿に応じて授業設計をする力を高める必要がある。
- 児童生徒のコンピュータリテラシーを高めるために、指導体制を整えとともに、児童生徒の実態を把握し、計画的に指導を行う必要がある。

### (3) 教育相談チームによる研究

生徒指導・教育相談における児童生徒を支援する力を高める研究（第二年度）～児童生徒理解の深化と活用～

二年次は、一年次の研究に加え、児童生徒理解を多角的・多面的な視点から「深化」させていくこと、また、深められた理解を児童生徒の指導や支援に「活用」することをねらった校内研修を行うことで、教員の児童生徒を支援する力を高めることをめざした。二年次も一年次同様、「日常指導ふりかえりシート」を活用するための研修をはじめ、Q-U を使った事例研究など4回の小・中学校合同の校内研修を行った。

#### (成果)

- 一年次に作成した「日常指導ふりかえりシート」を活用した校内研修を二年次も行い、教員自身の日常指導充実への意識を高め、日常的な児童生徒への支援につなげることができた。
- 昨年度の小・中学校合同の研修会を通して高められた両校の教職員の関係性のよさを生かしながら、校内研修を通してさらに小・中学校の交流を深めることができた。その結果、児童生徒理解の深化と活用への課題意識とともに、小・中学校9年間を見通した支援を継続的に行う意義が共有された。
- コアチームを立ち上げ、協力校の教員や当チームの思いを共有することで、協力校の実態とニーズに応じた効果的な校内研修を行うことができた。その結果、児童生徒理解の深化の重要性と具体的な指導・支援への活用が図られ、児童生徒を支援する力の向上に資することができた。
- Q-U を使った事例研究を行ったことにより、Q-U 活用の可能性を広げることができた。客観的理解のためのデータとしてはもちろん、それを小・中学校の教員が様々な視点から読み解くことで、より多角的・多面的な児童生徒理解が促進され、具体的な指導方針や支援策の考案につなげることができた。

#### (課題)

- 教員の児童生徒を支援する力の向上を図るには、日常指導の充実への意識の高揚と、教員のニーズに応じた効果的な校内研修の充実を図っていく必要がある。その際、今回効果が確認された「日常指導ふりかえりシート」や「コアチーム」の活用の在り方について広く発信していきたい。
- 校内研修により、教職員の意見交流や共通理解が図られたことが「児童生徒を支援する力」の向上につながった。継続的な校内研修実施のために、校内研修実践資料集による情報提供や出前講座等を通して支援する体制を整える必要がある。

## 2 長期研究員制度による研究

平成 23 年度より長期研究員制度が復活した。長期研究員は、年間を通じて各自が研究テーマを設定して計画、実践、評価、まとめを行うこととしている。平成 29 年度は、15 名が研究に取り組み、福島県教育研究発表会では9名が成果を発表した。また、研究結果を『研究紀要』『研究報告書』にまとめるとともに Web サイトに掲載した。

## 第3節 研修事業

### 1 研修講座の概要

#### (1) 基本研修

ア 新規採用者・初任者研修

教職員としての基礎・基本を習得する研修である。

##### (7) 幼稚園等教諭

a 園内における研修（10日）

b 園外における研修（10日）

宿泊研修（2泊3日）、地区別研修（3日）（各地区）、参観研修（3日）、選択研修（1日）

##### (4) 小・中学校教諭

a 校内における研修（150時間以上）

b 校外における研修（22日）

(a) 宿泊研修（6日）

宿泊研修A（2泊3日）、宿泊研修B（2泊3日）

(b) 地区別研修（16日）

・地区別研修A（7日）（各地区）

一般研修、授業研修、へき地校研修、カウンセリング研修、特別支援学校研修

・地区別研修B（9日）

（市町村教育委員会、各学校による計画）

研究発表集会等研修、一般研修、社会奉仕体験活動研修、企業等体験研修、他校種園参観研修

##### (7) 高等学校教諭

a 校内における研修（150時間以上）

b 校外における研修（22日）

- (a) 宿泊研修 (8 日)
  - 基本研修 (1 泊 2 日)、一次研修 (2 泊 3 日)、二次研修 (2 泊 3 日)
- (b) 教科別研修 (3 日)
  - (教科ごとに初任者配置校を会場として実施)
- (c) 地区別研修 (11 日)
  - ・地区別研修 A (7 日) (各地区)
    - 一般研修、社会奉仕等体験研修、カウンセリング研修、特別活動等研修、安全教育研修
  - ・地区別研修 B (4 日) (各学校による計画)
    - 特別支援学校研修、他校での授業参観等研修
- (x) 公立学校実習助手
  - (高校教育課主管 高等学校初任者研修と合同開催)
  - a 校内における研修 (2 日程度)
  - b 校外における研修 (9 日)
    - (a) 基本研修 (1 泊 2 日)
    - (b) 地区別研修 (7 日) (各地区)
      - 一般研修、社会奉仕等体験研修、カウンセリング研修、特別活動等研修、安全教育研修
- (f) 養護教諭 (小・中・高・特別支援)
  - a 校内における研修 (15 日)
  - b 校外における研修 (14 日)
    - (a) 宿泊研修 (6 日)
      - 宿泊研修 A (2 泊 3 日)、宿泊研修 B (2 泊 3 日)
    - (b) 地区別研修 (8 日)
      - ・地区別研修 A (6 日) (各地区)
        - 一般研修、カウンセリング研修、企業等体験
        - ・社会奉仕等体験研修
      - ・地区別研修 B (2 日) (小・中は市町村教育委員会、高・特別支援は各学校)
        - 特別支援学校研修、学校訪問研修
- (g) 学校栄養職員
  - a 学校等内における研修 (15 日)
  - b 学校等外における研修 (13 日)
    - (a) 宿泊研修 (6 日)
      - 宿泊研修 A (共通研修) (2 泊 3 日)、
      - 宿泊研修 B (専門研修) (2 泊 3 日)
    - (b) 地区別研修 (7 日)
      - ・地区別研修 A (4 日) (各地区)
        - 一般研修、特別支援学校研修、単独校実地研修、共同調理場実地研修
      - ・地区別研修 B (3 日) (市町村教育委員会)
        - 一般研修、他校園参観研修、企業等体験研修
- イ 2 年次教員フォローアップ研修
  - 初任者研修を修了した教諭に対して、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める研修である。
  - (7) 小学校・中学校教諭
    - a 校内研修 (30 時間以上)
    - b 校外研修 (3 日)
  - (i) 高等学校教諭
    - a 校内研修 (30 時間以上)
    - b 校外研修 (3 日)
  - (v) 公立学校実習助手 (高校教育課主管 高等学校 2 年次教員フォローアップ研修と合同開催)
    - a 校外における研修 (2 日程度)
  - ウ 経験者研修 I
    - 在職期間が 5 年に達した教職員を対象とし、専門的知識と技能を高め、資質の向上を図る研修である。
    - (7) 小・中学校教諭
      - (24 年度募集停止のため 29 年度は実施せず)
      - a 校内研修 (5 日)
      - b 校外研修 (3 日)
        - 宿泊研修 (2 泊 3 日)
    - (i) 高等学校教諭
      - a 校内研修 (5 日)
      - b 校外研修 (3 日)
        - 宿泊研修 (2 泊 3 日)
    - (v) 養護教諭 (小・中・高・特別支援)
      - (24 年度募集停止のため 29 年度は実施せず)
      - a 校内研修 (3 日)
      - b 校外研修 (3 日)
        - 宿泊研修 (2 泊 3 日)
    - (x) 学校栄養職員 (隔年実施)
      - a 校内研修 (2 日)
      - b 校外研修 (2 日)
        - 宿泊研修 (1 泊 2 日)
  - エ 経験者研修 II
    - 在職期間が 10 年に達した教職員を対象とし、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて学校組織マネジメントに資する能力の育成を図るとともに、組織の中核として運営に資する人材の育成と職能の更なる向上を図る研修である。
    - (7) 幼稚園教諭
      - a 園内研修 (7 日)
      - b 園外研修 (5 日)
        - 保育専門研修 (1 泊 2 日)、共通研修 (1 日) (各地区)、社会体験研修 (1 日)、選択研修 (1 日)
    - (i) 小・中学校教諭
      - a 校内における研修 (15 日)
      - b 校外における研修 (10 日)
        - 共通研修 (各地区) (1 日)、教科指導研修 (2 泊 3 日)、生徒指導研修 (各地区) (1 日)、社会体験研修 I (2 日)、選択研修 (3 日)
    - (v) 高等学校教諭
      - a 校内における研修 (15 日)
      - b 校外における研修 (10 日)
        - 共通研修 (1 日)、生徒指導研修 (1 日)、教科指導研修 I (1 日)、教科指導研修 II (2 日)、社会体験研修 I (2 日)、選択研修 (3 日)



- (エ) 養護教諭（小・中・高・特別支援）
  - a 校内研修（4日）
  - b 校外研修（6日）
    - 共通研修（1日）、宿泊研修（2泊3日）、社会体験研修Ⅰ（1日）、選択研修（1日）

オ 経験者研修Ⅲ

教務主任、学年主任等の中堅教員に対する学校管理運営上の諸問題の解決や、専門的な職能の向上を図る研修である。

- (ア) 県立学校教諭  
教育センター（2泊3日）

**(2) 職能研修**

新任の校長・教頭・教務主任に対しての職能研修Ⅰ及び学校の教育活動が円滑に展開できるよう担当教員の職責・職能に応じた研修を実施する職能研修Ⅱを実施した。

ア 職能研修Ⅰ

- (ア) 市町村立小・中・特別支援学校新任校長研修会  
教育センター（1泊2日）
- (イ) 県立学校新任校長研修会  
教育センター（1泊2日）
- (ウ) 市町村立小・中・特別支援学校新任教頭研修会  
教育センター（1泊2日）
- (エ) 県立学校新任教頭研修会  
教育センター（1泊2日）
- (オ) 新任教務主任研修会（小・中・高・特別支援）  
各地区（1日）（関係各教育事務所または各中核市教育委員会による計画）

イ 職能研修Ⅱ

- (ア) 複式学級担当教員研修会  
教育センター（1泊2日）
- (イ) 免許外教科担任教員研修会  
教育センター（2泊3日）
- (ウ) 校長のためのマネジメント講座  
教育センター（1泊2日）
- (エ) 教頭のためのマネジメント講座  
教育センター（1泊2日）
- (オ) 小・中学校におけるキャリア教育実践講座  
教育センター（1泊2日）
- (カ) 学校栄養職員専門研修講座（隔年）  
教育センター（2泊3日）
- (キ) 福島県採用希望卒教員研修  
教育センター（1日）

**(3) 専門研修**

個に即応した指導力の向上を図るために、情報教育、学校教育相談（基礎、実践、予防・開発的教育相談）、道徳教育実践（小・中）、各教科（小・中・高）、高等学校理科実習助手などの各講座を実施した。

**2 研修講座**

**(1) 平成29年度研修講座数・受講者数**

ア 基本研修

|        | 基本研修  |     |     |     |     | 計     |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|
|        | 初任研   | 2年次 | 経験Ⅰ | 経験Ⅱ | 経験Ⅲ |       |
| 講座数    | 6     | 3   | 2   | 5   | 1   | 17    |
| (延べ数)  | 48    | 4   | 2   | 19  | 1   | 74    |
| 延べ受講者数 | 1,545 | 176 | 43  | 517 | 54  | 2,335 |

イ 職能研修

|        | 職能研修  |       | 計   |
|--------|-------|-------|-----|
|        | 職能研修Ⅰ | 職能研修Ⅱ |     |
| 講座数    | 4     | 7     | 11  |
| (延べ数)  | 6     | 8     | 14  |
| 延べ受講者数 | 246   | 351   | 597 |

ウ 専門研修

|        | 専門研修 | 計   |
|--------|------|-----|
| 講座数    | 47   | 47  |
| (延べ数)  | 51   | 51  |
| 延べ受講者数 | 748  | 748 |

エ 総計

|        | 基本研修  | 職能研修 | 専門研修 | 計     |
|--------|-------|------|------|-------|
| 講座数    | 17    | 11   | 47   | 75    |
| (延べ数)  | 74    | 14   | 51   | 139   |
| 延べ受講者数 | 2,335 | 599  | 777  | 3,711 |

(2) 平成 29 年度研修講座実施状況

ア 基本研修

| 講座名                | 会場                  | 期 日                         | 受講者数                   |    |
|--------------------|---------------------|-----------------------------|------------------------|----|
| 初任者研修              | 幼稚園                 | 教育センター                      | 8月21日～8月23日            | 96 |
|                    | 小学校                 | 磐梯青少年交流の家<br>教育センター         | 5月22日～5月24日            | 60 |
|                    |                     |                             | 8月2日～8月4日              |    |
|                    |                     |                             | 8月8日～8月10日             |    |
|                    | 中学校                 | 磐梯青少年交流の家<br>教育センター         | 5月22日～5月24日            | 33 |
|                    |                     |                             | 7月26日～7月28日            |    |
|                    | 高等学校                | 教育センター                      | 4月4日～4月5日              | 46 |
| 4月19日～4月21日        |                     |                             |                        |    |
| 9月6日～9月8日          |                     |                             |                        |    |
| 9月25日～9月27日        |                     |                             |                        |    |
| 2月14日～2月16日        |                     |                             |                        |    |
| 養護教諭               | 磐梯青少年交流の家<br>教育センター | 5月22日～5月24日<br>11月8日～11月10日 | 22                     |    |
| 栄養職員               | 磐梯青少年交流の家<br>教育センター | 5月22日～5月24日<br>9月27日～9月29日  | 8                      |    |
| 地区別研修              | 幼・小・中・高・栄・養(35講座)   | 各地区で実施                      | 1109                   |    |
| 2年次教員<br>フォローアップ研修 | 小学校                 | 教育センター                      | 7月21日、8月17日            | 94 |
|                    | 中学校                 | 教育センター                      | 6月26日                  | 33 |
|                    | 高等学校                | 教育センター                      | 7月3日                   | 49 |
| 経験者研修Ⅰ             | 小学校                 | 教育センター                      | 実施せず                   |    |
|                    | 中学校                 | 教育センター                      | 実施せず                   |    |
|                    | 高等学校                | 教育センター                      | 10月11日～11月13日          | 39 |
|                    | 栄養職員                | 教育センター                      | 8月8日～8月9日              | 4  |
| 経験者研修Ⅱ             | 幼稚園                 | 教育センター                      | 5月30日～5月31日            | 13 |
|                    | 小学校                 | 教育センター                      | 9月27日～9月29日            | 41 |
|                    | 中学校                 | 教育センター                      | 9月12日～9月14日            | 33 |
|                    | 高等学校                | 教育センター                      | 4月18日                  | 53 |
|                    |                     |                             | 7月4日～7月5日<br>2月7日～2月8日 |    |
|                    | 養護教諭                | 教育センター                      | 8月2日～8月4日              | 15 |
| 地区別研修              | 幼・小・中・高・養(14講座)     | 各地区で開催                      | 258                    |    |
| 経験者研修Ⅲ             | 県立学校                | 教育センター                      | 10月25日～10月27日          | 54 |
|                    | 小学校<br>中学校          | 教育センター                      | 実施せず                   |    |

イ 職能研修

| 講座名           | 期 日                     | 受講者数                       |     |
|---------------|-------------------------|----------------------------|-----|
| 職能研修Ⅰ         | 市町村立小・中・特別支援学校新任校長研修会   | 4月27日～4月28日<br>5月11日～5月12日 | 104 |
|               | 県立学校新任校長研修会             | 5月11日～5月12日                | 8   |
|               | 市町村立小・中・特別支援学校新任教頭研修会   | 5月9日～5月10日                 | 122 |
|               |                         | 5月18日～5月19日                |     |
|               | 県立学校新任教頭研修会             | 5月18日～5月19日                | 12  |
|               | 市町村立小・中・特別支援学校新任教務主任研修会 | 各教育事務所の日程                  | 71  |
| 県立学校新任教務主任研修会 | 各教育事務所の日程               | 17                         |     |

| 講 座 名        |                     | 期 日         | 受講者数 |
|--------------|---------------------|-------------|------|
| 職能研修Ⅱ        | 複式学級担当教員研修会         | 5月22日～5月23日 | 45   |
|              | 免許外教科担任教員研修会        | 5月15日～5月17日 | 46   |
|              |                     | 5月24日～5月26日 | 42   |
|              | 校長のためのマネジメント講座      | 6月15日～6月16日 | 70   |
|              | 教頭のためのマネジメント講座      | 9月21日～9月22日 | 80   |
|              | 小・中学校におけるキャリア教育実践講座 | 9月4日～9月5日   | 40   |
|              | 学校栄養職員専門研修講座        | 7月25日～7月27日 | 2    |
| 福島県採用希望卒教員研修 | 6月14日               | 26          |      |

ウ 専門研修

| 講 座 名                 |                                   | 期 日          | 受講者数 |
|-----------------------|-----------------------------------|--------------|------|
| 教科教育系                 | 言語活動の充実を図る小学校国語科指導力向上講座           | 7月24日～7月25日  | 10   |
|                       | アクティブ・ラーニングにつながる小学校国語科指導力向上講座     | 8月21日～8月22日  | 25   |
|                       | 子どもの目の輝きが変わるフィールドワークを取り入れた授業づくり講座 | 7月31日～8月1日   | 10   |
|                       | 算数的活動の充実を図る授業づくり講座                | 7月31日～8月1日   | 18   |
|                       | アクティブ・ラーニングにつながる小学校理科講座           | 6月20日～6月21日  | 2    |
|                       | 実践事例に学ぶ図画工作科指導法講座                 | 6月28日        | 8    |
|                       | 小学校外国語活動講座                        | 8月7日         | 25   |
|                       | アクティブ・ラーニングにつながる中学校国語科指導力向上講座     | 7月31日～8月1日   | 17   |
|                       | 数学的活動の充実を図る授業づくり講座                | 10月5日～10月6日  | 2    |
|                       | アクティブ・ラーニングにつながる中学校理科講座           | 7月31日～8月1日   | 13   |
|                       | 匠に学ぶものづくり講座                       | 8月3日～8月4日    | 7    |
|                       | アクティブ・ラーニングにつながる英語指導講座            | 10月31日～11月1日 | 14   |
|                       | 思考力・表現力の向上を図る数学問題作成・研究講座          | 8月22日～8月23日  | 8    |
|                       | 科学的な自然観育む理科観察・実験講座                | 10月4日～10月5日  | 14   |
|                       | 実習助手のための理科観察・実験講座                 | 6月12日～6月13日  | 10   |
|                       | 教科書を活用してコミュニケーション能力を育む英語指導力向上講座   | 8月21日        | 15   |
|                       | 授業改善に結び付く国語科の評価問題作成・研究講座          | 8月29日～8月30日  | 10   |
|                       | アクティブ・ラーニングにつながる PISA 型読解力研究講座    | 9月19日～9月20日  | 14   |
|                       | 社会科・地理歴史科・公民科の評価の在り方講座            | 8月22日～8月23日  | 8    |
|                       | 資料の有効活用を図る社会科・地理歴史科・公民科の授業づくり講座   | 6月20日～6月21日  | 6    |
|                       | 主権者教育の実践に向けた授業づくり講座               | 6月23日        | 11   |
|                       | 資料の活用・データの分析（統計）における数学の指導力向上講座    | 10月31日～11月1日 | 10   |
|                       | 創作（音によるコミュニケーション）指導の充実を図る授業実践講座   | 10月4日～10月5日  | 6    |
|                       | 鑑賞し表現することができる伝統音楽講座               | 11月7日～11月8日  | 4    |
|                       | 授業に役立つ、初めての合唱指導講座                 | 6月23日        | 16   |
|                       | 創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座①②           | 8月7日、11月9日   | 11   |
|                       | 創造性を育む美術の表現指導法講座                  | 9月19日～9月20日  | 11   |
|                       | 特別な支援を必要とする児童生徒のための体育指導講座         | 8月17日～8月18日  | 7    |
|                       | 「わかる」「できる」「かかわる」を引き出す体育授業力向上講座    | 10月5日～10月6日  | 14   |
|                       | 家庭科を担当する先生のための基礎基本講座（被服編）         | 8月18日        | 9    |
| 保育学習に関する指導の充実をめざす家庭講座 | 11月16日～11月17日                     | 7            |      |

| 講 座 名                   |                              | 期 日                          | 受講者数 |
|-------------------------|------------------------------|------------------------------|------|
| 教育相談系                   | 児童生徒理解に生かす学校教育相談基礎講座         | 7月27日～7月28日                  | 37   |
|                         | 事例研究を中心に児童生徒理解を深める学校教育相談実践講座 | 6月29日～6月30日                  | 25   |
|                         |                              | 10月17日～10月18日<br>2月14日～2月15日 |      |
| 人間関係づくりに生かす予防・開発的教育相談講座 | 6月20日                        | 40                           |      |
| 情報教育系                   | 校務処理に生かす表計算（関数）講座            | 6月28日                        | 26   |
|                         | 校務処理に生かす表計算（統計分析）講座          | 9月21日                        | 26   |
|                         | 授業力向上のための ICT 活用基礎講座         | 9月1日、10月6日                   | 21   |
|                         | 校内ネットワークの管理と運用基礎講座           | 6月15日～6月16日                  | 13   |
|                         | グループウェアで活用する G Suite 基礎講座    | 10月24日                       | 18   |
|                         | NetCommons による学校 Web サイト構築講座 | 8月23日                        | 17   |
|                         | 情報モラル教育指導者実践講座               | 7月7日                         | 12   |
| 教科外教育系                  | 「特別の教科 道徳」の授業づくり講座           | 8月31日～9月1日                   | 32   |
|                         | 自尊感情を育む特別活動指導力向上実践講座         | 8月23日                        | 32   |
|                         | 防災・放射線教育指導力向上 講座             | 8月7日                         | 11   |
|                         | 養護教諭のための指導力向上講座              | 8月10日                        | 29   |

### 3 指導主事派遣等

平成 29 年度の指導主事派遣及び出前講座の概要は次のとおりである。カッコ内は昨年度比。「出前講座」での指導主事派遣件数は、指導主事派遣件数に含む。

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 指導主事派遣件数         | 214 件 (13 件減) |
| (内訳) 小 学 校       | 87 件 (13 件増)  |
| 中 学 校            | 49 件 (4 件増)   |
| 高 等 学 校          | 36 件 (14 件増)  |
| 教育委員会等           | 24 件 (7 件減)   |
| 各種教育団体等          | 18 件 (37 件減)  |
| 「出前講座」での指導主事派遣件数 | 156 件         |
| (内訳) 小 学 校       | 60 件          |
| 中 学 校            | 47 件          |
| 高 等 学 校          | 25 件          |
| 教育委員会等           | 11 件          |
| 各種教育団体等          | 13 件          |

## 第 4 節 情報教育事業

### 1 研修講座の概要

公立小・中・高等学校・特別支援学校の情報教育に関する教員研修（専門研修）の概要は以下のとおりである。

#### (1) ネットワークを活用するための講座（小・中・高・特支）

- ア 校内ネットワークの管理と運用基礎講座
- イ グループウェアで活用する G Suite 基礎講座

#### (2) 授業実践講座（小・中・高・特支）

- ア 授業力向上のための ICT 活用基礎講座
- イ 情報モラル教育指導者実践講座

#### (3) 校務の効率化を目指す講座（小・中・高・特支）

- ア 校務処理に生かす表計算（関数）講座
- イ 校務処理に生かす表計算（統計分析）講座

#### (4) 学校 Web サイトに関する講座（高・特支）

- ア Net Commons による学校 Web サイト構築講座

基本研修においては、国や県の情報教育の施策に基づき情報教育の意義や重要性を強調し、また、個人情報への扱いや情報セキュリティについても、その重要性・緊急性に言及した。

自主講座においては、6月3日に「表計算入門講座」を実施し、各地から15名の参加を得た。また、一般社団法人「福島県情報産業協会」と連携した、小・中学生対象の「子どものためのロボットワークショップ」は、8月19日に7組14名の小・中学生とその保護者の参加により実施した。

## 2 施設利用概況

基本研修の実践講座の各教科において、「教科指導における ICT 活用」を共通項目で指導するため、パソコンやプロジェクタ等 ICT 機器の活用機会やパソコン研修室の利用は多く、以下のとおりであった。

### パソコン研修室利用状況

| 利用区分     | 講座数            | 利用日数 | 実人数 | 延べ人数 |
|----------|----------------|------|-----|------|
| 教育センター研修 | 39             | 64   | 563 | 855  |
| 講座       | 基本研修           | 15   | 28  | 103  |
|          | 専門研修<br>(出前講座) | 20   | 27  | 303  |
|          | 職能研修           | 4    | 9   | 157  |
| 教育庁研修    | 2              | 5    | 25  | 73   |
| 合計       | 41             | 69   | 588 | 928  |

## 第5節 教育相談

教育相談チームでは、来所及び電話による教育相談を受けている。今年度の来所相談・電話相談の概要は、以下のとおりである。

### 1 対象別

来所相談件数・電話相談回数

※ 対象の区分は、誰についての相談内容かで分けたものである。来所相談日数は 103 日、電話相談日数は 243 日であった。

| 種別       | 対象 | 幼        | 小   | 中   | 高   | 一般 | 教員 | 計   |
|----------|----|----------|-----|-----|-----|----|----|-----|
|          |    | 来所<br>相談 | 件数  | 0   | 31  | 16 | 50 | 1   |
|          | 人数 | 0        | 37  | 25  | 55  | 1  | 0  | 118 |
| 電話<br>相談 | 回数 | 3        | 145 | 253 | 128 | 30 | 10 | 569 |

### 2 区分別

来所相談件数・電話相談回数

※ 対象の区分で数値の高い「性格行動」には「不登校」の相談、「教育一般」には「いじめ」、「学校への不満」の相談が含まれる。

| 種別       | 対象 | 知能<br>学業 | 性格<br>行動 | 身体<br>神経 | 進路<br>適性 | 教育<br>一般 | その<br>他 | 計   |
|----------|----|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-----|
|          |    | 来所<br>相談 | 件数       | 0        | 63       | 7        | 0       | 25  |
|          | 人数 | 0        | 82       | 7        | 0        | 26       | 3       | 118 |
| 電話<br>相談 | 回数 | 2        | 104      | 6        | 25       | 288      | 144     | 569 |

## 3 地区別来所相談件数

| 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 県外 | 計  |
|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|
| 38 | 18 | 3  | 9  | 6   | 9  | 15  | 0  | 98 |

## 4 月別相談件数・回数

| 種別       | 月  | 4        | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 計   |
|----------|----|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
|          |    | 来所<br>相談 | 件数 | 1  | 1  | 27 | 3  | 2  | 5  | 27 | 1  | 1  | 2  | 27  |
|          | 人数 | 2        | 2  | 28 | 6  | 4  | 9  | 29 | 2  | 2  | 4  | 28 | 2  | 118 |
| 電話<br>相談 |    | 48       | 41 | 64 | 47 | 40 | 52 | 40 | 68 | 53 | 33 | 41 | 42 | 569 |

## 第6節 教育図書・資料事業

全国各教育研究機関から送付された研究紀要や資料及び県内各学校から寄せられた研究資料を収集、整理・保管し、レファレンスサービスを行っている。所の研究成果を普及するため、研究紀要や「所報ふくしま『窓』」を刊行した。

### 1 教育図書・教育資料の収集

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 教育図書購入冊数               | 56 冊  |
| 寄贈教育図書等（VTRを含む、教科書は除く） | 10 冊  |
| 定期刊行図書購入冊数             | 28 冊  |
| 研究紀要等寄贈冊数              | 195 冊 |
| 恵贈定期刊行物数               | 34 冊  |

### 2 教育資料の刊行

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 研究紀要      | 第 47 集          |
| 所報ふくしま「窓」 | 第 173 号～第 174 号 |

### 付記

平成 16 年度より、教育センターにおいて、指導が不適切である教員等に対して長期特別研修を開始し、平成 20 年度から「指導が不適切である教員等の取扱いに関する要綱」に基づき、指導改善研修を実施している。平成 29 年度は研修者なし。



# 第13章 福島県特別支援教育センター

## 第1節 概要

昭和61年の開所以来、関係機関と連携協力しながら、教育相談、教職員の研修、調査・研究、図書・資料の収集と情報提供、広報・啓発等の事業を行ってきた。

今年度は、第6次福島県総合教育計画（改訂版）に基づき、早期からの教育的支援、小・中学校及び高等学校に在籍する発達障がいを含む特別な支援を必要とする児童生徒等への支援、特別支援学校の専門性の向上と特別支援教育におけるセンター的機能の充実に向けた支援、関係機関との連携等の充実に努めてきた。

### 1 教育相談事業

障がい等の心配のある乳幼児・児童生徒に関する教育相談機関として、本人、保護者（家族）、保育所・幼稚園、小・中学校及び高等学校、特別支援学校関係者、教育委員会等からの依頼に応じ、疑問や悩みを一緒に話し合い、特別支援教育の専門的観点からの相談を行った。相談者の心情に寄り添い、相談を通して、子どもへの適切な支援策や指導法について共に見つけだすようにした。また、面接、行動観察、必要に応じて心理検査等を行い、関係機関との連携を図りながら専門的・総合的観点からの相談を進めた。

センター相談での相談受理件数は212件（昨年度比85%）、延べ件数は568件（昨年度比96%）であった。障がい種別による相談実件数では、情緒障がい（発達障がいを含む）に関する相談が最も多く60%を占めている。知的障がいに関する相談は約17%であり、合わせると実件数全体の77%以上を占める。相談者は、保護者、教員、保育士、関係機関等である。

その他の地域においても、学校等に出向き、支援を必要としている子どもに対し、適切な支援と指導が行えるよう必要な支援や助言を行った。学校等のニーズに応じ、ケース検討会や校内研修会等の開催や運営等への支援を行った。さらに、地域における教育相談機能の質的向上を図るため、学校等と保健福祉の関係機関、教育委員会、教育事務所、医療機関等との適切な連携を支援し、地域の支援体制の整備を進めた。

### 2 教職員研修事業

特別支援学校の基本研修においては、昨年度から始まった2年次教員フォローアップ研修が定着し、教職経験年数に応じて、基礎的・基本的な事項を中心とした研修や教員の専門的な知識・能力の深化を図る研修、教員として教育活動全般にわたる広い視野に立った研修等を実施した。また、小・中学校や高等学校、特別支援学校の教員を対象とする職能研修では、その職責に応じた資質・力量の向上を目指した研修を行った。さらに、専門研修の各講座では、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の正しい理解や教育的な対応、授業の改善や充実につながる研修を行うとともに、最新の知見を取り入れ

た各種講座を設け実施した。

基本研修の受講者は初任者研修55名（6回）、2年次教員フォローアップ研修54名（1回）、経験者研修Ⅰ18名（1回）、経験者研修Ⅱ29名（2回）で、受講者総数は延べ470名であった。職能研修の受講者総数は延べ591名（特別支援学級等新任担当教員研修会109名、特別支援学級担当教員（経験三年）研修会39名、小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会156名、高等学校特別支援教育コーディネーター研修会91名、特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会24名、特別支援学校養護教諭研修会22名、通級指導教室担当教員研修会51名）、そして、専門研修講座（17講座）の総受講者は延べ543名であった。また、研修の機会を広く提供する公開講座（6講座）の聴講者総数は62名で、自主研修講座（2講座）の参加者総数は107名であった。

### 3 調査研究・教育研究事業

震災後の本県が当面している特別支援教育の今日的課題及び学校における教育実践上の具体的課題解決に向けて、以下の研究等を行った。

#### (1) 調査研究

「入院児童生徒等の学習状況調査と支援体制の整備」

（二年次）～切れ目のない教育や学習の充実を目指して～

近年、医療の進歩等により病気の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、入院児童生徒等についての教育保障が課題となっている。平成28年度、文部科学省は「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」を実施し、県教育委員会では、委託を受けて「入院児童生徒等の学習支援体制整備事業」に取り組んでいる。本調査研究は、この事業との関連を図りながら、入院児童生徒等の学習状況及び支援状況の調査・検討により学習支援体制の充実を目指して研究を行った。

#### (2) 教育研究

「特別支援学校教員の協働による専門性の向上・継承と校内組織の活性化」（二年次）～学び合う学校組織（OJL）への取組～

平成27年中央教育審議会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について（答申）」の中で、大量退職と大量採用の時期を迎え、専門性の向上と継承に課題があることを指摘している。また、幅広い経験年数と年齢層で構成された学校組織において、組織的・協働的に取り組む専門的な力も育成していく必要性を示し、本県の施策（第6次福島県総合教育計画）にも反映している。そこで、本教育研究は、本県の特別支援学校における現状と課題を明確にし、OJL（On The Job Learning）の理念を取り入れ、専門性向上と継承及び校内組織の活性化に向けて各特別支援学校と連携し、研究を行った。

#### 4 教育図書・資料の収集・提供事業

本県特別支援教育の中心的施設としての機能の充実をめざして広く特別支援教育関係図書・資料の収集に努め、関係教職員等が活用できるよう、整備・充実を図った。

本年度も特別支援教育の指導に関する図書の充実と教育資料の収集、Webサイトによる紹介等を推進した。

なお、3月末日現在での特別支援教育関係図書の蔵書数は6,631冊、定期刊行物6種、教育資料数4,344点である。

#### 5 広報・啓発事業

特別支援教育に関する情報及び資料、並びに本センターの事業内容を広報誌や各種発行物として関係諸機関等に配付し、特別支援教育に対する啓発や理解推進を図った。併せて、事業内容を多くの方々に伝えるため、Webサイトでも情報提供に努めた。

#### 6 情報教育事業

研修講座を中心に、障がいのある児童生徒の学習を支援するため、ICT等支援機器の活用に関する研修の企画運営を行った。Googleアプリを使用したテレビ会議システムによる学習指導の支援を行った。

### 第2節 教育相談事業

#### 1 相談対象

相談は、障がいのある、又はその心配のある乳幼児、児童、生徒及びその保護者や関係者を対象として実施した。相談の種類は次のとおりである。

- 視覚にかかわる相談
- 聴覚にかかわる相談
- 病弱・虚弱にかかわる相談
- 言語にかかわる相談

- 知的発達にかかわる相談
- 肢体不自由にかかわる相談
- 重複した障がいにかかわる相談
- 情緒等(LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群、自閉症、緘黙、不登校等)にかかわる相談

#### 2 形態

##### (1) センター相談

電話での申込みにより、来所日時をあらかじめ調整し、相談者の来所による教育相談を行った。また、相談の内容によっては電話のみによる相談も行った。

##### (2) 要請を受けての相談

困難な事例や特に必要な場合には学校等に出向き、現地においての相談を行った。また小・中学校、高等学校から支援要請を受け、事例研究を通しての相談を行った。

#### 3 現状と課題

特別支援教育の相談については、各学校において特別支援教育の校内委員会や教育相談・進路指導、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが組織として機能してきたと考える。本センターの教育相談においては、そのような地域・学校等の機能とどのように連携し、学校等の支援体制づくりに寄与していくのか、さらに検討が必要である。

相談者からの主訴では、幼児については、就学に向けて多様な学びの場についての情報提供が多く、小学生では、他者とのコミュニケーションや学習面についてが多い。小学校高学年からは、生活において不適応を起こし、「友人とのトラブル」「不登校」についての相談が増加している。子どもの困難さの背景を探り、適切な支援を考える必要から、関係者によるケース会議の開催が重要となっている。また、小学校高学年から高校生については、自己理解を促す相談も大切に重ねていく必要があると考える。

#### <年齢・学校別相談件数>

| 年齢・学校      | 乳幼児(歳) |    | 小学校(学年) |    |    |    |    |    | 中学校(学年) |    |   | 高等学校(学年) |    |    | 一般他 | 計  |     |
|------------|--------|----|---------|----|----|----|----|----|---------|----|---|----------|----|----|-----|----|-----|
|            | 0~4    | 5  | 1       | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 1       | 2  | 3 | 1        | 2  | 3  |     |    |     |
| センター<br>相談 | 実件数    | 6  | 13      | 15 | 21 | 11 | 19 | 14 | 18      | 25 | 6 | 10       | 17 | 8  | 6   | 23 | 212 |
|            | 延件数    | 11 | 23      | 30 | 48 | 17 | 38 | 38 | 89      | 76 | 7 | 44       | 86 | 14 | 7   | 40 | 568 |

#### <障がい種別相談件数>

| 障がい種       | 視覚障がい | 聴覚障がい | 知的障がい | 肢体不自由 | 病弱虚弱 | 言語障がい | 情緒障がい | 重複障がい | その他 | 計  |     |
|------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-----|----|-----|
| センター<br>相談 | 実件数   | 2     | 4     | 37    | 3    | 2     | 2     | 127   | 0   | 35 | 212 |
|            | 延件数   | 4     | 8     | 73    | 6    | 17    | 6     | 411   | 0   | 43 | 568 |

#### <地区別相談件数>

| 地区  | 県北 | 県中  | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | その他 | 計   |
|-----|----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|
| 延件数 | 81 | 296 | 63 | 47 | 0   | 27 | 37  | 17  | 568 |



### 第3節 教職員研修事業

受講者の資質、指導力、専門性の向上をめざし、講座内容の一層の充実を図った。

- ・ 専門研修講座を17講座設け、そのうち6講座を公開講座とし、受講者のニーズに応えるようにした。
- ・ 講座は講義を中心としながらも、演習や実技、協議等に重点を置いて構成し、研修内容・方法に工夫を加えた。研修を通して受講者が自らの課題に気付き、その解決に主体的に取り組むことができるように、話し合いの活動を多く取り入れ、具体的な方策に結び付くようにした。
- ・ 特別支援教育に関する県内外の専門家や各学校で先進的な実践をしている教員などを招へいして、新たな知見を広げたり具体的な実践に触れたりする機会の充実を図った。
- ・ 調査研究や教育研究等の成果を基にして、特別支援教育に関する専門的知識・技能の習得とともに、真摯に実践に取り組む資質の向上に努めた。

#### 1 教職員の研修講座

##### (1) 専門研修

| 講座名                                           | 期日及び期間         | 受講者数(人) |
|-----------------------------------------------|----------------|---------|
| 発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と対応                      | 7月31日          | 85      |
| 発達障がいのある児童生徒のライフステージを考える                      | 8月7日           | 28      |
| 障がいのある子どもを支える保護者や関係機関との連携                     | 9月26日          | 36      |
| 通常の学級で学ぶ児童生徒の多様な学びに応じた指導の充実<br>— 個々の可能性を伸ばす — | 9月22日          | 15      |
| 多様な学びを支える心理教育的アセスメント                          | 10月4日          | 20      |
| 障がいのある幼児児童生徒とのかかわり合いを考える                      | 9月20日          | 39      |
| キャリア発達と社会参加                                   | 9月12日          | 11      |
| 特別支援学校におけるチーム力向上とマネジメントの実際                    | 8月23日<br>8月24日 | 48      |
| 知的障がいのある児童生徒の特性と授業づくり                         | 7月5日           | 24      |
| 知的障がいのある児童生徒の授業充実 — 子どもの力を伸ばす教材・教具 —          | 9月15日          | 26      |
| 特別支援学校における重度・重複障がいのある児童生徒の理解と授業づくり            | 7月7日           | 16      |
| 特別支援学校における授業力向上 — 目標と評価を生かす —                 | 9月28日          | 20      |
| 〔実技研修〕 チーム力向上のためのメンタルヘルスとリスクコミュニケーション         | 10月10日         | 27      |
| 特別支援教育に活かすICT機器やデジタル教材 — 合理的配慮を踏まえて —         | 7月27日          | 73      |
| 障がいのある児童生徒の多様な学びの場を充実させるための他校種との連携            | 7月11日          | 13      |
| 特別支援学級の学級経営 — 教育課程と授業づくり —                    | 8月21日          | 25      |
| 幼児期から児童期への支援を継続する幼小連携 — 子どもの発達を考える —          | 7月25日          | 37      |
| 計                                             |                | 543     |

(他に公開講座に62名、自主研修講座に107名が参加)

## (2) 基本研修

| 研 修 名                        | 期日及び期間    | 受講者数(人) |
|------------------------------|-----------|---------|
| 特別支援学校初任者研修 一般研修             | 4月12日～13日 | 60      |
| 特別支援学校初任者研修 カウンセリング研修        | 6月14日～15日 | 60      |
| 特別支援学校初任者研修 宿泊一次研修           | 8月 2日～ 4日 | 55      |
| 特別支援学校初任者研修 教育課程別研修          | 9月13日     | 55      |
| 特別支援学校初任者研修 学部別研修            | 11月15日    | 55      |
| 特別支援学校初任者研修 宿泊二次研修           | 2月 7日～ 9日 | 55      |
| 特別支援学校2年次教員フォローアップ研修 教科等指導研修 | 8月18日     | 54      |
| 特別支援学校経験者研修Ⅰ 基本研修            | 6月21日～23日 | 18      |
| 特別支援学校経験者研修Ⅱ 共通研修            | 6月28日～30日 | 29      |
| 特別支援学校経験者研修Ⅱ 教科(領域)指導研修      | 1月18日～19日 | 29      |
| 計                            |           | 470     |

## (3) 職能研修

| 研 修 名                   | 期日及び期間                   | 受講者数(人)   |
|-------------------------|--------------------------|-----------|
| 特別支援学級等新任担当教員研修会        | (共 通) 4月20日<br>(地区別) 11月 | 109<br>99 |
| 特別支援学級担当教員(経験三年)研修会     | (地区別) 9月                 | 39        |
| 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会  | (地区別) 6月                 | 156       |
| 高等学校特別支援教育コーディネーター研修会   | (地区別) 5月                 | 91        |
| 特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会 | 5月30日                    | 24        |
| 特別支援学校養護教諭研修会           | 7月24日                    | 22        |
| 通級指導教室担当教員研修会           | 7月13日                    | 51        |
| 計                       |                          | 591       |

## 第4節 調査研究・教育研究事業

### 1 調査研究

「入院児童生徒等の学習状況調査と支援体制の整備」  
(二年度)～切れ目のない教育や学習の充実を目指して～

#### 【研究の趣旨と構想】

入院児童生徒等の学びの場は、小・中学校、高等学校、特別支援学校などがあるが、病状や治療方法、本人や保護者の希望などにより一人一人異なる。入院児童生徒等の状況や指導・支援方法の理解は十分でない現状があり、ニーズに応じた学習指導及び学習支援の実施については課題が多い。

そこで、現状の分析と課題の整理を行うため、本県における長期にわたり又は継続的に入院する児童生徒等(以下「入院児童生徒等」という。)の学習状況等について小・中学校、高等学校、特別支援学校(病弱)における取組を調査する。また、学習支援体制の整備に向けて、各学校、教育委員会、病院等の関係機関が連携して支援する体制の構築方

法を検討する。さらに、病弱教育についての理解・啓発を図るため、実践事例の集積及び情報提供等を進める。これらが、入院児童生徒等の切れ目のない教育や学習の機会の保障につながると考え研究を行う。なお、本調査研究は、文部科学省の委託を受けた県教育委員会「入院児童生徒等への学習支援体制整備事業」と提携して進める。

#### 【研究の経過】

##### (1) 入院児童生徒等への対応についての理解啓発

入院児童生徒等への対応等に関する理解啓発を進めるため、一年次に引き続き市町村教育委員会を訪問するとともに、保健福祉事務所の訪問を実施した。その際には、入院児童生徒等への県内での対応等をまとめた資料とともに、県教育委員会の事業で設置した調査研究委員会が作成したリーフレット「病気の子どもや入院している子どもの支援ガイド」等を資料として使用した。また、学校や関係機関等への相談支援やケース会議等への参加の中で対応等についての周知を行った。

## (2) 関係機関でのよりよい連携の推進

医療機関、学校、学校の取組を支える市町村教育委員会や教育事務所等、入院児童生徒等への対応には、様々な機関が関係する。よりよい支援のためには、本人・保護者の了解のもと、これらの機関が共通理解を図り、必要となる対応を行うことが求められる。関係機関の連携をさらに進めるため、学校・病院連携支援員とともに関係機関への情報提供や連携に向けた連絡調整を行い、学校等の取組を調査した。

## (3) 学習支援等での ICT の活用の推進

ICT の活用については、学校にある機器や教員の活用力等により積極的に実施される場合と、実施につながりにくい場合がある。学校間を通信でつなぐ際には、ふくしま教育クラウドサービス（FCS）を利用できるが、学校と病院をつなぐ際には、通信環境を整える必要がある。しかし、入院児童生徒等への支援に ICT を活用する取組は、児童生徒の学習や活動の充実につながるものである。そこで、入院児童生徒等への支援での活用を進めるため、特別支援学校とともに、Web カメラやタブレット型コンピューター等の ICT 機器の貸出を行った。また、通信環境を整えるための配線や必要な機器等についての助言や情報提供、実践例の紹介を行った。さらに、機器の設置や通信の環境設定についての学校支援を実施した。

### 【研究のまとめ】

昨年度と本年度の 2 年間の本研究を通し、入院児童生徒等の切れ目のない教育と学習の充実に向けて取組が必要となる要点は、次の 4 点と考える。

### (1) 理解啓発の推進

入院児童生徒等にとって学習の機会の確保は、学習の遅れを防ぎ、学力を保障する大切なものである。昨年度と本年度、事例として取り上げた取組には、関係者の理解が支援の充実につながるが多くあった。学習の機会の保障の重要性、学習活動による治療効果の向上、特別支援学校の役割等も含めた入院児童生徒等への学習保障の理解のさらなる推進が求められる。

### (2) 関係者・関係機関による連携の強化

入院児童生徒等の病状や状況は、時間の経過とともに変化する事が多い。必要な時に、必要な支援を行うためには、児童生徒の入院や病状等を把握した時点で、各学校が市町村教育委員会や教育事務所に連絡・相談し、対応の検討を行ったり、経過等についての情報を共有したりすることが求められる。また、特別支援学校のセンター的機能を各学校が活用し、特別支援学校との連携を図ることは、対応のために必要な助言や学校支援を受けることにつながる。さらに、ケース会議等の実施や個別の教育支援計画等の作成・活用により、配慮すべき点や具体的な支援内容を関係者・関係機関で検討したり、共有したりする取組も大切になる。

## (3) 連携推進及び学習支援や相談支援にあたる人材の充実

入院児童生徒等への対応には、医療機関、教育機関、行政機関、保健・福祉機関等、様々な機関が関係することが多い。学校・病院連携支援員のようなコーディネートを行う存在は大変重要であり、各地区で同様の役割を担っている市町村教育委員会や教育事務所の指導主事等の取組の推進はさらに重要になる。また、特別支援学校がセンター的機能を発揮することは、学校・病院連携支援員と同様の役割を果たすこととなる。センター的機能にかかわる特別支援学校の教員の専門性を高めることも、連携推進にあたる人材の充実につながる取組となる。

また、入院児童生徒等に学習支援や相談支援で直接接する人材の充実も求められる。

## (4) ICT を活用する環境の充実

ICT の活用を推進するにあたり、課題となるのは ICT 環境の充実である。機器及び通信環境の整備、通信費用の確保、教員の ICT 活用力の向上が求められる。機器及び通信環境の整備については、県や各市町村で計画的に進められているところではあるが、通信費用の確保は、学校と同様の通信環境がない場所で双方向の通信を利用する支援を行う際に十分な検討が必要となる。教員の ICT 活用力の向上については、ICT を活用した支援の効果について研修会等で伝えて意識を高めるとともに、ICT についての知識や経験を得る機会をさらに設けることが求められる。

入院児童生徒等は、治療、生活、学習等に様々な不安がある。治療に伴う生活規制を受けて「普通のこと」が制限される場合もあり、大きなストレスを抱えている。学習の機会を保障するとともに、気持ちを支える取組は、入院児童生徒等の成長に不可欠となる。入院児童生徒等の切れ目のない教育と学習の充実の実現に向けて、今後も関係者・関係機関が連携し支援体制を充実させていくことが求められる。

## 2 教育研究

「特別支援学校教員の協働による専門性の向上・継承と校内組織の活性化」(二年度)～学び合う学校組織(OJL)への取組～

### 【研究の趣旨と目的】

本県では、大量退職と大量の採用の時期を迎え、幅広い経験年数と年齢層、そして様々なキャリアを持った教員で構成された学校組織において、次世代の教員に、これまでの取組の継承を確実にし、教員の専門性をさらに向上させ、一人一人の良さを最大限に発揮することが必要とされている。そのために、学校組織において、組織的・協働的に諸課題に取り組む専門的な力の育成についても取り組んでいくことが必要とされている。

そこで、本研究では、教員同士の「学び合い」を意識して取り組むために、OJT (On The Job Training) ではなく、OJL (On The Job Learning) の理念に着目して、次の 3 つの目的で研究を行った。

- 特別支援学校の専門性の向上・継承と校内組織の活性化に向けて、課題を明確にする。
- 「互いに学び合う主体的な学校組織（0JL）」の在り方を考え、各校の具体的な取組を支援し提言を行う。
- 校内組織の活性化を推進する教員（以下：0JL サポート教員）との研修を通して、特別支援学校における子どもの学びの充実と人材育成の原動力とする。

## 【研究の経過】

### (1) 「互いに学び合う主体的な学校組織（0JL）」の実現に向けた0JL サポート教員の育成及び実践研究

- ア 組織・チームへのアセスメント
- 各0JLサポートの組織・チーム等の現状をデータ化し、分析を行った。また、初任者研修、経験者研修Ⅰ・Ⅱ等にも同様なアンケートを行い、組織・チーム内で起きている課題について分析し、活性化に向けた協働的に取り組む専門的な力の明確化を図った。
- イ 0JL サポート教員に対する研修会
- 4月「0JL サポート教員連絡協議会」8月専門研修「特別支援学校におけるチーム力向上とマネジメントの実践」を実施した。アのデータ分析や0JLの研究から、チームが活性化するため理論「3つの柱」「5つの要素」を明確化し、それを各0JL サポート教員が学び、実際に学校で取り組めるようにし、各校での実践及び実証を図った。
- ウ 研究協力校との実践
- (ア) A校での取組
- 「学部通信がつかないだ教員の輪～0JL が成り立つまで～」に取り組んだ。学部の活性化を図るために、組織・チーム等の現状をデータ化し、システム思考を参考にアプローチした。その結果、学部間での世代間における双方向対話を促し、活性化が図られることで、自ら学び合う姿が学部内で見られてきた。
- (イ) B校での取組
- 「B校における0JLの取組～教師間の対話と関係を深め、学びを促進する試み～」に取り組んだ。学校全体の研究を進めるために、0JLの視点を取り入れ、「自ら考え動く集団」になるために、自己マスタリーに着目し、研究を進めるプロセスを大切に取組を進めた。また、問題解決に向けてこれまでの手法にこだわらないミーティングを取り入れるなど、メンタル・モデルを保留し、必要なものを創造的に取り組む成果も見られるなど、0JLの視点を取り入れることで、協働して学び合い、専門性を高め合う姿が見られてきた。

## 【研究のまとめ】

### (1) 成果

ア 組織・チームが活性化するための知識・理論の明確化及び専門性向上へのつながり

活性化するためには3つの柱「志を育成する力」「複雑生を理解する力」「共創的に対話する力」、5つの要素「自己マスタリー」「システム思考」「メンタル・モデル」「共有ビジョン」「チーム学習」の関係性を明確化することができた。さらに、その知識を組織・チームの核となる人材が学ぶことで、組織・チームを活性できる人材が育成され、実証することができた。また、実践研究でのチーム等に所属する教員の姿から、自ら学び合い、専門性を向上させていく集団になることが明らかになった。

### (2) 課題

今後も継続的に組織的・協働的に取り組む専門的な力の育成を継続的に行う必要がある。そのために、本センターでは、次の2点に取り組んでいく。

ア 専門研修講座において、引き続き0JLの理念や技術の推進による人材育成をしていく。

イ 「学校支援」の枠組みの中に「0JLによる人材育成」を追加し、各校と協働し、教員が学び続ける組織を支援する。

「学校のチーム力強化」については、今後も本センターとして、0JLの理念を幅広く普及し続けながら、組織・チームの活性化を図り、本県のような施策がより推進されるように継続していく。

## 第5節 教育図書・資料の収集・提供事業

### 1 教育図書・資料の収集・整理

#### (1) 教育図書の収集・整理

教育図書については、特別支援教育に関する専門図書の充実に努め、本年度217冊の新規購入及び受贈の結果、蔵書数は6,631冊になった。その種類は、障がい児の教育関係図書が1,667冊、その他の図書が4,964冊である。障がい児関係図書については、利用しやすいように障がい別（視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱、言語障がい、情緒障がい、重複障がい等）に配架している。

#### (2) 教育関係定期刊行物の収集・整理

教育関係定期刊行物は6種類購入し、いつでも閲覧できるように分類・配架した。

#### (3) 教育資料の収集・整理

全国の関係機関や県内の教育機関の協力により、研究紀要・研究報告書・ハンドブック等の収集に努め、本年度収集した283冊を分類・配架した。県内の資料についても、学校別に分類・配架した。

## 第6節 広報・啓発事業

### 1 所報「特別支援教育」(70号)

#### (1) 内容

- ア 巻頭言  
「福島の底力」  
宮城教育大学  
特別支援教育講座 教授 藤島 省太
- イ 特集「協働・連携による特別支援教育の充実とインクルーシブ教育システムの推進に向けて」
  - (ア) 調査研究から(二年度)  
「入院児童生徒の学習状況調査と支援体制の整備」
  - (イ) 教育研究から(二年度)  
「特別支援学校教員の協働による専門性の向上・継承と校内組織の活性化」
- ウ 講演ノート  
教育講演会より  
「共生社会教育・医療・福祉の連携の在り方～これからの発達障がい支援から見えてくること～」  
国立障害者リハビリテーションセンター病院  
発達障害者情報・支援センター  
病院長・センター長(併任) 西牧 謙吾
- エ インフォメーション
  - (ア) 平成29年度 教育相談の報告
  - (イ) 平成29年度 研修講座実施状況
  - (ウ) 平成29年度 教材・支援機器ポータル
  - (エ) 平成29年度 小・中・高等学校におけるインクルーシブ教育システム推進のためのコーディネートハンドブック

#### (2) 規格、ページ等

- ア 規格 A4判
- イ ページ数 24ページ
- ウ Webサイトで公開
- エ 各関係機関へ配付

### 2 研究紀要「第31号」

#### (1) 内容

- ア 調査研究  
「入院児童生徒の学習状況調査と支援体制の整備一切れ目のない教育や学習の充実を目指して」(第二年度)
- イ 教育研究  
「特別支援学校教員の協働による専門性の向上・継承と校内組織の活性化ー学び合う学校組織(OJL)への取組ー」(第二年度)

#### (2) 規格、ページ、部数

- ア 規格 A4判
- イ ページ数 62ページ
- ウ Webサイトで公開
- エ 各関係機関へ配付

## 第7節 情報教育事業

### 1 ICT活用支援

専門研修講座において、「特別支援教育に活かす ICT 機器とデジタル教材ー合理的配慮を踏まえてー」を実施し、講義や教材・支援機器・ICT等の活用についての演習を行い、特別支援教育における教材・支援機器等の活用促進と実践力や専門性の向上を図った。

また、初任者研修の基本研修において、情報モラルに関する講義を実施した。

テレビ会議システムの活用においては、特別支援学校と連携し、テレビ会議システムを活用した学習支援のあり方について情報提供を行った。

### 2 情報機器活用

研修講座を中心に、支援機器に関する情報提供や Web カメラ等の貸出を行った。

### 3 情報教育ネットワークと Web サイトの充実

Web サイトで本センターの事業内容を多くの方々に伝えるため、研修や研究の広報充実に努めた。

広報・啓発事業担当者と協力し、「教材・支援機器ポータル」「センターだより」「コーディネートハンドブック」を、Web サイトに掲載し、適宜新しい情報の追加を行った。

○本センターWeb サイトアクセス件数 45,239 件

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)





---

---

**平成29年度実績 教育年報**

発行 平成30年11月15日  
編集発行 福島県教育委員会  
福島市杉妻町2-16  
TEL (024) 521-7759

---

---